

山口大学大学院東アジア研究科

博士論文

若年層における感動詞の動態研究

平成 25 年 3 月

ウオン ティ ビック リエン
VUONG THI BICH LIEN

目次

1. はじめに.....	1
2. 先行研究.....	3
2.1. 品詞論上位置づけ.....	3
2.1.1. 三矢重松氏の説.....	3
2.1.2. 松下三郎氏の説.....	5
2.1.3. 橋本進吉氏の説.....	7
2.1.4. 山田孝雄氏の説.....	8
2.1.5. 時枝誠記氏の説.....	9
2.1.6. 鈴木一彦氏の説.....	10
2.1.7. 結び.....	12
2.2. 談話における感動詞の研究.....	12
2.2.1. フィラー.....	12
2.2.2. あいづち.....	15
2.2.3. 応答詞.....	16
2.2.3.1. 日向茂男氏・奥津敬一郎氏・中島悦子氏の説.....	17
2.2.3.2. 森山卓郎氏の説.....	18
2.2.3.3. 田窪行則氏・金水敏氏の説.....	20
2.2.4. 心的標識(心的モニター).....	21
2.2.4.1. 心的情意変動標識(森山卓郎氏の説).....	21
2.2.4.2. 心的情報処理標識.....	23
2.2.4.2.1. 田窪行則氏・金水敏氏の説.....	23
2.2.4.2.2. 富樫純一氏の説.....	25
2.2.5. 結び.....	26
2.3. 感動詞の分類.....	26
2.3.1. 意味的機能による分類.....	26

2.3.2. 統語的性質による分類.....	27
2.4. 先行研究への概観・問題提起.....	30
3. 本研究の立場.....	31
3.1. 研究動機・目的.....	31
3.2. 研究範囲.....	32
3.3. 研究方法.....	34
4. 調査結果分析.....	36
4.1. 感動詞の組み合わせパターン.....	36
4.1.1. 第2回調査.....	36
4.1.1.1. 調査要領.....	36
4.1.1.2. 回答分析.....	37
4.1.1.3. 調査結果.....	45
4.1.2. 第3回調査.....	49
4.1.2.1. 調査要領.....	49
4.1.2.2. 回答分析.....	50
4.1.2.3. 調査結果.....	57
4.1.3. まとめ.....	63
4.2. 感動詞の独立性.....	65
4.2.1. 定義.....	65
4.2.2. 問題提起.....	66
4.2.3. 調査要領.....	67
4.2.4. 調査結果分析.....	68
4.2.4.1. 第4回調査.....	68
4.2.4.1.1. 回答分析.....	68
4.2.4.1.2. 分類.....	87
4.2.4.1.3. 独立性の判断.....	89
4.2.4.2. 第5回調査.....	94
4.2.4.2.1. 回答分析.....	94
4.2.4.2.2. 独立性の判断.....	126

4.2.5.	まとめ	132
4.3.	品詞転成	135
4.3.1.	フィラー用法	135
4.3.1.1.	[[[感動詞](・)]名詞]	135
4.3.1.2.	[[[感動詞](・)]動詞]	137
4.3.1.3.	[[[感動詞]∅]動詞]	141
4.3.1.4.	[[[感動詞]と]形容詞・動詞]	144
4.3.2.	名詞用法	146
4.3.2.1.	[[[感動詞]って]名詞]	146
4.3.2.2.	[[[感動詞]みたいな]名詞]	147
4.3.2.3.	[[[感動詞]みたいに]動詞]	147
4.3.2.4.	[[[感動詞]って]なる]	148
4.3.2.5.	[[感動詞]みたいな。]	152
4.3.2.6.	[[[感動詞]って・と。]	153
4.3.2.7.	[[[感動詞](・)]だった。]	154
4.3.2.8.	[[[感動詞]と]動詞]	158
4.3.3.	副詞用法	161
4.3.3.1.	[[[感動詞]と]動詞]	161
4.3.3.2.	[[[感動詞]∅]動詞]	167
4.3.3.3.	[[[感動詞]形容詞]	169
4.3.4.	文末の感動詞	171
4.3.5.	まとめ	172
4.4.	感動詞における中間性	174
4.4.1.	問題提起	174
4.4.2.	ポーズや助詞「と」との結び付き	175
4.4.3.	複数の品詞性	181
4.4.4.	単語性	187
4.4.5.	オノマトペとの類似性	189
4.4.6.	まとめ	191
5.	結論	192

6. 問題点・今後の課題.....	197
7. おわりに.....	200
参考文献.....	201
謝辞.....	205
付録（調査データ）	

学位論文要旨

論文の目的は、感動詞と呼ばれるグループの品詞性とその性質・機能を言語学的に解明することである。

感動詞とは、いわゆる学校文法で呼ばれている名称である。従来研究においては、感動詞は自立語で活用がなく、文の独立語となることができる。そして、概念内容をもたず、感嘆などの感情が分析を加えられず、直接的に表出されたものである。ちなみに、感動詞は、品詞では、名詞、動詞、形容詞、副詞と違って、概念的意味がなく、他の語を修飾しないと考えられている。一方、感動詞には応答詞・フィラー・相づち・言いよどみという名称と概念も存在している。これらと感動詞を区別するのは難しい。例えば、感動詞とフィラーは、音声形式にも生成過程にも機能にも共通点がある。区別を明確にするためには相違点を見なくてはならないが、どのような相違点があるかについてはっきり取り上げた研究はない。

本論文では、独立して一文となる感動詞や文頭に現れる応答詞・あいづち・フィラーとしての役割をする感動詞だけではなく、名詞性・副詞性・形容詞性をもつ感動詞を探究する。例えば、「ふーん」「うーん」「えっ」「おー」「ほおー」「へー」「はあっ」「わあー」「うわー」「うわっ」「あっ」「おっ」などの感動詞は、文中で名詞や形容詞、動詞の前に出てきたとき、副詞や名詞のように働くことがある。後ろにくる語の品詞によって、副詞性や形容詞性を持ち、その語を修飾する。しかも、感動詞はそれ自体、対話話者の態度・感情を表すので、対象となる人の態度・感情を表現する行為状態を示すという、名詞のような性質をもつのであろう。また、感動詞は、「って」「と」などを伴ったり、「だった」の前に現れたりするので、名詞としての機能をしていると言える。このような例から、感動詞は名詞性・副詞性をもつように変化しているのではないかという疑問がある。

その結果、本論文では、若年層の日本語母語話者を対象とした調査に基づき、感動詞の独立性から構造的関係や品詞性などを論じることによって、感動詞が非分析的言語表現と分析的言語表現との中間的なものであるということを捉えた。

各章の内容は以下の通りである。

第1～3章は、まず、従来の研究における感動詞は伝統的な品詞研究・談話研究上、特に構文論・品詞論の観点で、どんなものであるか、どのように探究されているかについて、代表的な説を挙げる。そして、それらの各説に感動詞の副詞性についての議論と、三矢重松(1908)による感動詞の意味的变化と品詞転成に関する問題点を把握することにより、問題提起と研究の立場(研究目的・研究内容・研究内容・調査方法)を述べる。

第4章は、5回の調査の調査データに基づき、感動詞の組み合わせパターン、及び独立性の変化階層と品詞転成を検討する。独立性の変化に関しては、感動詞が、文中で「と」を伴い、他の語と組み合わせることから、その独立性の変化を具体的なコンテキストで分析し、構文的特徴を記述する。品詞転成に関しては、感動詞が文中で「と」「って」「みたいな」「みたいに」を伴って、名詞・副詞・形容詞のような機能を担うという点を具体的な例文で分析

する。また、感動詞と「と」やポーズとの結び付きや、多様な品詞性、単語性（単語らしさ）、オノマトペとの類似性を分析することによって、フィラーのような非分析的表現と名詞・副詞のような分析的言語表現との中間的な性質を持つことを指摘する。

第5章～7章は、本論文で分析した内容をまとめ、結論を取り上げていく。そして、本論文の問題点を述べ、今後の新たな研究課題を提案する。

1. はじめに

話し言葉の談話の中には、(1)のように「えっ」「へー」「あー」「うーん」「いやー」「うんうん」などが独立語として文頭にくるか、一文として現れることが頻繁に見られる。

- (1) 010205A : し、しおり？しおりちゃん。
010206B : あー、しおりちゃん？こんのしおりちゃん？
010207A : うん、うん。確か。確か。
010208B : えー、しおりちゃん一緒なんだ。
010209A : 多分。いやー、分からん。
010210B : まじか。全然見とらんかったな。
010211A : うーん。
010212B : あー、やば。
010213A : うーん。どうなるんやろう。
010214B : どうもならんと思うけど。もうこうなってしまった以上。
010215A : あー、しかも、父さんと母さんも英語学専攻しとったけん大学で。
010216B : えっ、そうなん。へー。

これらは、学校文法によると、感動詞と呼ばれている。応答詞、感嘆詞、相づち詞などの名称も知られている。名詞、動詞、形容詞、副詞、助詞、助動詞、接続詞などと並んで一種の品詞として立てられている。小池清治他（2007：84）では、感動詞についての定義は次のように記述されている。

「品詞の一で、自立語で活用がなく、文の独立語となることができる。概念内容をもたず、感嘆などの感情が分析を加えられず、直接的に表出されたもの。感嘆詞か間投詞とも呼ばれるということである。独立語として文頭にくるか、一文となることが多い。主なものを次にあげる。

- A 感嘆などの感情を表出するもの ①ああ／あら／おや／へえ／まあ／②さて／なんと／それ（かけ声）／どれ（ものをのぞきこむこと）／畜生
B 呼びかけ おい／こら／ねえ／もしもし
C 応答 はい／いいえ／うん／ええ
D 発話の意志を表すもの。つなぎ言葉 あー／あの／えー／えーっと
（中略）」

小池清治他（2007：84）

この定義と共に、感動詞の問題点も摘されている。次に引用する。

「Aの①については、同じ感情の表出でも、「きゃあ」（叫び）、「わはは」などは単なる音声

と見なし、語とは認めない。「うーん」「ええと」なども、感情の表出と言えるかどうか問題がある。②にあげた「さて（接続詞）」、「なんと（副詞）」、「それ・どれ（代名詞）」、「畜生（名詞）」などは、他の品詞（上記カッコ内）から転成したものである。

Cは応答詞と呼ばれるもので、感動詞に含める立場と含めない立場とがある。同じ「はい」でも、応答を求められる場面で発する「はい」と、掛け声としての「はい」（「はい、始めましょう」）とは異なる。応答詞は前者のみである。

Dは音声言語特有のもので、発話内容をまとめつつあること、発話しつづけるよのサインとして用いられる。

感動詞は、その特殊性から品詞の認定をめぐる議論が多い。感動詞を認めない意見としては感動詞は独立成分であるため文（あるいは句）として扱うべきで、語として他の品詞と同等に考えることはできないのではないかと。感動詞には、文法的な機能が認められず品詞に加える意味がないというものがある。また、感動詞を認めたとしてもそれが単なる音声であるか語であるかの判別は厳密ではない。他の品詞から転成したものについては、語に実質的な意味が残っているか否か判断が難しい例もある（「うらめしや」など）。このため、感動詞を廃止、一部の語に感動詞的用法を認めるという扱いも考えられる。（小出美河子）

小池清治他（2007：84）

この記述からみると、従来研究においては、感動詞と呼ばれているものには、判明していない問題が大きく4点あると言えよう。いわば、次のような疑問がある。

- ①感動詞と呼ばれるものは、感嘆などの感情を表す意味をもつものに限っているか、
- ②単語であるか、物理的な音声であるか、
- ③語であるか、文（句）であるか、
- ④ある語を感動詞と判定する基準は何か、

即ち、その文法的な機能はまだはっきりされていないということである。したがって、その品詞の判定（感動詞と呼ばれていものを一つの品詞として立てられるのか）については、かなり議論の余地がある。

これらの疑問を明らかにし、感動詞の品詞を判定するために、感動詞の言語学的本質を解明すべきであると考えられる。本論文では、それを狙って、品詞論と構文論の観点から、若年層の言葉を対象として、談話と文章における感動詞の機能を考察していく。

2. 先行研究

本節では、従来研究における感動詞は伝統的な文法の品詞研究・現代的文法の談話研究上、どんなものであるか、どのように探究されているか、論考の記述を辿って見て、代表的な説を挙げる。

2.1. 品詞論上位置づけ

感動詞の品詞についての研究は、主に伝統的な文法において、江戸時代以降から現在に至るまで、意味と構文上の品詞分類をめぐるさまざまな議論がなされていたが、感動詞を一つの品詞として認める派と、感動詞を「てにをは」・「辞」・「文・句」と主張する派に二分される。前者は、三矢重松(1908)、松下大三郎(1924)、橋本進吉(1933)、の説が代表的であり、現代日本語文法の研究に大きな影響を与える。後者は代表的な説が山田孝雄(1936)、時枝誠記(1950)、鈴木一彦(1973)である。両者の通説は以下のようにまとめていく。

2.1.1. 三矢重松氏の説

感動詞については、三矢重松(1908:146-151)には、次のような解説がある。そのうち、感動詞は感動の意を表す詞と見られ、主に感動の声より成るという定義され、次のような語の例を記述されている。

あ・あゝ・あら・あな・あはれ・あはや・おいや・や・やあ・やよや・やをれ・やはか・いで・いぎ・すは・やら・あはれ・やれく・さあく・おう・やいく・ないく・あいく

そして、応答・嘲笑・作容・命令・親愛の声の「ウヲ、エ ハア ハイ ウン ヘン オホン エヘン シ ドウ ヨ ネ」なども感動詞であると認められている。さらに、「感動の意を表せばとて、独立詞ならぬは感動詞にあらず」といって、「感動を表わす助詞」を除外している。

また、他の品詞との関係については、次のようにまとめる。

- (1) 「南無三宝」「畜生」「弓矢八幡」など、名詞から感動詞に転ずるものが多い。
- (2) 「あれく」「それ」「どれ」「これはく」など、代名詞から転ずるものが多い。
- (3) 物の声は、感動の声でも、「あとという声」や「あと嘆く」の「あ」のような副詞や名詞として用いられるから、それを感動詞ではなく、副詞・名詞になったものである。但し、拍子・調子や力を入れる声は皆人の声で感動詞である。例えば、エイヤ・エンヤラ・ウントコサ・コラサ・ヤレドツコイなどである。
- (4) 副詞より転じたものもある。例えば、次の例文の「なんと」「まあ」などである。
なんとあなた私の顔を聞いては下さるまいか

まあ立派なこと

それが私のまあ書いたのですか

- (5) 「うらめしや」「あなかま」「あなかしこ」などは、「事物の性状を表す意があらは」であるから、形容詞であって、感動詞ではない。
- (6) 発語のような接続詞に転じたものがある。例えば、下例の「さて」「さてく」「さてもく」「ても」「はて」などである。

さてなんとしよう。

さてくととひ聞こえさせ給ひて

さてもく困ったことだ

てもまあ美しい花だ

はて解せんぞはてな何だろう

この記述によると、三矢重松氏は感動詞を確定するために先ず語の意味を見るということである。但し、感動詞は感動の意を表し、主に感動の声よりなるものであると主張しているが、「あとという声」「あと嘆く」の「あ」の場合に、感動詞ではないとされている。この点で、三矢氏は感動詞の独立性を重視し、それを基準にするということが見られる。しかしながら、語の独立性を判断する基準は指摘されていない。しかも、他の詞から転じた感動詞も他の品詞に転じた感動詞もあって、感動詞と他の品詞の区別(特に感動詞と副詞)は問題になるのである。つまり、三矢氏の議論においては、次の3点がはっきりしていないと考えられる。

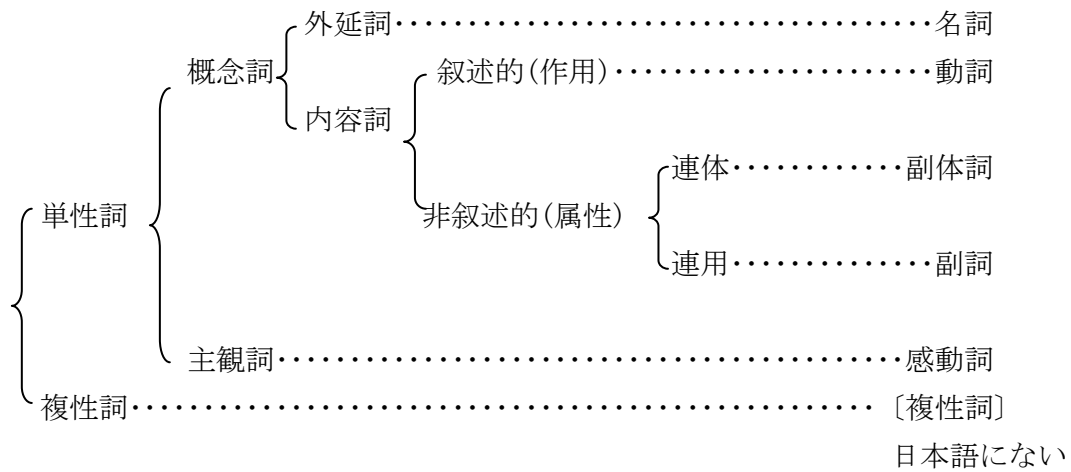
- ① 物理の声と感動の声の分別：どんなものであれば、感動詞になる感動の声になるのか。それとも、どんなものであれば感動詞にならない物理の声になるのか。
- ② 感動詞と他の品詞(名詞・形容詞・副詞・接続詞・終助詞)の区別：どんな基準であれば、他の品詞から転じたものを感動詞とすることができるか。
- ③ 「あ、痛い」「あと嘆く」「あという声」というコンテキストに現れる「あ」という語は、同じ語であるか。

いわば、上の文にある下線部を付けた「あ」は、同じ語であれば、「あ」のような語は、文中で「あ、痛い」のようなコンテキストに独立して現れるだけでなく、「あと嘆く」のようなコンテキストに他の語と組み合わせて現れることもあると考えられる。それゆえ、感動詞の独立性の度合の疑問がある。一方、三矢氏の観点による「あとという声」や「あと嘆く」のようなコンテキストに現れる「あ」は感動詞でなく、名詞と副詞であるという点では、「あ」の構文上の機能も疑問になる。つまり、独立性の度合と構文上の機能を解明するのが必要であると思われる。

以上より、三矢氏の説から見た問題点は、その後の研究者によって次々と解明されている。具体的にはどうなるか、次の説を見よう。

2.1.2. 松下大三郎氏の説

松下氏は次のように感動詞の特徴を記述した。



(松下大三郎(服部四郎他(1979 : 171)))

上記の品詞分類は、松下氏によって橋本学説の「文節」という理論に基づき、立てられた。見れば分かるように、感動詞は名詞、動詞など同等に一つの品詞として位置づけられ、主観詞に属しているということである。松下氏によると、詞はすべて観念を表すものであるが、観念には直観的観念と概念との二種があり、単性詞には直観的観念を表すものが直観詞(主観詞)、概念を表すものが概念詞であるということである。よって、感動詞は直観的観念を表すものであると考えられている。次のように記述する。

「吾々は多数の単性詞中より此の直観詞を取り出して、第一の品詞とし、名づけて感動詞といふ。文語で云えば、

あゝ あな あはれ あはや
 やよ いで いざ いな
 いさ うべ 咄 呵々
 などがそうだ。

口語に至っては非常に多数の感動詞がある。

あ (そうか)	あゝ (こまった)	お (そうだ)	おゝ (寒い)
え (何だい)	えゝ (面倒だ)	おや (變だ)	や (大變)
やあ (これは)	まあ (驚いた)	さあ (行かう)	はて (何だろう)
さて (どうしよう)	はゝあ (そうか)	へゝえ (さ様で)	ふゝん (笑はせらあ)
はあ (そうです)	はい (さ様です)	えゝ (そうです)	
おゝ (そうだった)	うん (そうか)	いや (違ふ)	いえ (違ひます)
いゝえ (違ひます)	いゝや (違ふ)	なに (そうでない)	なあに (そうではない)
なあ (君)	ねえ (君)	よう (母様)	もし (貴方)

やい (小倉)	おい (車屋)	これ (何をする)	こら (分ったか)
それ (見ろ)	そら (遣るぞ)	あれ (御覧)	あら (大變)
ほら (有るでせう)	どれ (見せる)	どら (出かけよう)	どっこい (違ふ)
おつと (違ふ)	やれ (安心)	ちえ (悔しい)	へん (笑はせらあ)
ひやあ (大變だ)	ほい (仕舞った)		

(松下大三郎(服部四郎他(1979 : 150)))

また、舌鼓、笑い声、泣き声、咳拂、欠伸、鼾声、歌謡の囃し、力持ちの掛け声などは唯声という実物であって、観念の表示ではないから感動詞ではないと見なされている。但し、舌鼓や嘲笑の声の詞化した「ちえ」「へん」などは感動詞であると考えられている。分類の五品詞の中に、他の品詞は皆概念になった観念を表すが、感動詞だけは概念化をしない直観のままの観念を表すということを述べられている。

さらに、感動詞の構文的特徴については、「感動詞の格」という項で次のように説いている。

「感動詞の格は固有的職能であって非常に獨立各である。感動詞の格は獨立格であるから感動詞は他詞に從屬せず自己の力を以て其のまゝ一つの斷句になる。驚いて「おや」と云ひ、人に答へて「はい」と云へばその「おや」「はい」は一つの斷句である。非概念的直観斷句である。

「おや何だらう」「はいさやうです」の「おや」「はい」は下の他詞に從屬してゐるがこれは獨立格の從屬化と云ふ用法で獨立格の語は一般に此の用法がある」

(松下大三郎(服部四郎他(1979 : 151)))

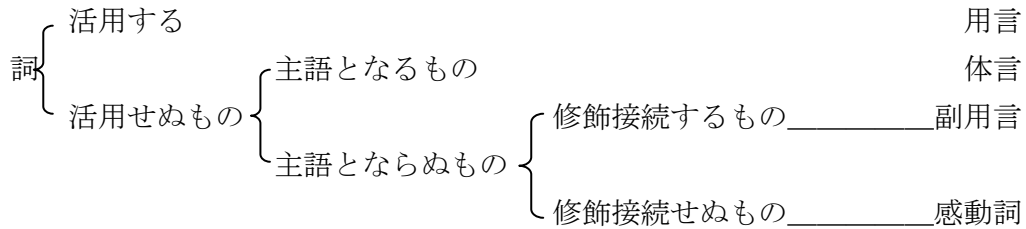
よって、感動詞が文に出てくるとき、文頭に獨立して一つの句となる、即ち獨立性が高いということが考えられている。

なお、「花が咲いたよ」「雨が降るぞ」「理りなりや」の「よ」「ぞ」「や」などの終助詞は、感動詞ではないとされている。また、歌語文典は感動詞を間投詞(Interjection)と名づけ、他の語と文法的關係がなく斷句中に投入する語であるという説くことに批判されている。

以上の記述をみると、松下氏は、三矢重松氏の議論点を把握し、意味と構文における感動詞の特徴をより深く探究し、品詞分類、口語における具体的な感動詞カテゴリーと実物の声(物理的な声)カテゴリーを挙げたり、文末詞の「よ」「ぞ」「や」などを感動詞カテゴリーから外すことによって、以上で挙げた問題点①～③(pp. 4)を解明した。但し、問題点③にはまだ議論の余地がある。即ち、獨立性の度合と構文上の機能についての解釈では、例えば、なぜ「あ、(痛い)」の「あ」と「あと嘆く」の「あ」は、同じではないか、なぜ感動詞ではなく、副詞であるかというような問題点が、まだ解決されていない。この点は他の研究者によって続いて探究されている。次の橋本進吉氏の説を見てみよう。

2.1.3. 橋本進吉氏の説

橋本氏は、単独で文節を作り得るもの(感動詞)を「詞」と名づけて、次のように四分類している。



(橋本進吉(服部四郎他(1979 : 192)))

分類によると、感動詞は「詞」に属しているが、活用がないものであり、主語とならなく、修飾接続しない、即ち形態が変わって他の語と結合し、その語を修飾することはないということが分かる。橋本氏の説による感動詞の具体的な特徴については、次のようにまとめられる。

まず、構文上で、感動詞は下の記述を見ればわかる。

「〔四〕「あゝ」「おゝ」「おや」「はい」「いいえ」などは、それ自身には断続を示す特別のしるしをもたないが、単独で文節を作る場合には、それだけで意味が断止して、一つの文となる事が出来るものである。もっとも、「あゝ/驚いた」「おゝ/さうか」「はい/さうです」「いいえ/違います」などにおいては、「あゝ」「おゝ」「はい」「いいえ」はその意味が下の語に続くけれども、その続きやうは、極めて漠然たるものであって、「非常に/驚いた」「きっと/さうか」などの「非常に」「きっと」の続き方とは非常な相違があり、却って、「あゝ。驚いた」「おゝ。さうか」「はい。さうです」「いいえ。ちがひます」といふやうな二つ文とみてもよいほどである。それ故、この種の語は意味のきれることを似て、その特徴とみてよいとおもはれる。」

(橋本進吉(服部四郎他(1979 : 189)))

「〔四〕の類(感動詞)は、それだけで文となり得るものであって、主語になる事なく、他の語を修飾し又接続する事もない。又他の語によって修飾接続せられる事も無い」

(橋本進吉(服部四郎他(1979 : 192)))

次に、意味面上、下記の通りの議論がある。

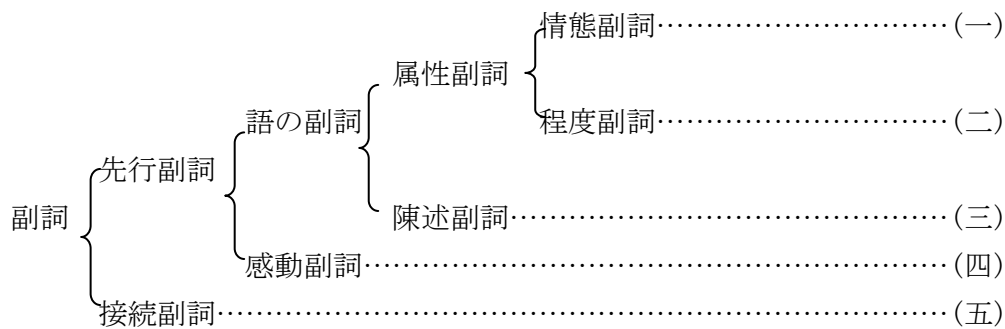
「感動詞は、感動の情又は応答を表すものであって、その内容を分析せずして、総合せられたまま言い表すものである。例えば、「はい」は「それはその通りです」、「いいえ」は「さうではありません」、「おや」は「これは変だ」のような意味をそのまま分析せずして表す。」

(橋本進吉(服部四郎他(1979 : 196)))

この記述によると、感動詞は独立性が高いものであり、単独で文節を成すだけでなく、それだけで一つの文を成すことが出来るという点にある。そして、文における他の成分と文法的関係を持たないということが考えられている。この点は、三矢重松(1908)の説により、松下大三郎(1924)の説で徹底的に解釈されない2.1.1の問題点③に回答であると考えてもよい。しかしながら、橋本氏の説による、文における他の成分と文法的関係についての解説は妥当であるかという点、まだ議論の余地がある。次に山田孝雄氏、時枝誠記氏、鈴木一彦氏の議論を見よう。

2.1.4. 山田孝雄氏の説

山田氏は、山田孝雄(1936, 1984)では、当時の日本語学における研究者によって感動詞という名目が設けられた、西洋文典の interjection (間投詞) といった感動詞をいわゆる副詞(語の副詞)、接続詞と共に副詞の中に並べて、感動副詞という名づけた。次のように引用される副詞の分類を見れば分かる。



(山田孝雄(1984 : 374))

感動副詞については、次のような点で、議論されている。
 先ず、構文上、副詞の分類のように、感動副詞は先行副詞に属している、即ちそのある文や句の頭に出てくるものである。例えば、記述された下例の「いな」「うべ」「あはれ」などである。

- ・ いな、これは余が所有なり。
- ・ うべ、かくや姫のこのもしがたりたまふにこそありけれ。
- ・ あはれ、おもしろき月夜かな。

(山田孝雄(1984 : 369))

次に、意味上、感動詞は感動した気持ち・呼びかけなどの意志の発話の前提を表し、文句の組立の上には形式上の拘束がないものである。そして、感動詞の中に感動を表す終助詞を含んでいる。更に、山田孝雄(1984 : 392)では、感動副詞は意味によって次の二種に分類されている。

- ① 驚愕、詠嘆などの感情を表すものである。例えば、下例の「あゝ」「あら」「あはや」などである。

あゝわが思ひはたり、わが心は楽しい。

あら面白の歌や。

あはや舟覆らんとしぬ

- ② 誘い・呼びかけなどの意志の傾きを表すものである。例えば、下例の「いで」「やよや」「すはや」などである。

いで目にものみせてくれむ

やよやまで山ほとゝぎすことづてむ

すはや敵こそせめきたれ

山田氏の説では、感動詞は、副詞カテゴリに入っているが、その文法的役割(感動詞と文中の他の成分との関係)は、はっきり指摘されていない。この点は、時枝誠記氏の説と鈴木一彦氏の解説でより明らかに解釈される。

2.1.5. 時枝誠記氏の説

時枝誠記氏は、江戸時代以前の伝統的な分類に従って、語を「詞(物事の表現)」と「辞(話し手の立場の直接表現)」の二つに分ける。感動詞は、まず、助詞と助動詞と共に「辞」であるとされている。時枝誠記(1950)の解説は、下記の通りである。

「感動詞は、感嘆詞、間投詞とも云はれ、話し手の感情や呼びかけ応答を表現する語である。感情、呼びかけ、応答を表現する語であるが、これら話し手の思想内容を客体したり、概念化することはなく、直接に表現するものであることに於いて、これを「辞」の一種と見ることが出来る。(中略)

他の辞と異なることは、そのやなう感情、応答の志向対象となる事柄の表現を伴はずに、それだけで独立して表現されることである。」

(時枝誠記(1950:179))

次に、構文上の特徴に関しては、時枝誠記(1989)では、感動詞が文における他の成分と文法的関係を持たないという橋本進吉博士の説と、感動詞の名目を別に立てずに副詞の中に入れていたという山田孝雄氏の説を検討され、文における他の成分と文法的関係と副詞の役割を具体的に改めて次の通りに解説されている。

「しかしながら、既に『口語篇』(一七九頁)にも述べたやうに、感動詞は、辞の性質を持つと同時に、それだけで、「文」として取扱ふことができる性質を持つてゐる。

契りおきしさせもが露を命にて、あれは、今年の秋もいぬめり（千載集、雑上）
（中略）そして、「契りおきし云々」以下は、感動詞「あはれ」を分析叙述したものである。感動詞をこのやうに見てくるならば、それは、もはや文論において取扱はれる事柄ではなく、文と文との関係、即ち文章論において取扱はれなければならない問題であることをしるのである。

あゝ、悲しいかな。

あら、面白の歌や。

あゝ、多年の苦心は遂に報いられたり。

等における傍線の感動詞は、皆、後續の文は、感動詞の内容を分析して叙述したものである」

（時枝誠記(1989:362-363)）

以上の記述によると、感動詞は、文における他の成分との文法的関係が、句や文を構成する要素としての単語の間だけでなく、文と文とのものであり、そのうちに感動詞はそれ自体が一つの文として、その後続の文から修飾を受けるものであると考えられている。この点では、いわゆる感動副詞の文法的役割は、山田孝雄氏の説よりはっきり見られるが、これは、鈴木一彦(1976)では、より詳しく説明されている。

2.1.6. 鈴木一彦氏の説

鈴木一彦氏は、鈴木一彦(1973:168-170)では、江戸時代以降の伝統的な日本語文法における研究者（鈴木胤氏、田中義廉氏、中根淑氏、関根正直氏、山田孝雄氏、三矢重松氏、保科孝氏、吉岡郷甫氏、松下大三朗氏、三浦圭三氏、安田喜代門氏、橋本進吉氏、時枝成記氏）の説を検討して、自分の立場から「詞と辞」「文と句」の定義を改める。ここでは、感動詞は、以下の記述のように、詞的要素と辞的要素との融合体であるとされている。

「感動詞は、事柄の表現ではない。同時に、「助詞」「助動詞」のように、事柄と事柄の関係を表したり、事柄に限定を加えたり、事柄についての判断を示している表現でもない。主体と客体とが分化していない表現である。たとえば、「海よ」という表現は、客体的表現「海」と主体的表現「よ」とが分化した表現であるが、海を見て「おゝ」と声をあげた時は、その「おゝ」の中には、主体と客体とが融合している。いわば、「詞」と「辞」が融合している。「あゝ」「おや」「まあ」「いいえ」などすべて同じである。つまり、詞的要素と辞的要素との融合体である。」

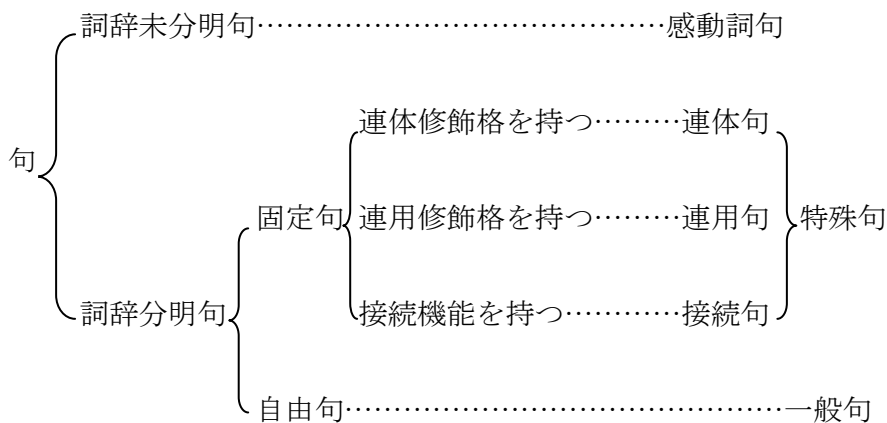
（鈴木一彦(1973:169)）

また、鈴木氏は、構文上の特徴を解説するとき、感動詞が文の中に単独で句として現れる

ということを主張して、感動詞を感動句と名づけ、山田孝雄氏の説と時枝成記氏の説による副詞といった感動詞の文法的役割(被修飾として)を詳しく説いている。次の分類と解説をみれば分かる。

「感動詞は単独で表現されると同時に後続文を伴うことが多い。例えば、「いいえ、私は知りません」において、「いいえ」だけでは、聞き手にはっきりとわからないであろう事柄を分析的に後続文として表現しているのである。「修飾する」ということが、「事柄の内容を限定する」あるいは「事柄を詳しく説明する」ことであるならば、後続文は、「感動詞」に対して「修飾」の役目をしているのである。いわゆる、「副詞」は、後続の語句・文に対しては「修飾」の役目をしている。この点、「感動詞」と「副詞」とは全く異なった性格を持つ。」

(鈴木一彦(1973:170))



(鈴木一彦(1973: 171))

よって、鈴木氏は、笑い声・泣き声・叫び声などの表現は、後続文が想定しない故、感動詞ではないと見なさないのである。

さらに、鈴木一彦(1973:170-171)では、感動詞は、意味によって次のように分類されている。

① 感情(驚きや詠嘆など)の表現。

あっ、大変だ。おやっ、へんだぞ。

ああ、苦しい。おお、寒い。おっと、あぶない。

② 意志(呼びかけ、応答など)の表現。

おい、君。こら、待って。もしもし。

はい、そうです。いいえ、ちがいます。

ええ、行きました。

○「おはよう」「こんにちは」「おやすみなさい」「さようなら」などのいわゆるあいさつ語は、その実質的意味(事柄として意味)が意識されずに表出されるので、広い

意味の①に属する。

○「まわれ右」「気をつけ」などの命令表現は、同様に②に属する。

2.1.7. 結び

以上で述べたように、感動詞は、品詞論上、一つの品詞として位置づけられ、次のようなものであると考えられている。

- ・ 概念的意味をもたず、話者の感情を直接に表すので、非分析的なものである
- ・ 自立語で活用がなく、独立語として、文頭にくるか、一文として現われる。文中で他の語を修飾しない

伝統的文法の研究者は、感動詞の独立性と非分析的意味という特徴を特に探究し、意味と構文上の機能の問題を解説している。但し、この解説は、三矢重松氏の説を述べたときの基本的な3点の問題を明らかにするために妥当であるかどうかと考えると、議論の余地がある。

2.2. 談話の研究における感動詞

最近の研究者は、伝統的文法におけるいわゆる感動詞についての観点を継ぎ、先行研究の淀まれている問題点を探究し、その本質と機能を解明することを狙っている。但し、伝統的文法の研究者は小説・詩・評論などの固まった文章を検討していたが、最近の研究者は自然談話における発話文を検討している。そして、感動詞は、主に言語運用面からのアプローチで、フィラー、あいづち、応答詞、心的処理標識、心的情動標識として研究されている。論究は多くなされているが、堀口純子(1997)、山根智恵(2002)、田窪行則(1994)、定延利之(2002)、富樫純一(2001, 2005, 2006)、森山卓郎(1989, 1996)、土屋菜恵子(1999)、日向茂男(1980)、奥津敬一郎(1988)、中島悦子(2011)が代表的であると言える。本節では、フィラー、あいづち、応答詞、心的処理標識、心的情動標識とはどんなものであるか、感動詞とどういう関係があるかについてまとめていく。

2.2.1. フィラー

フィラーに関しては、山根智恵氏の研究が最も代表的であると知られている。山根氏の説によるフィラーの定義と特徴は、要約すると以下の通りである。

まず、山根氏は、フィラーとは発話のとき、言いよどんでいるだけに止まらない表現であり、それ自身命題内容を持たず、かつ他の発話と狭義の応答関係・接続関係を持たない、発話の一部を埋める言葉であると定義している。

よって、山根智恵(1997b, 1998a)では、留守番の談話と電話の会話を考察することによ

って、フィラーの特徴が捉えられ、次のような結果が記述されている。

「その結果、両方の談話に見られる特徴として①母音から始まるフィラーが多いこと、②発話の冒頭や意味のまとまった位置、聞き手への依頼や勧誘の前によく現れること、③談話の開始部に「ア」が現れ、終結部にはほとんどフィラーが現れないこと、留守番電話の談話特徴として①「エ」から始まるフィラーが多いこと、②かけ手が再度電話をすることを伝えるときに、フィラーが現れること、電話の会話の特徴として、①「ナンカ」「ネ」の付くフィラーが多いこと、②発話の冒頭に来る割合が高いことなどが明らかになった。また、フィラーの談話上の機能として、「ア」に接触開始、「ハイ」「うん」に接触終了、「アノー」「エー」「ナンカ」に用件切り出しの機能があることを示唆し、さらに、「アノ」「エット」のように、話し手がリズムを整えるために用いる「話し手中心型フィラー」と、「イヤ」「ナンカ」「ネ」「マー」のように、話し手が聞き手に会話へ注目と参加を促す「聞き手意識型フィラー」があることを指摘した」

(山根智恵(2002:25))

山根智恵(2002)では、フィラーの機能を3点記述されている。次のようにまとめる。

① テキスト構成に関する機能：談話構造理解や発話文の組み立てに関する機能である。談話の区ざりを表す標識、換言や修正マークとして使用する。即ち、この機能には、フィラーは談話や発話の冒頭・末尾、発話節などの談話構造の段階の変わり目や発話と発話、あるいは発話の境界を示す標識になっている。例えば、下記のような、山根智恵(2002:220)では記述された「えー」「あ」「あの」などである。

(例1) えー 作家でいらっしやいます濱田玲子さんにスタジオにおいでいただきました。

(例2) あー もしもし、×××ですけど。

(例3) 管理人さんのところにおじゃまをしました。えー 名義変更のお書類は手元ないそうですので、えー4月1日に、いーいらっしやるときまでに用意しておくというふうなことでございました。

(例4) ちょうど岡山の岡山教会の同じ系統の あの いわばプロテストタントの教会にわりとたくさんの方のセクトがあったんです。

② 話し手の情報処理能力を表出する機能：話し手の話しやすさに関するもので、一度多くの情報を産出することができない話し手が、時間稼ぎや発話の調子を整えるために使用する。(沈黙を埋め、話者が言おうしていることを生成するまでの間、話者としての権利を保つ機能である)。例えば、下記のような、山根智恵(2002:221)では記述された「ま」などである。

(例18) そういう意味ではいわゆる ま 共産主義が ま 完全に崩壊をした後は ま いわゆる ま 資本主義といいますか。

- ③ 対人関係に関する機能：聞き手の存在を意識した状況で使われる。この機能には、発話者の気付き・同意・納得・興味を示したり、これからの発話に対し聞き手に注目を促したりする、聞き手目当ての強いものがある。例えば、下記のような、山根智恵(2002:226)では記述された「あ」「あの」「ね」などである。

(例 28) A: あ にちゅうも来てますよ。
C: あ にちゅうのこのちゃんからか。

(例 29) X: 融資がよかったとか
V: あ 融資がよかったです。

(例 30) A: お江戸でござる もちよいちよい見えます
B: あ ずいぶんけっこう長いことやってますよね。

(例 31) V: そろそろ昇格しないと、いけないんですけどね。
X: ああ あの
V: E4 ですか
X: あ Eにしたん

(例 32) まるのみごっくんになったら これぐらいの長さがあるん ねー 喉の奥にポトンといれたらええんやからな。

山根氏の論究によるフィラーの機能についての記述を見れば、感動詞とフィラーは別のものであると考えがちだろう。しかし、伝統的な研究における品詞上の研究に議論していた、「あ」「まあ」「おー」「ね」「いや」「えー」など、感動詞と似ているものが見られる。特に、「対人関係」に関する機能には、発話者の気付き・同意・納得・興味を示すといつて、発話者の感情を表すということも述べられている。しかも、「テキスト構成に関わる機能」、「話し手の情報処理能力を表出する機能」にも、山根氏は、以下の通りにと解説している。

「これらのフィラーが、聞き手の心情を損ねないことを第一に考えているとすれば、話し手が話し手自身の心情表出を第一に考え、その聞き手に知らせるために出現するフィラーがある。例えば、話し手自身の話題への引き込み(例 24)を図ったり、心情の高まり(例 25)、話し手自身について語るその内容が言いづらいこと(例 26)、話し手が自分の発話に納得していること(例 27)を示したりするときに用いられるフィラーである。「コー」「マー」「モー」やハイ型のフィラーが代表的なものであると言えよう」

(山根智恵(2002:224))

この点で、フィラーには、感動詞のように、発話者の感情を表すものがあるということも間接に指摘したと考えられる。即ち、意味面でも構文面でも、山根氏の観点を考えれば、フ

ィラーには感動詞としてのものがあり、それは機能①と機能②を持っているものであるということである。よって、山根智恵(2002:240)で「単語レベルのフィラーを感動詞に含めるのであれば、やはりそれなりの命名を考える必要があり、またその機能を詳細に把握しておく必要もあろう」と述べられるような疑問が出てくる。

このように、フィラーと感動詞はどんな関係があるか、即ち、フィラーと感動詞は一つの品詞であるか、それとも、フィラーは感動詞の機能であるか、感動詞の表出はフィラーの機能であるか、そうであればフィラーというものはどんなものであるか、といった問題点を明らかにすべきであると考えている。

2.2.2. あいづち

あいづちの定義については、中島平三・瀬田幸人監訳(2009)で以下の通りに記述してある。

「主要な伝達通信路の補助とみな去る伝達通信路を用いること、特に、会話分析で、一人の聞き手(順番取りの仮説によれば、「発言権をもって」いないが)から依然として「発話者の」順番となっている話し手への伝達についていえる。例えば、Aが話している間、Bは驚いたり同意したり声を発するかもしれない。しかし、これは、Bに正式に話し手となる順番がきたことを示すことではない。この場合、Bの発声は相づちとして見なされ、Bは「発言権をもつ話し手ではなくて」相づちを発声する人であるとされる。」

(中島平三・瀬田幸人監訳(2009:1))

あいづちの表現形式は、塚原千賀子(2001)の分類(7種類)を整理して、次のように例として取り上げる。

- ① うん系：うん/うんうん/うんうんうん/うーん/うんね/うんそう/うんなんかね/う、うーん/んー
- ② え系：えー/えーえー/えーえーえー/えーね/えっ/ええっ/ええー/ええっあそう
- ③ はい系：はい/はいはい/はいはいはい/はっはい/はいー
- ④ あ系：あー/あーあー/あーあーあー/あーはー/あーはいー/あーそう/あーそうね/あーそうか/あーそうですね/あーそうなんですか/あーこういうね/あーはーはー/あーはいはい/あっ/あっはい/あっそう/あっそうですか/あっそうなんですか/あっそうです
- ⑤ そう系：そう/そうそう/そうそうそう/そうね/そうだよ/そうです/そうですよね/そうなんだよ/そうなんですか/そうなんですか/そうなんですよ/そーう
- ⑥ はへほ系：はー/はーはー/はーはーはー/はーそう/はーうんうん/ほー/へー/ねー/ねーえー/ふーん/ふんふん/ふんふんふん/おー
- ⑦ そのほか：あら/あーらー/あらま/あらららら/まあ/まーね/うわー/でしょう/なるほど/なるほどね/いやー/いえいえ/いえいえいえ/いやいやいやねー/うそ。

また、あいづちの機能は、次のように堀口純子(1997)によって5種類に分けられている。

- ①「聞いている信号」：聞き手は話し手の話しを聞くことの言語表現。
- ②「理解している信号」：聞き手は、話し手の言うことを聞きながら理解した時に、「わかった」という表出する言語表現。
- ③「同意の信号」：聞き手は、話し手の言うことを聞いて理解し、さらにそれに同意だという信号。
- ④「否定の信号」：聞き手は、話し手の言うことを聞いて、理解したことが、賛成ではない或いは納得できないというような信号。
- ⑤「感情の表出」：聞き手は、話し手の言うことを聞いて感じた驚き、喜び、悲しみ、怒り、疑い、同情、いたわり、けんそんなどいろいろな感情を表す言葉。

あいづちの定義、表現形式、機能についての記述を見れば、その特徴がかなり感動詞に似ているから、あいづちと感動詞は一つの品詞であるということを考えがちだろう。

但し、あいづちについての観点は研究者によって違っている。それと共に、その定義と機能についての議論もさまざまなされている。例えば、堀口純子(1997: 97)では、「話し手が発話権を行使している間に聞き手が話し手から送られた情報を共有したことを伝える表現という表現」、小宮千鶴子(1986: 45)では、「応答表現の中で、話し手の発話に対し、自由意志に基づいて、肯定・否定の判断を表明することなく、単に『聞いている』『分かった』という意味で用いられるもの」、黒崎良昭(1987: 120)では「話者の発話に対して、肯否などの判断を表明することなく、ただ単に『聞いていますよ』『分かりますよ』という信号を送る段階の応答表現をあいづちと呼ぶ」、メイナード、泉子・K(2002: 58)では「「あいづち」とは話し手が発話権を行使している間に聞き手が送る短い表現(非言語行動を含む)で、短い表現のうち話し手が順番を譲ったとみなされる反応をしめしたものは、あいづちとしない」など、という定義をされている。

このように、あいづちと感動詞はどんな関係があるか、即ち、感動詞とあいづち詞は一つの品詞であるか、それともあいづちは感動詞の機能であるか、そうであれば、あいづちはどんなものであるか、というような問題点がある。

2.2.3. 応答詞

応答詞といえば、疑問文に対する肯定的応答の「はい」と否定的応答の「いいえ」が頭に浮かぶだろう。しかし、日向茂男(1980)、奥津敬一郎(1989)、田窪行則(1997)、森山卓郎(1989)、定延利之(2002)、中島悦子(2011)の記述によると、自然談話には、単に疑問文に対する表現には、「はい」「いいえ」だけではなく、ハイ系には「はあ」「うん」「そう」「ええ」があり、イイエ系には「いえ」「いや」「ううん」もあるということである。しかも、これらは、疑問

に対する応答という機能だけでなく、発話者の感嘆などの感情・意志を表すとも言われる。研究者の機能分析と分類に見られる。以下のようにまとめていく。

2.2.3.1. 日向茂男氏、奥津敬一郎氏、中島悦子氏の説

中島悦子(2011)では、日向茂男(1980)と奥津敬一郎(1989)の解説と分類を記述され、自然談話の実態で検討され、詳しく解説されている。要点にすれば、次のようである。

日向茂男(1980)では、談話の基本的な単位として先行文と応接文の組み合わせを設定され、先行文は感嘆文・平叙文・質問文・命令文に4分けられ、応接文は主として「はい」「いいえ」の応答語から成り立つとされている。応答語「はい」などは先行文の性質に応じて肯定・同意・賛成・了承といった意味を表すと考えられている。

奥津敬一郎(1989)では、「ハイ」と「イエ」を、先行発話があるものとないものに大きく2分け、前者を応答表現、後者を非応答表現と呼ばれている。さらに、応答表現を先行発話が応答を要求する文(応答要求文と呼ぶ)か、応答を要求しない文(応答非要求文と呼ぶ)かによって、応答の機能を分類すると記述されている。応答要求文の例としては、次の(5), (7), (8), (9)であるが、応答非要求文の例としては、次の(27), (31), (34), (35)である。

(5) 4時?

はい。

(7) これー、こん、これで3本分だったんですか。

うん。

(8) なんか有名なものですか。

ううん。↑

(9) 日本画ですか↑その★方。

→いえ→いえ、★彫刻家です。

(中島悦子(2011 : 103-104))

(27) その時に、その企業側から見たら、(うんうん inf(女))労働者がやってきて、えー、実は、(うん inf(女))もううちのおばあちゃんが、(うん inf(女))もう、働けないんで、えー、その介護しなきゃいけないんで、(うん inf(女))お休みくださいと、(うん inf(女))企業ゆわれても、えー(そうね inf(女))どうしようかと、(うん inf(女))ほんとにそうなの(うん inf(女))かとう話になってきた時ですね。」

(中島悦子(2011 : 106))

(31) きノウはどうもありがとうございましたー。

いいえ。

(34) すごくいい勘ですよ。(笑い)
いやー、でも、色がお白くなったような。

(35) ちょっと汚いおさ、つが★入ってるけど。
→いえいえ、←# # # # #です。

(中島悦子(2011 : 107))

特に、応答非要求文には、非応答表現もあると述べられている。それは、(36), (37), (38)のように、文頭・文末に現れる「はい」、文頭に感嘆の意味を表す「いや」である。

(36) じゃ、はい、どうぞ。
ありがとう。(笑い)

(37) 進路ニュースは生徒用ですが、保護者にも今日のみ、置いときます、はい。

(38) いやあ、ちょっと時間が長すぎて、# # # 顔見ることができなくて、残念でした、★テレビの。

(中島悦子(2011 : 107-108))

さらに、中島悦子(2011)の記述によると、「いや」は、(1)のような否定だけでなく、(2)のように肯定の意味をもつ礼儀応答、(3)のような感嘆、(4)のような先行の自己発話否定などの意味を表すということである。

(1) お金わたしたんでしょ。
いや、それは一、交付金でしょ。

(2) ごめんなさいね、なんか。
★いや、なんか、いえいえ。

(3) いやあ、元気ですね。

(4) ええいやいやー、最後一、じゃ、ないほうがーいいんでしょうね。

(中島悦子(2011 : 100))

2.2.3.2. 森山卓郎氏の説

森山卓郎(1989)では、応答詞は、談話管理のシステムの一つとして、応答の表現を広く考えられ、談話標識としての応答の形式の意味と機能を次のように解説されている。

まず、応答とは談話展開の標識の一つであると見られ、応答とその辺を展開制御系統と態度表明系統に、以下の通りに分けられている。

①展開制御系統：「おいおい、何をいうんだ」の「おいおい」のような、先行コンテキストとの関係を打ち切って、新たな展開を図るものとして使用される、即ち会話の順番とりや、新たな談話展開の手段として使われることにより、談話における情報伝達の関係・内容などの展開を制御するものを展開制御系統という。例えば、「おい」「あの一」、「はい」、言い淀み、通常言われる接続詞「さあ」、副詞「まあ」、感動詞「いや」「あー」、「あーそうだ」「あっそうそう」などが、次のような例の下線部に見られる。

- ・ さあ、行こう/行け。
- ・ さあもう3時だ。
- ・ ま、それに、たまには、人の予想を研究材料にしてもいいと思ってたんだ。
- ・ いや、あの連中ときたら、
- ・ A: うそだろ。

B: いや、本当

- ・ (別の話題の中で) あ、そうだ。きのうのチケットある？

(森山卓郎(1989 : 73-74))

② 態度表明系統：先行文に対して、談話の促進・伝達の停止を表すものと、賛成・反対・留保(言い淀みも含む)の反応を表すものである。次のように三種類に分けられる。

- 伝達自体に対する応答

聞き取り表示類：うん、ふん、はい、(はあ、ああ)

伝達続行指令類：それで、で、(ふんふん)

伝達停止表示類：え？、はあ？、待って、

- 策動文に対する応答(先行文が働きを要求する)

承諾系：「はい」「ええ」「はいはい」などの聞き取り、「もちろん」「そりゃあもう」などの当然類、「わかりました」「よし」、「かしこまりました」などの同意類がある。

拒否系：「いやだ」「ことわる」「だめだ」などの不同意類、「できない」などの不可能類がある。

関係修復優先の原則：対人関係(上下など)における利益(反利益)が関与する場合には、「いやだ」「だめ」などで直接的拒否の表明することができなくて、その代わりに「すみません」「ありがとうございます」「できません」などを使わなければならないということである。

- 認識的文に対する応答(先行文が認識的な伝達の場合)

応答者には情報がない場合：「へええ」「ふーん」「あつ」「ほほう」「えっ」などの驚き表示類、「あーそう」「そうですか」「やはり」「なるほど」「ああ」「もっとも」「あーそうだね」などの導入表示類

応答者には情報がない場合：先行文の応答要求文に対しては、判定(Yes-No)の疑問文の場合には賛成・反対の応答であるが、不定の疑問の場合には聞き取り表示か、もしくは、留保のタイプのほか、特に定式化された応答詞はない。具体的な形式としては、「うん」「ふん」「はい」「はあ」「ええ」「ああ」伝達制御系、「もちろん」などの当然類、「その通り」「本当本当」「そうだ」「そうなんだ」「そうね」「ね」「全く」などの賛成認定類、「いえ」「いや」「いやいや」「違う」などの反対の表明類、「そうだね」「なにだね」などの留保返答類、「うーん」「まあ」「えーと」などの言い淀み類がある。

- ③ 聞き取り表示類の肯定の規則：聞き取って敢えて反対しないということが自動的にその情報を認定することになるとか、中立的な応答が肯定的な意味となるとかということである。よって、「もちろん」などの当然類が表すのは当然という含意であり代用できるものも聞き取り表示と同様である、即ち策動文に対する肯定応答(承諾類)と、認識文に対する肯定応答(賛成類)である。

2.2.3.3. 田窪行則氏・金水敏氏の説

いわゆる応答詞は、田窪行則・金水敏(1997)では応答詞・感動詞類という名を付けられ、次の通りに記述されている。

「口頭語では、「え、ああ、へえ、ふうん、ああ、ま、あの、ええと、その」といった類のことばをよく使用する。これはほとんど無意識で反射的音声単位であり、日本語処理では雑音として無視するのが普通である。しかし、まったく意味ではない証拠に、それぞれの音形式の使用には多くの制約があり、自由に交換して使えるわけではない。これらの感動詞、応答詞は、いってみれば、心的な過程が表情として声に現れたものである。これは、心的な過程が顔の表情や、身振り、手振りに表れるのと似た過程であると考えられるかもしれない。相手の心的状態が表情、身振り、手振りから読み取れるように、感動詞、応答詞から読み取れるのである。身振りや手振りもまったく記号されていない生理反動的・自然発生的なものから、頷き、首振りによって肯定・否定を表したり、手を振って「さいようなら」を示したりする記号的なものまでさまざまである。音声による心的過程の反映も、うめき声、叫び声は(演技を除けば)まったく非随意的なのに対し、ここで扱う感動詞・応答詞はある程度の記号化がなされている。」

(田窪行則・金水敏(1997：260-261))

この解説をみると、感動詞と応答詞を対話処理操作の心的モニターと見なされて、一つの語類(一つの品詞)として応答詞・感動詞の類という名付けられている。応答詞・感動詞類は、心的モニターとしては、どのように定義されているか、よってどんな機能をもつかについては、次の2.2.4に詳しく説明する。

以上より、感動詞と応答詞は、あいづちとフィラーの関係にあるような問題点が見られる。即ち、感動詞と応答詞は一つの品詞であるか、それとも感動詞が応答詞の一部であるか、あるいは応答は感動詞の機能であれば、応答詞はどんなものであるか、という疑問がある。

2.2.4. 心的標識(心的モニター)

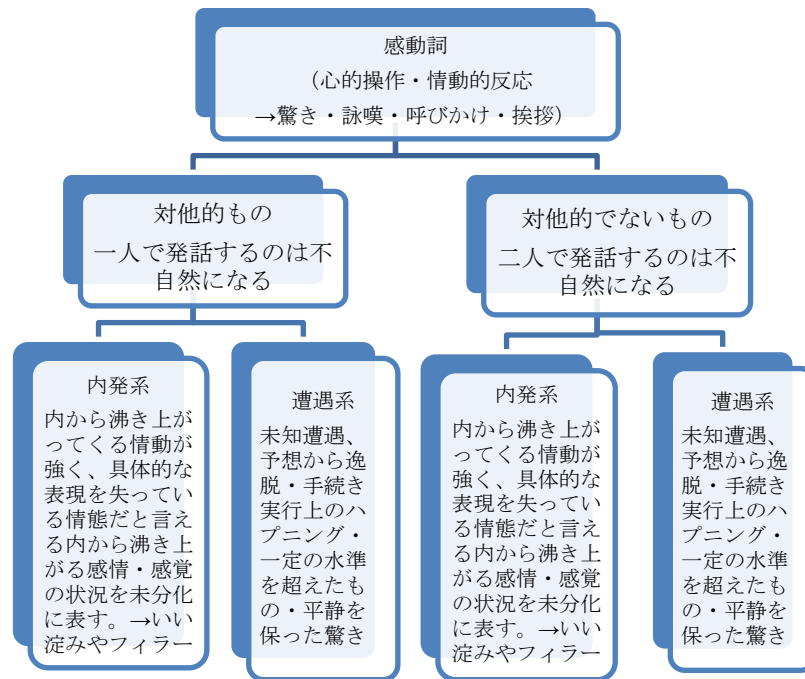
感動詞を心的標識として議論されている代表的な研究者は、森山卓郎氏、田窪行則氏、金水敏氏、定延利之氏、富樫純一氏である。ちなみ、森山氏は感動詞を心的情意変動標識(話者が何かの状況に遭遇したとき、心の中で感情の変動が起こって発したもの)としている。田窪氏は、金水氏、定延氏、富樫氏と共に、感動詞を心的情報処理標識(話者の頭の中で起きている言語情報処理操作を音声的身振りとして外部に反映したもの)としている。両説は、それぞれ、以下の通りである。

2.2.4.1. 心的情意変動標識(森山卓郎氏の説)

森山卓郎(1996)では、感動詞を大きく分類され、情動的反応を表す感動詞の意味用法を、「泉」の比喻を使ったモデルで整理されている。この「泉」というモデルについては、以下のように述べられている。

「感情と情動のありようを、大きく、「泉」にたとえるモデルを考える。内部から感情が「湧き上がる」こともあれば、外部からものが飛び込んで「心に波紋を広げる」こともあるという点に注目したいからである。事実、情動を表すいくつかの表現には、そういったメタフォリカルなとらえ方が共通して見られる。なお、後者の場合でも、泉の物が投げ込まれた時の最初の水面とのコンタクトの段階と、物が水底に達して泥などがもわっと湧き上がるという段階とがあるが、これと同じように、情意的反応にも段階があるように思われる。もちろん、外部環境からの刺激自体もさまざまな種類が考えられる。」
(森山卓郎(1996:54))

そして、「ああ」のような内から湧き上がってくる感情を表す内発系感動詞と、なにかに遭遇した反応である、「おや、おっと」「わあ、きゃあ」などの遭遇系感動詞を分類する。後者は、未知との遭遇、予想から逸脱、手続き実行上のハプニング、情意変動の大きさなど、さまざまな心的操作・情動の違いによる使い分けが整理した。



【図 1】

【図 1】を見てわかるように、先ず、感動詞を中心が対他的発話であるかどうかを中心にし、その意味的機能によって、以下のような二つに大別される。

- 対他的ではないもの(他者に伝達機能をもてない、一人で発話できるもの)：情動的な感動詞(わあ、おお、まあ、げっ、ああ、...)と掛け声(よっこらしよっと、どっこいしょ、...)
- 対他的であるもの(他者に伝達機能を持つ、一人で発話して不自然になるもの)：挨拶・呼びかけ(おはよう、よっ、ねえ、おおい...)、応答詞(はい、いいえ、へえ、...)、いい淀み(あああ、えええ、ううん、...)

次に、それぞれが、情動的反応を表す感動詞の意味用法を「泉」のモデルで内発系感動詞と遭遇系感動詞と、次のように分類されている。

- 内発系感動詞：何かに感動して言葉を失ったような場合の「うーん」など、同様に、内から沸き上がってくる情動が強く、具体的な表現を失っている情態だという。これは、言い淀みとしての「ううん、痛い」(森山卓郎(1996: 55))の「うーん(ううむ)」に連続するところである。内から沸き上がる感情・感覚の状況を未分化に表す。音韻形態的には、二モーラ以上の拍数もつものが多い。例えば、「ああ」「ううん」「あああ」などである。
- 遭遇系感動詞：情意変動が、何かと遭遇して、急減に起こることを表す。そういう意味で刺激に対する言語主体の反応を表す。例としては、「あれ？うわあ！何だこ

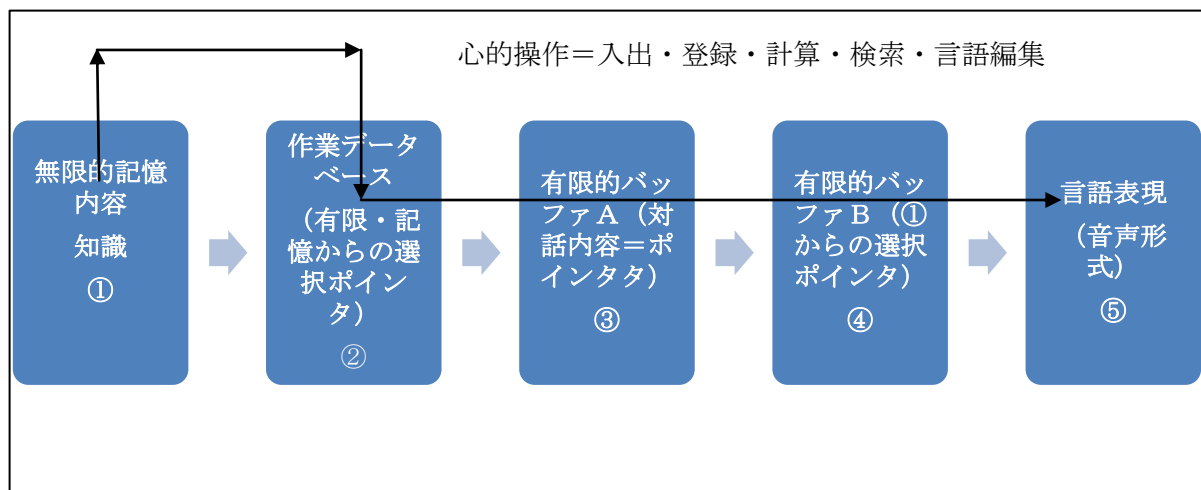
れは？」(森山卓郎(1996:55))の「あれ」「うわあ」などに見られる。この系は、次のような小さく一次系と二次系に細分されている。

- ・一次系：未知遭遇の「あ」「あれ」「あら」「おや」「え」など
予想から逸脱・手続き実行上のハプニング：おっと、よいしょっと、
- ・二次系(情意変動そのものの表示)：
一定の水準を超えたもの：うわあ、まあ、わあ、きゃあ、...
平静を保った驚き：おお、おっ、ほう、まま、...

2.2.4.2. 心的情報処理標識

2.2.4.2.1. 田窪行則氏・金水敏氏の説

田窪氏は、田窪行則(1994)で、言語情報処理学の観点で感動詞を談話管理標識として分析し、音声対話の言語学的モデルを挙げ、知識データベースの再新操作とみる立場から言語の運用モデルを構成した。【図2】のようにまとめる。



【図2】

【図2】をみると、対話参加者の情報の受け渡しに記憶内容や知識から言語化する過程が見られる。この過程はどのように行うか、そのうちに感動詞・応答詞がどのように成り立つか、というと、次のように解説することができる。

対話の際、対話参加者は、先ず、①の長期知識の一部を活性化させ、対話者や対話の目的に特化した作業データベースに作成する。ここで対話内容が構成されて、作業バッファAにデータファイルのポインタとして転送される。このバッファは、基本的には、メンタルスペース的構成物で、要素と関係からなる増加可能集合であり、作業記憶としてその容量の制約を受ける。場合に応じて、作業バッファ自体を要素とし、そのバッファのポインタを別のバ

バッファBに一時的格納することができる。文産出に際して、バッファの内容を言語学的制約に基づき、言語化して、音声式に現れた言語表現が出てくるということである。このモデルで、言語表現は記憶内容や知識そのものを直接指示するのではなく、記憶や知識内容へのインデクスを操作するのである、即ち言語表現はある種のファイルの名前のようなものを操作し、そのファイルの内容が知識データと繋がっているから、文理解の場合、解析された言語表現は作業バッファを通る際、文構造がなくなり、知識表現に落ちてデータベースに格納される。そのゆえで、この際、指示の同定、述語付け等の、対話内容の構成そのものに関わる操作だけでなく、情報の入出力制御、操作の制御、命題内容構成の制御に関わる心的操作が行われる。このような操作は、原則として心的なもので外部には出ないが、一部は音声形式として現れる。応答詞・感動詞類の場合は、この過程で、その機能がインターフェースレベルや知識ベースにおける検索や登録、演算に関する心的モニターである。即ちそれらの操作が行われている間に応答詞・感動詞類が心的情報処理操作の標識として成り立ったのであると考えられる。感動詞の音声形式は、口頭語では、「え、あ、へえ、ふうん、ああ、ま、あの、ええと、その」と言った類の言葉を多く使用する。これは、殆ど無意識で反射的な音声単位であり、外部からの言語的・非言語的入力があったときの話し手の内部情報処理状態の現れと考えるとその機能が捉えることができるということである。例えば、対話の際、新規の入力があれば、対話者は、この入力に対応して特定の心的情報処理状態へ移行する。これらの形式は、それぞれの心的処理状態に対応したフラッグのような役目を果たす。つまり、知識ベースへの書き込み操作や、そこからの推論操作、表現やデータの検索操作等をする際に自分の操作を制御しモニターするためのマークである。これらを音声にして発するのは相手に自分の内部処理状態を知らせて、いわばマン・マンインタフェースの役目を果たさせている。聞き手からすればこれらを聞くことにより相手の処理状態の内容を察知することができ、どのような反応がかえってくるか、その大体の方向性を具体的な内容を持つ発話がなされる前に察知することができるということである。

したがって、田窪氏は、感動詞(応答詞を含んでいる)を便宜上「入出力制御系」と「言い淀み系」に分けている。田窪行則・金水敏(1994, 1997)の記述によると、次のように総合的にまとめられる。

①入出力制御系：

- ・ 応答系：下降イントネーションの「ああ、はい、はあ、ええ、うん、んん、ふん」と、いいえ、いえ、いいや、いや、いやいや
- ・ 意外・驚き：上昇イントネーションの問い返し「は、はあ、え、ええ、へえ、ふん」と、あつ、えつ、はつ、ふんつ、あれ、あら、おや、おお、わあ、おつ、わつ
- ・ 発見・思い出し：あ、あつ、はつ
- ・ 気付かせ・思い出せ：ほら、そら、それ
- ・ 評価中：ふうん、へえ、ほお(穏やかな上昇または高平長)
- ・ 迷い：ううん(平坦または穏やかな下降)
- ・ 納得：ふうん、へええ、ええ(低平長)
- ・ 嘆息：あ(/は)あ、お(/ほ)お、う(/ふ)うん(穏やかな下降)

②言い淀み系：

- ・ 非語彙的形式：え、ええ、単語末母音の長音化
- ・ 語彙的形式：
内容計算：ええ(っ)と、ううんと
形式検索：あの(一)、その(一)、この(一)
評価：ま(あ)、なんというか、なんか、やっぱり

2.2.4.2.2. 富樫純一氏の説

富樫純一氏は、田窪行則氏や森山卓郎氏のような総合的な見地で、また田窪行則・金水敏(1997)で示された心的処理状態を示す「データベース」「バッファ」を組み合わせたモデルで、具体的な例でそれぞれの感動詞の機能を検討している。例えば、富樫純一(2001)では、感動詞を情報の獲得を示す談話標識として議論しているとき、感動詞「あっ・「えっ・おっ」の「あ」系、「ふん・へえ・ほう」の「ふん」系、「はい・うん・はあ」の「はい」系の機能を記述している。次のようにまとめる。

- 「あ」系はバッファへの情報書き込みという処理操作を示す標識である。
「あっ」：バッファにない新規情報を獲得したことを示す。
「えっ」：バッファにある情報と新規獲得情報との一致率が低いことを示す。
「おっ」：バッファにある情報と新規獲得情報との一致率が高いことを示す。
- 「ふん」系はデータベースへの書き込みという処理操作を示す標識である。
「ふん」：獲得した情報がデータベースに書き込まれたことを示す。
「へえ」：獲得情報に肯定的属性を付与してデータベースに書き込んだことを示す。
「ほう」：獲得情報に強い肯定的属性を付与してデータベースに書き込んだことを示す。
- 「はい」系は情報の linking を示す談話標識である。
「はい」：semiactive な情報に多く link していることを示す。
「うん」：semiactive な情報に多く link が中程度であることを示す。
「はあ」：semiactive な情報に多く link が少ないことを示す。

また、富樫純一(2002a, 2002b, 2005a, 2005b, 2005c, 2006)では、さまざまな用例で「ふん」「はい」「うん」、「あっ」「わっ」「ええ」「いいえ」を検討し、その機能を記述した。すなわち、先行文脈等で得られた情報が、バッファに格納される「活性情報」と、データベースに格納される「半活性情報」にどのように関連付けられるかによって、機能としてそれぞれの感動詞が話し手のどのような心的処理状態を示すかを説明している。次のようにまとめる。

- 「ふん」：提示された情報がデータベースに格納されたことを示す。あるいはその情報が活性化していないことを示す(富樫純一(2002a))

「はい」：提示された情報に対し、それに関連した半活性情報が多数呼び出されたことを示す（富樫純一(2002b)）

「うん」：提示された情報に対し、それに関連した半活性情報が少数しか呼び出されなかったことを示す（富樫純一(2005a)）

「あっ」：変化点の認識を示す（富樫純一(2005a)）

「わっ」：心内で活性・半活性状態にある情報群とは関与しない情報が取り込まれたことを示す（富樫純一(2005b)）

「ええ」：まとまった情報を獲得した上での、データベースへのアクセスを標示する（富樫純一(2005b)）

「いいえ」：提示された情報そのものの整合性計算の結果、不整合となったことの標示（富樫純一(2006)）

以上で述べたように、森山卓郎氏の説と田窪行則氏他の説では、言語表現生産過程において感動詞が言語記号としてどのように成り立つか、その機能は何かという解説が有効であるが、言語運用面には有効であるかどうかは問題になるだろう。なぜかという、感動詞は、そもそも日常会話に無意識に無限な文で発されたものであって、実際に心的標識として精密に検討するのが難しいわけである。

2.2.5. 結び

感動詞は自然談話で考察され、フィラー・あいづち・応答詞として研究されているが、議論の問題点がまだある。即ち、感動詞とフィラー・あいづち・応答詞は一つの品詞であるか、それともフィラー・あいづち・応答詞が感動詞の機能のようなものであるか、そうであれば、これらと感動詞の境界(判定基準)は何かという疑問がある。ちなみ、感動詞を心的標識としても研究されているが、それを捉えるにも困るという問題点があるだろう。よって、感動詞の機能はまだはっきり見られてないのである。しかも、感動詞の本質も薄くなっていく恐れもあるだろう。

2.3. 感動詞の分類

従来研究においては、研究者のアプローチと観点によって感動詞の分類が違う。しかし、要するに、意味的機能と統語的性質に基づく。次のようにまとめる。

2.3.1. 意味的機能による分類

感動詞は、主に「感情」「応答」「呼びかけ」「発話の意志」という意味を表す四つの機能を基づいて分類されている。こういう分類は、伝統的な文法の研究者の論考にあるが、例え

ば小池清治他(2007:84)の記述に見られる。

- 「A 感嘆などの感情を表出するもの ①ああ／あら／おや／へえ／まあ／②さて／なんと／それ(かけ声)／どれ(ものをのぞきこむこと)／畜生
 B 呼びかけ おい／こら／ねえ／もしもし
 C 応答 はい／いいえ／うん／ええ
 D 発話の意志を表すもの。つなぎ言葉 あー／あの／えー／えーっと」

(小池清治他(2007:84))

2.3.2. 統語的性質による分類

統語的性質による感動詞の分類について論考はもの少なく、あいづちとしての分類に限って見られる。但し、感動詞としての分類は、土屋菜恵子(1997, 1999)に見られる。次のようにまとめる。

土屋菜恵子氏は、10編の対話コーパスを基に、「ふうん・へえ・ほう」「はい・ええ・うん」「いいえ・いえ・いや」「あ・ああ」と取り上げる感動詞を大きく4つに分類し、この分類ごとに、感動詞に続く発話、先行する発話に着目しながら考察を行っている。特に、「そうですか」「そうですね」といった「そう」を含む「ソウ形コメント」が共起している例を全データから取り出し、各感動詞がどのようなソウ形コメントと共起できるか、観察して、記述した。次に引用された表のように見られる。

① ふうん系(ふうん・へえ・ほう)

感動詞	共起している「ソウ形コメント」
ふうん	〈分類1〉 そうですか、そうなんですか、そうか 〈分類4〉 そう、そうかね、そうだろうね
へえ	〈分類1〉 そうですか、そうなんですか
ほう	〈分類1〉 そうですか、そうなんですか

(土屋菜恵子(1999 : 243))

② いいえ系(いいえ・いえ・いや)

感動詞	共起している「ソウ形コメント」
いいえ	〈分類 1~4〉 なし
いえ	〈分類 4〉 そうではないんです、そうではなくて
いや	〈分類 1〉 そうか 〈分類 3〉 そうですね 〈分類 4〉 そうじゃないんですが、そうじゃなくて、そうじゃないだろう、 そうなんでしょ

(土屋菜恵子(1999 : 248))

③ はい系(はい・ええ・うん)

感動詞	共起している「ソウ形コメント」
はい	〈分類 1〉 そうですか、そうでございますか 〈分類 2-B〉 そうなんです 〈分類 3〉 そうです、そうでございます、そうですね、そうでございますね、そうですね。 〈分類 4〉 そうそう、そうですが、そうですけれども
ええ	〈分類 1〉 そうですか 〈分類 2-B〉 そうなの、そうなんです、そうなんですよ、そうなんです、 そうなんですよね 〈分類 3〉 そうです、そうでございます、そうですよ、そうですね、 ですよ 〈分類 4〉 そう、そうそう、そうですね
うん	〈分類 1〉 そうですか 〈分類 2-B〉 そうなのよ 〈分類 3〉 そうだ、そうです、そうだね、そうですね、そうですよね、 〈分類 4〉 そう、そうそう、そうそうそう、そうね、そうねえ、 ですよ、 そうですね、 そうかね、 そうかもしれなわね、 そうかも ね、 そうなんだけれどねー

(土屋菜恵子(1999 : 246))

④ あ系(あ・ああ・あっ・あー)

感動詞	共起している「ソウ形コメント」
あ	<p>〈分類1〉 そうですか、そうでございますか、そうございましたか、そうでいらっしゃいますか、そうでらっしゃいますか、そうか、そうかそうか、そうなんですか。</p> <p>〈分類2-A〉 そうなんだ、そうなの</p> <p>〈分類3〉 そうです、そうですね、そうでしたね、そうだね、そうですよね、そうだよね、そうだ、そうだそうだ</p> <p>〈分類4〉 そう、そうそう、そうね、そうよね、そうかなー、そうかもしれませんね</p>
あっ	<p>〈分類1〉 そうですか、そうでございますか、そうでらっしゃいましたか、そうか、そうなんですか</p> <p>〈分類2-A,B〉 そうなの、そうなんですよね</p> <p>〈分類3〉 そうです、そうですね、そうですよね、そうだよ、そうだ、そうだそうだ</p> <p>〈分類4〉 そう、そうそう、そうね、そうですけど、そっかなー、そうかもしれませんね、そうかしらねえ、そうですってね</p>
ああ	<p>〈分類1〉 そうですか、そうでございますか、そうございましたか、そうでいらっしゃいますか、そうでらっしゃいますか、そうでらっしゃいましたか、そうか、そうなんですか</p> <p>〈分類2-A,B〉 そうなんだ、そうなの、そうなんです、そうなんだよ</p> <p>〈分類3〉 そうです、そうですね、そうですよね</p> <p>〈分類4〉 そう、そうそう、そうね、そうよね、そうかも、そうかもしれないねー、そうですね、そうですねえ</p>
あー	<p>〈分類1〉 そうですか、そうでしたか、そうでございますか、そうでいらっしゃいますか、そうでいらっしゃいましたか、そうでらっしゃいますか、そうでしょうか、そうか、そうかそうか、そうなんですか、そうなのかー、そうでもないか</p> <p>〈分類2-A,B〉 そうなんだ、そうなの、そうだったのー、そうなんです</p> <p>〈分類3〉 そうです、そうですそうです、そうですね、そうだね、そうですよね、そうだよね、そうだ</p> <p>〈分類4〉 そう、そうそう、そうね、そうすね、そうですかね、そっかなー、そうでしょ、そうですねー、そうございませうね、そうございませうね、そうでいらっしゃいませう、そうかもしれないわね、そうなんだけれども</p>

(土屋菜恵子(1999 : 251))

2.4. 先行研究への概観・問題提起

従来の研究では、感動詞についての論究が多くなされている。それぞれの研究は感動詞の言語学的な本質と機能を狙って、その特徴を探究している。

伝統的文法の研究では、品詞論・構文論の観点で、小説・詩・評論などの文章における別々の文で感動詞を観察し、その定義と品詞分類を中心に議論していた。その結果は、感動詞は、学校文法においては、一つの品詞として位置づけられているが、「詞」か「辞」、「文」か「句」、「語」か「文・句」であるか、即ち一つの品詞として認めないこともあって、今まで決定的結論に至っていない。それでも、感動詞といえ、高い独立性と非分析的意味をもつものであるということ、固有な特徴として次のように考えられている。

- ・ 非分析的意味というのは、話者の感情を直接に表す(当時に直接に発した)ものであって、概念的な意味を持たず、その内容を分析しないものである。
- ・ 独立性というのは、自立語で活用がなく、独立語として、文頭にくるか、一文として現われる。文中で他の語を修飾しない。

したがって、その後の研究者(現代的文法の研究者とも呼ぶ)は、こういう特徴を把握して、言語運用論・言語情報処理学論などのアプローチで探究している。感動詞は自然談話でフィラー・あいづち・応答詞として考察されている。心的標識(心的情意変動標識・心的言語情報処理標識)という名目と概念もでてきた。感動詞の新しい機能もかなり捉えられてきた。

しかしながら、現在まで、2.1.1に分析したように、三矢重松氏の説による伝統的文法の基本的問題点には妥当的な解説がまだなされていない。いわば、伝統的文法の研究者と現代的文法の研究者は、それぞれ違うアプローチで探究されているが、基本的に、固有な特徴といった感動詞の非分析的意味と独立性を重視しているということが見られる。ところが、これらの特徴は、感動詞に限っていない。即ち、接続詞・副詞・間投詞と呼ばれているものでも、あいづち・フィラー・応答詞と呼ばれているものでも、こういう特徴を持っているわけである。これらと感動詞は一つの品詞であるか、それとも違う品詞であるか、またそうであれば差別は何にか、という問題点は、従来の研究においてなかなか指摘されていない。つまり、感動詞とは何かという言語学的本質と、どんな機能をもっているかということは、まだはっきりしていない。この点は議論の余地があると思われる。

さらに、史的研究をみると、言語表現は意味の変化や品詞転成などの現象があるから、その独立性の度合も変わる可能性があるだろうか。特に、三矢重松氏の記述を見ると、感動詞は文中に「と」が後に付いて名詞や動詞の前に出てきて名詞や副詞としての役割をする可能性もあるだろう。この点を明らかにするためには、文中における感動詞と他の品詞との関係を検討すべきであると考えられる。

以上より、感動詞には固有な特徴である非分析的な意味が変ることや、独立性の度合が一定ではないという疑問が湧いてきた。ゆえに、感動詞の言語学的本質を解明するためには、その意味と独立性の変化を考察するのが必要であると思われる。本論文ではこれらの問題点を解明していきたい。

3. 本研究の立場

3.1. 研究動機・目的

従来、感動詞の言語学的本質と機能についての研究は多くなされているが、決定的結論に至っていない。即ち、感動詞を一つの品詞として立てられるのか、またその機能が明確になっていないという問題があるのである。従来の研究は、2.4に述べた感動詞の固有な特徴に基づいて議論していた。しかし、史的研究をみると、その特徴については、非分析的な意味が変わることや独立性の度合が一定ではないという疑問が湧いてきた。また、若年層の談話において、感動詞の機能に変化も見られる。いわば、従来研究の対象とした感動詞「えっ」「へー」「あー」「うーん」「いやー」「うんうん」などは、独立語として文頭にくるか、一文として現れることが頻繁に見られるが、若年層の言葉を考察していると、これらの感動詞が(2)～(8)のように文中に入って、前後の語に繋り、文の構造要素として現れる現象がある。

(2) 010326B：おやが公務員じゃけすごいすすめてくるけどさ、うーん。そこまで頑張
ってまでやりたいことがあるかっていったら、

010327A：あー。

010328B：やっぱりうーんってなるわけよ。

010329A：なるほどね。

(3) 020446B：最初そんなこと考えてなくて、免許証とられて、ちょっとショック受け
またね。

020447A：んー。

020448B：少し、少し。えーって。ちゃんとそのお店行って、電話する前に行って、
それで店の雰囲気を見て選ぼうかなみたいな。なんも知らずに焼き肉屋
行ってがっかりしたんで。

020449A：あー。

(4) 010614B：あの一、エスカレータの近くのやつ。

010615A：あー。

010616B：行って、行こうやあって言われて、私ブランド物超興味ないのにとか思
いながら行って、2人でずっと見とって値段がうわーみたいな。

01A0617A：わー。

(5) 020241A：中国って興味あるん？

020242B：えーと、

020243A：学科何？

020244B：観光、国際経済の。

020245A : あー、観光。

020246B : 中国語も確か。けっこういける。(…) えっと思ってる。

020247A : ふーん。じゃ語学研修、結局もっと多いね、もっと多いね、8人い
ってる。

(6) 010628B : 家がちがう、なんか、私このままじゃ富豪と貧民みたいな。ほんとそ
んな感じとかもないもん。

010629A : へー。

010630B : すごい、ほんと。航空写真見せてあげようかとか言われてさ、へーと、
どんだけさあ。

010631A : そんなすごい家とか住んどるん。

010632B : 畑が何個かと土地を何個か持つとるっていう話しになって航空写真見
せてあげるみたいな笑えねー。

(7) 050504B : あー、そういうのはダメよ、そういうのは。

050505A : うん、蹴るから。

050506B : うん。

050507A : もう断って、断っていたら、どうするんか文書を書いて出してって、
いや、私がやることじゃなくて、やっぱり幹事さんがちゃんとやっちゃ
った方が良くないですか、いいんじゃないですかって理事会に言
った。

050508B : ん。

050509A : あ、そうか、じゃ、とって、幹事にやっといてって、幹事もはあつ。

(第1回調査の結果による)

以上より、感動詞の言語学的本質を解明することを狙い、従来研究から問題点を明らかに
するために、このような文中で他の語と組み合わせる力と、それを通じて概念的内容を表す
力を探究する、即ち感動詞の独立性、文法的機能(品詞性)の変化を考察するのが必要であ
ると考える。これが本論文の目的である。

3.2. 研究範囲

感動詞の言語学的本質を解明するために、3.1に述べたような意味表出と独立性を考察す
べきであるが、研究の出発点はどちらかというところ、感動詞の意味表出はそもそも微妙なも
のであるから、意味表出面を出発点にすると、従来研究のような傾向になり、感動詞の本質的
機能を捉えるのも難しい一方、独立性が見られないだろうと予想して、それより独立性を探
究するほうが良いと考えられる。

また、若年層の言葉を観察すると、感動詞は、(2)~(7)のような、感情を表す行動状態・
応答行動状態を示す名詞のような振る舞いをする場合がある。もし、それが事実であるなら

ば、通時的には名詞という分析的な品詞へと移行しつつあるということになるということが考えられる。

よって、本論文では、研究方法として、統語論のアプローチで、自作コンテクストを取り扱うことによって、日本語母語話者の若年層(10代~30代)の言葉を対象として調査を行い、文構造的特徴を記述し、品詞性と独立性を捉えることにしていく。具体的には、次のようである。

感動詞は、若年層の言葉において、どのように使われているかについて調べる。特に、文中で名詞・副詞・形容詞のような役割をすることができるか、どのようなコンテクストに現れるかを検討する。そうすることによって、感動詞における独立性の変化と品詞性を観察し、記述する。

なお、感動詞というものには、間投詞・応答詞・フィラー・相づち・言いよどみという名称と概念も存在していながら、他の品詞から転じたものも入っているということがあがるが、本研究における考察の対象とする感動詞は、従来研究の観点によって、次のようなものであると考えられる。

話者の感情を直接に表す(当時に直接に発した)ものであって、概念的な意味を持たず、その内容を分析しないものである。自立語で活用がなく、独立語として、文頭にくるか、一文として現われる。文中で他の語を修飾しない。

したがって、すべて間投詞・応答詞・フィラー・相づち・言いよどみという音声形式をするものであるが、感動や驚きなどの感情を表すものと、悩みや「聞いているよ」「わかった」「まだ言いたい」、気付き、同意、納得という意を表すもの、土屋菜恵子(1997, 1999)の分類による「そう」を含む「ソウ形コメント」が共起しているものに限っている。具体的には、第1回の調査結果から見たものであり、次のように分類されるものと、その反復形・音声的変遷である。

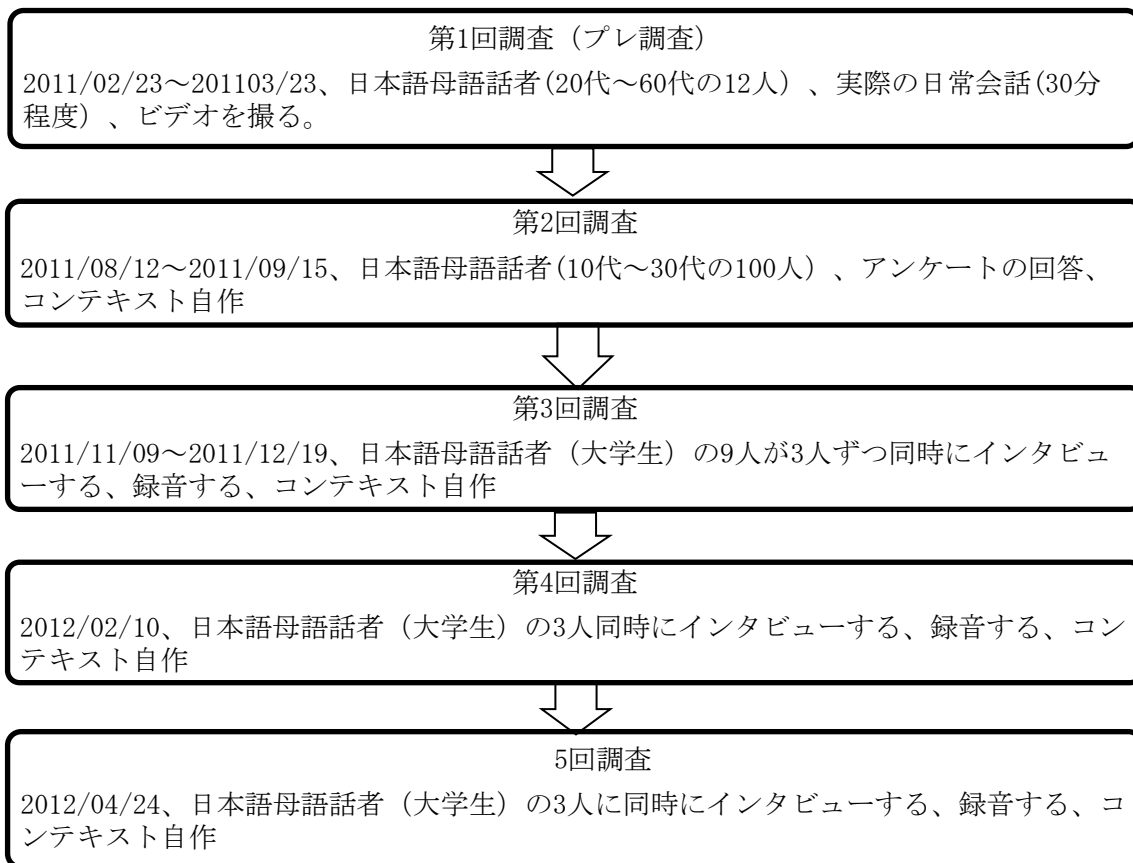
- ・ ア系：あ、あー、あっ、あれ、あの(ー)、あーっ、あっと等
- ・ イ系：いいえ、いえ、いや、いやー、や等
- ・ ウ系：うん、うーん、ふん、ふーん等
- ・ エ系：え、えっ、えー、へっ、へー、えーと、えっと等
- ・ オ系：おっ、おー、おーっ、おっと、ほ、ほお(ほう)等
- ・ ワ系：わー、うわー、わっ、うわっ、わあー等
- ・ ハイ系：はい、はあ、はあっ等
- ・ マ系：ま、まあ、まー(まあ)等
- ・ 応答表現の「うん」「そう」等

考察の対象としないものは、次のようである。

- ・元々他の副詞・名詞・形容詞から転じたもの：「すごい」「まじで」「やっぱ」「なんとか」「やばい」「すばらしい」等
- ・挨拶表現：「おはよう」「こんにちは」「おやすみなさい」「さようなら」等
- ・命令表現：「まわれ右」「気をつけ」「どっこいしょ」「さあ」等
- ・接続詞から転じたもの：「さて」「でも」等
- ・指示詞から転じたもの：「この」「その」「あの」「こう」「そう」
- ・終助詞（感動助詞とも呼ばれる）の機能を持つもの：「ね」「ねえ」「よ」等

3.3. 研究方法

本研究を実現するために、2011年2月23日～2012年4月24日に、5回の調査を次のような流れの通りに実施した。



第1回調査では、感動詞の新しい用法を探究するために、日本語母語話者の会話を集めて検討した。この調査結果は、感動詞が相づち・フィラーとして文頭に独立に出てくるのだけではなく、3.1に挙げた(2)~(7)ような文中のコンテキストに現れることを得た。

こういうコンテキストを見ると、名詞・副詞・形容詞としても働きをする可能性があるだろうという予想があり、第2回調査では、自分で感動詞のコンテキストを考え、アンケートを作り、多人数で配布した。¹

第2回の調査結果から感動詞と名詞・動詞を組み合わせるパターンでかなり頻度が高い回答を得たが、その中身については曖昧な点があるので、母語話者の内省を調べるという目的で、少人数でインタビューして、第3回～5回の調査を行った。

第3回調査では、第2回調査からの問題点を明らかにするという目的で、感動詞の新しい自作コンテキストを取り扱った。その結果から感動詞と動詞を組み合わせるパターンで助詞「と・て」と密接な関係があり、感動詞の独立性に繋がるという予想があった。それ故、第4,5回調査では、この関係を一層検討するするという目的で、動詞と組み合わせるパターンを中心にして感動詞の新しいコンテキストを作って、調べた。¹

以上のような調査を研究方法として行った。ちなみに、調査に際しては、方言であるかどうか、被験者に確認しておいた。それぞれ具体的な内容・結果・分析は、次の4章に記述する。

¹ 具体的な調査内容は各章に述べる。[付録]にも載せてある。

4. 調査結果分析

4.1. 感動詞の組み合わせパターン

第1回調査結果による自然談話で3.1に記述された(2)～(7)のような感動詞の新しいコンテキストを得た。次のように挙げる。左側の番号は、3.1の(2)～(7)であるが、コロンの右側は、それらの例を構文のパターンとして記するものである。

- (2) : [[[感動詞] って] なる]
- (5) : [[[感動詞] と] 思う]
- (4) : [[[感動詞] みたいな。]
- (3,6) : [[感動詞] って・と。]
- (7) : [文末の感動詞。]

このようなパターンを見ると、感動詞は文中に入って、文構造要素として、他の語（特にその後に出てくる語である）と結合し、名詞・形容詞・副詞としての機能をして、後の語を修飾するという予想がある。それ故、感動詞が、品詞面でどのような役割をするか、どのようなコンテキストに現れるか、を検討するために、次のような2回の調査を行った。

4.1.1. 第2回調査

4.1.1.1. 調査要領

第2回目の調査は2011年8月12日から9月15日に実施した。調査の対象は、10代、20代、30代の日本語母語話者である。アンケートシートは100人(10代：8人、20代：71人、30代：21人；男性：59人、女性：41人)に配布している。

アンケートの内容は、16項において、「わあー、わー、うわー、うわっ、おー、おっ、おーっ、えっ、えー、えーえー、えっ、えーっ、へー、へーっ、ほおー、ほおーっ、ほおん、ふーん、うーん、うんうん、そうそう、いやー、あー、あっ、あーあー、きゃあ、はあっ、まあ、おいおい、あれ」という感動詞のバリエーションを取り扱った²。各項目に作られた感動詞の組み合わせは、下記のように4パターンに分けられる。

- パターン①
- a. [[[感動詞]Ø]名詞]³
 - b. [[[感動詞]の]名詞]
 - c. [[[感動詞]みたいな]名詞]
 - d. [[[感動詞]って]名詞]

² 具体的なアンケート内容は、[付録1]に載せてある。

³ 【Ø】という記号は、間に何もなく直接組み合わせることを示す。

- パターン② e. [[感動詞]だった]
- パターン③ f. [[[感動詞]0]形容詞]
g. [[[感動詞]と]形容詞]
- パターン④ h. [[[感動詞]って]なる]
i. [[[感動詞]と]見て]
j. [[[感動詞]と]歩いていた]
k. [雨が[[感動詞]と]降ってきた]

パターン①は、aのように感動詞と名詞を直接に組み合わせるか、またはb, c, dのように助詞「の」「って」「みたい」が後ろに付いて、名詞と組み合わせるパターンであり、アンケートの[1]～[4]、[6]～[9]に相当する。⁴扱った名詞は、物を示す名詞の「時計」「ねずみ」、人間を示す名詞「女の子」「女の人」「顔」、言語に関する活動を示す名詞「意見」「話」「答え」である。パターン②は、感動詞と断定の助動詞「だった」を組み合わせるパターンであり、アンケートの[5]に相当する。パターン③は、fのように感動詞と形容詞を直接に組み合わせるか、またはgのように助詞「と」が感動詞と形容詞を組み合わせるパターンであり、アンケートの[11]～[13]に相当する。扱った形容詞は、人間の評価・態度・感覚を表す「面白い」「美味しい」「怖い」である。パターン④は、h, i, j, kのように分けられ、助詞「と」あるいは「って」を伴って感動詞と動詞を組み合わせるパターンであり、アンケートの[14]～[16]に相当する。扱った動詞は変化動詞の「なる」、人間行為動詞の「見る」「歩く」、自然現象の「雨が降ってくる」である。

これらの組み合わせによって作られた文に対し、アンケート回答者は、以下の記号を使用して、文の適格性を判断する。

- ◎： 言う（使う）ことができる。
- ： 少々変であるが、言えそうな（使えそうな）気もする。
- △： 自分は言わない（使わない）が、聞いたことはある。
- ×： 自分は言わない（使わない）し、聞いたこともない。

調査の分析方法としては、まず回答の頻度を見て、それぞれの項目で、各組み合わせパターンを頻度の高いグループと頻度の低いグループに分ける。次に、各グループを観察して、それぞれのパターンの特徴を記述する。

4.1.1.2. 回答分析

調査回答の頻度は、【表1 第2回調査の回答まとめ】にまとめてある。⁵【表1】を見ればわかるように、パターン①では、[[[感動詞]って]名詞]は、[[[感動詞]0]名詞]、[[[感動

⁴ [] 中は、調査の項目を示す。

⁵ 【表1】は39-44ページに載せてある。

詞]の名詞]、[[[感動詞]みたいな]名詞]よりずっと頻度が高く、差が大きい。例えば、[2]で回答数⁶を見ると、「ほおーって話」：64、「ほおー話」：9、「ほおーの話」：3、「ほおーみたいな話」：27) になっている。但し、[1]では、「わあー時計」：44) などの[[[感動詞]0]名詞]は、頻度もかなり高く、「わあーって時計」：46) などの[[[感動詞]って]名詞]と比較していた。しかし、[[[感動詞]0]名詞]では、項[1]以外、丸回答の頻度はほとんど出てこない。[[[感動詞]の]名詞]も同様である。[[[感動詞]みたいな]名詞]は、丸回答がやや出てきて、[[[感動詞]って]名詞]と比べて頻度が低い、どの項にわたっても他の組よりかなり差がある。しかも、[7]には、多く出てきて（「えーっみたない顔」：52）、（「ふーんみたない顔」：54）で、頻度が他の項目よりもずっと高い。

パターン②では、丸回答がやや出てきたが、すべての感動詞にあるのではない。選択回答の12箇所であるが、頻度が高いのは、「（「ふーんだった」：59）」、「うーんだった」：54）、（「へーだった」：47）、（「えっだった」：42）である。

パターン③では、丸回答がほとんど出てこないが、比較的の高い頻度で現われたものがある。それらは、「（「いやー面白いところ」：77）」、「（「いやあ怖い話」：70）であり、その後（「えっと面白い」：40）、（「うーんと怖い」：46）が続く。

パターン④では、hの「なる」との組み合わせは、どの感動詞でも丸回答が高い頻度で出てきた。頻度が高い組は（「えーってなる」：86）や（「へーってなる」：84）ぐらいであるが、一番低い組でも（「ほおんってなる」：31）になって、残りの組は（「はあってなる」：65）や（「うーんってなる」：74）ぐらいである。hの後に続いて、iの「見る」との組み合わせるものも多く出てきたが、hと大きな差があり、すべての感動詞に現れるのではない。iの頻度は（「ふーんと見て」：51）、（「あれと見て」：45）、（「へーと見て」：39）、（「うーんと見て」：43）、（「ほおーと見て」：42）、（「あっと見て」：39）である。kとhには、「歩く」「雨が降ってくる」との組み合わせは、丸回答があまりなく、頻度も低い。回答の12箇所であるが、丸回答は多くても（「うーんと歩いていた」：35）、（「いやと歩いていた」：22）、（「はあっと歩いていた」：37）、（「うーんと降ってきた」：28）ぐらいである。

それぞれの項目で、各組み合わせパターンを頻度の高いグループと頻度の低いグループに分けると、次節に述べるような結果が得られた。また、具体的には【表1】を見られたい。

⁶ 回答数とは、◎（使えるもの）と○（使えそうな気もするもの）を合計した数を表す。

【表1】 第2回調査の回答まとめ

項目	語句	回答頻度				パターンのまとめ
		◎	○	△	(×)	
3	うんうんの意見	2	6	8	84	
3	うんうんみたいな意見	6	22	11	61	
3	うんうんって意見	31	22	18	29	
4	うーん女の子	2	3	4	91	
4	うーんの女の子	1	7	6	86	
4	うーんみたいな女の子	3	13	16	68	
4	うーんって女の子	29	31	14	26	
4	ふーん女の子	1	3	2	93	
4	ふーんの女の子	0	2	5	93	
4	ふーんみたいな女の子	5	9	10	76	
4	ふーんって女の子	16	19	14	51	
4	いやー女の子	0	5	6	89	
4	いやーの女の子	3	5	4	88	
4	いやーみたいな女の子	10	17	9	64	
4	いやーって女の子	31	27	12	30	
5	うーんだった	29	25	13	33	
5	あーだった	3	7	10	80	
5	へーだった	24	23	9	44	
5	ほおだった	13	16	13	58	
5	ふーんだった	33	26	8	33	
5	そうそうだった	7	11	8	74	
5	あーあーだった	10	13	11	66	
5	おーだった	15	19	12	54	
5	えーえーだった	2	11	6	81	
5	えーだった	21	21	16	42	
5	うんうんだった	8	13	18	61	
5	おーだった	8	22	14	56	
6	えっ女の子を	2	3	2	93	
6	えっの女の子を	1	4	5	90	
6	えっみたいな女の子を	19	18	15	48	
6	えっって女の子を	37	15	12	36	

【表1】第2回調査の回答まとめ

項目	語句	回答頻度				パターンのまとめ
		◎	○	△	(×)	
6	ほおー女の子を	8	8	1	83	
6	ほおーの女の子を	0	4	4	92	
6	ほおーみたいな女の子を	7	17	12	64	
6	ほおーって女の子を	27	32	10	31	
6	へーっ女の子を	0	6	1	93	
6	へーっの女の子を	5	7	5	83	
6	へーっみたいな女の子を	5	12	16	67	
6	へーって女の子を	16	30	17	37	
7	ほおん顔で	4	5	3	88	
7	ほおんの顔で	1	4	2	93	
7	ほおんみたいな顔で	13	10	18	59	
7	ほおんって顔で	16	14	11	59	
7	えーっ顔で	1	5	4	90	
7	えーっの顔で	2	10	8	80	
7	えーっみたいな顔で	29	23	16	32	
7	えーって顔で	59	28	3	10	
7	ふーん顔で	2	6	4	88	
7	ふーんの顔で	4	7	6	83	
7	ふーんみたいな顔で	30	24	10	36	
7	ふーんって顔で	63	23	3	11	
8	うんうん答えが	1	3	2	94	
8	うんうんの答えが	3	6	6	85	
8	うんうんみたいな答えが	9	17	15	59	
8	うんうんって答えが	35	32	11	22	
8	へー答えが	0	2	4	94	
8	へーの答えが	0	6	6	88	
8	へーみたいな答えが	10	16	12	62	
8	へーって答えが	30	27	15	28	
8	おー答えが	0	2	5	93	
8	おーの答えが	1	7	7	85	
8	おーみたいな答えが	14	21	11	54	
8	おーって答えが	41	30	7	22	

【表1】第2回調査の回答まとめ

項目	語句	回答頻度				パターンまとめ
		◎	○	△	(×)	
9	きゃあねずみが	7	8	6	79	
9	きゃあのねずみが	0	1	5	94	
9	きゃあみたいなねずみが	0	4	5	91	
9	きゃあってねずみが	10	22	13	55	
9	あっねずみが	4	5	4	87	
9	あっのねずみが	0	1	4	95	
9	あっみたいなねずみが	2	4	3	91	
9	あってねずみが	11	16	14	59	
9	うわっねずみが	6	8	6	80	
9	うわっのねずみが	0	2	6	92	
9	うわっみたいなねずみが	1	10	6	83	
9	うわってねずみが	23	21	10	47	
10	あーってなる	41	33	11	15	
10	ほおーってなる	43	32	8	17	
10	おってなる	39	26	12	23	
10	あってなる	36	16	13	35	
10	へーってなる	56	26	5	13	
10	えーってなる	59	27	4	10	
10	おーってなる	52	27	8	13	
10	えってなる	57	27	6	10	
10	はあってなる	36	29	12	23	
10	うーんってなる	49	30	6	15	
10	ふーんってなる	48	29	11	12	
10	ほおんってなる	19	12	9	60	
11	おー面白い	5	13	6	76	
11	おーと面白い	0	3	1	96	
11	ほおー面白い	1	3	3	93	
11	ほおーと面白い	0	6	2	82	
11	へー面白い	2	7	2	89	
11	へーと面白い	0	4	1	95	
11	ふーん面白い	3	3	5	89	
11	ふーんと面白い	4	5	2	89	
11	えっ面白い	6	23	12	59	

【表1】第2回調査の回答まとめ

項目	語句	回答頻度				パターンのまとめ	
		◎	○	△	(×)		
11	えっと面白い	17	23	10	50		
11	いやー面白い	52	25	5	18		
11	いやーと面白い	1	5	2	92		
12	ほおーおいしい	0	1	1	98		
12	ほおーとおいしい	1	5	4	90		
12	へーおいしい	1	1	2	96		
12	へーとおいしい	0	3	1	96		
12	おーおいしい	4	3	6	87		
12	おーとおいしい	2	6	6	84		
12	あっおいしい	2	4	6	88		
12	あっとおいしい	13	19	10	58		
12	おっおいしい	4	11	3	82		
12	おっとおいしい	2	5	7	86		
12	わーおいしい	5	7	7	81		
12	わーとおいしい	5	6	10	79		
13	わー怖い	4	10	7	79		 
13	わーと怖い	1	6	7	86		
13	うわー怖い	6	15	9	70		
13	うわーと怖い	6	8	9	77		
13	へー怖い	2	8	4	86		
13	へーと怖い	0	1	4	95		
13	うーん怖い	3	24	8	65		
13	うーんと怖い	17	29	5	49		
13	いやー怖い	36	34	6	24		
13	いやーと怖い	0	4	5	91		
13	ほおー怖い	1	7	6	86		
13	ほおーと怖い	1	5	3	91		
14	えっと見て	14	14	10	62		
14	ふーんと見て	26	25	8	41		
14	ほおーと見て	16	26	9	49		
14	ほおんと見て	6	12	4	78		
14	うーんと見て	18	25	13	44		
14	へーと見て	19	30	11	50		
14	おっと見て	16	17	8	59		
14	いやーと見て	8	14	10	68		

【表1】 第2回調査の回答まとめ

項目	語句	回答頻度				パターンのまとめ
		◎	○	△	×	
14	あれと見て	22	25	7	46	
14	あっと見て	16	23	11	50	
14	あーと見て	11	13	10	66	
14	うんうんと見て	12	22	13	53	
15	えっと歩いていた	0	4	3	93	
15	ふーんと歩いていた	2	11	9	78	
15	ほおーと歩いていた	2	12	6	80	
15	ほおんと歩いていた	1	9	5	85	
15	うーんと歩いていた	19	16	9	56	
15	へーと歩いていた	3	6	9	82	
15	おっと歩いていた	1	2	3	94	
15	いやーと歩いていた	5	17	6	72	
15	まあと歩いていたて	3	4	3	90	
15	はあっと歩いていた	17	20	8	55	
15	あーと歩いていた	1	14	4	81	
15	うんうんと歩いていた	3	16	5	76	
16	えっと降ってきた	0	7	6	87	
16	ふーんと降ってきた	2	0	3	95	
16	ほおーと降ってきた	0	2	5	93	
16	おいおいと降ってきた	7	4	10	79	
16	うーんと降ってきた	11	17	8	64	
16	へーと降ってきた	1	2	4	93	
16	おっと降ってきた	1	7	12	80	
16	いやーと降ってきた	1	4	9	86	
16	まあと降ってきた	1	3	4	92	
16	はあっと降ってきた	5	4	4	87	
16	おーと降ってきた	4	8	12	76	
16	えーっと降ってきた	5	4	6	85	

4.1.1.3. 調査結果

被験者の回答をみると、頻度が高い感動詞を得た。下記のように、組み合わせパターンとその例文とともに挙げておく。

● [[感動詞]って]名詞]

- (1) おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、[[[わあー/うわー/おー]って]時計]だった。
- (2) 彼が言ったことは本当だったら、それは[[[えーっ/へー/ほおー]って]話]だね。
- (3) 社員 1:今朝の会議で田中さんが言ったことは、[[[ふーん/うーん/うんうん]って]意見]だね。
社員 2:うん、そうだね。
- (4) A:結婚相手として、彼女はどうか?
B:彼女?うーん、ちょっとね。
C:そうだね。[[[いやー/うーん/ふーん]って]女の子]だね。
- (5) 今朝電車の中で[[[えっ/ほおー/へー]って]女の子]を見たので、その姿が一日中頭から離れない。
- (6) 彼は[[[えーっ/ふーん]って]]顔でその話を聞いていた。
- (7) その質問を一週間ずっと考えていて、やっと[[[おー/うんうん/へー]て]答え]が得られた。
- (8) 「きのうね、掃除のとき、引き出しを開けたら、[[[きゃあ/あっ/うわっ]って]ねずみ]が飛び出しちゃって、...。」

● [[感動詞]だった]

- (9) A:この話、もう言った?彼女に。
B:言った言った。
A:彼女はどのような反応だった?
B:そうだね。[[うーん/ふーん/えっ/へー]だった]。

● [[感動詞]∅]形容詞]

(10) A: 連休に、旅行行った?

B: うん、ベトナム行った。

A: へー、どんなところ?

B: [[いやー/えっ]面白い]ところだよ。

(11) A: 「耳なし芳一」は、[[いやー/うーん]怖い]話だね。

B: ねえ。

● [[[感動詞]と]形容詞]

(12) A: 連休に、旅行行った?

B: うん、ベトナム行った。

A: へー、どんなところ?

B: [[[えっ]と]面白い]ところだよ。

(13) A: 昨日、社長の家へ訪問に行ったんだって、どうだった?

B: よかったよ。奥さんが[[[あっ]と]おいしい]料理を作ってくれたよ。

A: へー、いいな。

(14) A: 「耳なし芳一」は、[[[うーん]と]怖い]話だね。

B: ねえ。

● [[[感動詞]って]なる]

(15) 兄: 彼女、おまえの話、聞かせたら、[[[あっ/あーっおっ/おーっ/えっ/えーっ/へー
っ/はあっ/ほお/うーん/ふーん]て]なる]よね。

弟: そうだよな。

● [[[感動詞]と]動詞]

(16) 彼女は、さっき入ってきた男の人を[[あれ/ふーん/ほおー/うーん/へー]と]見て]から、部屋を出て行った。

(17) 彼は、社長の部屋を出て、[[[うーん/はあっ]と]歩いていた]。

上に挙げたパターンと例文から、感動詞が文頭に独立して現れることや一文となることだけでなく、文中で他の語と組み合わせることがあるということが考えられる。

但し、次のような問題点がある。

- 「と」「て」のパターンに関しては、調査回答を全体的にみると、「て」「と」のパターンが最も頻度が高いのであるが、[[感動詞]と]形容詞]は回答がほとんど出てこなくて、頻度が低いのである。しかしながら、「えっと面白い」「あっとおいしい」「うーんと怖い」の場合は、頻度が割りと高いのである。それ故、「て・と」はどのような役割を果たすのか、それ以外に他のパターンがあるか、という疑問がある。
- 「みたいなの」のパターンに関しては、[[[感動詞]みたいなの]名詞]は、全体の項目でみると、頻度が低いパターンであるが、[[[感動詞]の]名詞]]・[[[感動詞]の]名詞]]と比べられたら、組み合わせる力があると考えられる。特に、それぞれの感動詞を見ると、「えーっみたいなの話」「へーっみたいなの話」、「ふーんみたいなの意見」「うんうんみたいなの意見」、「えっみたいなの女の子」、「えーっみたいなの顔」「ふーんみたいなの顔」が頻度が高いと言える。以下に(18)～(21)を挙げる。

(18) 彼が言ったことが本当だったら、それは[[[えーっ/へーっ]みたいなの]話]だね。

(19) 社員 1：今朝の会議で田中さんが言ったことは、[[[ふーん/うんうん]みたいなの]意見]]だね。

社員 2：うん、そうだね。

(20) 今朝電車の中で[[[えっ]みたいなの]女の子]を見たので、その姿が一日中頭から離れない。

(21) 彼は[[[えーっ/ふーん]みたいなの]顔]でその話を聞いていた。

このように、他の項目において頻度が低くなっていることは、なぜかというところ、感動詞によって組み合わせるのではないか。

- 感動詞と直接に組み合わせるパターンでは、

まず、なぜ[[[感動詞]の]名詞]では、全体的にみると、頻度が低いながらも、[1]の「わあー時計」「うわー時計」「おー時計」が頻度が比較的になっているのかという疑問がでてくる。

次に、感動詞が文頭に出てくるとき、その後にポーズがあるということである。しかし、[[[感動詞]の]形容詞]における[11, 13]の「いやー面白い」「いやー怖い」の場合にはポーズがあるかどうかは、アンケートの回答だけで、見られないという問題点がある。ポーズのコンテキストは、以下に(22b), (23b)のようなものである。

- (22) a. A: 連休に、旅行行った?
 B: うん、ベトナム行った。
 A: へー、どんなところ?
 B: [[いやー]面白い]ところだよ。
- b. A: 連休に、旅行行った?
 B: うん、ベトナム行った。
 A: へー、どんなところ?
 B: [[[いやー] (・) ¹]面白い]ところだよ。
- (23) a. A: 「耳なし芳一」は、[[いやー]怖い]話だね。
 B: ねえ。
- b. A: 「耳なし芳一」は、[[[いやー] (・)]怖い]話だね。
 B: ねえ。

これと同様に、[1] の[[[感動詞] 0]名詞]、 [5] の[[感動詞] だった]との場合にも感動詞の後にポーズが入っているのかを調べるのが必要である。(24b), (25b)のようなコンテキストを見てみよう。

- (24) a. おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、[[わあー/うわー/おー]時計]だった。
 b. おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、[[[わあー/うわー/おー] (・)]時計]だった。
- (25) a. A: この話、もう言った?彼女に。
 B: 言った言った。
 A: 彼女はどういう反応だった?
 B: そうだね。[[ふーん]だった]。
- b. A: この話、もう言った?彼女に。
 B: 言った言った。
 A: 彼女はどういう反応だった?
 B: そうだね。[[[ふーん] (・)]だった]。

● 動詞と組み合わせるパターンでは、

[13] の[[[感動詞]と]見て]は頻度が高く、すべての感動詞に見られるが、[14] の[[[感動詞]と]歩いていた]、[15] の[[雨が[感動詞]と]降ってきた]は頻度が割りと低いのである。

¹ (・) という記号はポーズを表す。

これはコンテキストがまだ相応しくない、つまり動詞によって感動詞と組み合わせる力が違うのではないかという疑問がある。

さらに、アンケートの回答頻度を見て、使える場合と使えない場合があると判断し、以上に述べた組み合わせるパターンを捉えたが、なぜ使えないのか、どうすれば使えるのか、また、使えるというときの程度で使えるのかというような微妙的な問題点がある。

以上のような問題点を明らかにするために、第3回調査を行った。次節に説明する。

4.1.2. 第3回調査

4.1.2.1. 調査要領

第3回調査は、2011年11月9日～2011年12月19日に実施した。調査対象は、9人の日本語母語話者であり、大学生である。3人ずつに同時に2時間程度インタビューした。

調査の目的は、第2回のアンケート調査から見た曖昧な点を明らかにすることである。具体的には、感動詞は文中でどのように現われるか調べる、即ち文中で名詞・副詞・形容詞の役割を果たすか検討する。そして、名詞・形容詞・動詞と組み合わせるとき、後ろにポーズか「って」「と」「みたいな」が付くかどうか確認する。また、例文のコンテキストによって、カテゴリーの中でどのような感動詞が出てくるか、調べる。

調査内容は、第2回でアンケートを作った「て・と」「みたいな」「 \emptyset 」の上に、例(22b)(23b)(24b)(25b)のようなポーズ(・)というパターンを加えて、感動詞と名詞・形容詞・助動詞・動詞を組み合わせた41項の例文を作った。各例文項目は、それぞれのパターンによって次のように分けられている。

- 1～13: [[[感動詞] \emptyset /て/みたいな/ (・)]名詞]
- 14～17: [[[感動詞] \emptyset / (・) /みたいな感じ/って感じ]だった]
- 18～25: [[[感動詞] \emptyset /と]形容詞]
- 26～41: [[[感動詞] \emptyset /と] 動詞]

インタビューの質問項目は、パターンと例文項目によって作った。下記のように1～4を例として挙げる。²

【例文項目】

1. おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、うわ一時計だった。
2. おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、うわって時計だった。

² 具体的な調査項目は〔付録3〕に載せてある。

3. おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、うわーみたいな時計だった。
4. おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、うわー（・）時計だった。

【質問項目】

- ① 例文1～4はどうですか。どれがいいですか。
- ② これは、感動詞「わあー」が「時計」という名詞の前に出てきますね。
- ③ 「うわー」の後ろに「って」「みたい」「ポーズ」が付いていますね。それ以外はありませんか。
- ④ 「わあー」以外には、この例文に使えるものはありませんか。
- ⑤ 「うわー」はこの例文の中に、「時計」という名詞と組み合わせられますね。「時計」以外には名詞と組み合わせられますか。

調査の分析方法は、先ず被験者の意見を例文項目ごとから組み合わせるパターンの全体まで吟味する。次に、使える文と使えない文、どうすれば使えるか使えないか、例文に入れる感動詞のカテゴリーとそのコンテキストなどを総合的に記述する。具体的には、次節のように説明する。

4.1.2.2. 回答分析³

調査は、以上に述べた内容の通りに行われた。被験者の意見は、例文項目の後に続いて、次のようにまとめる。⁴

[1]～[4]については、⁵

1. ×おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、うわー時計だった。
2. ○おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、うわーって時計だった。
3. ?おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、うわーみたいな時計だった。
4. ? おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、うわー（・）時計だった。

被験者の意見によると、使える文は[2, 3, 4]であるということである。そのうち、[2]は、「うわーって時計だった」が「うわーって感じる時計だった」とか「うわーって感じるな

³ インタビューの具体的な内容は【付録 文字化】にある。

⁴ 例文項目の頭に書かれた記号は、被験者の判断である。【○】は自然によく言うこと、【×】は言えないこと、【?】は言える場合も言えない場合もあることをそれぞれ示す。

⁵ []の中は、調査票の例文項目の番号を表す。

時計」とかに相当して、普通に使われ、自然に言える。[3]は、[2]との同じ意味で使われ、「うわーみたいな時計」が「うわーな感じの時計」または「うわーっていうものみたいな時計」に相当して、言える。但し、例文のコンテキストには、感動詞「うわ」より「えーっ」の方が使いやすい。

[4]は、身振りと共に、プレゼントを開けた人物のその時瞬間的反応としての「うわーだった」という意味で、使うのであれば、意味が伝えやすいから、言える。しかも、コンテキスト的には「うわー」より「おー」「わー」「まあ」「あら」「はあっ」「えーっ」などが入れたら、相応しい。[1]は、言っても意味が分からなく、違和感があつて、言わない。使うとしたら、ポーズとか「って」が入るので、むしろ[2],[4]を言うほうが伝えやすい。

なお、090019Tのような意見もある。⁶ 具体的には、[2]の「うわーって」は、コンテキスト的には、「うわーってなるような／うわーってびっくりするような時計」であれば、それより相応しい。「うわーって」の後、「うわーって」自分になってるよ、という説明がないと、意味が伝わりにくいというわけである。

[5]～[7]については、

5. ○社員1：今朝の会議で田中さんが言ったことは、うーんって意見だね。
社員2：うん、そうだね。
6. ○社員1：今朝の会議で田中さんが言ったことは、うーんみたいな意見だね。
社員2：うん、そうだね。
7. ×社員1：今朝の会議で田中さんが言ったことは、うーん（・）意見だね。
社員2：うん、そうだね。

使える文は、[5],[6]である。[5]の「うーんって意見」が「うーんっていう意見」、「うーんっていう感じの意見」、「うーんって思っていた意見」、「うーんってなる意見」に相当して、言える。[6]は[5]との同じ意味で使われ、「うーんみたいな意見」が「うーんっていう感じみたいな意見」に相当して、言える。しかも、例文のコンテキストには、感動詞の「うーん」の以外には、「えーっ」「おー」「うわー」「はあっ」「うんうん」「ふーん」「ふんふんふん」「はあはあはあ」「ふーんふーん」なども入れる。

[7]は、使わない。使う場合には、ポーズがあまり流れなく、発音が伸ばして「うーんうーん」と反復するとか、「いい」か「悪い」「わかりづらい」などの言葉が「うーん良い意見だね」のように挟むとかといった場合に出てくる。

⁶ 090019Tの具体的な意見は、【付録 文字化 09】に見られる

[8]～[10]については、

8. ○彼はえーって顔でその話を聞いていた。
9. ○彼はえーっみたいな顔でその話を聞いていた。
10. ×彼はえーっ（・）顔でその話を聞いていた。

使える文は[8], [9]である。「えーって顔」が「えーっていう顔をして」に、「えーっみたいな顔」が「えーっていう感じの顔」に相当する。また、例文のコンテキストには感動詞の「えーっ」以外には、「おー」「はあっ」「あら」「あれ」「ふーん」「おや」等が入れる。[10]は、会話にないから言わない。

[11]～[13]については、

11. ? 「きのうね、掃除のとき、引き出しを開けたら、きゃあってねずみが飛び出しちゃって、...。」
12. ? 「きのうね、掃除のとき、引き出しを開けたら、きゃあっみたいなねずみが飛び出しちゃって、...。」
13. × 「きのうね、掃除のとき、引き出しを開けたら、きゃあ（・）ねずみが飛び出しちゃって、...。」

使える文はない。但し、組み合わせるパターンとしては、[11], [12]は使えるが、感動詞「きゃあ」は例文のコンテキストに相応しくなく、その代わりに「うわっ」が入れれば、使える。

[14]～[17]については、

14. A: この話、もう言った? 彼女に。
B: 言った言った。
A: 彼女はどういう反応だった?。
×B: そうだね。おーだった。
15. A: この話、もう言った? 彼女に。
B: 言った言った。
A: 彼女はどういう反応だった?。
?B: そうだね。おー（・）だった。

16. A: この話、もう言った？彼女に
 B: 言った言った。
 A: 彼女はどのような反応だった？
 ○ B: そうだね。おーって感じだった。
17. A: この話、もう言った？彼女に。
 B: 言った言った。
 A: 彼女はどのような反応だった？
 ○ B: そうだね。おーみたいな感じだった。

使える文は[15], [16], [17]である。そのうち、[16], [17]は、普通に自然に言う。[15]は、「おー（・）」は、Bさんが話の人物「彼女」の様子を述べるために「彼女」のその時言った言葉をそのままに使われるのであれば、言える。但し、むしろ「おーって感じだった」「おーと言ったんだって」と言ったほうが自然である。また、この例文のコンテキストに、「おー」より「ふーん」「えーっ」「うわー」「はあっ」「うんうん」などが入れる。

[14]は言わない。[14]は、驚きを表す身振りや「って感じ」「反応」という言葉などの表情マークが付かないと、意味がわかりにくいし、違和感があって、使えない。むしろ、[15], [16], [17]を使うほうが伝わる。

[18], [19]については、

18. A: 連休に、旅行行った？
 B: うん、モンゴル行った。
 A: へー、どんなところ？
 ○ B: いやー面白いところだよ。
19. A: 連休に、旅行行った？
 B: うん、モンゴル行った。
 A: へー、どんなところ？
 × B: いやーと面白いところだよ。

使える文は[18]である。[18]は「いやー」の後ろにポーズが付かなくても、普通に自然に使うと言われている。特に「とっても」「すごく」「めっちゃ」のような程度副詞に相当する。そして、この例文のコンテキストには、感動詞の「いやー」以外には、「うーん」「あー」「まあ」などが入れる。

[19]は言わない。「と」は「いやー」の後ろに付くと、違和感があって、通じないので、会話にないわけである。

[20], [21]については、

20. A: えっ、新しい指輪？

B: うん。ダイヤモンドのね。

A: へー。高そうね。

? B: いいえ、そんな。セールの時期だから、うわー安い値段で買ったよ。

A: へー。

21. A: えっ、新しい指輪？

B: うん。ダイヤモンドのね。

A: へー。高そう。

×B: いいえ、そんな。セールの時期だから、うわーと安い値段で買ったよ。

A: へー。

使える文はない。[20]は、感動詞の「うわー」がコンテキストに相応しくないわけである。「いやー」「まあ」が入るであれば、「いやー安い値段」「まあ安い値段」で使える。[21]は「うわー」の後ろに「と」が付いて言うのは、違和感があって、通じないわけである。

[22], [23]については、

22. ○ A: 「耳なし芳一」は、うーん怖い話だね。

B: ねえ。

23. ○ A: 「耳なし芳一」は、うーんと怖い話だね。

B: ねえ。

両者とも使える。[22]は「うーん」の後ろにポーズが付かなくても使える。また、感動詞の「うーん」に「とても」の意味が入りうる。この例文のコンテキストには、「うーん」以外に、「いやー」「へーっ」「ふーん」「まあ」なども入れる。

[23]は「うーんと」が別々の要素「うーん」と「と」（感動詞と助詞「と」）から成ったものではなく、元々日本語にある副詞「うんと」である。

[24]～[25]については、

24. ? 子供の宿題はね、小学生のためだから、簡単だと思っていたが、やったら、あ
っ難しい。

25. ×子供の宿題は小学生のためだから、簡単だと思っていたが、やったら、
あと難しい。

両者とも使えない。[24]は感動詞「あっ」がコンテキストに相応しくないわけである。ただし、「うーん」「いやー」が入るのであれば、後ろにポーズが付かなくても言える。「うーん」と「いやー」は「とても」の意味が入って、「いやー難しかった」「うーん難しかった」で言える。さらに、[24]のコンテキストには、「あー」「えーっ」「あれ」が入る場合は、「あー難しいってなった」「えーっ難しいってなった」「あれ難しいってなった」という形で、後ろにポーズがなくても使える。[25]は感動詞と「と」が共起しない、また使わない。

[26]～[27]については、

26. ? 初めて会ったのに、そんなことを言ってしまって、えっ恥ずかしい。

27. ×初めて会ったのに、そんなことを言ってしまって、えっと恥ずかしい。

[27]は、「えっ」が「と」と付くことはないから、言わないとされる。[26]は、女性の意見によっては使えるが、男性の意見によっては「えっ」が使えない、ということである。具体的には、男性の被験者は、[26]は組み合わせるパターンの的に使えるが、「えっ」がこの例文のコンテキストに相応しくなく、「わー」「いやー」「あー」であれば使えると言った。女性の被験者は、自然によく言う、また感動詞の「いやー」「わー」や、「えっ」とその反復「えっえっえっ」に「とても」のように程度を表すニュアンスがあり、ポーズがなくても言えるということである。

[28]～[29]については、

28. ? 彼は、社長の部屋を出て、うんうんと歩いていた。

29. ×彼は、社長の部屋を出て、うんうん歩いていた。

[28]は、「うんうんと言いながら歩いていた」「うんうんと頷いていながら歩いていた」「うんうんって感じで歩いていた」に相当するとすれば、使える。それとも、オノマトペとして使われるのであれば言える。また、「歩いていた」と組み合わせられる感動詞は、「うーん」（うーんと考えながらあるいていた）、「はあっ」（はあって感じで歩いていた）、「えーっ」（えーっという顔をして歩いていた）、「うわっ」（うわっと歩いていた）、「いやー」（いやーって歩いていた）などである。[29]は、「うんうん」が「と」が付かないと、違和感があつて、言わない。

[30], [31]については、

30. ? お母さんは息子の話を聞いたら、はあっと座った。

31. ×お母さんは息子の話を聞いたら、はあっ座った。

[30]は、「はあっと言って座った」、「はあっのため息を付いて座った」に相当して、使える。しかし、感動詞「はあっ」はこのコンテキストに相応しくないから、使われても、違和感があり、通じにくいから、普通のお喋りの中では使わない。但し、小説に書いてあれば自然に読める。[31]は、意味が分からなくて、使わない。

[32], [33]については、

32. ? A: バレンタインの日にチョコレートをうわーともらいたいなあ。

B: へー。

33. ? A: バレンタインの日にチョコレートをうわーもらいたいなあ。

B: へー。

[32], [33]は、「うわー」が「たくさん」「すごく」「めっちゃ」「いっぱい」のニュアンスが入っているから、使える。また、「うわー」より「いやー」(いやーもらいたいな)がこの例文のコンテキストに相応しい、それとも「うーん」「まあ」が入れる。ちなみに、[32]は、「と」が付くと、「もらう」の「もらい方」に繋って、感動詞ではなく、様態副詞かオノマトペとして使うことがあり得る。[33]は、「うわー」「いやー」が文頭に出てくる、例えば「いやーバレンタインの日にチョコレートをもらいたいなあ」とかであれば、それらの後ろにポーズなくても自然に使える。

[34], [35]については、

34. ? 学生たちは先生の話うーんと聞いている。

35. ×学生たちは先生の話うーん聞いている。

[34]は、「うーんという顔をして聞いている」「うーんという感じで聞いている」に相当する。また、「うーんと聞いている」の「うーん」が感動詞ではなく、「ちゃんと」のような様態副詞かオノマトペとすれば、ちょっと違和感があるが、使える。[35]は、意味が通じなくて、使えない。

[36], [37]については、

36. ? 彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人がみんなおーと拍手していた。

37. ×彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人がみんなおー拍手していた。

[36]は、「おーと拍手した」が「おーと言って拍手した」に相当すると考えれば、ちょっと違和感があるが、使える。それとも、感動詞ではなく、様態副詞かオノマトペとして使われるのであれば、意味が通じる。さらに、「おー」以外には「わー」「うおー」「うわっ」が入れる。また、これらと組み合わせるコンテキストは「拍手した」より「となった」「感動した」「熱狂した」のほうが自然である。[37]は言わない。

[38], [39]については、

38. × 彼女の家へ行く途中で、雨がおっと降ってきた。

39. × 彼女の家へ行く途中で、雨がおっ降ってきた。

[38]は、「雨がおっと降ってきた」の「おっ」が雨の音を表す擬音語ではないと、使わない。[39]は「おっ」が感動詞としたら、「おっ雨が降ってきた」のように「雨」の前に出てくる。しかも「おっ雨が降ってきた」はコンテキストに相応しくない。即ち、例文のコンテキスト（彼女の家へ行った途中で）は、話者が即時（雨が降ってきた時）に発言する場面を受けるのではなく、事情がたった話を述べるわけである。

[40], [41]については、

40. ? 彼女はそれを聞いたら、えっとした。

41. × 彼女はそれを聞いたら、えっした。

[40]は「えっと言った」「えっとなった」「えっと思った」や「えっという顔をしていた」「えっという気がした」に相当する。また、「えっとした」の「えっ」は擬態語の「ぎょっ」（ぎょっとした）「どきっ」（どきっとした）と同様に使われている。「えっ」のコンテキストは、「した」より「と言った」「となった」「と思った」のほうが通じる。[41]は、意味が通じなくて、使わない。

4.1.2.3. 調査結果

以上で記述した被験者の意見を見ると、第2回調査の問題点が明らかになったと考えられる。具体的には、次のようである。

- 「と・て」のパターンは、一番目立つものであり、感動詞が文中に入り名詞・動詞などの他の語と組み合わせるには欠かないものである。「て」は、特に感動詞と名詞の間に入ってくる。「て」であれば、多くの感動詞が入って自然に言える。次のように例を挙げる。

(26) おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、[うわー/えーっ/はあっ/おー/わー/まあ/あら]って時計だった。

(27) 社員 1：今朝の会議で田中さんが言ったことは、[うーん/ふーん/えーっ/おー/はあっ/うんうん/はあはあはあ/ふんふんふん/ふーんふーん]って意見だね。

社員 2：うん、そうだね。

(28) 彼は [えーっ/おー/はあっ/ふーん/あら/あれ/おや]って顔でその話を聞いていた。

「と」は、特に感動詞と動詞の間に入ってくる。その証拠に調査の例文項目では、「と」がないものは[33]を除いて、使えないということを、被験者は述べている。例文としては [28] ~ [41] を見られたい。

但し、形容詞の前に出てくるとき、「と・て」がないということである。第 2 回調査における頻度が高い(12), (13), (14)のようなコンテキストに現れる「えっと面白い」「あっとおいしい」「うーんと怖い」の「えっと」「あっと」「うーんと」は、感動詞ではないと考えられる。いわば、「うーんと」は元々日本語にある副詞「うんと」から成ったものであると指摘されたが、「えっと」「あっと」はセットで違う品詞であると思われる。被験者の意見によって、このコンテキストでは感動詞「えっ」「あっ」が「と」を伴わないとされるわけである。

- 第 2 回調査から捉えた「と・て」のパターン以外には、「みたいな」も感動詞と名詞が組み合わさる一つのパターンであると考えられる。[[[感動詞]みたいな]名詞]は、[[[感動詞]って]名詞]にほぼ相当するものであって、自然に言えるということである。但し、コンテキスト的には、感動詞によって、「みたいな」と組み合わせる力も違うということがあがる。そして、感動詞の表出は、[[[感動詞]って]名詞]ほど多様ではない。そのため、第 2 回調査における例文の感動詞に対する回答の頻度に大きな差があるのである。次のように言える場合を例文に記述する。

(29) a. おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、[うわー/えーっ/はあっ]みたいな時計だった。

b. おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、[うわー/えーっ/はあっ/おー/わー/まあ/あら]って時計だった。

(30) a. 社員 1：今朝の会議で田中さんが言ったことは、[うーん/ふーん/えーっ/おー/はあっ]みたいな意見だね。

社員 2：うん、そうだね。

b. 社員 1 : 今朝の会議で田中さんが言ったことは、[うーん/ふーん/えーっ/おー/はあっ/うんうん/はあはあはあ/ふんふんふん/ふーんふーん]って意見だね。

社員 2 : うん、そうだね。

(31) a. 彼は [えーっ/おー/はあっ/ふーん/あら/あれ]みたいな顔でその話を聞いていた。

b. 彼は [えーっ/おー/はあっ/ふーん/あら/あれ/おや]って顔でその話を聞いていた。

- 感動詞が名詞と助動詞「だった」と直接に組み合わせることはない、即ち (24b), (25b) (本論文 pp. 48) のように感動詞の後にポーズ (・) が付いて組み合わせるということである。感動詞の後にポーズがあれば、意味が通じて使えるわけである。さらに、感動詞と「だった」が組み合わせるパターンでは、(・) の以外には、「みたいな感じ」「って感じ」も入ってくるということである。但し、「みたいな感じ」「って感じ」の場合は、感動詞の後に「って」「みたいな」が付いて名詞「感じ」と組み合わせるパターンと同様であると見られる。次のような例文を記述する。

(32) a. A : この話、もう言った？彼女に。

B : 言った言った。

A : 彼女はどのような反応だった？

B : そうだね。[おー/ふーん/えーっ/うわー/はあっ/うんうん] (・) だった。

b. A : この話、もう言った？彼女に。

B : 言った言った。

A : 彼女はどのような反応だった？

B : そうだね。[おー/ふーん/えーっ/うわー/はあっ/うんうん]って感じだった。

c. A : この話、もう言った？彼女に。

B : 言った言った。

A : 彼女はどのような反応だった？

B : そうだね。[おー/ふーん/えーっ/うわー/はあっ/うんうん]みたいな感じだった。

- [[感動詞]の]形容詞]は、自然に言えるが、ポーズが感動詞の後ろに付いてくることもある。但し、「いやー」「うーん」の場合は、ポーズがなくても言う。次のように例を挙げる。

(33) a. A : 連休に、旅行行った？

B : うん、モンゴル行った。

A : へー、どんなところ？

B : [いやー/うーん/まあ/あー]面白いところだよ。

b. A : 連休に、旅行行った？

B : うん、モンゴル行った。

A : へー、どんなところ？

B : [いやー/うーん/まあ/あー] (・) 面白いところだよ。

(34) a. A : えっ、新しい指輪？

B : うん。ダイヤモンドのね。

A : へー。高そうね。

B : いいえ、そんな。セールの時期だから [いやー/まあ]安い値段で買ったよ。

A : へー。

b. A : えっ、新しい指輪？

B : うん。ダイヤモンドのね。

A : へー。高そうね。

B : いいえ、そんな。セールの時期だから [いやー/まあ] (・) 安い値段で買ったよ。

A : へー。

(35) a. A : 「耳なし芳一」は、[いやー/うーん/へーっ/ふーん]怖い話だね。

B : ねえ。

b. A : 「耳なし芳一」は、[いやー/うーん/へーっ/ふーん] (・) 怖い話だね。

B : ねえ。

(36) a. 子供の宿題はね、小学生のためだから、簡単だと思っていたが、やったら、[うーん/いやー]難しかった。

b. 子供の宿題はね、小学生のためだから、簡単だと思っていたが、やったら、[うーん/いやー] (・) 難しかった。

c. 子供の宿題はね、小学生のためだから、簡単だと思っていたが、やったら、[あれ/あー/えーっ]難しいってなった。

d. 子供の宿題はね、小学生のためだから、簡単だと思っていたが、やったら、[あれ/あー/えーっ] (・) 難しかった。

(37) a. 初めて会ったのに、そんなことを言ってしまって、[えっ/えっえっえっ/いやー/わー] 恥ずかしい。

b. 初めて会ったのに、そんなことを言ってしまって、[えっ/えっえっえっ/

いやー/わー] (・) 恥ずかしい。

- 感動詞と動詞を組み合わせるパターンでは、例文項目 28～41 についての回答意見を見ると、コンテクスト的には感動詞と動詞によって組み合わせることがある。次のような例文を得た。

- (38) a. 彼は、社長の部屋を出て、うんうんと歩いていた。
b. 彼は、社長の部屋を出て、うんうんと言いながら歩いていた。
c. 彼は、社長の部屋を出て、うんうんと頷いていながら歩いていた。
d. 彼は、社長の部屋を出て、うんうんって感じで歩いていた。
e. 彼は、社長の部屋を出て、うーんと考えながら歩いていた。
f. 彼は、社長の部屋を出て、はあって感じで歩いていた。
g. 彼は、社長の部屋を出て、えーっていう顔をして歩いていた。
h. 彼は、社長の部屋を出て、いやーって歩いていた。
- (39) a. お母さんは息子の話を聞いたら、はあと座った。
b. お母さんは息子の話を聞いたら、はあっと言って座った。
c. お母さんは息子の話を聞いたら、はあっとため息を付いて座った。
- (40) A : バレンタインの日にチョコレートをうわー/うーん/まあともらいたいなあ。
B : へー。
- (41) a. 彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人がみんなおー/うわっ/うおー/わーと拍手していた。
b. 彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人がみんなおー/うわっ/うおー/わーとなった。
c. 彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人がみんなおー/うわっ/うおー/わーと感動した。
d. 彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人がみんなおー/うわっ/うおー/わーと熱狂した。
- (42) a. 彼女はそれを聞いたら、えっ/はあっ/うーとした。
b. 彼女はそれを聞いたら、えっ/あれ/はあっと言った。

- c. 彼女はそれを聞いたら、[えっ/あれ/はあっ]となった。
- d. 彼女はそれを聞いたら、[えっ/あれ/はあっ]と思った。
- e. 彼女はそれを聞いたら、[えっ/あれ/はあっ]て思った。
- f. 彼女はそれを聞いたら、おいおいと思った。
- g. 彼女はそれを聞いたら、[えっ/あれ]という気がした。
- h. 彼女はそれを聞いたら、[えっ/あれ]って気がした。
- j. 彼女はそれを聞いたら、[えっ/あれ/はあっ/きやあ]という顔をしていた。

- (43) a. 学生たちは先生の話を[うーん/うんうん]と聞いている。
 b. 上司は部下の話をうーんと聞いている。

そして、ポーズは、先述べたように(22b), (23b), (25b), (32a), (33b), (34b), (35b), (36d), (37b)では、感動詞の後に付いて形容詞・助動詞「だった」の前に来るのみならず、(24b)のように名詞の前にも入ってくる場合もある。そのため、ポーズは感動詞の組み合わせる一つのパターンであると見られる。

さらに、調査に取り扱ったパターン以外に、他のパターンもあった。次のようである。

- 感動詞が文末詞として現れる。

(44) それを聞いたら、[えっ/へー/うーん]。

- 感動詞が文末詞「みたいな」の前に出てくる。

(45) それを聞いたら、[[えっ/へー/うーん] みたいな]。

但し、これらのパターンは、第1回調査にも出てきた。3.1 に書いてある例文の(3), (6)でも見られる。

なお、動詞のコンテキストについては、被験者の回答意見から次のような疑問がある。

- 感動詞は様態副詞やオノマトペのような違う品詞としての役割をしていることを[28]～[41]に指摘されたことから、オノマトペとの関係があるのだろうか。
- 感動詞は、[33]のように、「と」を伴わず、ポーズが付く或いは何も付かなく直前に

組み合わせる場合もあるだろうか。以下の (46) に記述される。

(46) a. A: バレンタインの日にチョコレートを[[[うわー] (・)] もらいたい]なあ。

B: へー。

b. A: バレンタインの日にチョコレートを[[[いやー] もらいたい]なあ。

B: へー。

- 感動詞は、動詞に繋がれば、「と・って」以外に、「みたいに」も共起する可能性があるだろう。

(47) 彼は[[[ええああ]みたいに]話している]、なかなか一文になっていない。

(48) A: その話、もう聞いた?

B: 聞いた聞いた。

A: どう思う?

B: そうだね。最初はちょっと[[[えーっ]みたいに]思っていた]が、今は彼女みたいな人ならあり得るね。

このような疑問は、第 4, 5 回調査結果によって明らかにして、以下の節に記述する。

4. 1. 3. まとめ

調査結果からみて、感動詞の組み合わせパターンを次のように記述できる。⁷

[[[感動詞]って] 名詞]
[[[感動詞]みたいな] 名詞]
[[[感動詞]みたいに] 動詞]⁹
[[[感動詞] (・)] 名詞]
[[[感動詞] (・)] だった]
[[[感動詞]∅] 形容詞]
[[[感動詞] (・)] 形容詞]
[[[感動詞]と] 形容詞]⁸
[[[感動詞]と] 動詞]
[[[感動詞] (・)] 動詞]⁹
[[[感動詞]∅] 動詞]

⁷ 「調査結果」とは、本論文に記述する第 1 回～第 5 回の総合的な調査結果である。

⁸ 被験者の意見では、感動詞と形容詞の間に「と」が入ることがないということであるが、本論文は統語論の観点からアプローチするので、このパターンを考察の対象としている。

⁹ このパターンは存在しているという疑問があるため、第 4, 5 回調査で明らかにする。

[[[感動詞]みたいな。]¹⁰

[[感動詞]って・と。]

[文末の感動詞。]

このように、以上のパターンから、感動詞が文中で「と・て」「みたいな」「ポーズ」を伴って、他の語と組み合わせることがあるということが分かってきた。したがって、その自体の固有な特徴と見なされている独立性が変わっているわけであると考えられる。その故、第3回調査での動詞との組み合わせパターンに関する疑問に加えて、感動詞の独立性がどのように変化しているかを明らかにするのが必要であると考え、第4,5回の調査を行った。次節では具体的に考察していく。

¹⁰ 第1回の調査結果から得た3.1の(2)～(7)で見られる。

4.2. 感動詞の独立性

4.2.1. 定義

橋本進吉 (1934)によれば、意味を有する言語単位は、形態から見ると、独立する単位又は独立すべきである単位としては、文及び文節があり、独立しない単位は語根及び接辞（助詞、助動詞）があるということである。したがって、感動詞は、下記の(1), (2)の「おっ」「へー」のように、発話のとき、独立して文頭に現れる、またそれ自身が単独で一文となることがあるので、感動詞は先ず独立する言語単位であると考えられている。

(1) おっ、雨だ。

(2) A: ねえねえ、昨日増田さんから指輪をもらったの。

B: へー。

なお、(飛田良文他 2002: 114)では、工藤真由美氏により、独立語とは文が表す事象（文の対象的内容）を詳しくするものではなく、話し手の態度や他の文との関係を表す文の部分である、また、文の成分としては独立性が最も高いであり、常に文頭に位置するものであるということを記述されている。

【表 1】

(A) 話し手の態度を表す (陳述副詞など)	珍しく太郎が勉強している (勉強していない) たぶん太郎は合格する(合格しない)だろう。 けっして太郎は嘘つきではない。
(B) 他の文と関係を表す (接続詞)	しかし、太郎は合格した (合格しなかった) だから、太郎は勉強している (勉強していない) のだ。
(C) 呼びかけ、うえこたえ、叫びなどを表す (感動詞、名詞 (代名詞のゼロ格))	こらっ、走れ (走るな)。 ええ、知っています(知りません)。 まあ、素敵。おお、嫌だ。 あなた、かわりはないですか。

(工藤真由美(飛田良文他 2002: 114))

【表 1】を見ると、感動詞は、(C) のタイプに属し、陳述副詞、接続詞と共に、独立性が最も高い独立語であると見なされている。さらに、文構造要素としては、陳述副詞、接続詞と比べて、感動詞は文頭に現れる限りではなく、単独で一文となるということもあるから、独立語では、独立性が一番高いものであると考えられる。

つまり、従来研究において、感動詞の独立性とは、独立して文頭に現れる、またそれ自身が単独で一文となるということにあり、品詞では独立性が最も高いということである。

4.2.2. 問題提起

感動詞は、従来研究において、独立して文頭に現れる、またそれ自身が単独で一文となるという点にあり、品詞ではその独立性が最も高いとされているが、こういう独立性の度合は変わるかどうか疑問がある。具体的には、感動詞が接続詞のように文頭に現れる場合は、独立性が接続詞に等しいということも考えれば、単独で一文として現れる場合は、接続詞に等しいとは言えないだろう。したがって、感動詞の独立性が一定であることはないと考えられる。特に、第1～3回の調査結果を見ると、感動詞は調査結果から得た(3)～(8)のように、文中に入り、他の語と組み合わせて、文構造要素として現れるという現象がある。

(3) 010326B：おやが公務員じゃけすごいすすめてくるけどさ、うーん。そこまで頑張つてまでやりたいことがあるかっていったら、

010327A：あー。

010328B：やっぱりうーんってなるわけよ。

010329A：なるほどね。

(4) おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、うわー（・）時計だった。

(5) 彼が言ったことが本当だったら、それはほおーって話だね。

(6) A：この話、もう言った？彼女に。

B：言った言った。

A：彼女はどういう反応だった？。

B：そうだね。ふーん（・）だったよ。

(7) 彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人がみんなおーと拍手していた。

(8) 学生は先生の話うーんと聞いている。

これらの例を観察すると、感動詞「うーん」「いやー」「うわー」「ほおー」「ふーん」の文中に現れることが見られる。そのうちに、「うーん」「ほおー」は後ろに助詞「と・って」が付いて、動詞「なる」「聞いている」、名詞「話」とグループみ合わせるが、「うわー」「いやー」「ふーん」は名詞「時計」、助動詞「だった」、動詞「汚れちゃった」の前に出てくる。これを見て、感動詞の機能も変化しているということが考えられる。これは、その独立性も変化しているのではないだろうかとの疑問がある。しかしながら、感動詞の独立性及びその変化については従来の論究において詳しく記述されていない。本研究では、調査によってこれらの問題を明らかにする。

4.2.3. 調査要領

感動詞の独立性を調べるために、2回の調査（第4回と第5回）を実施した。

調査は、それぞれ2012年2月10日、2012年4月24日に行った。調査の協力者は20代の日本語母語話者(大学生)の6人である。協力者は3人ずつの1グループに同時に約2時間程度でインタビューした。録音をとった。

第4回目調査の目的は、感動詞と「ポーズ」の存在や助詞「と」の結び、反復の可能性を考察することによって、動詞の前に出てくる感動詞の独立性、また、副詞としての働きをするか、引用句の名詞としての働きをするかを明らかにすることにある。

第5回目調査の目的は、第4回目において独立性が明らかに見られない「いやー」「ええああ」「うーん」「うわっ」「わー」などの感動詞と「ポーズ」の存在や助詞「と」の結び、反復の可能性を、色々なコンテキストで再考察することによって、感動詞における独立性の変化があるという、第4回目調査から得た結果としての問題点を解明する。

調査内容については、第2回目と3回目調査の項目から例文を抽出する、また新しい文も作る。第4回目は、全部で15項の例文があり、感動詞と動詞を組み合わせる例文を作る。第5回目は、5項の例文があるが、一項ずつには同じ感動詞と色々な動詞を組み合わせる5～6例文に分ける。¹¹ インタビュー質問は、両者とも、次のような同じパターンで行った。

パターン①[[[感動詞]Ø]動詞]

例) お父さんは息子の話をふーん聞いている。

パターン②[[[感動詞] (・)]動詞]

例) お父さんは息子の話をふーん (・)聞いている。

パターン③[[[感動詞]と・て]動詞]

例) お父さんは息子の話をふーんと聞いている。

パターン④[[[感動詞]に]動詞]¹²

例) お父さんは息子の話をふーんに聞いている。

パターン⑤[[[感動詞]みたいに]動詞]¹²

例) お父さんは息子の話をふーんみたいに聞いている。

パターン⑥[[[感動詞の反復] Ø]動詞]

¹¹ 具体的な内容は[付録4,5]に載せてある。

¹² 第5回目調査の項目にない。

例) お父さんは息子の話をふーんふーん聞いている。

パターン⑦[[[感動詞の反復]と]動詞]

例) お父さんは息子の話をふーんふーんと聞いている。

パターン⑧[[[感動詞]と] [[感動詞]と]動詞]

例) お父さんは息子の話をふーんとふーんと聞いている。

パターン⑨[[[感動詞]だと]思う]¹³

例) 彼女が1人で20年ずっと子供の4人も育てていたことを聞いたとき、いやだと思っていて、自分をもっと努力したいという感じがした。

パターン①は、感動詞と動詞を直接に組み合わせるものである。パターン②③④⑤は、それぞれ感動詞の後ろにポーズ、「と/って」「に」「みたいに」をつけて組み合わせるものである。パターン⑥は、感動詞を反復形にして、直接に動詞を組み合わせるものである。パターン⑦は、感動詞を反復形にし、後ろに「と」を付けて動詞を組み合わせるものである。パターン⑧は、感動詞の後ろに「と」を付け、その全体を反復して、動詞を組み合わせるものである。パターン⑨は、感動詞がその後に「だと」を付けて思想伝達の動詞「思う」と組み合わせるものである。各パターンは下記のような例文に見られる。これらのパターンはインタビュー質問に具体化される。¹⁴

調査の分析方法としては、先ず被験者の回答意見を基づいて、感動詞の動態を各パターンの全体からそれぞれの項目の微妙に見て、それぞれの特徴を記述して分類し、その独立性を判断する。

4.2.4. 調査結果分析

4.2.4.1. 第4回調査

4.2.4.1.1. 回答分析

被験者の回答意見は、パターンによって説明していくと、次のようになる。分析方法は、まず調査の例文項目を(9)～(128)の具体的なコンテキストに記述し、その例文の下には被験者の具体的な意見のデータを挙げ、それぞれ検証に使用する。

- パターン①[[[感動詞] 0]動詞]では、(9)～(23)の例文を挙げておく。

¹³ パターン⑨は、全ての項目に使用せず、第4回調査の[1e], [3c], 第4回の[15]に限っている。

¹⁴ 具体的には[付録4, 5]に書いてある。

- (9) × お父さんは息子の話をふーん聞いている。[1]¹⁵
- (10) × 彼女は部屋の奥に座っている男の人をへー見て、部屋を出て行った。[2]
- (11) × 彼はええああ話していて、なかなか一文になっていない。[3]
- (12) ? 友達は鈴木さんの意見にうんうん答えた。[4]
- (13) × 会長は鈴木さんの説明を聞いているとき、そうそう賛成していた。[5]
- (14) × 兄は弟の質問を聞いていると、うーん考えていた。[6]
- (15) × 彼は、本をもち、うーん歩いていた。[7]
- (16) ? お母さんは息子の答えを聞いたら、はあっ立ち上がった。[8]
- (17) ◎ 「今日は、AKB グループにも出演していただきますよ」と聞いたら、会場にいる人がみんなおー拍手した。[9]
- (18) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[10]
B : 何を見たの?
? A : 宝くじを当たって、うわっお金をもらったのよ。
B : へー。
- (19) A : 先週一緒に買ったシャツを着てないね。[11]
× B : 実は、今朝、着ようとしたが、棚から取り出したら、いやー汚れちゃったのよ。
- (20) × TOIEC 試験の 900 点を見たら、わー喜び、飛び上がった。[12]
- (21) × 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっ降ってきて、びしょ濡れになっちゃった。[13]
- (22) × 社長は部下が会議に遅れた理由を聞いたら、はあっした。[14]
- (23) A : その話、もう聞いた? [15]
B : 聞いた聞いた。
A : どう思う?
× B : そうだね。最初はちょっとえーっ思っていたが、今は彼女みたいな人ならあり得

¹⁵ ここから、()の中にある文頭の番号は調査項目から記述されたコンテキストであるが、文末の [] の中にある番号は実際調査の例文項目である。

るね。

(9)～(23)のコンテキストに現れる感動詞と動詞を直接に組み合わせて言うことができるものはほとんどないということである。

但し、(12), (16), (17), (18)は言えるということである。(17)の「お一拍手した」は、自然に言えると言われていた。そして、(12, 16, 18)も言わないことはないと考えられている。具体的には、被験者の意見を見よう。

- ① 100001Q : はい。先ず、どれが言えるか、あの 1 から 15 までどれが言えますか。
100002M : はい。
100003Q : お願いします。
100004K : 言えるというのは、これでも意味が通じるということですか。
100005Q : そうですね。あの、自由に言ってください。どう考えれば使えるかということも、それも考えてもらいます。通じるか、それでも、
100006K : あー、はい。私は、全部、最後に「と」とか、えーと、そうでうね、感動詞は「と」がないと通じないかなと思います。
100007Q : うん、ありがとうございます。Mさんは？
100008M : あ、はい。私もそうですね。はい、「と」が。
100009Y : 私もえーと「と」が入ったほうが通じると思うんですけど、この4番「うんうん答えた」っていうのは、言えると思います。後、10番の「うわっお金をもらった」っていうのはこの「うわって途切れている気がして、会話の中だったら、ちゃんと通じるような気がしますね。

被験者の意見をみると、(12)の「うんうん答えた」、(18)の「うわっお金をもらった」については、言えるということは、以上のデータにある下線部のような一人の意見である。ちなみに、(18)の「うわっ」は、その後に促音「ッ」があって、途切れているため、会話の中では通じるということである。

(16)については、被験者の意見は以下の通りである。

- ② 100034Q : 8番は？
100035K : 入らないと思います。
100036Y : 通じるような気もしますが、「はあっ立ち上がった」、
100037M : 効果的な(…)ですね。
100038Q : あー、そうですね。

よって、(16)のようなコンテキストに現れる「はあっ立ち上がった」が、音の効果として通じるため使えるということである。

(17)については、被験者の意見は以下の通りである。

③ 100038Q : あー、そうですね。9番は？

100039K : え、どうなるか、まあ入らなくてもいいなあ、通じる。

100040Y : 「おー (0.1 秒) 拍手した」、

100041M : 入っても入らなくてもいいです。

100042Y : うん。

したがって、(17)のようなコンテキストに現れる「おー」がその後にポーズが付かなくても言えるが、ポーズが入ることもあるということである。

● パターン②[[[感動詞] (・)]動詞]においては、(24)～(38)の例文を見よう。

(24) × お父さんは息子の話をふーん (・) 聞いている。[1]

(25) × 彼女は部屋の奥に座っている男の人をへー (・) 見て、部屋を出て行った。[2]

(26) ◎ 彼はええああ (・) 話している、なかなか一文になっていない。[3]

(27) × 友達は鈴木さんの意見にうんうん (・) 答えた。[4]

(28) ◎ 会長は鈴木さんの説明を聞いているとき、そうそう (・) 賛成していた。[5]

(29) × 兄は弟の質問を聞いていると、うーん (・) 考えていた。[6]

(30) × 彼は、本をもち、うーん (・) 歩いていた。[7]

(31) × お母さんは息子の答えを聞いたら、はあっ (・) 立ち上がった。[8]

(32) ◎ 「今日は、AKB グループにも出演していただきますよ」と聞いたら、会場にいる人がみんなおー (・) 拍手した。[9]

(33) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[10]

B : 何を見たの？

◎ A : 宝くじを当たって、うわっ (・) お金をもらったのよ。

B : へー。

(34) A : 先週一緒に買ったシャツを着てないね。[11]

◎ B : 実は、今朝、着ようとしたが、棚から取り出したら、いやー (・) 汚れちゃ

ったのよ。

- (35) × TOIEC 試験の 900 点を見たら、わー (・) 喜び、飛び上がった。[12]
- (36) × 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっ (・) 降ってきて、びしょ濡れになっちゃった。[13]
- (37) × 社長は部下が会議に遅れた理由を聞いたら、はあっ (・) した。[14]
- (38) × A : その話、もう聞いた？ [15]
B : 聞いた聞いた。
A : どう思う？
B : そうだね。最初はちょっとえーっ (・) 思っていたが、今は彼女みたいな人ならあり得るね。

ポーズのコンテキストでは、以上の(24)～(38)に記述されるが、被験者の意見をみると、感動詞と動詞の間にポーズ入ることは、[3, 5, 9, 10, 11]に限ってあり、(26), (28), (32), (33), (34)のようなコンテキストに現れる。但し、[9]の「おー拍手した」はパターン①を分析したように、ポーズがなくても通じると言われる。それぞれは、以下に被験者の意見を見よう。

- ④ 100012Q : 他のも、はい、1 から 15 まで、感動詞の後ろになんか「ふーん」「へー」等の後ろにポーズが入れるかどうか、
100013K : 3 番は入ると思います。
100014Q : 3 番ですね。
100015K : 「彼はえーあー・・・」、
100016Q : 「ええああ」の後ろにポーズが
100017M : あ、なんかこう回想じゃないですけど、過去を思い出していたりするとき、場つなぎ言葉的な保権としての性質とはそれに気がしますね。
100018Q : はい、そうですね。
(中略)
100024Q : うんうん、5 番の「そうそう」は？
100025K : 「そうそう」は、
100026M : これはポーズが入っているじゃないんですかね。
100027Y : あー、うん。
100038Q : あー、そうですね。9 番は？
100039K : え、どうなるか、まあ入らなくてもいいなあ、通じる。
100040Y : 「おー (0.1 秒) 拍手した」、
100041M : 入っても入らなくてもいいです。

- 100042Y : うん。
- 100043Q : 10 番はね。「うわっ」、
- 100044K : 「うわっ」、「うわっ」ていうのが、あ、でも、感動詞だから、驚きみたいな表現ですよ。
- 100045M : うん。
- 100046Y : 私は、10 番は通じると思います。
- 100047K : 「うわっ (0.1 秒) お金をもらった」。あー、そうですね。
- 100048Q : 11 番は？
- 100049Y : これ、言えますよね。
- 100050K : うん、言いますね。
- 100051Y : 普段から、「いやー汚れちゃったんだよ」っていうのは普段に使うと思います。
- 100052K : うん。

他の項目については、ポーズが入らないとか入ったら違和感があると言われる。具体的な被験者の意見は以下のものである。

- ⑤ 100022Q : ポーズが入れるか、
- 100023K : ポーズは、入らないと思いますね。
- 100024Q : うんうん、5 番の「そうそう」は？
- 100025K : 「そうそう」は、
- 100026M : これはポーズが入っているじゃないんですかね。
- 100027Y : あー、うん。
- 100028Q : 6 番は？
- 100029K : 「うーん考えていた」、
- 100030Y : いや、
- 100031K : 入らない。
- 100032Q : はい、7 番は？
- 100033Y : いや、6 も 7 も何か違和感がありますね、ポーズが入っても。

- パターン③[[[感動詞]と]動詞]においては、(39)～(53)の例文を見よう。

(39) ◎ お父さんは息子の話をふーんと聞いている。[1]

(40) ◎ 彼女は部屋の奥に座っている男の人をへーと見て、部屋を出て行った。[2]

(41) ◎ 彼はええああと話していて、なかなか一文になっていない。[3]

(42) ◎ 友達は鈴木さんの意見にうんうんと答えた。[4]

- (43) ◎ 会長は鈴木さんの説明を聞いているとき、そうそうと賛成していた。[5]
- (44) ◎ 兄は弟の質問を聞いていると、うーんと考えていた。[6]
- (45) ◎ 彼は、本をもち、うーんと歩いていた。[7]
- (46) ◎ お母さんは息子の答えを聞いたら、はあっと立ち上がった。[8]
- (47) ◎ 「今日は、AKB グループにも出演していただきますよ」と聞いたら、会場にいる人がみんなおーと拍手した。[9]
- (48) A：昨夜ね、すごい夢をみたよ。[10]
 B：何を見たの？
 ◎A：宝くじを当たって、うわっとお金をもらったのよ。
 B：へー。
- (49) A：先週一緒に買ったシャツを着てないね。[11]
 ◎ B：実は、今朝、着ようとしたが、棚から取り出したら、いやーと汚れちゃったのよ。
- (50) ◎ TOIEC 試験の 900 点を見たら、わーと喜び、飛び上がった。[12]
- (51) ◎ 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっと降ってきて、びしょ濡れになっちゃった。
 [13]
- (52) ◎ 社長は部下が会議に遅れた理由を聞いたら、はあっとした。[14]
- (53) A：その話、もう聞いた？[15]
 B：聞いた聞いた。
 A：どう思う？
 ◎ B：そうだね。最初はちょっとえーっと思っていたが、今は彼女みたいな人ならあり得るね。

このパターンでは、[1]～[15]は、すべて言えるということである。感動詞と動詞の間に「と」が入ることについては、被験者の意見を以下に挙げる。

- ⑥ 100006K：あー、はい。私は、全部、最後に「と」とか、えーと、そうでうね、感動詞は「と」がないと通じないかなと思います。
 100007Q：うん、ありがとうございます。Mさんは？
 100008M：あ、はい。私もそうですね。はい、「と」が。

100009Y : 私もえーと「と」が入ったほうが通じると思うんですけど、この4番「うんうん答えた」っていうのは、言えると思います。後、100番の「うわっお金をもらった」っていうのはこの「うわって途切れている気がして、会話の中だったら、ちゃんと通じるような気がしますね。」

(中略)

100058M : ポーズが入ってもおかしい。

100059Q : うん、はいはい。もし、「と」が付いたら、

100060M : 「わーと」、あー、

100061Y : 「わーと」なら、

(中略)

100069K : 「と」が言う。要ると思います。

100076M : いや、そのままに言っていなく、「と」とか、

(中略)

100082Y : 「と」がほしいって。

100086K : 「と」「って」以外には入らないと思いますね。

100087M : うん。

(中略)

100091Y : 「と」「って」は、全部に入ると思います。

以上のような意見をみると、すべての例文項目で、感動詞と動詞の間に「と」が(39)～(53)のように入るのであれば、意味が通じて言えるということである。

- パターン④[[[感動詞]に]動詞]においては、(54)～(68)の例文を見よう。

(54) × お父さんは息子の話をふーんに聞いている。[1]

(55) × 彼女は部屋の奥に座っている男の人をへーに見て、部屋を出て行った。[2]

(56) × 彼はええああに話していて、なかなか一文になっていない。[3]

(57) × 友達は鈴木さんの意見にうんうんに答えた。[4]

(58) × 会長は鈴木さんの説明を聞いているとき、そうそうに賛成していた。[5]

(59) × 兄は弟の質問を聞いていると、うーんに考えていた。[6]

(60) × 彼は、本をもち、うーんに歩いていた。[7]

(61) × お母さんは息子の答えを聞いたら、はあっに立ち上がった。[8]

(62) × 「今日は、AKB グループにも出演していただきますよ」と聞いたら、会場にいる人がみんなおーに拍手した。[9]

(63) A：昨夜ね、すごい夢をみたよ。[10]

B：何を見たの？

× A：宝くじを当たって、うわっにお金をもらったのよ。

B：へー。

(64) A：先週一緒に買ったシャツを着てないね。[11]

× B：実は、今朝、着ようとしたが、棚から取り出したら、いやーに汚れちゃったのよ。

(65) × TOIEC 試験の 900 点を見たら、わーに喜び、飛び上がった。[12]

(66) × 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっに降ってきて、びしょ濡れになっちゃった。

[13]

(67) × 社長は部下が会議に遅れた理由を聞いたら、はあっにした。[14]

(68) A：その話、もう聞いた？[15]

B：聞いた聞いた。

A：どう思う？

× B：そうだね。最初はちょっとえーっに思っていたが、今は彼女みたいな人ならあり得るね。

(54)～(68)のようなコンテキストに現れる感動詞については、被験者に以下のように言われる。

⑦ 100086K：「と」「って」以外には入らないと思いますね。

100087M：うん。

100088K：「に」は、入らない、ですね。

100089Y：「に」はどれにも入らない気がします。

100090K：うん。

よって、すべての項目では感動詞と動詞の間に「に」が入ることはないということである。

● パターン⑤[[[感動詞]みたいに]動詞]においては、(69)～(83)の例文を見よう。

(69) ? お父さんは息子の話をふーんみたいに聞いている。[1]

(70) × 彼女は部屋の奥に座っている男の人をへーみたいに見て、部屋を出て行った。[2]

- (71) ◎ 彼はええああみたいに話していて、なかなか一文になっていない。[3]
- (72) × 友達は鈴木さんの意見にうんうんみたいに答えた。[4]
- (73) × 会長は鈴木さんの説明を聞いているとき、そうそうみたいに賛成していた。[5]
- (74) × 兄は弟の質問を聞いていると、うーんみたいに考えていた。[6]
- (75) × 彼は、本をもち、うーんみたいに歩いていた。[7]
- (76) × お母さんは息子の答えを聞いたら、はあっみたいに立ち上がった。[8]
- (77) × 「今日は、AKB グループにも出演していただきますよ」と聞いたら、会場にいる人がみんなおーみたいに拍手した。[9]
- (78) A：昨夜ね、すごい夢をみたよ。[10]
 B：何を見たの？
 × A：宝くじを当たって、うわっみたいにお金をもらったのよ。
 B：へー。
- (79) A：先週一緒に買ったシャツを着てないね。[11]
 × B：実は、今朝、着ようとしたが、棚から取り出したら、いやーみたいに汚れちゃったのよ。
- (80) × TOIEC 試験の 900 点を見たら、わーみたいに喜び、飛び上がった。[12]
- (81) × 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっみたいに降ってきて、びしょ濡れになっちゃった。[13]
- (82) × 社長は部下が会議に遅れた理由を聞いたら、はあっみたいににした。[14]
- (83) A：その話、もう聞いた？[15]
 B：聞いた聞いた。
 A：どう思う？
 ◎ B：そうだね。最初はちょっとえーっみたいに思っていたが、今は彼女みたいな人ならあり得るね。

感動詞と動詞の間に「みたいに」が入って言えるものは、(71), (83)のように記述された[3], [15]以外にはないということである。他の項目については、以下のような被験者の意見

を見よう。

⑧ 100095Q : はい、ありがとうございます。「みたいに」、例えばあの「と・って」意外に、「みたいに」とか、入れるかどうか、

100096K : 「みたいに」は、

100097Q : 「お父さんは息子の話をふーんみたいに聞いている。」という形で、

100098K : まあ、入れることはできますけど、意味は分かりにくい、

100099Q : 分かりにくいんですか。

100100K : ちょっと、入れることはできます。

100101Q : じゃ、一文ずつに行ってみたら。はい、「彼女は部屋の奥に座っている男の人をへー みたいに見て、部屋を出て行った」。

100102Q : 2 番は？

100103K : これはどんなことか、

100104M : これは想像しにくいというか、あまり言わない。

100105Y : ふーん。

(中略)

100109Q : これは文中に現れるんですけどね。

100110K : うーん、「みたいに」、

100111Q : 例えば、3 番は「彼はえーあーみたいに話していて、なかなか一文になってない」ていう、

100112K : あー、これは言う。

100113Y : 言うと思いますね。

100114Q : 「みたいに」入れるか。

100115K : はい。

(中略)

100146Y : 私はなんか、たぶん全部言わないって言っちゃおう。はい、私は。

(中略)

100155Q : 13 番は？ 13, 14, 15 はね。

100156Y : あ、でも、15 番は言えるかも。

100157K : うん、15 は言うと思います。

100158Q : 15 番は、

100159K : 「最初ちょっとえーつみたいに思っています」

100160Y : あっ、言いますね、15 は。

100161Q : 言えますか、15 番は？

100162M : 言えます。

以上のような意見によると、他の項目は、例えば、[1] の「ふーんみたいに聞いている」とかで、(69)～(70), (71)～(82) コンテキストに現れる感動詞の後に「みたいに」が付いたら、意味が分かりにくいため、言わないということである。

- パターン⑥[[[感動詞の反復]の動詞]においては、(84)～(98)の例文を見よう。

(84) ? お父さんは息子の話をふーんふーん聞いている。[1]

(85) × 彼女は部屋の奥に座っている男の人をへーへー見て、部屋を出て行った。[2]

(86) × 彼はええああええああ話していて、なかなか一文になっていない。[3]

(87) × 友達は鈴木さんの意見にうんうんうんうん答えた。[4]

(88) × 会長は鈴木さんの説明を聞いているとき、そうそうそうそう賛成していた。[5]

(89) ○ 兄は弟の質問を聞いていると、うーんうーん考えていた。[6]

(90) × 彼は、本をもち、うーんうーん歩いていた。[7]

(91) × お母さんは息子の答えを聞いたら、はあっはあっ立ち上がった。[8]

(92) × 「今日は、AKB グループにも出演していただきますよ」と聞いたら、会場にいる人がみんなおーおー拍手した。[9]

(93) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[10]

B : 何を見たの？

× A : 宝くじを当たって、うわっうわっお金をもらったのよ。

B : へー。

(94) A : 先週一緒に買ったシャツを着てないね。[11]

○ B : 実は、今朝、着ようとしたが、棚から取り出したら、いやーいやー汚れちゃったのよ。

(95) ○ TOIEC 試験の 900 点を見たら、わーわー喜び、飛び上がった。[12]

(96) × 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっうわっ降ってきて、びしょ濡れになっちゃった。[13]

(97) × 社長は部下が会議に遅れた理由を聞いたら、はあっはあっみたいにした。[14]

(98) A : その話、もう聞いた？ [15]

B : 聞いた聞いた。

A : どう思う？

× B : そうだね。最初はちょっとえーっえーっ思っていたが、今は彼女みたいな人ならあり得るね。

感動詞がその反復形で動詞の前に入って言うことは、[1, 6, 11, 12]のみにあるということである。反復のコンテキストは(84), (89), (94), (95)に記述される。

但し、先ず、[1]の「ふーん」は、(84)のようなコンテキストに現れる「ふーんふーん」では言わないが、「ふんふん」であれば、言える。被験者の意見を以下に見よう。

⑨ 100163Q : はい、あのうね。例えば、あの 11 から 15 まで感動詞は反復で、例えば「ふーんふーん」、例えば 1 番、例 1 ね、なんか「お父さんは息子の話をふーんふーん聞いている」という、行けますか。

100164K : 「ふーんふーん」は、(M も K と一緒に言った)

100165M : 「ふんふん」ならわかるんだけど、「ふーんふーん」というのがなかなかない。

100166Q : 「ふーんふーん」という形で、

100167K : 「ふんふん」なら、言うと思います

100168Y : あ、「ふーんふーん」ということですか、あー。

100169K : 「ふーんふーん」は、

100170Y : は、言わないんですね。「ふんふん」なら言いますけど。

100171Q : あー、長音、

100172Y : を、ないんですね。

100173Q : ないんですね、「ふんふん」

100174Y : はい。

100175Q : M さんはそう思いますか。

100176M : はい。

次に、[6]の「うーん」は、(89)のように現れる「うーんうーん」で、意味が通じる故、言うとなされる。また、「うーん」は、「兄は弟の質問をうーんうーん聞いていた」というコンテキストでも言えると言われる。但し、次のような、言わないという意見もある。

⑩ 100192Q : たぶん 4 番と 5 番はそうですよね。6 は？「うーんうーん」、

100193M : 言わない。

100194Q : 言わないんですか。

100195K : 「うーんうーん考えていた」。あ、でも、

100196Y : 通じる。

100197K : 「兄は弟の質問をうーんうーん聞いていた」、2 回反復したら言うと思います。

100198Y : うん、私もそう思います。

100199M : 私は言わないと思います。

次に、[11]の「いやー」は、(94)のように現れる「いやーいやー」で、通常の会話では言わないが、話者や場合によって言うこともある。被験者の意見を見よう。

⑪ 100216Q : 11 は？

100217K : 「いやーいやー」、

100218Q : 「いやーいや」、

100219K : あ、でも、言うかも、

100220M : 場合によって言いそうな気がする。

100221K : うん、言う人もいます。

100222M : 特殊というか、その、なんなんだろう。通常は言わないかなという
気がしますけど、なんかこう勝手的な想像したら、おじいさんとか
出現する人が言いそうな感じは、

100223K : うん。

100224M : 漫画とかありそうな気が(…)。

100225Y : あー、私は言わない。

[12]の「わー」は、(95)のようなコンテキストに現れる「わーわー」では言いそうであるが、発音に関係する、即ち頭韻のアクセントが高いものであれば、言えるということと言われる。具体的な被験者の意見は以下の通りである。

⑫ 100226Q : はい、12 は？ 「わーわー」、「わーわー喜び」、

100227M : あ、言いそうと気がした。

100228Y : うん、言いそうですね。発音、発音に関係すると思います。「わ[□]わ[□]」
(19 : 24 喜びじゃなくて、「わ[□]わ[□]」喜び。¹⁶

100229Q : あー、そうですね。はいはい。

[1, 6, 11, 12]以外に、他の項目は、(85)～(88), (90)～(93), (96)～(98)のように現れるものが言えないと言われる。

- パターン⑦[[[感動詞の反復]と]動詞]においては、(99)～(113)の例文を挙げる。

(99) ? お父さんは息子の話をふーんふーんと聞いている。[1]

(100) ◎ 彼女は部屋の奥に座っている男の人をへーへーと見て、部屋を出て行った。[2]

(101) ? 彼はええああええああと話していて、なかなか一文になっていない。[3]

(102) ? 友達は鈴木さんの意見にうんうんうんうんと答えた。[4]

¹⁶ 【□】とは頭韻が高いアクセントを表す。【□】とは、頭韻が低いアクセントを表す。

- (103) ? 会長は鈴木さんの説明を聞いているとき、そうそうそうそうと賛成していた。
[5]
- (104) ○ 兄は弟の質問を聞いていると、うーんうーんと考えていた。[6]
- (105) ○ 彼は、本をもち、うーんうーんと歩いていた。[7]
- (106) × お母さんは息子の答えを聞いたら、はあっはあつと立ち上がった。[8]
- (107) ○ 「今日は、AKB グループにも出演していただきますよ」と聞いたら、会場に
いる人がみんなおーおーと拍手した。[9]
- (108) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[10]
B : 何を見たの?
○ A : 宝くじを当たって、うわっうわつとお金をもらったのよ。
B : へー。
- (109) A : 先週一緒に買ったシャツを着てないね。[11]
× B : 実は、今朝、着ようとしたが、棚から取り出したら、いやーいやーと汚れちゃ
ったのよ。
- (110) ○ TOIEC 試験の 900 点を見たら、わーわーと喜び、飛び上がった。[12]
- (111) ○ 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっうわつと降ってきて、びしょ濡れになち
ゃった。[13]
- (112) × 社長は部下が会議に遅れた理由を聞いたら、はあっはあつとした。[14]
- (113) A : その話、もう聞いた？ [15]
B : 聞いた聞いた。
A : どう思う？
◎ B : そうだね。最初はちょっとえーっえーつと思っていたが、今は彼女みた
いな人ならあり得るね。

感動詞は、動詞の前に出てくるとき、反復形をしてその後に「と」が付いて言えるということ
を言われる。このパターンでは、(99)～(113)に記述されたように、ほとんどの例文項
目が言える。但し、感動詞が(99), (101), (102), (103)のコンテキストに現れる場合もある。

(99)では、[1]の「ふーん」が反復形をして、「ふーんふーんと」ではなく、「ふんふんと」
であれば、言えるということである。被験者の具体的な意見は以下に見られる。

- ⑬ 100245Q : はい。例えば、1 はね。「お父さんは息子の話をふんふん聞いている」で、
言えますね。言えるんですか。どう思いますか。
100246M : あー、はい。「ふんふん」だったら、
100247Q : はい。あの一、「ふんふんと聞いている」という、行けますか。
100248M : あー、はい。「ふんふんと」なら、はい。
100249K : はい。
100250Y : あー。

(101)では、以下に記述されたようなという被験者の意見によると、[3]の「ええああ」は、反復形をして、「と」が入れば意味が通じる言わないことはないと考えられる。

- ⑭ 100240K : 「えーっえーっと思っていたが」、
100241M : 「と」が入れば、言いそうと気がするんだけど、
100242K : あー。
100243M : このままだと言わない感じがしますね。
100244K : うん、そうですね。
100245Q : はい。例えば、1 はね。「お父さんは息子の話をふんふん聞いている」で、
言えますね。言えるんですか。どう思いますか。
100246M : あー、はい。「ふんふん」だったら、
100247Q : はい。あの一、「ふんふんと聞いている」という、行けますか。
100248M : あー、はい。「ふんふんと」なら、はい。
100249K : はい。
100250Y : あー。
100250Q : 他は、他の例文も、「へーへーと」とかは。
100252Y : はい、言えると思います。
100253Q : あー、「と」が付いたら、反復しても、行けるんか。ちょっと、一文ずつね、
入れてみたら、どうなんかね。「へーへーと見て」とか、
100254Y : はい。

(102), (103)では、[4, 5]の「うんうん」「そうそう」は、[3]と同様であると考えれば、「うんうんうんうんと」「そうそうそうそうと」と言えるだろう。一方、これらの自身が「うん」「そう」の反復形をしているから、「うんうんと」「そうそうと」という形だけで現れるということも考えられる。¹⁷

(106), (109), (112)は言わないとされている。すなわち、(106)の「はあっはあっ」は「と」が付いたら意味が分からないわけである。(109)の「いやーいやー」は「と」がなくても言えるので、「と」が要らない。(112)の「はあっはあつとした」も言わない。被験者の具体的な意見は以下のようなものである。

¹⁷ (101), (102), (103)は[[感動詞の反復]と]動詞]というパターンでは今後の調査で再検討すべきである。

- ⑮ 100262Q : 8 は、「はあっはあつと」、
 100263M : 「はあつと」は行けますが、「はあっはあつと立ち上がった」は言わない。
 100264Y : 意味がよく分からなくなる気がします。
 (中略)
 100275Q : 11 は? 「いやーいやーと」、
 100267K : 「いやーいやー」は、「と」は使わないんですね。
 100277Y : と」は要らない気がします。
 100278K : 要らない。

- パターン⑧[[[感動詞]と][感動詞]と]動詞]においては、(114)～(126)の例文を挙げる。

- (114) × お父さんは息子の話をふーんとふーんと聞いている。[1]
- (115) × 彼女は部屋の奥に座っている男の人をへーとへーと見て、部屋を出て行った。
[2]
- (116) × 彼はええああとええああと話していて、なかなか一文になっていない。[3]
- (117) × 友達は鈴木さんの意見にうんうんとうんうんと答えた。[4]
- (118) × 会長は鈴木さんの説明を聞いているとき、そうそうとそうそうと賛成していた。
[5]
- (119) ◎ 兄は弟の質問を聞いていると、うーんとうーんと考えていた。[6]
- (120) ◎ 彼は、本をもち、うーんとうーんと歩いていた。[7]
- (121) × お母さんは息子の答えを聞いたら、はあつとはあつと立ち上がった。[8]
- (122) × 「今日は、AKB グループにも出演していただきますよ」と聞いたら、会場にいる人がみんなおーとおーと拍手した。[9]
- (123) ◎ A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[10]
 B : 何を見たの?
 A : 宝くじを当たって、うわっとうわっとお金をもらったのよ。
 B : へー。
- (124) A : 先週一緒に買ったシャツを着てないね。[11]
 B : 実は、今朝、着ようとしたが、棚から取り出したら、いやーといやーと汚

れちゃったのよ。

(125) ◎ TOIEC 試験の 900 点を見たら、わーとわーと喜び、飛び上がった。[12]

(126) ○ 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっとうわっと降ってきて、びしょ濡れになっちゃった。[13]

(127) × 社長は部下が会議に遅れた理由を聞いたら、はあっとはあつとした。[14]

(128) A : その話、もう聞いた？ [15]

B : 聞いた聞いた。

A : どう思う？

× B : そうだね。最初はちよつとえーつとえーつと思っていたが、今は彼女みたいな人ならあり得るね。

このパターンでは、感動詞が後に「と」が付いて、その全体が反復して動詞と組み合わせる言えるものは、(119), (120), (123), (125), (126) のようなコンテキストに現れる [6, 7, 10, 12, 13] に限っている。

但し、[13]については、以下のような被験者の意見がある。

⑩ 100356Q : 13 は？

100357K : 「うわっとうわっと」、まあ言えるけど、

100358Q : 言えるんか。

100359M : あまり使わない。

100360K : あまり使わない。言っても、

100361Q : 言っても、意味が、

100362K : 通じると思います。「うわっとうわっと」、まあ、すごかったんだけど、

100363M : 言う人はおっちゃいますけど。

100364Y : うん。

100365Q : うーん、はい、使えそうですね。

100366K : うん。

よって、(126) のような「うわっとうわっと」が、意味が通じて使えるが、あまり使わないということである。

他の項目は、(114)～(118), (121) (122), (124), (127), (128) のコンテキストに現れる感動詞の場合は言わないとされている。

以上より、被験者の判断は、以下の【表 2】のようにまとめられる。

【表2】第4回調査の回答まとめ

例 文 番 号	パターン 感	① [[感] 0]	② ポーズ	③ と	④ に	⑤ みたいに	⑥ 反復	⑦ [[感 の 反復] と]	⑧ [[感] と]の 反復	⑨ [[感] だ と]]
1	ふーん	×	×	◎	×	△	△	△	×	
2	へー	×	×	◎	×	×	×	◎	×	
3	ええああ	×	◎	◎	×	◎	×	△	×	
4	うんうん	△	×	◎	×	×	×	△	×	
5	そうそう	×	◎	◎	×	×	×	△	×	
6	うーん	×	×	◎	×	×	○	◎	◎	
7	うーん	×	×	◎	×	×	×	◎	◎	
8	はあっ	△	×	◎	×	×	×	×	×	
9	おー	◎	◎	◎	×	×	×	◎	×	
10	うわっ	△	◎	◎	×	×	×	◎	◎	
11	いやー	×	◎	◎	×	×	○	×	×	
12	わー	×	×	◎	×	×	○	◎	◎	
13	うわっ	×	×	◎	×	×	×	◎	○	
14	はあっ	×	×	◎	×	×	×	×	×	
15	えーっ	×	×	◎	×	◎	×	◎	×	×

(注) [感]：[感動詞] の省略。

◎：言える（3人の被験者で言えるという答えが出てきたものである。）

○：言えそう気がする（2人の被験者で言えるという答えが出てきたものである。）

×

△：1人の被験者の意見で言えるという答えが出てきたものである。それとも、上述したようなコンテキストや場面によって使えるもの或いははっきりしないものである。

4.2.4.1.2. 分類

回答分析と【表2】を見れば分かるように、感動詞は、「に」「みたいに」との組み合わせパターンを除いて、全体的に各パターンに現れる。感動詞は、動詞の前にくるとき、ポーズがなく、単独のパターンでも反復のパターンでも「と」が付くものが多い。特に、【表2】の列目5,9では、「と」が付いて現れるのがほとんどである。但し、「と」と伴わない反復もある。それらは、[6]の「うーん」、[12]の「わー」である。

「うーん」「わー」の場合は、単独のパターンではポーズがなく「と」と伴うことがある一方、反復のパターンでは「と」の付かない反復「わーわー」、「と」の付いた反復「わーわーと」、「わーとわーと」がある。なお、[10]の「うわっ」の場合は、単独のパターンでは、ポーズも「と」も付いている。反復のパターンでは、「と」が付いた反復「うわっうわっ」と「うわっとうわっ」ともあるが、「と」が付かない単反復「うわっうわっ」はないということである。

調査結果を全体的に見ると、感動詞を次のような5グループに分けられる。なお、調査における例文も挙げる。

- グループ①：単独で後にポーズも「と」も付くこともある。また反復形はあるが、その後ろに「と」が付かない。例えば、[11]の「いやー」を見よう。
 - a. A：先週一緒に買ったシャツを着てないね。
◎ B：実は、今朝、着ようとしたが、棚から取り出したら、いやー（・）汚れしちゃったのよ。
 - b. A：先週一緒に買ったシャツを着てないね。
○ B：実は、今朝、着ようとしたが、棚から取り出したら、いやーと汚れちゃったのよ。
 - c. A：先週一緒に買ったシャツを着てないね。
○ B：実は、今朝、着ようとしたが、棚から取り出したら、いやーいやー汚れちゃったのよ。
 - d. A：先週一緒に買ったシャツを着てないね。
× B：実は、今朝、着ようとしたが、棚から取り出したら、いやーいやーと汚れしちゃったのよ。
 - e. A：先週一緒に買ったシャツを着てないね。
× B：実は、今朝、着ようとしたが、棚から取り出したら、いやーといやーと汚れしちゃったのよ。
- グループ②：単独でポーズが付かなく、「と」を伴う。また、反復形をするが、その後ろに「と」が付く。但し、「と」が付いて、その全体が反復することがない。それ

らの感動詞は [13] の「うわっ」、「ふーん」、「へー」、「おー」、「えーっ」である。例えば、[9]の「おー」を見よう。

- a. ◎ 「今日は、AKB グループにも出演していただきますよ」と聞いたら、会場にいる人がみんなおー（・）拍手した。
 - b. ○ 「今日は、AKB グループにも出演していただきますよ」と聞いたら、会場にいる人がみんなおーと拍手した。
 - c. × 「今日は、AKB グループにも出演していただきますよ」と聞いたら、会場にいる人がみんなおーおー拍手した。
 - d. ○ 「今日は、AKB グループにも出演していただきますよ」と聞いたら、会場にいる人がみんなおーおーと拍手した。
 - e. × 「今日は、AKB グループにも出演していただきますよ」と聞いたら、会場にいる人がみんなおーとおーと拍手した。
- グループ③：単独でポーズが付かなく、「と」を伴う。また、反復形で「と」が付くことも付かないこともある。但し、「と」が付いて、その全体が反復形をすることがある。それらの感動詞は[6]の「うーん」、「わー」である。[6]の「うーん」を例として見よう。
- a. × 兄は弟の質問を聞いていると、うーん（・）考えていた。
 - b. ◎ 兄は弟の質問を聞いていると、うーんと考えていた。
 - c. ○ 兄は弟の質問を聞いていると、うーんうーん考えていた。
 - d. ◎ 兄は弟の質問を聞いていると、うーんうーんと考えていた。
 - e. ◎ 兄は弟の質問を聞いていると、うーんとうーんと考えていた。
- グループ④：単独でポーズも「と」も付くことがある。そして、反復形で「と」が付く、即ち「と」が付かない反復はない。また、「と」を伴ってその全体が反復することもある。[10]の「うわっ」である。
- a. A：昨夜ね、すごい夢をみたよ。
B：何を見たの？
 - A：宝くじを当たって、うわっ（・）お金をもらったのよ。
B：へー。

- b. A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。
 B : 何を見たの？
 ◎ A : 宝くじを当たって、うわっとお金をもらったのよ。
 B : へー。
- c. A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。
 B : 何を見たの？
 × A : 宝くじを当たって、うわっうわっお金をもらったのよ。
 B : へー。
- d. A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。
 B : 何を見たの？
 ◎ A : 宝くじを当たって、うわっうわっとお金をもらったのよ。
 B : へー。
- e. A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。
 B : 何を見たの？
 ◎A : 宝くじを当たって、うわっとうわっとお金をもらったのよ。
 B : へー。

- グループ⑤：単独でポーズが付かなく、「と」を伴う。反復形をしない。それは[14]の感動詞「はあっ」である。

- a. × 社長は部下が会議に遅れた理由を聞いたら、はあっ（・）した。
- b. ◎ 社長は部下が会議に遅れた理由を聞いたら、はあっとした。
- c. × 社長は部下が会議に遅れた理由を聞いたら、はあっはあっとした。
- d. × 社長は部下が会議に遅れた理由を聞いたら、はあっはあっとした。
- e. × 社長は部下が会議に遅れた理由を聞いたら、はあっとはあっとした。

4.2.4.1.3. 独立性の判断

感動詞の独立性を判断するために、統語面から文節を構成する単位である語として考察すべきであると考えられる。即ち、文において、どのように現れるか、他の語とどのように繋りがあるか、まず即ち文節を構成する力を見なければならぬのである。

橋本進吉(1934)では、語と文節の関係及びその独立性との繋りについて議論される際、次のように記述している。

「文節は更に意味を有する言語単位に分解する事ができる。即ち、文節は語（単語）から成

り立っている。それ以上分解できない文節もあるが、それは、唯一つの語から出来たものである。即ち、

「山」「川」「行く」「思ふ」「白い」「淋しい」「重く」「ちつと」「そして」「おと」
(一語一文節)

「山 の」「川 を」「行く と」「思っ た」「行か ない」「白く て」「淋し ければ」「ちつ とも」
(二語一文節)

「山 に は」「川 さへ も」「思ふ ばかり が」「行か うけ れども」「思は れ よう」「思 は せ たい」
(三語三文節)

「山 に だけ は」「行か れ なかつ た」「川 で せう か」「取ら せ ます まい」
(四語一文節)

「思は れ ません で せ う よ」
(七語一文節)

これ等は皆一文節として用ゐられるもので、一つ又は二つ以上の語から成り立っている。それでは、語とはどんなものであるか。語はそれぞれ意味をもっている。それ故、意味を有する言語の単位の一つであって、文節を構成するものである。これは二種に分つて考へなければならない。第一種は、それ自らで一文節を成し得べきである語である。前に挙げた「山」「川」「行く」「思ふ」など（「一語一文節」と標したものは、之に属する。第二種は、「の」「を」「と」「て」「さへ」「が」「だけ」「た」「たい」「です」「う」「よう」など（助詞助動詞）の類で、それ自らで一文節を形づくる事なく、常に第一種の語に伴ひ、之と共に文節を作るものである。もし、語が第一種のものばかりであるとしたならば、語は即ち文節であって、語と文節とを區別するのが必要はないであらう。然るに、第二種の語があつて、第一種のものと共に一文節を構成するのである。その場合には、第一種の語も第二種の語も文節の一部分となつて、その間に切れ目をおく事なく一つづきに撥音せられる。第一種の語がそれだけで文節を成す場合には、實際の言語に於いてその語の前と後とに切れ目をおいて撥音する事が出来るのであつて、前後に切れ目をおいて、それだけ切り離して撥音する事を、形上から見て獨立したものであるとするならば、第一種の語は獨立する事が出来るのであるといつてよいのである。然るに、第二種の語は、いつも第一種の語と共に文節を作り、それだけで文節を作ることが無い故、その前後に切れ目をおいて撥音する事が出来ず、従つて、獨立しない語であるといふべきである。さうして、第一種の語も、第二種の語と共に文節を作つた場合には、第二種の語と一つづき撥音し、その前と後とに切れ目をおく事が無い故に、獨立を失つた事となるのである。」

(橋本進吉(服部四郎(1979:18-19))

このように、橋本進吉氏の議論によれば、感動詞は例(1)のように単独で文頭に現れ、その後ろに文が続く場合、第一種に属し、形から見て、それ自らで一文節である、即ち一語一文節に相当すると考えられる。この場合は、實際発話のとき、前後に切れ目をおいて、それだけ切り離して発音することができる。この切れ目は、文において話し言葉ではポーズに現れるが、書き言葉においては句読点として記されている。一方、感動詞は、例 3~8 のように文中に入り、他語（特に第二種の語）と結合して文節になる場合は、第二種の語と一つ

続きに発音され、その前後に切れ目をおく事ができなくて、独立を失っていくのである。したがって、ポーズの存在や第二種の語（助詞・助動詞）との結合は、感動詞の独立性を判断するには大事な標識であると考えられる。

さらに、形態面からみると、感動詞は副詞幹¹⁸と同様である。すなわち、その自体形態に促音「ッ」（はあっ）・撥音「ン」（うーん）・長音「ー」（へー）が入っている。これらは、独立性が欠けているものであって、文中に入り、副詞を構成するとき、「と」が欠かせないということである。「と」との結びは語彙の独立性と語構成の形式の関係については、宮地裕他（1976：147-155）では、以下のように記述されている。

「通時的にみるならば、「_____と」の形の情態副詞は、「_____と」の形で用いる方が古いのであり、「と」を添えずに用いる言い方は遅れて現れたものと考えてよい。即ち、通時的にみれば、「と」の消失である。

ところで、こういう「と」の消失には、語彙的に差異が見られるのであり、語構成の形式との関係が密接である。

この点、少し詳しく考えて見たい。

- ① A ット型（さっと・ふっと・そっと、など）
- ② A ント型（ぼんと・どんと・ちんと、など）
- ③ A イト型（ぐいと・ふいと・ぽいと、など）
- ④ Aーット型（じいっと・すうっと・ぼうっと、など）
- ⑤ AB ット型（きりっと・ひやっと・ぼろっと、など）
- ⑥ AB ント型（ぼかんと・ぶらんと・ころんと、など）
- ⑦ A ッB ト型（はったと・すくくと・はっしと、など）
- ⑧ A ッB ント型（ごつとんと・かつちんと・すつぽんと、など）
- ⑨ A ッB ット型（ぱっぱっと・きゅっきゅっと・さっさっと、など）
などでは、「と」の消失は起こらず、
- ⑩ A ッA ト型（ぱっぱと・せっせと・さっさと、など）
- ⑪ A ンA ント型（かんかんと・ぽんぽんと・ぐんぐんと）
- ⑫ AーAート型（じゅうじゅうと・すうすうと・ぼうぼうと、など）
- ⑬ A イA イト型（すいすいと・ぐいぐいと・わいわいと、など）
- ⑭ A ッB リト型（はっきりと・すっきりと・ゆったりと、など）
- ⑮ A ンB リト型（のんびりと・ふんわりと・どんよりと、など）
- ⑯ ABAB ト型（くるくると・さめざめと・ひりひりと、など）
- ⑰ AB リ AB リト型（ぶらりびらりと・ちびりちびりと・のたりのたりと、など）
などでは、「と」の消失が起こりやすい。また、
- ⑱ AB リト型（ぶらりと・するりと・とろりと、など）
では、「と」の消失は頻繁でない。

（中略）

こうして見ると、「と」の消失が起こるかどうかは、「と」を除く副詞幹の部分の語

¹⁸ 【副詞幹】とは、形態的に「と」「に」などを伴って副詞を構成する力がある語基である。

的独立性に関わりがあると思われる。すなわち、A または AB というのは、語基であって、語としての独立性に欠けている。(1)から(8)までは、促音・撥音・長音・イ音の加わったものである。

(中略)

「と」の消失の起こり得る(10)以下においては、語基に接尾語「り」が加えられているか、語基の反復が行われている。この「り」は、語基の状態的な意味を保ちながらこれに独立性を与える要素であろうし、また、単独では独立性のない語基も、反復によって独立性を得たものと解される。したがって、「と」の消失が可能性なのは、副詞幹に独立性が存する場合に限られることになる。もっとも、(9)においては、語基の反復が行われているにもかかわらず、「と」の消失が起こらないが、これは、「と」の直前に促音があって、語音構造上、促音が文末に用いられにくいために、「と」が消失し得ないものと思われる。

(略)の検討によって、「と」の消失が可能性なのは、副詞幹に形態的独立性の存する場合であり、不可能性なのは、副詞幹に形態的独立性の存しない場合であることが明らかになった。ところで、「と」の消失が行われるには、副詞幹内部に「と」に代わる機能が用意されていなければならないが、「と」のもつ機能とは、用言と関係を構成する機能である。したがって、「____と」型副詞における副詞幹には、潜在的に用言を志向する機能があるものだと考えるべきである。だから、副詞幹に形態的独立性のある場合には「と」が必ずしも必要ではないことになる。また、副詞幹に形態的独立性がない場合には、副詞幹自身に用言を志向する力が潜在的にあっても、「と」を必ず必要とするということになるであろう。」

(宮地裕他(1976 : 147-155))

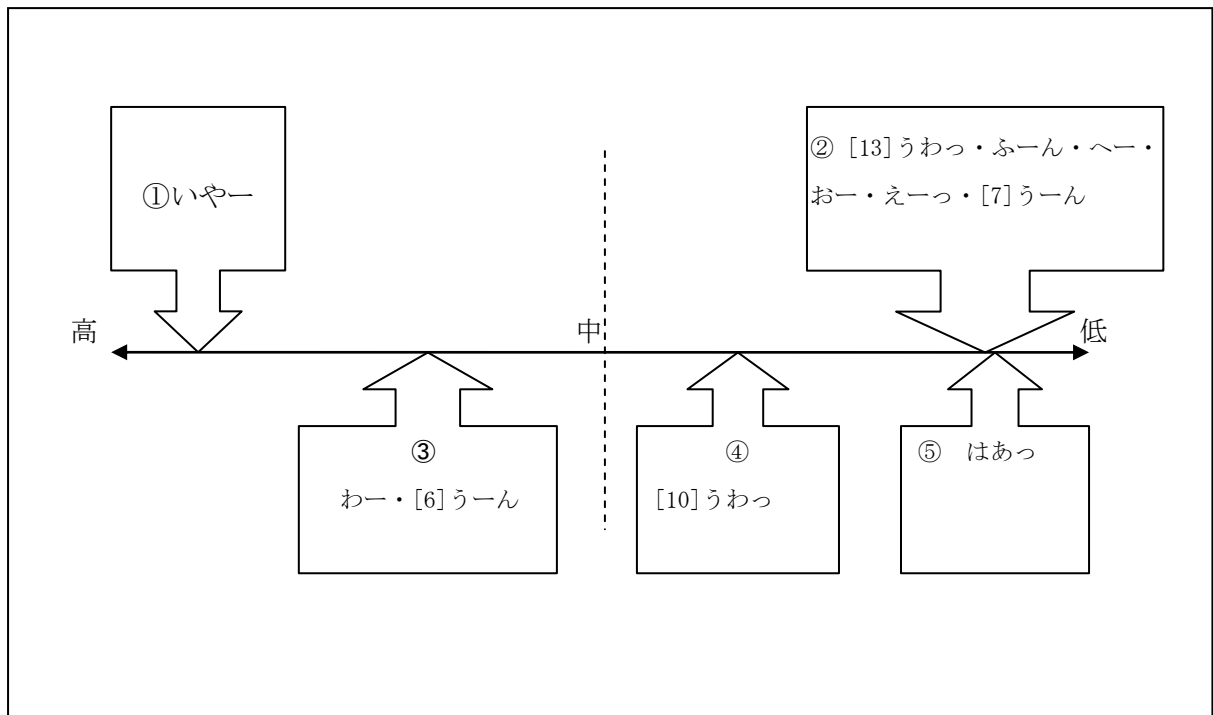
この論によれば、感動詞は文中で動詞の前に出てきたとき「と」が切れないものであり、またその自体形態に促音・撥音・長音があるので、感動詞を副詞幹と、「と」を加えたものだと見られるだろうか。先に述べた第1回～4回の調査結果から見ても、感動詞が名詞・動詞・形容詞の前に出てくることが多い。被験者の意見によると、「と」がないと意味が通じなくて使えないということである。

なお、語基と「と」との結び付き及び反復に関しては、宮地裕他(1976)では、単独で独立性がない語基(語根)には、反復によって独立性を与えられると言われている。よって、語基としての語は「と」が付かないが、反復できるのであれば、独立性があるものであると考えられる。

以上の点から考えると、感動詞の独立性を判断するために、次のような基準を挙げられる。

- 独立性が高いと見られる感動詞とは、単独で後ろにポーズがあって現れるものである。それとも、反復形で現れるとき、後ろに「と」等が付かないものである。
- 独立性が低いと見られる感動詞とは単独でも反復形でもポーズがなく、その代わりに「と」等が付いて現れるものである。

従って、5グループの独立性をこの基準で判断すると、図1のように見られる。



【図1】 第3回調査結果による感動詞の独立性

【図1】をみると、グループ①の「いーやー」はポーズが付く[いーやー(・)]もあって、「と」が付かない反復形[いーやーいーやー]もあるので、独立性が高いと考えられるが、後ろに「と」が付く[いーやーと]もあるので、独立性に変化もあって、やや低くなってきているのであろうか、若しくは「いーやー」はその自体が分化して、コンテキストによって独立性が変わっていくのであろうか疑問がある。

グループ②の「[13] うわっ」「ふーん」「へー」「おー」「えーっ」「[7] うーん」は、単独でも反復でも、ポーズを付かなく「と」を伴うことがあるので、独立性が低いと考えられる。

グループ⑤の「はあっ」「うんうん」はポーズも付かないし、反復形もないし、他のグループみ合わさるパターンにも現れないため、独立性が完全に低くなってきたようである。

グループ③、④の独立性の判断については、いろいろ問題がある。いわば、グループ③の「[6] うーん」、「わー」は、単独でポーズが付かなく「と」を伴う[うーんと][わーと]があるが、「と」付かない反復[うーんうーん][わーわー]もある。また、「と」が付いてその全体[うーんと]反復する「うーんとうーんと」「わーとわーと」もある。グループ④の「[10] うわっ」の動態は、反復のパターンでは「うーん」「わー」と同じですが、単独で後にポーズが付くこともある。つまり、「うーん」「わー」「うわっ」の場合には、ポーズが付くことがあり、「と」付かない反復形をする一方、ポーズがなく、「と」が付く反復形もある。そこで、「うーん」「わー」「うわっ」などは、独立が中間的(やや高い・やや低い)なものであると考えられるが、これらの独立性が高い方か低い方か、どちらへ動いていくか、確実に言えない。しかも、「うーん」「うわっ」は、ポーズが確実にあるかどうかというのも疑問になる。

いわば、同じ形態の「うーん」は、[6]には「と」が付かない反復形があるが、[7]にはその反復形はないということがある。同じ形態の「うわっ」は、[10]にはポーズがあるが、[13]にはポーズがないということがある。ちなみに、「いやー」の場合には、同じ例文に現れるが、ポーズも「と」も付いて言うことがある。

つまり、調査結果を全体的に見ると、そもそも高い独立性をもつ感動詞は、文中に入るとき、独立性の変化が起こっているということが分かってきた。しかし、その変化によって、これらの感動詞は独立性が違うグループに分化しているか、それぞれの自体こそに分化しているか、という疑問がある。この問題を明らかにすべきであるという考えのもと、第5回調査では「いやー」「わー」「うーん」「うわっ」などの独立性を色々な例文で再考察する。

4.2.4.2. 第5回調査

4.2.4.2.1. 回答分析

被験者の回答意見は、パターンによって説明していくと、次のようになる。また、調査の例文項目は、(129)～(323)の具体的なコンテキストに記述され、議論していく。

- パターン① [[[感動詞] 0] 動詞] においては、次の例を見よう。

(129) × お父さんは息子の話をいやー聞いている。[1a]

(130) × 彼女は部屋の奥に座っている男の人をいやー見て、部屋を出て行った。[1b]

(131) A: 先週一緒に買ったシャツを着てないね。[1c]

◎ B: 実は、今朝、着ようとして、棚から取り出したら、いやー汚れちゃったのよ。

(132) A: ねえねえ、聞いた？[1d]

B: 何があったの？

A: 鈴木さんは彼氏に40万の時計をもらったこと。

× B: へー、そんな。いやーなったよね、彼女は。

(133) × 彼女が1人で20年ずっと子供の4人も育てていたことを聞いたとき、いやー思っていて、自分をもっと努力したいという感じがした。[1e]

(134) × お母さんは息子の答えを聞いたら、いやー座った。[1f]

(135) ◎ 「今度のクリスマスにプレゼントをいやーもらいたいな。」[1g]

(136) ◎ 彼はええ話していて、なかなか一文になっていない。[2a]

- (137) ◎ 彼はああ話していて、なかなか一文になっていない。[2b]
- (138) ◎ 彼はええああ話っていて、なかなか一文になっていない。[2c]
- (139) × 彼がええああ読んでいて、いらいらしている。[2d]
- (140) ? 急にスピーチを頼まれて、考えながら言ったので、ええああした。[2e]
- (141) ◎ 急にスピーチを頼まれたので、考えながら言って、ええああなった。[2f]
- (142) ○ 兄は弟の質問を聞いていたら、うーん考えていた。[3a]
- (143) ○ 兄は弟の話をうーん聞いている。[3b]
- (144) × 兄は弟の質問を聞いていたら、うーんした。[3c(e)]
- (145) × 私は弟の話を聞いて、うーん思っていた。[3d(c)]
- (146) × 私は弟の話を聞いて、うーんなった。[3e(d)]
- (147) ? 彼女に大学院進学のことを尋ねたら、うーん躊躇ていた。[3f(e)]
- (148) ? 彼は、本をもち、うーん歩いていた。[3g(f)]
- (149) × 彼女は部屋の奥に座っている男の人をうーん見て、部屋を出て行った。[3h(g)]
- (150) ◎ 誰にも何も与えない彼みたいな人にプレゼントがうーんもらえるかな。[3j(h)]
- (151) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4a]
B : 何を見たの?
? A : 宝くじが当たって、うわっお金をもらったのよ。
B : へー。
- (152) . A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4b]
B : 何を見たの?
? A : 宝くじが当たって、うわっなった。
B : へー。
- (153) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4c]

B: 何を見たの?

? A: 宝くじが当たって、うわっ驚いた。

B: へー。

(154) ? 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっ降ってきて、びしょ濡れになっちゃった。[4d]

(155) × A: 昨日ね、掃除のとき、引き出しを開けたら、古い写真をうわっ見たんよ。

B: へー、そうなん。[4e]

(156) × TOEIC 試験の 900 点を見て、わー喜び、飛び上がった。[5a]

(157) × TOEIC 試験の 900 点を見たとき、わー飛び上がった。[5b]

(158) × TOEIC 試験の 900 点を見たとき、わー興奮して、飛び上がった。[5c]

(159) ? TOEIC 試験の 900 点を見て、わー驚いた。 [5d]

(160) ? TOEIC 試験の 900 点を見て、わーなった。 [5e]

先ず、自然に言うものは (131), (135)~(138), (141)~(143), (150)であるということを言われる。例えば、(131), (135), (150)についての意見は、以下の通りである。

⑰ 110128Q: あーはい。あのすみません。ちょっと[1]に戻りますけど、「いやー」の場合は、あの、なんか 1 d 以外は、d はちょっと違和感がありますね。でも、a, b, c, d, e, f, j は、どうですか。…すべて d 以外には、あの言えますか。

110129T: c は、私は確実言います。

110130M: c が、うん、一番いそうだな。まったく感じするね。a の「いやー聞いている」は、聞いたら、ちょっと、うーんっていう感じ、

(中略)

10154Q: はい、g は?

110155K: g は言う。

110156M: これは言いますね。

110157T: うん。

(中略)

110163Q: はい、a から h までですか。

110164K: うん。あ、h は、

110165M: h は言えるんじゃないんですか。「彼みたいな人にプレゼントがうーん (0.01 もらえるかな)、

110166K: うん、それは言えるん。

次に、(136), (137), (138)については、被験者の意見によると、「ええ」「ああ」「ええああ」が感動詞ではなく、あいづち又はフィラーとして言うということである。具体的には以下の意見を見よう。

⑱ 110051Q : 他のは、あの、2, 3, 4, 5 も行けますか。

(中略)

110055T : 「ああ話して」は言う。

110056M : うん。

110057K : 「彼はええ話して」、え、言う、言っている人がない。

110058M : どんな、どんな場面？

110059K : それは「えー」って、感動詞？

110060T : 感動詞に気につかないな。

110061K : 相づちみたいなの。こう、なんか、会話がちょいちょい挟んでくると思う。それだったら感動詞ではない。

110062T : いや、感動詞的には、でも、なんか

110063Q : フィラーでもね。

110064K : フィラー、うん、フィラーっぽい感じで。

110065T : 「彼はええ話していて、なかなか会話になっていない」って、言うか。

110066K : うーん。

110067T : そうしたら、それは彼の「話して」の「ああ」は、

110068K : 「ああ」って、

110069T : 「ああ」は言わなくなるかな。

110070M : 「ああ」って何？

110071K : これは「ああ話して」の、感動詞的にでしょ？

110072T : うん、感動詞的に言わなく、いいよね。

(中略)

110079Q : じゃ、a は「彼はええ話していて、なかなか会話になっていない」、あの、言えますか。行けますか。

110080M : 「ええ」ってなんか止まるとき、「えー」というんですか。

110081Q : はい。ちょっと長音があって、「ええ」とか、

110082M : ちょっと言葉と言葉の間に「えー」って挟んでいるということ？

110083Q : はい、そうそう。

110084M : あ、それだったら、

110085Q : まだ言葉が発していない、考え中に発するもの、

110086M : ちょっと止まって、ポーズみたいな。あ、それだったら、ええ話すってね。

110087Q : じゃ、「ええ話していて」は行けますか。

110088M : だったら、はい、言えると思います。

110089Q : この「え」ですね。

110090T : 表記がちょっと違う。

110092M : ちょっと長音がぼう (一) のほう？

110093Q : うん、「ええ」とか、なんか、会話のとき、なんかまだ考え中なので、まだ発言できない間にちょっと、

(中略)

110104Q : c は、これは「ええ」と「ああ」を合わせて、

110105M : 「ええああ話している」「ええ」と「ああ」一緒に言うかっていうことですか。

110106Q : 「ええああ」、はい。

110107T : 有元先生とか言いそう。

110108M : ああ、

110109T : ええああ、うんうん。

110110K : あ、言いそうだね。

110111M : うんうん。

110112Q : 行けますか、c も行けますね。じゃ、d は？

但し(136), (137)の「ええ」「ああ」は、動詞「話す」に繋って、どう話すという意味を表すという意見もある。具体的には以下の通りである。

① 110073M : 私は別の詞になっちゃう、あの、どういう、「ああ話す」、

110074T : どう話すみたいな。

110075M : ああいう、

110076T : ああいうことを言っているみたいな。

110077M : うん。

110078K : 「ええ」も「ああ」も同じような感じで、結構、

そして、(141)については、被験者の意見を以下に見よう。

② 110123Q : じゃ、f は？

110124K : 「ええああなった」、使わないけど、

110125T : e も f もこういうきちっとした文には言わない気がするんですけど、話し言葉の中で、なんか、例えば、e で、「急にスピーチを頼まれてさ、考えながら話したから、ええああしちゃったよ」とかなら言いそうなんですけど。こう頼まれてとか話し頼んでという、きちっとした文章に載っているときは、私は言わないし、聞いていたら、え？ どういうこと？

110126M : ちょっと、崩した言葉の中で言う。

110127T : 言うことは気がする。

よって、話し言葉の中で言う場合もあるということが分かる。ちなみに、(140)の「ええああしちゃった」は、以上のような被験者の意見によっては、(141)と同様であって、言えると考えられる。しかしながら、次の記述された意見によっては、3人で使わないというこ

とを主張しつつあるが、言わないことはない。言う時不自然であるわけである。

㉑ 110119Q : じゃ、eは？

110120K : え、ちょっと、使わないけど、意味がわかる。

110121M : 使うかというか、使わないよね。

110122T : そうなんですね。

ところで、(147), (148), (151)～(154), (159), (160)は、言う場合も言わない場合もあると
いうことを指摘される。

まず、(147), (148)については、被験者の意見を挙げる。

㉒ 110187Q : bはどうですか。

110188K : bも言うかもしれない。

110189M : え、言う？

110190T : なんか、aは言わないなら、bも言わない感じ、

110191M : aは言うなら、b、みんな言うね。

110192K : でも、bの発話の、発話、兄が、「うーん」が兄の動作なんだったら、言
わないけど、発話者が「うーん」をただ入れるだけで捉えると、言える
と思います。

110193T : aも言えるよね。

110194M : うん、そうしたら、

110195K : うん、そうそうそう。そうしたら、

110196T : なんか、兄は弟の質問を聞いているという情景を、発話者がその中で考え
ていて、それを客観的視して、「うーん考えていたよ」っていうふうにと
きは、「うーん」は使えるんですけど、その、兄の動作として、うーんて
いうのが、兄がうーんというふうに考えるというのと、言わないかなと
思います。

110197Q : Mさんはどう思いますか。

110198M : あ、ちょっと今。「うーん考えていた」は一続きで考えて、たとえば、そ
の、やっぱ兄の、兄が「うーんって考えていた」のかなあって捉えると、
「うーん考えて いた」というと、なんか不自然だなと思いますね。

よって、「うーん聞いている」などを言う場合は、「うーん」が兄が発話者として弟の話を
聞いている背景で考えていて、即時に発されたものであれば言えるが、うーん考えるやう
ーん聞くという兄の動作としては言わないということである。

次に、(151)については、「うわっ」を使うのは感動詞的ではないということ言われてい
た。被験者を以下に見よう。

- ㉓ 110226Q : h は先言いましたね。はい、次をお願いします。4 番です。
110227T : 「うわっ、うわっ」、
110228Q : 「うわっお金をもらったのよ」。
110229K : 感動詞では使わないね。「うわっと」だったら、意味が変わってきますよね。
110230T : うん、そうですね。感動詞的には、使いません。

そして、(152)については、「うわっ」は「うわー」と発音すれば使えるということと言われる。具体的には以下に被験者の意見を挙げる。

- ㉔ 110231K : うん。b は使えると思うんですけど。
110232M : 「うわっなった」？
110233K : 「うわっなった」
110234T : これは、なんか、発音にちっちゃい「ツ」じゃなくて、こう、「うわーなっ
た」(25 : 30) とかならいい。言わなくもない。
110235M : うわっというと、ちょっと違う？
110236T : うん。
110237M : 「うわっなった」というだったら、言わない？
110238T : うん。
110239K : うん。」

次に、(153), (154)については、その感動詞「うわ」が(152)のように、「うわっ」ではなく、その後ろに伸ばして「うわー」と発音すれば使える。また、文頭に入ってくるのであれば、言える。被験者の具体的な意見は以下に見られる。

- ㉕ 110240Q : c はどうですか。
110241M : 「驚いた」
110242K : 「うわー驚いた」とか。「うわっ」はないか。
110243Q : あー、長音ですね。
110244T : うんうんうん。
110245Q : じゃ、「うわー驚いた」と言えますか。
110246K : うん。
110247M : うん。
110248Q : じゃ、d は？
110249K : これも「うわー」だったら、言うね。
110250M : 「うわっ」というのがその、この文の中、途中でこう、突然入ってくるって
いうのが、まあちょっと考えられないかなという感じがします。
110251K : あー、そうだよ。あ、文の最初だったら、
110252M : うん。うわって、本当の、驚きの「うわー」、
110253K : 最初だったら、オケ(ok) です。

110254M : うん、途中でうわって入ると、ちょっとよく分からない。

110255Q : うわっ

110256K : うわー驚いた。 (26 : 56)

110257T : うん、そうですね。

次に、(159)については、例文のコンテキストが相応しくなくて、使えないと言われる。同時に、それより相応しいコンテキストは指摘される。例えば、「急に孝則さんが出てきて」というコンテキストであれば、「急に孝則さんが出てきて、わー驚いた」と言って、使える。具体的には、被験者の意見を以下に挙げる。

㊦ 110274M : 「わー驚いた」は言わないけど、「と」が入ったら、あ、でも、せめて意味が変わるんですかね。

110275T : 「わーと」になると、えー、難しいね。

110276M : 「わーと」というなんか、その様子を「わー」とって表している、自分自身が「わー」って、それは違う気がするんです。「わーっと驚いた」

110277K : うん。

110278T : なんか、前半が「TOEIC 試験の 100 点を見て」というのになると、なんか、ここが違う文章とかだったら、たとえば、なんか「急には孝則さんが出てきて、わー驚いた」とか、そのときは言うんですけど。

110279Q : はい、いい例文を、ありがとうございます。

110280M : あの、文脈で違うということ？

110281T : うん、気がします。

110282K : a もさあ、わー喜びって、これ、括弧 4 の「うわっ」の場合だったら、言えるね。なんか、先言っていた。「うわっ降ってきて」、あ、「わー驚いた」だったら、オケ、言ったじゃん。言ったら、オケはずだけど、

そして、(160)については、被験者の意見を見よう。

㊦ 110297Q : じゃ、e は？

110298K : 「わーなった」

110299M : 「わーなった」って、私は言わん、と思います。

110300K : 言わないけど、通じる。

110301T : あー、難しい。

110302Q : T さんはどう思いますか。

110303M : わーなるって、なんか

110304T : なんかジェスチャありそう。「わーなった」。(ジェスチャした 31:15)。

110305M : うん。

110306K : それなら、なんか言いそう。

110307T : 「TOEIC 試験の 900 点見てさあ、わーなったよね」とか、言われても、う

うんうんどうなった顔を、

110308K : あー。

110309T : 「今、TOEIC 試験の 900 点見てきてさあ、わーなったよね」とか、なんか、
そういう時は言いそう。なんか、表情とか

110310K : うん、感情感動?

110311M : うんうん。

110312T : うん。

上の意見によると、(160)の「わーなった」は、意味が分かりにくい気味があるが、通じるため、ジェスチャがあれば、言えるということが分かる。

以上で述べた場合以外には、言えないものは、被験者の3人で「意味が分からない」とか言われ、使わないとされている。

- パターン② [[[感動詞] (・)] 動詞] においては、(161)～(192)の例文を挙げる。

(161) ○ お父さんは息子の話をいやー (・) 聞いている。 [1a]

(162) ○ 彼女は部屋の奥に座っている男の人をいやー (・) 見て、部屋を出て行った。
[1b]

(163) A : 先週一緒に買ったシャツを着てないね。 [1c]

◎ B : 実は、今朝、着ようとして、棚から取り出したら、いやー (・) 汚れちゃったのよ。

(164) A : ねえねえ、聞いた? [1d]

B : 何があったの?

A : 鈴木さんは彼氏に 40 万の時計をもらったこと。

? B : へー、そんな。いやー (・) なったよね、彼女は。

(165) ? 彼女が1人で20年ずっと子供の4人も育てていたことを聞いたとき、いやー (・) 思っていて、自分をもっと努力したいという感じがした。 [1e]

(166) ? お母さんは息子の答えを聞いたら、いやー (・) 座った。 [1f]

(167) ◎ 「今度のクリスマスにプレゼントをいやー (・) もらいたいな。」 [1g]

(168) ◎ 彼はええ (・) 話していて、なかなか一文になっていない。 [2a]

(169) ◎ 彼はああ (・) 話していて、なかなか一文になっていない。 [2b]

- (170) ◎ 彼はええああ (・) 話して、なかなか一文になっていない。[2c]
- (171) × 彼がええああ (・) 読んでいて、いらいらしている。[2d]
- (172) ? 急にスピーチを頼まれて、考えながら言ったので、ええああ (・) した。
[2e]
- (173) ? 急にスピーチを頼まれたので、考えながら言って、ええああ (・) なった。
[2f]
- (174) ○ 兄は弟の質問を聞いていたら、うーん (・) 考えていた。[3a]
- (175) ○ 兄は弟の話をうーん (・) 聞いている。[3b]
- (176) ○ 兄は弟の質問を聞いていたら、うーん (・) した。[3c(e)]
- (177) ○ 私は弟の話を聞いて、うーん (・) 思っていた。[3d(c)]
- (178) ○ 私は弟の話を聞いて、うーん (・) なった。[3e(d)]
- (179) ○ 彼女に大学院進学のことを尋ねたら、うーん (・) 躊躇っていた。[3f(e)]
- (180) ○ 彼は、本をもち、うーん (・) 歩いていた。[3g(f)]
- (181) ○ 彼女は部屋の奥に座っている男の人をうーん (・) 見て、部屋を出て行った。
[3h(g)]
- (182) ○ 誰にも何も与えない彼みたいな人にプレゼントがうーん (・) もらえるかな。
[3j(h)]
- (183) A: 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4a]
B: 何を見たの?
○ A: 宝くじが当たって、うわっ (・) お金をもらったのよ。
B: へー。
- (184) A: 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4b]
B: 何を見たの?
○ A: 宝くじが当たって、うわっ (・) なった。
B: へー。
- (185) A: 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4c]
B: 何を見たの?
○ A: 宝くじが当たって、うわっ (・) 驚いた。

B : へー。

(186) ○ 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっ (・) 降ってきて、びしょ濡れになっちゃった。[4d]

(187) ? A : 昨日ね、掃除のとき、引き出しを開けたら、古い写真をうわっ (・) 見たんよ。

B : へー、そうなん。[4e]

(188) × TOEIC 試験の 900 点を見て、わー (・) 喜び、飛び上がった。[5a]

(189) × TOEIC 試験の 900 点を見たとき、わー (・) 飛び上がった。[5b]

(190) × TOEIC 試験の 900 点を見たとき、わー (・) 興奮して、飛び上がった。[5c]

(191) × TOEIC 試験の 900 点を見て、わー (・) 驚いた。[5d]

(192) × TOEIC 試験の 900 点を見て、わー (・) なった。[5e]

このパターンでは、(171)、(188)～(192)は被験者の意見によると、言わないとされる。それ以外には、ポーズが入れば、意味が通じて言えるということである。そのうち、まず、(163)、(167)～(170)は、ポーズがない場合より自然に言えるということを言われていた。被験者の意見は以下の通りである。

㊸ 110324Q : 先、あの言わないと言いましたが、今度はポーズが入って、言えるか。

110325M : あ、もし、言うだったら、入るかどうかっていう？

110326Q : うん、そうですね。まあ、ポーズが入って、通じますか、言えますか。

110327K : 通じると思います。

110328M : うーん。

110329T : うーん難しいな。「いや」の前にポーズが入りませんか。

110330Q : あ、「いやー」の後ろにですね。

110331T : 「いやー」の後ろだけ？

110332Q : うん。あ、でも、ポーズが入る場合もありますね。もし、ポーズが前に入ったら言えますか。

110333M : それだったら、後ろに入ったほうが自然かなと思います。

110334Q : はい。じゃ、cは？「いやー(0.1秒)汚れちゃったのよ」。

110335M : 入れる。

110336K : 入る。

110337T : うん、入っています。大丈夫。

(中略)

110371Q : はい。じゃ、2に行きますね。2aの「ええ (0.1秒) 話している」は、行けますか。

110372M : うーん、はい、行ける。

110373Q : bは？

110374T : bも行ける。

110375M : うん。

110376K : うん。

110377Q : cは？「ええああ (0.01) 話している」、行けますか、ポーズが入って。先の、なんか言うと言いましたね。これはa, b, cも、

110378T : うん、ポーズ入ったほうが言うかな。私は。

110379Q : 先言うと言いましたが、でも、ポーズが入ったほうがいいんですか。

110380M : 入らない。え、でも、「ええ話している」、なんかそんなに続くっていう感じはないかなと思います。

110381Q : じゃ、ポーズが入らなくてもいいんですか、行けますか。

110382M : うん、そんなに思います。

110383Q : Kさんはどう思いますか。

110384K : なくても行けると思います。

110385Q : Tさんはポーズが入った方が自然に言えると思いますか。

110386T : なんかポーズが、読点のほうが、ポーズじゃなくて、なんか音読からしたらわかるけど、人間は判読できない程度すごいわずかなポーズとか溜まってるよね。そのぐらいはたぶん入ってないと、逆に分からないんじゃないかなと思って。

110387Q : だから、入った方が

110388T : その、なんかすごくわくわくじゃないけど、ほんのわずかのポーズは入った方がわかるんじゃないかなと思います。

110389K : うん、そう、そうと思います。

但し、(167)は、以下の意見の通りに、ポーズがなくても言えると言われる。

㊟ 110366Q : じゃ、gはどうですか。

110367T : gは言いました。

110368M : ポーズ入ってもなくても言えるっていう。

110369Q : はい、「いやーもらった」、「いやー (0.1秒) もらって」、どっちでも言えますね。

110370M : うん。

次に、(174)～(182)については、意味が考えなくてもポーズが入る、また入ったら、続く「うーんだった」より自然になるということを言われる。被験者の意見を以下に見よう。

- ⑩ 110390Q : はい、ありがとうございます。じゃ、3 ですね。3 は? 「うーん (0.1 秒) 考えていた」、
- 110391T : 入ります。
- 110392Q : M さんは?
- 110393M : うん、入ると思います。
- 110394Q : b は?
- 110395M : うん。
- 110396T : うん。
- 110397K : 全部入る気がします。
- (中略)
- 110410Q : 「うーんなった」は、入りますか。
- 110411T : 入ったところでやっぱり意味が分からない。
- 110412K : 意味は考えなくても、
- 110413M : 考えなくても、でも
- 110414K : 入るとしたら、入る。
- 110415T : うん。
- 110416M : 「うーん」の後、なんか続けてゆきなんかおかしいと思います。
- 110417T : そうだね。
- 110418M : やっぱ自然と入る。

そして、(183)～(186)については、感動詞「うわ」の場合は、「うわ」の後ろに小さい「ツ」があつて、ポーズに当たるということを指摘される。そして、突然文中に入ってくると、違和感がある、また[4e]のような通じないものもあるということも言われる。具体的な意見は以下の通りである。

- ⑪ 110432Q : はい。じゃ、4 は?
- 110433M : 「うわっ」の後ですね。
- 110434K : 「うわっ」の全部入る、はい、という気がする。
- 110435M : 「うわっ」、ポーズ、
- 110436T : ちっちゃい「ツ」がさあ、ポーズになっちゃう。
- 110437M : うんうん、ちっちゃい「ツ」が入っていて、そこに切れ目ができるから。
- 110438Q : あー、「ツ」がポーズになっ、
- 110439M : なるんじゃないかと思えますけど。
- 110440Q : はい、わかりました。はい、全部ですか。あの、a から e まで、ポーズが後ろに入ったほうがいいんですか。入ったら、通じるん、
- 110441T : いや、入ったら、通じないものもある。
- 110442M : あ、「うわっ」は文の中で突然に出てくると、ちょっとおかしい。通じないということはないけど、使わない。

110443Q : はい、全部ですね。a から e までですか。

110444T : はい。

110445Q : じゃ、一番使わないものはどれですか。パツとして、あ、これは使わない
感じで。

110446T : e。

110447M : うん、e。

次に、(164), (165), (166), (172), (173), (187) は、直接に組み合わさるパターン①では、
言えないとされるが、このパターンでポーズが感動詞と動詞の間に入れば、言える場合が
ある。但し、これは一人の意見である。具体的には、被験者の意見を見よう。

(164) については、以下の意見で言われる。

② 110338Q : じゃ、d は? 「いやー (0.1 秒) なったよね」

110339M : 入る。

110340Q : 入るんですか。

110341M : いや、なんか、続くというよりやっぱ入るほうが自然かなと思います。

ここを見ると、「いやー」と「なった」の間には、ポーズが入れば、続くというより自
然であるということが分かるが、M さんの意見だけである。

(165) については、次のような意見がある。

③ 110342Q : e は? 「いやー (0.1 秒) 思っている」。

110343T : 言わないかな。

110344Q : ポーズ入っても言わないんですか。

110345T : えー、言わないかもしれない。

110346Q : M さんはどう思いますか。

110347M : はい。

...

110348Q : K さんは?

110349K : 私は入ると思います。

110350M : 言わないんですかね。

ここを見ると、「いやー」と「思っていた」の間には、ポーズが入ることもあると考えられ
るが、K さんだけの意見である。

(166) については、以下の意見がある。

- ③ 110351Q : はい、わかりました。f は？
 110352M : 言わないと思います。
 110353K : うーん、入ると思うんですけど、
 110354Q : ポーズが入って言えますね。ポーズが入ったら、
 110355K : 入ったら、
 110356Q : 行けますか。
 110357K : うーん、行けると思います。

(166)は、「いやー」と「座った」の間にポーズが入れば、言えるということが考えられるが、Kさんだけの意見である。

(172), (173)については、「ええああした」「ええああなつた」に対しては、調査人が別の質問を出さないため、別の答えが出なかった。しかし、「ええああした」「ええああなつた」の場合は、ポーズがないパターンでは、話し言葉で言えるということがあり、またポーズが入った方が通じるという意見もあって、それに基づき、例文2の全体的な答えを考えれば、「ええああした」「ええああなつた」の後にポーズが入らないことはないと考えられる。

- パターン③ [[[感動詞] と] 動詞] においては、(193)～(244)の例文を挙げる。

(193) × お父さんは息子の話をいやーと聞いている。[1a]

(194) × 彼女は部屋の奥に座っている男の人をいやーと見て、部屋を出て行った。[1b]

(195) × A : 先週一緒に買ったシャツを着てないね。[1c]

B : 実は、今朝、着ようとして、棚から取り出したら、いやーと汚れちゃったのよ。

(196) A : ねえねえ、聞いた？ [1d]

B : 何があったの？

A : 鈴木さんは彼氏に40万の時計をもらったこと。

◎ B : へー、そんな。いやーとなったよね、彼女は。

(197) ◎ 彼女が1人で20年ずっと子供の4人も育てていたことを聞いたとき、いやー
と思っていて、自分をもっと努力したいという感じがした。[1e]

(198) × お母さんは息子の答えを聞いたら、いやーと座った。[1f]

(199) × 「今度のクリスマスにプレゼントをいやーともらいたいな。」[1g]

- (200) ◎ 彼はええと話している、なかなか一文になっていない。[2a]
- (201) × 彼はああと話している、なかなか一文になっていない。[2b]
- (202) ? 彼はええああと話している、なかなか一文になっていない。[2c]
- (203) × 彼がええああと読んでいて、いらいらしている。[2d]
- (204) × 急にスピーチを頼まれて、考えながら言ったので、ええああとした。[2e]
- (205) ? 急にスピーチを頼まれたので、考えながら言って、ええああとなった。[2f]
- (206) ○ 兄は弟の質問を聞いていたら、うーんと考えていた。[3a]
- (207) ○ 兄は弟の話をうーんと聞いている。[3b]
- (208) × 兄は弟の質問を聞いていたら、うーんとした。[3c(e)]
- (209) ◎ 私は弟の話を聞いて、うーんと思っていた。[3d(c)]
- (210) ◎ 私は弟の話を聞いて、うーんとなった。[3e(d)]
- (211) ◎ 彼女に大学院進学のことを尋ねたら、うーんと躊躇っていた。[3f(e)]
- (212) × 彼は、本をもち、うーんと歩いていた。[3g(f)]
- (213) × 彼女は部屋の奥に座っている男の人をうーんと見て、部屋を出て行った。
[3h(g)]
- (214) ? 誰にも何も与えない彼みたいな人にプレゼントがうーんともらえるかな。
[3j(h)]
- (215) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4a]
B : 何を見たの?
◎ A : 宝くじが当たって、うわっとお金をもらったのよ。
B : へー。
- (216) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4b]
B : 何を見たの?
◎ A : 宝くじが当たって、うわっとなった。
B : へー。

- (217) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4c]
 B : 何を見たの？
 ◎A : 宝くじが当たって、うわっと驚いた。
 B : へー。
- (218) ? 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっと降ってきて、びしょ濡れになっちゃった。
 [4d]
- (219) × A : 昨日ね、掃除のとき、引き出しを開けたら、古い写真をうわっと見たんよ。
 B : へー、そうなん。[4e]
- (220) ◎ TOEIC 試験の 900 点を見て、わーと喜び、飛び上がった。[5a]
- (221) ◎ TOEIC 試験の 900 点を見たとき、わーと飛び上がった。[5b]
- (222) ◎ TOEIC 試験の 900 点を見たとき、わーと興奮して、飛び上がった。[5c]
- (223) ◎ TOEIC 試験の 900 点を見て、わーと驚いた。 [5d]
- (224) ◎ TOEIC 試験の 900 点を見て、わーとなった。 [5e]

このパターンでは、「と」が感動詞と動詞の間に入ることがある。まず、言えるものは、(196), (197), (200), (206), (207), (209)～(211), (215)～(217), (220)～(224)である。ちなみに、これらには「と」が入って、意味が変わり、感動詞的に使わなくなっているということである。例えば、(200)の「ええと」は、「ええ」が助詞「と」によって動詞「話している」に繋らないものではなく、フィラーとして言うということである。具体的には、以下に被験者の意見を見よう。

- ㊦ 110492Q : はい、2 ですよ。「ええと話している」、a は？
 110493K : 「ええと話して」、「と」、
 110494M : ええと、
 110495T : 「えーとね」の「えーと」だったら、言う。
 110496M : 言葉に詰まったときに、「えーと」って、
 110497K : うん。
 110498M : 言う。感動詞、これは「ええと話している」
 110499T : 「話している」にはかからない「と」としてだったら、使うかも「えーと話
している、なかなか会話になってない」
 110500M : 「えーと」は結構独立しているんだったら、言うんかな。
 110501Q : じゃ、「ええと話している」は行けるんですか。
 110502T : 「ええと」と「話している」の間にポーズや点とかがあったら、言う。

110503Q : じゃ、「ええと」の後ろにポーズが入るということですか。

110504T : うん。

(215)については、被験者の意見によると、「うわっ」と「もらった」の間に「と」が入ってくる場合は、「うわっ」が「うわっと」になって、意味が変わり、感情を表すことでなく、「うわっとももらった」が「たくさんもらった」の意味になるため、感動詞的には言わないということである。具体的な意見は以下の通りである。

⑩ 110579Q : はい。じゃ、4は？

110580M : 「うわっとお金をもらった」

110581K : 意味が変わるよね、先、

110582T : 感動詞的には言わない。

110583Q : 「と」がないと、意味がわからないというんですか。もし、「うわっとお金をもらった」だったら、意味がありますか。

110584T : あの、なんか、違う意味でなら、たくさんもらった、「うわっとももらったよ」、言いますけど。

110585M : 感情ではないんですね。

110586T : うん。量を表している。

110587M : うん。

また、(218)の場合は、以下の意見によると、「雨がうわっと降ってきた」の「うわっ」は、擬態語として言うということである。

⑪ 110597Q : はい、dは？

110598T : 言います。えっえっ、

110599M : 言わない。

110600K : 「うわっと降ってきた」

110601M : あまり「うわっ」、

110602T : あー、そういうか。擬態語じゃないか、そうそうそう、

110603M : 言わない。

そして、(214)の場合は、「うーん」と「もらえる」の間に、「と」が入ったら、言えるが、「うーんと」が「たくさん」の意味になるということもあるため、「と」つけないほうが自然であるということと言われる。具体的には、被験者の意見を以下に見よう。

⑫ 110573Q : はい。じゃ、h (j) は？

110574K : 言わない。

110575T : 「うーんとももらえる」、言わない。言うど、たくさんの意味になっちゃうね。

110576M : 「と」付けない方が自然。

110577Q : 自然ですか。

110578T : ですね。

ところで、(202), (205) の場合は、被験者の意見を全体的にみると、言えないと考えられるが、言わないことはないだろう。この点は、次の意見を見たら、分かる。

(202)については、以下の意見がある。

㊸ 110510Q : はい、ありがとうございます。じゃ、cは？

110511M : え、「ええああと」

110512K : 「えーあーと話していて」、言うと思う。

110513T : 言う？

110514M : 言わないかも。

110515K : 言わないのかな。」

(205)については、こういう意見がある。

㊹ 110524Q : じゃ、fは？

110525M : 「ええああとになった」

110526T : ああ、むずかしいな。

110527K : 「えーあーと」、「と」、

110528Q : 「なった」、

110529K : ううん、言わないか。

110530T : 「ええああってなった」とか、言うかな。「と」とは言わないかな。

110531Q : 「ええああってなった」は言えますか。

110532M : 私は言わないと思います。

110533T : 自分は使わないけど、言われたら、うんなんかそうなったのか。

110534Q : 「ええああとになった」ですか、「ええああってなった」ですか。「って」「と」どっちが出やすいですか。

110535T : あー、どっちも言います。あ、でも、「えーと」独立させるときは、「と」ですね。全部。

この意見によると、「ええああとになった」は言うこともあり、被験者が言わないが、他の人から聞いたら、通じるということもあると考えられる。

- パターン⑥ [[[感動詞の反復] 0] 動詞] においては、(225)～(256)の例文を挙げる。

(225) × お父さんは息子の話をいやーいやー聞いている。[1a]

- (226) × 彼女は部屋の奥に座っている男の人をいやーいやー見て、部屋を出て行った。
[1b]
- (227) A：先週一緒に買ったシャツを着てないね。[1c]
× B：実は、今朝、着ようとして、棚から取り出したら、いやーいやー汚れちゃったのよ。
- (228) A：ねえねえ、聞いた？[1d]
B：何があったの？
A：鈴木さんは彼氏に40万の時計をもらったこと。
× B：へー、そんな。いやーいやーなったよね、彼女は。
- (229) × 彼女が1人で20年ずっと子供の4人も育てていたことを聞いたとき、いやーいやー思っていて、自分をもっと努力したいという感じがした。[1e]
- (230) × お母さんは息子の答えを聞いたら、いやーいやー座った。[1f]
- (231) × 「今度のクリスマスにプレゼントをいやーいやーもらいたいな。」[1g]
- (232) × 彼はええええ話していて、なかなか一文になっていない。[2a]
- (233) × 彼はああああ話していて、なかなか一文になっていない。[2b]
- (234) × 彼はええああええああ話していて、なかなか一文になっていない。[2c]
- (235) × 彼がええああええああ読んでいて、いらいらしている。[2d]
- (236) × 急にスピーチを頼まれて、考えながら言ったので、ええああええああした。[2e]
- (237) × 急にスピーチを頼まれたので、考えながら言って、ええああええああなった。
[2f]
- (238) ? 兄は弟の質問を聞いていたら、うーんうーん考えていた。[3a]
- (239) ? 兄は弟の話をうーんうーん聞いている。[3b]
- (240) × 兄は弟の質問を聞いていたら、うーんうーんした。[3c(e)]
- (241) × 私は弟の話を聞いて、うーんうーん思っていた。[3d(c)]
- (242) × 私は弟の話を聞いて、うーんうーんなった。[3e(d)]

- (243) × 彼女に大学院進学のことを尋ねたら、うーんうーん躊躇ていた。 [3f(e)]
- (244) × 彼は、本をもち、うーんうーん歩いていた。 [3g(f)]
- (245) × 彼女は部屋の奥に座っている男の人をうーんうーん見て、部屋を出て行った。
[3h(g)]
- (246) × 誰にも何も与えない彼みたいな人にプレゼントがうーんうーんもらえるかな。
[3j(h)]
- (247) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。 [4a]
B : 何を見たの？
× A : 宝くじが当たって、うわっうわっお金をもらったのよ。
B : へー。
- (248) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。 [4b]
B : 何を見たの？
× A : 宝くじが当たって、うわっうわっなった。
B : へー。
- (249) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。 [4c]
B : 何を見たの？
× A : 宝くじが当たって、うわっうわっ驚いた。
B : へー。
- (250) × 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっうわっ降ってきて、びしょ濡れになっちゃった。 [4d]
- (251) × A : 昨日ね、掃除のとき、引き出しを開けたら、古い写真をうわっうわっ見
たんよ。
B : へー、そうなん。 [4e]
- (252) × TOEIC 試験の 900 点を見て、わーわー喜び、飛び上がった。 [5a]
- (253) × TOEIC 試験の 900 点を見たとき、わーわー飛び上がった。 [5b]
- (254) × TOEIC 試験の 900 点を見たとき、わーわー興奮して、飛び上がった。 [5c]
- (255) × TOEIC 試験の 900 点を見て、わーわー驚いた。 [5d]
- (256) × TOEIC 試験の 900 点を見て、わーわーなった。 [5e]

上の例文は、すべて言わないと被験者にされている。但し、被験者の意見をみると、(238), (239)に記述される[3a], [3b] は、言わないことはない。以下の意見を見ればわかる。

- ④ 110695Q : はい、ありがとうございます。次に3でお願いします。
110696M : うーんうーんっていうことですね。
110697K : え、aは言うかな、「考えていた」、うん、言うと思います。ですけど、「聞いている」bは言わないかな。
110698T : うん。
110699K : 反復しない。
110700T : でも、えー、言うかな。なんか、言われたらわかるけど、言わないかな、違うから、
110701M : うん、「うーん」っていう、なんか2回続くと、おかしい？なんか、
110702T : 言いにくいもんね。
110703M : うん、一回でだったら、自然。
110704K : 聞こえるのね。
110705M : うん、十分。
110706K : うん、そうだよ。
110707M : うん。
110708T : 「うーん」言いすぎじゃ。
110709Q : はい。じゃ、a bは同じですね。

この意見によると、「うーん」の反復形は、意味が通じる故、言えるが、2回「うーんうーん」と反復して言うのは、発音しにくいし、不自然の故、言わないということである。

- パターン⑦ [[[感動詞の反復] と] 動詞] においては(257)～(288)の例文を挙げる。

(257) × お父さんは息子の話をいやーいやーと聞いている。[1a]

(258) × 彼女は部屋の奥に座っている男の人をいやーいやーと見て、部屋を出て行った。
[1b]

(259) A : 先週一緒に買ったシャツを着てないね。[1c]

× B : 実は、今朝、着ようとして、棚から取り出したら、いやーいやーと汚れちゃったのよ。

(260) A : ねえねえ、聞いた？ [1d]

B : 何があったの？

A : 鈴木さんは彼氏に40万の時計をもらったこと。

× B : へー、そんな。いやーいやーとなったよね、彼女は。

- (261) × 彼女が1人で20年ずっと子供の4人も育てていたことを聞いたとき、いやーいやーと思っていて、自分がもっと努力したいという感じがした。[1e]
- (262) × お母さんは息子の答えを聞いたら、いやーいやーと座った。[1f]
- (263) × 「今度のクリスマスにプレゼントをいやーいやーともらいたいな。」[1g]
- (264) × 彼はええええと話している、なかなか一文になっていない。[2a]
- (265) × 彼はああああと話している、なかなか一文になっていない。[2b]
- (266) × 彼はええああええああと話している、なかなか一文になっていない。[2c]
- (267) × 彼がええああええああと読んでいて、いらいらしている。[2d]
- (268) × 急にスピーチを頼まれて、考えながら言ったので、ええああええああとした。
[2e]
- (269) × 急にスピーチを頼まれたので、考えながら言って、ええああええああとなつた。
[2f]
- (270) ◎ 兄は弟の質問を聞いていたら、うーんうーんと考えていた。[3a]
- (271) ◎ 兄は弟の話をうーんうーんと聞いている。[3b]
- (272) × 兄は弟の質問を聞いていたら、うーんうーんとした。[3c(e)]
- (273) × 私は弟の話を聞いて、うーんうーんと思っていた。[3d(c)]
- (274) × 私は弟の話を聞いて、うーんうーんとなった。[3e(d)]
- (275) ◎ 彼女に大学院進学のことを尋ねたら、うーんうーんと躊躇っていた。[3f(e)]
- (276) × 彼は、本をもち、うーんうーんと歩いていた。[3g(f)]
- (277) × 彼女は部屋の奥に座っている男の人をうーんうーんと見て、部屋を出て行った。
[3h(g)]
- (278) × 誰にも何も与えない彼みたいな人にプレゼントがうーんうーんともらえるかな。
[3j(h)]

- (279) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4a]
 B : 何を見たの？
 × A : 宝くじが当たって、うわっうわっとお金をもらったのよ。
 B : へー。
- (280) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4b]
 B : 何を見たの？
 × A : 宝くじが当たって、うわっうわっとなった。
 B : へー。
- (281) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4c]
 B : 何を見たの？
 × A : 宝くじが当たって、うわっうわっと驚いた。
 B : へー。
- (282) × 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっうわっと降ってきて、びしょ濡れになちやっした。[4d]
- (283) × A : 昨日ね、掃除のとき、引き出しを開けたら、古い写真をうわっうわっと見たんよ。
 B : へー、そうなん。[4e]
- (284) × TOEIC 試験の 900 点を見て、わーわーと喜び、飛び上がった。[5a]
- (285) × TOEIC 試験の 900 点を見たとき、わーわーと飛び上がった。[5b]
- (286) × TOEIC 試験の 900 点を見たとき、わーわーと興奮して、飛び上がった。[5c]
- (287) × TOEIC 試験の 900 点を見て、わーわーと驚いた。 [5d]
- (288) × TOEIC 試験の 900 点を見て、わーわーとなった。[5e]

このパターンでは、以上で(270), (271), (275)のように記述された [3a] [3b] [3f(e)]以外に、他の例文項目は言わないと被験者にされている。[[[感動詞の反復] 0] 動詞] で言わないものは、このパターンでも感動詞の反復がその後に「と」が付いても変わらずに言わないと言われる。具体的には以下の意見を見よう。

- ㊦ 110792Q : はい。すみません。今、なんか感動詞は反復して、反復の後ろに「と」が入ったら、言えるか。

110793T : 「いやーいやーと」、「と」が入っても、言わない。
110794M : あまり、かわ。
110795K : 反復できないもの。しないものは「と」が入っても、変らないよね。
110796M : うん、そうだよね。
110797Q : b もそうですか。
110798K : うん、言わない。
110799T : 言わない。
110800Q : a と同じですか。「と」が入っても言わないんですか。
110801M : はい。
110802T : 反復したときは言わないんです。
110803Q : c は？
110804M : いや、言わない。相変わらずという。
110805T : 言わない。
110806Q : K さんは？
110807K : 言わないです。
(中略)
110839Q : はい。3 は？
110840M : 「うーんうーんと考えていた」
110841 : 言うかな。
110842K : 言う気がしてきた。
110843M : うん、「うーんうーんと考えていた」。
110844T : b も言うかな。
110845K : うん。
110846M : え、a は言うだったら、b も言う。
110847K : b も言う。
110848Q : はい、e、あ、c は？「兄は、」
110849K : 「うーんうーんとした」ね。
110850T : ん、3 番ね。
110851Q : うん、3 番ですね。e の、c の「兄は弟の質問を聞きながら、うーんうー
ん」
110852T : 「とした」、言わない。
110853M : 言わない。
110854Q : c (d) は？
110855T : 「私は弟の話を聞いて、うーんうーん」、
110856K : 「と思った」、言わないかな。
110857M : うん。2 回繰り返すと、2 回繰り返して、一続き、また「と」を付けると、
なんかくどい。
110858Q : はい、そうですか。
110859M : はい、1 回でいいじゃろうと思って。

- 110860Q : はい、1回でいいんですか。
- 110861M : はい、「うーんと考えていた」というなら、普通に言うんだけど。
- 110862Q : Tさんはどう思いますか。
- 110863T : そうですね。あまり言わないんですね。
- 110864Q : 長すぎてですか。
- 110865T : 幼稚詞かな。
- (中略)
- 110873Q : はい。あの e (f) は? 「うーんうーんとためらっていた」。
- 110874K : 言うかな。「うーんうーんとためらっていた」。
- 110875Q : これは、Mさんはどう思いますか。言えますか。これは、
- 110876M : うーん、これは言えます、うーんうーんと思います。
- 110877T : 言えると思います。
- (中略)
- 110892M : うん、4番は言わないと思います。
- 110893Q : はい。じゃ、「うわっ」じゃなくて、「うわーうわーと」、
- 110894T : いや、言わない。
- 110895M : 言わない。
- 110896Q : それでも、言わないんですか。両方でもね。「うわっ」と「うわー」、言わないんですか。
- 110897T : うん。
- 110898Q : はい、a, b, c, d, e も全部、すべて、
- 110899M : 「うわっうわっ」
- 110900Q : b は?
- 110901T : 「うわっとなった」、言うか。
- 110902M : うん、「うわっとなった」、…「うわっと驚いた」
- 110903Q : b は、言えますか、言えそうですか。「うわっうわっとなった」
- 110904M : 反復ですか。
- 110905Q : うん、反復ですね。反復、
- 110906K : 言わない。
- 110907Q : なんか「と」も、
- 110908M : 反復は言わない。
- 110909K : 言わない。
- 110910Q : 反復で言わないんですね。「と」も付いても、
- 110911M : うん、「と」が付いても、反復は言わない。

このような意見をみると、このパターンで言わない感動詞の場合は、意味面のみならず発音面にも問題がある、即ち感動詞が反復形をして「と」が付くものが、110857M が言った意見のように、発音が長すぎて、不自然であるということである。

- パターン⑧ [[[[感動詞] と] [感動詞] と] 動詞] においては、(289)～(320)の例文を挙げる。

(289) × お父さんは息子の話をいやーといやーと聞いている。[1a]

(290) × 彼女は部屋の奥に座っている男の人をいやーといやーと見て、部屋を出て行った。[1b]

(291) A：先週一緒に買ったシャツを着てないね。[1c]

× B：実は、今朝、着ようとして、棚から取り出したら、いやーといやーと汚れちゃったのよ。

(292) A：ねえねえ、聞いた？[1d]

B：何があったの？

A：鈴木さんは彼氏に40万の時計をもらったこと。

× B：へー、そんな。いやーといやーとなったよね、彼女は。

(293) × 彼女が1人で20年ずっと子供の4人も育てていたことを聞いたとき、いやーといやーと思っていて、自分をもっと努力したいという感じがした。[1e]

(294) × お母さんは息子の答えを聞いたら、いやーといやーと座った。[1f]

(295) × 「今度のクリスマスにプレゼントをいやーといやーともらいたいな。」[1g]

(296) × 彼はええとええと話していて、なかなか一文になっていない。[2a]

(297) × 彼はああとああと話していて、なかなか一文になっていない。[2b]

(298) × 彼はええああとええああと話していて、なかなか一文になっていない。[2c]

(299) × 彼がええああとええああと読んでいて、いらいらしている。[2d]

[2e]

(300) × 急にスピーチを頼まれて、考えながら言ったので、ええああとええああとした。

(301) × 急にスピーチを頼まれたので、考えながら言って、ええああとええああとなった。[2f]

(302) × 兄は弟の質問を聞いていたら、うーんとうーんと考えていた。[3a]

- (303) × 兄は弟の話をうーんとうーんと聞いている。[3b]
- (304) × 兄は弟の質問を聞いていたら、うーんとうーんとした。[3c(e)]
- (305) × 私は弟の話を聞いて、うーんとうーんと思っていた。[3d(c)]
- (306) × 私は弟の話を聞いて、うーんとうーんとなった。[3e(d)]
- (307) × 彼女に大学院進学のことを尋ねたら、うーんとうーんと躊躇っていた。[3f(e)]
- (308) × 彼は、本をもち、うーんとうーんと歩いていた。[3g(f)]
- (309) × 彼女は部屋の奥に座っている男の人をうーんとうーんと見て、部屋を出て行った。[3h(g)]
- (310) × 誰にも何も与えない彼みたいな人にプレゼントがうーんとうーんともらえるかな。[3j(h)]
- (311) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4a]
B : 何を見たの？
× A : 宝くじが当たって、うわっとうわっとお金をもらったのよ。
B : へー。
- (312) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4b]
B : 何を見たの？
× A : 宝くじが当たって、うわっとうわっとなった。
B : へー。
- (313) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4c]
B : 何を見たの？
× A : 宝くじが当たって、うわっとうわっと驚いた。
B : へー。
- (314) × 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっとうわっと降ってきて、びしょ濡れになっちゃった。[4d]
- (315) × A : 昨日ね、掃除のとき、引き出しを開けたら、古い写真をうわっとうわっと見たんよ。
B : へー、そうなん。[4e]

(316) × TOEIC 試験の 900 点を見て、わーわーと喜び、飛び上がった。[5a]

(317) × TOEIC 試験の 900 点を見たとき、わーわーと飛び上がった。[5b]

(318) × TOEIC 試験の 900 点を見たとき、わーわーと興奮して、飛び上がった。[5c]

(319) × TOEIC 試験の 900 点を見て、わーわーと驚いた。[5d]

(320) × TOEIC 試験の 900 点を見て、わーわーとなった。[5e]

このパターンでは、以上の(289)～(320)に記述した例文項目は、被験者にすべて言わないとされる。言わないとは、111012T と 111021K の意見から、感動詞の後に「と」を付けて、1 回で自然に言えるが、このパターンのように 2 回繰り返すと、不自然であるわけである。例えば、以下に被験者の意見をみよう。

④ 111011Q : 言わないですか。あの、これは、言わないというのは、なんか意味がわからないですか、なんか発音的に、ちょっと不自然に、おかしいとか、

111012T : 「と」は付けて、二独立繰り返すことはない。

111013M : うん。

111014Q : あー、ないんですか。

111015M : 1 回、

111016Q : 1 回だけでいいですか。

111017M : うん。

111018Q : はい、1 回でいいんですか。1 回で意味もわかるんですね。あの、なんか、言う時は、自然感じしますか。例えば、3a ですね、「兄は弟の質問を聞きながら、うーんと考えていた」とか、意味が通じるんですか。

111019K : 「うーんと考える」は、通じます。

111020Q : 自然に言えますか。

111021K : うん、自然に言います。

● パターン⑨[[[感動詞]だと]思う]については、(321)～(323)の例文を挙げる。

(321) A : その話、もう聞いた？

B : 聞いた聞いた。

A : どう思う？

× B : そうだね。最初はちょっとえーっだと思っていたが、今は彼女みたいな人ならあり得るね。

(322) × 彼女が 1 人で 20 年ずっと子供の 4 人も育てていたことを聞いたとき、いやー

だと思っていて自分がもっと努力したいという感じがした。[1e]

(323) × 私は弟の話を聞いて、うーんだと思っていた。 [3c]

両調査では、(321)～(323)のコンテキストに現れる、感動詞と動詞「思う」の間に「だ」とが入ることはなくて、言えないと言われる。具体的には、以下の意見を見よう。

- ④ 100381Q : はい、うん。ありがとうございます。あの、次、あの一ね。15を、はい、見てもらいますが。15はね、これは「えーっと思っていたが」、でも「えーっと思っていた」というのは、今「えーっだと思っていた」に、あの、言えるんか。
- 100382Y : 「だ」と、
- 100383Q : 「えーっだと思っていた」、
- 100384K : 「えーっだと思っていた」、
- 100385Y : いや、
- 100386K : 言わないんです。
- 100387Y : 言わない。
- 100388Q : 「だ」が、あの、「えーっ」の後ろ、「えーっ」と「思っている」の間に入らないん、
- 100389M : 入らないん、ですね。
- 100390K : 入らないんです。

(第4回調査による)

- ⑤ 111026Q : e ですね。1e です。だいたい「いやー思っ
- て」というところですね。2は、あ、2にないんですね。3はc ですね、c は「うーん思っていた」。はい、次は、あの、次は、あ、2所だけで。これは、「いやー思っ
- ていて」か3の「うーん思っていた」のところはね、それは、「うーんだと思っ
- ていた」とか「いやーだと思っ
- ていて」と言えますか。
- 111027K : 「だ」とが付くかどうか？
- 111028Q : うん、「いやー」と「思う」の、
- 111029K : 間に
- 111030Q : 「だ」が入っていて「いやーだと思っ
- ていて」、3の「うーんだと思っ
- ていた」は言えますか。
- 111031K : 言えません。
- 111032M : 言わない。
- 111033T : 言わない。

(第5回調査による)

以上より、第 5 回調査における被験者の回答を述べたが、まとめると、【表 3】のようになる。

【表 3】 第 5 回調査の回答まとめ

項目 番号	パターン	① [[感] ∅]	② [[感] (・)]	③ [[感] と]	⑥ 反復	⑦ [[反 復] と]	⑧ [[感]]と] の反 復	⑨ [[[感] だと]]
	コンテキスト							
1a	いやー聞いている	×	○	×	×	×	×	
1b	いやー見ている	×	○	×	×	×	×	
1c	いやー汚れちゃった	◎	◎	×	×	×	×	
1d	いやーなった	×	△	◎	×	×	×	
1e	いやー思っていて	×	△	◎	×	×	×	×
1f	いやー座った	×	△	×	×	×	×	
1g	いやーもらった	◎	◎	×	×	×	×	
2a	ええ話している	◎	◎	◎	×	×	×	
2b	ああ話している	◎	◎	×	×	×	×	
2c	ええああ話している	◎	◎	△	×	×	×	
2d	ええああ読んでいて	×	×	×	×	×	×	
2e	ええああした	△	△	×	×	×	×	
2f	ええああなった	◎	△	△	×	×	×	
3a	うーん考えていた	○	○	○	△	◎	×	
3b	うーん聞いている	○	○	○	△	◎	×	
3c (e) ¹⁹	うーんした	×	○	×	×	×	×	
3d (c)	うーん思っていた	×	○	◎	×	×	×	×
3e (d)	うーんなった	×	○	◎	×	×	×	
3f (e)	うーんためらっていた	△	○	◎	×	◎	×	
3g (f)	うーん歩いていた	△	○	×	×	×	×	
3h (g)	うーん見て	×	○	×	×	×	×	
3j (h)	うーんもらえる	◎	○	△	×	×	×	
4a	うわっお金をもらった	△	○	◎	×	×	×	
4b	うわっなった	△	○	◎	×	×	×	
4c	うわっ驚いた	△	○	◎	×	×	×	
4d	雨がうわっ降ってきた	△	○	△	×	×	×	
4e	写真をうわっ見たん	×	△	×	×	×	×	

¹⁹ () の中は、実際の調査票に書いてある項目に当たる。

5a	わー喜び	×	×	◎	×	×	×	
5b	わー飛び上がった	×	×	◎	×	×	×	
5c	わー興奮して	×	×	◎	×	×	×	
5d	わー驚いた	△	×	◎	×	×	×	
5e	わーなった	△	×	◎	×	×	×	

(注) ◎ : 3 人とも普通に自然に言うという意見がある

○ : 2 人が言えるという意見がある。

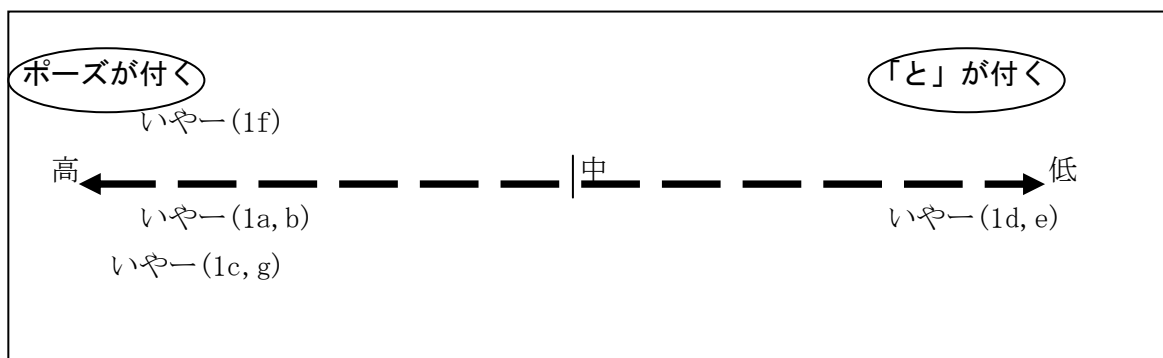
△ : 1 人が言えるという意見がある。又、それぞれは上述したような場面やコンテキストによって言えそうになる場合もある。

× : 3 人とも言えないという意見がある

4.2.4.2.2. 独立性の判断

【表 3】に載せてある調査結果に基づいて、感動詞「いやー」「うーん」「うわっ」「ええあぁ」「ええ」「あぁ」「わー」の独立性を見ると、これらの感動詞がコンテキストによって、独立性が異なることが分かってきた。それぞれの独立性を具体的に分析すると、次のようになる。

先ず、(1)のコンテキストと【図 2】を通じて「いやー」の動態を見よう。



【図 2】

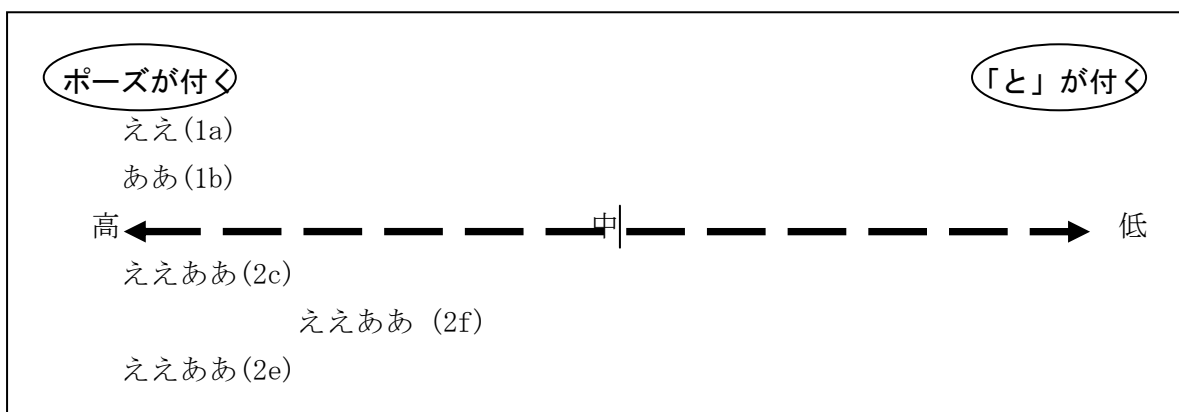
- (1) a. お父さんは息子の話をいやー聞いている。
 b. 彼女は部屋の奥に座っている男の人をいやー見て、部屋を出て行った。
 c. A: 先週一緒に買ったシャツ、今日は着てないね。
 B: 実は、今朝、着ようとして、棚から取り出したら、いやー汚れちゃったのよ。
 d. A: ねえねえ、聞いた？
 B: 何があったの？
 A: 鈴木さん、彼氏に 40 万の時計をもらったって。
 B: へー、そんな。いやーなったよね、彼女は。
 e. 彼女が 1 人で 20 年ずっと子供を 4 人も育てていたことを聞いたとき、いやー
思っていて、自分をもっと努力したいという感じがした。
 f. お母さんは息子の答えを聞いて、いやー座った。
 g. 「今度のクリスマスにプレゼントをいやーもらいたいな。」

(1a, b)の感動詞「いやー」は、被験者によれば、ポーズが付くのであれば、意味が通じる、またポーズがないより自然に言えるということがあるが、「と」が付かないパターンはないので、独立性が高いものであると考えられる。

(1c, g)の「いやー」は、ポーズがあってもなくても自然に言えるが、ポーズがなくて言うことが多いということがあるので、(1a, b)よりも独立性が高いものであると考えられる。

(1d, e, f)の「いやー」は、後ろにポーズが付いて「いやー（・）なった」「いやー（・）思っていて」「いやー（・）座った」が言えそうになるが、意味が通じるぐらいで、何か足りない感じがあって、ちょっと不自然であると被験者に思われる。但し、(1d, e)の「いやー」は後ろに「と」が付くのであれば、「いやーとなった」「いやー思っていて」が普通に自然に言うということである。したがって、(1d, e)の「いやー」は独立性が低いものであるが、(1f)の「いやー」は独立性が高いものであると考えられる。「いやー」の独立性は【図 2】のように見られる。

次に、(2)のコンテキストと【図 3】を通じて「ええ」「ああ」「ええああ」の動態を見よう。



【 図 3】

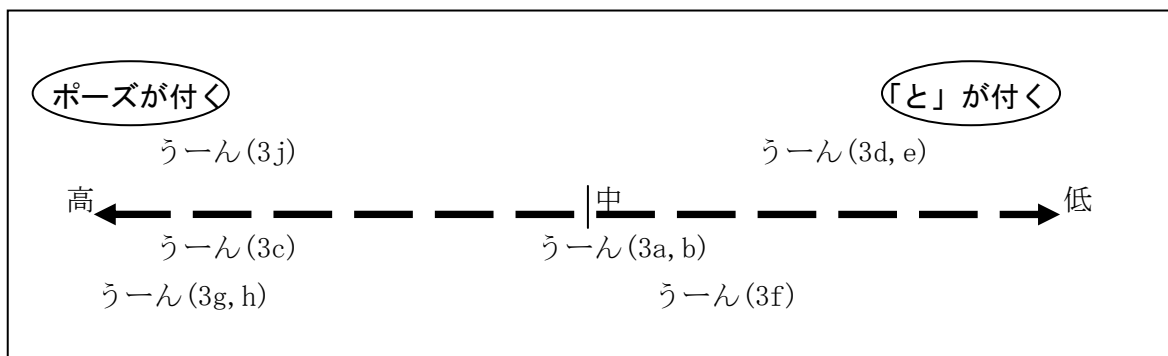
- (2) a. 彼はええ話していて、なかなか会話になっていない。
 b. 彼はああ話していて、なかなか会話になっていない。
 c. 彼はええああ話していて、なかなか会話になっていない。
 d. さっきから彼はええああ読んでるので、いらいらしている。(判断しない)
 e. 急にスピーチを頼まれて、考えながら話したので、ええああした。
 f. 急にスピーチを頼まれたので、考えながら話して、ええああなった。

(2a, b, c)の単独の「ええ」「ああ」「ええああ」は、被験者によってポーズがなくてもあっても言うと言われるが、フィラー「えーとね」とかのように使うのでなければ、言わないということもある。それゆえ、これらは独立性が高いものであると考えられる。

(2e, f)の「ええああ」は、被験者によれば、言う時、「と」が付かないとされる。また、ポーズが付いて言う場合も付かなくても言う場合もあり、意味が通じるから言えそうになるものであると思われるが、何にか足りなく、不自然であるから、言わないということがある。したがって、このコンテキストには、「ええああ」は独立性が高いものであると考えられる。但し、(2f)の「ええああ」は、「ええああとなった」「ええああってなった」と言えるという

意見もあった。これは、そういう使う場合は、発話者の様子を表す或いは発話者の言葉の引用するものであると考えれば、「ええああとなった」とはちょっと自然に言うのではないが、言えないことはないのだろう。したがって、(2f)の「ええああ」は独立性がやや低くなってきたものであると考えられる。これらの感動詞の独立性は【図3】のように見られる。

次に(3)のコンテキストと【図4】を通じて、「うーん」の動態を見よう。



【図4】

- (3) a. 兄は弟の質問を聞きながら、うーん考えていた。
 b. 兄は弟の話をうーん聞いている。
 c. 兄は弟の質問を聞きながら、うーんした。
 d. 私は弟の話を聞いて、うーん思った。
 e. 私は弟の話を聞いて、うーんなった。
 f. 彼女に大学院進学のことを尋ねたら、うーんためらっていた。
 h. 彼は、本を持って、うーん歩いていた。
 g. 彼女は部屋の奥に座っている男の人をうーん見て、部屋を出て行った。
 j. 彼みたいな人はプレゼントがうーんもらえるかな。

感動詞「うーん」は、(3a, b)には、ポーズが付いても付かなくても言うことがある。また、反復形をするパターンでも、「と」が付かないものもありそうなので、独立性が高いものであると考えだろう。しかし、「と」の組み合わせるパターンで、単独形でも反復形でも「と」が付くのであれば、より自然に言えることもある。それゆえ、「うーん」は、そもそも独立性の高いものであるが、その自体に変化が起こっていて、低くなる傾向があるのではないだろうか。この点で(3a, b)の「うーん」は独立が中性的なものであると考えられる。

(3c, g, h)の「うーん」は、「と」も付けない。反復形はないが、ポーズが付くことがあるから、独立性が高いものであると考えられる。但し、(3g)の「うーん」はポーズがなくて言

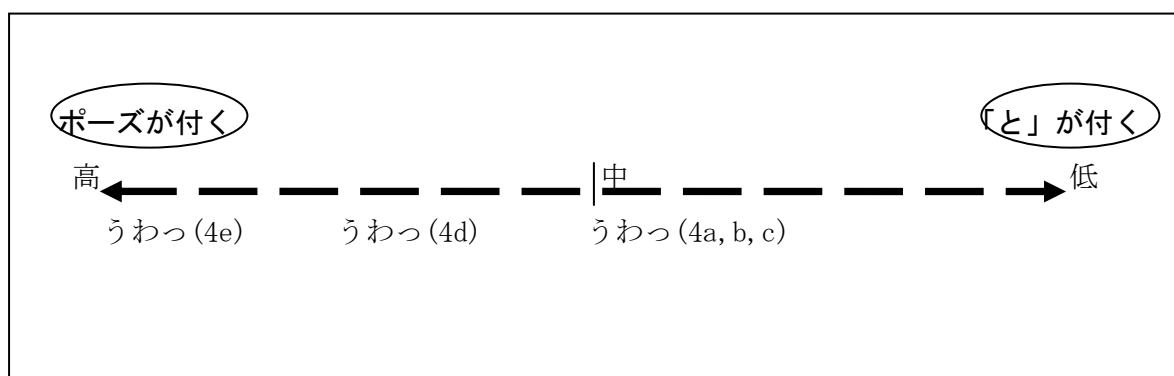
える場合もあるので、ポーズがないと言えない(3c)より独立性が高いと見られる。ちなみに(3h)の「うーん」は(3g)のコンテキストと同様である、即ち「うーん」が意志動詞「見る」「聞く」の前に出てくるといふことがあるから、その独立性も(3g)のように高いと考えられる。

(3d, e)の「うーん」は、単独がポーズとも「と」とも付いて言えるが、「と」を伴うのであれば、意味も通じることになって、より自然に言えるといふことがあるから、このコンテキストにはその独立性が変っていて、低くなってきたのだろう。この場合の「うーん」も(3a, b)のように、独立が中性的なものに現れると考えられる。但し、反復形がないから、(3a, b)に比べて、「と」と結び付きが強くなってきたのではないだろうか。それゆえ、その独立性は、完全に低くなってきたといふこともそうもないが、かなり低いものであるとも考えられる。

(3f)の「うーん」は、ポーズが付く一方、「と」も伴うといふことがあるが、ポーズなくとも言う場合がある。この点で、「うーん」は、単独でポーズがないときにはポーズとの結び付きが弱くなってきていると考えられるのであれば、反復パターンでいずれも「と」を伴うときには「と」との結び付きが強くなってきているといふことも考えられるだろう。したがって、(3f)の「うーん」は、(3a, b)のように、独立が中性的なものであり、低くなっていく傾向があると考えられる。しかも、(3f)の「うーん」の動態を【表3】で観察すると、(3a, b)のようにそれぞれのパターンにおいて現れていることが見られるが、(3a, b)と比べて、「と」と結び付きがより強いながら、ポーズがなくて「うーん」を言う頻度も(3a, b)のより少ないといふことがある。それゆえ、(3f)の「うーん」は独立性が(3a, b)より低いと考えられる。

(3j)の「うーん」は、「と」を伴って「うーんと」に言う場合は、元々日本語にある「うんと」の変異形であると被験者によって指された。また、ポーズが付いて言う場合もあるが、付かなくても自然に言えるといふことである。したがって、(3j)の「うーん」は独立性が高いものであると考えられる。「うーん」の独立性は【図4】のように現れる。

次に、(4)のコンテキストと【図5】を通じて、「うわっ」の動態を見よう。



【図5】

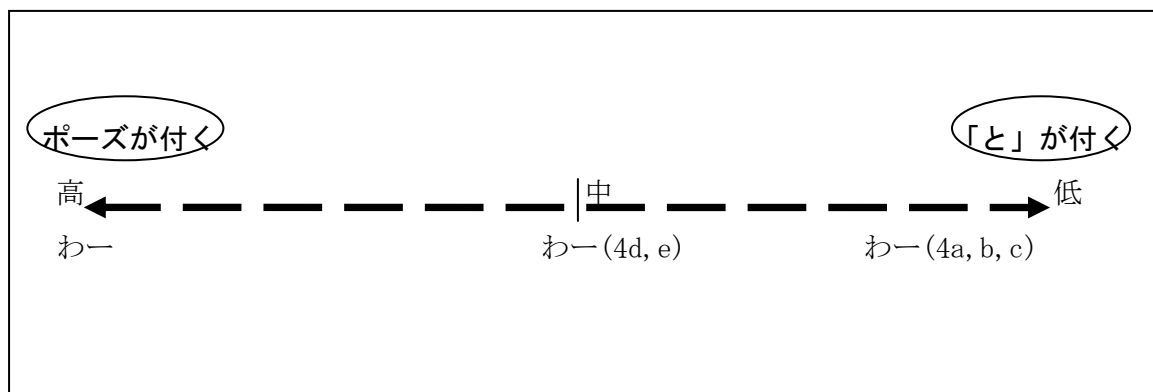
- (4) a. A: 昨日の夜ね、すごい夢をみたよ。
 B: どんな夢?
 A: 宝くじが当たって、うわっお金をもらったのよ。
 B: へー。
- b. A: 昨日の夜ね、すごい夢をみたよ。
 B: どんな夢?
 A: 宝くじが当たって、うわっなった。
 B: へー。
- c. A: 昨日の夜ね、すごい夢をみたよ。
 B: どんな夢?
 A: 宝くじが当たって、うわっ驚いた。
 B: へー。
- d. 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっ降ってきて、びしょ濡れになっちゃった。
- e. A: 昨日ね、掃除のとき、引き出しを開けたら、怖い写真をうわっ見たんよ。
 B: へー、そうなん。

(4a, b, c)の「うわっ」は、被験者の意見によれば、ポーズが付いて言う場合もポーズが付かなくて言う場合もある。また、これは「うわっ」が自体に小さい「ツ」が入っているので、小さい「ツ」はポーズに当たるといふことも思われる。それとも、言うとき、発話者が後ろに長音で伸ばして「うわー」と発音することがあると言われる。この点では、「うわっ」が文中に入るとき、小さい「ツ」が消失になりやすいと見られる。すなわち、その独立性が低くなっていくと考えられる。しかし、「うわっ」は、「と」が付いて「うわっと」になるのであれば、「ツ」を保ちながらも、(4a, b, c)の例文もより自然に言えるようになるということがあるから、「と」との結びつきが強くて、これがその独立性に低くなってきたということを指している。つまり、こういうコンテキストでは、「うわっ」はポーズが付く一方、「と」も伴うので、中性的独立をもつものである。

(4d)の「うわっ」は、(4a, b, c)のように、被験者の意見によって、発音のとき、後に「うわー」と伸ばす、また文頭に出てくるのであれば、言えるということがあるから、後に伸ばす(長音)というのは小さい「ツ」の替わりものであり、両者がポーズの役割をしていることであると言える。それゆえ、その独立性が高いと思われがちだろう。しかしながら、「と」を伴って言う場合もあるので、その独立性が低くなっているということも見られる。この点では、(4d)の「うわっ」は(4a, b, c)のと同様するタイミングがあつて、中性的独立をもつものであると考えられる。但し、(4d)の「うわっ」は、(4a, b, c)のと比べると、【表 3】を見れば分かるように「と」を伴って言う頻度が(4a, b, c)のより少ないということがある。しかも、使う場合では、感動詞的ではなく、擬態語的に使われるのであるという被験者の意見がある。このように、(4d)の「うわっ」は(4a, b, c)のより、「と」結び付きが弱くて、その独立性も高いと言える。

(4e)の「うわっ」は、「と」が付くことはないが、ポーズを伴うことはある。但し、そのポーズは、小さい「ツ」と相当する、即ち、自体に入っている「ツ」はポーズの役割をする事が出来ると考えられる。また、文中に入ってくるのが不自然であって、使わないという被験者の意見もある。即ち、文頭に出てくるのであれば、ポーズがなくても自然に言えるということである。したがって、この場合、「うわっ」は独立性が高いものであると考えられるだろう。「うわっ」の独立性は【図5】のように見られる。

そして、(5)のコンテキストと【図6】を通じて「わー」の動態を見よう。



【図6】

- (5) a. TOEIC 試験の 900 点を見て、わー喜び、飛び上がった。
- b. TOEIC 試験の 900 点を見たとき、わー飛び上がった。
- c. TOEIC 試験の 900 点を見たとき、わー興奮して、飛び上がった。
- d. TOEIC 試験の 900 点を見て、わー驚いた。
- e. TOEIC 試験の 900 点を見て、わーなった。

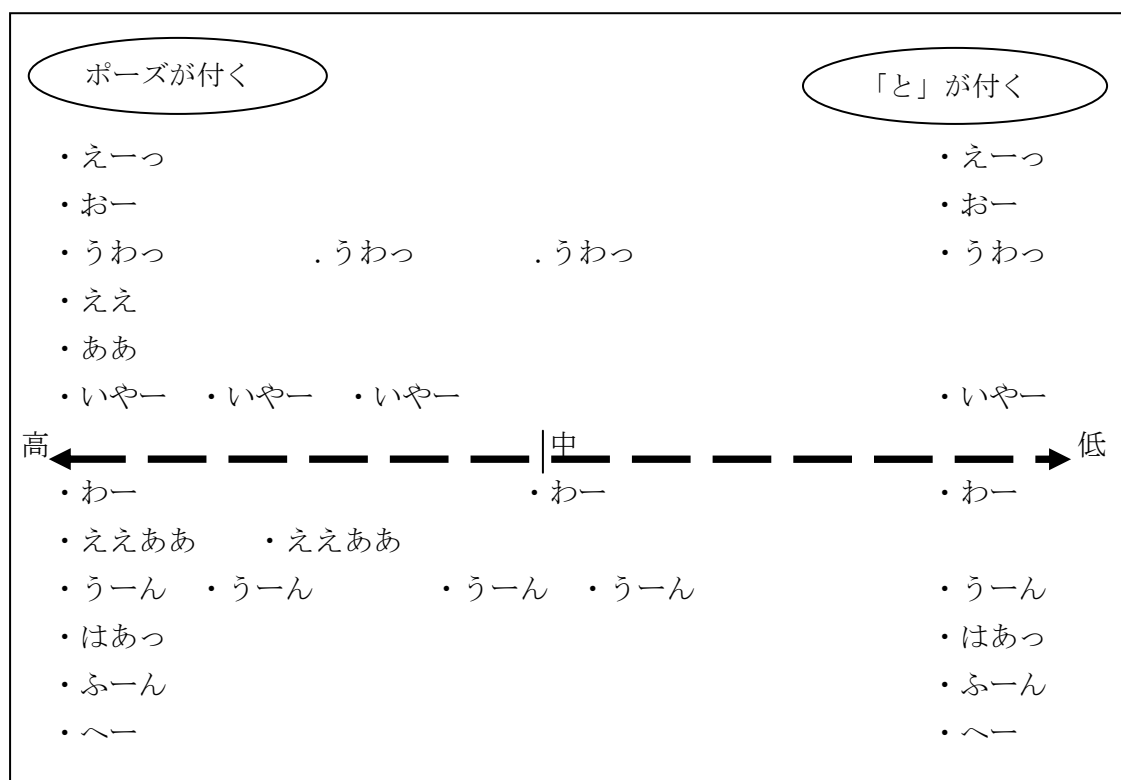
(5a, b, c)の「わー」は、単独に「と」が付くパターン限りに現れるということがあって、これはその独立性が最も低くなってきたと言える。

(5d, e)の「わー」は、「と」が付いて自然に言えることによって、独立性が低くなってきたことを指摘されるが、一方ポーズも「と」もなくとも言えるということがあるから、その独立が中性的なものであると考えられる。「わー」の独立性は【図6】のように見られる。

4.2.5. まとめ

感動詞の独立性については、次のような2点が考えられる。

まず、2回の調査結果を見ると、感動詞は文中に入るとき、その後に、ポーズが付くものも、ポーズがないものも、また「と」が付くものもあるということによって、その独立性に変化が起こっているということが分かってきた。感動詞の動態を全体的に観察すると、【図7】のようになる。



【図7】 感動詞の動態

【図7】を見ると、「ええ」「ああ」は、独立の度合が最も高いものである。「えーっ」「わー」「おー」「うわっ」「いやー」「うーん」「はあっ」「ふーん」「へー」は、独立の度合が高いことも独立の度合が低いこともある。また、「うわっ」「いやー」「うーん」の動態を観察すると、感動詞が独立度合の両端（高低）へ移行しつつあると見られる。しかし、「ええああ」の動態を観察すると、これらの独立度合が変わることがあるが、まだ高い。「うわっ」「いやー」「うーん」の動態と、「ええああ」の動態は、感動詞の独立性が低い方へ移行しつつあることを示す。しかしながら、一つの感動詞には、具体的なコンテキストによってその独立度合が高くなったり、低くなったりすることがあるので、その独立性の変化は、第4回調査の【図1】のように独立度合が違う感動詞のグループに分化しているのではなく、第5回調査の「いやー」「ええああ」「うわっ」「うーん」「わー」という、それぞれの自体が分化しているのである。

次に、文構造要素としての感動詞における独立性の変化をみると、【図 8】のように捉えられる。



【図 8】 感動詞の文構造における独立性の変化階層

【図 8】を見ると、感動詞の独立性は、高い方から低い方へ A 層・B 層・C 層・D 層・E 層・F 層の順序に変わっていくということがある。この変化に従って、感動詞がその品詞性も文の成分としての機能も変わってくるのだろう。いわば、感動詞は、先ず A 層では、単独で一文となるとき、独立度合が一番高いものであって、あいづちとしての機能をする。B 層では、後にポーズが付いて文頭に出てくるので、独立性が変わってあるがまだ高く、フィラーか応答詞の機能をする。C 層では、感動詞と形容詞が組み合わさるパターンのように、文頭に出て来るが、ポーズが付かないことから、その独立性が変わって、後続の語に繋がりがちであり、形容詞の直前に出てくる場合は、副詞のような機能をするがあり得る。D 層では、文中に入り込むことにより独立性がもう少し変わっているが、ポーズが付いているので、独立性が高く、フィラーとして働く。E 層では、文中に入り込むが、ポーズが

なくなったので、独立度合がかなり低くなって、後続の語と結び付くのであれば、副詞のような機能をするがあり得る。F層では、文中に入り込み、格助詞「と」等を伴っているので、独立度合が一番低くなり、後続の語と結び付くことになって、副詞・名詞のような機能をするだろうと思われる。ちなみに、A層からF層にかけて、感動詞の反復形があり得る。

したがって、感動詞の品詞転成を考察すべきであると考え、次の章で分析していく。

4.3. 品詞転成

5回の調査結果から感動詞が文中に入ったとき、その独立性が変り、前後の語と組み合わせて、文構造要素としての役割を果たすということを捉えた。下記のような感動詞の組み合わせパターンを得た。

[[感動詞]って] 名詞]
[[[感動詞]みたいな] 名詞]
[[[感動詞] (・)] 名詞]
[[[感動詞] (・)] だった]
[[[感動詞]∅] 形容詞]
[[[感動詞] (・)] 形容詞]
[[[感動詞]と] 形容詞]
[[[感動詞]と] 動詞]
[[[感動詞]みたいに] 動詞]
[[[感動詞] (・)] 動詞]
[[[感動詞] ∅] 動詞]
[[[感動詞]みたいな。]
[[感動詞]って・と。]
[文末の感動詞。]

このパターンを見ると、感動詞の機能が変ることがあると考えられる。即ち、フィラーだけではなく、名詞・形容詞・副詞のような機能もしているだろう。

したがって、次の節に第3,4,5回調査の結果から抽出して例を分析することによって、それぞれのパターンで品詞性を考察していく。

4.3.1. フィラー用法

4.3.1.1. [[[感動詞] (・)] 名詞]

第2回の調査結果によって、感動詞が直接に名詞と組み合わせる [[[感動詞] ∅] 名詞]の回答が全体的にはあまり出てこないが、比較的な頻度に出てくるものもある。以下のような文に記述される。

(1) おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、[[うわー/おー]時計]だった。[2.1]²⁰

しかし、第3回の調査における被験者の内省によると、(1)のように「うわ」「おー」が直接に名詞「時計」と組み合わせることはないと言われていた。但し、感動詞の後ろにポーズ

²⁰ 文末にある[]の中は、最初の番号は調査番号であるが、後の番号は調査項目の番号である。

が入れば、言えるという意見があった。また、ポーズが入っているコンテキストには、「うわー」「おー」以外に、「まあ」「あら」「はあっ」「えーっ」も入れるということも言われる。(20)のように記述される。

- (2) おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、[[うわー/おー/まあ/あら/はあっ/えーっ] (・)] 時計]だった。[3.1]

具体的な被験者の意見を見よう。

① 070061T : 4 番

070062K : 「うわー (0.1 秒) 時計だった」。えーっ。

070063M : 点を挟んでいるの、こう会話が分裂しているようにみえて、仕方がないな。
(K&M がもう一度「うわー時計だった」を言った)

070064T : 伸ばし棒を上向き言うか下向き言うかだよね。

(M&K がもう一度「うわー (0.1 秒) 時計だった」を言った)

070065Q : あー、伸ばすんですね。ポーズじゃないんですね。

070066T : あー、伸ばすところに下向きに伸ばす。後のポーズに当たるんじゃない。

070067M : あー、イントネーションの？

070068K : 「うわー時計だった」か？ (06 : 04) K が下向きに発音を伸ばした) え、言わないことか。下げたら、

070069T : 下げているときは、「うわー」、ここにポーズあっても言うかもしれない。

070070M : なんか、あまりいい意味な、表現の後に、点々を使わない感じするよね。

070071T : うん、付けないね。

070072M : 特に感動詞 (06 : 28)

070073Q : はい、そうですね。なんか、あの一、この例文の中に、「うわー」以外には、他の感動詞が入れるかどうか、

070074K : あー。「おー」、「おー時計だった」、まあ

070075M : ごめんなさい。「まあ」、「まあ時計だった」

070076T : 「あら」、「あら時計だった」。

以上の被験者の会話では、070066T, 070069T の意見をみると、「うわー」は、長音 (一)が入っているので、ポーズを使わないということである。この点では、長音にポーズを含んでいると考えられる。次のような意見もある。

② 090001Q : どれが使えますか。

090002T : まあ、1~4 として、僕はあまり使わないことはないけれども、くだけでいいという感じがしますね。そして、しいていうなら 4 番目が使いやすいかな、こう身振りとかと一緒に使うのであれば、意味が伝えやすい。「うわー」と言う時に驚きを表すというそのジェスチャーによって始めてわかる

のではないかな、そうとか、ちょっと使いにくい感じがします。

090003M : そうですね。僕はやっぱり4番ですね。1番だったら、そうですね、慨嘆がなにも入らなかったら、うわーという時計、名前をつけるね、名前になってしまいま すし、2番、3番も、そうですねくだけていますよね、うわーってこちらがリアク ションをとるような時計だったと言いたいのは、なんとなくわかるんですけど も、正しいか、やっぱり言えないと思います。なので、やっぱり、そうですね、4番、この中では正しいと思います。

090004Q : 1番と4番は正しいですか。あ、4番ですね。

090005M : はい。4番です。

090006Q : 2番と3番は？

090007M : 2と3番は、そうですね、やっぱり、さっきも、本人がそう思いうような時計だったのかなと分かるんだけど、正しいかと言えないですね。

090008Q : 文法てきですよ。

090009M : はい。

090010K : 僕も、4番ですね。うん、1番まあまあ、ちょっと「うわー時計だった」はおかしいですし、2番の「うわーって時計」とか、3番の「うわーみたいな時計」だったら、なんか、うわーっていうものみたいな時計にして、何にそれっていう。で、4番はまあ、無難かなという。この「うわー」にかぎ括弧ついたら、「お祖母ちゃんからのプレゼントを開けたら、(かぎ括弧) うわー時計だったか、絵本っぽい感じがします。だから、まあまあ大丈夫かなという感じは4番のほうがします。

この意見をみると、[うわー]は、感動詞として考えれば、(2)のように後ろにポーズが付いて言うのは、文法的に正しく、慨嘆を表すニュアンス伝わるわけであると考えられる。特に、090002Tの意見によると、(2)が身振り(ジェスチャー)とかと一緒に使うのであれば、意味が伝えやすいということである。この点で、感動詞「うわー」は、「うわー時計」で、詞の実的意味を持たなく、唯驚きを表すマークだけであるので、ポーズと身振りの補助が要るのであると考えられる。

このように、(2)のようなコンテキストに現れる感動詞は、フィラーとしての機能をしていると考えられる。

4.3.1.2. [[[感動詞] (・)] 動詞]

感動詞が後にポーズが付いて動詞と組み合わさるパターンでは、第5回の調査結果から次のような例文を得た。まず、次のように、(3a)～(23a)を挙げる。

(3a) 友達は鈴木さんの意見にうんうん (・) 答えた。[4.4]

- (4a) 会長は鈴木さんの説明を聞いているとき、そうそう（・）賛成していた。[4. 5]
- (5a) 「今日は、AKB グループにも出演していただきますよ」と聞いたら、会場にいる人がみんなおー（・）拍手した。[4. 9]
- (6a) A：先週一緒に買ったシャツを着てないね。[4. 11;5. 1c]
B：実は、今朝、着ようとしたが、棚から取り出したら、いやー（・）汚れちゃったのよ。
- (7a) お父さんは息子の話をいやー（・）聞いている。[5. 1a]
- (8a) 彼女は部屋の奥に座っている男の人を「いやー/うーん」（・）見て、部屋を出て行った。[5. 1b]
- (9a) お母さんは息子の答えを聞いたら、いやー（・）座った。[5. 1f]
- (10a) 「今度のクリスマスにプレゼントをいやー（・）もらいたいな。」[5. 1g]
- (11a) 彼はええ（・）話していて、なかなか一文になっていない。[5. 2a]
- (12a) 彼はああ（・）話していて、なかなか一文になっていない。[5. 2b]
- (13a) 彼はええああ（・）話していて、なかなか一文になっていない。[5. 2b]
- (14a) 兄は弟の質問を聞いていたら、うーん（・）考えていた。[5. 3a]
- (15a) 兄は弟の話をうーん（・）聞いている。[5. 3b]
- (16a) 彼女に大学院進学のことを尋ねたら、うーん（・）躊躇ていた。[5. 3f(e)]
- (17a) 彼は、本をもち、うーん（・）歩いていた。[5. 3g(f)]
- (18a) 誰にも何も与えない彼みたいな人にプレゼントがうーん（・）もらえるかな。
[5. 3j(h)]
- (19a) A：昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4. 10;5. 4a]
B：何を見たの？
A：宝くじを当たって、うわっ（・）お金をもらったのよ。
B：へー。

(20a) A: 昨夜ね、すごい夢をみたよ。 [5. 4c]

B: 何を見たの?

A: 宝くじが当たって、うわっ (・) 驚いた。

B: へー。

(21a) 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっ (・) 降ってきて、びしょ濡れになっちゃった。

[5. 4d]

(22a) A: 昨日ね、掃除のとき、引き出しを開けたら、古い写真をうわっ (・) 見たんよ。

B: へー、そうなん。 [5. 4e]

(23a) TOEIC 試験の 900 点を見て、わー (・) 驚いた。 [5. 5d]

(3a)～(23a)では、感動詞(「うんうん」「そうそう」「おー」「いやー」「ええ」「ああ」「ええああ」「うーん」「うわっ」「わー」「はあっ」と、行動的動詞(「答える」「賛成する」「拍手する」「聞く」「見る」「座る」「もらう」「話す」「考える」「歩く」「立ち上がる」)、状态的動詞(「躊躇う」「驚く」「汚れる」「(雨が)降ってくる」)の間にポーズが挟んでいる。構文論の観点から見ると、感動詞の後ろにポーズがあれば、独立性が高いものであるので、すべてフィラーとして働いていると考えられるだろう。しかしながら、語と語の間に存在するポーズと切れ目の境を判明するのはそもそも難しいという問題がある。しかも、調査の被験者の意見によると、ポーズがなくても言うことがある。その故、こういうコンテキストに現れる感動詞の品詞性を確実に確定するために、ポーズだけでなく、その感動詞と動詞の繋りも見べきであると考えられる。即ち、例文から感動詞を取り除くことによって、統語論と意味論の観点から感動詞と動詞の関係を検討するということである。具体的は、次のようである。

例文から感動詞を取り除くと、次のような文になる。

(3b) 友達は鈴木さんの意見に答えた。 [4. 4]

(4b) 会長は鈴木さんの説明を聞いているとき、賛成していた。 [4. 5]

(5b) 「今日は、AKB グループにも出演していただきますよ」と聞いたら、会場にいる人がみんな拍手した。 [4. 9]

(6b) A: 先週一緒に買ったシャツを着てないね。 [4. 11; 5. 1c]

B: 実は、今朝、着ようとしたが、棚から取り出したら、汚れちゃったのよ。

(7b) お父さんは息子の話を聞いている。 [5. 1a]

- (8b) 彼女は部屋の奥に座っている男の人を見て、部屋を出て行った。[5. 1b]
- (9b) お母さんは息子の答えを聞いたら、座った。[5. 1f]
- (10b) 「今度のクリスマスにプレゼントをもらいたいな。」[5. 1g]
- (11b, 12b, 13b) 彼は話している、なかなか一文になっていない。[5. 2a]
- (14b) 兄は弟の質問を聞いていたら、考えていた。[5. 3a]
- (15b) 兄は弟の話を聞いている。[5. 3b]
- (16b) 彼女に大学院進学のことを尋ねたら、躊躇っていた。[5. 3f(e)]
- (17b) 彼は、本をもち、歩いていた。[5. 3g(f)]
- (18b) 誰にも何も与えない彼みたいな人にプレゼントがもらえるかな。[5. 3j(h)]
- (19b) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4. 10;5. 4a]
B : 何を見たの？
A : 宝くじを当たって、お金をもらったのよ。
B : へー。
- (20b) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[5. 4c]
B : 何を見たの？
A : 宝くじが当たって、驚いた。
B : へー。
- (21b) 彼女の家へ行く途中で、雨が降ってきて、びしょ濡れになっちゃった。[5. 4d]
- (22b) A : 昨日ね、掃除のとき、引き出しを開けたら、古い写真を見たんよ。
B : へー、そうなん。[5. 4e]
- (23b) TOEIC 試験の 900 点を見て、驚いた。 [5. 5d]

(3b)～(23b)をみると、話者の感情・態度を強調するニュアンスがやや程度でなくなったが、やはり意味がきちんと通じて、正しい文である。そのため、(3a)～(23a)に現れる感動詞と動詞の結びが極めて弱くて、繋がらないとも言えよう。よって、このようなコンテキストに現れる感動詞はフィルターであると考えられる。

以上より、[[[感動詞] (・)]動詞]では、感動詞がフィラーとしての役割をしている。

4.3.1.3. [[[感動詞]Ø]動詞]

感動詞と動詞を直接に組み合わせる、即ち感動詞と動詞の間にポーズや「と」などがないパターンでは、第3,4,5回の調査結果から次のような例文が得られた。

まず、(24), (25)を見よう。

(24) 彼はええ話していて、なかなか会話になっていない。[5. 2a]

(25) 彼はああ話していて、なかなか会話になっていない。[5. 2b]

(24), (25)を見てわかるように、感動詞の「ええ」「ああ」が、後ろに何も付いていなく、動詞「話す」の前にでてくる。これらは、被験者が感動詞として使わないということを次のように言われる。

③ 110055T: 「ああ話して」は言う。

110056M: うん。

110057K: 「彼はええ話して」、え、言う、言っている人がない。

110058M: どんな、どんな場面?

110059K: それは「えー」って、感動詞?

110060T: 感動詞に気につかないな。

110061K: 相づちみたいなの。こう、なんか、会話がちょいちょい挟んでくると思う。それだったら、感動詞ではない。

110062T: いや、感動詞的には、でも、なんか

110063Q: フィラーでもね。

110064K: フィラー、うん、フィラーっぽい感じで。

110065T: 「彼はええ話していて、なかなか会話になっていない」って、言うか。

このデータの下線部を見ると、(24), (25)の「ええ」「ああ」は、110061K, 110064K, 110078Kの意見によっては、話し手が会話の途中で挟んでくるものであり、フィラーのような機能をしていると考えられる。

次に、(26)~(30)を見よう。

(26) 兄は弟の質問を聞いていたら、うーん考えていた。[5. 3a]

(27) 兄は弟の話をうーん聞いている。[5. 3b]

(28) 彼女に大学院進学のことを尋ねたら、うーん躊躇ていた。[5. 3f(e)]

(29) 彼は、本をもち、うーん歩いていた。[5. 3g(f)]

(30) 誰にも何も与えない彼みたいな人にプレゼントがうーんもらえるかな。[5. 3j(h)]

以上の例文では、感動詞「うーん」「うわっ」は動詞「考える」「聞く」「躊躇う」「歩く」「降ってくる」「もらう」の前に出てきて、その間にポーズや「と」のような何もない。構文論から見ると、フィラーか副詞であると考えられるだろう。どちらかという、先ず、被験者の意見も見よう。

④ 110192K : でも、bの発話の、発話、兄が、「うーん」が兄の動作なんだったら、言わないけど、発話者が「うーん」をただ入れるだけで捉えると、言えると思います。

110193T : aも言えるよね。

110194M : うん、そうしたら、

110195K : うん、そうそうそう。そうしたら、

110196T : なんか、兄は弟の質問を聞いているという情景を、発話者がその中で考えていて、それを客観的視して、「うーん考えていたよ」っていうふうにときは、「うーん」は使えるんですけど、その、兄の動作として、うーんていうのが、兄がうーんというふうに考えるというのと、言わないかなと思います。

110197Q : Mさんはどう思いますか。

110198M : あ、ちょっと今。「うーん考えていた」は一続きで考えて、たとえば、その、やっぱ兄の、兄が「うーんって考えていた」のかなあって捉えると、「うーん考えていた」というと、なんか不自然だなと思いますね。

被験者の意見(特に110196T)によると、(26), (27)の「うーん」は、「兄」の「考える」の様子を表すことなら言わないが、話者が当時の会話中に発されるのであれば、言えるということである。つまり、この「うーん」は、動詞「考える」に繋がりがなくて、独立性が高いので、フィラーとしての役割をしていると考えられる。したがって、(28), (29), (30)に現れる「うーん」は、同様に見れば、全てフィラーである。

次に、(31), (32)を挙げる。

(31) a. 「今度のクリスマスにプレゼントをいやーもらいたいな。」[5. 1g]

b. A : バレンタインの日にチョコレートをうわーもらいたいなあ。[3. 32]

B : へー。

(32) A : 先週一緒に買ったシャツを着てないね。[5.1c]

B : 実は、今朝、着ようとして、棚から取り出したら、いやー汚れちゃったのよ。

(31)では、感動詞「いやー」「うわー」は、「もらいたい」の直前に出てくる。その品詞を構文論の観点で考えると、独立でフィラーとしての働きをしている、それとも「もらいたい」に繋がりがあって副詞として働いていると考えられるが、被験者の次のような意見も見よう。

⑤²¹ 080928Q : じゃ、32 と 33 はどっちが使うか。どっちが通じますか。

080929G : どっちも通じますけど、意味が違ってくるのかな。[わあーと]と言ったら、いっぱいという意味でかなと聞いちゃう。「めっちゃもらいたいな」の意味で使う、受け取る。

080930N : うん。

080931Q : 33 は。

080932G : 33 は、

080933N : 「いやーもらいたいな」ならわかるけど、「うわーもらいたいな」はえーつていうなるかな。

080934G : うん、いっぱいもらいたいというイメージがなくなるん。「と」がないと。

080935N : うん。

080936G : 「バレンタインの日にチョコレートをうわーもらいたいなあ」ていうこと、すごい楽しみなんだね。

080937N : あー、うん。

080938Q : 話し手の気持ちですね。

080939G : そう、気持ちがすごいでてくるね。「クリスマスにサンタさんからプレゼントをいやーもらいたいな」みたいな。

080940Q : じゃ、「うわー」「いやー」の以外に、こんなコンテキストに入れ替えられる他の感動詞がありますか。

(中略)

080947G : やっぱ「いやー」とか「まあ」とか「うーん」入るか、「まあもらいたいね」みたいな。

080948S : 「チョコレート」の前に付けたら、さあ、

080949G : あー。

080950S : 「いやーチョコレートをもらいたいな」みたいな。

080951G : あー、「チョコレート」の前にでも付けられるんですね。「チョコレート」の前に付けやすい。

080952N : うん。

080953G : 「バレンタインの日」の前にも付けられるよ。

080954S : いちばん最初？

²¹ このデータは、第3回の調査に使用された(31b)についての被験者の意見である。

080955G : 「いやーバレンタインの日にチョコレートをもらいたいね」みたいな感じで。

080956N : あー、自然か。

080957G : ここに入る可能性が低いかな。

データの下線部を見ると、080934G, 080936G, 080939G の意見で、「いやー」は「もらいたい」に繋がりがなく、話し手の気持ちのみを表すということである。また、080951G, 080955G の意見で、「いやー」は文頭に現れるのであれば、自然であるということも指摘された。このように、(31) 「いやー」「うわー」は、独立性が高いので、フィラーとしての役割をしていると考えられる。よって、(32)のコンテキストに現れる「いやー」も同様に見られる。

なお、(33)のような例文もある。

(33) 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっ降ってきて、びしょ濡れになっちゃった。[5.4d]

⑥ 110248Q : じゃ、dは？

110249K : これも「うわー」だったら、言うね。

110250M : 「うわっ」というのがその、この文の中、途中でこう、突然入ってくるというのが、まあちょっと考えられないかなという感じがします。

110251K : あー、そうだよね。あ、文の最初だったら、

110252M : うん。うわって、本当の、驚きの「うわー」、

110253K : 最初だったら、オケ (ok) です。

110254M : うん、途中でうわって入ると、ちょっとよく分からない。

被験者の意見によると、「うわっ」は、文頭に出てくるのであれば、言えるということである。そうであれば、「彼女の家へ行く途中で、うわっ雨が降ってきて、びしょ濡れになっちゃった」になる。このように、(33)の「うわっ」は、(31), (32)と同様に、独立性が高いので、フィラーであると考えられる。

以上より、感動詞と動詞を直接に組み合わせるパターンでは、感動詞は、その後ろにポーズが付かないが、文頭や文中に現れ、直後の動詞に繋がらないのであれば、フィラーであると考えられる。

4.3.1.4. [[[感動詞] と] 形容詞・動詞]

第2回調査結果から見ると、感動詞と形容詞を組み合わせるパターンでは、感動詞がその後ろに「と」を伴って形容詞の前にでてくるものの頻度も比較的高い。以下に例(34), (35), (36)を挙げておく。

(34) A: 連休に、旅行行った？ [3.18]

B: うん、ベトナム行った。
A: へー、どんなところ？
B: [[[えっ]と]面白い]ところだよ。

(35) A: 昨日、社長の家へ訪問に行ったんだって、どうだった？ [2.12]
B: よかったよ。奥さんが[[[あつ]と]おいしい]料理を作ってくれたよ。
A: へー、いいな。

(36) A: 「耳なし芳一」は、[[[うーん]と]怖い]話だね。 [3.22]
B: ねえ。

(34), (35)の「えっと」「あつと」は、考えながら言う場合のように、「ええ」「ああ」と終助詞「と」から成ったもの、即ち「ええ」「ああ」の変異形であり、全体がフィラーとして機能しているだろうか。これは、第5回調査結果からも同様の例文もある。

(37) 彼はええと話していて、なかなか会話になっていない。 [5.2a]

(37)についての被験者の意見を見よう。

- ⑦ 110492Q: はい、2ですよ。「ええと話していて」、aは？
110493K: 「ええと話して」、「と」、
110494M: ええと、
110495T: 「えーとね」の「えーと」だったら、言う。
110496M: 言葉に詰まったときに、「えーと」って、
110497K: うん。
110498M: 言う。感動詞、これは「ええと話していて」
110499T: 「話していて」にはかからない「と」としてだったら、使うかも「えーと話していて、なかなか会話になってない」
110500M: 「えーと」は結構独立しているんだったら、言うんかな。
110501Q: じゃ、「ええと話していて」は行けるんですか。
110502T: 「ええと」と「話していて」の間にポーズや点とかがあったら、言う。
110503Q: じゃ、「ええと」の後ろにポーズが入るということですか。
110504T: うん。

被験者の意見を見ると、(37)の「ええと」は、動詞「話す」に繋がっているものではなく、話者が詰まったとき、その後ろにポーズを伴って発されたものである。この点では、(37)の「ええと」は、フィラーであると考えられる。よって、(34), (35)の「あつと」「えっと」と同様に見られる。

要するに、感動詞は、文頭や文中に現れるとき、後ろにポーズや「と」が付く場合も付

かない場合もあるが、後の語に繋がないのであれば、フィラーとしての機能をしていると考えられる。ちなみに、(36)の「うーんと」は、元々日本語にある副詞「うんと」の変異形と重なることがあり得るので、フィラーではないと考えられる。

4.3.2. 名詞用法

4.3.2.1. [[[感動詞]って]名詞]

第2回の調査結果を見ると、パターン①において、[[[感動詞]って]名詞]は、[[[感動詞]0]名詞]、[[[感動詞]の]名詞]、[[[感動詞]みたいな]名詞]より頻度が高く、全体的にも、[[[感動詞]って]名詞]が最も多く現れていることが分かる。また、被験者の意見(第3回調査)によると、感動詞はこのパターンで自然に言えるということである。次のような例を見よう。

(38) おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、[[[おー]って]時計]だった。 [3.2]

(39) 社員1:今朝の会議で田中さんが言ったことは、[[[うーん]って]意見]だね。 [3.5]
社員2:うん、そうだね。

(40) 彼は[[[えーっ]って]]顔でその話を聞いていた。 [3.8]

(38)～(40)を見ると分かるように、感動詞の「おー」「うーん」「えーっ」の後ろにはすべて「って」が付いている。「って」の直前には、例(41)のように名詞が来る。

(41) 田中さんって、背が高く、やさしい人だね。

しかし、次のような例も見られる。

(42) 鈴木さんが転職するって噂を聞いた？

(43) A: 今度の旅行に、リーさんを誘った？

B: うん、誘った。

A: どうだった。

B: ん、忙しいって。

例(42), (43)に現れる「鈴木さんが転職する」「忙しい」は、単独ではそれぞれ文、形容詞であるが、直後に「って」が付くコンテキストでは、引用句として働いているので、品詞性を考えれば、その引用句は名詞としての役割を果たすと考えられる。

以上より、(38)～(40)のような文に現れた感動詞は名詞であると考えられる。

4.3.2.2. [[[感動詞]みたいな] 名詞]

第2回調査の結果によると、感動詞が名詞と組み合わせるパターンでは、「って」の後に「みたいな」が続いているものである。また、第3回調査では、[[[感動詞]みたいな] 名詞] と言うのは、感動詞によるのであるが、普通に言うということを、被験者に言われる。以下のような例を挙げる。

(44) おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、[[[おー]みたいな]時計]だった。
[3.3]

(45) 社員1:今朝の会議で田中さんが言ったことは、[[[うーん]みたいな]意見]だね。
社員2:うん、そうだね。[3.6]

(46) 彼は[[[えーっ]みたいな]]顔でその話を聞いていた。[3.9]

これらのコンテキストをみると、感動詞「おー」「うーん」「えー」はその後ろに「みたいな」が付いて名詞「時計」「意見」「顔」の前に出てくることが分かる。「みたいな」の前に出てくる語は、どんな品詞であるかについては、次のような例を見よう。

(47) 私はラーメンみたいな料理が好きだ。

(48) この菓はチョコレートみたいな味がある。

(49) 近頃、体を悪くしているみたいなことを言っていました。

(50) アメリカに二、三年行くみたいな話でしたね。

(47)～(50)では、「みたいな」の前に出てくるものをみると、(47), (48)の「ラーメン」「チョコレート」はもともと名詞であるが、(49), (50)の「近頃、体を悪くしている」「アメリカに二、三年行く」は、もともとの名詞でなく、文である。しかし、(49), (50)の場合は、4.3.2.1の「て」のように、「近頃、体を悪くしている」「アメリカに二、三年行く」は、引用句としての働きをしているので、名詞性をもつものであると考えられている。

よって、(44), (45), (46)に現れる「おー」「うーん」「えーっ」も名詞のような機能をしていると考えられる。

4.3.2.3. [[[感動詞]みたいに] 動詞]

第5回調査結果から感動詞がその後ろに「みたいに」が付いて動詞と組み合わせるパターンを得た。このパターンは、感動詞とそのコンテキストに限られるが、次のような例文を挙

げられる。

(51) 彼は[[[ええああ]みたいに]話している]、なかなか一文になっていない。[4. 3]

(52) A：その話、もう聞いた？[4. 15]

B：聞いた聞いた。

A：どう思う？

B：そうだね。最初はちょっと[[[えーっ]みたいに]思っていた]が、今は彼女みたいな人ならあり得るね。

(51), (52)を見てわかるように、感動詞「ええああ」「えーっ」がその後ろに「みたいに」が付いて動詞「話して」「思う」の前にでてくる。この「ええああ」「えーっ」はどの品詞であるかを考えると、次のような例文を見よう。

(53) 彼女は子供みたいに泣いていた。

(54) 花子ちゃんは金魚みたいに泳いでいた。

(55) あの2人は喧嘩みたいに話していた。

(53)～(55)では、「みたい」の前には、名詞「子供」「金魚」「喧嘩」が出てくる。よって、(51)と(52)の「ええああみたいに」「えーっみたいに」を(53)～(55)の「子供みたいに」「金魚みたいに」「喧嘩みたいに」と同様であると見れば、感動詞「ええああ」「えーっ」は名詞としての役割をしている、つまり名詞であると考えられる。

4. 3. 2. 4. [[[感動詞]って]なる]

感動詞と動詞の組み合わせパターンでは、感動詞が後ろに「って」を伴って変化動詞の「なる」の前に出て来るものが、第2回の調査結果をみると、全体的に頻度が最も高い。(56), (57)のように例を挙げる。

(56) 010326B：おやが公務員じゃけすごいすすめてくるけどさ、うーん。そこまで頑張
ってまでやりたいことがあるかっていったら、

010327A：あー。

010328B：やっぱり [[[うーん] って] なる] わけよ。

010329A：なるほどね。 [1. 01]

(57) 兄：彼女、おまえの話、聞かせたら、[[[あっ/あーっおっ/おーっ/えっ/えーっ/へ
ーっ/はあっ/ほお/うーん/ふーん]て]なる]よね。[2. 10]

弟：そうだよな。

また、第3回の調査における被験者の意見をみると、例文項目の中では、「ってなる」のコンテキストに替えられるものが多い。(58b)～(62b)のようなコンテキストを得た。

(58) a. 社員 1:今朝の会議で田中さんが言ったことは、おーって意見だね。[3.5]
社員 2:うん、そうだね。

b. 社員 1:今朝の会議で田中さんが言ったことは、おーてなる意見だね。
社員 2:うん、そうだね。

(59) a. 彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人がみんな おーと拍手していた。[3.36]
b. 彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人がみんな おーってなった。

(60) ? a. おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、わあーって時計だった。[3.2]
b. おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、わあーってなるような時計だった。

(61) ? a. 「きのうね、掃除のとき、引き出しを開けたら、きゃあってねずみが飛び出しちゃって、…。」 [3.11]
b. 「きのうね、掃除のとき、引き出しを開けたら、スッてねずみが飛び出しちゃって、きゃあってなった。」

(62) ? a. 彼女はそれを聞いたら、はあっとした。[3.41]
b. 彼女はそれを聞いたら、はあっとなった。

以上の(58)、(59)は、下記に記述される被験者の意見によると、自然に言えるということである。

⑧ 080232Q:「おーって意見」、

080233N: あ、「おー」ってなると、ちょっと意味が変わるよね。よかったね、あれみ
たいな。

080234G: よかった、イメージが変わるか。「うーん」よりは、

080235N: いいよね。

080236G: いいよね。「おーって意見だった」。「田中さんおー」、「おーってなる意見」
とはやっぱり。

080237N: うん。

080238G : ってなる、ってなる、

080239Q : じゃ、「おー」は入れ替えられるんですか。

080240G : 「おー」は入れ替えられます。

- ⑨ 081005Q : こんなコンテキストに、「拍手した」という言葉の以外には、他の言葉が、あの「おーとみんな」、なんか

081006G : 「拍手」はなくても、通じるかもしれないけど、「おーとなった」でも、通じます。

081007S : うんうん。

081008G : 「拍手している」かもしれないな。

081009N : 「うわーとなった」、「会場にいる人、みんなうわーとなった」、拍手していたら、ついていたら、あ、でもやさしいよね。たぶん、みんな喜んでいたんだ。

081010N : 「おーと」なら、みんな興奮した状態に

081011G : 会場にゆったら、みんなうおーとなったっていう、起こっているのか、感動しているかもしれない。「納得する」も入るかな。

感動詞は、(60a), (61a), (62a)の「って」のコンテキストでは言えるが、(60b), (61b), (62b)のような「[と・って]なる」コンテキストに入れば、より自然に言えるということと言われる。具体的には、被験者の意見を見よう。

- ⑩ 090018Q : うーん、はい。じゃ、「うわー」の後ろに、「って」「みたいな」「ポーズ」が付いて、これは書いてありますけど、それ以外にはありませんか。

090019T : 僕が強いて言う、僕だったら、「うわーってなるような／うわーってびっくりするような時計」だったら、良い言い方になると思いますけど。「うわーって」、その後説明が入るかな、「うわーって」自分になってるよっていう説明がないと、ちょっと意味が伝わりにくい感じがしますけど。

- ⑪ 080331G : ねずみちゃんがきゃあ、きゃあ、羽ねずみが出てきたわけよね。「きのうね、掃除のとき、引き出しを開けたら、きゃあってねずみが飛び出しちゃって」、どっちのねずみなんだ、使わないということなんじゃ。

080332N : 「ねずみが飛び出して、きゃあってなった」というかもしれない。

080333S : うん、ね。きゃあって、普通の会話のときないわね。

(中略)

080361G : ここには「きゃあ」を入れてこない。

080362S : ここじゃない、入れない。「きゃってなった」みたいな。

080363G : 「引き出しを開けたら、スッてねずみ飛び出してきて、きゃあってなった」。

080364S : うん。

(中略)

080372Q : 感動詞はこのテキストに使えないんですか。

080373N : 最後に付けます。

080374Q : あー、最後はどのようなコンテキストに使えますか。

080375G : 「引き出しを開けたら、びやってねずみが飛び出しちゃって、きやあつてな
った」、自分のことは、たぶん別にする。

080376Q : あー、そうですね。

⑫ 081132Q : 「えっ」以外には「はあつとした」は？

081133N : 「はあつとした」は違うよね。

081134G : 「はあつとした」はドッキのほうよね。

081135N : 「はあつと言った。」

081136S : 「はあつとなった」。言ったよね。

081137G : 「言った」。「なった」。「えっと思った」。違う？これは？「おいおいと思っ
た」みたいな。

081138N : 「なった」とか「言った」とか「思った」とかね、「した」より「なった」。

081139S : うん。

081140G : 気持ちの問題だね。

081141S : うん。

081142G : 「あれとなった」「あれと思った」。「なった」、「思った」。

081143S : 「なった」、「思った」

081144N : 「あれとなった」、「なった」だな。

更に、第 4, 5 回の調査結果からこういう例文も得られた。

(63) 私は弟の話を聞いて、うーんとなった。 [5. 3d(e)]

(64) TOEIC 試験の 900 点を見て、わーとなった。 [5. 5e]

(65) 急にスピーチを頼まれて、考えながら言ったので、ええああとなった。 [5. 2f]

(66) A : ねえねえ、聞いた？ [5. 1d]

B : 何があったの？

A : 鈴木さんは彼氏に 40 万の時計をもらったこと。

B : へー、そんな。いやーとなったよね、彼女は。

(67) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。 [5. 4c]

B : 何を見たの？

A : 宝くじが当たって、うわつとなった。

B : へー。

(56)～(67)を見ると、感動詞「おー」「うーん」等は、後ろに「って」が付いているので、名詞であると考えられる。このことは、4.3.2.1でも議論している。より典型的な例としては以下の(68)～(70)が挙げられる。

(68) 寒さがゼロ度以下に下がったら、水が氷となる。

(69) 「さくら (桜)」は「山 (やま)」と組み合わせたとき、「やまざくら (山桜)」ってなる。

(70) 大雨だったら、庭の木がぼろぼろってなるよ。

(68)～(70)の「氷」、「やまざくら」、「ぼろぼろ」はすべて名詞として機能している。

以上より、(56)～(67)の「うーん」「おー」等も、「ってなる」というコンテキストでは4.3.2.1で議論したように、名詞として働いていると考えられる。²²

4.3.2.5. [[[感動詞]みたいなの。]

第1回と3回の調査結果から次のような感動詞の例文が得られた。

(71a) 010614B : あの一、エスカレータの近くのやつ。[1.06]

010615A : あー。

010616B : 行って、行こうやあって言われて、私ブランド物超興味ないのにとか思
いながら行って、2人でずっと見とって値段がうわーみたいなの。

01A0617A : わー。

(72a) それを聞いたら、[えっ/へー/うーん] みたいなの。[3.41]

(71a)と(72a)の従属句である「値段がうわーみたいなの」、「[えっ/へー/うーん] みたいなの」をみると、感動詞「うわっ」「えっ」「へー」「うーん」が文末の「みたいなの」の前に出てくる。このように現れる感動詞は、日常の会話、特に若年層の言葉にしばしば見られ、「若者のぼかし言葉」という現象も呼ばれている。しかしながら、その構文を観察すると、(71a)と(72a)の[[[感動詞]みたいなの]は、名詞を含んでいる部分を脱落したものであると見られる。これは、第3回の調査結果から得た文でも見られる。

(73) A : この話、もう言った？彼女に。

B : 言った言った。

A : 彼女はどのような反応だった？

²² ここからオノマトペと類似性が窺えるので、4.4.5に明らかにしていく。

B : そうだね。[おー/ふーん/えーっ/うわー/はあっ/うんうん]みたいな]感じ]だった。[3.17]

(73)では、[[[感動詞]みたいな]感じだった]という構文がある。(71a)と(72a)の[[感動詞]みたいな]の文は、(73)と同様にみれば、[感じだった]を脱落したものであると考えられる。即ち、(71a)と(72a)を復元すると、次のようになる。

(71b) 010614B : あの一、エスカレータの近くのやつ。

010615A : あ一。

010616B : 行って、行こうやあって言われて、私ブランド物超興味ないのにとか思
いながら行って、2人でずっと見とって値段がうわーみたいな感じだっ
た。

01A0617A : わ一。

(72b) それを聞いたら、[えっ/へー/うーん]みたいな感じだった。

(71b)と(72b)の感動詞「うわっ」「えっ」「へ」「うーん」は、4.3.2.2で議論した[[[感動詞]みたいな名詞]]と同様のコンテキストにあるので、名詞である。したがって、(71a)と(72a)の文末の「みたいな」の直前に出てくる感動詞も名詞であると見られる。

4.3.2.6. [[感動詞]って・と。]

第1回の調査結果から次のような文がある。

(74a) 020446B : 最初そんなこと考えてなくて、免許証とられて、ちょっとショック受け
ましたね。

020447A : ん一。

020448B : 少し、少し。えーって。ちゃんとそのお店行って、電話する前に行って、
それで店の雰囲気を見て選ぼうかなみたいな。なんも知らずに焼き肉屋
行 っ て が っ か り し た ん で 。

020449A : あ一。[1.02]

(75a) 010628B : 家がちがう、なんか、私このままじゃ富豪と貧民みたいな。ほんとそん
な感じとかもないもん。

010629A : へ一。

010630B : すごい、ほんと。航空写真見せてあげようかとか言われてさ、へーと。
どんだけさあ。

010631A : そんなすごい家とか住んどるん。

010632B : 畑が何個かと土地を何個か持っとるっていう話しになって航空写真見せ

てあげるみたいな笑えねー。[1.06]

(74a), (75a)の下線部を見たら、感動詞「えーっ」「へー」が文末の「って」「と」の前に出てくる。このパターンは、本論では、4.3.2.4;4.3.2.8で議論した[[[感動詞]って]なる]、[[[感動詞]って]動詞]と同様である。即ち、(74a), (75a)の「えーって」「へーと」は、その各項で挙げられた引用の動詞「言う」「思う」と状態変化の動詞「なる」が省略されたものである。(74a), (75a)を復元してみると、次のようになる。

(74b)「(略)

020446B: 最初そんなこと考えてなくて、免許証とられて、ちょっとショック受けましたね。

020447A: んー。

020448B: 少し、少し。えーって[言った/思っていた/なった]。ちゃんとそのお店行って、電話する前に行って、それで店の雰囲気を見て選ぼうかなみたいな。なんも知らずに焼き肉屋行 っ てがっかりしたんで。(略)」

(75b)「(略)

010630B: すごい、ほんと。航空写真見せてあげようとか言われてさ、へーと[言った/思っていた/なった]。どんだけさあ。(略)」

(74b), (75b)を見て、(74a), (75a)「えーっ」「へー」は、単独で文末に現れるが、4.3.2.4項で議論したように、品詞を考えると、名詞としての機能をしていると言えよう。

4.3.2.7. [[感動詞] (・) だった]

第2回の調査結果では、感動詞と助動詞「だった」の組み合わせパターンは、「ふーん」「うーん」「えっ」「へー」で頻度が高くなっている。(76)のようなコンテキストに現れる。

(76) A: この話、もう言った? 彼女に。[3.14]

B: 言った言った。

A: 彼女はどういう反応だった?

B: そうだね。[[うーん/ふーん/えっ/へー]だった]。

(76)の感動詞の品詞を確定するためには、次のような例を考えればよい。

(77) お祖父ちゃんは、若いころ、有名歌手だった。

(78) その時、早く行くべきだったのに。

(77)の「有名歌手」は明らかに名詞である。従って、統語的には「だった」の直前には名詞が来ると考えられる。例(78)においても同様に、「早く行くべき」は名詞であろう。よって、「だ」の直前に名詞がくるところから考えると、(76)の感動詞も名詞であると言える。

しかし、第3回の調査による被験者の意見では、(76)は意味が分からなく、全く言わないということを指摘された。但し、(79)のようなコンテクストに現れる[うーん/ふーん/えっ/へー]の後ろにポーズがあれば、意味が通じて、言えるということである。

(79) A: この話、もう言った? 彼女に。 [3. 15]

B: 言った言った。

A: 彼女はどのような反応だった?。

B: そうだね。 [[うーん/ふーん/えっ/へー] (・)]だった。

具体的には、被験者の意見を以下に挙げる。

⑬ 070233T: 14 は、言えそう。

070234K: 「おーだった」、言わないかな。

070235T: 15 は、ポーズのところ**に**びっくりなんかマーク付いたら、言うかも。なんか例えば、彼女っていう人がめっちゃベビーキュー好きで、ねえ、A と B が彼女がいないところで、なんかそれは今度ベビーキューやろうじやみたいな話を**して**いて、A が「この話もう言った? 彼女に」、B が「あー、言った言った」「彼女は**どのような**反応だった?」「**そう**だね。おー (0.1 秒) だった」とか。

070236K: あー、そういうなんか。

070237M: うん。

070238T: 「おー (0.1 秒) だった。」

070239K: あー、それは。あー、そうだったら、

070240T: うん。ただ「おーだった」言わないかな。

070241M: ううん。

070242T: 「おー」だったら、言わないけど。ここに、感情を表すマークが付いたら、言うかな。

070243Q: 14 は使わないんですか。

070244K: 14 はないかな。

070245M: 「おーって反応だった」とか。

070246K: うん。字体の後ろに「感じ」とか「みたいな」「反応」とか言わないと、気持ちが悪い。

070247T: 「感じ」じゃないと、言わないね。

070248K: うん。

070249Q: あの、この例文に、「おー」以外には他の感動詞が入れるか、

070250M: あー、「うーんって感じだった」とか「えーって感じだった」とか。

070251T : 「うーんみたいな…」。
070252M : 「うわーって感じだった」とか。
070253Q : うーん、例えば、「うんうんって感じだった」とかは。
070254M : あー、そうだね、「うんうんって感じだった」。
070255Q : 「はあっ」は。
070256M : 「はあって感じだった」、はあってというのはあるかもしれないね。
070257K : うん、あー。
070258T : 怒っているね。
070259M : 「はあっ」の後に、絶対「？」が付く感じ。
070260T : 怖い。
070261M : 怖い話、ヤンキーの彼女みたい。
「お前浮気したらしいな。お前の話もう彼女に言ったかって。…言った言った。…彼女どういう反応だった？」、えーつと言ったそのときに、そういうあれが来そうな感じが「はあっ？て感じ」。
070262K : それはそうよね。
070263T : ヤンキー関係ない。
070264K : 「うんうんって感じ」はどんな感じね、「うんうんって感じだった」。
070265T : 直接に「だった」ないよね、たぶん。
070266K : うん。
070267T : 14 番に、14 より 15 にしてすんなり大丈夫で、言葉は、なんかある。
070268K : そうだね。
070269Q : というのは、
070270T : あー、14 の「だった」とか 15 のポーズ「(・) だった」に、直接くっつけて通じるという。
070271M : うん。
070272K : そうだね。
070273M : うん、なんて言ったというとかだったら、なら文章としては通じるけど、
070274K : 「だった」、
070275M : 「反応だった」、
070276K : そうだね。
070277M : 「きゃあだった」は言わない。
070278K : 言わない。
070279T : 言わない。

⑭ 080440Q : はい、ありがとうございます。すみません、今 14, 15, 16, 17 をお願いします。

(G は 37 : 54～38 : 33 例文を読み上げた)

080441G : 16, 17 は言いますね。14 はどうだろう。

080442S : 14 より 15 じゃない。

- 080443N : うん。
- 080444G : あー、どっちかという、
- 080445N : でも、そっちなら「おーって感じだった」となったね。
- 080446S : あー。
- 080447G : 「感じ」好きですね。なんでも感じを付けますね。「えーって感じだった」
「おーって感じだった」「はあって感じだった」
- 080448N : あー。
- 080449G : 16, 17 は普段使います。
- 080450S : うん
- 080451Q : 15 は？
- 080452G : 「おー (0.1 秒) だった」、「だった」繋げるか。14 はたぶん使わないですよ、たぶん。そうだね、「おーだった」、たぶん何のことかよくわからなく。ポーズ、あ、でも、たぶん彼女の言ったことはそのまま言うんだっ
たら、そうだね、「おー (0.1 秒) だった」。「ふーん」とかだったら、使
う？。
- 080453N : あー、彼女は「ふーんって感じだった」。そうなる、やっぱり。
- 080454G : 使っちゃうね。
- 080455N : って感じだった。
- 080456G : 「彼女はどういう反応だった。そうだね、ふーん (0.1 秒) だった。」、使えないこともない。
- 080457S : 使われたら、そのまま言っているけど、使いはしないかな。
- 080458G : 彼女の反応ていうことがまだね。
- 080459N : 反応らしい。
- 080460G : 反応、たぶん積極的に「感じ」は使っちゃうんですけど、反応だったら、「彼女の反応はどうだった。そうだね、うーん (0.1 秒) だったよ」とは言ったら、通じる。
- 080461N : 通じる。
- 080462G : 通じると思います。
- 080463S : うん。
- 080464G : 彼女がそのまま。でも、かぎ括弧みたいなものが付いて、
- 080465N : うんうん。

被験者の意見をみると、ポーズがあって、(79)の[[[うーん/ふーん/えっ/へー] (・)] だった]が会話の当時に発された話者の言葉を直接に引用することによって、話者の反応を示す言い方であると考えられる。

このように、(79)の[[[うーん/ふーん/えっ/へー] (・)] だった]の場合は反応は[「行ってもいいかな」だった]のように、[うーん/ふーん/えっ/へー] (・)]が引用句として働いているとも考えられる。したがって、以上の項で議論したことと同様に、感動詞が名詞としての役割を果たすと見られる。

4.3.2.8. [[[感動詞] と] 動詞]

第2回の調査結果によると、感動詞と動詞を組み合わせるパターンは、動詞「見る」「歩く」が「なる」のパターンほど頻度は高くないが、かなり現れている。以下に(80), (81)を挙げる。

(80) 彼は、社長の部屋を出て、[[[うーん/はあっ]と]歩いていた]。[3.28]

(81) 彼女は、さっき入ってきた男の人を[[あれ/ふーん/ほおー/うーん/へー]と]見てから、部屋を出て行った。[2.14]

また、第3,4,5回の調査結果から、次のような例文も得た。

(82) a. 彼は、社長の部屋を出て、うーんと歩いていた。[3.28]

b. 彼は、社長の部屋を出て、うーんと考えながら歩いていた。

c. 彼は、社長の部屋を出て、うんうんと歩いていた。

d. 彼は、社長の部屋を出て、うんうんと頷いていながら歩いていた。

(83) a. 彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人がみんな [おー/うわっ/うおー/わー]と拍手していた。[3.36]

b. 彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人がみんな [おー/うわっ/うおー/わー]と感動した。

c. 彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人がみんな [おー/うわっ/うおー/わー]と熱狂した。

(84) a. A: 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[5.4a]

B: 何を見たの?

A: 宝くじが当たって、うわっとお金をもらったのよ。

B: へー。

b. A: 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[5.4c]

B: 何を見たの?

A: 宝くじが当たって、うわっと驚いた。

B: へー。

(85) a. 急に孝則さんが出てきて、わーと喜び、飛び上がった。[5.5a]

b. 急に孝則さんが出てきて、わーと飛び上がった。[5.5b]

c. 急に孝則さんが出てきて、わーと興奮して、飛び上がった。[5. 5c]

d. 急に孝則さんが出てきて、わーと驚いた。 [5. 5d]

(86) 私は弟の話聞いて、うーんと思っていた。 [5. 3d(c)]

(87) 彼女に大学院進学のことを尋ねたら、うーんと躊躇ていた。 [5. 3f(e)]

(88) 兄は弟の質問を聞いていると、うーんと考えていた。 [5. 3a]

(89) 彼は、本をもち、うーんと歩いていた。 [5. 3g(f)]

(90) A : バレンタインの日にチョコレートを [うわー/まあ] ともらいたいなあ。 [3. 32]

B : へー。

(91) 友達は鈴木さんの意見にうんうんと答えた。 [4. 4]

(92) 会長は鈴木さんの説明を聞いているとき、そうそうと賛成していた。 [4. 5]

(93) お母さんは息子の答えを聞いたら、はあと立ち上がった。 [4. 8]

(94) A : 先週一緒に買ったシャツを着てないね。 [4. 11]

B : 実は、今朝、着ようとしたが、棚から取り出したら、いやーと汚れちゃったのよ。

(95) 学生は先生の話うーんと聞いている。 [3. 34]

(96) お父さんは息子の話をふーんと聞いている。 [4. 1]

(80)～(96)では、感動詞がその後ろに「と」が付いて動詞の前に現れる。この「と」は、
どういう機能をしているかという点、(97)のように引用句を受けるものとも考えられる。

(97) a. 「質問はありませんが」と会場を見回した。

b. 「質問はありませんが」と言って会場を見回した。

(97a)は(97b)の引用動詞「言って」が省略されたものである。したがって、両者とも「質問はありませんが」は引用句であると考えられる。(81)を例として、同様に見ると、(98)のように捉えられるだろう。

(98) a. 彼女は、さっき入ってきた男の人を「ふーん」と見てから、部屋を出て行った。
[2. 14]

b. 彼女は、さっき入ってきた男の人を「ふーん」と言いながら見てから、部屋を出て行った。

c. 彼女は、さっき入ってきた男の人を「ふーん」と思って部屋を出て行った。

(98a, b)では、「ふーん」などの感動詞も、(97)と同様に引用句として働いているので、4. 3. 2. 1~4. 3. 2. 6で議論したように、名詞としての役割を果たすとも言えるだろう。

しかも、第3回の調査における被験者の意見をみると、(80)と同様するコンテキストがある。以下のように記述される。

(99) ? a. 彼は、社長の部屋を出て、はあっと歩いていた。 [3. 28]

b. 彼は、社長の部屋を出て、はあって感じで歩いていた。

(100) ? a. 彼は、社長の部屋を出て、うんうんと歩いていた。 [3. 28]

b. 彼は、社長の部屋を出て、うんうんと言いながら歩いていた。

c. 彼は、社長の部屋を出て、うんうんって感じで歩いていた。

(101) ? a. 彼は、社長の部屋を出て、えーっと歩いていた。 [3. 28]

b. 彼は、社長の部屋を出て、えーっという顔をして歩いていた。

挙げられた(99a), (100a), (101a) の[[感動詞]と]が言えるが、(99b), (100b), (101b)のようなコンテキストであれば、意味が伝わり、より自然に言えるということを被験者の意見で指摘された。(99b), (100b, c), (101b)に現れる感動詞の後ろにくるのは、「って感じ」「と言ながら」「という顔をして」であり、全て名詞のコンテキストである。よって、その感動詞「はあっ」「うんうん」「えーっ」も名詞の役割をしているのである。

更に、(98c)と同様の例が第 1, 5 回の調査結果から見られる。以下のように(102), (103), (104)を記述される。

(102) 020243A : 学科何? [1. 02]

020244B : 観光、国際経済の。

020245A : あー、観光。

020246B : 中国語も確か。けっこういける。えっと思っている。

020247A : ふーん。じゃ、語学研修、結局もっと多いね、もっと多いね、8人いっててる。

(103) A: その話、もう聞いた? [4. 15]

B: 聞いた聞いた。

A: どう思う?

B: そうだね。最初はちょっとえーと思っていたが、今は彼女みたいな人ならあり得るね。

(104) 彼女が1人で20年ずっと子供の4人も育てていたことを聞いたとき、いやーと思っていて 自分がもっと努力したいという感じがした。

(102)~(104)の「[えっ/いやー]と思っている」のような場合も、「と」を介して感動詞「えっ」「いやー」は引用句として働いているので、以上の項で議論したように、名詞である。この点から見ると、(80)~(96)のようなコンテキストに現れた感動詞は、名詞のような機能をしていると考えられる。

しかしながら、[[[感動詞]と]動詞]では、「えっと思っている」などが、「どのように思っているのか」という観点から考えれば、「えっ」は「と」が付いて、[[[感動詞]と]が後にくる動詞に繋っていて、様態副詞のような働きをしているとも考えられるだろうか。この点は、次の4.3.3にこの点を分析していく。

4.3.3. 副詞用法

4.3.3.1. [[[感動詞]と]動詞]

第2回の調査結果からみると、感動詞が「と」を伴って動詞と組み合わせるパターンは、かなり高い頻度で現れている。また、第3,4,5回の調査における被験者の意見でも強く指摘された。4.3.2.8で(80)~(96)の例文を挙げ、議論したように、このパターンでは、感動詞が「と」が付いて全体引用句として働いているので、名詞のような機能をしていると考えられる。しかし、[[[感動詞]と]がその後ろに来る動詞に繋りがある場合は、副詞としての機能をしているということも考えられる。この点は、次のような一般的な文を挙げておく。

(105) 牛がのろのろと歩いている。

(106) うるさい都会から緑が多い郊外に引越して、ほっとする。

(107) ここから いい天気の日、富士山がはっきりと見られるよ。

例(105), (106), (107)の「のろのろ」「ほっ」「はっきり」は、すべて後ろに「と」を伴って、動詞「歩く」「する」「見られる」と組み合わせられている。これらは様態副詞として機能している。したがって、(80)~(96)に現れる[[[感動詞]と]が副詞の役割も果たしている

られるだろう。しかも、被験者がこういう意見がある。²³

先ず、(83a)を見よう。

- (83) a. 彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人がみんな [おー/うわっ/うおー/わー]
と拍手していた。[3. 36]
- b. 彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人がみんな [おー/うわっ/うおー/わー]
と感動した。
- c. 彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人がみんな [おー/うわっ/うおー/わー]
と熱狂した。

(83a)については、次のような被験者の意見がある。

⑮ 080970G : 36 かね。

080971N : うん、「おー拍手していた」。

080972S : うん、嬉しい感じですね。

080973G : 36 は自然に、

080974N : 37 は、うん、言わない。

080975S : これはなんか言ってる人は感動している感じしないね、おー拍手しているみたいな。

080976G : みんな拍手しているよ。36 のほうが自然。

080977N : うん。

080978Q : じゃ、「おー」以外には、入れ替えられる感動詞がありますか。

080979N : 「わー」

080980G : 「わっと」とか、まあ、いっぱいあるね。「わー」、ちっちゃい「ツ」だよね。
「どっと」や、「どっと」、(01 : 23 : 16)

080995G : あーすごいね。強烈的になったら、「うおー」みたいな。

080996S : あ、「うおー」も言うか。

080997Q : 「うおー」ね。

080998G : 「うおわー (01 : 24 : 07 伸ばした発音) すごいみたいな。

(中略)

080999S : でも、それはどうなる。違ってくるじゃない。

081000Q : 「うおー」だったら、これですか。

081001N : 伸ばしたら、

081002G : かなり興奮して、

081003S : ね。

081004N : うん。

²³ ここからオノマトペと類似性が窺えるので、4.4.5に詳しく説明する。

- 081005Q : こんなコンテキストに、「拍手した」という言葉の以外には、他の言葉が、あの「おーとみんな」、なんか
- 081006G : 「拍手」はなくても、通じるかもしれないけど、「おーとなった」でも、通じます。
- 081007S : うんうん。
- 081008G : 「拍手している」かもしれないな。
- 081009N : 「うわーとなった」、「会場にいる人、みんなうわーとなった」、拍手していたら、ついていたら、あ、でもやさしいよね。たぶん、みんな喜んでいたんだ。
- 081010N : 「おーと」なら、みんな興奮した状態に
- 081011G : 会場にゆったら、みんなうおーとなったっていう、起こっているのか、感動しているかもしれない。「納得する」も入るかな
- 081012S : 「感動」も入るかな。
- 081013G : あー、「感動していた」。
- 081014S : うん。
- 081015G : 「熱狂していた」とか。
- 081016S : 「熱狂」、あー。

(83)は、以上のデータにある下線部をみると、特に 081009N, 081010N, 081011G の意見で、「おーと」「うわっと」「うおーと」などの[[感動詞]と]が「会場にいる人のみんな」の気持ちだけでなく、「興奮」「熱狂」の様子も表すということがある。その故、感動詞「おーと」「うわっと」「うおーと」が「拍手していた」「熱狂していた」などの動詞に繋りがあるだろう。そうであれば、「おー」「うわっ」「うおー」が付いて様態副詞のような機能をしていると考えられる。

次に(84)を見よう。

- (84) a. A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[5.4a]
 B : 何を見たの?
 A : 宝くじが当たって、うわっとお金をもらったのよ。
 B : へー。

(84)については、以下のような意見がある。

- ⑩ 110579Q : はい。じゃ、4は?
 110580M : 「うわっとお金をもらった」
 110581K : 意味が変わるよね、先、
 110582T : 感動詞的には言わない。
 110583Q : 「と」がないと、意味がわからないというんですか。もし、「うわっとお金をもらった」 だったら、意味がありますか。

110584T: あの、なんか、違う意味でなら、たくさんもらった、「うわっともらったよ」、
言いますけど。

110585M: 感情ではないんですね。

110586T: うん。量を表している。

110587M: うん。

(84)では、このような意見によると、「うわっとお金をもらった」が、「たくさんお金をもらった」という意味であって、即ち感情でなく量を表すということがある。そうであれば、110582Tの意見のように、「うわっ」が感動詞的には言わないということもある。よって、感動詞「うわっ」は「と」が付いて、動詞「もらった」に繋がりがあり、「たくさん」のような副詞として働いているに違いない。(90)にも見られる。

(90) A: バレンタインの日にチョコレートを [うわー/まあ] ともらいたいなあ。

B: へー。[3. 32]

(90)については、次のような意見がある。

⑰ 080901Q: はい、ありがとうございます。次は 32, 33 をお願いします。

(Nは 01: 16: 01~01: 16: 17 例文を読み上げた)

(中略)

080906N: 「バレンタインの日にチョコレートをうわーと」、「うんと」だよ、これは。

080907G: 「いっぱい」の意味?

080908N: うわーってなるぐらいでもらいたいな

080909S: うわーともらいたいという分かる気がする。

080910N: 「うわーもらいたいね」みたい。

(中略)、

080923N: 「たくさん」とか入るなら、

080924G: たくさんもらいたい、あーあー。感動?

080925N: 感動詞は、

080926S: 入るか。

080927G: 無理やりなら、「バレンタインの日にチョコレートをいやーもらいたいなあとかだったら、変じゃないですけど、

データの下線部をみると、(90)の感動詞「うわー」は、(84)の「うわっ」と同様に明白に見られる。両者とも「たくさん」「いっぱい」の意味があり、動詞「もらう」に繋がっているということがある。しかも、(90)については、次のような意見もある。²⁴

²⁴ ここからオノマトペと類似性が窺えるので、4. 4. 5 に詳しく説明する。

- ⑱ 090484Q : はい、ありがとうございます。次に 32, 33 をお願いします。
 (K さんは 01 : 00 : 12~01 : 00 : 19 例文を読み上げた)
 (中略)
 090503Q : あの、「いやーもらいたいな」というのは「たくさんもらいたいな」と考
 えられるかどうか。
 090504T : あー、そう、「たくさん」かどうかわかんないけど、すごくもらいたいな
という気持ちが、
 090505M : 「と」が付くって、そっちのほうで伝わるというかな。
 090506K : 「と」 ?
 090507M : 「うわーと」というか、なんというかな。
 090508T : 「うわーと」は、でも、伝わらなくない。
 090509K : うん。
 090510M : 「と」がつくと、やっぱりもらい方みたいな。
 090511T : あー、なるほどね。
 090512M : 言わないけれども、うんうん。
 090513Q : その場合はなんかオノマトペみたいな。
 090514T : そうですね。そんな感じになりますね。
 090515M : うん。
 090516K : 感動詞じゃないですね。

下線部の意見をみると、(90)の「うわー」は、「と」が付いて、「もらい方」を表すという
 ことがあって、様態副詞かオノマトペのような働きをしているとも考えられる。ここでも、
 感動詞とオノマトペの類似性が窺える。⁵

次に(85)を見よう。

- (85) a. 急に孝則さんが出てきて、わーと喜び、飛び上がった。[5. 5a]
 b. 急に孝則さんが出てきて、わーと飛び上がった。[5. 5b]
 c. 急に孝則さんが出てきて、わーと興奮して、飛び上がった。 [5. 5c]
 d. 急に孝則さんが出てきて、わーと驚いた。[5. 5d]

(85)については、次のような意見がある。

- ⑲ 110271Q : M さんはどう思いますか、c は ?
 110272M : 「わー興奮して」、ないです。d は、「わーと驚いた」って、「と」が入って
 いるんですか。
 110273Q : あ、先ず、あの「わーと驚いた」、次はあの、後も「わー」、「と」がない場
 合も考えてもらいます。「わー驚いた」、

110274M : 「わー驚いた」は言わないけど、「と」が入ったら、あ、でも、せめて意味が変わるんですかね。

110275T : 「わーと」になると、えー、難しいね。

110276M : 「わーと」というなんか、その様子を「わーと」って表している、自分自身が「わー」って、それは違う気がするんです。「わーっと驚いた」。

110274M, 110276M の意見を見たら、(85)の感動詞「わー」が「驚いた」の前にくるとき、後に「と」が付いているので、「わー驚いた」より意味が変わって、「驚いた」の様子を表すということがある。この点では、感動詞「わー」が「と」が付いて、動詞「驚いた」に繋がりがあり、様態副詞としての役割をしていると考えられる。(95)にも見られる。

(95) 学生は先生の話をうーんと聞いている。[3. 34]

(95)については、次のような意見がある。

② 090517Q : はい、ありがとうございます。次は 34, 35 をお願いします。

(M さんは 01 : 03 : 00~01 : 03 : 07 例文を読み上げた)

090518Q : 通じるものは?

090519M : 「うーん」というのはやっぱり「たくさん」みたいな。

090520T : あれ、「たくさん聞いている」ってならかな、僕がちょっと否定的に聞いているかな。うーんってこう考えながら。

090521M : そういうふうにとれるなあ

090522T : あー、

090523M : まあ、そんな感動詞じゃなくね、先もゆったけど。

090524T : あー、そういうこと。

090525M : 「うーんと聞いている」、使えるかな。

090526T : やっぱり、先もオノマトペ的になる。

090527M : 何ってなるって?

090528Q : オノマトペとして使えるか、

090529T : そんな感じになりますね。

090530K : うん。「うーんと」。

090531T : あ、でも、「うーん聞いている」はない。たしかにない。

090532K : ない。

090533T : ないね、35 番は。

090534Q : じゃ、「うーん」じゃなくて、他の、例えば「えーと聞いている」とか「へーと聞いている」とかは?

(中略)

090555T : 「うーんと聞いている」。そうですね。やっぱり違和感がありますね。

090556Q : 例えば、「うーんという顔をして聞いている」という例文は使えるかどうか、

- 090557K : あまり使わない。
- 090558T : あー、あまり使わないのは確かけど、
- 090559K : でも、
- 090560T : 意味がわからないかというのと、そうでもない。
- 090561K : うん。
- 090562T : 伝わらないことはない。
- 090563K : まあまあ、わかる、わかる。
- 090564T : わかるよね。伝えやすいけど。
- 090565M : 自分らで言うとしたなら、まだ納得していない様子をしていて、そんなことかな？
- 090566T : そういうことになっちゃうよね。やっぱり、感動詞を使わない。

(95)の「うーん」は、090520T, 090565M の意見によると、「と」が付いて、動詞「聞いている」に繋って、その様子を表すということがある。そして、090523M, 090526T, 090566T の意見によると、「うーん」は感動詞としてではなく、オノマトペか様態副詞としての機能をしていると考えられる。²⁵

以上より、(80)～(96)の感動詞は、(83), (84), (85), (90), (95)と同様に副詞かオノマトペとしての役割をしていると見られる。

4.3.3.2. [[[感動詞] Ø] 動詞]

感動詞と動詞を直接に組み合わせる、即ち感動詞と動詞の間にポーズや「と」などがなく現れるパターンでは、第3, 4, 5回の調査結果から以下に記述されるような例文を得た。感動詞は、どんな品詞であるかという点、4.3.1.2に議論したように、動詞に繋がらない場合はフィラーとしての機能をしているが、動詞に繋がっている場合は副詞としての機能をしていると見られる。よって、被験者の意見を見よう。

まず、(108)を見よう。

(108) 彼はああ話していて、なかなか一文になっていない。[5.2b]

(108)を見てわかるように、感動詞の「ええ」「ああ」が、後ろに何も付いていなく、動詞「話す」の前にでてくる。これらは、被験者が感動詞として使わないということを次のように言われる。

㊦ 110055T : 「ああ話して」は言う。

110056M : うん。

²⁵ ここからオノマトペと類似性が窺えるので、4.4.5に詳しく説明する。

(中略)

110070M : 「ああ」って何？

110071K : これは「ああ話して」の、感動詞的にでしょ？

110072T : うん、感動詞的に言わなく、いいよね。

110073M : 私は別の詞になっちゃう、あの、どういう、「ああ話す」、

110074T : どう話すみたいなの。

110075M : ああいう、

110076T : ああいうことを言っているみたいなの。

110077M : うん。

110078K : 「ええ」も「ああ」も同じような感じで、結構、

このデータの下線部を見ると、「ああ」は、110073M, 110074T, 110075M, 110076T の意見では「話す」に係りがあって、「どう話す」を表すので、副詞のような機能をしているとも考えられる。

次に、(109)を見よう。

(109) A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4. 10]

B : 何を見たの？

A : 宝くじを当たって、うわっお金をもらったのよ。

B : へー。

(109)の「うわっ」については、以下のような意見がある。

② 100004K : 言えるというのは、これでも意味が通じるということですか。

100005Q : そうですね。あの、自由に言ってください。どう考えれば使えるかということも、それも考えてもらいます。通じるか、それでも、

100006K : あー、はい。私は、全部、最後に「と」とか、えーと、そうでうね、感動詞は「と」がないと通じないかなと思います。

100007Q : うん、ありがとうございます。Mさんは？

100008M : あ、はい。私もそうですね。はい、「と」が。

100009Y : 私もえーと「と」が入ったほうが通じると思うんですけど、この4番の「うんうん答えた」っていうのは、言えると思います。後、10番の「うわっお金をもらった」っていうのはここの「うわって途切れている気がして、会話の中だったら、ちゃんと通じるような気がしますね。

③ 110226Q : hは先言いましたね。はい、次をお願いします。4番です。

...

110227T : 「うわっ、うわっ」、

110228Q:「うわっお金をもらったのよ」。

110229K: 感動詞では使わないね。「うわっと」だったら、意味が変わってきますよね。

110230T: うん、そうですね。感動詞的には、使いません。

被験者の意見（特に 100009Y, 110229K, 10230T）によると、(109)の「うわっ」は、感動詞的には使われていないということである。また、「うわっ」の後ろに「と」が付いたら、通じて、言うということである一方、「うわっ」の自身に小さい「ッ」が入っているため、会話中で十分に通じるということがあるため、このコンテキストでは「と」が付かなくても、単独でフィラーより副詞としての役割をしている可能性もある。例えば、同様の例文を挙げておく。

(110) A: 昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4.10]

B: 何を見たの?

A: 宝くじを当たって、いっぱい/たくさんお金をもらったのよ。

B: へー。

(110)を見てわかるように、「いっぱい」「たくさん」は、後ろに「と」のようなものが付かなく、「(お金を)もらった」の前に出てきて、副詞であると考えられている。したがって、(109)の「うわっ」は、(110)と同様に見れば、単独で副詞のような機能をしていると考えられる。また、(111)もある。

(111) 友達は鈴木さんの意見にうんうん答えた。[4.4]

(111)の「うんうん」は、動詞「答える」の前に出てくる。100009Yの意見によると、「と」のようなものがなくても十分に通じるということである。コンテキスト的には、「うんうん 答えた」は「ちよくちよく答えた」と同様に見られるので、「うんうん」も「ちよくちよく」のような副詞としての働きをしていると考えられる。²⁶

以上より、[[[感動詞]の動詞]では、感動詞が副詞のような働きをしている場合もある。

4.3.3.3. [[[感動詞]形容詞]

感動詞と形容詞と組み合わせるパターンでは、第2回と第3回の調査結果からよく言う感動詞の例文を得た。但し、被験者の意見をみると、感動詞の後ろにポーズがなくても言うことがある。以下の(112)～(117)のように挙げられる。

(112) a. A: 連休に、旅行行った? [3.18]

B: うん、ベトナム行った。

²⁶ ここからオノマトペと類似性が窺えるので、4.4.5に詳しく説明する。

A: へー、どんなところ?

B: [[いやー/えっ/うーん/あー/まあ]面白い]ところだよ。

b. A: 連休に、旅行行った?

B: うん、ベトナム行った。

A: へー、どんなところ?

B: [[いやー/えっ/うーん/あー/まあ] (・) 面白い]ところだよ。

(113) a. A: 「耳なし芳一」は、[[いやー/うーん/へー/ふーん/まあ]怖い]話だね。[3. 22]

B: ねえ。

b. A: 「耳なし芳一」は、[[[いやー/うーん/へー/ふーん/まあ] (・)]怖い]話だね。

B: ねえ。

(114) a. A: えっ、新しい指輪? [3. 20]

B: うん。ダイヤモンドのね。

A: へー。高そうね。

B: いいえ、そんな。セールのためだから、[[いやー/まあ]安い]値段で買ったよ。

A: へー。

b. A: えっ、新しい指輪?

B: うん。ダイヤモンドのね。

A: へー。高そうね。

B: いいえ、そんな。セールのためだから、[[[いやー/まあ] (・)]安い]値段で買ったよ。

A: へー。

(115) a. 子供の宿題はね、小学生のためだから、簡単だと思っていたが、やったら、[うーん/いやー]難しかった。[3. 24]

b. 子供の宿題はね、小学生のためだから、簡単だと思っていたが、やったら、[[[うーん/いやー] (・)]難しかった]。[3. 26]

(116) a. 初めて会ったのに、そんなことを言ってしまって、[えっ/えっえっえっ/ いやー/わー] 恥ずかしい。

b. 初めて会ったのに、そんなことを言ってしまって、[えっ/えっえっえっ/ いやー/わー] (・) 恥ずかしい。

(112)～(116)を見れば分かるように、感動詞と形容詞が組み合わさるパターンは、直接に組み合わさる[[[感動詞]0]形容詞]と[[[感動詞] (・)]形容詞]に二分けられる。「いやー」「えっ」「うーん」などはそれぞれ形容詞「面白い」「怖い」「難しい」「恥ずかしい」の直前に出てくる一方、その後ろにポーズが付いてそれらの形容詞の前に来る。これらの感動詞は、文頭あるいは文中に置かれ、独立性が高いものであると見られるので、フィラーであると考えられるだろう。

ところが、第3回の調査による被験者の意見では、(112), (113)の「いやー」「えっ」「うーん」は、程度副詞「とっても」「すごく」「めっちゃ」の意味が入っているということである。例えば、被験者が以下のように述べる。

㊤ 090224Q: 「いやー面白い所だよ」は、なんかあの、「とても・すごく面白い」とも考えられるか、「おもしろいだよ」と「いやーおもしろいだよ」と、どっちが感情が強い感じますか、「とっても面白い」とか、「すごく面白い」という意味が考えられるかどうか。

090225T: あー、そうですね。ありますね。考えられますね。

090226K: 「いやー」が入ったほうが「本当に面白いだな」という感じがしますね。

090227T: 強調しているというかに、「いやー面白い所だよ」

このような意見をみると、「いやー」「えっ」「うーん」などはただ話者の感情だけでなく、その後にくる形容詞で示す程度も表すということである。ちなみに、ポーズとの繋りを考えると、感動詞と形容詞が組み合わさるパターンは、ポーズがあっても、「とっても」「すごく」「めっちゃ」などの副詞と形容詞が組み合わさる場合と同様であると見られる。「とっても」などの副詞は元々独立語であるので、その後にくる語と切れ目があって、ポーズに当たるわけである。

以上より、(112)～(116)のようなコンテキストに現れる感動詞は程度副詞のような機能をしていると考えられる。

4.3.4. 文末の感動詞

第1回と3回の調査結果からみると、(117a) (118a)のような感動詞の文がある。

(117a) 050504B: あー、そういうのはダメよ、そういうのは。

050505A: うん、蹴るから。

050506B: うん。

050507A: もう断って、断っていたら、どうするんか文書を書いて出してって、いや、私がやることじゃなくて、やっぱり幹事さんがちゃんとやっちゃった方が良くないじゃないですか、いいんじゃないですかって理事会に言った。

050508B : ん。

050509A : あ、そうか、じゃ、といて、幹事にやっといてって、幹事もはあっ。

(118a) それを聞いたら、[えっ/へー/うーん]。

(117a), (118a)の下線部では、感動詞「はあっ」「えっ」「へー」「うーん」が、その後ろに何も付かなく、文末に現れる。この場合は、感動詞が従属句にあるので、後ろに付いた部分が脱落したものである。脱落の部分は、構文論の観点から見ると、4.3.2.4~4.3.2.8で議論したセット[となる]、[と思う]、[と言う]若しくは[[(.)] だった]であるほかにない。復元してみると、次のような文になる。

(117) b. 「(略)

050509A : あ、そうか、じゃ、といて、幹事にやっといてって、幹事もはあっ
[なった/思っていた/言った]。(略)」

c. 「(略)

050509A : あ、そうか、じゃ、といて、幹事にやっといてって、幹事もはあっ
(.) だった。(略)」

(118) b. それを聞いたら、[[えっ/へー/うーん]と・って]なった/思っていた/言った]。

c. それを聞いたら、[[えっ/へー/うーん] (.)] だった]。

(117b, c)と(118b, c)を見て、文末に現れる「はあっ」「えっ」「へー」「うーん」の品詞性を考えると、名詞としての役割をしていると言えよう。

4.3.5. まとめ

以上の各節において、感動詞の組み合わせパターンで分析したように、感動詞自身に品詞転成が起こっているということが分かってきた。まとめると、次のようになる。コロンの左側に、本論文で扱った組み合わせパターンを挙げている。コロンの右側には、感動詞がどのような品詞に転成しているかを記している。

[[感動詞]って] 名詞] : 名詞

[[[感動詞]みたいな] 名詞] : 名詞

[[[感動詞] (.)] 名詞] : フィラー

[[[感動詞] (.)] だった] : 名詞

[[[感動詞]Ø] 形容詞] : 程度副詞

[[[感動詞] (.)] 形容詞] : 程度副詞

[[[感動詞]と] 形容詞] : フィラー

[[[感動詞]みたいな] 動詞] : 名詞
[[[感動詞]と] 動詞] : フィラー・名詞・様態副詞・オノマトペ
[[感動詞] (・)] 動詞] : フィラー
[[[感動詞] 0] 動詞] : フィラー・副詞
[[[感動詞]みたいな。] : 名詞
[[感動詞]って・と。] : 名詞
[文末の感動詞。] : 名詞

これを見ると、まず、感動詞では、「って」「と」「みたいな」「みたいに」の直前に来る、また後ろにポーズが付いて「だった」の前に来ることにより、全体が引用句として働き、名詞化していることが分かる。但し、形容詞の前に出て来る場合、「ええと」「あっと」「えっと」は、「ええ」「ああ」の変異形であり、フィラーとして働いていると考える。次に、感動詞は、後ろにポーズが付いている場合は、後の語に繋がらなければ、フィラーであるが、後の語に繋がらなければ、副詞であると考えられる。ちなみに、[[[感動詞] 0] 動詞] では、感動詞は、動詞と繋がらなければ、「と」が省略されたものであり、副詞か名詞としての役割をしているが、話者の当時に発されたものであって、動詞と繋がらなければ、ポーズがなくてもフィラーとして働いているということもある。そして、[[感動詞]と] 動詞] では、様態副詞やオノマトペのような機能をしているとも考えられる。なお、[[[感動詞]みたいな。]、[[感動詞]って・と。]、[文末の感動詞。] では、後ろに付いた語が脱落されたものであり、引用句として働いているので、名詞としての役割をしていると見られる。

以上より、感動詞という非分析的なカテゴリーが、名詞や副詞といった分析的なカテゴリーへと転成している現象を捉えた。この現象は、感動詞の自身に起こっている独立性の変化に繋がらあり、特にそれが感動詞と「と・って」「ポーズ」等の結びの特徴を見て分かってきた。

このような感動詞は、文中に現れるとき、フィラーとして機能している一方、名詞や副詞としても機能しているということがある。更にオノマトペと類似性もあると考えられる。それゆえ、感動詞は、フィラーのような非分析的言語表現と名詞・副詞のような分析的言語表現の中間的なものであろう。この点は、次節で分析していく。

4.4. 感動詞における中間性

4.4.1. 問題提起

従来研究を辿って見ると、感動詞を言語記号として見て分析する立場としては、様々な論究がある。先行研究で述べたように、感動詞は、単語であるか、物事の音であるか、語彙面では詞であるか辞であるか、構文面では文中で前後の語とどういう文法的関係があるか、語であるか、文或いは句であるか、またどんな機能をしているか、という問題をめぐって議論している。しかし、結論は決着には至っていない。

感動詞における「中間」という概念を初めて述べているとしては、先ず、田窪行則(2005: 15-17)で、「ええ」「ああ」「うーん」などの非語彙的な感動詞の言語学的位置を議論しているとき、言語記号と生理的発声の中間に位置するということを主張している。いわば、感動詞とため息、咳払いなどの生理的発声の繋がり、話し手はこれらを発した場合、聞き手はそれと結び付いた生理的・心理的な状態を知ることができるということである。生理的・心理的な状態が伝わるには、ため息や咳払いなどは、意図的に発声されるものではない。そして、感動詞類も、本来意味を持たず、心的情報処理の際に、非意図的に生じるいわば音声的な身振りのようなものであると考えられている。但し、話し手は、感動詞と言った「ええ」「ああ」「ううん」を発することにより、聞き手に自分の生理的・心理的な状態を知らせることがあって、発されたときに感動詞に意味を生じるので、言語記号として見られる。しかしながら、感動詞は心的情報処理によって非意図的に臨時に発されるため、言語記号の特徴である恣意性と転移性を持たないものである。それ故、典型的な言語記号ではないとされている。したがって、「ええ」「ああ」「ううん」のような感動詞は、非語彙的なものであり、言語記号と生理的発声の中間に位置するわけであるとされている。

それから、伝統的な研究の各説から見た総合的観点としては、鈴木一彦氏(1973)では感動詞が詞的要素と辞的要素の融合体であるということを以下のように解説している。

「感動詞は、事柄の表現ではない。同時に、「助詞」「助動詞」のように、事柄と事柄の関係を表したり、事柄に限定を加えたり、事柄についての判断を示している表現でもない。主体と客体とが分化していない表現である。たとえば、「海よ」という表現は、客体的表現「海」と主体的表現「よ」とが分化した表現であるが、海を見て「おゝ」と声をあげた時は、その「おゝ」の中には、主体と客体とが融合している。いわば、「詞」と「辞」が融合している。「あゝ」「おや」「まあ」「いいえ」などすべて同じである。つまり、詞的要素と辞的要素との融合体である。」

以上より、鈴木一彦氏の観点によると、感動詞は、詞的要素と辞的要素の中間的なものであると考えられる。よって、その後の研究者は、感動詞は名詞や副詞などの分析的な言語表現ではなく、音声的身振り・フィラー・相づちなどの非分析的言語表現であるということ把握して探究している。

ところが、本論文では、調査結果に基づき、4.3.1～4.3.3で分析したように、感動詞は独立語として、文頭にくるか一文となるのだけでなく、文中に入り、後ろにポーズや「と」などを伴い、前後の語と組み合わせるという現象があることから、それ自体に独立性の変化と品詞転成が起こっているということをつえた。それを見ると、感動詞は音声的身振りやフィルターのような非分析的な言語表現と名詞・副詞のような分析的な言語表現の中間的なものであるという仮説が考えられる。

すると、感動詞における中間性とは何か、構文・品詞上どのように現れるだろうか。これは、以下のような各点で分析することによって、明らかにする。

4.4.2. ポーズや助詞「と」との結び付き

感動詞といった「うーん」「いやー」「えーっ」等は、本来文頭にくるか一文となることが多いという理由から、品詞の中では、独立性が一番高いものであると考えられている。たとえば、以下の例を挙げておく。

- (1) 010076B：獣医、獣医のなんかドクターだった。
010077A：おー、すげ。
010078B：ドクター課程の人かしこーいみたいな。
010079A：へー、大変やな。
010080B：うん。ゆうてね、まあ、なんかこれは給料もらっとるけ。
010081A：あー。
010082B：まあ、まだ、みたいな、やったけどね。
010083A：いやー、すごいわ。
010084B：ゆうて自分もバイトしとるやろ。
010085A：バイトしとるけど。
010086B：塾講？
010087A：ナメとるよ。塾講やけど。うーん。
010088B：中学生？
010089A：もおるし 高校生も。あと小学生も教える。
(中略)
010099A：へー、まじ。言うこと聞かんくて。
010100B：女の子？
010101A：うん。
010102B：はー。でもませとるよ最近の子。
010103A：うん、そう。怖いしまじ小学生。
010104B：うちの友達も塾講やとってから、それでなんか女の子の塾の生徒がおって、
010105A：うん。
010106B：その子が AKB がすごく好きらしくってさ、その子が毎回会うたびにさ、

切り抜きくれるらしいんよ。友達ネームプレートしとるんよ。

010107A : うんうんうん。

010108B : ネームプレートの中に全部、

010109A : 可愛いけど。

010110B : かさい、かすい、かなんかそんな感じの名前の人。

010111A : へえー。

010112B : そうそうそう。

010113A : うん、ひたすら自分の話しかせんくて。

010114B : あ、その子が？

010115A : うん。鉛筆持たらずっと家の話をずーっとしよって。へえー、おもしろいな。

010116B : へえー。塾講とかならんわ。こわいわそれは。

(1)の下線部を付けた非語彙の感動詞を見たら、010087Aの「うーん」、010081Aの「あー」、010107Aの「うんうんうん」、010112Bの「そうそうそう」、010102B「はー」が単独で一文となっている①が、010077Aの「おー」、010083Aの「いやー」、010082Bの「まあ」が、文頭に現れる②。特に、「へー」は、010111Aで一文となる一方、010115Aで文頭に現れる③。①②③の感動詞は、どれも独立性が高いと見られる。①の感動詞はそれ自体が一文であるので、独立性が高いということは明白に見られる。②の感動詞の独立性が高いというのは、4.2.1; 4.2.4.1.3に分析したように、それと後続句の間にポーズがあり、後続句と切れて、独立の文になることができる。たとえば、「へえー、面白いな」は、「へえー。面白いな。」と分けられる。それゆえ、ポーズは独立性の度合を確定するとき、感動詞の構文上固有的特徴であると考えられる。こんな独立性が高い感動詞は、フィラーや相づち詞、応答詞と呼ばれ、非分析的言語表現であると従来研究に考えられている。

ところが、本論文の調査結果を見ると、文中で感動詞とポーズの結び付きが弱くなってきていることがある。すなわち、4.1; 4.2に述べたように、文中に入ったとき、ポーズを伴わない場合もある。または、その代わりに「と」を伴い、後の語と組み合わせるといふ現象もある。以下に例を挙げておく。

(2) a. TOEIC 試験の 900 点を見て、わーと喜び、飛び上がった。[5.5a]

b. TOEIC 試験の 900 点を見たとき、わーと飛び上がった。[5.5b]

c. TOEIC 試験の 900 点を見たとき、わーと興奮して、飛び上がった。[5.5c]

(3) お父さんは息子の話をふーんと聞いている。[4.1]

(4) 彼女は部屋の奥に座っている男の人をへーと見て、部屋を出て行った。[4.2]

(5) お母さんは息子の答えを聞いたら、はあと立ち上がった。[4.8]

(6) 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっと降ってきて、びしょ濡れになっちゃった。

(7) 社長は部下が会議に遅れた理由を聞いたら、はあっとした。

(8) A: その話、もう聞いた？

B: 聞いた聞いた。

A: どう思う？

B: そうだね。最初はちょっとえーっと思っていたが、今は彼女みたいな人ならあり得るね。

(9) A: ねえねえ、聞いた？

B: 何があったの？

A: 鈴木さんは彼氏に 40 万の時計をもらったこと。

B: へー、そんな。いやーとなったよね、彼女は。 [5. 2d]

(10) 彼女が 1 人で 20 年ずっと子供の 4 人も育てていたことを聞いたとき、いやー
ーと思っていて、自分をもっと努力したいという感じがした。 [5. 2e]

(2)～(10)のコンテキストでは、被験者の意見によると、感動詞の後ろにポーズがあっても、不自然であって、言わないが、「と」が付いたら、意味に変化があって、通じるので、言える。例えば、(2)と(9)の「いやー () になった」の場合については、次のような被験者の意見がある。

先ず(2)の「わー () 喜び・飛び上がった・興奮して」については、

② 110448Q: はい、e ですか。e ですね。はい、5 は？。…ポーズが入って「わー (0.1 秒) 喜び」、言えますか。

110449T: 言わないかな。

110450M: 言わないといったんだけど、全部。

110451Q: 先、a は言わないと言いましたね。

110452M: はい。

110453Q: ポーズが入ったら、いいんですか。これは「わー喜び」でポーズがないんですが、今ポーズが入ったら、「わー (0.1 秒) 喜び」って言いますか。

110454M: 言わないんですね。

110455K: 言わない。入っても。

(中略)

110604Q: はい。じゃ、e は？

110605M: 言わない。

110606Q: 言わないんですね、はい。あの、5 は？

110607K : a は言うかな。
110608T : うん。
110609M : 「わーと飛び上がった」、「わーと興奮して」も、言うね。
110610K : 言うね。
110611M : 「わーと驚いた」、言う。
110612K : 言うね。
110613T : 「わーとなった」、全部言う。
110614M : あ、全部言う。

次に、(9)の「いやー () になった」については、

② 11035K : 「いやーなったよね彼女は」という言い方はしないよね。

110036T : しないね。
110037M : しないことは、始めて聞いた。
110038Q : 他の感動詞だったら、どれが入れますね。
110039K : え、これの「いやー」の部分が感動詞？
110040Q : そうだね。「いやー」は感動詞ですね。
110041K : あ、別に「いやー」っていう感動詞は使われるよね。そういう場面では、
よく、
110042T : うん、でも、「いやーなっ」、
110043K : 「なったよね彼女は」、違和感がある感じ。
110044T : なんか、鈴木さん本人がいやーということだけど、それを鈴木さんの想像して他の人が彼女はたぶんそうだったとねというとはあまり、
110045K : あー、そういう意味か。
110046T : 長くない、
110047M : あー、本人じゃない人がそういうふうに言っていることがあまりないん。あ
あ、なるほど。確かに。
110048K : あ、いやってなったということ？
110049T : うんうん、たぶん。

(中略)

110359T : なんか、先ポーズが入れるか入れないか、入れるかどうかという話ですね。最初は通じるかどうかと言うときに、通じるやつは、私はだいたいかってにポーズを入れて、言って通じるっていう考えていたので、たぶんポーズを入れるって、あなたの考えていたときに、先言えなかったやつが言えるようにはならない気がして、ポーズ入れても先入れない方法でも言葉が通じる通じないっていうのに変化、私は中でしてないんです。

110360Q : じゃ、ポーズ入らなくても、入っても言わないんですね。

110361T : そうです。先たぶん言わないって。

(中略)

110477K: 「いやーとなったよね」、あ、dは言うのかな。

110478M: 言う。

110479T: うん、言う。

(2), (9)についての意見からみると、(2)～(10)のコンテキストに現れる感動詞は「と」が欠かせないのである。感動詞は、4.3 で品詞転成を議論したように、文頭に現れ、ポーズを伴って、フィラーとして働いているが、文中に入り、「と」を伴って、名詞や副詞として働いている。そうであれば、ポーズの役割は、感動詞に対して意味がなくなるだろうか。そして、感動詞は、独立性がなくなり、フィラーのような非分析的言語表現から、名詞・副詞のような分析的言語表現へ移行したのではないだろうか。しかし、「と」が付かなく、ポーズが欠かせない場合もある。以下の例を見よう。

(11) ○ a. お父さんは息子の話をいやー (・) 聞いている。[5. 1a]

× b. お父さんは息子の話をいやーと聞いている。[5. 1a]

(12) ○ a. 彼女は部屋の奥に座っている男の人を[いやー/うーん] (・) 見て、部屋を出て行った。[5. 1b/5. 3h]

× b. 彼女は部屋の奥に座っている男の人を[いやー/うーん]と見て、部屋を出て行った。[5. 1b/5. 3h]

(13) ○ a. お母さんは息子の答えを聞いたら、いやー (・) 座った。[5. 1f]

× b. お母さんは息子の答えを聞いたら、いやーと座った。[5. 1f]

(11)～(13)のコンテキストに現れる「いやー」「うーん」は、(11a), (12a), (13a)では、後ろにポーズが付いて言えるが、(11b), (12b), (13b)では、言えないということを、第5回の調査の被験者に言われていた。したがって、「いやー」「うーん」はまだ独立性が高いフィラーの役割をしていると見られる。

このように、(2)～(13)のコンテキストに現れる感動詞とその後ろ付くポーズと「と」の役割を考えると、感動詞は、ポーズを伴って、非分析的な言語表現のフィラーとして働いていることも「と」を伴って、分析的な言語表現の名詞や副詞として働いていることもあるので、中間的なものであると考えられる。しかも、同じコンテキストであるが、ポーズも「と」も伴う場合がある。以下のような例を見よう。

(14) a. 彼はええああ (・) 話している、なかなか一文になっていない。[4. 3]

b. 彼はええああと話している、なかなか一文になっていない。[4. 3]

[4. 5]

(15) a. 会長は鈴木さんの説明を聞いているとき、そうそう (・) 賛成していた。

- b. 会長は鈴木さんの説明を聞いているとき、そうそうと賛成していた。[4.5]
- (16) a. 「今日は、AKB グループにも出演していただきますよ」と聞いたら、会場にいる人がみんなおー（・）拍手した。[4.9]
b. 「今日は、AKB グループにも出演していただきますよ」と聞いたら、会場にいる人がみんなおーと拍手した。[4.9]
- (17) a. A：昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4.10]
B：何を見たの？
A：宝くじを当たって、うわっ（・）お金をもらったのよ。
B：へー。
- b. A：昨夜ね、すごい夢をみたよ。[4.10]
B：何を見たの？
A：宝くじを当たって、うわっとお金をもらったのよ。
B：へー。
- (18) a. 兄は弟の質問を聞いていたら、うーん（・）考えていた。[5.3a]
b. 兄は弟の質問を聞いていたら、うーんと考えていた。[5.3a]
- (19) a. 兄は弟の話をうーん（・）聞いている。[5.3b]
b. 兄は弟の話をうーんと聞いている。[5.3b]
- (20) a. 私は弟の話を聞いて、うーん（・）思っていた。[5.3d]
b. 私は弟の話を聞いて、うーんと思っていた。
- (21) a. 私は弟の話を聞いて、うーん（・）なった。[5.3e]
b. 私は弟の話を聞いて、うーんとなった。[5.3e]
- (22) a. 彼女に大学院進学のことを尋ねたら、うーん（・）躊躇っていた。[5.3f]
b. 彼女に大学院進学のことを尋ねたら、うーんと躊躇っていた。[5.3f]
- (23) a. A：昨夜ね、すごい夢をみたよ。[5.4b]
B：何を見たの？
A：宝くじが当たって、うわっ（・）なった。
B：へー。

b. A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。 [5. 4b]
B : 何を見たの？
A : 宝くじが当たって、うわっとなった。
B : へー。

(24) a. A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。 [5. 4c]
B : 何を見たの？
A : 宝くじが当たって、うわっ (・) 驚いた。
B : へー。

b. A : 昨夜ね、すごい夢をみたよ。 [5. 4c]
B : 何を見たの？
A : 宝くじが当たって、うわっ と 驚いた。
B : へー。

(14a, b)～(24a, b)を見ると、感動詞は、a でポーズが付いてフィラーとして働きながら、b で「と」が付いて名詞・副詞のような働きをしている。

このような点で、感動詞は非分析的言語表現と分析的言語表現との中間的なものであると考えられる。

4. 4. 3. 複数の品詞性

感動詞の中間性は、上節に述べたポーズと「と」の交替だけでなく、「ポーズ」か「と」を別々に伴うコンテキストにも現れる、いわばポーズを伴うコンテキストでも、「と」を伴うコンテキストでも感動詞が一つの品詞だけをもつことではないということにも見られる。具体的には次のようである。

- ポーズのコンテキストに現れる感動詞に関しては、まず、(25)～(29)を見よう。

(25) A: 連休に、旅行行った？ [3. 18]
B: うん、ベトナム行った。
A: へー、どんなところ？
B: [いやー/えっ/うーん/あー/まあ] (・) 面白いところだよ。

(26) A: 耳なし芳一は、[[いやー/うーん/へー/ふーん/まあ] (・) 怖い話だね。 [3. 22]
B: ねえ。

(27) A: えっ、新しい指輪？ [3. 20]
B: うん。ダイヤモンドのね。
A: へー。高そうね。

B: いいえ、そんな。セールの時期だから、[[いやー/まあ] (・)] 安い値段で買ったよ。

A: へー。

(28) 子供の宿題はね、小学生のためだから、簡単だと思っていたが、やったら[[うーん/いやー] (・)] 難しかった。[3. 24]

(29) 初めて会ったのに、そんなことを言ってしまうて、[えっ/えっえっえっ/ いやー/ わー] 恥ずかしい。[3. 26]

(25)～(29)の感動詞「いやー/えっ/うーん/あー/まあ」は、4. 3. 3. 3 で分析したように、その後ろに付いたポーズをみると、フィラーである。しかし、後に来る形容詞「面白い」「怖い」「安い」「恥ずかしい」「難しい」との関係を意味面と構文面でみると、「とつても」「すごく」などのニュアンスが入っているということがあるので、形容詞に繋がりがあり、程度副詞のような機能をしているとも考えられる。

次に、(30)を見よう。

(30) A: この話、もう言った? 彼女に。[3. 15]

B: 言った言った。

A: 彼女はどのような反応だった?

B: そうだね。 [うーん/ふーん/えっ/へー] (・) だった。

(30)のコンテキストに現れる感動詞「うーん/ふーん/えっ/へー」は、4. 3. 2. 7 で分析したように、後ろにポーズが付いて、その全体が引用句として働いているので、名詞であると考えられるが、その引用句を見たら、ポーズがあるので、フィラー性も保っているだろう。

次に(31)～(37)を見よう。

(31) a. 急にスピーチを頼まれて、考えながら言ったので、ええああ (・) した。 [5. 2e]

b. 急にスピーチを頼まれて、考えながら言ったので、(・) した。 [5. 2e]

(32) a. 急にスピーチを頼まれたので、考えながら言って、ええああ (・) なった。

[5. 2f]

b. 急にスピーチを頼まれたので、考えながら言って、(・) なった。 [5. 2f]

(33) a. TOEIC 試験の900点を見て、わー (・) なった。 [5. 5e]

b. TOEIC 試験の900点を見て、(・) なった。 [5. 5e]

- (34) a. A: 昨夜ね、すごい夢をみたよ。 [5. 4b]
 B: 何を見たの?
 A: 宝くじが当たって、うわっ (・) になった。
 B: へー。
- b. A: 昨夜ね、すごい夢をみたよ。 [5. 4b]
 B: 何を見たの?
 A: 宝くじが当たって、(・) になった。
 B: へー。
- (35) a. 兄は弟の質問を聞いていたら、うーん (・) した。 [5. 3c(e)]
 b. 兄は弟の質問を聞いていたら、(・) した。 [5. 3c(e)]
- (36) a. 私は弟の話聞いて、うーん (・) 思っていた。 [5. 3d(c)]
 b. 私は弟の話聞いて、(・) 思っていた。 [5. 3d(c)]
- (37) a. 私は弟の話聞いて、うーん (・) になった。 [5. 3e(d)]
 b. 私は弟の話聞いて、(・) になった。 [5. 3e(d)]

(31a)～(37a)をみると、感動詞「ええああ」「うわっ」「わー」「うーん」がその後ろにポーズがあって独立性が高いので、フィラーであると考えられるだろう。しかし、構文論の観点から考えると、これらの感動詞はフィラーであれば、後の動詞「なる」「思う」「する」に繋がらないことである。すなわち、感動詞を取りぬけても、その文はやはり意味が通じて、言えるということである。しかし、(31a)～(37a)から感動詞を取り抜けたら、(31b)～(37b)となって、意味がわからなくなってしまう。したがって、(31a)～(37a)では、動詞が感動詞に繋がっているわけである。

実は、被験者の意見によると、(31a)～(37a)は、不自然な文である。構文上、4. 3. 2. 4; 4. 3. 2. 8で議論したように、動詞「なる」「思う」「する」の前に出てくるものは[[名詞]と]でなければならない。そのため、(31a)～(37a)は十分に現れるのであれば、ポーズの箇所は「と」のところに当てはまる。よって、感動詞は名詞としての役割をしていると見られる。但し、感動詞は後ろにポーズが付いて、その全体が引用句として働いているということも考えられる。どちらからでも名詞性をもつものであるだろう。

次に、(38a)を見よう。

- (38a). おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、[うわー/おー] (・) 時計だった。

[2. 1]

上の例では、4. 3. 1. 1で議論したように、感動詞「うわー」「おー」は、後ろにポーズが

付いて言うので、フィラーとして働いていると考えられるが、文中に現れる故、全体の[うわー/おー] (・)]が形容詞のような機能をしている可能性があるだろうか。これは、被験者の意見を見よう。

- ① 080065Q : うーん、はい。なんか、あの、1から4までね。あの一、「うわーっ」の後ろが、なんか1の「うわー」はあの「時計」という名詞と直接に組み合わせる、2は後ろに「って」、3は「みたいな」、あの、4は「ポーズ」がついて、時計という名詞と組み合わせるパターンですが、他のパターンはありませんか。はい、あの「って」とか「みたいな」とか「ポーズ」の以外には、他はありませんか。

080066G : あー、どうかな。「って」と「みたいな」はたぶん一緒だね、

080067N : うん。

080068G : 気持ち的に。「って」「と」「みたいな」のように同じ意味で感じます。なに
というか、「うわーっ」

080069N : 「うわーって」。「って」かな。

080070G : 「うわー」、「うわーっな感じの」とか

080071N : あー、うんうん。

- ② 070051K : えっ、言うこと、「うわー時計だった」と「うわーみたいな時計だった」で
同じ気がする。

070052T : じゃ、言ってみて。

070053M : ところによって「みたいな」のあるね。

070054T : まあ、まわりの話してる目を見てさ、TPOに・・・

070055M : そうね。

070056K : あー、「みたいな」っていうのは、よく使う人がいるじゃん。その人はこう
いうことに「みたいな」を言うか。

070057M : うん、そうですね。

070058T : うん、うわーみたいな、時計みたいな、だったみたいな。

070059K : それは言いすぎ。

070060Q : はい。

070061T : 4番。

070062K : 「うわー (0.1秒) 時計だった」。えーっ。

070063M : 点を挟んでいるの、こう会話が分裂しているようにみえて、仕方がないな。

(K&Mがもう一度「うわー時計だった」を言った)

070064T : 伸ばし棒を上向き言うか下向き言うかだよな。

(M&Kがもう一度「うわー (0.1秒) 時計だった」を言った)

070065Q : あー、伸ばすんですね。ポーズじゃないんですね。

070066T : あー、伸ばすところに下向きに伸ばす。後のポーズに当たるんじゃない。

070067M : あー、イントネーションの？

070068K : 「うわー時計だった」か？ (06 : 04) K が下向きに発音を伸ばした) え、言わないことか。下げたら、

070069T : 下げているときは、「うわー」、ここにポーズあっても言うかもしれない。

被験者の意見によると、(38a)は、以下の(38b, c)に相当すると見られる。

(38) b. おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、[うわー/おー]みたいな時計だった。

c. おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、[うわー/おー]な感じの時計だった。

(38b, c)の[[うわー/おー]みたいな]]や[[うわー/おー]な感じの]]は、名詞「時計」の連体修飾である。よって、(38a)の[[うわー/おー] (・)]]は、形容詞のような機能をしているのではないだろうか。

- 「と・って」のコンテキストに現れる感動詞に関しては、(39)～(45)を挙げておく。

(39) おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、おーって時計だった。[3. 2]

(40) 彼はえーって顔でその話を聞いていた。[3. 8]

(41) 彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人がみんな おーってなった。[3. 36]

(42) 彼女は、さっき入ってきた男の人を[あれ/ふーん/ほおー/うーん/へー]と見てから、部屋を出て行った。[2. 14]

(43) 彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人がみんな [おー/うわっ/うおー/わー]と拍手していた。[3. 36]

(44) A : 昨夜ね、すごい夢を見たよ。[4. 4a]

B : 何を見たの？

A : 宝くじが当たって、うわっとお金をもらったのよ。

B : へー。

(45) 兄は弟の質問を聞いていると、うーんと考えていた。[5. 3a]

(46) 友達は鈴木さんの意見にうんうんと答えた。[4. 4]

(47) お父さんは息子の話をふーんと聞いている。[4. 1]

(48) 020243A : 学科何? [1.02]²⁷

020244B : 観光、国際経済の。

020245A : あー、観光。

020246B : 中国語も確か。けっこういける。えっと思っている。

020247A : ふーん。じゃ、語学研修、結局もっと多いね、もっと多いね、8人いっ
てる。

(39)～(48)に現れる感動詞はどんな機能をしているかについては、4.3.2.1で議論したように、「と・って」を媒介して、[[感動詞]と]・[[感動詞]って]が引用句として働いているので、名詞のような機能をしている。

一方、感動詞は、4.3.2.8に述べたように、(42)～(48)のようなコンテキストで動詞の前に現れるとき、後に「と」が付いてその動詞に繋りがある場合、様態副詞のような機能をしていることも考えられる。特に、4.2.4.1.3に載せてある宮地裕他(1976:147-155)では記述される論考によると、感動詞の形態面と「と」との関係を見て、それが副詞幹であるとも考えられる。いわば、感動詞の形態面から見ると、その自体形態に独立性が弱いものである促音「ッ」(うわっ・はあっ)、発音「ン」(うーん・ふーん)、長音「ー」(へー・うおー)をしているため、文中に入るとき、独立性が低くなって、「と」を伴わなければならないのである。これは、第3,4,5回の調査結果から感動詞が文中に入ったとき、「と」を共起することを捉え、4.2で分析した。ちなみに、感動詞は「と」が付いて、その全体が、下記のような副詞の構造形式をしているということがある。

型① A ット型 (えっと、あっと、おっと、)

型② A ント型 (ふんと)

型④ Aーット型 (はあっと・えーっと・へーっと)

型⑤ AB ット型 (うわっと)

型⑪ A ン A ント型 (うんうんと・ふんふんと・そうそうと)、

型⑫ AーAート型 (そうそうと・わーわーと・おーおーと)、

型⑯ ABAB ト型 (いやいやと)

そのため、感動詞は、副詞幹の特徴をもっていると見られる。よって、感動詞は副詞に移行する力が潜在的に存するものであると考えられる。

以上より、感動詞は「と」が付いて動詞の前に出て来る場合は、[[感動詞]と]全体が引用句か副詞としての機能をしている。つまり、その自体に名詞性も副詞性ももつということが考えられる。

²⁷ [1.00]とは、最初の[1]が第1回調査、その続く番号が被験者の会話番号[01～06]を示す。

4.4.4. 単語性

(1)のようなコンテキストに現れる感動詞は、日常会話にしばしば見られている。

(1) 010108B：ネームプレートの中に全部、 [1. 01]

010109A：可愛いけど。

010110B：かさい、かすい、かなんかそんな感じの名前の人。

010111A：へえー。

010112B：そうそうそう。

010113A：うん、ひたすら自分の話しかせんくて。

010114B：あ、その子が？

010115A：うん。鉛筆持たらずっと家の話をずーっとしよって。へえー、おもしろいな。

(1)を見ると、感動詞「へえー」は 010111A では、独立の文となるが、010115A では、句として、後続の句「面白いな」と独立に現れる。しかも、「へえー、面白いな。」は、「へえー。面白いな。」のように、二文に分けられる。この点では、感動詞が句でありながら文でもあるいわば文と句の中間的なものであると考えられる。

また、(49)～(56)のようなコンテキストに現れる場合がある。

(49) おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、おーみたいな時計だった。[3. 3]

(50) 社員 1:今朝の会議で田中さんが言ったことは、うーんみたいな意見だね。[3. 6]
社員 2:うん、そうだね。

(51) 社員 1:今朝の会議で田中さんが言ったことは、うーんって意見だね。[3. 5]
社員 2:うん、そうだね。

(52) 010326B：おやが公務員じゃけすごいですすめてくるけどさ、うーん。そこまで頑張
ってまでやりたいことがあるかっていったら、 [1. 01]

010327A：あー。

010328B：やっぱりうーんってなるわけよ。

010329A：なるほどね。

(53) 兄は弟の質問を聞いていると、うーんと考えていた。[4. 6]

(54) 彼は、社長の部屋を出て、はあっと歩いていた。[3. 28]

(55) a. A : その話、もう聞いた？ [4. 15]

B : 聞いた聞いた。

A : どう思う？

B : そうだね。最初はちょっとえーっと思っていたが、今は彼女みたいな人ならあり得るね。

b. A : その話、もう聞いた？ [4. 15]

B : 聞いた聞いた。

A : どう思う？

B : そうだね。最初はちょっと[[えーっみたいに]思っていた]が、今は彼女みたいな人ならあり得るね。

(49)～(55)の下線部を見ると、感動詞が文中に入り、「と・って」「みたいな」「みたいに」を共起し後の語に繋って、(49)～(51)の「おーみtainな時計」「うーんみtainな意見」「うーんって意見」のような連体修飾句と、(52)～(55)の「うーんってなる」「うーんと考えていた」「えーっと思っていた」「はあっと歩いていた」「えーっみたいに思っていた」のような連用修飾句を構造している。この点では、感動詞は、名詞・副詞として、句の文節を構造する中核的要素の役割をしていると言えよう。しかも、(56), (57)のようなコンテキストに現れる場合もある。

(56) 010614B : あのー、エスカレータの近くのやつ。

010615A : あー。

010616B : 行って、行こうやあって言われて、私ブランド物超興味ないのにか思ながら行って、2人でずっと見とって値段がうわーみtainな。

010617A : わー。

(57) 010628B : 家がちがう、なんか、私このままじゃ富豪と貧民みtainな。ほんとそんな感じとかもないもん。

010629A : へー。

010630B : すごい、ほんと。航空写真見せてあげようとか言われてさ、へーと。どんだけさあ。

010631A : そんなすごい家とか住んどるん。

010632B : 畑が何個かと土地を何個か持つとるっていう話しになって航空写真見せてあげるみtainな笑えねー。

(56), (57)を見ると、感動詞「うわー」「へー」は、「みtainな」「と」を伴っているが、その後に語や句が何も来ない、即ち、「と」「みtainな」は文末詞のように現れる。4. 3. 2. 5; 4. 3. 2. 6 で議論したように、[うわーみtainな]、[へーと]は名詞や動詞などの後の語が省略されたもの或いは脱落した文であると考えてもよい。この点では、(49)～(55)の感動詞は文節を構成する要素であることが明白である。

更に、(58)のようなコンテキストもある。

(58) 050504B : あー、そういうのはダメよ、そういうのは。

050505A : うん、蹴るから。

050506B : うん。

050507A : もう断って、断っていたら、どうするんか文書を書いて出してって、いや、私がやることじゃなくて、やっぱり幹事さんがちゃんとやっちゃった方が良くないじゃないですか、いいじゃないですかって理事会に言った。

050508B : ん。

050509A : あ、そうか、じゃ、とって、幹事にやっといてって、幹事もはあっ。

(58)の感動詞「はあっ」は後ろに何も付かなく、文末詞のように現れる。これも、4.3.4で議論したように、「と」「みたいな」や助動詞「だった」か、動詞などの後続の語が脱落したものであると考えればよい。しかしながらこんなコンテキストを統語論の観点からみると、「はあっ」は従属句を構成する要素として現れていると考えられる。この点では、感動詞は句と単語の中間的なものであると見られる。

ちなみに、(56)～(58)のようなコンテキストに現れる感動詞の後続部分が脱落した現象は、感動詞と「と」「みたいな」や後の動詞の結び付きが緩やかであるということを示している。これは、感動詞の高い独立性によると考えられる。一方、(49)～(55)のような十分に出て来るコンテキストに連体修飾句や連用修飾句として現れることは、感動詞の独立性が低くなって、「と」「みたいな」や後の動詞の結び付きが強くなっているを示している。

以上より、(1)から(49)～(55)、(56)～(58)にかけて感動詞の単語性を観察すると、感動詞には、それ自体が同時に文としての役割も句としての役割も、また単語としての役割も果しているという中間性が顕著に見られる。

4.4.5. オノマトペとの類似性

本論文では、4.3で分析したように、感動詞という非分析的なカテゴリーが、名詞や副詞といった分析的なカテゴリーへと転成する現象を捉えた。ここで感動詞がオノマトペとの関係があるということが窺える。先行研究において、オノマトペと感動詞の関係についての論文は田窪行則(2005)以外には見られない。田窪行則(2005)には、「非語彙的な感動詞は、いわゆる恣意性を持つ言語記号と生理的発声との中間に位置する。同様な性質をもつ語類として、擬音語・擬態語(オノマトペ)の類があり、感動詞とこれらはその構成においてあい通じるものがある」という記述がある。

本論文においても、感動詞とオノマトペは、次のような例が示す通り、構文的にも類似性が高いカテゴリーであると考えられる。

- (59) a. 彼は社長の部屋を出て、テクテクと歩いていた。
 b. 彼は社長の部屋を出て、うんうんと歩いていた。[3.28]
- (60) a. 大雨だったら、庭の野菜がボロボロってなるよ。
 b. きのうね、掃除のとき、引き出しを開けたらピューとねずみが飛び出しちゃって、きゃあってなった。[3.13]
- (61) a. 彼女はそれを聞いたら、ドキッとした。
 b. 彼女はそれを聞いたら、はあっとした。[3.41]
- (62) a. 土曜日のよる、友達と一緒に自転車で街をグルグル（と）回している。
 b. 友達は鈴木さんの意見にうんうん（と）答えた。
- (63) a. あの車は、ノロノロ運転だ。
 b. お祖母ちゃんのプレゼントを開けたら、おー（・）時計だった。[3.1]

これらの例では、先ず(59a)～(62a)のコンテキストに現れるオノマトペ「テクテク」「ボロボロ」「ドキッ」は、動詞の前に出てくる、ちなみに行動動詞「歩く」の前に副詞として、変化動詞「なる」と形式動詞「する」の前に名詞として働いている。(59b)～(61b)を見ると、感動詞「うんうん」「きゃあ」「はあっ」もこれらのオノマトペと同じ振る舞いをしていることが分かる。(62)では、(b)の感動詞「うんうん」は、「と」を伴わなくてもいいという被験者の意見がある。これは(a)の「グルグル」のようなオノマトペが随意に「と」を伴う場合と同様であると考えられる。

なお、(63)では、(a)のオノマトペ「ノロノロ」も(b)の感動詞「おー」もは、名詞の前に出て来る。感動詞「おー」は後ろにポーズが付いているので、オノマトペ「ノロノロ」のように名詞の直前に現れるものではないが、その後のポーズは「ノロノロ」と「運転」の切れ目であると思えば、統語面で同じ振る舞いであると考えられる。「ノロノロ」のようなオノマトペは、名詞の前に出てくるとき、形容詞として働いていると従来研究に考えられている。(b)の「おー」のような感動詞の場合は、4.4.3に分析したように、形容詞性をもっているため、「ノロノロ」と同様に形容詞としての役割をしていると考えてもよいだろう。

以上より、感動詞とオノマトペが統語的に同じ振る舞いをしていることが分かる。よって、(60)～(63)のようなコンテキストに現れる感動詞は、オノマトペのような機能をしているということも考えられる。感動詞は田窪行則(2005)と森山卓郎(1996)によって、心的にモニター標識として捉えられたが、心的情報処理操作・心的感情変動が音声的身振りとして外部に反映したものであると思えば、その音声身振りが非分析的なフィラーである。しかしながら、オノマトペのような名詞・副詞・形容詞の用法をしているので、分析的なものでもある。これらの点で、感動詞は中間的なものであるに違いないだろう。

4.4.6. まとめ

上節で分析したように、感動詞といった「うーん」「えーっ」「いやー」などは、田窪行則氏(2005)が記述した言語記号と生理的音声の中間的なものとしてだけでなく、言語記号としても、フィラーのような非分析的言語表現と名詞・副詞のような分析的言語表現の中間的なものであると考えられる。その中間性については、次のように挙げられる。

- 独立して一文となることができる一方、文頭や文中で後にポーズがつくことにより、後続句と独立している句として現れることができる。また、文中で格助詞と言った「と・って」や助動詞「だった」「みたいな」「みたいに」のような辞と組み合わせることによって、文や句を構造することができるいわば単語(詞)のような役割をするということもある。
- 一つの品詞だけでなく、複数の品詞性をもっているものである。すなわち、言語記号として現れるとき、フィラー・相づちのような機能をしている一方、名詞・副詞のような機能もしている。
- 感動詞は、そもそも音声的身振りの性質を持ちながら、形態面においても構文面においてもオノマトペとの類似性が基本的にあるので、オノマトペのような機能をしているということがある。

以上の議論から、感動詞といった「うーん」「えーっ」「いやー」の中間性が顕著に見られるだろう。このような中間性は、感動詞と呼ばれているものの言語学的な本質に繋がると思われる。

5. 結論

従来の研究では、感動詞については様々な論究がなされている。研究者は、「話者の感情を直接に表す(当時に直接に発した)ものであって、概念的な意味を持たず、その内容を分析しないものである。そして、自立語で活用がなく、独立語として、文頭にくるか、一文として現われる。文中で他の語を修飾しない」という感動詞の特徴を把握し、様々なアプローチで探究している。しかし、その言語学的本質は何かということは、現在でもまだ議論の余地がある。例えば、感動詞を一つの品詞として立てられるのか、またその機能が明確になっていないという問題がある。

本論文では、感動詞の言語学的本質を解明することを狙い、統語論・品詞論のアプローチで、従来の研究の問題点を押え、自然談話における多くのコンテクストを検討することにより、感動詞の意味表出と独立性の変化を探究するいわば文中の他の語と組み合わせる力、それを通じて概念的内容を表す力を考察し、分析している。その結果は、次のようにまとめられる。

- (ア) 感動詞は、独立して文頭に現れるか一文となるだけでなく、文中に入り、「と・って」「みたいな」「みたいに」を伴い、後続の語(名詞・動詞)と組み合わせることによって、連体修飾句や連用修飾句の構造要素としての役割をしていることもある。次のようなパターンで見られる。

[[[感動詞]って] 名詞]

[[[感動詞]みたいな] 名詞]

[[[感動詞]みたいに] 動詞]

[[[感動詞]と] 動詞]

[[[感動詞]って] なる]

そして、文中で、助動詞「だった」の前に出て来て、述語の役割をしている。また、文中に単独で現れる感動詞も後続の語(形容詞・動詞)に繋がりがあって、副詞の役割をしていることもある。さらに、[[感動詞]みたいな]や[[感動詞]って]のコンテクストで文末詞の前に出て来ることもある。しかも、それ自身が文末詞のように現れる。

- (イ) 感動詞は、そもそも独立語として、独立性が高いので、「ポーズ」と結び付きが強いが、(ア)のパターンでは「と・って」などと結び付きもあることから、ポーズとの結び付きが弱くなり、独立性が低くなっている、すなわち独立性に変化が起きているのである。ちなみに、その独立性はコンテクストによって高くなったり低くなったりして変わることがある。これは感動詞自身がそれぞれ分化しているのである。
- (ウ) 感動詞は、独立性が変化するに従って、それ自身が名詞・副詞へ移行しつつあることがある。すなわち、「と・って」「みたいな」「みたいに」が後に付いて、引用句として働き、名詞のような機能をしている。そして、単独で形容詞の前に出て来る

とき、その形容詞に繋り、程度副詞のような機能をしている。また、「と」を伴い、動詞の前に出て来て、それ全体が様態副詞のような機能をしている。ちなみに、「と」を伴わず動詞の前に出て来る感動詞は、その動詞に繋り、副詞として働いていることもある。この場合は、「と」が省略されたものであるとも考えられる。

(エ) 感動詞は、一文として現れるとき、相づちとしての機能をしている。文頭・文中・ポーズが付いて現れるとき、後続の語に繋りがない場合は、フィラーとしての機能をしている。

(オ) 感動詞とオノマトペは、4.4 に記述されたように、形態面だけでなく、構文面でも類似点がある。即ち、両者とも文中で名詞の前に出てくるとき、形容詞のような機能をしている。そして、「と・って」を伴い、「なる」・「する」や「行動や状態を表す動詞」の前に出てくるとき、名詞・副詞のような機能をしている。

(カ) 感動詞は、品詞面では、4.4 に分析したように、フィラーと名詞、フィラー・副詞、名詞と副詞の中間的なものも捉えた。いわば、コンテキストによってポーズか「と」を共起するが、「と」もポーズも共起するコンテキストもある。また、ポーズを伴うとき、フィラーとしての役割をしているのと同時に、副詞としての役割をしている場合もある。そして、「と」を伴うとき、引用句として働き、名詞のような機能をしているのと同時に、様態副詞のような機能をしている場合もある。

(キ) 感動詞は、構文面では、独りで一文や句となる一方、文中で「と・って」「みたいな」「みたいに」を伴って文節や句を構成する中核的な要素としての役割をしている。特に、4.4 に議論したように、完全な文にも省略された文にも現れることにより、文と句の中間的なものであると考えられる。

以上の(ア)～(キ)により、感動詞の統語面から見て、他の品詞と比べると、【表 1】のようになる。

【表 1】 感動詞の統語的特徴

品詞 統語		非分析的表現			分析的表現				
		フィラー	あいづち	応答詞	感動詞	オノマトペ	名詞	形容詞	副詞
文の位置	文頭	+	-	+	+	+	+	+	+
	文中	+	-	-	+	+	+	+	+
	文末	+	-	-	+	+	+	+	+
	一文	-	+	+	+	+	+	+	+
句・節の構成	ポーズ	+	-	+	+	-	-	-	-
	格助詞「と・て」	-	-	-	+	+	+	+	+
	助動詞「だ」	-	-	-	+	+	+	+	+
	「みたいな」	-	-	-	+	+	+	+	+
	「みたいに」	-	-	-	+	+	+	+	+
文中の他の品詞との結び	名詞	-	-	-	▲	+	+	+	+
	形容詞	-	-	-	▲	+	+	+	+
	副詞	-	-	-	-	-	-	+	-
	動詞	-	-	-	▲	+	+	+	+

注) (+) : 現れる (-) : 現れない

▲ : 現れる場合も現れない場合もある

【表 1】を見れば分かるように、言語記号は、非分析的表現と分析的表現に分かれている。非分析的表現には、フィラー、相づち、応答詞等というものを含んでいるが、分析的表現には名詞、動詞、形容詞、副詞等を含んでいる。統語面を見ると、非分析的表現は、文の中に入ることができるが、単独で句や節となり、他の品詞（特に後続の語）と結び付きがなく、それらとの切れ目にポーズが挟まれているということがある。分析的表現は、文の中に入って、ポーズと共起せずに、助詞を伴って文節と成り、他の品詞と組み合わせさせて連体修飾句・連用修飾句・述語句を構成するということがある。それでは、感動詞は、非分析的な表現か分析的表現かという、それは統語上の特徴から判断できる。

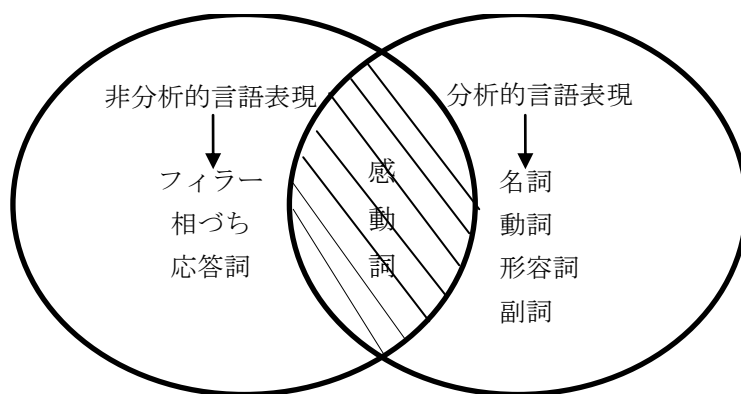
まず、文の位置においては、感動詞は、文の中に自由に入っている、即ち文頭・文中・文末に現れる、一文にさえなるということがある。

そして、句・節の構成においては、感動詞は、ポーズを伴っている一方、格助詞「と／て」が付いて文節を成す、また助動詞「みたいな」「みたいに」の前に出てきて、後続の語（他の品詞）と組み合わせることによって、連体修飾句や連用修飾句を構成することができる。しかも、助動詞「だ」の「だった」の前に出て来て、述語句も成す。

文中の他の品詞との結び付きを見ると、感動詞は、後にポーズが付き、後続の語に繋って

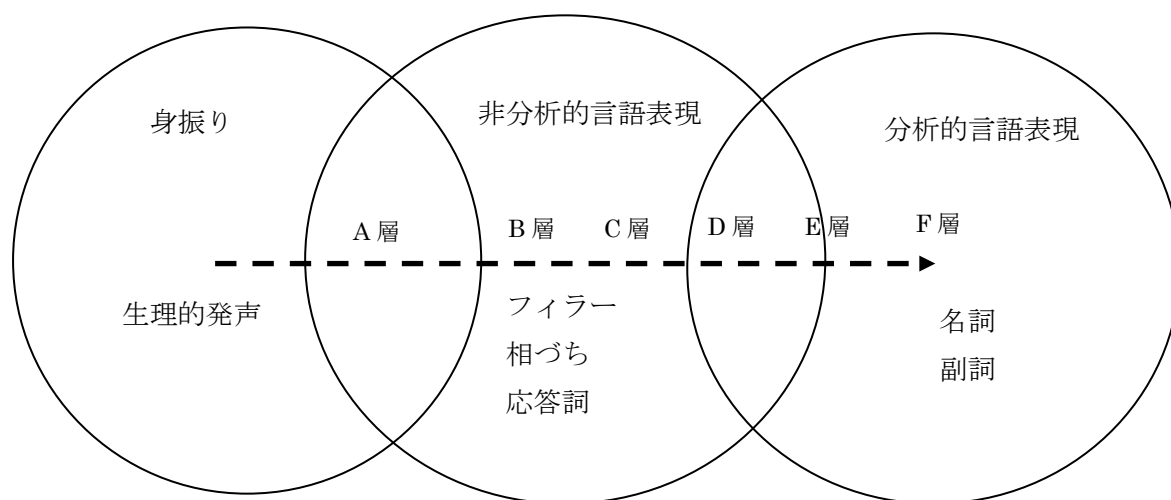
いないことがある。一方、「と／て」・「みたいに」「みたいな」を伴い、連体修飾・連用修飾の働きをして後続の語に繋っていることもある。

以上の特徴より、感動詞には、言語記号として、それ自体がフィラーのような非分析的表現の性質を持ちながら、名詞・副詞のような分析的表現の性質も現れる。それゆえ、下記の【図1】に表されるように、両者の中間的なものであると考えられる。



【図1】 中間的な要素としての感動詞

その中間性は、本研究の結果をみると、それ自身がそもそも一定ではない独立性をもっているものであることから、文の構造要素としての役割を果たし、複数の品詞性を表現するまでにある。これらの点は、【図2】のように、感動詞の言語構造過程に繋がると考えられる。



【図2】 感動詞の言語構造過程

【図2】をみると、感動詞は、元々身振りの生理的な発声であって、名詞のような概念的意味を持たず、ただ話者の反応として現れるが、話者の感情を対話の相手に知らせるため、機能的意味が出て来て、フィラーや相づちのような言語記号の役割を担うことになる。この点は、田窪行則(2005)では、感動詞・応答詞を身振りと言語記号の非分析的言語表現との中

間に位置とされている。また、本研究では、統語論の観点で得た調査の結果分析より、感動詞は、【図1】に示したように、フィラーのような非分析的言語表現と名詞のような分析的言語表現との中間的なものであるということも捉えた。これをみると、中間性は、言語学的には感動詞の固有な性質であり、言語構造過程には【図2】のように、感動詞自体が身振りから階層（A層・B層・C層・D層・E層・F層）にかけて名詞・副詞のような分析的言語表現に変わって行くということがある。即ち感動詞は、それ自体に階層性ができているので、分析的言語表現の性質を持っているものであると考えられる。

以上より、【表1】・【図1】・【図2】を全体的にみて考えると、感動詞と呼ばれている「えーっ」等は、その分析的言語表現形成過程においては、それ自体が機能面でも独立性面でもフレキシブル(flexible)なものとして現れる、特に品詞面では複数の品詞性を持ちながら、構文面では文・句・節・単語というあらゆる言語単位の役割を同時に果たしている。よって、本来感動詞という一つの品詞に位置付けられているのは、見直すべきであると思われる。

6. 問題点・今後の課題

感動詞は、田窪行則(2005)によって、心的モニター標識とフィルターの繋がりから見られ、生理的発声と言語記号との中間に位置されると共に、オノマトペとの形態上の類似性があるということも記述された。本論文でも、構文面でオノマトペと類似性があることを押え、感動詞がオノマトペへ移行する可能性があるということを押えた。但し、意味上、感動詞がオノマトペのように、音声形式と物事のイメージを表す意味の手掛かりがあるか、それがどのように現れるかという問題点が明らかになっていない。例えば、

- (1) a. 彼は社長の部屋を出て、テクテクと歩いていた。
- b. 彼は社長の部屋を出て、うんうんと歩いていた。

「テクテク」と「歩いていた」の手掛かりは歩き方を表すが、「うんうん」と「歩いていた」の手掛かりは歩き方を表すか、何だろうか。調査結果から同様の文も次のように捉えた。

- (2) a. 彼は社長の部屋を出て、うんうんという感じで歩いていた。
- b. 彼は社長の部屋を出て、うんうんと言って歩いていた。
- c. 彼は社長の部屋を出て、うんうんと頷きながら歩いていた。

(2) では、「うんうん」は、「うんうんと言う感じで」「うんうんと言って」「うんうんと頷きながら」というコンテクストに現れることから、歩いていたときの状態・様子を表す、即ち「彼はその様子で歩いていた」という意味を表すということが考えられる。こういう点は、統語論のアプローチで多くのデータで検討すれば捉えられるが、むしろ意味論のアプローチもすれば完全になるだろう。

また、本論文では、感動詞を言語記号として見て、他の語と組み合わせる力・概念的意味を表す力を探究した。他の語と組み合わせる力に関しては、統語論・品詞論のアプローチで、割りと捉えられたが、概念的意味を表す力に関しては、その組み合わせるパターンを観察することによって、連体修飾や連用修飾のような働きするということを押えたが、そこに淀まっている。すなわち、感動詞とその被修飾（後続の名詞・動詞）の意味上の繋がりについての記述は、まだ具体的には挙げられていない。先ず、連体修飾のような例を挙げる。

- (3) a. 彼はえっみたいな顔でその話を聞いていた。
- b. 彼はえって顔でその話を聞いていた。

(3) を見ると、(3a)の「えっみたいな顔」では、感動詞「えっ」が「みたいな」を伴って、その全体「えっみたいな」が「顔」を修飾しているが、(3b)の「えって顔」「え

「えーっみたい顔」は連体修飾節である。(3a)の「えーって顔」では、感動詞「えーっ」は、「と・って」を媒介して、その全体「えーって」が「えーっという」に相当して、引用句として働き、名詞「顔」を修飾している。そのうち、「えーっ」は、名詞としての役割をしている。この点に関しては、三矢重松(1908:447-448)でも「あとという声」の例を記述され、議論された。「あとという声」の「あ」は、物理的な音声でながらも「という」の前に出て来る故、感動詞ではなく名詞であるとなされている。本論文で記述した「えーっという顔」(「えーって顔」)の「えーっ」は、三矢氏の観点で見れば、名詞であると考えられる。構文的にはそうになっているいわば両者が「という」を媒介して名詞の機能をしているので、同様であると思われる。しかし、意味的には、「あとという声」と「えーっという顔」を比べると、それぞれの「という」の用法が違うだろう。よって、名詞を修飾することも違うのである。即ち、前者の「あ」は物理的な音を単純に模倣したものであり、「声」を修飾しているが、単純な「声」の名を示すものである。それと違って、後者の「えーっ」の修飾しているものが音声を示す名詞ではなく、人の頭部である「顔」を示す名詞である。それゆえ、その顔の名前を示すのではなく、「顔」の様子を表すことが考えられる。しかも、「えーって顔」は、「えーっみたい顔」の意味に近いということも、調査の被験者に指摘されたので、「えーっという顔」「えーって顔」の「えー」は、名前を示すという「という」の用法により、絶対「顔」の名を示すことではない。この点では、三矢重松氏の議論と本論文の議論に違うことである。次に(3)と同様であるが、連用修飾を見よう。

(4) A: その話をもう聞いた?

B: 聞いた聞いた。

A: どう思う?

B: そうだね。最初はちょっとえーっみたいに思っていたが、今は彼女みたいな人ならあり得るね。

(5) 学生は先生の話をふーんと聞いている。

(4), (5)をみると、「ふーんと聞いている」「えーっみたいに思っていた」は連用修飾節である。(4)の感動詞「えーっ」は、「みたいに」を伴って、その全体「えーっみたいに」が動詞「思っていた」を修飾している。(5)の感動詞「ふーん」が「と」が付いて、その全体が「聞いている」を修飾している。それゆえ、「えーっ」「ふーん」は副詞として働いている。感動詞が副詞として働いていることは、三矢重松(1908:447-448)でも「あと嘆く」の例を通じて議論された。「あと嘆く」の「あ」は、まず、単純な物理的な音声を表すものでながらも「と嘆く」の前に出て来る故、感動詞ではなく副詞であるとなされている。本論文では記述した「ふーんと聞いている」の「ふーん」は、三矢氏の観点で見れば、感動詞ではなく副詞としての機能をしているわけである。しかしながら、「ふーんと聞いている」と「あと嘆く」を比べると、意味的には、「あと嘆く」の「あ」は、嘆きの声を単純に模倣したものであるが、「ふーん」は、「ふーんと」で、聞き声を単純に模倣したのではなく、聞いている様子(聞き方)を表すものであると筆者が考える。

つまり、「えーって顔」「えーつみたいな顔」が「どんな顔」を示すか、「えーつみたいに思っていた」が「どのように思っていた」か、「ふーんと聞いている」が「どのように聞いている」かについては、そもそも微妙的な意味上の問題であって、本論文では具体的に記述できていない。こういう点は、意味論の観点から見ないと、十分に判断することは難しい。

感動詞は、その自身が音声的身振りから言語記号になるまで、また、言語記号としてフィラーのような非分析的なものから名詞・副詞のような分析的なものへ移行しつつある、しかもオノマトペと類似性があるという現象を見ると、意味上の変化に手掛かりがあるだろう。なお、本論文の調査では、被験者の意見をみると、感動詞は、4章で挙げられた文中のコンテキストで言えるが、意味がわかりにくいものがある一方、意味が通じるが、言わないものがある。この場合は、ジェスチャーがあれば、言えると言われる。例えば、次のような被験者の意見がある。

110297Q : じゃ、e は？

110298K : 「わーなった」

110299M : 「わーなった」って、私は言わん、と思います。

110300K : 言わないけど、通じる。

110301T : あー、難しい。

110302Q : T さんはどう思いますか。

110303M : わーなるって、なんか

110304T : なんかジェスチャーありそう。「わーなった」。(ジェスチャーした 31:15)。

110305M : うん。

110306K : それなら、なんか言いそう。

110307T : 「TOEIC 試験の 900 点見てさあ、わーなったよね」とか、言われても、ううんうんどうなった顔を、

110308K : あー。

110309T : 「今、TOEIC 試験の 900 点見てきてさあ、わーなったよね」とか、なんか、
そういう時は言いそう。なんか、表情とか

110310K : うん、感情感動？

110311M : うんうん。

110312T : うん。

この意見によると、「わーなった」は意味が通じるが言わない。しかし、ジェスチャーを伴えば、感情感動を表す意味が明らかになって言えるということである。

このように、「えーって顔」「えーみみたいな顔」「ふーんと聞いている」のような、文中のコンテキストで現れる感動詞は、名詞・副詞として概念的意味を表すにはジェスチャーや顔つきのような身振りにも手掛かりがあると考えられる。この点も今後の課題では明らかにすべきである。

以上より、今後の研究では、以上で述べた問題点を明らかにするために意味論のアプローチで考察するのが必要であると思われる。

7. おわりに

本論文は、時間的制限や調査実施が完全になっていないため、議論の余地がまだあるが、統語論・品詞論のアプローチで、若年層の言葉を対象として調査を行うことにより、従来の研究では感動詞と呼ばれている「えーっ」「いやー」「うーん」などの文構成における動態を観察し、言語学的な本質を探究していった。その結果、感動詞がフィラーのような非分析的言語表現と名詞・副詞のような分析的言語表現との中間的なものであるということから言語構造過程における感動詞の分析的言語表現へ進んでいる階層を捉えた。この成果は、感動詞の機能や品詞に対する新しい見方を取り上げたとともに、新しい研究方向を開くこと、特に歴史的な言語表現形成過程に関する研究には意義があるものと考えられる。

参考文献

- 池谷智子(2010)「引用形式をとった話し言葉のモダリティーコンビニに行こうっとの「ッ」は何を表すのか」『神戸松蔭女子学院大学 文林』No. 45 pp. 1-28
- 石神照雄(1979)「接続詞について」『信州大学教養部紀要第一部 人文科学第二部 自然科学』Vol. 14 pp. 1-11
- 大場美恵子(2009)「文末に用いられる「みたいな」」『日本語と日本語教育』慶應義塾大学 日本語・日本文化教育センター編
- 奥津敬一郎(1988)「「はい」と「いいえ」の機能」井上和子編『日本語の普遍性と個別性に関する理論的及び実証的研究』研究報告(4)1987年度科学研究費補助金特別推進研究(1)
- (1988)「応答詞「はい」「いいえ」の機能」『日本語学』8月号 明治書院
- 小野正弘編(2007)『日本語オノマトペ辞典：擬音語・擬態語 4500』東京 小学館
- 加藤陽子(2005)「話し言葉における発話末の「みたいな」について」『日本語教育』No. 124
- 鎌田修(2000)『日本語の引用』ひつじ書房
- 黒崎良昭(1987)「談話進行上のあいづちの運用と機能」『国語学』150 pp. 15-28
- 小池清治他(2007)『日本語キーワード辞典』朝倉書店
- 小松光三(1991)「感動詞(感受受容詞)と接続詞(承受関係詞)」『愛媛大学法文学部論集』Vol. 24 pp. 17-43
- 小宮千鶴子(1986)「あいづち使用の実態—出現傾向とその辺—」『語学教育研究論 3』大東文化大学語学教育研究所 pp. 43-62
- 定延利之(2002)「「うん」と「そう」に意味はあるか」定延利之(編)『「うん」と「そう」の言語学』ひつじ書房 pp. 75-112
- (2005a)「「表す」感動詞から「する」感動詞へ」『言語』34:11 pp. 33-39
- (2005b)「日本語のイントネーションとアクセントの関係の多様性」『日本語科学』17 pp. 5-25
- (2007)「話し手は言語で感情・評価・態度を表して目的を達するか—コミュニケーションから見えてくること」『自然言語処理』Vol. 14 No. 3 pp. 3-15
- 定延利之・田窪行則(1995)「談話における心的操作モニター機構—心的操作標識「ええと」と「あの(一)」」『言語研究』108 pp. 74-93
- ジル・フォコニエ, 坂原茂・水光雅則・田窪行則・三藤博共訳(1996)『メンタル・スペース—自然言語理解の認知インターフェイス—』白水社

- 鈴木一彦他(1973)『品詞別日本文法講座 6』明治書院
- 高山善行(2002)『日本語モダリティの史的研究』ひつじ書房
- 田窪行則(1992)「談話管理の標識について」『文化言語学—その提言と建設』 pp. 1097-1110, 三省堂
- (1994)「音声対話の言語学的モデル：談話管理標識としての感動詞の分析」『情報処理学会研究報告. SLP, 音声言語情報処理』 pp. 15-22
- (1995)「音声言語の言語学的モデルを目指して—音声対話管理標識を中心に—」『情報処理』 Vol. 36 No. 11 pp. 1020-1026
- (2005)「感動詞の言語学的位置づけ」『言語』 34:11 pp. 14-21
- 田窪行則・金水敏(1997)「応答詞・感動詞の談話的機能」音声文法研究会(編)『文法と音声』くろしお出版 pp. 257-279
- 田守育啓(1991)『日本語オノマトペの研究』神戸商科大学経済研究所
- (2002)『オノマトペ 擬音・擬態語を楽しむ』岩波書店
- 田守育啓・ローレンス・スコウラップ(1999)『オノマトペ：形態と意味』くろしお出版
- 塚原千賀子(2001)「あいづち研究—トーク番組におけるあいづちを使用と実態—」『昭和女子大学大学院日本語教育研究紀要』昭和女子大学 pp. 1-10
- 土屋菜穂子(1997)「感動詞の分類—対話コーパスを資料として—」『平成9年国語学会春季大会発表要旨集』 pp. 70-77
- (1999)「感動詞の分類—対話コーパスを資料として—」青山学院大学文学部(編)『紀要』 41 pp. 239-255
- 富樫純一(2001)「情報の獲得を示す談話標識について」『筑波日本語の研究』筑波大学 文芸言語研究科 日本語研究室 No. 6 pp. 19-39
- (2002a)「談話標識「ふーん」の機能」『日本語文法』 2:2 pp. 95-111
- (2002b)「「はい」と「うん」の関係をめぐって」定延利之(編)『「うん」と「そう」の言語学』ひつじ書房 pp. 127-157
- (2005a)「驚きを伝えるということ—感動詞的「あっ」と「わっ」の分析を通して」串田秀也・定延利之・伝康晴(編)『活動としての文と発話』(シリーズ文と発話;1)ひつじ書房 pp. 229-251
- (2005b)「肯定・検索・問い返し—感動詞「ええ」の統一的記述を求めて」筑波大学大学院人文社会科学研究科文芸・言語専攻(編)『文藝言語研究言語篇』 48 pp. 77-93.
- (2005c)「「へえ」「ほう」「ふーん」の意味論」『言語』 34: 11, 22-29
- (2006)「否定応答表現「いえ」「いいえ」「いや」」矢沢真人・橋本修(編)『現代日本語文法 現象と理論のインタラクション』ひつじ書房 pp. 23-46
- 時枝誠記(1950)『日本文法口語編』岩波書店

- (1989)『日本文法文語編』岩波書店
- 中島悦子(2011)『自然談話の文法—疑問表現・応答詞・あいづち・フィラー・無助詞—』(株)おうふう
- 中島平三・瀬田幸人監訳(2009)『オックスフォード言語学辞典』朝倉書店
- 仁田義雄他(2008)『現代日本語文法』日本語記述文法研究会編
- 仁田義雄(2010)『日本語文法著作選 第3巻 語彙論的統語論の観点から』ひつじ書房
- 洞澤伸(2011)「若者たちが使用する「ぼかし言葉」“かな、みたいな”と“って感じ”の語用論的機能」『岐阜大学地域科学部研究報告』No. 28 pp. 41-49
- 橋本進吉(1934)『国語法要説』pp. 11-22
- 服部四郎他(1979)『日本の言語学 第4巻 文法Ⅱ』大修館書店
- 飛田良文他(2002)『現代日本語講座 第5巻 文法』明治書院
- 日向茂男(1980)「談話における「はい」と「いいえ」の機能」国立国語研究所報告 65『研究報告集 2』国立国語研究所
- 堀口純子(1988)「コミュニケーションにおける聞き手の言語行動」『日本語教育』64 pp. 13-26
- (1997)『日本語教育と会話分析』くろしお出版
- 益岡隆志(1991)『モダリティの文法』くろしお出版
- (2007)『日本語モダリティー探究』くろしお出版
- 南不二男(1974)『現代日本語の構造』大修館書店
- 三矢重松(1908)『高等日本文法』明治書院
- メイナード, 泉子・K(2002)『会話分析』くろしお出版
- 三原健一・平岩健(2006)『新日本語の統語構造』松柏社
- 宮地裕他(1976)『岩波講座 日本語 6 文法 I』岩波書店
- 森山卓郎・仁田義雄・工藤浩(2000)『日本語の文法 3 モダリティー』岩波書店
- 森山卓郎(1989a)「応答と談話管理システム」大阪大学文学部日本学科(言語系)(編)『阪大日本語研究』1 pp. 63-88
- (1996)「情動的感動詞考」大阪大学国語国文学会(編)『語文』65 pp. 51-62
- 山下耕二・水上悦雄(2007)「図形説明課題対話におけるフィラーの分析: 心的マーカによる内的処理プロセスの理解へ向けて」『自然言語処理』言語処理学会 Vol. 14 No. 3 pp. 39-60

- 山田孝雄(1936, 1984)『日本文法学概論』宝文館出版
- 山根智恵(1997b)「話しことばにおけるフィラー～留守番電話と電話の会話資料をもとに～」
『平成9年度日本語教育学会春季大会予稿集』
- (1998a)「話しことばにおけるフィラー～留守番電話と電話の会話資料をもとに～」
『全国語学教育学山口支部紀要』4
- (2002)『日本語の談話におけるフィラー』くろしお出版
- 塚原千賀子(2001)「あいづち研究—トーク番組におけるあいづちを使用と実態—」『昭和女子大学大学院日本語教育研究紀要』昭和女子大学 pp. 1-10
- 渡辺実(1974)『国語文法論』笠間書院

謝辞

調査にあたり、埼玉大学・北九州市立大学・佐賀大学・山口大学の学部生と院生、及び山口南ロータリークラブ、山口市平川地域交流会の風の会、山口県在住の多くの方々からご協力をいただきました。ご丁寧な回答は、本論文に非常に役に立ち、データと有力な証拠をくださいました。本当にどうもありがとうございました。

留学期間に学費と生活費を援助してくださった日本の山口大学、ベトナム政府及びベトナム文部省国際協力教育開発局 (Vietnam International Education Development - Ministry of Education and Training) に感謝の意を表します。

本論文の作成にあたっては、終始適切な助言を賜り、また熱心に指導してくださった有元光彦先生に心からの感謝を表します。福田隆眞先生、藤原マリコ先生、吉村誠先生、東アジア研究科の先生方々との議論は本論文に大きな示唆をくださいました。どうもありがとうございました。

最後になりましたが、家族（特に主人）、友達、後輩達から激励をいただきました。どうもありがとうございました。

付録

(調査データ)

データの提示

文字化・データに取り扱った記号は、以下の通りに説明していく。

- (1) 【挨拶・指示の省略】とは、録音を取らなかったことがあって、略されたということである。
- (2) 【100001Q】とは、最初の2桁数字【10】がデータの番号を、次の4桁数字【0001】が通し番号を表す。最後の文字【Q】がという文字が調査人を表す。それとも、アンファベルトの【A, B, M, K, Y】とは被験者を表す。
- (3) 【「 」】の中は、元々例文であるが、被験者や調査人に読み上げられたものである。それとも、感動詞の例として被験者に言い出されたものである。例としては、次のような網掛けの箇所を見よう。

「…100009Y: 私もえーと「と」が入ったほうが通じると思うんですけど、この4番の「うんうん答えた」っていうのは、言えると思います。後、10番の「うわっお金をもらった」っていうのはこのうわって途切れている気がして、会話の中だったら、ちゃんと通じるような気がしますね。

100010Q: あー、そうだね。はい、だいたい、なんか、あの感動詞の「ふーん」の後ろにポーズが入ると思いますか。…」

- (4) 文中に書かれた【(0.1秒)】とは、言う時にポーズの長さを表す。以下のような網掛けの箇所にある。例としては、以下のような網掛けの箇所を見よう。

「…100015K: 「彼はえーあー・・・」、

100036Y: 通じるような気もしますが、「はあっ (0.1秒) 立ちあげった」、

100037M: 効果的な(…)ですね。…」

- (5) 【(…)]の箇所は、聞き取れないものである。例としては、以下のような網掛けの箇所を見よう。

「…100015K: 「彼はえーあー・・・」、

100036Y : 通じるような気もしますが、「はあっ (0.1 秒) 立ちあげった」、

100037M : 効果的な (…)

- (6) 文中に書かれた【(19 : 24)】とは被験者が「わーわー」を発音する時刻である。また【┌ / ┐】などの曲線は、発音のアクセントを表す。以下の例を見よう。

「… 100228Y : うん、言いそうですね。発音、発音が関係すると思います。

「わー┌わー」(19 : 24) 喜びじゃなくて、「わー┐わー」喜び。

100229Q : あー、そうですね。はいはい。…」

- (7) 【()】の中に書かれたものは、調査人・被験者の行動を述べる。以下のような例として挙げておく。

「…080738G : 「うわー」、「うわー恥ずかしい」とか言うか。

080739Q : 文字化は、こういう形ですか。

(調査人は被験者に「うわー」「うわっ」と書いた紙を見せた)

080740G : 小さい「ッ」かも。あ、どっちも使います。その時によって、「うわっ」

とか「うわー恥ずかしい」、はい、どっちも言います。

080741Q : ありがとうございます。

(中略)

080760G : 恥ずかしさによる。

080761Q : ですか。

080762Q : はい、ありがとうございます。あの、他のをお願いします。

(G は 01 : 04 : 36~01 : 04 : 47 例文を読み上げた)

080763G : 「うんうん」。…」

- (8) 調査のデータは、以下のページに載せてある。

付録 1 第 2 回調査のアンケート → pp. 1

付録 2 第 1 回調査 → pp. 5

付録 3 第 3 回調査 → pp. 99

付録 4 第 4 回調査 → pp. 169

付録 5 第 5 回調査 → pp. 182

[付録1 第2回調査]

日本語母語話者の言葉使用についての調査アンケート

私は山口大学大学院東アジア研究科の教育開発コース博士課程2年生の^{ウオン ティ ビック リエン}VUÔNG THỊ BÍCH LIENと申します。現在、私は日本語母語話者を対象として、日本語の「へー」や「わあー」のような言葉がどのように使用されるかについて研究しております。この度、その研究のための調査にご協力をいただければ、本当に助かります。皆様ご多忙のこととは存じますが、ご協力を是非よろしくお願い致します。

言うまでもありませんが、回答していただいたデータは、今回の調査研究以外の目的では使用しません。

それでは、まずご自身について、該当するものに○をつけてください。

性別： 男性・女性

年齢： 10代（17歳以上）・20代・30代（32歳以下）

次に、アンケートの記入方法について説明します。

下記のそれぞれの文（会話）の に入る言葉として、その下にいくつかの候補が書かれています。それらそれぞれの候補が に入るかどうか判断していただき、以下の◎、○、△、×のいずれかの記号を（ ）にそれぞれ記してください。

◎： 言う（使う）ことができる。

○： 少々変であるが、言えそうな（使えそうな）気もする。

△： 自分は言わない（使わない）が、聞いたことはある。

×： 自分は言わない（使わない）し、聞いたこともない。

それでは、以下アンケートのご回答ください。

1. おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、 だった。

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| () わあー時計 | () うわー時計 | () おー時計 |
| () わあーの時計 | () うわーの時計 | () おーの時計 |
| () わあーみたいな時計 | () うわーみたいな時計 | () おーみたいな時計 |
| () わあーって時計 | () うわーって時計 | () おーって時計 |

2. 彼が言ったことが本当だったら、それは だね。

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| () えーっ話 | () へー話 | () ほおー話 |
| () えーっの話 | () へーの話 | () ほおーの話 |
| () えーっみたいな話 | () へーみたいな話 | () ほおーみたいな話 |
| () えーっって話 | () へーって話 | () ほおーって話 |

3. 社員1：今朝の会議で田中さんが言ったことは、 だね。

社員2：うん、そうだね。

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| () ふーん意見 | () うーん意見 | () うんうん意見 |
| () ふーんの意見 | () うーんの意見 | () うんうんの意見 |
| () ふーんみたいな意見 | () うーんみたいな意見 | () うんうんみたいな意見 |
| () ふーんって意見 | () うーんって意見 | () うんうんって意見 |

4. A: 結婚相手として、彼女はどうか?

B: 彼女? うーん、ちょっとね。

C: そうだね。 だね。

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| () うーん女の子 | () ふーん女の子 | () いやー女の子 |
| () うーんの女の子 | () ふーんの女の子 | () いやーの女の子 |
| () うーんみたいな女の子 | () ふーんみたいな女の子 | () いやーみたいな女の子 |
| () うーんって女の子 | () ふーんって女の子 | () いやーって女の子 |

5. A: この話、もう言った? 彼女に。

B: 言った言った。

A: 彼女はどのような反応だった?。

B: そうだね。 だった。

- | | | |
|---------|----------|----------|
| () うーん | () ふーん | () えーえー |
| () あっ | () そうそう | () えっ |
| () へー | () あーあー | () うんうん |
| () ほお | () おー | () おっ |

6. 今朝電車の中で を見たので、その姿が一日中頭から離れない。

- | | | |
|---------------|----------------|----------------|
| () えっ女の子 | () ほおー女の子 | () へーっ女の子 |
| () えっの女の子 | () ほおーの女の子 | () へーっの女の子 |
| () えっみたいな女の子 | () ほおーみたいな女の子 | () へーっみたいな女の子 |
| () えって女の子 | () ほおーって女の子 | () へーって女の子 |

7. 彼は でその話を聞いていた。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| () ほおん顔 | () えーっ顔 | () ふーん顔 |
| () ほおんの顔 | () えーっの顔 | () ふーんの顔 |
| () ほおんみたいな顔 | () えーっみたいな顔 | () ふーんみたいな顔 |
| () ほおんって顔 | () えーっって顔 | () ふーんって顔 |

8. その質問を一週間ずっと考えていて、やっと が得られた。

- | | | |
|----------------|--------------|--------------|
| () うんうん答え | () へー答え | () おー答え |
| () うんうんの答え | () へーの答え | () おーの答え |
| () うんうんみたいな答え | () へーみたいな答え | () おーみたいな答え |
| () うんうんって答え | () へーって答え | () おーって答え |

9. 「きのうね、掃除のとき、引き出しを開けたら、 が飛び出しちゃって、...。」

- | | | |
|----------------|---------------|----------------|
| () きゃあねずみ | () あっねずみ | () うわっねずみ |
| () きゃあのねずみ | () あっのねずみ | () うわっのねずみ |
| () きゃあみたいなねずみ | () あっみたいなねずみ | () うわっみたいなねずみ |
| () きゃあってねずみ | () あってねずみ | () うわってねずみ |

10. 兄：彼女、おまえの話、聞かせたら、 ってるよね。

弟：そうだよな。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| () あー | () へー | () はあっ |
| () ほおー | () えーっ | () うーん |
| () おっ | () おー | () ふーん |
| () あっ | () えっ | () ほおん |

11. A: 連休に、旅行行った？

B: うん、ベトナム行った。

A: へー、どんなところ？

B: ところだよ。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| () おー面白い | () へー面白い | () えっ面白い |
| () おーと面白い | () へーと面白い | () えっと面白い |
| () ほおー面白い | () ふーん面白い | () いやー面白い |
| () ほおーと面白い | () ふーんと面白い | () いやーと面白い |

12. A: 昨日、社長の家へ訪問に行ったんだって、どうだった？

B: 良かったよ。奥さんが 料理を作ってくれたよ。

A: へー、いいな。

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| () ほおーおいしい | () おーおいしい | () おっおいしい |
| () ほおーとおいしい | () おーとおいしい | () おっとおいしい |
| () へーおいしい | () あっおいしい | () わーおいしい |
| () へーとおいしい | () あっとおいしい | () わーとおいしい |

13. A: 「耳なし芳一」は、 話だね。

B: ねえ。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| () わー怖い | () へー怖い | () いやあ怖い |
| () わーと怖い | () へーと怖い | () いやあと怖い |
| () うわー怖い | () うーん怖い | () ほおー怖い |
| () うわーと怖い | () うーんと怖い | () ほおーと怖い |

14. 彼女は、さっき入ってきた男の人を 見てから、部屋を出て行った。

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| () えっと | () うーんと | () あれと |
| () ふーんと | () へーと | () あっと |
| () ほおーと | () おっと | () あーと |
| () ほおんと | () いやーと | () うんうんと |

15. 彼は、社長の部屋を出て、 歩いていた。

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| () えっと | () うーんと | () まあと |
| () ふーんと | () へーと | () はあっと |
| () ほおーと | () おっと | () あーと |
| () ほおんと | () いやーと | () うんうんと |

16. 彼女の家へ行く途中で、雨が 降ってきた。

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| () えっと | () うーんと | () まあと |
| () ふーんと | () へーと | () はあっと |
| () ほおーと | () おっと | () おーと |
| () おいおいと | () いやーと | () えーっと |

最後になりましたが、その他、日常会話の中で気になった「へー」「うーん」「ほおー」「おー」「えーっ」などの言葉の使い方があれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

〔付録2 第1回目の調査方法の説明・被験者の同意署名〕

調査に御協力くださる皆様へ

この度は、私どもの調査に御協力いただきましてありがとうございます。
下記に、調査の具体的な内容、方法を書きましたので、お読みください。内容をご了承いただけたら、下欄にご署名ください。よろしくお願ひします。

【目的】日本語において、日常会話のとき、男性の言葉と女性の言葉では感動詞がどのように現れるか、また年齢によってどのような差があるかについて、日本語母語話者を対象に研究しています。今回の調査では、日本語日常会話のデータを集めます。

【方法】調査は、他の同世代同性別の日本人協力者と共に2人のグループになって、話題について30分程度お喋りしていただくという調査です。談話室の中にビデオカメラが置いてあり、皆様の話と映像をビデオに撮ります。

【結果の分析と報告】結果に関しては、全体の傾向を検討します。したがって、個人同士の結果を比較したり、個人名の結果を公表したり一切致しません。全体の結果は研究論文として学会誌に発表する予定です。

なお、いただいた調査の資料と個人の情報を研究以外の目的に使用したり、部外者に貸したりすることは一切しないことを約束します。

研究結果に関してのご質問、ご意見は、山口大学大学院東アジア研究科の VUONG THI BICH LIEN にご連絡ください。

【映像録画】皆様の会話をカメラで録画をします。これは、後日、調査の会話を見直して、音の高低パターンや発話の言葉、会話中の映像を分析するためのものです。この映像を、研究以外の目的に使用したり、部外者に貸したりすることは一切しないことを約束します。

署名欄

以上の内容について了承し、調査に協力します。

調査協力者署名 _____

調査担当者署名 _____ 年月日 : 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

山口大学大学院東アジア研究科教育開発コース博士課程1年生

調査担当者 ヴォン ティ ビック リエン VUONG THI BICH LIEN

連絡先：山口市若宮町7-19 豊島アパート201 TEL：080-4262-1645

第 1 回調査の文字化

※ 実施時間：2011 年 3 月 4 日 (31 分)

被験者：女性 20 代

場所：山口大学の東アジア研究科棟 207 号室

調査人：VUONG THI BICH LIEN

(挨拶・指示の省略)

010001A：え、どうしよう。

010002B：どうしようか。話題が。

010003A：ね、突然すぎて。

010004B：ほんとよね。

010005A：なんか、何か紙に書くのかと思ってた。

010006B：そうそうそう。私も普通に紙に何かかいてやるのかとおもってたんやけど。どうしようかね。

010007A：どうしよ、どうすればいいんだ。

010008B：へー、話題、話題やろ、春休み最近どう？

010009A：春休み、なんか、もう、ダメやね。充実してないねまじで。

010010B：マジで。え、実家結局どうしたん。

010011A：実家は・・・

010012B：なんか、え、9 日バイトなんやろ？

010013A：うん、そうそうそう。来週の火曜日からがバイトで、とりあえず実家戻って、

010014B：うん。

010015A：で、先週も実家帰ったんやけど、1 週間くらい。

010016B：よう帰るね、頻繁やね。

010017A：いや、なんか帰りたくなかったんだけど帰れっていうから仕方なく。

010018B：厳しいな。

010019A：じゃけ帰ったけど、

010020B：うん。

010021A：することもなく。

010022B：あ、マジで。えー

010023A：まあ、毎日なんか駅前でふらふら買い物して。

010024B：あ、いいな。駅はいいよね。

010025A：いいね。

010026B：まだ成績見とらんのよね。

010027A：あ、そうなん。

010028B：そうそうそう。どうなっとるんやろう。っていうかなんかさあ、みかりんにさ、あれよね、フレッシュマンセミナーとかあったじゃん、なんか一番最初にさあ、なんか、その年度が始まる時、

010029A：あああああ。

010030B : 1年生とか集まったりするやつ、3年生ってあったっけ。
010031A : あっ、なんか、3年生のあれやろ、オリエンテーションやろ。
010032B : そうそうそう。掲示板にもう出とる？
010033A : うん、あったよ。
010034B : まじで。いつ？
010035A : 7日の。
010036B : あ、4月7日の。
010037A : うん。
010038B : へー。よいしょ。7日の。
010039A : 13時15分から。なんか、受付が、12時、違う、受付が13時くらいから。
010040B : あーあー。受付が13時くらいからか。えー、ありがとありがと。
010041A : んー。
010042B : こんなんやっていいんだろっかっていう。
010043A : いや、いいと思う。
010044B : あー、そうか。全然見とらんわ。
010045A : なんか介護実習の、
010046B : うん、
010047A : 掲示があるけん、
010048B : あはあ。
010049A : その時に見たんよね。
010050B : あ、マジか。大変や。
010051A : 今忙しいじゃろ生協とか。
010052B : 生協ね、まあ、今月はもう、7日？じゃないわ8日からずっと入るんよね。8日から最後までずっと毎日バーって。
010053A : へーっ。
010054B : 途中途中1日だけ休みが、18日だけ休みがあってあとはずっと。
010055A : まじ、すごーい。
010056B : シフトがやばかった。
010057A : あれやろ、なんか、あのアパート探しとか。
010058B : そうそうそう。なんか留学生の対応もあってからさ。私一人しかいなかったから私一人でずっと対応するっていうまじなんなんこれみたいなの。
010059A : すごー、こわい。
010060B : むっちゃこわいまじで。なんかさ、日本何畳とかあるじゃん。
010061A : うんうんうん。
010062B : こう、6畳とかさ。まじ畳をさ。
010063A : 分からんじゃろ。
010064B : このなんかこう、部屋の間取りの時に、6畳とかみたいなん書いとるんやけど、6畳の洋室ですみたいな、
010065A : あー、

010066B : 部屋これはどういう意味ですかとか聞かれて。分からん、どう言えばいいんだろう
みたいな

010067A : むずっ、6 畳とか。確かに。向こうってどうなんかいね。

010068B : なんだろう？ヘクタールとか？分かるかな。

010069A : ヘクタール？

010070B : でも平方メートルも分からんくてえへーみたいな。

010071A : あーあー。

010072B : やけん、畳調べたらたたみって書いてあったから たたみとかさあ知らんやろ。

010073A : 畳の大きさが分からんじやろ。でも、

010074B : 畳っていっても 3,3 メートルかける何メートルとかそうなんやけえさあ。畳自体
が分からんのよね。え、アフリカンとこらへんの人で、

010075A : ああー。

010076B : 獣医、獣医のなんかドクターだった、

010077A : おー (驚き)、すげ、

010078B : ドクター課程の人かしこーいみたいな。

010079A : へー、大変やな。

010080B : うん。ゆうてね、まあ、なんかこれは給料もらっとるけ、

010081A : あー、

010082B : まあまだ、みたいな、やったけどね。

010083A : いやー、すごいわ。

010084B : ゆうて自分もバイトしとるやろ。

010085A : バイトしとるけど。

010086B : 塾講？

010087A : ナメとるよ。塾講やけど。うーん。

010088B : 中学生？

010089A : もおるし 高校生も。あと小学生も教える。

010090B : へー、やばいね。

010091A : この前小 3 教えたんやけど。

010092B : 何教えるん？英語無いんじやろ。

010093A : なんか、数学と国語。

010094B : へー、まじで。

010095A : ひたすら掛け算しよってから。

010096B : 掛け算。

010097A : 筆算やろうか一つって。ちゃんとそろえて書くんよって。

010098B : 難しいわ、そんなん。

010099A : へー、まじ言うこと聞かんくて。

010100B : 女の子？

010101A : うん。

010102B : はー。でもませとるよ最近の子。

010103A : うん。そう。怖いしまじ小学生。
010104B : うちの友達も塾講やっとなってから、それでなんか女の子の塾の生徒がおって、
010105A : うん。
010106B : その子が AKB がすごく好きらしくってさ、その子が毎回会うたびにさ、切り抜きく
れるらしいんよ。友達ネームプレートしとるんよ、
010107A : うんうんうん。
010108B : ネームプレートの中に全部
010109A : 可愛いけど。
010110B : かさい、かすい、かなんかそんな感じの名前の人。
010111A : へえー。
010112B : そうそうそう。
010113A : うん、ひたすら自分の話しかせんくて。
010114B : あ、その子が？
010115A : うん。鉛筆持たらずっと家の話をずーっとしよって。へえー、おもしろいな。
010116B : へえー。塾講とかならんわ。こわいわそれは。
010117A : まじ実際毎日びくびくしながら行きよーる。
010118B : えー、どんだけ。がんばってよ。二十歳頑張ってよ、十歳くらい違うよ。
010119A : 高3とか、まじ自分の能力越えとるやつとか、ほんと、教えきらんし。
010120B : 志望校とかだいぶ高いん？
010121A : うん、そう。じょうちゅう受けますみたいな。
010122B : (…)
010123A : 赤本答え開きながら教える、みたいな。まじ最悪まじ。
010124B : ゆうてそれでいいじゃろ？
010125A : みんな、なんかまわりの人に聞いたら、そんな感じよみたいに言うけど。
010126B : あーうんうん。太刀打ちできんじゃろ。じょうちゅうとか。無理やし。
010127A : しかも解答持ってこんかったやつがおって。解答なかったらほんと困るけん。並べ
替えを並べかえきれんくて。
010128B : 英語？
010129A : うん。
010130B : うんうん。
010131A : うーん。もう無理無理。思い出ただけでこわいし。
010132B : え、それをまた今度やるんやろ？来週から？
010133A : あ、それはもう終わった。
010134B : 終わった？あ、終わった。
010135A : 冬のやつやったけん。
010136B : あ、そっか。てか大学受験やったけか、そういうの。
010137A : そうそうそう。
010138B : あー、懐かしい。
010139A : 懐かしい。センター解けない多分。

010140B : センターね無理やろ多分。
010141A : 読む気が失せるもん。
010142B : なんかもう、わたしの英語の能力どれだけ低下したんじゃないろう。
010143A : それー。
010144B : 英米なのに。しかもゼミ結局いつ決まったん？
010145A : あれ、もう出とったよ。
010146B : 出とるんかーい。見にいこう。
010147A : 太田先生じゃったよ
010148B : まじで、見てくれてるありがとう。
010149A : やっぱり、だから。
010150B : え、どうなんか。
010151A : うちあれ、矢部先生。
010152B : あ、やったね。
010153A : やった。副教員が太田先生。
010154B : 私の先生副教員誰だろ？
010155A : うーん？
010156B : そんな気がする。やった、太田先生か。出てんだ。
010157A : 他の先生もっとおったよ。
010158B : まじで。
010159A : うん、そうそう。
010160B : ゆうて沢原君やるってよーたよ。けっきょくあれどうなったん？石井君岩部先生？
010161A : 石井君、うん。石井君と、近藤君と、
010162B : 男ほぼいっとるやん。
010163A : あと誰やったかな、あと2、3人おった
010164B : えっ、結構通つとるね。
010165A : うん、そうそうそう。
010166B : えー。
010167A : で、文学が。
010168B : うん。
010169A : 何人やったかな。
010170B : 2、3人？まさか。
010171A : いや、けっこうおった。
010172B : ゆーておった？
010173A : 5、6人くらい
010174B : 少ねー
010175A : 2、3人ではなかったけど、
010176B : マジで？それ1階の掲示版に出とー？
010177A : いや、上。
010178B : 上？こえーまじやべー。見とこ。

010179A : なんか三好君が文学行くって。
010180B : へー、三好君文学っぽくない。
010181A : アルク行くたびにおるし。
010182B : あたしも今日会ったし。
010183A : まじで。
010184B : でもあの人なんかゆーて英語教師目指しとるやろたしか。
010185A : そうなん。
010186B : 英米の文集に書いてあった。
010187A : あ、まじで。
010188B : 英語教師多い気がする。石井君もそうだよね。
010189A : だよなー。
010190B : へー。
010191A : 近藤君って誰だっけ。
010192B : おるよ、なんか飲みが一番参加してる人が近藤君で。
010193A : あー。じゃ多分合っとする。
010194A : うんうん
010195B : うんうん。
010196B : あと女の子？一緒なの。
010197A : 何が？
010198B : 自分のゼミ。
010199A : あー、えーとね、誰やったっけ、あの子よ。あの子。出てこん名前が。やばい
010200B : 後半？
010201A : いや、うちと近かった。
010202B : えーっ（驚き）？誰だ？
010203A : え、後半、あ、わからん。
010204B : まあ、誰か誰か。うれしいなんだかな。
010205A : し、しおり？しおりちゃん。
01206B : あー、しおりちゃん？このしおりちゃん？
010207A : うん、うん。確か。確か。
010208B : えー、しおりちゃん一緒なんだ。
010209A : 多分。いや分からん。
010210B : まじか。全然見とらんかったな。
010211A : うーん。
010212B : あー、やば。
010213A : うーん。どうなるんやろう。
010214B : どうもならんと思うけど。もうこうなってしまった以上。
010215A : あー、しかも、父さんと母さんも英語学専攻しとったけん大学で。
010216B : えっ、そうなん。へー。
010217A : 家帰ってうち（…）になったけえって言ったらなんなの（…）って意味ないって言

われて。

010218B：両親何論？

010219A：母さんはチョムスキー。トウゴ論やって 父さんは、なんだったかなあ、なんか方言？

010220B：太田先生じゃね？オウイン論とかじゃないよね？

010221A：オウイン論とトウゴ論のはざま？

010222B：はざま？太田先生じゃね？

010223A：意味がないのよとか言われてから。

010224B：カッチーン。

010225A：意味無く無いしとか言って。

010226B：カッチーン。え、まじで、えー。

010227A：まあどうなることやら。

010228B：どうなることやら。ほんと。

010229A：(…) 文学の。

010230B：マジで。やろうな。まあ5人のあたりで(…) と思ったけど。

010231A：そうそう。

010232B：へー。良いんだろうか。今年そうしちやったけど。

010233A：うーん。どうなるんやろなあ。

010234B：うーん。

010235A：なんか、公務員講座受けるん？

010236B：あー、迷っと一今。

010237A：あ、そうなん。

010238B：ゆうて、多分一般にしようかなみたいな。お金ないし。リアルに。

010239A：えー。

010240B：三十万いくけんさ。

010241A：そうなん。

010242B：そうそうそう。

010243A：そんなに高いんあれ。

010244B：そうなんよ 30 万いくんよあれ。

010245A：普通に5、6万程度だとおもってた。

010246B：それはプレ講座だけやねん。最初の試みたいなのやつが。2年生のときに

010247A：うわー。最悪。

010248B：そうそうそう。公務員講座三十万かかるけえさ。本講座は。

010249A：へえー。

010250B：1年間ずっと勉強に、

010251A：はあー。

010252B：大学授業やったあとも6コマとかそんくらい(…) 9時まで学校にいられて、嫌々みたいな、勉強しては、私はなんか続け、なんか勉強ずつとしてやりたい職業があるかっていったらうーんみたいな。

010253A : あ、そっか。どうしよ。
010254B : あれれー？教師やろ？
010255A : 教師なるのは決定なんやけど、
010256B : うん、
010257A : もうね、今ね、なんか勉強しよって教採の、
010258B : うんうん。
010259A : 全然本当分からんくて、日々自信をなくして。
010260B : いえ、やばくね。それはどうなんだろう。
010261A : やー、教師向いてる人とか。
010262B : フローチャートみたいなの？
010263A : うん、そうそう。まじ当てはまらんわと思って。やばい。
010264B : へえー。私も一般がいいかなあと思ってるけどさあ。空港がいいんよ、
010265A : おーん。
010266B : 空港の地上？グランドスタッフが良くて、
010267A : うーうんうんうん。
010268B : グランドスタッフがいいけど、果たしてあれはそんなに採用あるつけみたいなの。なにかいっぱいそんなに無い気がするけどみたいなの。
010269A : うーうんうんうん。うちも一時期空港で働くの憧れとったけど。
010270B : そうそうそう。CA が良かったんじゃけど 身長で段階でわたし足りんくてさバツサリ。身長が足りんのは無理じゃけえさ、諦めがいいけえさあ。諦めーの。グランドスタッフかなみたいなの。
010271A : えー、いいなあそれと。
010272B : えー、教師。
010273A : 空港働きたい。
010274B : 空港がいいけどさあ、空港やるにしても、どこの空港にするかみたいなのゆうていろいろ、
010275A : あーん。
010276B : 一応日本国内にもあるじゃん、
010277A : あーん。
010278B : どうしようみたいなの。
010279A : どう？あれ、それぞれの空港に就職みたいなの（…）
010280B : うーん、で、イメージじゃけどさ、転勤とかなったらどこの飛ばされるのかそんなに空港無いよねみたいなの、
010281A : えー。
010282B : そのままな気がする。調べてみると分からんけど。何県のどこのやつにしようかなっていう。
010283A : あー、なるほどね。
010284B : 悩みーの
010285A : すげー。

010286B：ゆうてそんなグランドスタッフとか多分どこの空港も一緒じゃろうと思いつつ。
010287A：うーん。でも英語話せんといけんのないん。
010288B：英語話せるところがいいけえ、
010289A：うん。
010290B：どうしようみたいな。
010291A：えー、いいなあ。
010292B：夢膨らむばかりやし。それで結局終りになったら いややしふつうのOLは
010293A：うーん。大変そう。
010294B：うん、今就職大変そう、
010295A：うん。
010296B：本当に 無理やし。3年生考えていかんといけんじゃん、
010297A：やばいな。
010298B：まだ考えきらんしき、なんか、彼氏は公務員講座とるけいいけどさ、公務員なんか、
私決まってるけえさ、どうしようもないみたいな。
010299A：ははは。
010300B：何か言われても私 (…)
010301A：まじか。
010302B：無理やわ
010303A：就活って3年の後期からよなだいたい。
010304B：そうそうそう。秋10月とか。
010305A：よね。すぐよそなん言ったら。
010306B：うん、(たぶん無理だろう) っていう。あー(ため息) いやだ(14:53)。
010307A：卒業したくねえ。
010308B：何を、大学生のままでいたいわっていう。
010309A：あと3年増やしたい。
010310B：3年?浪人っていうか留年ではないね。本当どうしようかな。なんかねえ、将来考
えたくないんだけどね。
010311A：うん、考えたくない。
010312B：今、今、今が精いっぱいなれ。今を生きることで精いっぱい。
010313A：ほんとそれやし。
010314B：いや、無理だろう。あー。
010315A：考えたくない。
010316B：そうやねえ。就職せんかったらいけんわほんとう。
010317A：うーん。
010318B：親に迷惑かけれんっていうかうち下におけるけえさ
010319A：うちも。うん、就職するしかないけえさ
010320B：そうなんよ就職浪人とか (…)
010321A：うちも
010322B：無理 (…) みたいな。一発で合格はしたいけど、弱いなっという。

010323A : うーん。いや、ちひろちゃん大丈夫よ。良いことをしているから。

010324B : いえいえ、根拠ない。あー。どうしようかなあ。公務員なるとおもったけど、なんか別になって感じになってきた。

010325A : あ、そうなん。絶対なるとおもったのに。

010326B : おやが公務員じゃけすごいすすめてくるけどさ、うーん。そこまで頑張るまでやりたいことがあるかっていったら、

010327A : あー、

010328B : やっぱりうーんってなるわけよ。

010329A : なるほどね。

010330B : じゃけん将来の安定をとるかどうするかみたいな、

010331A : うーん、

010332B : 英語が使えればいいんやけどっていう。

010333A : そうよねえ。そっかー。

010334B : 難しいよう。

010335A : うん、いやだよ。

010336B : いやだよ。でも教師一本やろ？

010337A : うーん。でも全部おちたときのことを考えてないけ、保険、

010338B : 保険。

010339A : でもそしたら就活せんけえさ、

010340B : あ、それじゃろ？

010341A : 全部落ちたらどうするんって感じ。

010342B : 教採だけじゃろ？

010343A : うんうん、臨採で、

010344B : うんうん。

010345A : 講師でひっかかったら、

010346B : うん。

010347A : まあ、そこ行くけど、

010348B : うん。

010349A : それがひっかからんかったら、それこそ浪人やろ。就職浪人。

010350B : サークルの先輩が就職浪人めっちゃ多くって、

010351A : ええ、そうなん。

010352B : 8人先輩が、とりあえず4年生8人おるんよ、

010353A : うん。

010354B : その中5人就職浪人

010355A : うわー。

010356B : まじか。

010357A : そんな厳しいん就活。

010358B : わからんけど、3人だけが合格しとって、

010359A : うん。

010360B : 2人が公務員講座うけとって公務員になって一人が、幼稚園の先生になったんよ、
010361A : うわー。
010362B : やけんふーんどうなんやろこれ、みたいなの。
010363A : へー、こわっ。
010364B : やけ公務員がやっぱり一番勉強しとった分出るん、
010365A : あーん。
010366B : かなあって思ったけどうーんみたいなの。どうしようかしらっていう。
010367A : うちもおるわ就職浪人しようとしとる人。
010368B : しようとしとる人。やばくね。
010369A : まだ決まってないって。
010370B : あー。いやー、就職浪人だけはって感じ。
010371A : うーん、いやだな。
010372B : (…)
010373A : うわあ、私も。
010374B : いやだな。
010375A : いやだ、2年生もう一回したい。
010376B : 別にダブってもないのに。はあー (…)、いやだな。
010377A : あー。ってかさ来年さイギリス文学しとる。
010378B : そうなんよね、私も英語学に、いや、とりあえず自分がかかえとる単位を見て、
010379A : うんうん。
010380B : なんかもるのやつがどんだけとれとるかによる。
010381A : よね。
010382B : そう。それとったらわたし。
010383A : あ、そうかもうないんか。
010384B : とれとったら本当に必要ないんよね。
010385A : あー、いいなあ。
010386B : どうする？
010387A : 教職がいるけん、2単位は、まあ、前期はとりあえずとって、後期はとろうかなみたいなの。
010388B : 様子見？
010389A : でも、それで落としたりとかいったらあれやしな。
010390B : えーっ、すごい難しいな。うん、どうしようか。カナがじゃあ結局文学になっってから
010391A : うん、文学。宮川先生。
010392B : おお、やったね。あっこも文学。
010393A : うん。そう。
010394B : あっ、あっこ語学か文学かむっちゃ迷いよったよね。
010395A : いや、語学だったきがする。
010396B : 大田先生のぶんとか言いよった気がしたけど。

010397A : あー、そうなん。
010398B : うんうん。あとみかりんが文学やろ。
010399A : うん、そうそうそう。じゃああとみなみと、
010400B : うんうん。三好君と、
010401A : 三好くんと、あと、森本・・・
010402B : あ、そうなん。うんうん。へー、文学なんだ。
010403A : そう。
010404B : 多くね？
010405A : 多いー絶対多い。
010406B : 多い。
010407A : むっちゃ (…) だけごちゃごちゃしとってから ダルかっためっちゃ。
010408B : ちょい見に行こ。
010409A : 官本先生あれやし、なんか、大学の、
010410B : うん。
010411A : あそこあるやんか、
010412B : うん。
010413A : 教育なんちゃら？
010414B : うんうん。
010415A : じゃけんなんか、授業あんまないやんか。
010416B : 基本あんまり見んよね。金曜日 このまえの後期でさ春休みしたそう。
010417A : そうそうそう。やけんとるのなし、と思って。前期の授業。
010418B : どうなんやろうそれ。単位とれるんかな。だって8単位やろ。
010419A : そうそうそうそう。8単位、でも8単位もないよ。
010420B : わたし大田先生とかかなり、半分。大半重複なんよね。それどうなんやろね。単位とれるんかな。ありだよ、っていうか名前がちがったらいいんだっけ。
010421A : うん、なんかそんな感じやった気がする。
010422B : とりあえず演習とろうっていう。
010423A : うーん。
010424B : オウイン論の演習とろうっていう。えーっ。うち彼氏に付きあって一緒に共通いかんといけんくてさ。
010425A : 共通？
010426B : あの人共通とらんといけんらしくってからあ。
010427A : でも、あれ。しんやも行かんといけんって。
010428B : (…) 本学で？
010429A : あんた帰ってこいやあって。まだ中国語とってないとか言うけえ。
010430B : やばくね？言語。
010431A : おいー。
010432B : 語学系とってないっていうから。
010433A : まじで。

010434B : とろうやあ、みたいな。時間があえばとろうみtainなこと言われたけどさ。
010435A : いいやん。
010436B : 共通かあ。みtainな。
010437A : 今さら、
010438B : 多分私全部とったんよね。1年のときもとれとるけえさ。いらんしっていう。正直
　　ごがくもとったらオーバーやし取りすぎとるしみtainな。
010439A : いまさらハングルとか。
010440B : むっちゃいらね。むっちゃいらんわ。語学系、なんか、言語学とかそういう感じの
　　やつをとらんといけんらしくって。
010441A : ああ、そうなん。
010442B : そうそうそう。いやだよ私。第二外国語もう一回とかまじいらん。ほんまいらん。
　　むこうもいうてドイツ語やったけえととるはずなんやけど　私もドイツ語やっ
　　たけえさ、多分大丈夫だと信じてって感じ。
010443A : まじ? いやー、ドイツ語。
010444B : ゆうて私しかも言語学とったけえさ。もう一回とかいらんわっていう。大半とった
　　し。語学系ねえ。
010445A : 良いじゃん、一緒に勉強できるじゃん。
010446B : なんか、むっちゃ苦肉の策みtainな。えーっ。最近どうですかしんやさん? あって
　　る?
010447A : まあ、バイトがすごい入ってから。
010448B : えっ、どっちが? 向こうが?
010449A : うん、向こうが。やけん今1週間2週間くらいあってない。
010450B : ああ、まじで?
010451A : うん。
010452B : ゆうてうちも向こう実家かえつとるけえさあ。
010453A : あ、そうなんじゃ。実家どこなん?
010454B : 福岡。
010455A : 福岡。
010456B : うん。
010457A : ほおん。
010458B : ほおんって。
010459A : 良いじゃんむっちゃ九州人。
010460B : 九州男児むっちゃ良いよ、九州男児。
010461A : 九州男児は良い。むっちゃ性が良いよね。
010462B : 誰が?
010463A : 全体的に。
010464B : うっそー。むっちゃ (...)
010465A : あ、そうなんや。
010466B : そうそうそう。頑固者という、意志が固いというかなんというか。

010467A : もういいよその方が。へなちょこやけんあいつ。
010468B : ええ、しんやさんちなみにどこ？
010469A : 北九。
010470B : おいおいおいおい。九州男児じゃないか。
010471A : まあ、本州寄りだから。
010472B : うちの本州からかけ離れところ。
010473A : あ、そう。
010474B : まじ南じゃけん。
010475A : おー。
010476B : そうそうそう。
010477A : そっか。ええ、うまくいってるんですね。
010478B : 最近、あ、だけど明後日から一緒に旅行いくよ。
010479A : どこ行くん？
010480B : ハウステンボス。
010481A : いいなあ。
010482B : 私さ花粉症なんよね、やけんさスギ花粉はいいけど、まあ、スギ花粉は超やばいん
やけどさあ、チューリップの花粉とかでなったら私アウトなんよね。
010483A : 最悪やね。
010484B : しかも行く 2 日間だけ全部雨なんよね。
010485A : まじで。
010486B : あたし雨女や。サークルでもさあ旅行行ったんよ、サークルの旅行も全部雨
010487A : 最悪。
010488B : 私じゃね雨女。毎回さ、うちのサークル、ナンテイで行くとき雨なんよね。
010489A : 絶対原因やろ。
010490B : でも、スペワ行ったらスペワも雨とかやって行けんくって。
010491A : へー。
010492B : で、その、今回ナンテイでいったのはユニバいったんよ。ユニバとか京都とか行っ
たんよ。曇りと雨みたいな。
010493A : うわー。ユニバ雨とかキツくない？
010494B : ゆーてなんかねよかった。人数そんなにおらんかったしカップをずっときとってか
ら。乗った乗った。
010495A : 楽しそう。
010496B : 旅行という旅行は春休みの前半でほぼ終わるけえ。彼氏と旅行いったらほぼバイト
になるけえ。
010497A : おー、大変だろう。
010498B : えっと、お金が必要なんだよ。
010499A : 旅行いきたい。
010500B : 行かんのけっきょく？
010501A : いや、行く。

010502B : ええ、行くんや、どこ？
010503A : 福岡かさあ、福岡の、なんか、なんだっけ博多シティっけJRの、
010504B : ああ、うんうん。
010505A : あれ、あれ行きたいって、
010506B : いいな。
010507A : 言ったけど、
010508B : うん、
010509A : でも広島も行ってないけえ。
010510B : あっ、なんか、地元じゃね(…)？私がもってる。
010511A : そうそう。
010512B : いいなあ。
010513A : 地元めぐりしようかなみたいな。
010514B : へー、いいやんいいやん。パルコパルコ。広島パルコくらいしか。原爆ドーム。
010515A : しかない。原爆ドーム行きたいってようた。いったことないっていうけえさ、
010516B : 行ったことないん？へー。
010517A : うん、それは連れていかんといけんと思って。
010518B : そりゃそうじゃろ。原爆ドーム。え、広島何があるかな、他。あ、宮島や。
010519A : 宮島は4回いったってようた。
010520B : 行きすぎじゃね？それは行きすぎじゃろ。
010521A : 4回。
010522B : 福岡楽しかったよ。うち友達の家泊まりに行ったけど。服めっちゃ買った。
010523A : ああ。いいなあ、行きたい。
010524B : 福岡に行ってから。
010525A : いいねえ。
010526B : そうそう。
010527A : 天神
010528B : あ、天神天神。そうそうそう。隣が天神よ。
010529A : 一回天神に一人で行ったんやけど、
010530B : すごいね。
010531A : うん。しかも鈍行ですわね。
010532B : うん。(…)
010533A : (笑い)
010534B : ゆったら、電車でどこへも行こうとする。
010535A : あーあー。きつかった新線。
010536B : うん、向こうはきついね。
010537A : うん、きつい。
010538B : なんか道中一緒の電車やった 向かいの席に座ったおばあちゃんとずっとしゃべつ
とったっていう。戦後の話とかむっちゃするんよね。
010539A : うわー、(…)

010540B : なんかね、スペワのところかとばた？とばた、
010541A : んー、
010542B : とばた (…) ここは昔焼け野原だったんけれども、
010543A : えー、そうだ。
010544B : あ、そうなんですかみたいなの、
010545A : へー、
010546B : ほおーみたいなの。私は、朝一やったんよね出発が、(…) ね。
010547A : 寝ちゃうねぜったいね。
010548B : 寝れなかった。
010549A : うん。
010550B : えっと、まだ途中でじゃけんさあ。
010551A : はあん。
010552B : すごいなと思って
010553A : からまれたことあるよ、おばあちゃん。
010554B : ほおー。
010555A : なんか、それこそ戦争中の話して、
010556B : うん。
010557A : それよりなんか、今の、
010558B : うん。
010559A : 旦那さん、
010560B : うんうん。
010561A : と、なんか、出会ったからです。出会ってからの今までの経緯みたいなの
010562B : へえー、すごい。
010563A : いや、やっぱ男は金よねって言われて。おばあちゃんが。はあー
010564B : 言っちゃだめよ。
010565A : いやいや、財力ないとだめよみたいなの。
010566B : いうて経済は大切って言うけどさ、えー。
010567A : そんな大事なんかなとか思うけど。
010568B : 考える？そんな、どうなん、考える？
010569A : いや、考える、うーん。
010570B : 今は別に考えん気がする。
010571A : どうにかなりそうよな。
010572B : 何が (…)
010573A : 誰が (…)。そっかー。
010574B : ペアリング買いに行くんよ、
010575A : あーんんん。
010576B : けど、どの店に行くんやろみたいなの。高いところだめだよ。できたら安いところがい
いな向こうに買ってもらうのも申し訳ないし、
010577A : うんんん。

010578B : なんかわたしが買うにしてもそんな高いのつけとってまなあみたいな。

010579A : 無くしたとか言ったら大変。

010580B : 指にきっちりハマるやつが なんか、サイズなんぼサイズなんぼって電話越しにむ
っちゃ言われてから えー、知りませんがみたいな。測ったこととかないんです
けど。

010581A : 私これ、ぶかぶか。

010582B : 無くさないでね。

010583A : 危ないマジで。

010584B : そんなにぬけるやつ? やばくね? すつかすか。

010585A : 弱いよ。でも向こうはなんかむっちゃきついとか言いよって。

010586B : ぎっちぎちなんやね。

010587A : うん、そのなんか。

010588B : その中間のやつ。

010589A : そうそう。

010590B : えー、(…) 私はかってないし。向こうで測れるよね。

010591A : うんうん、そうそう。クリスマスセールで50%オフとかいうやつらしい

010592B : いや、それはいらんやろ、それはいらんわ。

010593A : いや、いいけど別に。

010594B : いいとこのやない? エクセルとか?

010595A : 分からん。見てない。

010596B : 聞いたらちょっと高そう。

010597A : 50%オフじゃけん。

010598B : そこだけ聞くとね、うーんみたいな。あんま高いのじゃなくていいほんとに。そこ
らへんの玩具の指輪でいい私ほんとに。

010599A : えーっ。

010600B : ほんとうそんなので良い別に。もうなんか、これのほうが値が張るんよね。

010601A : うん。

010602B : いやー。

010603A : それは... わからなかった。

010604B : うん、わからん。なんかクリスマスプレゼントでいいんよ、

010605A : おお、

010606B : そうそうそう。私はクリスマスプレゼントにネックレスをあげとって、私の分やつ
の2倍ぐらいするんよねこれ。えーヒーヒって...

010607A : マジで。

010608B : なんかさ、いろいろ買いに行くお店を向こうがエクセルかなんとか 明らかにさ、
宝石店みたいなどこなんよ。普通にコーチとかがおいてあるとこなんよね。

010609A : うわー、絶対やばいよそれ。

010610B : 一瞬見に、普通に夢タウンの中に入っとるんよエクセルって。

010611A : あーあー。

010612B : なんかその、夢タウンで、ハウステンボスの予約をした後に、ちょっと回ろうやあ
みたいな

010613A : ああ、入口のらへんやつ？

010614B : あの一、エスカレータの近くのやつ、

010615A : あ一。

010616B : 行って、行こうやあって言われて、私ブランド物超興味ないのにか思いながら
行って、2人でずっと見とって値段がうわーみたいな。

01A0617A : わ一。

01B0618B : やめてくれって。これプレゼントされた時に、これはネックレスって箱に入っと
るじゃん、

01A0619A : うんうん。

01B0620B : 箱に入っとして そのネックレスの箱の横にこの石を見るための顕微鏡みたい
なのが置いてあって。

010621A : すご一。

010622B : (…) いいみたいな。

010623A : 高そうやばいなそれは。

010624B : うん、石の削りを見てみるみたいな。

010625A : すごいな。

010626B : うん超怖いみたいな。

010627A : すごっ。

010628B : 家がちがう、なんか、私このままじゃ富豪と貧民みたいな。ほんとそんな感じとか
もないもん

010629A : へ一。

010630B : すごい、ほんと。航空写真見せてあげようかとか言われてさ、へ一と、どんだけさ
あ。

010631A : そんなすごい家とか住んどるん。

010632B : 畑が何個かと土地を何個か持つとるっていう話しになって航空写真見せてあげる
みたいなの笑えね一。

010633A : へ一。

010634B : 一般人だとおもったのにみたいなの、違うんかいみたいなの。

010635A : そうなん。

010636B : むっちゃ自由に話しとるけどいいんかな。

010637A : 感動詞とかほぼ無いじゃろ。

010638B : 日常会話じゃし。

010639 : ええんかな。おるかな。

010640B : 止めた方がいいんかな。

(終わり言葉の省略)

[付録 2]

第 1 回調査の文字化

※実施時間：2011 年 3 月 19 日（約 38 分）

被験者：男性 20 代

場所：山口大学の東アジア研究科棟 207 号室

調査人：VUONG THI BICH LIEN

(挨拶・指示の省略)

020001A：じゃ、敬語で。敬語じゃない。敬語じゃない。俺も緊張してましたわ。

020002B：どれから話します？どれから話す？

020003A：どれから話そうか。じゃあ、スキー。スキーやったことある？

020004B：鹿児島出身なんで。無い。

020005A：ああ。無いんや。えー、一回も？

020006B：一回も無い。

020007A：へー。俺小学校の頃ずっと行きよったんよ毎年。

020008B：ここらへんできる？

020009A：いや、広島でなんか（…）とかあって、毎年行きよったんやけど、俺の姉ちゃんを受験になってから一回も行っていない。

020010B：広島で？

020011A：うん、広島行けるよけっこう。結構あるよ。

020012B：はあ。へえ、難しい漢字？

020013A：うん、月にね、（…）俺も小学校以来だから全然覚えてないけど。

020014B：はあ。

020015A：早くもしゃべり方がぎこちないけど。次、どうする？浜崎あゆみについて話す？

020016B：あー、最近の。

020017A：最近のあゆ、

020018B：なんか地震が起こってから毎日 Twitter やってるじゃないですか。

020019A：うん。

020020B：あ、地震について、…

020021A：うん、

020022B：それでなんかすごい自分も頑張ろう、協力しようかなかなみたいな感じでチャリティーTシャツ買ったりしてます。

020023A：えー。してますじゃない。

020024B：してる。

020025A：してるよ。

020026B：でもなんか、ライブが4月からあるんですけど、

020027A：うん。

020028B：すごい電気を使うから、

020029A：あー、多分中止かな、

020030B : 延期かなって感じで。チャリティーライブもあつたらいいかなってお金かかるんですけど。

020031A : どこでやるん？

020032B : あっち関東だったら東京とか埼玉とか、で、東北も宮城とか流された町とかでけっこうあって、

020033A : うん。

020034B : ちょうどその、使うアリーナが町が貸してってなあって、多分無理かなって。

020035A : あ、関西で。九州とか、

020036B : 西日本だけは普通にやるんかな？

020037A : うーん。あれすごいもんね。3000 万？寄付したよね。

020038B : 3500 万。

020039A : 3500 万。

020040B : 寄付してます。またなんかするっぽいで。

020041A : 敬語なってるよ。

020042B : するんで、

020043A : あっ、

020044B : そんな持つてるのかなって、ちょっと、

020045A : うん。

020046B : すごいなあって。

020047A : すげえね。この前 (…) 君がさ 2 万円寄付したらしいよ。

020048B : おーっ、

020049A : 知ってる？

020050B : 知らないです。

020051A : さなえがセブンで働いとるん、

020052B : あっ、なんか、

020053A : やけど、さなえと話しながら、なんか募金箱があつたけ適当に財布から抜いて入れた後に、あ、2 万円やって。

020054B : すごいですよね、海外の方が。台湾とかテレビで何時間か放送して募金募ったけど 20 何億とか。

020055A : へー、タイ湾？

020056B : とか韓国とかなんか、すごい、世界各地がすごい額の金額でしたよ。

020057A : ね、海外もすごい金あるな 日本も、

020058B : してるんでしょうけど、海外やっぱ目立つんかな。

020059A : なんか、俺メール流したやん。みんなに、あの一、上田さんとかがなんか、

020060B : あーっ。

020061A : あれよく分からんけどな。

020062B : 確か、なんか、誰が、どこの団体やってるか分からない団体に寄付したくない、

020063A : うん。

020064B : それなら直接自分で銀行行って口座入れた方が。

020065A : (…) 愚痴りようるし。

020066B : 意味分からないですからね。なんか見えないところでしてないの判断してない人の理解が得れない。裏でやってもなんか知らないよって言われたら、やってないことと同じっていう判断が、考えがどうかなっていう。

020067A : うん。なんか、俺の友達、山梨の大学があるんやけどこの前mixiで、コミュニティがあったんよ。

020068B : はあ。

020069A : コミュニティで何学部のだれだれ君がいませんって連絡とれませんみたいなのが、けっこう、そういうの。

020070B : 一人仙台市にいたんで。

020071A : 大丈夫だったん？

020072B : 3日後に連絡がないと。

020073A : あーあつ。

020074B : 他の人経由だけど、つながりにくかったんで、ちょうどなんかぎりぎりで、

020075A : ん。

020076B : 坂道のぎりぎりまで、

020077A : はあー。

020078B : きてたらしいんですけど。

020079A : あーっ、そういう。1万人超すっていうしね。

020080B : すごいですよね。山大生、学生よりも多いですよね。

020081A : 多いだろうね。子供とかもけっこう亡くなつとるやろ

020082B : 家族単位ですよ。一人とかじゃなくて。

020083A : ここらへんにおる人全然わからんのんやけど。知らん人なんやけど。

020084B : 見たことあるくらい。

020085A : これ何なんやろ、ラフメッセージ？ハヤトどうなん？

020086B : これどういうことですか？

020087A : わからん。なんやろ。

020088B : うん。

020089A : 目を見て話すみたいな。

020090B : ああ。矢印が。

020091A : 矢印？

020092B : つながりがよくわからない。

020093A : 手を握るとか。

020094B : ああ。

020095A : でその次にハグするみたいな。

020096B : そういうことか。あ、春の話題だ。このへん桜の木って？

020097A : えーここらへんあるよ。入口、正門らへんはたしか桜が。あの、

020098B : あ、こっちのですか。

020099A : 山大どおりも桜が咲くよ。

020100B : ああほんと。へー。

020101A : 毎年河川敷も全部桜の木だから、あそこで花見したりしてる。

020102B : あー。たしかに。河川敷けっこう、去年きれいだったような。去年咲いてたかな。

020103A : 咲いちゃった。うん、おれ花見したもん。えっとね、バーベキューみたいな。

020104B : あーっ。

020105A : 2回した。夜桜も見た。

020106B : 夜桜、鹿児島そういうえば焼酎、

020107A : あ、やったた。

020108B : 三杯空いてましたよ。夜桜できますけど。

020109A : やる？

020110B : やりますか。

020111A : どうせならやる？

020112B : やー。

020113A : でもね、俺夜桜見に行ったときにね、河原があって、その下の方にちょっと土が盛ってあるところがあるんよ。

020114B : ああ。

020115A : 溝のなかやけど、土が盛ってあって、ふつうにシートがひけるようになところ、

020116B : あっ、はい。

020117A : そこでやったんやけど、8時に、なんか、ライトアップが全部きれて、消灯時間みたいになってうん、

020118B : えっ。

020119A : 真っ暗になってから。

020120B : ほんとに夜桜。

020121A : 夜桜っていうかなんもみえんかったからね。川に流されんように気をつけながら脱出したけど。

020122B : ああ。

020123A : だから夜桜ちよつと。

020124B : 怖いんよね。

020125A : うん。河川敷でやった方がいいかもしれん。

020126B : あ、焼酎おいしくない。

020127A : はあ、焼酎おれ、うん、焼酎...

020128B : あ、そうじゃない。なんかあったんで、なんかすいませんって、なんか、他の県に売ってないのありますかっていったら九州新幹線開通限定パッケージがあるよって、

020129A : あ。

020130B : 俺お土産で買ったけどさあって売ってもらって。

020131A : (…)

020132B : 飲めないなって。

020133A : あー。

020134B : なんか (…) んってなんか。
020135A : へー。もともと焼酎嫌いだよね (…) とか。
020136B : あんま好きじゃない
020137A : 魔界への誘い持っていかにやいけん。
020138B : まだ飾ってるんです。
020139A : うん、飾ってる。
020140B : こわいですね。
020141A : うん、こわい。
020142B : こわい。
020143A : こわい、こわいね。
020144B : (笑い)
020145A : 花見さあ、実際にやろうと思ってさあ。留学生呼んで。
020146B : ああ。うん。良いですね。てかなんかチューターのきれて (…) 昨日まででちょうどきれて、
020147A : そうそう。行ったらいいじゃん。
020148B : ちょうどなんか、ボランティアのほうですか、なんかパーティとか
020149A : ああ、ユイサ？
020150B : なんかよく分からないですけど。あつたんで、ちょうどそのとき (…) とか売って
て
020151A : 留学生パーティとか参加したい？ けっこう、
020152B : 交流がもちたいに。
020153A : それで、なんか俺の友達にユイサっていう、さっき、あの一、ユイサの、ユイサの人なんやけど。
020154B : ユイサ？
020155A : もともと留学生がこっちで活動する時に、留学生がみんな団体になって動くみたいなやつやったんやけど、
020156B : ああ。
020157A : 今日日本人スタッフがおって、おもぷろっていうのに参加したら山大のおもぷろに。お金もらえるらしいんよ。今年俺の友達が1人になるらしいんよ、日本人が、
020158B : ああ。
020159A : なんか困るって言ってたけえ。もしあれやったら参加したげて。
020160B : どんな感じの？
020161A : なんか、ふつうにパーティとか。ハロウィンパーティとかあつたやん。そういうのとかやりようるみたいなんやけど。ハロウィンパーティは違うかな？ やけんおもぷろ申請お金をもらうために、いろいろ会計がめんどくさいらしい。
020162B : はー。
020163A : ちょっとユイサと協力したいなと思っているから。1年生にも良い機会だし。そのつながりでいまこの、
020164B : 会話が。

020165A : 会話が始まった。花見やりたいね。
020166B : ですね。まだ寒いですよ。
020167A : うん。去年も入学式ごろに咲いたの。
020168B : ああ、やっぱ、3 週目とか。
020169A : 焼き肉はいらんけつきょくめんどい。
020170B : ま、でも、イベント X ですから。
020171A : イベント X も (…)。イベント X の予行練習みたいな感じで。
020172B : おもしろそう。
020173A : じゃ、ハヤトまかした。
020174B : ははは (笑い)。
020175A : この時期は色々さ、新歓も入学式もあるけえ。花見任せる。
020176B : はい、がんばります。
020177A : こういうの開催しだすとね、けっこうなんか、E S S が楽しくなってくる。
020178B : ですね。
020179A : うん。やってみたらいいじゃん。
020180B : はい、もし。
020181A : どうする? といえばさ、地震でき、マギーしんじのおばあちゃん亡くなったらしいよ。
020182B : ほんとですか?
020183A : 90 (…) くらい行ってたんかもしれんけど、なんか、(…)
020184B : 痛いですよ。痛い、痛い。ぜったい何日か待っての死ですよ。
020185A : うーん。
020186B : こう、助けられている人を見ると感動して、よかったって少しでもあったらいいなって思いますけど、どうですかね、いろいろなんか不便というか。やりにくいですよ。
020187A : 落ち着いてないからね、まだねよく分からない。実体も分かってないしね。
020188B : 原発がまず止まらないと、安心ができないじゃない。復興だけっていても、なんか、電気が今日か明日つながるっぽいんで、それで良ければ多分、ま、それ次第ですよ。
020189A : あー。
020190B : 外部点検で、水とか全部流れればほんとに全部おさまる感じであれば、
020191A : あー
020192B : 5 号 6 号機動いて、もう大丈夫っぽいんで。
020193A : うん。
020194B : いやー、怖い。なんか、ちょうど前期で話したんで縦揺れ、
020195A : そうそうそう。
020196B : 、大丈夫だよとか横揺れって言ってたらそれどころじゃないね。津浪とかの話はしてないんで。
020197A : うん。ああ、倒れそうでかいね?

020198B : いや、原子力発電所を廃止するって聞いた。
020199A : まじで。その話。やった時に、津浪がくるっていう話だったんで。
020200B : その時なんで、
020201A : この話ししても多分、ディベートやってない人は分からんからね
020202B : ですね... あー、車。
020203A : ハヤトは自動車免許持ってるんよね？
020204B : もう夏休みとって。
020205A : 夏休みだけでとれたん？
020206B : いや、前期にちまちま授業の間とか。
020207A : あー、めんどくさい？
020208B : むっちゃめんどくさかったんで、そう考えると夏休みにバーってしたほうが効率よ
かったなって、
020209A : はあ。
020210B : テスト前の、ちょうど鹿児島帰る (...) なんで、
020211A : はあ。
020212B : もうバーってつめてテスト終わってから行ったからけっこうきつかった。
020213A : ふん。ね、本当めんどくさい。
020214B : もうとれたらあーみたいな、もう、
020215A : おわった。
020216B : (...). でも乗る機会無いんで。
020217A : ね。(...)
020218B : (...) 来月？学科はもう終わってるん？
020219A : 学科は、まだ2段階は全然。まだ1回しか行ってない。
020220B : 1日に5時間とかとれる？とれないですか？
020221A : なんか、1日に2つくらいしかない。うん、2段階は。
020222B : へっ。
020223A : どこ？総合？
020224B : いや小郡です。
020225A : 小郡か。湯田なんよ。
020226B : あの、(...)
020227A : そう。
020228B : そう。ゆうか。
020229A : ゆうかちゃんとかおる？
020230B : はいはい。
020231A : ホクトが。
020232B : あ、今、中国ですか。
020233A : なんで中国行つとるんあいつ？
020234B : 分かりません。勉強ですか。語学研修って書いてあった
020235A : へえー、まじか。

020236B : 意外だなと思って。
020237A : へー。
020238B : 確かだったような気がする。意外だなと思って。
020239A : 意外やね。なんで中国なんやろね。あれ、中国語とってるん？
020240B : 確か。
020241A : 中国って興味あるん？
020242B : えーと、
020243A : 学科何？
020244B : 観光、国際経済の。
020245A : あー、観光。
020246B : 中国語も確か。けっこういける。(…) えっと思っている。
020247A : ふーん。じゃ語学研修、結局もっと多いね、もっと多いね、8人いってる。
020248B : すごいですよね。
020249A : どっか行きたいとかないん？
020250B : 語学研修ではない。
020251A : 留学したいん？
020252B : 留学っていうかふらふらしたい。
020253A : あー、旅系？
020254B : 旅系がしたいですけど。せつかくなんで。あちこち見てみたいなっていうのが正直なところですよ。
020255A : あー。ですが入ってるんですが。
020256B : 正直なところ。タイとかインドお勧めなんで、
020257A : ん。
020258B : 行ってみたいなあって。ポンっと春休み行こうかって 2 月に行って。そしたらさすがに急すぎたんで、
020259A : ん。
020260B : 行けなかったんで。
020261A : ん。
020262B : 夏休み結局計画中で、
020263A : あー。
020264B : してる感じで。
020265A : して、してる、なんか、俺を(…) だと思って良いよ。
020266B : 夏休み計画中で。
020267A : 金がね、バイト辞めたらもっと貯まらんやろ？
020268B : 多分コンビニか、どっかでも。さすがに 3 万は行く、行くかな。
020269B : 夜？深夜？
020270B : いや、でも 5 時間入れるから。今のバイトが 3 時間なんで。1 日だって 2500 円くらい。
020271A : うん。

020272B : 5 時間だったら 3000 円くらい稼げるから。
020273A : んー。
020274B : (...) うーん、週 3 でも 4 万。
020275A : おー、5 時間やったけ？
020275B : 5 時間。
020277A : おれ週 1、4 時間働いてる。
020278B : 1 日ですか？
020279A : うん。いや、まあ、週 4 くらいで働いとる。
020280B : むっちゃ入ってますね。
020281A : 3 万。
020282B : 3 万？えっ？
020283A : まあ、時給 750 円だけどね。
020284B : 一緒ですね。
020285A : けっこ、なんか、まあ、正確に週 4 で入っとるわけじゃないけどね。
020286B : ああー。
020287A : 4 連勤何回か (...)。今日もバイトやし。
020288B : はー (ため息?)、今日ですね。18 時からガソリンスタント。
020289A : 何をしている？
020290B : なんか、ちくそん…、あつ、引き継ぎが。
020291A : ちくそんなるんや。
020292B : (...)。岡大の人が知り合いで、
020293A : あー。
020294B : 良かったって。
020295A : ああー。
020296B : 知り合ったんで。
020297A : うん。なんか、総会がけっこう 1 年が多いから。楽しいと
020298B : 山大は 4 人しか行ってないんで結局。
020299A : うん。なんか次の総会は山大であるっていうか。
020300B : (...)
020301A : ヘアカタログなんかな。
020302B : なんかこの人見たことあります
020303A : これあれ、みっちー。
020304B : みっちーですね。
020305A : おれさつき見てきたもん、テレビで。相棒。
020306B : 相棒ですか。
020307A : うん。相棒さつきやりよーたから。
020308B : ドラマで見た気がする。
020309A : この人とかさ、ぜったい雑誌のさあ、何何雑誌の編集者みたいな。よくコメントみ
たいな。

020310B : これ JOY ですか？
020311A : JOY じゃねーよ。
020312B : あれ？
020313A : JOY そんな顔、清潔感無いよ。
020314B : こころへん分からない。
020315A : えっ、これ分からん？かみしろたけし。
020316B : はー。確かに。
020317A : あとは雑誌。
020318B : これが分かんない。雑誌から、
020319A : なかむら (…)
020320B : え、(…)
020321A : 多分知らん人じゃ 雑誌の人。
020322B : (…)
020323A : えっ、アメリカ人。
020324B : これ知ってる？
020325A : (やばい)。なんか (…)
020326B : (…)
020327A : え、ハヤト実家帰らんのん？
020328B : はい、前1週間帰ったんでもう、
020329A : 新幹線で帰ったん？
020330B : あ、新幹線、開通前の新幹線で。リレーつばめ。最速で2時間ちよいで帰れる。
020331A : ふーん。
020332B : むっちゃ近いですよ。
020333A : 高いやろ。
020334B : やっぱ高いけどなあ、値段が分かんないんで、
020335A : うん。
020336B : 新しい新幹線。やー。
020337A : 俺明日実家帰るかもしれん。
020338B : 下関？
020339A : うん。なんかね、水泳部、俺元水泳部だったんよ。
020340B : へー、ほんとですか。
020341A : うそっ。
020342B : 実は？
020343A : 高校生です。高校の時の水泳部で集まるそっていつてきたから、詳細が分からない。
俺一回メール返さんくて、忙しくて。そしたら、なんか、俺が返さんみたいなメールが来て、そしたら 20 日やるよって言って、分かったって言ったら詳細なんも返ってこん。中止になったんかな？
020344B : (…) 自分だけちょうど夏休み合わなくて、
020345A : ん。

020346B：帰れなかったらバスケ部で、
020347A：ああー。
020348B：一人だけ帰れなくてショックでしたね、
020349A：ああー。
020350B：プリクラ送られてきて、
020351A：ああ。
020352B：名前だけ隅に書かれててあって。
020353A：俺もあったわ一回。高校の、なんか、卒業前にみんなで遊びに行く時に、プリクラに俺の顔だけ書いて。嬉しいよね。
020354B：嬉しいですけど、ちょっとええって。いやがらせでした。いやー、敬語使わないの難しい。
020355A：俺じゃ、とむになろうかとむっぽくしゃべろうか。
020356B：いや、それは・・・
020357A：へーっ。
020358B：でもとむとか基本腹黒い。最近なんか 腹黒さ けそうって必死なんで。
020359A：そうなんや。腹黒さ消そうってなったら、もう、普通に黒くならんとダメだと思うよ。
020360B：腹黒い発言ってやつね、
020361A：あー。
020362B：ひどい発言をしないですよってやつ。
020363A：あー。
020364B：発言避けられないから、冗談でも、最近言いすぎかなって思うんですけど
020365A：ははっ（笑い）。
020366B：ネタ的なところで黒さをだしていったら、自分もちょっとあとで冷静に考えて言いすぎかなと思ってって鹿児島帰ってそう思って悩む。
020367A：あー、最近ちょっとやりすぎ？
020368B：やりすぎ、ちょっと調子のりすぎかなって自分で思って。必死にあまり黒いことをしないようにと思って
020369A：それがとむとは違うところだ君は。
020370B：悩みに、
020371A：真の腹黒か回復可能な腹黒か。
020372B：そう、回復できれんですかね。（…）今までです。新入生まで見せれない。セクション決まるまでは。
020373A：そうそうそう。それ大事。
020374B：セクション決めたら黒セクで。黒い人だけ集めて
020375A：うん、すでにあるから。
020376B：ほんとですか？
020377A：ゆうさんがぶりせくっていうの作ってるんよ。
020378B：その対抗版みたいな？

020379A : ふりせくってというのが、pritender で偽善者。偽善者のセクションみたいな。
020380B : ひたすら黒いな。
020381A : その活動が、あ、あれ、人の悪口を言い合うっていうディスカッションみたいな
020382B : へえ、人の悪口なんて、でもなんか一回したような気がします。なんか、この人の
性格の良さランキングみたいな。難点とか。知らない人たちばっかなんで。右が心
の綺麗か綺麗じゃないかで縦がイケメンかイケメンじゃないか。
020383A : 心の綺麗さ系はダメじゃん。自分がダメじゃん、
020384B : 自分トップでしたよ。
020385A : 綺麗なん？
020386B : 自分は説得して、
020387A : 自己満やね、
020388B : ここらへんでいいよって妥協して。
020389A : ここってさ、この研究棟って。すごいね、流しとかあるしコピー機あるし。
020390B : 欲しいですね。ゴミ箱がちゃんとあちこち。
020391A : 全部ほしいね、一通り。これってけっこう段ボールでできとるんだ全部。
020392B : あ、すごい。
020393A : あ、違うな。段ボールだった。
020394B : あ、今部屋の模様替えをしたいな。
020395A : あー。俺んちも模様替えしたいな。俺んちもね、今ね、今日、なんか、けっこう埃
がたまっとって とりあえず咳が出るんよ家に帰ったら。
020396B : あぶないよ。
020397A : で、まあ。これ言ったらほんとにひかれていくんやけど、まあ、流しにはいつ置い
たか分からない食器たちが。
020398B : はああ (ため息)。毎日あらってます。
020399A : パンの袋とかもそこらへんにバーって。
020400B : ま、でも若干そんな感じです。
020401A : ゴミ袋もなんかゴミが入れてるやつ部屋の中にポーンっておいてあったりする。
020402B : ああー、分かります。なんか、今欲しいのが、物置。
020403A : 物置？
020404B : なんか、服を収納する。
020405A : あー。
020406B : なんかこう、箱に入れてその上にバーンって乗せたいんで。
020407A : うん。
020408B : それをちゃんと整理して入れる。
020409A : あー。
020410B : 途中本とか入れる、本棚が欲しい。
020411A : あー、でっかい棚か、いろんな機能が付いてる。
020412B : たんす (…)
020413A : 今安くなつとるやろ。新入生フェアみたいな。

020414B : このへん、どこ、ニトリ？
020415A : ニトリとかタネダとか。
020416B : タネダ？あ、タネダって高いんじゃないん？
020417A : そうなん。
020418B : (...) なんか、輸入物だから高いみたいな。
020419A : ふーん。5000 円だけって。
020420B : 5000 円、5000 円より高いのはいらない (…)
020421A : ニトリ行けばまず、
020422B : ニトリ意外になかった。
020423A : ほんと？
020424B : 回ったら、
020425A : ふーん。
020426B : ダイレックスとか毎日のように行ってますけど。
020427A : そうなん。必死に探しとるんや。
020428 : いや、行ったら一応チラーってなんかないかなって。
020429A : あー。
020430B : ダイレックスでバイトしようかな。
020431A : ダイレックス、俺の友達 1 人バイトしとるよ。1 年くらい話してなかったんやけどレジしとってお疲れって言って。
020432B : 知ってる人とか顔見たことある人とかめっちゃ来たら、気まずい。
020433A : あー、来る来る？ゆうさんとかおる？買い物しに。
020434B : いらっしゃいませって、めっちゃ近いんで、1, 2 分で行くんで、帰れる気が。
020435A : バイトとか新聞配達がしたい、朝の。
020436B : ああ、起きれない。
020437A : ああ、でもさあ、原付、もう、免許さえ持ってたらいいなかな？
020438B : 原付。
020439A : 原付でふつうに。
020440B : 小型原付もったんで。
020441A : うーん。
020442B : 普通はそれで。その更新で、更新料とられて。
020443A : 免許証もとられたん？
020444B : 更新料もとられて、(…) とか思いながら。
020445A : 取り消してみたいな。
020446B : 最初そんなこと考えてなくて、免許証とられて、ちょっとショック受けましたね。
020447A : んー。
020448B : 少し、少し。えーって。ちゃんとそのお店行って、電話する前に行って、それで店の雰囲気を見て選ぼうかなみたいなの。なんも知らずに焼き肉屋行ってがっかりしたんで。
020449A : あー。

020450B : 最近、
020451A : ああ。
020452B : (…) 料理長も。
020453A : へえ。
020454B : (…) いぎ、しようと思ったら決まらない
020455A : ああー、いいバイト無いのかな？
020456B : 週3がやっぱ、火、木、土で入れたら理想。
020457A : うん。
020458B : 休みがもらえる、大会があるんで。
020459A : うん。
020460B : 火、木の5コマ目が無い時で
020461A : うーん。
020462B : (…)。
020463A : 今のバイトは今までのに比べたら
020464B : 忙しい。一回最悪な場所へ入って、次ちょっとでも良いとモチベーションが上がらない。
020465A : うんうん。
020466B : 止められそうなので、負けないようにしなきゃ。キッチンの人だって知らないんで、辞めるって。何人かちらほら言ってるんで聞かれてるんで、会話を。
020467A : 原田は？
020468B : 多分知らない。なんで、まだ自分を4月からも入れるみたいな。今少ないんですよ、3人になっちゃっうんですよ。だから育てようとされてて。
020469A : あー。
020470B : 4月から少なくなるんやけ、もっと早くできんのかさすごい言われて、4月から居ないんでって思いながら、どうしよっかなって。すごい複雑。だましてる気がして。言ってるの。かな。てか店長言ってるのかな。そのバイトの追いコンがあるんですよ。
020471A : ああ、行くん？
020472B : さすがに、気まずいんで。
020473A : バイトしない方がいいんじゃないん。
020474B : しなきゃ。お金がないですし。生活費も無いんで。
020475A : どのくらいつぎ込んどるん？あゆに。
020476B : CDと、ライブです。
020477A : ライブにけっこういっとるやろ。
020478B : え、去年2回です。
020479A : 2回も行っとるやん。
020480B : どうしてかわからないで、そのために必死に貯金して、。
020481A : はまさきあゆみかあ。
020482B : 今年初めて山大の人とライブ行ってきます。

020483A : あ、あゆ友おったん？
020484B : なんか、はい。一人。
020485A : へえー。
020486B : ハロウィンパーティで。
020487A : あら (33 : 23)。
020488B : もともと顔見知りだったんですけど。
020489A : うん。
020490B : あゆ好きだっということがお互いに分かって。
020491A : うん。
020492B : で、チケット渡されて。
020493A : 何人で？
020494B : 3人で。
020495A : え、行ったん？一応、まだ行ってないん？
020496B : はい？
020497A : もうその人と行ったん？
020498B : え、初めて。
020499A : あ、まだ行ってないん？
020500B : 次5月、ただ、ESSが15日がとかですかね。
020501A : 14かな、土曜日かなんか。
020502B : ですよ。前の週が広島のリブで、(…) 終わって、次の週が広島です。
020503A : あー。
020504B : 3週連続で、でもなんか福岡の公演のあとが検定があるんで、
020505A : 何の検定？
020506B : (…)
020507A : へー。資格もらえるんや。
020508B : 受けてみようかなって独学でしてます。
020509A : けっこう、なんか、あれやね、有名な資格やね。
020510B : 最近、
020511A : 最近注目の。
020512B : 春休みからちまちま、まだ半分も、まだ参考書だけで
020513A : あー。
020514B : そこからまた復習。厳しいかな。
020515A : 良いね、資格があったら安心よね。
020516B : しかも、勉強してて (…)
020517A : ああー。
020518B : なんか、ふつうの年金とか税金とかで勉強内容が。
020519A : はあはあ。
020520B : (…)
020521A : 勉強になるね。

020522B : 役に立たなくても、生きるにはいいかなって。
020523A : そうか。資格っていったら今さ、TOEIC くらいしかないや。
020524B : TOEIC とか、今回英検もあるから。
020525A : TOEIC も英検も中途半端やからさ。書いてもカッコ悪いから。
020526B : 英検、久々に頑張ろうかな。
020527A : 英検あんま反映されんやん。どこまで使える、英検。
020528B : 多分使えないですね。でも、なんか、高校とかまで中途半端にやって。
020529A : ああ。2 級と準一の間結構離れとるやん。
020530B : めっちゃ離れてる。準一とかほんと語彙力が無いと・・・
020531A : 今何級？
020532B : 2 級。
020533A : 俺も 2 級なんよ。
020534B : おお。準一だったらとって、あがる気が。
020535A : あー、もうちょっとね、準一と 2 級の間になんかあったらいけるんやけどね。
020536B : でも 1 級と 2 級でその間が準一でそれでもレベルが高いってそうとうですよ。
020537AB : なんか全然違うんやろうね。
020538B : 準 2 のときはそんなに思わなかったけど、(3、30、31) でも準一とれたら TOEIC800
とかですかね。
020539A : っていう。
020540B : 聞きますよね。
020541A : あー、スピーキングがあるもんね英検、会話テストとか。
020542B : 英検は日常用の英語で、TOEIC はなんかビジネス的な英語、単語も種類がちよ
っと違う。
020543A : どのくらいだったかな。
020544B : 今何時ですか。
020545A : 1 時 4 5 分。けっこうだったね。
020546B : なにげに。
020547A : なにげに (…) 最初ちよつとぎこちなかったけど。
020548B : いやー。(…) さんって自炊ですか？
020549A : 自炊、してるよ。あんましてない。
020550B : なんか、ミールカードだったじゃないですか、ミールカードだったんですが、ちょ
っと 4 月から、食費どうなるのかなって。
020551A : ああ、あんね、結構ね、肉系をやりよったら、ほんと自炊しよっても金が飛んでい
くけんよ。
020552B : あ、肉。
020553A : 肉系の料理は。もやしとかね、もやしが 2 食分でだいたい 30 円くらいなんよ。29
円とか。
020554B : ああ。
020555A : もやし 2 食いけるから。もやし活用しときゃいいじゃん。

020556B：肉類はあんま食わないように。そうですね、最近太って、ちょっと顔も、体もやばいんで。

020557A：肉と豆腐・・肉じゃない、豆腐ともやし。

020558B：ですよ、肉の代わりに豆腐を。

020559A：豆腐も 29 円とかで売ってあるから。

020560B：運動しないんで、大学。

020561A：あー、ね。バレーしよる。

020562B：運動する機会も作らないと。

020563A：ん、バレー大会とかしよる。

020564B：1 回しました、1 回だけか。

020565A：おったっけ？

020566B：いきました。動けなかったんで。

020567A：あー。バスケは。

020568B：でも 3 カ月だけバレー。

020569：そうなん。

020570B：中学 1 年生の時。

(終わり言葉の省略)

[付録 2]

第 1 回調査の文字化

※実施時間：2011 年 3 月 10 日（約 27 分）

場所：被験者の勤務先

被験者：女性 30 代

調査人：VUONG THI BICH LIEN

(挨拶・指示の省略)

030001A：あ、今撮っている。

030002B：あ、はい。

030003A：撮れとるんかな？

030004B：映ってますよね？

030005A：多分。ちょっと見て。上野さんは確実にうつとる。

030006B：あーあー。坂根さん切れてても良いですか？顔が。

030007A：うん良い別に。切れてもいい。

030008B：じゃあ、オッケーです。

030009A：じゃあ、テーマは。旅行で。

030010B：旅行について、はい。

030011A：旅行について。

030012B：じゃ坂根さんの、旅行に行った話しからしましょ

030013A：あたしが旅行に行った話し？あたしが旅行に行った話し。

030014B：はい、はい。

030015A：どこから話そうか。

030016B：あの、どこでしたっけ。モロッコでしたよね。

030017A：あ、モロッコ。あーあーうんうんモロッコ行った。

030018B：あ、モロッコ。

030019A：2 回目だったんだけどね。

030020B：えっ、あ、そうなんですか。

030021A：そうなんよ実は。

030022B：えっ、前いついったんですか？

030023A：前はね、1 年前くらい。

030024B：あ、そうなんですね。

030025A：1 年前くらいに行ったんじゃけどね

030026B：へっ、あの一周してたときですか。

030027A：あ、そうそうそう。

030028B：そうなんですね。

030029A：あの時に、私が今まで 30 から 35 くらい行つとるかもしれんけど、その中で自分が一番好きだったのがモロッコ。

030030B：へっ、あ、そうなんですね

030031A : そう、その時に見た砂漠が凄く綺麗だったんよ。
030032B : あ、あーそうなんですね。へー。
030033A : すっごい綺麗なんよ。ほんと綺麗なんよ。でも、それはたまたまだっらしいん
じゃけど。
030034B : うそー。そうなんですね。へー。
030035A : 砂漠から、ほんとに太陽がバーって沈んで、月が、
030036B : へーっ。
030037A : 満月が見たこともない月がバーって上がってくるんよ。
030038B : へーデカいんですか？
030039A : すっごいデカいんよ。そしたらその時にあたりがまったく見えんのに1メートル
先も。月が上がったらすっごい見えるんよ。
030040B : へー。そうなんですね。
030041A : うん。で、砂漠の山があるじゃん。バーって山がバーって。そこの上まで上るん
よ。上ったら、満天の星空と。
030042B : へー、そうなんですね。
030043A : そうそうそう。すっごい綺麗だったんよ。すっごい綺麗だったんよ。すっごい綺麗
だったんよ。
030044B : すごいですね。そうなんですね
030045A : 今まで見た景色の中でもナンバー3に入るんよ。
030046B : へー、うそ。
030047A : モロッコ自体がかけあしだったし、わたし砂漠が見たいってよーたけえ、いろい
ろ絞って砂漠があるところを。まあチュニジア行ったし。
030048B : あーそうですよね。
030049A : 私もタンザニア行きたかったけど。
030050B : すごいですね。
030051A : なんか中国の方の砂漠はあんまり興味がなくて。
030052B : あー、はあはあはあ。
030053A : オーストラリア行ったし、
030054B : あ、はあはあはあ、
030055A : 南米はビザがいるところもあるし、
030056B : あっ、あはあはあはあ、
030057A : 大変じゃけえ。
030058B : あ、はあはあ。
030059A : じゃあ私モロッコ好きじゃけ良いよって。
030060B : あ、そうなんですね。へー、良いですね。
030061A : でも寒かったけえ風邪ひいた。
030062B : そうですよね。言ってみましたね。きつくなかったんですかその道中？
030063A : きつかったけ。
030064B : うそ。

030065A : 最初はビデオ撮っとなってから、
030066B : うん。
030067A : 最初テンション高いんよ。
030068B : あああん。
030069A : 2日目からはもう風邪ひいとなってからテンションガタ落ちなんよ。
030070B : そうなんですねえ。それも思い出ですね。
030071A : そうそうそう。それも思い出。
030072B : へー。
030073A : そうなんよ。
030074B : あ、そうなんですね。
030075A : どこじゃろう。そうじゃね、上野さん今まででどこが一番好き？
030076B : えっ、今までですか。えっ、今まで、今まで。けどタイに行ったときに面白かったです。
030077A : あーあー。私もタイ好き。
030078B : あ、タイ面白いですよ、うんうんうん。
030079A : うん、私タイ何回行っても良い。
030080B : あ、そうです。行ってましたよね。坂根さんけっこう。最近、最近じゃないか。
ああ、ベトナムかそれは。ああ、すいません、すいません。
030081A : それはベトナム。用があってベトナム行った
030082B : ああ、けど良いですよ、なんか。
030083A : いいよね。
030084B : あの町が良かったです。
030085A : バンコク行った？
030086B : はい、バンコク行きました。
030087A : バンコク楽しいよね。
030088B : 楽しいです。
030089A : あの、(…)の向こう(…)楽しいよね。
030090B : あ、楽しいです、楽しかったですなんか。
030091A : ね。どこ行った？バンコクの他に。
030092B : その他に？バンコクと、なんかその一、ラントウに行きましたラントウでしたっけ？
030093A : ラントウかいね？
030094B : タガヤビーチの先にある
030095A : ああ。あるねあそこ綺麗じゃった？
030096B : あそこすごい綺麗でした。
030097A : あ、そうなんじゃあ。
030098B : タガヤビーチ行ってすごいびっくりしたんですけど汚すぎて。
030099A : それは、私もそれすごい、タイ人もそれ言っててから絶対行かんとこって思って。
030100B : すっごい汚かったです。

030101A : だろうね。
030102B : ラントウすごい綺麗でした。
030103A : あ、そうなんじゃ。
030104B : なんか、ジェットスキー (…) で、
030105A : うんうんうん。
030106B : あれで行ったんですけど、ジェットボート？
030107A : ジェットボート。
030108B : ジェットボートで行ったんですけど、そんなに (…)、
030109A : ジェとボートの運転みたいにする (…)、体力入れ (…)
030110B : あれで行ったんですけどそんなに時間かからなくて、
030111A : うんうん。
030112B : なのになんて綺麗でした。
030113A : あ、そうなんじゃ。タガヤまでが2時間くらいかね。
030114B : あっ、1時間半だったかな。
030115A : あ、そっか。ラントウ私行ってないなあ。
030116B : ああ、そうなんですね。
030117A : 私バンコクの近くで、
030118B : はい、
030119A : なんだったっけ、
030120B : へっ。
030121A : 今名前ド忘れしてしまったけど。
030122B : えっ、いい。
030123A : そこは3時間くらい、
030124B : はい。
030125A : バスで行くんやったっけなあ。確か。
030126B : はい、はい。
030127A : 行く所があって、
030128B : うんうん。
030129A : そこもすごい綺麗なんよ。
030130B : あ、そうなんですね
030131A : なんだっけ。(…) じゃなくて。
030132B : あっ、あ、じゃなくて。
030133A : あれ？今ド忘れした。でもこういうツアーには載ってない。
030134B : あっ、載ってないんですね。あーあー。へー。何ですか何ですか。
030135A : あれ、名前忘れたー。
030136B : えー。
030137A : なんかね、こんな形しとる
030138B : えっ、島がですか？
030139A : 島が。

030140B : 分かりません。

030141A : 絶対分かんと思う。なんやっただけ、

030142B : 島なんですかそれ？

030143A : 島。完全に、

030144B : そうなんですね、

030145A : 完全にリゾートアイランド。

030146B : へー

030147A : でもバンコクから近くってすごい綺麗で、おすすめ。

030148B : そうなんですね、良いですね。

030149A : おすすめ。バスで行かんといけんけど。

030150B : あーあーあー。そうなんですね。

030151A : 私あそこ何回行っても飽きないから良いわ。

030152B : あー、良いですね。うん、良いです良いです。

030153A : 上野さんナンバー 2 は？

030154B : え、ナンバー 2 ですか？へえー。ナンバー 2 シンガポールですかね。

030155A : あ、シンガポールの。

030156B : はいはい。

030157A : 意外なところじゃ。

030158B : ええ、なんかですね、私、あの、なんですっけ？ナイトサファリに行ってあそこすごく楽しかったです。

030159A : そうなんじゃ。

030160B : 友達と 2 人と行ってオリがないから、本当にトラかな、トラかライオンところに行くときに本当にオリが無くてこっちに向かってきそうな感じで、2 人でそこ通れなかったんですよ。

030161A : あ、そうなんじゃ。

030162B : そこ通れなくて、怖すぎて。で、引き返しました。

030163A : ええ、そんなんやっただかいな？

030164B : そう。

030165A : ねえ、ナイトに行った？

030166B : ナイトに行きました、

030167A : 夜に行った？

030168B : 夜に行きました。はい。

030169A : ああ、そうなんじゃ。

030170B : うん。

030171A : 私は、なんかナイト、夜に行ってから、

030172B : んー、うんうん。

030173A : トラモ、トラモみたいなのが。

030174B : あっ、乗りましたトラモ。

030175A : あんまり動物見れなくなかった？

030176B : あ、それは、
030177A : なんか、おった気がするけど、お客さん最近来た人も、
030178B : えっ、あるの？
030179A : あれなんか昔からどう捕まえていいかわからんって。
030180B : 本当ですか？
030181A : 見たことがないかもみたいな。
030182B : ええっ、分からないですそうでしたっけ。
030183A : いや、私あんまり覚えてない。昔すぎて。
030184B : なんか歩いて行き回りました？その。
030185A : 歩いて回ったっけ。私あの時初めての一人旅
030186B : えっ、え、え、え。
030187A : オーストラリアか何か、タイで友達と待ち合わせをしとって、
030188B : あ、そうなんですか。
030189A : シンガポール経由だったんよ。
030190B : へー。
030191A : じゃけアジア初だったんよシンガポールが。
030192B : すごいですね。そうなんですか。
030193A : じゃけ初めてじゃったけえ、
030194B : はい、はいはいはい、
030195A : 楽しかった、すごい。
030196B : ああ (笑い)。あ、そうな、えっ、1人でも回ったんですか？
030197A : 一人で回って、
030198B : え、すごいですね。へー。
030199A : 一人で (…) 泊って、
030200B : えー、すごいですね。
030201A : なんか知らんけど、1人ですごい楽しかった、
030202B : あ、そうなんですか。えー。
030203A : すべてが新しかったけえ、
030204B : あっ、あーあー、
030205A : すべてが新しかったけえ、
030206B : そうそう、そうですよね、
030207A : 今行ったら面白くないと思う。
030208B : ああ。確かに。あ、私もシンガポールが初めての海外だったんで。
030209A : あ、そうなんじゃ。
030210B : すごい楽しかったです。
030211A : すべてが新しいよね。
030212B : あ、そうそうそう、そうですね。
030213A : 今だったら面白くないかもしれんけど、これって目的を持って行ったら楽しいか
もしれんけど、高層階のホテルを見に行くとか。

030214B : あーあーあー。そうですね。確かに。
030215A : カジノで勝ちに行くとか。
030216B : そうですね、そうですそうです。うーん。
030217A : ねえ、あそこでさあ、なんかさあフードコートみたいなのあるじゃん。
030218B : どこですか？
030219A : シンガポールで。(…)
030220B : あっ、なんですか？
030221A : タイの話の方が興奮する。
030222B : あ、どうぞどうぞ。タイどうぞ、はい。
030223A : タイでさ、フードコートみたいなのあるじゃん
030224B : フードコート、いや行ってないですね。
030225A : なんかさ屋台じゃないけど、屋台も面白いんだけどもちろん。屋台。
030226B : うんうんうん。はい、屋台。
030227A : フードコート (…) 普通のさ、ショッピングセンターみたいなのだったら、階全部が食べる場所。
030228B : えっ、そうなんですか、おっ、ほお。
030229A : うん、いろんな料理が集まってるけえ。
030230B : へー。そうなんですか。
030231A : うんうん。行ってない？
030232B : ええ、行ってないです。
030233A : じゃ次行ったら行って。
030234B : あ、そうなんですか。ショッピングセンターの中に入ってるんですか？
030235A : どこでも入ってると思う。
030236B : あ、どこでも入ってるんですか。
030237A : どこでも入ってる。
030238B : あ、そうなんですかー。
030239A : 30年代 (…)
030240B : へー、そうですね。
030214A : うんうんうん。あそこらへんの (…) ところだったら。
030242B : だけど、屋台のところは臭かったから屋台は食べてないですけど。
030243A : あっ、そうなん。
030244B : あの匂いがほんとにダメでした私。
030245A : あっ、そうなん。
030246B : 息止めてました。
030247A : そうなんじゃ。ダメなんじゃ。そうなんじゃ。
030248B : はいはい、あ、タイマイが私本当にダメです。
030249A : ああ、パラパラしとるもんね
030250B : くさくないですか？なんか。
030251A : 私ね、全然匂い気にならんものよ。

030252B : えっ、うそ。
030253A : (…) とか行っても気にならんけんね。
030254B : あ、そうなんですか、良いですね。
030255A : インドでさ、牛のうんこだらけで、
030256B : へー、
030257A : 牛がふつうに歩いてるけえ、
030258B : ええ、そうですね。
030259A : どこ行っても大丈夫なんよ。
030260B : えー、そうなんですか。へー。
030261A : あんまり抵抗が無く。どこでも行けるかも。
030262B : へー。インドってやっぱり良いんですか？世界観変わるんですか？
030263A : 変わると思うよ。変わると思うよ。
030264B : あっ、そうなんですか？
030265A : それで変わる人は絶対何人かは人によって感じかたがいろいろ違うと思うけど、
考えさせられると思う。
030266B : えっ、なんでですかそれは？
030267A : 日本とギャップがありすぎる。
030268B : 全然、あっ、あー、そうなんですか。
030269A : 宗教もちろん違うし、人種もちろん違うし、
030270B : そうなんですか、
030271A : 生と死がもう本当にねえ。
030272B : えっ。
030273A : 日常生活の中で起こってるけえ、
030274B : へっ。
030275A : 日本って無いじゃん、
030276B : ああ、ないですね。はい、
030277A : そういうのを目の当たりにするけえ、
030278B : へっ、へっ。行っただけで、行っただけでそんな。
030279A : まず私たちはあんま感じんかったんじゃけど、いろんなところ行ってそのままじゃ
ったけえ、でも日本から行ったらほとんどパッカーの人でもショック受けるって
言ってる。
030280B : へっ、そうなんですか。
030281A : もう、普通に、ストリートチルドレンとかいっぱいおるし、足がなくて、
030282B : へっ。
030283A : 物乞いしよーる人もたくさんあるし、
030284B : あ、そうなんですか。
030285A : ほんとにたくさんあるし、
030286B : へー。
030287A : で、ほんとに自分で自分の身を守っとかんと、いろいろあるかもしれんし

030288B : あーあーん、あーあー、そうですね。

030289A : 雰囲気自体もあるんかも、私が行ったのが8年前じゃけえちょっと変わっとるか
もしれんけど、

030290B : うんうんうん。へー。

030291A : ビルとか都市が。

030292B : あ、そうかそうか。

030293A : そう。でも、まず、建物とか雰囲気も全然ちがう、

030294B : へえ、そうなんですね、

030295A : すべてがカレーの匂い。

030296B : そうな。えー、さすがです。えー、カレーなんですかやっぱり食べるのは。

030297A : (…)

030298B : カレーばかりです？

030299A : うん、ほとんどみんなカレー。1日1食っていうかほとんどカレー味よ。

030300B : えっ。

030301A : サバサミたいないろんなのが売っとるけど、食べてもみんなカレー味ばかり。

030302B : そうなんですね。

030303A : そう。ビルとかももちろん全然違うけど、ほんとに私は北しか行ってないけど、
南は南でまた違うみたいで、

030304B : へえー。

030305A : で、バナヤシ？あの、ガンジス川の(…)とかいう(…)ガンジス川の聖地。

030306B : おおおお。

030307A : (…)ものすごい聖地。

030308B : あはあはあはあはいはい。

030309A : あそこは結構不評。

030310B : へえっ。

030311A : なんだろう、ほんと不思議な町だと思う。

030312B : あ、そうなんですね。

030313A : あそこどこも結構、観光地なのに、

030314B : はああーあー

030315A : 風景が全く変わらんのんて。私は初めて行ったんじゃけど、

030316B : はい。

030317A : 10年前に来た人とか、

030318B : へえ、はあはあはあ。

030319A : 何回も来とる人とかおった人が、

030320B : はあ、はあはあはあはあ。

030321A : あそこは風景が変わらんのでって。

030322B : へえ、そうなんですね。

030323A : それってすごいと思うんよ。世界中の中でも、他にないと思う。

030324B : あー、そうですね。

030325A : 旅行客が入ったらそれなりに人もけっこう、
030326B : 確かにそうですね、
030327A : 回るし、ビジネスチャンスがたくさんできるわけじゃけえ、
030328B : そうですね、
030329A : (…) とか、
030330B : はあはあはあ、
030331A : ちょっとやっぱり変わってくるじゃん (…)、
030332B : はあはあ、
030333A : 変わらんのんて雰囲気が。
030334B : そうなんですね。すごいですねそれ。へえ。
030335A : 川でね、すべてが上に。下から上に流れていく
030336B : へっ、そうなんですか。へっ。
030337A : 下の方で、
030338B : はい。
030339A : 結婚式あげてると思ったら、もうちょっと上の方に行ったら人々が食べ物をガン
ジス川で洗っていたり、もうちょっと上にいったら洗濯しとったり。もうちょっ
と行ったら さらにもうちょっと行ったら死体を焼くところが3か所くらいあ
って、そこで焼いた死体をそのまま捨てる、ガンジス川に流す。
030340B : へっ、そうなんですね。
030341A : そう。不思議じゃない？下に下に。上の方に (…)
030342B : へー。そうなんですね。
030343A : いろんな人がおるけんね。
030344B : すごい。なんかいい。
030345A : 世界まる見えみたいなの。昔の。世界まる見えの、
030346B : うんうんうん、
030347A : 仙人みたいな。
030348B : えっ、仙人？あっ、あ、あの仙人？あっ、はいはい。
030349A : よく出てくる。
030350B : うんうんうん、はいはい。
030351A : (…)
030352B : あ、そうなんですね。あ、はあはあはあ。
030353A : うん、そうそう。
030354B : へー、すごい。ほんと興味がわいてきましたね。
030355A : でもいろんな川があるから良いよ。そういった (…) があるからまだ、
030356B : へー。
030357A : 上の人たちはものすごい (…) 生活しとったりするけえ。
030358B : へえーっ、そうなんですね。
030359A : でも一回は行ってもいいと思う。
030360B : はあはあはあはあ。

030361A : 面白いと思う。
030362B : そうですね。うんうんうんうん。なんか良いですね。
030363A : 上野さんどこに一番行きたい？、
030364B : えっ？
030365A : バリは来週行くとして。いつ帰るん？
030366B : あ、8日、8日ですっていうかあと4日くらい。
030367A : もうすぐじゃん。
030368B : あ、そうなんですよ。
030369A : そうなんじゃあ。
030370B : そうなんです、はいユニバーサルの、シンガポールのUSJ、USJ行って来る
030371A : あ、行って来るん、USJじゃないん、USS って言ってたよ？USS なん？
030372B : USS なんですよ。
030373A : USS の？
030374B : うん、USS の。
030375A : あ、そうかユニバーサルスタジオシンガポール。
030376B : そうそうそう。
030377A : あれなんかでもね、日本にないのがほとんど。
030378B : あ、そうですね。すごい楽しみ。
030379A : すごく新しいよ。
030380B : そうなんですよ。よんDとか。
030381A : 4D、
030382B : 4D シュレックとか。
030383A : あれって日本にもあったよ。
030384B : えっ、無いです無いです。
030385A : あったよ。絶対ある。
030386B : えっ、うそー、4D じゃない。
030387A : 4D あった。4D のシュレックあった。ほんとほんとほんと。
030388B : えっ、うそ。へっ、ほんとですか。どこのですか？
030389A : そこのUSJ, ジャパンジャパン。
030390B : ジャパンですか。うそー。
030391A : ほんとしかもシュレックだったよ。
030392B : うそー、そうなんですか。絶対乗ろうと思ってたんですけどあるんですね。
030393A : ジャパンじゃなくてオーサカでもあるよオーサカ。
030394B : そうなんですね。
030395A : じゃけんならばんで他の行けばいいじゃん。
030396B : 良かった、聞いといて。はい。
030397A : シンガポール出るんじゃ。
030398B : あ、シンガポール出ますか？
030399A : あそこ行ってきてよ。あの、今話題のあの超高層ホテル。

030400B : あ、なんかプールがあるところですよ。

030401A : 行く時間無いん？

030402B : いや無いんですよ。

030403A : あ、でもダメじゃ。行ってもいいけどお金があつたら。なんか 30 ドルかかるらしいよ。

030404B : えっ、えっ、そうなんですか。

030405A : 入れるけど、上のプールに行けるけど 30 ドルかかるらしい。

030406B : いや、そうなんですね。けどあれすごいですよね。あれ見てみたい。

030407A : すごいよね。私も見てみたい。30 ドル高いよね。エレベーター使うだけなのに。

030408B : あ、ほんとですよ。高い (…)

030409A : 高いよね。

030410B : 高いですね。へー、すごい。

030411A : そうそう。

030412B : あ、けどバリすごい楽しみです。

030413A : ねえ。

030414B : はい。

030415A : 私もバリ行きたい。

030416B : ああ。言ってましたよね。

030417A : 上野さんどこに行きたい一番？

030418B : えー、一番ですか。ええ、私パリに行きたいです。

030419A : おパリ？おフランス？

030420B : おフランス。

030421A : マカロン？

030422B : あ、マカロン？いや、マカ、ええとですね。なんなんいや、なんかパリの街に歩きたいです。なんか歩いてみたいです。あそこ。

030423A : あーあーあーあーあー、うんうんうんうん。なんとなく分からんでもない。

030424B : そこに今一番行きたいです。

030425A : そうなんじゃ。

030426B : そうですね。はい。

030427A : 私の友達がちょうど今日なんだけど、

030428B : ほ？ほほほほ。

030429A : フランスに行っってから。

030430B : あ、そうなんですね。へえ。

030431A : その子はもうすごいパリが好きなん。

030432B : へー、そうなんですね。よく行くんですか？

030433A : いや、分からんもう、結果ですが、彼氏が (…)

030434B : へっ、すごいですね。

030435A : 住むかもしれんし。

030436B : そうなんだ。すごいですね。へー。

030437A : 朝入っと思ったんじゃけど、大丈夫、パリはまだ3日じゃけえ、って。
030438B : あ、ああああ、そういうことですね。
030439A : そういうこと。
030440B : あーあーあー。あー、そっかそっか。
030441A : 時差があるけん。
030442B : じゃあ大丈夫ですね。
030443A : うん。
030444B : しょうがないですねそれは。あああ。
030445A : そうなんよ。
030446B : へー、すごーい。坂根さんどこに行きたいですか？
030447A : えっ、私？私今ねえ。ビーチに行きたいんよ。
030448B : あ、ビーチ、あ。
030449A : 寒かったけえ前。楽しかったんよ普通に。楽しかったんじゃけど、
030450B : あああああ。
030451A : 最初がもう寒かったけえ。
030452B : ははははは、そっか、そっかそう (…)
030453A : ビーチに久々に行きたい。
030454B : 良いですね。
030455A : ビーチここんところなんか、行ってないけえ、
030456B : あああ。
030457A : 海外のビーチでゆっくり。
030458B : ああ、良いですね。
030459A : うん。いつぶりに行っていないじゃろう、3年間くらい行ってないかもしれん。2
年間か3年間ぐらい。
030460B : そうなんですか。
030461A : うん。
030462B : ビーチだったらどこが良いんですかね？
030463A : え、ビーチ？自分が行ったところと言ったら、あ、すごーい綺麗と思ったのが (…)
ビレッジ (…) むっちゃ綺麗だったよ。
030464B : あ、そなの？
030465A : 一番あそこが綺麗ですね。
030466B : へー、すごいですね。
030467A : むっちゃ綺麗。
030468B : あ、そうなんですか。
030469A : 朝ですすごーい綺麗じゃった。
030470B : ええ、良いですね。
030471A : うん、(…) バリアリーフのも、
030472B : はいはいはい。
030473A : 綺麗じゃけど、雰囲気とか海浜で遊べる範囲で (…) は沖に出んといけんけえ。

030474B : ほお、そうですね。はいはいはい。
030475A : じゃけど、(…)
030476B : あーあー、そっかそっか。
030477A : すごいがものすごい綺麗なんよ。
030478B : えー、そうなんですか。
030479A : ものすごい綺麗。
030480B : はあはあはあ。
030481A : (…)
030482B : へー。バンコクに行ったときに行ったんですか？
030483A : バンコクに行ったときに (…) 行って あ、でもまたそれとは別かもしれん
030484B : あーあー、そうなんですか。
030485A : そのとき2回目行ったんですよ。
030486B : えっ、そうなんですか？すごい。多いですね。へーっ。はあはあ。
030487A : タイの夜行バスが安くってむっちゃ広い。日本のバスとかと比べものにならない
くらい。
030488B : へー。そうなんですか。へー
030489A : こうやって。
030490B : へー、横に倒せる、後ろに倒せるんですね。へえ。
030491A : うんうん、そう。
030492B : そうなんですか。
030493A : で、(…) に親を連れて行ったんですよ。
030494B : あ、はははは。
030495A : そうそうそう。そこで見たんですよ。
030496B : ああ、そうなんですか。
030497A : そうなんよ。
030498B : ああ、すごーい。
030499A : バリじゃない、ビーチ。今なんかあたしふつうに、
030500B : はい。
030501A : 普通に (…) ね。ハワイ、
030502B : はい。
030503A : ハワイに離島に行きたい。
030504B : あ、良いですね。どこですか？
030505A : マウイ島。 あ、でも、黒い感じがするけえ。
030506B : あー、ですよ。マウイ島がいいですよ。
030507A : それかオアフ島の裏側のところ。
030508B : あ、あーあーあーあー。良いですよ、それもいいですよ。なんか、あの火山
が見たい。火山も近くで見たいですね。
030509A : あーあー、あのなんか (…) かね？
030510B : そうそうそうそう。

030511A : うんうんうん。
030512B : 見たことありますか？
030513A : 無いよ。
030514B : あ、無いです？なんか、
030515A : てっとり早いのがいまあそこの鹿児島と宮崎。
030516B : いや、いい、いいです。
030517A : あそこ火山見れるよ。
030518B : そこはいいです。ええ、いいです。
030519A : (…) 近いよ。
030520B : いや、いいです。確かに近いですね。
030521A : 行く途中に、博多のさ、昨日オープンした。
030522B : あ、うんうんうん。博多なんとかシティですかね。
030523A : そうそうそう。あそこ寄って、いっぱい買い出し。
030524B : あーあーあー、良いですね。あーあーあ、良いです。それは。
030525A : けっこういろんなものが入るとるじゃろ？
030526B : そうですよ。良いですよ。
030527A : 天神まで出たほうが楽しいけど。
030528B : あー、けどあそこ行ってみたいですよ、なんか。
030529A : ね、分かる。皿倉山のプランで行ったら。
030530B : あ、安いですよ。あそこ安いです。
030531A : のこっとたらね。
030532B : あ、そっかそっか。あ、確かにそうですね。
030533A : どこにいらっしゃいますか。
030534B : あと一回くらい残ってるから。
030535A : あれバリですか。
030536B : あ、バリです。あ、そうか、バリいらっしゃいます。あ、そうだそうだ。
030537A : あーそっかそっか。
030538B : じゃああれすごい安いですよ。
030539A : 使ってもしマイナスだったらさらにお買い得だったらさらにカフェテリアがあつたらもっと安い。
030540B : あ、ほんとですね。そうですね。友達が、福岡の友達が行ったって言ってて。
030541A : もう行ったの？
030542B : もう行ったみたいで。ラスクですっけ、
030543A : うん。
030544B : ラスクを買うのに2時間くらい並んだって行ってきました。
030545A : あっ、いやだもう。
030546B : ええ、けどそんなにおいしそうと思っただけさ。
030547A : ぜったいいやだ。… おいしそうだけどいやだ。もうちょっとそういう話題が終わったときにさ。

030548B : あー、まあ、確かにそうですね。

030549A : 外国人からしたら日本人が何かを買うために待つじゃん。

030550B : あはあはあ。

030551A : あの感覚不思議でしかたないって。

030552B : えっ、なんでですか。そうなんですか。

030553A : 例えば、なんか新宿とかでオープンしよったけどドーナツとかでもさ、あつ、こんな1個のために、1時間とか30分待ったりするじゃんなんで？みたいな。

030554B : まあまあ、そう、まあ、確かに、そうですよね。んんん。

030555A : なんで、

030556B : あーはあはあ、まあ、確かに、

030557A : なんか前テレビでやりよった街頭インタビューでもそれを言いよってから姉さんも同じこと言いよった。

030558B : はー。へー、そうなんですか。へー。まあ、確かに。自分並びはしないんですけど。

030559A : めんどくさいけんまたで良いやーって。

030560B : そうそうそう。すいた時に。

030561A : お取り寄せした方が早いよね

030562B : ああ、確かにそうですよね。

030563A : それだけ人気だったらお取り寄せあるよね。

030564B : あっあー、そうですね。ありますね。へー。

030565A : 来年から休みがとれるようになると思うから。

030566B : えっ、あ、そうなんですか。あつ、ああああ。
バリ島って海綺麗じゃないんですか。

030567A : 綺麗じゃろ。場所によるんじゃないん？

030568B : えっ、あ、そうなんですか。あーあー。

030569A : そう、どこに泊るんかいね？

030570B : (…)

030571A : (…) にしたんじゃ (…) は海が目の前泳げるけんね。

030572B : あ、綺麗、綺麗ですか。

030573A : 綺麗やったっけ、なんかでも青って感じはせんかった気がする。

030574B : え、うそー。そうなんですか。

030575A : でも分からん、潮の加減かもしれん。海ってけっこうさ、

030576B : うんうん。

030577A : 海ってけっこうパーって。綺麗な。うんうん。

030578B : エメラルドグリーンの海より、濃い青の海の方が好きです。

030579A : あー、分かる分かる。

030580B : その方が綺麗な感じがする。

030581A : 海。

030582B : そうそう、海って感じですよ。

030583A : ええ、でも、グリーンじゃなかったと思うけど、
030584B : あ、そうなんですね、
030585A : コバルトブルーじゃなかった気がする。
030586B : あ、そうなんですね。
030587A : エステとかするん？
030588B : エステもします。
030589A : あそこあったよね。
030590B : ありますよね。
030591A : 見たけどけっこうきれいだった気がする。
030592B : そうなんですね。いや、あそこけっこう安いような気がするんですよ。
030593A : いくらだったっけ？分からん、忘れた。
030594B : 80 ドルとかって書いてあったんですよ。
030595A : で何時間？
030596B : あ、それは見てないです。
030597A : 見た方がいい。比べられんやん。
030598B : 普通の訳は安い。他のところは 110 ドルとかって書いてあるから
030599A : 何時間か絶対見た方がいいと思う。内容絶対見た方がいいと思う。
030600B : すいません。値段しか見てない。
030601A : 1 時間で 80 ドルで 2 時間で 110 ドルなら 110 ドルの方がいいやん
030602B : 確かにそうですね。そうだそうだ。
030603A : 意外に町中の方が安かったりせん？ (…) の方とかで、
030604B : あー、そうですね、
030605A : ちゃんとしてくれてそれが 35 とかじゃない？
030606B : あ、あります。町の方が安かって書いてありますけど。いや、なんか、せっかく
 だったらホテルとかでも良いなって。
030607A : ああーあーあーあー、一回ね。
030608B : あー、一回。
030609A : ご飯食べに行って、そのまま寝るみたいなの。
030610B : あー、そうですね。

(終わりの言葉の省略)

[付録 2]

第 1 回調査の文字化

※実施時間：2011 年 3 月 1 日（約 43 分）

被験者：男性 30 代

場所：被験者の住宅

調査人：VUONG THI BICH LIEN

(挨拶・指示の省略)

040001H：何調べよったん？

040002S：覚えとらん。

040003H：パソコンの会話でもええんやろ、普通の会話でええんやったら

040004S：僕は前あげたあれ、何ですか。あの、ビジネスアウトフレーム。

040005H：あー、あるあるある。

040006S：あれをやりたかったんですよね。でも僕のパソコンが開けなくなったから

040007H：で、パワーポイントを使おうと思ったん。その間借りとってええ？

040008S：はい、でもパワーポイントだけが見つからず、

040009H：ビジネスアウトフレームか。ビジネス、アウト、フレーム。あれ、けっこう使えるよな。

040010S：あれを会員大会用にしようかなと思って。

040011H：はいはいはい、ちょっと待ってよ。これか。メールで送ればええんじゃ。

040012S：いえいえ、それを打ち込ましてもらっていいですか。コピーかなんかして、一個ファイル増やしてもらっていいですか。下のほうに何か、

040013H：デスクトップにある。声小さくても聞こえとるんか

040014S：で、ちなみに youtu

040015H：e でちょっと見てもらいものがあるんですが。これ、声聞こえとんかな。

040016H：多分、声、あんまり普通の声だったら聞こえとらんのんじゃないかな。

040017S：山口エリコって打ってもらって、

040018H：山口エリコ。

040019S：僕あんまりまだカードを見せたくないんですけどほんとは、

040020H：あの、フルタさんにもブロック目線で写真を撮ってくれって言われとるから、それだったら言ってくれとかんと、

040021S：ブロック目線で写真撮っとく

040022H：ブロック目線で写真を撮る…あ、そうか会員大会の時に使いたいから、会員大会の中身知ってても意味無いんか。

040023S：うん。

040024H：山口トキコ。

040025S：いつトキコになったんですか。

040026H：え、山口？

040027S：山口、エリコ。

040028H：将棋って出てくるよ

040029S：え、違う。

040030H：で、動画、

040031S：うん、の、情熱大陸。二分の一、二分の一。ブックオンライン。

040032H：山口エリコ？あれ、こいつあれじゃないんデザイナーじゃないん。

040033S：デザイナーではないですね。

040034H：ああ、フリーズした。やっぱだめだった。せかされたけえだめじゃ。

040035S：なーんで。

040036H：最近だめなんよね。あー ちょっと待って。

040037S：僕のパソコンで行きましょうか。僕のパソコンで。

040038H：移したほうがええと思うよ。ほんと最近、夜中にやったらパソコンへし折ろうかと思う。イライラしすぎて。完全にフリーズじゃ。

040039S：ちょっと、まじめに見てやってください。

040040H：でも 30 分かいわなくなっちゃう。

040041：30 分もないこともない。それ以上とったらいいんじゃないですか。

040042H：あー、慣れたら普通に。

（動画を見る）

040043S：あちちち。

040044H：何持ってるの大丈夫だったん。

040045S：火が付いたまま灰が落ちてくるからそのままアチチチ。（…）ちょっとまじめで見てください真面目に。神経を研ぎ澄まして。

040046H：なんでこんなパソコン動き悪いん。

（動画を見る）

040047H：なあこの前言いよった人じゃん。

040048S：（…）

（動画を見る）

040049H：これ何年前の話なん。

040050S：この情熱大陸は2006年くらいのかな。でも、昨日テレビで見られましたよ。

（動画を見る）

040051H：あ、うーん。結構な額とるね。（…）代だろほとんど

040052S：（…）

040053H：ふーん。

040054S：28 か、

（動画を見る）

040055S：聞きました？見ました？

040056H：何を？

040057S：（…）総裁介入されたじゃないですか。あれなんでですか。

040058H：うん、分からん。（…）だったでしょ。

040059S：そこにいたるまでに昨日寝てしまったんですよ。

040060H:おれもそのへんで寝てる。うっすらと。多分頭の方じゃなかったっけ。違ったっけ。
040061S:多分アルトックスより後ろだったと思います。
(動画を見る)
040062H:結構とるね。(…)
040063S:うん?
040064H:周りもすごい。
040065S:オートロックかな。
040066H:うん。… ふーん。そりゃそうやな。まあ普通なんか。… 何年経っているの
040067S:うん?
040068H:今設立から何年経っているの。
040069S:多分この番組の時点では1年か2年くらいです。今で4、5年くらいですかね。
040070H:こういうのって(…)はどうやって発掘してくるの。
040071S:日経に載ったでしょう、確か。
(動画を見る)
040072H:うーん。
(動画を見る)
040073S:ちょっとショートカットしますね。
(動画を見る)
040074H:まだ。いい顔しとらん。まあそれ(…)同じような…してるじゃん。
040075S:そうですか。
040076H:うーん、柔道ぼかったなあのは。太ったなあのは。
040077S:Fシーン。
040078H:うーん。ぜんぜんに柔道してるように見えない。
(動画を見る)
040079H:ふーん。…ふーん。
(動画を見る)
040080H:人工みたいなん言ってなんでバックなんその、(…)
040081S:人工が負けたんですよ。なんで、途上国とかに ODS: みたいな感じで。
(動画を見る)
040082H:こういう人たちって金じゃ動かんのんかな。
040083S:(…)。金よりこう、人の動く力がすごいですね。
(動画を見る)
040084S:(…)
040085H:ああ、そうなん。この人(…)ってことなん。
(動画を見る)
040086H:東京にも行きよーるってな。
(動画を見る)
040087H:(…)
040088S:ゴミとしました。

040089H：可愛いよね。一生懸命やりよる子が、自信、
040090S：これは男顔負けですよ。
040091H：あれは、特に女やったらあんな怖い街なんか行けれんなあ。
040092S：納品できんって言ってますよ。半分しか納品できんって言ってますよ。
040093H：御用達の所に？
040094S：うん、川にそれを半分しか納品できん……
040095H：でもそれは（…）もんじゃん。
040095S：でも（…）ちょっと低いですよ。
040097H：うーん。
040098S：それをどう直談判するかですね。
040099H：うん。
（動画を見る）
040100S：2時間、2時間待った。
（動画を見る）
040101H：これちょっと（…）
（動画を見る）
040102H：どこに付いとるやつかなあ。
040103S：自分の会社の方の右腕と、会社のマネジメントの右腕と、工場の方の右腕が2人しかいないんですよ。
（動画を見る）
040104H：ここは、オーナーとして店長を雇ってるということやろ。
040105S：いや、雇われ店長でしょ。
040106H：うーん。
（動画を見る）
040107S：まさにその通りだと思いますね。
（動画を見る）
040108H：国内でのグラミンの実業はどうなってるん。
040109S：うーん。まあ1回、
040110H：ここまではいけてないってことなん。
040111S：いや、とるのはやってるんでしょ。人をクローズアップするかアシストをクローズアップするかっていう。すごい等身大と思うんですよ。
（動画を見る）
040112S：頼みよったところが4人しかおらんかったけど今32人いるんですよ。
040113H：ふーん。
（動画を見る）
040114H：ここは影響があったらまた、すごい問い合わせ来とるやろーな。
040115S：ちなみにですね、今月の話なんですけど。
040116H：東京に来る途中寄ってくれーよ。
040117S：それフード社に言われたけど、俺は、違うと思うんですよ。バングラまで行くべ

きだと。

040118H：まあ、今のもテレビ見てたのだけでもほとんどバングラやもんな。

040119S：うん。

040120H：あの一、来るとき。18、19に合わせて東京予定を立てとくかって。これどこのHIS：
の？

040121S：HIS：。2011 3月14日締め切り。19万8000円

040122H：ようそんなしあてたな。しかも14って来週やん。

040123S：まあいい。

040124H：20万で行けるんだ。

040125S：僕は高いと思います。多分現地で多少なんか、お金を落とすシステムだと思います。

040126H：絶対向こうの人にとってもらったほうが安いんだよ。中国でもそうじゃん。

040127S：まあ一応でも、あのフルタシンタロウの・・・

040128H：あれは ムキカちゃんに聞いてみたら、HIS：の。

040129S：行けるのは行けると思うんです。ただこのツアーの特徴は、多分あの、ここに一応
前回のやったのがあるんですけど、この、例の山口って社長と一緒に同行しとるん
です。

040130H：よう調べたなあ。

040131S：フルタシンタロウは・・・

040132H：何泊何日なん。

040133S：4泊5日だったと思います。

040134H：三月14までで18日からもう乗り出すんか。これ次回は？

040135S：分からないです。次回行くんやったらこれ逃すんやったらこれはもう航空券だけで
乗り出すっていう。

040136H：誰がふっかけてたんかな。HIS：がこんなことやりませんかって言ったんかな。

040137S：タイミング的にだって昨日、おとといか、昨日か。

040138H：すげー グラミン銀行も見学できるんじゃ。

040139S：まあ（…）さん解任されてますけど。行きますか。てかぎんちゃんで行ったらちょ
っと話しがこじれてきますね。

040140H：話が、あの不協和音が。

040141S：JCの中に不協和音が。

040142H：ね、さらに俺が行ったらまず、フルタさんこの人を選ばんやろ。えー、こういう都
合が合わないのに長いことやるなあ。

040143S：僕の中にユニクロ柳井もおったんですけど、HIS：澤田もなんか、

040144H：え、これ、ユニクロはこの（…）を使ってどういう教育をさせよう。

040145S：おんなじよ。これの規模でかいバージョン。

040146H：いやそこには人のあれってないじゃん。彼が。

040147S：いや同じでしょ。こいつらがやってるのは高付加価値でしょ。バックだつて見てく
ださい。ぼれ高いですよ。

040148H：今さっきのも高い。

040149S : 見てくださいぼれ高いですよ。

040150H : それは東京だったら場所代があるから高くなってるかな人件費も高いじゃん もとは安いけど結果高くなるのかなと思ったらネットでもそのバリューって高いじゃん。

040151S : 多分、オールハンドメイドだから個数生産できんちゅーのはあると思うんですけど家賃が高いんですよ今 6 店舗持ってるけどちなみに福岡もあるんですよ。ちょっと行ってみたいです。

040152H : ふーん。でもすげーな。二十日に行こうよ。

040153S : それあれですか。二十日っていうことは、あの、

040154H : ビービーキーのやつ。(…) どこにあるん。みなとみらい行こうかな。

040155S : でもみなとみらいも高いでしょ。だって普通に考えて。

040156H : 高い高いあそこは高い。

040157S : ほとんど多分そこに金使っとんやと思いますよ。代官山とかも閉店閉店で高いじゃないですか。戸越、さっきの、あの、2 年目、2 店舗目を閉鎖しよるっていうことでしょ。しかも変えるんでしょ。どう響くかっていう、よりブランド化しよるんかもしれんし、

040158H : 要は単発かもしれんけどそこ店出して知名度上げて、でもなんか、

040159S : どういう展開しているのかは分からないですけどね。

040160H : それはマネージメントが付いてるでしょ、どうせ。日本にもおるんじやろう。

040161S : いや、日本には 1 人しかおらんですよ。

040162H : でもそいつら全部自分で探しよう。

040163S : え、じゃけ、スタッフでいうと日本に 1 人、バン格拉に 2 人でしょ。多分、そういう人数体制でしょ。で、自分はもうバン格拉しかみたいな感じなんじゃないですか。

040164H : そうなんだー、焦っているのかな。

040165S : 年商 3 億ですよ。

040166H : あ、そうなんがあるんだ。

040167S : じゃけ、ちょっとそのジョイステークより昨日おとといほど見たほうが、けっこう入、あの一、

040168H : ああ、あれでぶち知名度上がった言うしの。

040169S : せやけど、そんな。で、(…) が、その通りに行くらしいので。えーと、2011 年何月ですっけ。

040170H : 3 月。

040171S : 3 月。ん、2011 年 2 月の末か。2011 年、3 月 6 日まで。昨日、おとついくらいじゃけまだアップされてないかな。

040172H : 何が。

040173S : 2 月 27 が、3 月、今日何日ですっけ。

040174H : 今日何日っけ。8 日。

040175S : 3 月 2 日くらいかな。まだアップされてないですね。えーと、

040176H : ええなー、バングラデシュええなー。行きたーい。

(動画を見る)

040177H : あー、(…) やら何やらやっと思ったのによろバングラディッシュに目つけて行ったなあ。

(動画を見る)

040178H : それよりどうでしょう、(…) やったかな。

040179S : 火事。

040180H : 収束。

040181S : ほんとですか。

040182H : 角で、四国、制覇。もう去年の6月よ。まあ個人的に会いたいな杉岡。で、その、あれは？その人を呼んでやるハコはどこでやるん。

040183S : 山口大学。

040184H : うん、大学だったらええじゃん。

040185S : おもしろくないですか。

040186H : 学生呼ばばええやん。

040187S : おもしろくないですか。

040188H : うん。

040189S : 学生を僕はターゲットにしているんです。

040190H : 山大やったら、引っ張り出せばなんぼでも、でしょ。

040191S : でしょ。

040192H : それこそ今、あれじゃん、よう外と繋がろうと思って教授自信もパーッと外出する

040193S : でしょ。

040194H : そんなでかい事業じゃなくてもすぐ食いついてくる。

040195S : でしょ。

040196H : あとは山大としてのメリット (…) としたら、ただハコモノかすっただけじゃなくて、山大でやるっていうPRをしてほしい。

040197S : でしょう。だから今僕がその、ビジネスアウトフレームを決めるっていった理由は、それで、それで、あの一、下から話通すんじゃないくて、トップダウンで学長副学長あたりに。

040198H : 学長すぐ会えるだろ、農学の人でしょ。農学関係からせめていきやー。

040199S : 丸本学長ですよ。

040200H : ああ、丸本丸本。

040201S : 丸本じゃなくて滝口っていう人が岡本さんに繋がっているのかもしれないね。さとしさんの時かな、のつながりで。で、学長は高山さんのお兄さんが空手で繋がってますよ。だから両方からちょっと、攻めていてくれるっちゅーことで。

040202H : 本気でやれば (…) でもただ、

040203S : ただ、紙書面がやっぱないといけんからっていうことで、

040204H : ただ、アウトフレームを俺がすんなり渡すとは限らん。

040205S : (笑) なんですと。

040206H : 面白いわ。やりゃあええ。学生対象でそれ不特定多数じゃなくてオープンにすればいい。

040207S : なんでと思います？

040208H : なんで？ どういうこと。

040209S : 今大学生の自殺率ってどう思います。

040210H : 山大って今どうなってるん。山大と広大が一位を争いよったやん。一位を。まだ広大が一位なんかな。(…)

040211S : 見てください。(…) なんか、

040212H : 2 倍のところをこうやったらそりゃあ説得力がある。あれでもどこだったかなあ。これローバイかなんかで調べるとき各大学のが出たような気がするんだけどなあ。

040213S : いやあ、あるんですよ。僕が持ってます。

040214H : ああ、持っとるん。

040215S : 問題は、

040216H : ここ、あ、ちょっと待つて。…… ああ、それがもう、無いから。

040217S : 問題はパワーポイントが使えないっていう問題が、

040218H : そりゃ高いなあ。住民票山口に移してもらってさあ。人間力対処でええんと。どこの人なんこの人、

040219S : なんかフリーズするんですけど、なんでだろう。

040220H : どこの人ってようたっけ。

040221S : 誰ですか？

040222H : この山口さん言うんかな。

040223S : 埼玉県。

040224H : けっこうさ、けっこうどうしてもなあ、あの、あのなんていうんかなあ。人間力対処もそうだけど、これ言っちゃいけんね、言葉はあれやけど。どうも、軽い障害持った人ばかり雇うようになってるやん。

040225S : うん、あー。

040226H : そういうえ、傾向は俺はいかんと思う。

040227S : 俺と同じですね。昨日誰って言ったと思います。

040228H : フクハラさんが？ んー、あれやろ五体不満足。

040229S : かなづわしょうこっていうダウン症の、習字を書くんですよ。

040230H : あー。なんかしっくり来ん。

040231S : で、俺は、俺は。あー同じ、あー同じ。あー同じ。同じ。僕はそれはいけんっていうんじゃなく、それは、ええ話やけど、他の人、他人事に感じてしまうから。

040232H : その人自身はすごいと思うんよ、すごいけど、なんかね、俺はヒットはせんね。自分の中で。

040233S : なんでこのサイトがフリーズするんだろ。
(動画を見る)

040234S : これ全部ダウンロードしきらんですね。

040235H : あー、そういうサイトたまにあるよね。

040236S : なんなんだろ。

040237H : いまだにそうだね、WEH : サイトバーっとやりよったら (…) だけど。

040238S : どういうことですか。

040239H : あの、俺のパソコン使ってなんかみたときがあるじゃん、あれが出てくるからお一、やべ、使っちゃやべえと思ってこう思って使わんようにしとる。あれ広大とか出んのん山口大学もでとったと思うよ

040240S : うーん。なんで、この案件に関しては全部 (…) します? 記録。

040241H : うーん。

040242S : ぜんぜんおもしろくないですよ。

040243H : 言っちゃ悪いけど、

040244S : そういう、ターゲットがそういう人ばかり大量にするんだつたらええんですけど、

040245H : あれ、スタートラインが一緒じゃないと、その、人生っていうか、それだつたら持つてる肉体的なスタートラインも一緒じゃないと、うーん。まあ、そういう人もおる、がんばつとる人もおるんやね止まりになってしまう。… 五体不満足とぶちやつとる人はくそほどおるやろうけど。結局俺も、… できるか調べよつたんよ、去年とか。そしたら、あの一、キンジストロフィーじゃないけど、そういうこと言われて必死で動いて、もともと、あの瀬戸内にある島、今ちよつとなんか、アートとかで有名になった島。なんやったかなあ、なお島? の、出身の人でそこにも絡めながら地域おこししようるけど、その一、残された時間ですごい確かに一生懸命やつとるのもおるけど、なんかな一。

040246S : すいません、

040247H : ええ。いつも俺隣テレビ見ながら吸いようるけえ。テレビ見よつたから。げ。何… っつて。

040248S : あの、あれですよあれ。(…)

040249H : ダウン症がな一。なんかな一、なんか一。

040250S : 僕は、あの一今さっき委員長が人間力対処って言ったじゃないですか。僕、そこをぶち昨日熱弁したんですよ。世界の経済情勢がどうのこうのじゃなくて、両津カンキチじゃないけど、どこ行っても生きていけるだけのタフさみたいなのが今の日本人には足らんのです。ルールから外れたら自殺するみたいなやつが多いから、そうじゃねえんだぞっていうのを、僕は見せ付けるべきだと。で、もう一個面白いなと思ったのは、例えばビービーキー繋がりでもいいから、こう、ちょっと代表取締役みたいなんを呼んで、就活みたいなのを面接スキルみたいなの、表面的なスキル磨くんじゃなくて、人間としてにここ磨けみたいなのを4人くらい呼んで、山口のどっかのまあ社長も呼んでも、その壇上に上げていいから、それで、学生にこんな人間がこの時代に必要なんじゃねえかみたいなのをテーマにしてしゃべってもらう。

040251H : 学生をターゲットにするんだつたら同世代、世代の近いほうがええ気がする。ナエトリ呼んできても、響かんこともないやろうけど。

040252S : で、あの一、そんなに年が行ってない社長。だから僕のテーマは大学生で企業した

fS : ceH : ook とか mixi の笠原とかあんなのをイメージしとったんです。笠原だったら来ると思います。

040253H : それや、こんだけ、なに、グローバルとか言われながら。……ああいう怖いところ行っとるっていうのはそりゃ相当の、

040254S : フルタ社長は海外が勤務なんですよ。みんながみんな大学生に無防備に後進国、異国行けみたいなオチじゃいけんから。

040255H : そりゃなんぼでも、落としどころはなんぼでもできるじゃん。

040256S : でしょ。

040257H : そりゃ単なる説明のツールでしかないんだから。そりゃ県内や国内でがんばってる人も探しゃ出るじゃろうけど。国内だったら、(…)

(終わりの言葉の省略)

[付録 2]

第 1 回調査の文字化

※実施時間：2011 年 2 月 23 日(約 30 分)

被験者：女性 50 代

場所：被験者の勤務先

調査人：VUONG THI BICH LIEN

(挨拶・指示の省略)

050001A：ハンバーグセットはあそのロノヤの方が美味しいですね。ろのや。

050002B：ハンバーグセットはあそのロヤホーロ。

050003A：そなの？

050004B：あそこ、あの一、ええと、タイシチューとかさあ。

050005A：おおっ。

050006B：キッチン、それは

050007A：で、わたしはあまり食べられないんだけど、

050008B：あー、そうかそうかそうかそー。

050009A：えびフライがあって、いやなので、ハンバーグにしましょうか、海老フライにしましょうかって、じゃ、どちらもいいです。

050010B：ドナル、じゃ、ドナルがいいのね。そこのうしろのね。

050011A：でも、よく行くみたい。常連通う。ちょっと通うっぽい。

050012B：あっ、そうなんだ。甘味か。

050013A：うん。あいてないのといって、奥の部屋で。

050014B：へー。じゃ、あの一、

050015A：あの一、合席ですかっっていう合席いって。

050016B：えーっ、話ながら行った？

050017A：うん、話ながら行った。

050018B：へーっ。なんか聞かれ、

050019A：はあ、やっぱり、あの、

050020B：聞けることがあった？

050021A：ううん、そういうことじゃないんですけどね。

(電話があった)

050022B：失礼しました。

050023A：(…)

050024B：キッチンあさくらやろ。あその女の子おったやろ。お姉ちゃん。

050025A：あそこ？うんうん。

050026B：あのお姉ちゃんの彼氏がそこで美容師やってる。美容院経営してる。

050027A：そこ、ふーん、

050028B：山晩の斜めちょっとななめ前ぐらい。一人でね。外に外社の車がちょっと飾りでおいてあるけど。

050029A : ふーん、そうなの。
050030B : うん、キッチンあさくらの彼氏。
050031A : はあ、
050032B : あの、あそこへ行ったことがない。だから、
050033A : 前はどこ？
050034B : ちょっと、あの、前は行ったから、今、えーと、なんだけ？第一ビルがあるでしょ
う。
050035A : 第一ビル？
050036B : えーと、Queen ビルの前。
050037A : あは一。
050038B : あそこの一角にあったよ。
050039A : あ、そう。
050040B : そして、あそこね、ぎゅうたんの燻製も、たしか、まあ、売ってるかな、
050041A : へーつ。
050042B : 高いけど、売ってる。
050043A : ふうん。
050044B : あそこになったら、食べに行っていない、私は。
050045A : ふうん。
050046B : (…) きんいろいろ行ってるみたいですねいろいろ。
050047A : みたいですね。
050048B : 行ってきた？初めて行ったじゃない？事務所に
050049A : 事務所に、まあ、おくち直しにコーヒーいかがですかっていうから、いいんですか
って。
050050B : 初めてなの？
050051A : 中に入っていたら、
050052B : 広いやろう？
050053A : 広い広い、
050054B : ねえ、
050055A : 広いですね。
050056B : うん。だから、あれと、あれと、同じのがロータリーの。
050057A : 隣のロータリーって。
050058B : そうそうそうそう。
050059A : あー。今、例会、ちょっと終わるから、終わる前に、寄っところって
050060B : ああ、そうなんじゃ。その奥が奥の左がそのくち。
050061A : あ、うん。そのくち、そのくちの方が広いのよ。
050062B : うん、広い広い広い。見んじゃ、見に行きたいからさあ。
050063A : うん。
050064B : 何もないからね。何もないというか、うん、広い。
050065A : あまりね。週に2日ぐらいしか行っちゃないんじゃろ。

050066B : うん、いやいや。土曜日とか例会だから、あそこに。
050067A : あー。
050068B : へー、そうなんじゃ。
050069A : まあ、家族構成ぐらいしか。
050070B : そうですか。(…)
050071A : えっ。(…)
 そういうどぎついことは聞かなかつたし、
050072B : どぎついこと。
050073A : まあ、ただ引き継ぎしたのと言ったら、いや、もう無理です、引き継ぎをしてもらいたい。そうなのって、わたしいつもそうなのよといって、(050074B : ん) 何十年前に、(050075B : ん) これとこれはね、幹事と会長に言って、(050076B : ん) 会計のことは、会計に聞いてねって言われたとか、(050077B : ん)、みんなそんなもんじゃないかと思って、よくわからん。
050078B : そんなことじゃないとはわからない？ただ、はなむらさんも十年選手だから、三十三年？
050079A : さんじゅう… 二年ちょっとぐらい。
050080B : あ、そうかな。あの一、岡村さんよりも、
050081A : 二年あと、
050082B : 二年ぐらいあとって言ってたから、
050083A : うん、そうそうそう。
050084B : あまり変わらないかな。
050085A : そうですか。
050086B : すごいね。三十年でもやって。
050087A : どうやって引き継ぐ、ねえ。
050088B : はあ？
050089A : いつ代わるとは別に言っちゃないけど、まあ、いつかは引き継ぎをせにやいけんけどどういふふうにやったらいいかな。
050090B : いえ、だから、今回、今回は、そこでしょう？世話役っていうか。
050091A : (…)
050092B : もう終わったんかいね。
050093A : どっちゃパーソン？
050094B : うん。
050095A : いや、今中、中央には(…)パーソン。
050096B : え、次は。
050097A : 次はアトウやってくれるって。
050098B : あっ、なんとかパーソンっていうのは、じゃ、前？
050099A : どっちゃパーソンは持ち回り、うん、
050100A : まあ。
050101B : いやいや、(?) もう終わったんだ。

050102A : うん、うん、
050103B : あら、
050104A : 私が入った年やっちゃった、去年。
050105B : ああっ、だと、終わるまで、終わったら、なんかやめる。
050106A : いや、今回も五十周年もあるじゃん。五十周年。
050107B : あーっ、ここまでだから。
050108A : うん、四月九日
050109B : それ、それが終わるまで動けんのやね。あ、そうなんだ。
050110A : 会合も作業も厳しいということで、そうですか、うちはそんなに厳しくないって、
だから、よかったらねえ。
050111B : ふーん、厳しいちゅーかなんか、うーん。
050112A : ちょっといないと、どこへ行ってたかって言われます。トイレとね、下におれるぐ
らいそんなに、ん、どこも行きやしないだけどね。そうと言ってた。
050113B : まあ、それは、まあ、ちょっとおおげさかな。
050114A : あ、そうな。
050115B : うん。結構ね。だからそうなんじゃ。
050116A : 無事終わりました。
050117B : あー、そうな。
050118A : で、これ、どこの料理？
050119B : これパエリヤやろう。
050120A : パエリヤ。パエリヤはどこの料理？
050121B : パイリヤはスペインのじゃ。
050122A : あ、地方か。
050123B : うん。スペイン料理
050124A : あ、はあはあはあ。
050125B : よく作るよ、私。
050126A : あ、そうなんだ。これ作ったことない。
050127B : こういう感じじゃ作らんのだけど、うーん、あの一、鶏肉は入れるけど、
050128A : これ、どうやって作る？私は作ったことない。
050129B : これは、本当は色黄色いだろう？
050130A : うん。
050131B : サフランというのを入れるんだけど、
050132A : うふーん。
050133B : あの、お米に色を付けるんだけど、
050134A : ふん。
050135B : サフランがないときは、ターメリックっていうウコンの、黄色いやつ、私はそれを
使って、
050136A : ふん。
050137B : サフランを作る。海老とかね、いかとか、

050138A : ああー、多くね。
050139B : 魚介を入れて、それで、あの一、鶏ガラスープやったら、
050140A : うん。
050141B : こういったなべがあるんよ。
050142A : パエリヤ用？
050143B : パエリヤ用の。
050144A : ほおーん。
050145B : あ、こげ付くけど、あ、煙も出ないし、
050146A : 蓋するん、これ。
050147B : 蓋は、私するね。
050148A : これ、かなり大きいよね。
050149B : うーん、うちのはね2人前ぐらいの、
050150A : あー。
050151B : パエリヤ鍋だから、そんな感じよ。だからそのままに食卓に出すような感じで。
050152A : ふえー。そんなおいしい？
050153B : ん、きれいじゃない。あの一、結構、健康料理よ。
050154A : んん。
050155B : だって、ターメリックでいっぱい入ってるから、う根が。
050156A : あああー、なるほどね。へーつ。
050157B : でも、これはちょっと極端やね。
050158A : だって、鶏肉まるごとじゃろう。
050159B : 大胆、意外と大胆じゃない。
050160A : いや、そんなことない。これがパプリカは大胆じゃろう？
050161B : うん。
050162A : 普通はちよつとこう、ちよつと切ってるんだけどね。
050163B : で、ま、こう掻き混ぜて、
050164A : おー、そうな。
050165B : 食べるみたいな。
050166A : あー。
050167B : えーつ、山口でよくやってんじゃん。
050168A : 何を。
050169B : あの、パンプローナが姉妹都市で山口の、
050170A : ああああー、おお鍋で、
050171B : 井筒屋の前で、大鍋で、パイリヤをやりますって。行ったことないけど。
050172A : あ、そう(?)。
050173B : 食べさせてくれる。あの、こんな感じで。
050174A : ピラーフとは違う？
050175B : ピラーフとは違うね。
050176A : ピラーフは結局、炒めて炊くわね。米から。

050177B：うーん、ま、本格的なのはね。
050178A：うううん。
050179B：ピラーフイコール茶飯みたいな感じだけど、まあ、ピラーフ、
050180A：本当のピラーフは、
050181B：そう。
050182A：米から炒めて、炊くよね。
050183B：うん、だけど、ピラーフ、中に入ってるそのあれが違う？具材が。まあ、そうだね、似たようなもんだね。
050184A：はあはあはあ。あ、そうです。作ってたから。
050185B：作って、まあ、あの、あれよね、サフランが高いのよだから、
050186A：この辺で売ってる？サフランって。
050187B：どこでも売ってます。
050188A：へー。
050189B：ただ、サフランは、
050190A：うん。
050191B：クロッカス。
050192A：クロッカス？
050193B：お花があるじゃん。クロッカスっていう花が、
050194A：んんん。
050195B：あれの花弁ですから。
050196A：あ、そんな。
050197B：はい。
050198A：あ、ちょっと高いよね。ちょっとしかないんでしょう。
050199B：うん、うちもクロッカス植えてるから取るよ。ちゃんと花弁を。
050200A：ふーん。
050201B：ほんで、パラフィン紙にしみたいないように包んで瓶に保存して、冷蔵庫に置いとくんよ。
050202A：はあー。
050203B：すっごい色じゃ、一つの花弁でぶち真っ黄色なるけ。
050204A：そうな。
050205B：うん。ターメリックの場合はかなり入れないと、だめだけど、それは一つの花弁で、
050206A：ターメリックはう根なんやろう？
050207B：う根。
050208A：あ、カレーとか入れるあれ？いっぱいね。
050209B：まあ、カレー入れるね。あの一、香辛料でね。
050210A：あはあは一。
050211B：うふん、聞いて聞いてなんでも。
050212A：さすが。
050213B：はい。

050214A : 花村さんと私は料理が好きなのよ。
050215B : うそだ。
050216A : 料理だけは。あの、パッパ―と手入る。(…) 作るという。
050217B : あ、そう。うん、私と一緒にだ
050218A : うん、なんか、うん、娘も、娘さんこの近くにいる？
050219B : はあああ。
050220A : 娘が三人くらい (…)
050221B : うん、馬越さん (…)
050222A : うんうんうん。
050223B : もう辞めたらええのに、で、(…)
でも、あそこは海岸が多いから、大変だと思う。
050224A : で、次入る人が大変だと思う。
050225B : いや、大変だと思うよ。
050226A : 今文句を言われたら、いつやるね、(?) 言ったって、
050227B : うーうん。
050228A : そんなに言うならね、あんまり文句言うならね若い人ねちゃんと若くて美人で頭も
キレイな人入れちゃってとでしたということをしたことがあるって。あ、そうか
そうか、ま、まだ若い子がええて。
050229B : ふふふん。
050230A : 結構うるさいって、なんやかんや。人数、ま、多いしね、
050231B : 多いとは、どうしてもね、(…)、難しいよね。50 人近くいるでしょ？あそこは。
まあ、60 人ぐらいだっけ。
050232A : 人ぐらい。
050233B : ここも倍じゃろう。3 倍ぐらいじゃない？
050234A : よっしょ。私も (…)
050235B : んん。
050236A : (…)
050237B : ね、すごい 63。見せて。
050238A : 倍。
050239B : うわー。何でここ 32 人もおるじゃない？
050240A : これは正会員じゃない。全員で
050241B : あああ。じゃ、ここもそうじゃない？
050242A : いやー。
050243B : 正会員にしたら、こんなになるんじゃない？
050244A : いやー。(…)
050245B : あ、20 人しかいないの。
050246A : おっ、ほっ、
050247B : 超楽じゃん。
050248A : でも、午前中の仕事よ。

050249B : んんん。
050250A : 後は私が。
050251B : いいよね、まあね、そのぐらいで。
050252A : うんうん、ま、
050253B : あ、ツアーと一緒に。
050254A : ツアーでも正会員 (…)
050255B : んんん。
050256A : ツアーはあまり少ないね。
050257B : 何が、
050258A : ツアーうご…。
050259B : ツアーうごいているわけ。
050260A : いえ、正会員が多い。
050261B : あああ、あー、うん。
050262A : 不在とか、あの、なんとか、私わからん。
050263B : うんー。わけわからんだろう？ん、ようわけわからん。
050264A : (…) いっぺんに辞めちゃいかんから、ちょっと持つてく。
050265B : うーん。あー、疲れた。
050266A : いつもじゃん (…)。
050267B : いつも疲れとるけ。ひな祭り。
050268A : また水曜日よ。
050269B : そうじゃよ。
でも、なんか今年、あの、例会出てないから、超楽。
050270A : へー、実験なんかありえんもん。理事会。
050271B : いいえ、私出演じゃない。次年度は出るよ。あれじゃん、出るよ、出るけど、まあ、
出ても会長の時間と話を聞いて、だから食事が始まったら持つて行こうかなと思っ
て。
05027A : 食事持つて。
050272B : いや、食事をしたくないもん、だから、あ、これは、まあ、食べようかなと思っ
て、食べる。
050273A : んー。
050274B : だって、結構はさあ、これもあるもん昼間っからさあ、たまにね、ほら、彼女みた
い来るとね、していくけど、そんな毎日ね。岡村さんは毎日行ってたもん、この下
に、毎日よ。屋の下にね。
050275A : どれかに (…)。
050276B : さいきょう。まあ、だいたいさいきょうが多かったね。
050277A : あ、そうか。
050278B : さいきょうあたりか。
050279A : へえええっ。
050280B : お持ち帰りをしてみたい。

050281A : ん、お持ち帰りってここ。
050282B : いえいえいえ、家に。
050283A : 持って帰るから開いて、お弁当みたい、
050284B : うんうん、そうそう。
050285A : パックに？
050286B : いやいや、シュウマイとかギョウザとか、
050287A : あー。
050288B : でしょう？ああいったのね。たいてい注文していて、それでも例会にもある（…）。
050289A : あ、飽きるじゃないだからでも。
050290B : 例会もあるよ、必ず美容院に行つて、時々春山さんとお食事に行つて、
050291A : あはあはあはあ。
050292B : うんうん。で、あ、時々外、うるさいね、春山さんときはよく外へよく行きよーち
 やったんね、そう、いろいろ言われてみると、ここでやるって、二人だろう。
050293A : ああ、中に入ったか？
050294B : いや、違うと思う。
050295A : 春山さんはそれと、岡村さんはちょっと楽しちよつちやったんみたいな言い方にな
 ちやったんだよ、（…）
050296B : いや、それはないね。うん、よーやりよーちやったよ。ふうーん、そこまでやるん
 というかさあ。だから、ま、同じことよ。やっていることは。
050297A : うん、まあ、同じ流れよね。
050298B : うんうん、流れは一緒、本当、やることは一緒。
050299A : とにかく、しよつちゅう領収証とか（…）作つてみて、
050300B : ふん？
050301A : 会費が入ったら領収証つて、うちは振り込みじゃつたら、領収証作れませんよつて
 言つたけど、あ、いいわね、うちは領収証がいるいるつて、
050302B : え、うちもよ、うちもよ。
050303A : 要るつて？
050304B : いえいえ、全部領収作つてるよ。
050305A : ここ作つてないもん、出さなくてもいいんですかね。
050306B : 振り込みだけど、
050307A : うん。
050308B : 領収証は全部作つてる。
050309A : あ、そうな。
050310B : じゃけえ、あの一、今ちょうど一月だから年4回うちは入金あるのよ。
 そのたび、領収証もするよ
050311A : （…）
050312B : うん、だけど領収いくつあつても足りないから、パソコンでも領収証作つたんだよ。
050313A : あ、あああー。
050314B : それで、印刷して、で、名前と各印をして、

050315A : ああ、
050316B : みんなに配ってある、全部、うん、すべてに領収証が要る。
050317A : こうやって書いてあるじゃもんね。
050318B : いえ、すべてに領収証がいる、
050319A : あー。
050320B : だから、登録代にしても、何にしても
050321A : あー。
050322B : 何の登録代かというので、
050323A : うん。
050324B : 全部やる。
050325A : うんうん、それはね、上手じゃあるんじゃないと、
050326B : うん
050327A : 会費は頂戴という、中には現金持ってくる人もいるから、そのとき領収証要ります
かって言われて、いるいるって言うから、書いてあげるけど、
050328B : いや、うちは現金も持って行くでしょう。その現金は、私はまた、あの一、通帳に
入れて、そして、それから、あの一、領収証を切ったげるみたいなの。
050329A : あ、そうなの。
050330B : あの、つまりだから、名前がこう入らーね。
050331A : うん。
050333B : そして、あの一、
(電話がリンリン鳴っていた)
050333B : お、電話だ。
(A が電話を聞いていた)
050334A : また人にふった。私が幹事を頼んだんよ。
050335B : んー。
050336A : 会長さんから電話があったから、これを調べてくださいっていわれたんだけど、
050337B : ふん。
050338A : 歳末のもちつきのことなんだけど、
050339B : あー。
050340A : 私は一度も行ったことがないから、
050341B : ふん。
050342A : 内容てきなことはわからないんです。
050343B : ふん
050344A : これは何年前からやっているかということもとにかく調べないとわからないから、
050345B : うん。
050346A : って、会長に言っといってくださいって幹事に言った。
050347B : ん、うん。
050348A : 会長はまた今度はコレヤスさんこれはこれやすさんに頼んでいるから、そっちから
催促して、急いでいるんでしょうというとか、あ、(…)さんは早いほうがいいで

すかねと言ったら、

050349B : ん。

050350A : うん、そうですねと言ったんだから、じゃ、あなたのほうがは催促、これやすさん、えっ。

050351B : え、コレちゃんは幹事？

050352A : ううん、幹事は泉さん。

050353B : あ、そうか、泉さん。

050354A : 泉さんは会長に電話したのよ。

050355B : ん。

050356A : 私が泉さんに電話して、会長に言っといってくださいって言ったから。

050357B : ああー、ぐるぐる回ったのね。

050358A : そうそうそうそう。

050359A : ぐるぐると回して、私はこれこれやすさん催促せんといけん。

050360B : これ、(…) ?

050361A : あの人は別に、あの一、財務委員長でってあるんだけど、そういう... 最悪 (…)
ちょっと近いほうだけど、

050362B : あーん

050363A : なにか文書的事物も中にあるみたい。

050364B : あ、なるほど、ふーん。

050365A : うんうんという言葉が出そうに頭を連続に下がった)

050366B : 変なの。

050367A : 回答は結構文書で十分で (…)、

050368B : ふふふん。

050369A : うん、人にふってるよね？

050370B : ふーん、できないんじゃない？

050371A : うーん、そうかな。

050372B : 打てないんじゃない？

050373A : いやー、

050374B : いや、めんどくさくないじゃないと思うんだけど、パソコンを打てない？もしかして。

050375A : だってメールしても返事返ってこん

050376B : 返ってこない？

050377A : (…)

050378B : だけど、従業員とかに、やらせている可能性もあるね。

050379A : 従業員っていったってそんなに多くないはず、ちょっと。

050380B : そうなの？

050381A : うん、たぶん自分と義理の弟。そんなに人使っているって聞いたことはないよあんまり

050382B : ふーん

050383A : うん、ふるのが上手いって
050384B : うんうん、まあね。
050385A : (…)
050386B : うん、たしかね。
050387A : 少なくとも何回も行っちゃったのよ
050388B : うちの会長みたい、あれもふるのが上手いけど、あれも全部。
050389A : まあ、会長は、ねえ、全部全部やらなくてもいいんだけど、
050390B : うん
050391A : まあ、たとえば、挨拶文とかもう考えてといて、(…)
050392B : (笑い)
050393A : あとの自分自身 (…)、その日も挨拶せんといけんから、
050394B : んんん。
050395A : これやすさんに言っちゃって、
050396B : あー、でも、それはうちもありきよ、
050397A : いや、それがね、
050398B : ん。
050399A : 早く言ってくれちゃったら、準備できるけど、
050400B : うんうん、
050401A : それにぎりぎり、
050402B : ん。
050403A : 私がちょうど休みもらって、
050404B : ん。
050405A : 資料がみたいですけど、私は休んでいるけど、やっぱりね泣きじゃろ、いやあ、そ
ちちに敏感があるって言ってくれたんです、これありがたいって、
050406B : んー。
050407A : ぎりぎりになって言われたんですよ。
050408B : えー、マジで。
050409A : あーはあはあー、… 早く私は早く頼んだんですって言った私はね。
050410B : んんん。
050411A : 挨拶がありますからね、文書も考えてくださいね。
050412B : んん。
050413A : っていうすごい早くあと来たからね聞いたんですよ。
050414B : うん。
050415A : いやー、この間本当一日二日前に言われたんですよ。
050416B : ん。
050417A : って、あー、そうですかって、早くね。
050418B : んー。
050419A : ただ、時々催促せんと。
050420B : ん。

050421A：志望の事項でも、このさっきの資料があるから、あれのさあ。
050422B：うん
050423A：結局うちが一番遅い（…）
050424B：ああああ、（…）にね。
050425A：会長にサインしてもらってくださいって、他のも来ません。
050426B：はいはいはい。
050427A：内の書いているよね。もう他でも来ましたよ、資料できませんから早くしてください。
050428B：たしかに。
050429A：て言わんと忘れちゃって、在してね、スケジュールを管理せんね。
050430B：（笑い）
050431A：スケジュール年間、年間の作る？
050432B：うん、うちも作るね、年間。
050433A：あ、そうな。いいなあ。それでも年間やってくれたら、まあ、一年どれぐらい。
050434B：でも、会長の同行ってというのは、
050435A：うん。
050436B：だいたい決まっているけど、年々違うじゃん、日、
050437A：うん。
050438B：日にち的には、月って月は一緒だけど、
050439A：うん。
050440B：だから、あの一、会長、会長同士で、
050441A：うん。
050442B：あの、もうしおくり、
050443A：うん。
050444B：してくれて、私に言っといてくれるね。一応作っているけどね。
050445A：こんな案があって、年間に。
050446B：一応作ってはいるけど、あの、年度ごとね、何がある何があるっていうこと。
050447A：こんなのは、さあ、作ったけど、毎年。
050448B：うん、それはあるけど。
050449A：結局はこれも作ったけど。
050450B：これはなんかいな。何課程、こんなあれしたん。
050451A：（…）。
050452B：いえいえ、くつつけた。
050453A：いや、コピーなん、白黒がちょっと悪かっただけ。
050454B：え、なんで。
050455A：見えないの？
050456B：くつつけんで、あの一、（…）でボンと出しゃーええのに。
050457A：ああー。
050458B：うん。（…）これだっけ、えっ、あっ、そっか年間じゃないこれ、ね？
050459A：上、ま、うん、もっと前があるのよ、こう隠しとるだけ。

050460B : うん、うちも一枚で一年間がボンと出されるよ、年間行事が。

050461A : あああ。うちも次から次へ入って、これはまた入り込んで、時々メールで送ってと言われるから。

050462B : ふううん、そうそうそうそう。

050463A : 会長ね、サッカーも教えよってんよ、少年サッカー、スポ少かなあ。じゃから、スケジュールの管理が大変なんじゃ、先の先まで分かって。

050464B : うん。…でもね、私はね、あの、一応、あの、私があ、忘れ、ええ、覚えにくいから、作るって毎年作るけど、はっきり言って、申し送りって言うのはさあ、やっぱり、会長は会長どうしてせんとね。

050465A : そうじゃね。引き継ぎだろう？

050466B : うん。引き継ぎってというのは、

050467A : うん、そうそう。

050468B : あくまでも引き継ぎってというのは、会長は会長、幹事は幹事、

050469A : うん、そうそうそう。

050470B : あと、他のプロジェクトとか、

050471A : そうと思うよ。

050472B : そう言ったのは、要するに事務局言ったのはそれまで管理するって、おかしいもん。

050473A : そうよね。

050474B : 事務の、事務の補佐よ、本当。

050475A : 結局、所得 (…)

050476B : ふーん。

050477A : (…)

050478B : 事務的、あの、幹事のことはいいんだけど、結局こっちが考えてこうやる？というのとはなんか。

050479A : 違うじゃね。え、下書きして、これでやってって言うなら、

050480B : あ、そうそうそうそうそう。

050481A : これなら、自分自身こう考えて、

050482B : うんうんうん。

050483A : こういうふうにやってくれるって、

050484B : うん。

050485A : あ、いいですよって言って、

050486B : いや、それは本当、それは本当だよ、

050487A : これでもいいですかって言うなら、

050488B : そうそうそうそう。

050489A : 別に、いくらぐらいでもやるよね。

050490B : うん、そう、そう。

050491A : けど、考えてやって、ハアッって。

050492B : いえいえ、私の絶対考えん。

050493A : いつやらも、なんか寄付をくださいって、こんなプラ紙だけ、

050494B : うん。

050495A : だけ、その、あの、なんか計画書とかそういうの全然ないもん。

050496B : あー。

050497A : で、理事会にかけたらね、こんなもんね、けるしかない。

050498B : なん、なんのあれ？

050499A : 老人のなんかなんかソフトボールかハンドボールか何かの、ユニフォームがほしい
とって、その文書、文書だけ、

050500B : へーっ、そうな。

050501A : 計画があるわけじゃないし、年間のことをして、(…)

050502B : 人は持って来たんだけど、何でもないのでしょ？

050503A : いいえ、郵送で送ってきたのよ

050504B : あー、そういうのはダメよ、そういうのは。

050505A : うん、蹴るから、

050506B : うん。

050507A : もう断って、断っていたら、どうするんか文書を書いて出してって、いや、私がやる
ことじゃなくて、やっぱり幹事さんがちゃんとやっちゃった方が良くないじゃない
ですか、いいんじゃないですかって理事会に言った、

050508B : ん

050509A : あ、そうか、じゃ、とって、幹事にやっといってって、幹事もハアッ…。自分…、

050510B : (笑い)

050511A : あ、そうだ。ね、副士、あれは、小林さんだから、小林さんも (…)

050512B : えっ、でも、さあ、それで理事会じゃかけんのんじゃない？

050513A : いえ、かけにゃあいけんのよ、それは。じゃ、この文書が来たから、どうします
かて言う。

050514B : あ、見てくださって、たくさんいろんなの来るからさあ、全部捨てるよ、たった
たった、うん、で、連絡はあるわけでもないし、

050515A : うん。

050516B : 要するによそから来るわけじゃん、たとえば、こういうやって、(…) いらっしや
いませんかとか来るじゃ、

050517A : うんうんうんうん。

050518B : ねえ、それと、あと。

050519A : ああああ、そういう、あーね。

050520B : うん、いえ、寄付のに急にしてもそうだけど、あの、こういうことやりますけど、
どうでしょうかって来るじゃん、案件が、案件に対して、あの一、電話とかで、あ
の、この間送った資料の件に関しましてっていうふうに電話があったら、それから
よね、私が動くのは。

050521A : あああん。

050522B : それまでにもう止めとくね、言わん。

050523A : うん、(…)

050524B : 限がない、限がないから、それで全部捨てる。もう、で、結局、あの、その封裝が来て、

050525A : うん。

050526B : 電話がないってことはどうでもええことやなあってうけとめるわけよ。

050527A : ああ、全然あてにしてないってこと。

050528B : うん。たとえば、あの、本当に真剣に考えてんだったら、あの、二日前にこの間こ
ういうふうに送らせていただいたんですけど、あの、どうでしょうかって言われ
たら、

050529A : ああー。

050530B : あー、じゃ、その件に関しては、あの、理事会を掛けたいと思いますと、つきまし
ては、どなたにね、ご返答したらいいのでしょうかっていうと聞いて、初めて会長ま
で持って行く。

050531A : ふううん。

050532B : なんかこんなの来たんだけど、理事会書けますって。

050533A : こういふふうに来た度にこんな来ますこんな来ます。

050534B : うん、うん。

050535A : どうしましょうかって、

050536B : あー。

050537A : 会長が判断しても、

050538B : うん。

050539A : それならいい、けしてもいいよって、

050540B : うん、うん。

050541A : 言われたら、だけど、あ、理事会かけようって言っちゃったら、

050542B : あー。

050543A : 理事会にか。

050544B : うん、全部。私が破棄する。

050545A : 前だから、

050546B : ん。

050547A : 大したあれじゃなかったら、あ、いいなあ。あれなかった、

050548B : ん。

050549A : 事務処理しちよっちゃったんじゃないかね？

050550B : あ、知らん。

050551A : こんな来よったけ、私は知らないけど、あんまり聞かんけどということもあつた
から、そうなんですか、毎年来ているんじゃないんですかって (…)

050552B : いや、じゃけん、なんかね、あの一、時々ちよつといろんなもの来るから、あの一、
見て、だいたい分かるから、あ、これはちよつと置いとこうとか、あ、これは、
あの、もう要らないとかっていうのは…

050553A : この間、面白いのが来たよ。なんじゃったっけな。防府天満宮の何か。

050554B : お茶会でしょう？

050555A : そうそうそうそうそう。

050556B : あっ、あれはね、すえなが先生のためから、あと、一応なんか、会長か幹事に見せた
ほうが良いかしらん。あの、持って来ちゃったんでしょ？

050557A : 見たよ、見せたよ。こんなに消してでいい？

050558B : うん、持って来ちゃったんでしょ。

050559A : いや、郵送。

050560B : あっ、郵送で来たの？

050561A : うん、郵送で来た。

050562B : あれは、なんかね、持って来たんですけどって言っちゃったよ。あの、すえなが先
生の、すえなが弁護士の奥さんよ。

050563A : いや、私は郵便受けから取ったんよ。郵便受けから。

050564B : あ、そうなん。

050565A : これこれこれこれ。

050566B : それそれそれそれ。そうそうそうそうそう。

050567A : うわおー。(書類を落として、独り言)

050568B : 封装これ。

050569A : このような。

050570B : うん。

050571A : これ、会長と幹事見たんよ。

050572B : ふうううん。

050573A : 封装に入って郵便へ受けにあった。

050574B : なんかね、あの一、あれが来るんって、あの、(…)

050575A : あああ、らしいね。私もちょろつとしか見とらんけど。

050576B : なんとかさんという人が、有名な人が…。

050577A : 何だろう。いえいえ。(…) あまり、あの、そういう文化的な雅なことにはあまり
興味がなさそう。(…)

050578B : だから、例えば、この(…) さんとかは、あの、会員になっちゃったらたら、行っ
てあげるけどね。

050579A : あはあはあはあはあ。

050580B : 何を言っちゃった。茶話会とかあまりね、行かんじゃろたぶん。

050581A : ふうん。

050582B : これ、持って来ちゃったのよ、このあいだ、わざわざ。

050583A : あ、そうなんだ。今日郵送されちゃった、郵送だったら、郵便受けにあったよ。

050584B : だって、1万円出すわけじゃないじゃ。

050585A : うん。

050586B : 懇親会は8千円じゃろう？

050587A : うん。

050588B : ええ、ぜったいしないし、…、んー、… 4月29日じゃろう。いや、欠席はあな
た、私はもう出したんよ

050580A : 欠席で出して、…。これこれこれ、閉じ込むやつ
050590B : (…)
050591A : しらん？
050592B : 知ってない。
050593A : いえいえ、違う違う。一応インターネットからとったよ。これちゃんがこういうの
があるって。
050594B : 何閉じ込みって。
050595A : これだから、紙をこういう紙があるじゃ、
050596B : うんうん。
050597A : そのままにやるじゃ、
050598B : うん。
050599A : で、(…) 製本する、
050600B : うん。
050601A : 挟み込んで、
050602B : うんうんうん。
050603A : ここに、ここでホッチキスをするわけ、
050604B : うんうん。
050605A : 真ん中にホッチキスをパッチンできるようにしてる、で、これ製本、真ん中に
ホッチキスができる、きっちり真ん中にホッチキスができるやつなんだって。
050606B 個だけでやるけど。
050607A 個2個できる、ここに (…)
050608B : 何でそれをホッチキスするの？
050609A : ここ、ここに、
050610B : あーっ、あの、
050611A : 真ん中に、
050612B : こうするとき？、
050613A : 製本する時に、
050614B : はいはいはいはい。
050615A : 普通でやったら、(…) ここ、ここに折ったら、ぺっちゃんぺっちゃん、
050616B : あー。
050617A : 真ん中にきっちり打てるっていう。
050618B : 真ん中行ったら、曲がれるの？
050619A : 真ん中、こっちホッチキスしたら、(…) 曲がれるので、いい？。
050620B : ホッチどうなるん？
050621A : ホッチキスをここに折って、パッチンできる。
050622B : ああー、そういった意味ね。
050623A : そういうメジャーやねん。
050624B : あああつ。
050625A : 機械っていうほどでもないけどなんかこれ周南の方の会社？

050626B：でも、それ、ここでやってからさあ、ここ見えない、ホッチキスが、こっちが見えない。

050627A：うん、まあ、そうだけどね。簡単な資料を作るにはいいんじゃない。

050628B：まあ一、必要ないね。

050629A：うん、こんな資料がありますよって、前に聞いたから、インターネットから引いたの。それもあるあるって。まあそんなに高くはない。

050630B：うーん

050631A：まあ、私は必要ないな。

050632B：あんまり作る機会がないもんね。うちも(…)委員会がある時に作るくらいかな

050633A：うーん。何十部あっても必要ないわねえ。例えばこういった資料とかでも、こっちでどんどん、うん、だってこれでやったら早いじゃん。

(終わりの言葉の省略)

第 1 回調査の文字化

※実施時間：2011 年 3 月 4 日（約 30 分）

被験者：男性 50 代

場所：被験者の勤務先

調査人：VUONG THI BICH LIEN

（挨拶・指示の省略）

060001A：まず、例えば、洋食のセットをしたところにナメクジがいたということ？

060002B：これナメクジを食べるんじゃないの？

060003A：てか、まあ、捉え方っていうか、見方によって違うと思うんだけど、例えば、ナメクジを食べるということでいくのか、あるいは、セットしとったさらにナメクジがおったよさあどうしますと捉えるかどうかというふうには。

060004B：ははは、でも、ナメクジは（060005A：うん）食わんけど、（060006A：うんうん）エスカルゴは食べるでしょ？

060007A：食べるよね、うん。

060008B：そのへんは・・・

060009A：いや、でも、食う国があってもおかしくないよね。

060010B：そりゃあるでしょ、当然。（06011A：うん）だってチョウチョの幼虫食べたりするところいっぱいあるじゃん

060012A：たくさんある。うんうん。まあ、ハチは日本も食うけどな。

060013B：もっといやなのはピータンなんてぜったい食べたくないもん。

060014A：うんうん。羽根はえとつたらなあ。

060015B：羽根はえちよるの食うなんて残虐な。

060016A：ただ、今のこう、まあ、我々がパッとこの写真見た時には、まず、房呼んで（…）言って取り替えろという話まずなるだろうし、日本だったら訴訟問題に発展しかねないよね。

060017B：いや、ナメクジがおる、そもそもレストラン行かないと思う。

060018A：そりゃ訴訟まで行くよねって話。

060019B：行く行く（060020A：うんうん）。さっきから俺の寝顔じゃないかってくらい似ちよるんですけど。

060021A：これ、どうやって見るんこれ？

060022B：こうでしょ。ベットにうつ伏せでしょう。ベットじゃないテーブルに。

060023A：ああ、そういうことか。あはあ。

060024B：なんかこのへん似てませんか？

060025A：あっ、ああ。（…）ちゃんじゃ、これ。

060026B：一瞬そう思う。自分で・・・

060027A：ここ、ワイングラスもあるし。

060028B：ちょっと雰囲気似てない。これじゃ顔分かんじやろう

060029B：これ海外なのかしら。これどこ？

060030A : これはやっぱり
060031B : あ、これ萩 L。西武線ですよ、これ。
060032A : 今も？
060033B : うん。
060034A : ふんふん。
060035B : だって、黄色い電車って西部か (060036A : うん)、総武線なんですけど (060037A : うん)、こんなホーム、千葉のド田舎行かんと総武線ないもん (060038A : うん)。これ西部線だからあり得ますよ。西武線は混む。賭けてもええくらいきつとこれ西部行ける気がすると思う。
060039A : いや、別に賭けんでもええけど。これはどこ？これは日本やないやろ。
060040B : これは違いますね。
060041A : これ。東南アジアやろ。うん。
060042B : インドだ。え、フェイス黒いもん。で、顔隠しとる女の人がおる、いっぱいある。
060043A : きつとインドだよ。うん。けどさ、日頃は、例えば、日本は、あの、たとえば、礼儀がよくて並んで乗るとかいうことで、日本が割と、ねえ、礼儀正しいまじめな国民性とかいってるけど、これじゃあ言えんよね
060044B : まだ、これ乗れんのがいけんね。
060045A : うん、まあね。電車会社が悪い。うん。
060046B : だってあの、インドの列車とか (060047A : うん)、ここ戸閉めんでぶら下がるもん。
060048A : あ、そう。ぶら下がるよね。逆に言えば上に、屋根に上るとかね。
060049B : そうそうそうそう。あんな有り得んもん。
060050A : あっ、この前言いよったよ。テレビで。どこだったかなやっぱりインドかやっぱりあっちのほうで。屋根の上に乗るから、あの、乗らんように、あの、要するに油ぬったとかね。
060051B : あーあー。
060052A : そんなんこの前ニュースで言った。
060053B : なるほどね。
060054A : だから発想が違うよね。乗らないような、あの一、施設をするっていうことじゃなしに、塗って、上がっても、そこにおれないような状況っていうのは日本じゃちょっと考えられないよね。
060055B : だって (060056A : うん)、インドの場合人が多すぎでしょ。
060057A : うんうんうん。
060058B : だって後 5 年ぐらいで (060059A : うん) 中国抜くんでしょ。
060060A : 5 年？
060061B : 5 年じゃないっけ、10 年つけなんかそんなん言いよったよ。
060062A : 今 9 万？10 万？あ、10 万じゃない 9 億 10 億くらい？インドが、あ、13 億、じゃなくて、あれが、中国が 13 億でしょ。
060063B : でも、中国は一人っ子政策で (060064A : うん)、バースコントロールしとるじゃないですか (060065A : うんうん)、だけどインドはしてないから、すぐ逆転する。

060066A : そうだよな、うんうん。
060067B : しかし、なんか面白いテーマがポンってあるといいな。
060068A : うん。
060069B : ベトナム行くのも、資料持ってないし。
060070A : ふふふふふふ (笑う)。
060071A : プライベートで行く人になんで買ってこにゃいけんのん。すぐ行くんやろ
060072B : あの、このあいだりっちゃんが持ってきた、賞味期限が 2009 年のクッキー買って
来ちゃろうか。
060073B : この前、りっちゃん来た時来たよ。こうやって、えらい硬いなと思って 2009 年
のやつじゃった。
060074A : そんな悪口言っとしてええのか。
060075B : 大丈夫。
060076B : そんなもんショウガブーム今だけであと半年したら誰も見向きもせん
060077A : あ、俺コーヒーで。
060078B : えっ、だって。ベトナムって、コーヒーはミルクティーですよ。
060079B : あー、ミルクコーヒー？
060080B : こうやって入れるやつでしょ？
060081A : 入れ方はどうでもいいあのコーヒー買ってきて。入れ方はわしが考える。
060082B : コーヒーは今高いけえ。
060083A : うん、買ってきて、
060084B : 値上げしとるけえ、コーラ買ってきてあげる。
060085A : そんな、(…)
060086B : ベトナムのコーラ。何があるんでしょ。
060087A : 何でもいから買ってこいっていうのは難しいじゃろ。先に注文つけたほうがみや
すいと思うよ。
060088B : いっぱいおるじゃん、行く人。
060089B : いっぱいおるから大丈夫じゃし。
060090B : 別に幹事関係ないやん。ふつう会長が買ってくるやろそれ。会長買ってこんかった
ね、タイ湾も。おおすみさんやろそれ？
060091B : 調味料。
060092B : 今ナビゲートも中部のやつがあるやん。あれやったら軽いんよ。
060093A : これ、でも記録に残るから悪口は辞めたほうがいい。
060094A : 感動できる話ししようよ。
060095B : 感動できる話し・・・無い。だって担当教授が見たときに有名な名前だったら分か
るんじゃ
060096A : ふふふふ (笑う)
060097B : 感動するようなことないもんね。最近。
060098B : そういえば、貯水槽って (060099A : うん)、民家在いらんからじゅうりゅうびいか
ら良いんですよ。

060100A : うん。

060101B : だから、割りと、何メートルだろう 100 メーター50 角ぐらいか (060102A : うん)、
だから、ギリチョンくらい (060103A : うん)、で、掃除するんでしょう。やっぱ。

060104A : うん。しなきゃいけない。

060105B : そうよね。

060106A : ただ基本的に正式に管理者を置いてどうこうってことは (…) 多分規定はないと思
うけれども、(…) する必要はないと思うんだけど、やはり清掃とねん 1 回くらい
うんぬんっていうのはやらないと、こんどはあれね、あの一、持ち主の地主 (…)
なってくるから、(…)。

060107B : それ見たらすぐ分かるでしょ。

060108A : ふっ？

060109B : ハッチはぐったら、きれいかどうか分かるでしょう。今だって使っちゃよるところ
じゃもん。現状で。

060110A : いや、だから、とりあえず、いったん抜いて、で、あの、清掃して、で、消毒して、
で、

060111B : それってどんくらいですか。だから、結局ね、入居者がきれることはないと思うん
ですよ。

060112A : あっ、つちゅうことは水がとまったらまずいってこと。

060113B : うん。やけんそれは、できるかもしれんけど、あくまで、清掃点検のために、
(060114A : うん) 何時から何時まで、(060115A : うん) 止まりますみたいな、
(060116A : うん) インフォメーションを入れんと (060117A : うん)、まあ、そのへ
んは森丸さんがやるやろうけど、(060118A : うん) なんですよ。

060119A : (…) うん、ただ、あの、清掃して、で一あの、消毒して、で、また、水
張るっていうことだから、水を張ること自体が 1 時間ぐらいすれば水は張れると思
うんで抜き入りかけて、まあ、半日、早くて半日。

060120B : ああ、やっぱそのくらいかかる。

060121A : そのくらいかかる。

060122B : それこそなんかタイミングで、(060123A : うん)、あ、でも、高圧洗浄かけるとき
って水銀はどうなるんでしたっけ、直接入れんのんか。タンクか何かもってきてそ
れに貯めて洗浄するんやろうか。

060124A : (…) 何？でも、高圧洗浄までいるのかないうって話し、

060125B : 違う違う違う違う。壁とかを高圧洗浄する時に、

060126A : あ、いるいる、うん。

060127B : ただ水を大量に使う場合は入れとく場合は、

060128A : そうそう、いるよ。

060128B : それでからになるじゃないですか、(060130A : うんうん)、止めちょきや。一石二
鳥じゃないですか。

060131A : タイミングが問題ね。(…)。

060132B : そのへん。どうなんでしょう問題。

060133A : 今その時点から、もう、支障が出てくる関係があるからね。

060134B : うん。いや、(…) がのこっちゃうるけえさ、それが問題なんですよ。

060135A : ただ、今思うのはあそこは上水道じゃん。

060136B : うん。

060137A : で、(…) 言えばいったん水抜いて、(060138B : うん) やるだけでもいいのかなって気がするんだけどね

060139B : そう思う。しかも、屋上じゃないから、(060140A : うん) 下じゃから、(060141A : うん) どっかの貯水槽みたいにネズミがおったとかなんとかは (060142A : うんうん) あんまないと思うんですよね。

060143A : うんうん。

060144B : 蓋が開かん限りは入れんのやから。

060145A : うんうん。

060146B : そのへんでどうなんじゃろう。

060147A : まあ、あれよね。あの一、そういった清掃をやつとるところに カタログを外注を出すようになると思う。

060148B : うん。

060149A : 君たちがやったら逆に高いもんつくことになるから。あの一、それで話しをして、まあ、時間的なことと、今までに過去にいろんな例があるだろうから。まあそのへんねえ、今日はずっと短くできるかもしれないし、簡単にできるかもしれないし。

060150B : うん。そうよね。(…) でも、水道管の抜くって言ったらすげー時間かかる。水中ポンプ落としてぬくわけにはいかない。

060151A : いや、そりゃもうしたらいい。あの、タッチパネルをもちろんそのためについてるから。

060152B : あ、そうなんですか。

060153A : もちろん。じゃないと清掃なんてできないじゃん。

060154B : あー。

060155A : 一番真ん中のところに、あの (…) なってたまるように、ここから切ってそこに排水ポンプ付いてるから

060156B : ああ、じゃあすぐ。

060157A : すぐっていったって。まあ、入れるほうに時間がかかるからね。

060158B : でも、水道水って消毒してあるから (060159B : うん) 基本的にはそんなにアオミドロが付くとかなんとかっていうのはないでしょ。

060160A : うん、無い。井戸水じゃあるまいし。今言ったように、抜いて、力がかからんから、付いたものはずっとそのまま残るじゃん、(060161B : うん) 残ったのはどんどん膨らんでくるわね。だから、あの、全部 (…) やっぱり。いったん水抜いてバーっと周りをきれいに水を捨てて。うん、それで、もう、あの、水張ったんで基本的には問題ないと思うけどね。まあ、用例によるけどね。そしたら (…) 中ぐらいの状態か状態にもよるけど。

060162B : まあ、いつか絶対やっちゃうるはずなんよね 記録がのこってないだけで。

060163A : いや、やっと思ふよ。
060164B : 20年のことじゃけ知らないとは思ふけどさ。
060165A : うん、いつまでつかつったん。
060166B : 今も使ひよーる。
060167A : あ、そうかそうか。
060168B : 平成3年からじゃからちょうど19年。
060169A : でも、あそこはあれじゃろ。寮やった。寮でつかつとる。
060170B : じゃけ、まだのこちよるって。4個。じゃけ問題なんですよ。それじゃなかったらもう、次入るまでに一回抜けきやあ半日で終わるはなしだから。
060171A : あ、ごめんね、こんな話関係ない。
060172B : でも、話ししよーりやーええんじゃろう。基本的に。
060173A : あ、そう、ふん。
060174B : (…)
060175A : ふふふふふ (笑い)
060176B : うーん。
060177A : ちなみに、だから、ベトナムっていうのはこんな、ギャンブルっていうのはある？
060178B : 知らん。え、でも、あるんじゃないん。
060179A : 共産圏じゃろ。
060180B : 知らんけど。だって、共産圏でいったらホンコンって中国領じゃけどカジノで食つちよるやん。
060181A : じゃああれだつてもともとじゃけん。
060182B : ここだつて、もともとさあ、フランス領でアメリカが戦後來て、じゃけ、ロッキーとかやりよーた、あの、バーでさ、お金掛けてやりよる。
060183A : だから普通に、(…) まあ、公益ではないかも分からないけれど
060184B : 米軍行くところはぜったい掛けはしようる。
060185A : あるある。うんうん。
060186B : ベースの中でも。
060187A : うん。それはまた別じゃからな。
060188B : この前言いよつたじゃないですか、日本でカジノ船作る。
060189A : なんかよーたね。
060190B : あれは頭ええかもしれんけど船酔いするやつは行けれんってやつ。
060191A : でもあれはもともと石原都知事が言いよつたじゃろう。
060192B : あれはだから、東京湾で特区つくってやるっていう。
060193A : うん、そうそうそうそう。
060194B : 日本でも、公営ギャンブルがあればギャンブルやってもええはずなんよね。
060195A : うん。
060196B : 山口にも作ろうってあつたよね。お金がね、1のんたがね1万円で、1ぶちがね、えっ、100円か。
060197A : それ地域通貨じゃろう単なる。

060198B：地域通貨を作ってコインと一緒にして、あくまでコイン。
060199A：ああ。あれもどうなったん結局。
060200B：何が？
060201A：地域通貨作ってどうやどうやっていう。
060202B：絶対無理。
060203A：山口だけじゃなしにあちこち部分的に、ねえ、広まったけど。
060204B：だって無理ですもん。
060205A：結局あのままやね。
060206B：だってボランティアしたらいくらか、
060207A：そうそうそう
060208B：もらえてそれを使える店がまた決まっちゃってじゃないですか、(060209A：うんうん) そのへんは難しいでしょう。地域通貨っちゅーたって。ほんとにそれでどこでも買い物できるとかいうのやったら、
060210A：うんうん。
060211B：でも、そうすると今、1 国家 1 通貨単位か何かだったら、人にとめてくれんです。
060212A：うんうん。
060213B：すごいね、しかし、これ、あ、あれがあるじゃないですか話題。京都大学不正入試事件。
060214A：あ、いいね。
060215B：携帯電話でき、問題を流して、ヤフーの知恵袋で回答をもらってっていうやつ。
060216A：うんうん。
060217B：犯人が捕まったんでしょ。
060218A：ほんと。
060219B：ねえ。
060220A：でも、まだ、今その、なんていうかねえ、ま、大人っていうか年齢の高いものと、今の実際の(…)子供たちと、感覚違うじゃん。もう、基本的には絶対単独犯じゃないって言ってたんだけどね、(060221B：うん) そんなことを一人でできるわけがないっていうけど、蓋あけてみたら一人でね。
060222B：早かったですね。打つのが。
060223A：いや、打ってないんだって。
060224B：そうなん。
060225A：え、写真撮って、それをデータで送って
060226B：写真とったら音するじゃん。
060227A：いや、だから音がしない。今朝かね。NHK でやってたもん。
060228B：あ、そうなんですか。
060229A：いるデータだけを粹組みして、そこだけを取りこんで、送ると。
060230B：ほうほうほうほう。(はあはあはあはあ)
060231A：そんなこと今の党首はそんなこと絶対単独犯でできないって言ってた連中はそこまでのことは認識がないわけよ、携帯に対して。

060232B : 携帯持ち込み OK っていうのが普通ないもん。

060233A : うん。

060234B : 荷物を外に出せって言って、(060235A : うん) きっと来年からはね、禁煙がね (…)
の入口にあって、(060236A : うん) それ通らんと空港と一緒にさあ。

060237A : あ、そうそうそう。そういった面じゃ日本は後れてるんよ。

060238B : うん。

060239A : 韓国は何年も前から、ねえ、金属探知機と、それからいまの、その、なんていうの、
あの一、電波を妨害する装置を着けてやってみるとか早くやってるんよ。

060240B : あのへん。

060241A : そうなんよ。日本はそういうものがね、まったく立ち遅れているというか、逆に言
えばね、全く無防備。

060242B : 韓国は今はステータスはちゃんと大学で大学院か大学でカナダかどっかに言って、
(060243A : うん) 市民権を取って、(060244A : うん) 韓国には帰って来んっていう
のがステータスなんですよ。

060245A : ふふふ。(笑い)

060246B : でないと、景気が悪いでしょ。そこをいかに登れるかっていう。

060247A : いや、言うたらね、やっぱり日本は平和ボケなんよ。うん。なんかあって (…)
全然パワーつとしたり。

060248B : だから官僚主導国家やから、(060249A : うん) ねえ、官僚が経験値 0 の人ばかり
なんですよ。机上の空論しか分かってない。しかもエリートだからさ、カンニング
なんかしたことないような人ばかりが官僚なつとるんですよ。

060250A : だからそのへんの感覚が今のと、今の若い者と、若者と全然ズレがあるわけよね。

060251B : 差がひどいんすよ。

060252A : そうそうそうそう。

060253B : まともなやつはまだまともよね。

060254A : もちろんそう。うん。もちろんそうなんだけど、そういった方面に、もう、いつ
てるよっていう部分が見えてないわけ。

060255B : うん。

060256A : ある程度年取ったものっていうのは、(060257B : うん) それはもうモラルの問題と
か人道的な問題とかいう部分が先にでて、それを理由にして結局なにも対策しなか
ったわけだ。ちゃんとそれはもう、少なくとも日本は起こらないかも分からんけれ
ども起こって、(060258B : うん) そういう対策とっているという部分をもうちょ
っと勉強するべきやし、(060259B : うん) 少し利用するとかいうのはもちろん大事
な部分ことだけど、(060260B : うん) それでことをね、あの、すませているとい
うことはやっぱり (…)
責任があると思うよね。

060261B : だから、共通 1 次だつてさあ、今センター試験か (060262A : うん)。だつてあんな
さあ、英語のヒアリングの試験でさあ、(060263A : うん) こんなすぐ壊れるさあ、
(060264A : うん) IC レコーダーにしようること自体がおかしいじゃないですか
(060265A : うん)。校内放送すりゃ終わる話しなんじゃけえさあ。

060266A : いや、すべて何か事をやろうとしたら 金のことからスタートしとるから
060267B : そうそうそうそう。あれで儲けると (…)
060268A : そういうことそういうこと。うんうん。それですぐ行くわけよね。だからもっと基本的な部分をせにやいけん部分があるんじゃないかと。
060269B : そうそう。
060270A : 手抜きばかり考えてやね、楽しんで高度なことを手短にやるようになって、発想自体がねえ、やっぱりちょっと違うんじゃないかなと。
060271B : さっきの倉重さんの話じゃないけどさ、(060272A : うん) (…) スポ少なんですってね、タグラグビー。
060273A : あ、聞いた。スポ少って言いよったね。
060274B : スポ少だったらそりゃ PT060A でって、
060275A : (…) うんうん。
060276B : それはなんでってなるよね。で、山口出て SS とかサッカーの FC とか強かったとき全国大会行って (060277A : うん) けっこう良い成績でやりようたじゃないですか (060278A : うん)、でもあれスポ少扱いで、(060279A : うん) しかも、各学校からの、(060280 : うん) 選抜とかで、違う、クラブチームだから、
060281B : あー、ああ。
060282A : 考え方はそれと一緒にじゃないですか。
060283A : うんうん。
060284B : 有志で寄付募ったら文句出んかったと思うんですよね。
060285A : そうやね。うん。PT060A として、
060286A : そう。
060287B : どうするかっていう話しになったから。
060288B : PT060A で一口いくらって言うたら、それはなんで？
060289A : うん。
060290B : じゃあ、うちらの子供がなにかやったときはどうなるの？ (060291A : うんうんうん) みたいな話しは当然出る気がする。
060292A : うんうん。
060293B : 倉重先生はまだ分かってない、スポ少の位置付けが。
060294A : うんうん。
060295B : すごいですもんね、スポ少って。年間いくらお金かかると思ってる。おかげでなんかさ、子供がスポ少の野球部で、毎週試合があるから毎週審判とか。日曜日 (060296A : うん) 土日か (060297A : うん)、あれもちょっと異常でしょう。
060298A : ちなみに、スポ少ができたのは国体のときだからね。
060299B : そうなん。
060300A : そうだよ。
060301B : えっ、国体、前回の？
060302A : 前回の。
060303B : ああ、うちのだから、(060304A : うん) スポ少じゃないけど、(060305A : 7A : う

ん) 教えるのも (060306A : うん) 教員なんですよ。

060307A : うん。あれは、あの、当初、国体ができたときだから、

060308B : あー。

060309A : 38 年? 18 回大会に向かって、要するにもっと盛り上げなきゃいけないっていうんで、スポーツ少年団というやつに、その地域というか (060310B : うん) 学校とは違う、学校でやるんだけど、うん。

060311B : 指導員は、

060312A : 学校のやつ、クラブという部分ではなしに、クラブ活動としてではなしに、そういったものを作ろうって言ってできたのが、あの。

060313B : あー、あああああ。分かる。ただ昔は指導者が学校の先生が多かったじゃないですか。

060314A : そうそうそうそう。

060315B : 今はだから、府警が多い。

060316A : そうそうそうそう。

060317B : 大歳なんか、あの、西京のくりばっち監督がおるじゃん。栗林さん。が、今スポ少の野球のね、監督なんよ。

060318A : その時に、あれよ、あの一、国体の聖火台のところの方一方はスポ少の制服着て並んで、反対側は要するにボーイスカウトとガールスカウトがが一と並んで。

060319B : さすが年長者。俺らまだ幼稚園ですよ。

060320A : スポ少の 1 期生だもん俺。

060321B : そうなんですか。そしたら幼稚園です。昭和 39 年でしょあれ?

060322A : 38 年。

060323B : 8 年か

060324A : 39 年はオリンピックだ。

060325B : 6 歳ですもんだって。小学校入ってないくらいですよ。なるほどね。

060326A : そういう時代なんですよ。

060327B : 俺らの会話よりパソコンのキーの音の方がいっぱい入っちゃんじゃないん。

060338A : ふふ (笑い)

060329B : これ何分しゃべればええって言ったっけ。30 分?

060330A : 長いな 30 分。

060331B : 30 分かあ。もうそろそろじゃないですか。

060332A : ふふふふ (笑い)。

060333B : え一何、何がありますかね。

060334A : じゃ、国体で行こうか。

060335B : 国体分からん。

060336A : いや、今、あれよね、千葉国体で山口が今おかしなこと、おかしなことっていうか、して、で、13 位が 18 位になった。

060337B : そうなん。繰り下げになったん。

060338A : 繰り下げになった。

060339B : 罰則ないってよーた。
060340A : 繰り下げなった。
060341B : そうなんじゃ。
060342A : うん。で、男子が 13 位から 16 位じゃったかな？女子が 15 位から 18 位だったかな。
そういう形でランク下げられたんよ。これってやった者はたまったもんじゃないよね、やってる人たちは。競技に参加している人たちが。
060343B : そりゃそうよ。
060344A : やっぱりそういった者が勝手に自分らで解釈して始めた (…)
060345B : それは今までさあ、全部 OK だったのが、急になっていうのがなんかおかしいでしょ。
060346A : そうそう、そう、それもあるよ。
060347B : なんでかって聞いたんですよ。聞いた？
060348A : いや、聞いてない。
060349B : 県の職員がチクったって。おかしいって。
060350A : あーあー。
060351B : 山口県庁って自由な風土があるんやねーって言って、だから、県庁の職員があげたから、(060352A : うん) だから、日本スポーツ連盟か何かも動かざるを得なかったらしい。
060353A : あーあー。あ、そうなん。
060354B : これは結構確実な情報。
060355A : ふーん。あ、そうか。だからここに具体的にもの上がってきたんだ
060356B : そうそうそうそう。
060357A : そういう噂が出たとしても、途中で、ねえ、
060358B : 誰もやりようることじゃから暗黙の了解じゃないですか。(…)
060359A : あ、そうなん。
060360B : そう。じゃけ、まあ、しょうがない。2 位 3 位も 1 位じゃないって
060361A : おかしいのはおかしいよね。やったところは言うこともおかしいよね。言うこと自体もおかしいよね。
060362B : だってオリンピックだってありますよね。
060363A : うん、ある。
060364B : トゥーリオだってブラジル人ですよ。サッカーで言えば。
060365A : なあ、あー、うん。
060366B : このあいだのリーただなりだって、(060367A : うん) 在日だけど、(060368A : うん) 国籍はそれまで (060369A : うん) 韓国だったんですよ。
060370A : そうそうそう。
060371B : で、もっとすごいのは、あの一なんだっけ、猫ひろし？
060372A : うん。
060373B : このあいだ東京マラソンを 2 時間 36 分か何かではしったじゃないですか。
060374A : あー、はいはい。
060375B : あれミャンマーか何かの国籍って、(060376A : うん) 次のオリンピックはそこか

ら出るっていう。

060377A : あっ、そうなの。

060378B : 後進国だったら 36 分くらいで走っちゃったら出れるんですよ。

060379A : ふーん。

060380B : あの、(060381A : うん) 記録 (060382B : うん) 記録とかって (060383A : ふんふん)、
(060384B : うん) くらいはひっかかるんですよ。

060385A : ふーん。

060386B : で、今度のワールドカップのラグビーだって、(060387A : うん) 完璧に国籍違うの
が、(060388A : うん) 5 人くらいいるでしょ？

060389A : うんうん。

060390B : だからもう、あんま、そうなんどうでもええやんみたいな。どうせ半分プロでしょ？

060391A : うん。

060392B : 国体出てくるようなやつ。実業団と言う名のプロやから。

060393A : うん。

060394B : あれおもしろかったですね。東京マラソンで高校の先生が、

060395A : はいはい。

060396B : 3 位になって、

060397A : うん。

060398B : アジア大会の切符を手に入れた。

060399A : そうそう。どういうふうに (...) 上手になったと思うよ。うん。

060400B : でも、なんか、あれ定時制か何かの先生やから、(060401A : うん) どっちにしても
行けるみたい。業務で行くか、(060402A : うん) 有給とって行くかは別にして、
(060403A : うんうん) そんなに忙しいところでもないし、(060404A : うん) (...) 持
っちゃるわけじゃないですか。

060405A : うんうん。

060406B : でも、実業団 (...) 可愛いよね。

060407A : え？

060408B : 可愛そう。

060409A : なんかペースも速かったけどね。ペースメーカーが早かったって話しだけ。全体
の・・・

060410B : ペースメーカーって契約だから、(060411A : うん) 何キロ何分で、成功したらいく
らもらえるとかある。

060412A : そうそうそう。そういうあれでいっとるはずなんじゃけどね

060413B : うん

060414A : だから、俺もずーっと聞いとったわけじゃないけども、けっこう早い。あの一、ま
あ、それがはなからの予定として組んどったかどうかはわからんけど、早いペース
でって話しはしとったけど。

060415B : そうそうそう。もう 30 分なったで。もういい？

(終わりの言葉の省略)

〔付録3 第3回目調査票（調査人用）〕

実施日：2011年11月9日～12月19

被験者：山口大学の学生

場所：東アジア研究科棟207号室

調査人：VUONG THI BICH LIEN

【始めの挨拶】

「こんにちは。東アジア研究科博士課程のリエンと申します。お忙しいところに、研究の調査にご協力をくれて、どうもありがとうございます。私は、感動詞について研究しています。みなさんは、日本語母語話者でながらも、国語学部の学生ですので、みなさんのご意見は私の研究に役に立つと思いますので、ぜひ聞かせてもらいたいです。よろしくお願いします。」

【指示】

「はい、さっそく始めさせていただきます。まず、調査方法について説明します。

今日の調査はインタビューで行きます。

この紙には、感動詞の例文が書いてあります。例文の中には、下線部が感動詞の現われるところです。みなさんは、例文と一緒に読まれて、一文ずつについてのご意見を聞かせてもらいます。例えば、その例文は文法的に正しいかどうか、実際に使えるかどうかなどについての意見を聞かせてもらったら、助かります。」

【質問項目】ⁱ

- ①例文1～4はどうですか。どれがいいですか。
- ②これは、感動詞「わあー」が「時計」という名詞の前に出てきますね。
- ③「うわー」の後ろに「って」「みたい」「ポーズ」が付いていますね。それ以外はありませんか。
- ④「わあー」以外には、この例文に使えるものがありますか。
- ⑤「うわー」はこの例文の中に、「時計」という名詞と組み合わせられますね。「時計」以外には名詞と組み合わせられますか。

【例文項目】ⁱⁱ

1. おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、うわー時計だった。
2. おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、うわーって時計だった。
3. おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、うわーみたいな時計だった。
4. おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、うわー（・）時計だった。
5. 社員1：今朝の会議で田中さんが言ったことは、うーんって意見だね。
社員2：うん、そうだね。
6. 社員1：今朝の会議で田中さんが言ったことは、うーんみたいな意見だね。
社員2：うん、そうだね。

7. 社員1：今朝の会議で田中さんが言ったことは、うーん（・）意見だね。
社員2：うん、そうだね。
8. 彼はえーって顔でその話を聞いていた。
9. 彼はえーつみたいな顔でその話を聞いていた。
10. 彼はえーっ（・）顔でその話を聞いていた。
11. 「きのうね、掃除のとき、引き出しを開けたら、きゃあってねずみが飛び出しちゃって、...。」
12. 「きのうね、掃除のとき、引き出しを開けたら、きゃあつみたいなねずみが飛び出しちゃって、...。」
13. 「きのうね、掃除のとき、引き出しを開けたら、きゃあ（・）ねずみが飛び出しちゃって、...。」
14. A：この話、もう言った？彼女に。
B：言った言った。
A：彼女はどういう反応だった？。
B：そうだね。おーだった。
15. A：この話、もう言った？彼女に。
B：言った言った。
A：彼女はどういう反応だった？。
B：そうだね。おー（・）だった。
16. A：この話、もう言った？彼女に。
B：言った言った。
A：彼女はどういう反応だった？。
B：そうだね。おーって感じだった。
17. A：この話、もう言った？彼女に。
B：言った言った。
A：彼女はどういう反応だった？
B：そうだね。おーみたいな感じだった。
18. A：連休に、旅行行った？
B：うん、モンゴル行った。
A：へー、どんなところ？
B：いやー面白いところだよ。
19. A：連休に、旅行行った？
B：うん、モンゴル行った。
A：へー、どんなところ？
B：いやーと面白いところだよ。
20. A：えっ、新しい指輪？
B：うん。ダイヤモンドのね。
A：へー。高そうね。
B：いいえ、そんな。セールの時期だから、うわー安い値段で買ったよ。

- A：へー。
21. A：えっ、新しい指輪？
B：うん。ダイヤモンドのね。
A：へー。高そう。
B：いいえ、そんな。セールの時期だから、うわーと安い値段で買ったよ。
A：へー。
22. A：「耳なし芳一」は、うーん怖い話だね。
B：ねえ。
23. A：「耳なし芳一」は、うーんと怖い話だね。
B：ねえ。
24. 子供の宿題はね、小学生のためだから、簡単だと思っていたが、やったら、あっ難しい。
25. 子供の宿題は小学生のためだから、簡単だと思っていたが、やったら、あっと難しい。
26. 初めて会ったのに、そんなことを言ってしまって、えっ恥ずかしい。
27. 初めて会ったのに、そんなことを言ってしまって、えっと恥ずかしい。
28. 彼は、社長の部屋を出て、うんうんと歩いていた。
29. 彼は、社長の部屋を出て、うんうん歩いていた。
30. お母さんは息子の話を聞いたら、はあっと座った。
31. お母さんは息子の話を聞いたら、はあっ座った。
32. A：もしかして、バレンタインの日にチョコレートをうわーともらいたいなあ。
B：へー。
33. A：もしかして、バレンタインの日にチョコレートをうわーともらいたいなあ。
B：へー。
34. 学生たちは先生の話をうーんと聞いている。
35. 学生たちは先生の話をうーん聞いている。
36. 彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人がみんなおーと拍手していた。
37. 彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人がみんなおー拍手していた。
38. 彼女の家へ行く途中で、雨がおっと降ってきた。
39. 彼女の家へ行く途中で、雨がおっ降ってきた。
40. 彼女はそれを聞いたら、えっとした。
41. 彼女はそれを聞いたら、えっした。

【終わりの挨拶】

「今日の調査はここまで終わります。みなさんのご意見は私の研究に役に立ちます。ご協力は本当に助かりました。どうもありがとうございました。」

i 質問項目①～⑤は、それぞれの調査項目のために取り扱われるパターンである。ちなみに、例文 1～4 と「うわー」が例として挙げられる。実際の調査では、上記の質問や指示は基本的に取り扱われるが、状況によって変ることもある。

ii 調査項目(例文)は、調査票では 1～41 という番号を付けられているが、実際の調査では感動詞による、上に書いてあるように例文のグループに分けられ、それぞれに質問を出される。

[付録 3]

第 3 回目調査文字化 (1 組目)

※実施時間：2011 年 11 月 9 日 午前 10：30～11：45

被験者：山口大学の学生

場所：東アジア研究科棟 207 号室

調査人：VUONG THI BICH LIEN

(挨拶・指示の省略)

070001Q：始めましょう。まず、皆さんは 1 から 4 の例文を読んで、はい、後で 1 から 4 までの例文で、どれがいいかを考えてもらいます。

070002T：4 番の、これはポーズですか。

070003Q：はい、4 番のところ、ポーズです。ちょっと括弧の中にあるてんてんはポーズです。

070004T：何が喋ったらいいんだろうね。「うわー時計」

070005M：「うわー時計」

070006Q：1 はどうですか。

070007T：「開けたら、うわー時計」。え、これは「わー時計」、「うわー時計」(01：15)、

070008M：感動詞として扱うんでしょうね。

070009Q：そうですね。感動詞として使うものか、感動詞じゃなくて、機能がちょっと変化して使えるのも、それも、お願いします。

070010K：あー、1 言う？

070011T：私は言いません。

070012K：言わない、おかしくない？

070013M：私も言わないかな。これは言う、言わないなあ。

070014Q：1 番ですね。

070015M：はい。

070016K：2 番は、「お祖母ちゃんのプレゼントを開けたら、うわーって時計だった」、

070017T：言う言う。「うわーって時計だった」(02：07)、

070018K：うん。

070019T：いやなバージョン、

070020M：そうそう。

070021K：うん、いやなバージョンだと思った。「うわー」、

070022M：伝えていなかった。残念(…)

070023T：氷川きよしの声で起こしてくれる時計が

070024Q：じゃ、それはマイナスの意味かプラスの意味がありますか。

070025T：はい。

070026M：そうですね。

070027T：どっちか

070028K：どっち取れる？

070029M : 「うわーって時計だった」(02:39)、
070030Q : 例えば、それは嬉しい、素晴らしいという意味があります？
070031K : えー、どう、でも、私はマイナスの方、最初だと思った。
070032M : 最初はマイナスが、
070033K : うん、の方で使う方法じゃない？
070034M : 伸ばし棒の表記だとすごいマイナスな。ちっちゃい「あ」だったら、うわーって
なったという、なんかちょっと可愛い女の子の反応みたいな。
070035K : 確かに。
070036T : じゃ、6割、7割マイナス？
070037M : 7割
070038T : じゃ、3番、「うわーみたいな時計」
070039K : 「おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、うわーみたいな時計だった」、あ、
でも、これはマイナス、
070040M : 言うん。
070041K : 2番と同じ感じ？
070042T : なんか、芸人みたい。
070043M : 私は田舎にいたんだから、岡山こういう表現仕方、割と使っていた。なんか「う
わーみたいな感じの時計だったよ」とかみたいな言い方。
070044Q : それは方言ですか。
070045M : いや、方言じゃないけど、なんかこうみんなよく使ってた記憶があります。
070046Q : 「うわー」の後に「みたいな」が付いているかどうか、
070047K : 「うわーみたいな時計だった」、
070048T : うわー時計だったみたいな、みたいな、
070049K : 言わないね。
070050T : 言うか、私は言わない。
070051K : えっ、言うこと、「うわー時計だった」と「うわーみたいな時計だった」で同じ気
がする。
070052T : じゃ、言ってみて。
070053M : ところによって「みたいな」のあるね。
070054T : まあ、まわりの話してる目を見てさ、TPOに・・・。
070055M : そうね。
070056K : あー、「みたいな」っていうのは、よく使う人がいるじゃん。その人はこういうこ
とに「みたいな」を言うか。
070057M : うん、そうですね。
070058T : うん、うわーみたいな、時計みたいな、だったみたいな。
070059K : それは言いすぎ。
070060Q : はい。
070061T : 4番
070062K : 「うわー (0.1秒) 時計だった」。えーっ。

070063M：点を挟んでいるの、こう会話が分裂しているようにみえて、仕方がないな。
(K&Mがもう一度「うわー時計だった」を言った)

070064T：伸ばし棒を上向き言うか下向き言うかだよな。
(M&Kがもう一度「うわー (0.1秒) 時計だった」を言った)

070065Q：あー、伸ばすんですね。ポーズじゃないんですね。

070066T：あー、伸ばすところに下向きに伸ばす。後のポーズに当たるんじゃない。

070067M：あー、イントネーションの？

070068K：「うわー時計だった」か？ (06:04) Kが下向きに発音を伸ばした) え、言わないことか。下げたら、

070069T：下げているときは、「うわー」、ここにポーズあっても言うかもしれない。

070070M：なんか、あまりいい意味な、表現の後に、点々を使わない感じするよね。

070071T：うん、付けないね。

070072M：特に感動詞 (06:28)、

070073Q：はい、そうですね。なんか、あの一、この例文の中に、「うわー」以外には、他の感動詞が入れるかどうか、

070074K：あー。「おー」、「おー時計だった」、まあ、

070075M：ごめんなさい。「まあ」、「まあ時計だった」、

070076T：「あら」、「あら時計だった」

070077K：「えーっ」、「えーっみたいなの」というね。

070078Q：「えーっみたいなの」は？

070079K：3番ですね。「えーっみたいなの時計だった」。

070080M：あー、そうよね、言うね。

070081T：時計1個しか入ってなくても、「めっちゃ」を付ける人がいない。

070082K：あー、「めっちゃ」？

070083T：「めっちゃ時計だった」

070084K：あー、時計らしい時計。

070085M：時計らしい時計 (07:40)、

070086K：どんな時計、

070087Q：はい、ありがとうございます。はい、今5,6,7行きましょうか。

070088M：「うーん意見だね」。

070089：7はないよね。

070090T：7はないよね。

070091K：「うーん意見だね」。

070092M：「うーん意見だね」、「それは」、

070093K：「うーんいい意見だね」とかだったら、あるけど。

070094M：あー、ある。

070095T：そうよね。

070096K：なんか、名詞の前に、前だから？

070097M：あ、でも、先「うーん名言だね」っていうのはあるよね。

070098K : あー、「名言」というのはいい意味が、すごい入っているじゃん。
070099M : あー、そうだね。
070100K : 意見っていうのは、いいものも悪いものもないん。
070101M : うん、どっち使わず言葉、
070102T : なんか、「うーんりんごだね」とか言った。
070103K : 「うーんりんごだね」。
070104M : 熟したりんごだったら、言うの。
070105K : 絵を描いて、「うーんりんごだね」分かる。状況による。
070106M : 7は言わない。
070107T : うん、言わない。
070108K : 5と6は、
070109T : 5は言う。
070110M : うん。
070111K : うん、言うね。
070112M : ジェスチャ付きで言って。
070113K : うん。
070114T : 2回ぐらいなずいっちゃう。
070115M : 「うーんみたいな意見だね」。
070116K : いい意味か悪い意味か、なんか、
070117T : なんか、言いたいことがわかるけど、どうなんだろうというときにあるね。
070118M : そう。なんかすごく悪いわけではないけど、渋る感じな。
070119Q : 7番の、ポーズが入っている場合は言わないんですね。
070120T : うーん、それは言わないと思います。
070121Q : あー、ポーズが要らないんですか。もし、直接に、「うーん意見」、
070122K : いや、言わない。
070123M : 言わない。
070124Q : それも言わないんですね。後ろに「って」「みたいな」とか付いている場合は？
070125T : うん、がつつくか、「うーんいい意見だね」とか、
070126M : 間になんかこう、
070127K : 「いい」とか「悪い」とか、
070128M : 「ふつうの」とか、なんか、
070129K : 感情、感情というか、
070130T : 形容詞みたいな。
070131K : そうそうそう。がつけば。
070132Q : じゃ、「うーん」の後ろに形容詞とかが付いたらいいですね。
070133K : うん。
070134M : 情調させる感じがこういいとか悪いとか情調させる感じがしますね。
070135K : 「うーん面白い意見だね」とか。
070136T : うん。

070137M : あー、そうですね。

070138K : 「変っている意見だね」とか。

070139Q : 例えば、「うーん面白い意見」、「うーん悪い意見」というんですか。

070140K : はい。

070141Q : じゃ、5と6は、あの、後ろに「て」「みたいな」が付いて言うんですか。

070142M : 6番は割りとなんかこう散漫に感じのにおいが、

070143T : うん、そうだね。

070144M : 「うーんみたいな」なんか人によってまた変りそうだけど、使えそうな感じは。

070145K : うん。

070146T : なんか5番と比べると、6番の方が使えるっていうか、私はこう思うけどみ
いな。

070147M : うん。

070148K : うん。

070149Q : はい。あの、この前は「意見」の組み合わせる、なんか、「うーん」の以外は他の
感動詞があるか。

070150K : あー、「えーって意見」とか。

070151M : うん。

070152T : 「はあっと」、

070153M : あー、言うね、「はあっていう意見だね」。

070154K : 感動詞、

070155M : うーん。あ、「うーん」っていつてしまった。

070156K : 「うわー」、「おー」。「おー」だったらすごい感じするね。

070157Q : 「うんうんって意見」とか「そうそうって意見」とかは使えますか。

070158M : うん。

070159K : 「うんうん」は使えそう。

070160T : 「うんうん」は6には使わない。

070161K : あー、うん、6はないか、それだったら。

070162T : 5は色々入ると思う。

070163M : 5は「って意見だね」。同意って感じな。うん、そう思ってたていう感じの意見だ
ね。

070164K : 納得。

070165M : うん。

070166Q : じゃ、「うーんみたいな意見」は、あの一、「みたいな」の前に、「うーん」以外に
は他のものがはいりませんか。…5はね、色々入りますね。

070167K : はい。

070168Q : 6は？

070169M : あ、感じがあるものは、「えーっみたいな意見だね」とかと思う、「えー」は入ら
ないか。

070170T : 「えー」は入ってるかは、入らないかな。

070171K : 「あーあーみたいなの」、「あーあーって意見だね」
070172T : 微妙だね、分からない。
070173K : 微妙な違いだね。
070174Q : はい、次にお願いします。
070175T : また 10 は言わない。
070176K : うん、言わない。
070177M : うん。
070178T : 8 は言うな。小説とか書いてありそうね。
070179K : うん。「彼はえーっみたいなの顔でその話を聞いていた」。
070180 : なんか、文章にしてしまうと、言わないかもしれない。
070181K : うん、でも、会話でも出そう。
070182M : うん。
070183Q : えーって顔はどんな顔だと思いますか。
070184K : えーっていう顔をして話を聞いていた。
070185T : 機嫌な顔。
070186M : うん、とか。いい感じだったら、びっくりとか驚いてえーっそうなのっていう。
070187T : びっくりする感じですね。
070188M : それもイントネーションだよな。
070189T : うん、そうだね。
070190M : えー下がるとか、なんかこう、
070191K : えーって、
070192M : 逆の感じ (…)
070193Q : 他の感動詞はどうですかね。
070194T : 「ふーん」とか、
070195K : 「ふーんって顔で」、
070196M : 興味なさそう。「おーって顔」、
070197T : 言うね。
070198Q : はい、次 10, 11, 12, 13 をお願いします。
070199T : 可愛いシチュエーションだね。
070200T : 「きゃあってねがみが」、
070201K : えーっ、「きのうね、掃除のとき、引き出しを開けたら、きゃあってねずみが飛び出しちゃって」、
070202T : きゃあ、
070203K : きゃあって、ねずみが言ったの？
070204M : 「ぎゃんぎゃんってねずみが飛び出しちゃって」とかは、なんかあれだけど。
070205K : うん。きゃあって、
070206T : きゃって、
070207Q : じゃ、「きゃあ」じゃなくて、
070208T : 「ぴっ、ぴっ」、

070209M : 「うわー」、
070210K : 「うわーって」、
070211M : 「うわって」、なんかすごいたくさんいる、ねずみが大群出てきたみたいなの。
070212K : うん、そんな感じする。
070213T : そうね、飛び出しちゃってかかるかね、「きゃあ」。
070214M : うん。
070215T : 「飛び出す」だったら、「うわっ」とか、
070216M : あー、そういうことか。
070217T : 「きゃあ」は、私は言わないわ。
070218M : うん。
070219Q : もし、「ねずみ」じゃなくて、他の言葉が「きゃあって…」、
070220M : まず、きゃあという言葉がない。
070221T : きゃあっていうの、使わないかもしれない。
070222Q : 例えば、「うわってねずみ」だったら、どんなねずみですかね。イメージは。
070223K : うわってねずみが、
070224T : なんかねずみのイメージというに、飛び出したときのスピードとか驚きとか「うわっ」。
070225M : うん。
070226K : うん、そうだね。
070227T : きゃあっていうのは、開けた人も感情、
070228K : うん。
070229Q : あー、そういうことか。はい、じゃ、14, 15, 16, 17 をお願いします。
070230T : 16 と 17 は言うかもしれないね。
070231K : うん。
070232M : うん。
070233T : 14 は、言えそう。
070234K : 「おーだった」、言わないかな。
070235T : 15 は、ポーズのところにびっくりなんかマーク付いたら、言うかも。なんか例えば、彼女っていう人がめっちゃベビーキュー好きで、ねえ、A と B が彼女がいないところで、なんかそれは今度ベビーキューやろうじゃみたいな話をしていて、A が「この話もう言った？彼女に」、B が「あー、言った言った」「彼女はどういう反応だった？」「そうだね。おー (0.1 秒) だった」とか。
070236K : あー、そういうなんか。
070237M : うん。
070238T : 「おー (0.1 秒) だった。」
070239K : あー、それは。あー、そうだったら、
070240T : うん。ただ「おーだった」言わないかな。
070241M : ううん。
070242T : 「おー」だったら、言わないけど。ここに、感情を表すマークが付いたら、言うか

な。

070243Q : 14 は使わないんですか。

070244K : 14 はないかな。

070245M : 「おーって反応だった」とか。

070246K : うん。字体の後ろに「感じ」とか「みたいな」「反応」とか言わないと、気持ちが悪い。

070247T : 「感じ」じゃないと、言わないね。

070248K : うん。

070249Q : あの、この例文に、「おー」以外には他の感動詞が入れるか、

070250M : あー、「うーんって感じだった」とか「えーって感じだった」とか。

070251T : 「うーんみたいな…」。

070252M : 「うわーって感じだった」とか。

070253Q : うーん、例えば、「うんうんって感じだった」とかは。

070254M : あー、そうだね、「うんうんって感じだった」。

070255Q : 「はあっ」は。

070256M : 「はあって感じだった」、はあってというのはあるかもしれないね。

070257K : うん、あー。

070258T : 怒っているね。

070259M : 「はあっ」の後に、絶対「？」が付く感じ。

070260T : 怖い。

070261M : 怖い話、ヤンキーの彼女みたい。

「お前浮気したらしいな。お前の話もう彼女に言ったかって。…言った言った。…彼女どういう反応だった？」、えーって言ったそのときに、そういうあれが来そうな感じが「はあっ？て感じ」。

070262K : それはそうよね。

070263T : ヤンキー関係ない。

070264K : 「うんうんって感じ」はどんな感じね、「うんうんって感じだった」。

070265T : 直接に「だった」ないよね、たぶん。

070266K : うん。

070267T : 14 番に、14 より 15 にしてすんなり大丈夫で、言葉は、なんかある。

070268K : そうだね。

070269Q : というのは、

070270T : あー、14 の「だった」とか 15 のポーズ「(・) だった」に、直接くっ付けて通じるという。

070271M : うん。

070272K : そうだね。

070273M : うん、なんて言ったというとかだったら、なら文章としては通じるけど、

070274K : 「だった」、

070275M : 「反応だった」、

070276K : そうだね。
070277M : 「きゃあだった」は言わない。
070278K : 言わない。
070279T : 言わない。
070280Q : はい。じゃ、次に行きます。
070281M : 18 は言うね。
070282K : うん、言う。
070283M : 19 は言わないな。
070284T : うん、19 は言わない。「いやーと」、
070285K : 言わないね。
070286Q : 19 は言わないんですね。
070287K : 言わない。(3 人とも言った)
070288Q : 18 は？
070289M : 言います。(3 人とも言った)
070290T : なんにもしているんか分からないけど、いやーっていうね。
070291K : うん。
070292M : 「いやー面白いところだったよ」。
070293Q : 「いやー」の後ろにポーズがあるか。
070294K : 「いやー面白いところだよ」。
070295Q : 「いやー」を伸ばすんですか。
070296M : ポーズはあまり入りそう。
070297K : あー。
070298M : 伸ばした後にポーズは、
070299K : 「おー」は要ると思うけど、
070300M : 「いやー (てんてんてん) 面白いところだったよ」
070301T : たぶん、括弧に確か点が 0.1 秒ぐらいのポーズ、
070302M : あー、おっ、すごい。「いや (0.1 秒) 面白い所だったよ」
070303T : なんか、面白い所だけど、なんか旅行で、というが、何だろう。

...

※項目 20～41 はレコーダの電池がなくなって、録音が取れなかったもので、文字化がない。

[付録 3]

第 3 回調査の文字化 (2 組目)

※実施時間：2011 年 11 月 21 日 午後 3:00～5:00

被験者：山口大学の学生

場所：東アジア研究科棟 207 号室

調査人：VUONG THI BICH LIEN

(挨拶・指示の省略)

080001Q：はい、始めましょう。じゃ、先ず、皆さんが 1 から 4 までの例文を声で読んで、その後考えてもらいます。1 から 4 ですね。N さんお願いします。

080002N：1 から 4 まででいいんですか。

080003Q：はい。

(G は 00：27～00：47、例文を声で読んでもらった)

080004Q：どれがいいですか。

080005G：4 番は言わない？言うかな？「うわー時計だった」、

080006N：言うかな。3 は言わんくない？3 を使うなら、2 は使わない？

080007G：「おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、うわーって時計だった」、

080008N：嫌な時計だったんでしょ？きつと。

080009G：あー、嫌な時計。

080010N：ちょっとみたいな。

080011Q：じゃ、使えるのはどれですか。

080012G：2 か

080013N：2 か 1？1 か 2？

080014S：1 使う？

080015G：1 使う？

080016N：うれしかったら、なんだよ。わかんないけど。2 かな。

080017G：2 かな。

080018S：え、1 と 2 はどう違う？

080019Q：2 ですね。2 は使えるんですか。

080020N：うわって時計だった。

080021G：「うわって感じだった」は言うかもしれない。

080022N：うん。

080023S：うん。

080024G：「うわって感じな時計だった」言ってちゃう、「って」って。

080025N：うん。

080026S：うん。

080027G：ポーズが入っているですね、4 番は。

080028Q：はい。

080029G：「うわーっ (0.1 秒) 時計だった」、どう言ってる、この時計は？

080030S : 「うわーっ (0.1 秒) 時計」だったか。

080031G : え、これは、もらったあとに、友達とかに言っているんだね。

080032N : そうだよな。

080033S : 2 じゃないんだよね。

080034G : 2 かな。「おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、うわーって時計だったよ」
みたいなの。2 ですかね。

080035Q : じゃ、2 は、あの一、一文ずつですね。あの、2 は使えるんですか。

080036G : 普段のお喋りに使うと思います。

080037N : 使ってもおかしくないけど、出てこないと思います。口からは。

080038Q : はい。S さんは？

080039S : 私も自分は使わないかもしれないけど、使えるかもしれない。

080040Q : ありがとうございます。1 は？「お祖母さんからのプレゼントを開けたら、うわー
ー時計だった」、

080041G : 普段には言わないかも。

080042N : うん、使わない。

080043S : 使わない。

080044Q : 使わないんですね。

080045G : 「うわーっ時計だった」は、使わない。

080046Q : 3 番は？

080047N : ああ、これは、

080048G : ああ、これは若いね。

080049G : 「お祖母さんからのプレゼントを開けたら、うわーみたいな時計だった」、

080050N : いわんね。

080051G : いわん。

080052S : なんか、いやな感じでもんね。

080053G : え、うわーっみたいなという言葉自体でも使ったら通じる。

080054N : 通じるよね。あ、そうなんだという。通じるけど、使わないかな。

080055G : すごい素敵、あ、気持ちの面で使わないということ。

080056S : でも、うわーって、嬉しいときもあるね、うん、どっちなんかね。

080057G : 通じるのは通じると思うんだけど、

080058N : うん

080059S : 通じるのは通じる。

080060Q : はい、4 は？4 は、あの、「うわー」の後ろにポーズが付いて、あの、時計という
名詞と組み合わせるんだけど。

080061G : 「って」入れちゃうのかもね、ポーズどうなんだろう。「プレゼントを開けたら、
うわーっ (・) 時計だった」、言わないもん。いつ言っているのかは、ちょっとわ
からないかもしれない。

080062S : 言わないかな。

080063N : 使わないかな。

080064G : たぶん「って」とか入れちゃうのか、「うわーって」とか
080065Q : うーん、はい。なんか、あの、1から4までね。あの一、「うわーっ」の後ろが、
なんか1の「うわー」はあの「時計」という名詞と直接に組み合わせる、2は後
ろに「って」、3は「みたいな」、あの、4は「ポーズ」がついて、時計という名
詞と組み合わせるパターンですが、他のパターンはありませんか。はい、あの「っ
て」とか「みたいな」とか「ポーズ」の以外には、他はありませんか。
080066G : あー、どうかな。「って」と「みたいな」はたぶん一緒だね。
080067N : うん。
080068G : 気持ち的に。「って」「と」「みたいな」のように同じ意味で感じます。なにという
か、「うわーっ」、
080069N : 「うわーって」。「って」かな。
080070G : 「うわー」、「うわーっな感じの」とか
080071N : あー、うんうん。
080072S : あー、うんうん。
080073G : それも「ていう」。「うわーっていう」とか。
080074S : あー、「って」って、
080075N : 「って」だな。
080076G : 方言かもしれないな。
080077Q : Sさんはどう思いますか。(13:59)
080078S : わたしも「ていう」かな。
080079G : 「ていう」は「感じ」も使うかもしれないかな。
080080S : うん、「感じ」も使えそうね。
080081N : 「うわーっな感じの」
080082Q : 「な感じの」ですか。すごい、いい発見だね。ありがとうございます。あのね、は
い、1から4まで、「うわーっ」と組み合わせる名詞、時計という名詞だけど、も
し、「時計」じゃなくて、他の名詞は組み合わせられるかどうか、「時計」という
言葉以外には、あの一、
080083G : 名詞なら、何でも入れそうな。
080084N : うん。名詞って、「いす」とか。
080085Q : うん、「うわーっいす」とか。
080086S : なんでもあり、何でも入りそう。
080087G : 感動するか、がっかりするかするとき、「うわーっ」使うので、たぶん
080088Q : はあ、なるほど。
080089N : うん、なんでも
080090Q : はい。あのう、そうですね。なんか「うわーっ」以外には、この場合はこの例文
に、あの、他の感動詞が、替えられる感動詞がありますか。
080091G : 「お祖母さんからプレゼントを開けたら」、
080093N : 人 : 「わー」とか。
080094Q : 「わー」は文字化して、こういう形ですか。

080095S : はい。

080096G : 「わー」、言うね。

080097S : うん、言う。

080098G : あ、どっちも言う。感動もがっかりも「わーって時計だった」みたいな。

080099Q : 「えーって時計だった」は？

080100G : あー、「えーっ」も使いますね。「えーって感じの時計だった」とか、

080101N : あー、うん。

080102G : えーって、がっかりとか、たぶん。「えーっみたいな時計」、

080103S : がっかり、普段に言いそうね。

080104G : 多い、多い。

080105Q : 「うーん」とか、「うーん時計」とかありますか。

080106G : なんとも言えない時計、あ、「はあっ」も言えるかもしれないね。

080107N : あまりひどいけどね、ちょっと。

080108G : 「はあっ」、

080109N : 「はあっ時計」とかあるよね。

080110Q : 「はあっ時計」、面白いね。はい、だいたい、あの、例文に「うわーって」とか、
入れ替えられる感動詞、例えば「わー」「えーっ」「うーん」とか「はあっ」はこ
こに入れ替えられるか、

080111G : 入りうる。

080112N : 入りうるかな。

080113G : 入れますけど、結構相手に失礼。本人の前で言えない。

080114Q : あー、はい、そうですね。

080115G : 「はあっみたいな」はちょっと。なにこれみたいな雰囲気。

080116Q : だいたい、例文2のところには、「うわーって」のところ、いろいろ替えられる感
動詞が、

080117G : 結構、どこまで感動詞というのかはあれなんですけど、「はあっ」とか「えーっ」
もたぶん使えると思います。通じます。

080118S : うん。

080119Q : 2 と 3 はね。

080120G : 2 と 3 ですね。

080121S : 3 は終わり。

080122G : 「はあっみたいな時計だった」ね。

080123S : あー、うんうん。

080124Q : 直接には、例えば1は、先皆さんは使えないというんでしょ。でも、なんか、直
接に名詞と組み合わせるのは、他の感動詞はありませんか。

080125N : 「えーっ時計」とかですか。

080126Q : うん、例えば、あ、皆さん自由に、使える。

080127G : 「おばあちゃんからのプレゼントを開けたら、えーっ時計だった。」

080128N : あーうんうん。

080129Q : 「えーっ時計だった」は、ポーズが、
080130G : あっ。
080131S : かぎ括弧になってるは。
080132G : 「えーっ」、人には言わないかね。
080133S : 「だった」付けなくなってる？後ろに。
080134N : あ、そうだね。
080135S : 「あっ時計」とかね。
080136G : うん。
080137S : 終わっちゃう。
080138N : じゃ、人に話してるかな。
080139S : どうなんかね。
080140N : どうなんかね。
080141G : これは、人に話している感じです。例文的には。おばあちゃんからのプレゼント
もらって、次の日とかに友達に、なんか、
080142N : 「おばあちゃんからのプレゼントを開けたら」、
080143Q : どれでもいい。これは、すごくオープンですね。
080144G : 「おばあちゃんからのプレゼントを開けたら」、「えーっ」とか入れるか、これは。
びっくりしたりするとき。
080145S : あー、それはさそのとき、使えなく、開けた瞬間
080146G : 「えーっ、えーっ (0.1 秒) だった」みたいな。
080147Q : はい。そうですね。あの一、4はどうですか。4はあの、「わー」の後ろポーズが
ありますか、「わー」とか「へーっ」とか「はあっ」とかの後ろにポーズが、それ
から名詞が、こういう例文、こんなコンテキストに、
080148G : 先みたい、えーっとか、
080149Q : それはポーズが、
080150G : ポーズなのか。
080151Q : ありそうですね。
080152G : 実際使うかもし、
080153N : えーっ時計。
080154G : てんてんてんとか付いてるかもれないですけど。
080155S : あー、うんうん。
080156Q : うーん、それはポーズですか。
080157G : ポーズというんでしょうかね
080158N : 沈黙、。
080159G : ポーズでしょう。よく、てんてんてんはたぶん、日本人は書いたりするときに使
うんです。「えーっ (0.1 秒) 時計だった」(13 : 48)
080160Q : はい、ありがとうございます。じゃ、あの、5から5,6,7をお願いします。
(Gは例文を14 : 08~14 : 51読み上げた)
080161G : はい、「って」「みたいな」「ポーズ」は。

080162Q : はい、5, 6, 7 はどれがいいですか。
080163G : あまりよくなかったことだよね。たぶん、雰囲気的。
080164N : うんうん。
080165S : 5, 6 は言わない？
080166G : 言う。
080167N : 5 か 6 ?
080168G : 「うーんって意見だね」
080169S : 「うーんって意見だね」。
080170N : 5 かな
080171S : 5 かな
080172G : 思わしくなかったことだよね。
080173N : だめだったよね。
080174S : うん。
080175N : なんかだめん。
080176G : それはちょっとうーんって思ってたねみたいな。なのは通じますね。
080177S : うん。
080178Q : じゃ、5 は使えるんですか。
080179G : 使えます。
080180N : うん、使います。
080181S : 使います。
080182N : 6 もね。
080183S : 6 も使える。
080184G : うん。「うーんみたいな意見だね」。
080185N : うんうん。
080186Q : 7 は？
080187N : 7 は、ないかな。
080188S : うん。
080189G : ポーズがあまりなれてない。「うーんうーん」、
080190N : 意見だったねって感じじゃない。なんか、意見がどうだったじゃなくて、あれは意見だったよねみたいな。
080191S : そうそう、そういう感じするね。
080192N : あれはただの意見だね。
080193S : うん。
080194G : うんうん。「うーん」の延長で悩んでいたら、言えるかもしれない。「うーん (0.1 秒) 意見だね」。でも、ちょっと通じないかも。
080195N : はあっみたいなら、なんか、
080196G : 「うーん (・) 意見だね」、
080197N : 意見を言ったらだめというかかもしれないね。
080198S : あー。

080199G : 意見を言う場ではなかったらいいね。
080200N : うん。
080201S : あー、なるほどね。
080202Q : じゃ、7は使えますか。
080203N : 使わない。
080204S : 言わないんですね。
080205G : 使わない。
080206Q : はい、ありがとうございます。あの、なんか、だいたい1から4のように、5,6,7
までの例文で「うーん」の後ろに「って」「みたいな」「ポーズ」が、あ、ポーズ
は先皆さんが使わないってですけど、なんか「うーんって」とか「うーんみたい
な」、あの「って」「みたいな」以外には、後ろに付くものはありませんか。
080207G : 先みたい、たぶん「うーんって感じの」みたいな「感じる」の感、
080208Q : 「うーんって感じの」、
080209G : 「意見だね」とか。なにかあるかな、ほかに、「って」「みたいな」。
080210S : 「おー」、
080211Q : 「うーん」の以外には、「おー」とか「うんって意見」ですか。
080212N : あー、「うーん」なら、「うん」「あー」とか
080213S : 「うーんって感じ」はあまりないね。
080214G : よくなかったんだよ。あ、でも、悩ましいところだなあていう。
080215N : うん、「うーん」じゃないでもいいならさ。「ふーん」とかでも。
080216S : あーうん。
080217G : 「ふーん」か、
080218S : 「ふーん」みたいな。
080219G : あ、「ふんふんふんていう意見だね」。
080220Q : じゃ、あの、「うーん」の代わりに、他の感動詞が、例えば「ふんふん」とか「う
んうん」とか入れ替えられるんですか。
080221G : あれは感動詞かな。
080222Q : 感動詞は「うんうん」とか、
080223G : 「はあはあはあ」かな。なんか、あ、納得できる、うん、できるできるみたいな。
080224Q : 「うんうん」ですか。
080225G : うんっていうこと? 「うん」を繰り返したら、使うかもしれない。
080226Q : 「うんうん」という形ですか。
080227G : 「うんうんみたいな」、たぶん言葉は「うん」とはあまり使わないかもしれないけ
ど、うんってなんだろう、本当に、何だろう。「はあはあはあ」も使うね。たぶん
うちは使っちゃうかもしれない。
080228S : あー。
080229Q : 「はあはあはあって意見」ですか。
080230N : 「はあはあはあ」の「はあ」は、
080231G : 「きのう田中さんが言っていた意見を聞いていると、まあ、ふんふんでもよねみたい

な」。へっ、なに使ってる、「ふんふん」「はあんはあん」、
080232Q：「おーって意見」、
080233N：あ、「おー」ってなると、ちょっと意味が変わるよね。よかったね、あれみたいな。
080234G：よかった、イメージが変わるか。「うーん」よりは、
080235N：いいよね。
080236G：いいよね。「おーって意見だった」。「田中さんおー」、「おーってなる意見」とはや
つぱり。
080237N：うん。
080238G：ってなる、ってなる。
080239Q：じゃ、「おー」は入れ替えられるんですか。
080240G：「おー」は入れ替えられます。
080241Q：「ふん」は？
080242G：ふんふんふんという、
080243Q：先、「ふんふんふんって意見」
080244G：私は使うかもよく。それを聞いていたら、ふんふんふんと思うよみたいな。
080245N：「ふんふん」は言わないけど、「ふーんふーんふーん」は、
080246G：するかもしれないね。
080247Q：Sさんはどう思いますか。
080248S：えー、でも、全部使えそう。「ふーん」も「ふんふん」も、「はいはい」とか
080249G：「はいはい」というか。
080250Q：はい、この、こんなコンテキストに、なんか、意見という名詞と組み合わせるん
だけど、「意見」以外には適当な他の名詞がありますか。
080251G：あー、「話」とかね。
080252Q：「うーんって話」ね。
080253G：「うーん」あ、「言い方」だったら、
080254S：うん。
080255G：「今朝の会議で田中さんの言ったことうーんって言い方だったね」みたいな。
080256Q：言い方、
080257G：言う方法、言い方。
080258Q：入れ替えられるんですね。
080259G：通じます。
080260Q：通じますね。
080261G：通じます。通じますか。
080262N：うん。
080263Q：うん、「話」「言い方」。他はありませんか。
080264N：「うーんってことだね」とか。
080265G：「こと」は、あ、使う。
080266N：「こと」はすべて片付けない？
080267G：ただ、大人に使わないのかな、どうなるか。「こと」も入りうります。私は使いま

す、会話だったら、

080268N : 「うーんって感じだったね」とか

080269S : 「感じ」は入りますね。

080270Q : はい、ありがとうございます。次は8,9,10をお願いします。
(Sは23:04~23:21読み上げた)

080271G : 10はない。

080272N : ない。

080273S : ない。

080274N : 8?

080275G : 言うかな。

080276N : うん、8。

080277S : 9も言うけどな。

080278G : なんでも「みたいな」って付ける。

080279Q : じゃ、8と9は使えるんですね。

080280G : 使います。

080281N : うんうん。

080282Q : はい。じゃ、あの、だいたい「えーって」とか「えーつみたいな」、あの、「えーつ」の後に「みたいな」が付いて「顔」という名詞と組み合わせるんですね。「えーつ」以外には他の感動詞が入れ替えられますか。

080283N : 「えーつ」には、いっぱいありそうじゃない？

080284G : 「おーって」とか、「はあって」とか、やっぱ「はあつ」、

080285N : 「おー」もあるらしいね。

080286G : 「あら」とか、

080287N : 「あれ」とか、

080288S : うん。

080289N : 「おや」とか、

080290G : ああー。なんでも入れるね。

080291S : なんでもいけそう、顔らしい。

080292G : それはないでしょう。感動詞じゃないもん。でも、

080293Q : はい。あのー、「顔」以外には入れ替えられるものが名詞がありませんか。「顔」という名詞の代わりに。

080294G : えーと、[感じ]はやっぱり入ると思います。「えーって感じで」

080295N : あーあー

080296G : 「えーって感じでその話を聞いていた」、

080297N : あー、うん。

080298S : うん。

080299N : 「態度」ね。

080300G : あー、どんな態度か、

080301N : えーつ。

080302Q : そうですね。

080303G : 雰囲気とか入れる？そこまで言わないかな。

080304N : うん。

080305G : 「えーっみたいな雰囲気」、

080306S : 「雰囲気」を使うなら、「感じ」、

080307G : あー、「感じ」のほう楽で。「雰囲気」って固くなるね、ちょっと。「えーって態度」「えーって感じ」。なんだろう。なんにも入れずに「えーっみたいにその話を聞いていた」って使えちゃうかもしれない。

080308S : あー。

080309Q : はい、ありがとうございます。次、あの、11, 12, 13 をお願いします。
(N は 26 : 04 ~ 26 : 27 例文を読み上げた)

080310G : 12 番は、私は「みたいな」と「ねずみ」の間は分けてしまいそう、「引き出しを開けたら、きゃあみたいな (01 秒) ねずみ飛び出しちゃって」。

080311N : 確かに。

080312Q : すみません、12 は、あの、「きゃあみたい」、これは「ツ」が、これはないんです。これは私のミスです。「きゃあみたいな」、「ツ」がない、これはなんか。¹

080313G : あ、あーあー。

080314S : ねずみがきゃあということでしょ。

080315N : なんかにびっくりするねずみが出てきたとかでしょう。

080316S : あー、ねずみが (…) でしょ。

080317N : 針ねずみみtainなのが出て来たみtainな感じ。

080318G : えっ。

080319S : あー、そういう感じ？

080320N : あ、ちがうの、なんか、これねねずみみtainなねずみ、

080321G : ねずみが飛び出しちゃったことにびっくりしてんじゃないのか。

080322N : あ、どうなんだろう。

080323G : きゃあみtainなねずみ、

080324N : あ、でも、うん、おかしくない。きゃあみtainなねずみが、

080325G : あ、どっちなんだろう。

080326S : えっ、わかんなくなってきた。わたしは絶対使わないと思ってた。

080327G : ねずみが飛び出しちゃったことにきゃあって言ったのか、きゃあみtainなねずみが飛び出しちゃったのか、どうなんだろう。使う？きゃあ、

080328N : 11 かな使うなら。

080329S : え、これは自分が驚いて？

080330N : うん、たぶん。

080331G : ねずみちゃんがきゃあ、きゃあ、羽ねずみが出てきたわけよね。「きのうね、掃除

¹ Q (調査人) は「きゃあみtainな」を「きゃあみtainな」と調査票に直した)

のとき、引き出しを開けたら、きゃあってねずみが飛び出しちゃって」、どっちのねずみなんだ、使わないということなんじゃ。

080332N : 「ねずみが飛び出して、きゃあってなった」というかもしれない。

080333S : うん、ね。きゃあって、普通の会話のときないわね。

080334N : うん。

080335G : 「きのうね、掃除のとき、引き出しを開けたら、きゃあ」、

080336N : 「ピュッ、ピュッ」とか、

080337G : 「ピュッてねずみが飛び出しちゃって」という。

080338N : そうそう、ねずみが出てきたね。

080339S : 「バツ」とか、

080340G : 「バツって」、

080341G : 「きゃあ」は、

080342N : 言わない。

080343S : うん。

080344Q : 「きゃあ」は言わないんですか。他の感動詞が使えるんですか。

080345N : 感動詞なのかな、バツって。

080346S : じゃないいな、わかんない。

080347N : 擬音とかなんとか、

080348Q : ピュって？

080349G : ねずみが出てきた、あの、表現を写って、たぶん。

080350N : 効果音としてね。

080351G : スッて、

080352N : ピョンって、

080353Q : 「ピョンってねずみ」ですか。

080354N : 「ピョンってねずみ飛び出しちゃって」。

080355S : うん。

080356Q : 「ピョンってねずみ飛び出しちゃ」、

080357N : ねずみがどう飛び出てくるとか。

080358Q : 「うわってねずみ」、「うわっ」は感動詞ですか。

080359N : え、感動詞かも、感動詞じゃ、感動詞はしてない。音声だよ。効果を、

080360S : ね。うん。

080361G : ここには「きゃあ」を入れてこない。

080362S : ここじゃない、入れない。「きゃってなった」みたいな。

080363G : 「引き出しを開けたら、スッてねずみ飛び出してきて、きゃあってなった」。

080364S : うん。

080365G : ここに書いたねずみが繋ってる感じがしちゃって、たぶんここに入れるんならピュッとかスッとかねずみの状態の表現をたぶん入れます。

080366S : うん。

080367Q : そうですね。

080368G : みたいなのとか、
080369N : あー、そういうなったら 11 しか使わないね。
080370G : うん。
080371S : うん、よね。
080372Q : 感動詞はこのテキストに使えないんですか。
080373N : 最後に付けます。
080374Q : あー、最後はどのようなコンテキストに使えますか。
080375G : 「引き出しを開けたら、ぴやっぴやっねずみが飛び出しちゃって、きゃあってなった」、
自分のことは、たぶん別にする。
080376Q : あー、そうですね。
080377G : ここにきゃあっていれると、ねずみがきゃあなのか、じぶんがきゃあなのか、な
んか、
080378Q : あー、すごい、いい意見だね。ありがとうございます。そうですね。「きゃあって
なった」ほうがいいですよ。はい。あの、もし、ねずみという名詞を使わない
で、ほかの名詞、「きあって…何々」、
080379S : 「くも」とか「ごきぶり」とか、
080380G : びっくりしたこと？
080381N : うん。ぎゃあみたいなくもが出た。
080382G : 「きのうね、掃除のときは、引き出しを開けたら、ぎゃあって」、それはごきち
ゃんが「ぎゃあ」なのかな。
080383N : ぎゃあみたいなの、ぎゃあじゃないあれはだつて。
080384Q : あー、それも、
080385G : え、入れるのかね。ねずみは入れなくて、ごきぶりは入れるというのは楽しいな。
080386Q : うん、そうですね。
080387G : 「引き出しを開けたら、ぎゃあみたいなのごきぶり」、
080388N : 引き出しを開けたらごきぶりはだめ。
080389S : うん、だめ。
080390N : じゃ、捨てるよね
080391G : おかしい？ここには、あまり使わないと思います。「引き出しを開けたら、ごきぶ
りが飛び出しちゃって、ぎゃあってなった」。
080392S : うんうん、そうだね。
080393G : ごきぶりは、特に怖いから、ぎゃあってね。
080394Q : はい、そうですね。じゃ、11, 12, 13 は一番使わないものが、あの、どれですか。
13 番は後ろにポーズがありますね。付いていますが、これが、
080395G : ポーズ付いてます、難しいな。「って」って、「昨日ね掃除のとき、引き出しを開
けたら、きゃあ (0.1 秒) ねずみが飛び出しちゃって」。面白いけど、普段は発し
ないというか。たぶん、通じない。
080396Q : 通じないんですか。
080397S : ちょっとおかしくなちゃうよね。

080398G : ちょっとおどけた感じに。「きのうね、掃除のとき、引き出しを開けたら、きゃあ
(0.1秒) ねずみが飛び出しちゃって」

080399N : あ、そういう言われたら、面白い。

080400S : うん、面白いね。

080401G : 面白い感じになっ、たぶん。

080402Q : 使えるんですか。

080403N : 使えるけど、使わないよね。

080404G : 使えるけど、

080405Q : そう考えたら、

080406G : でも、かなり仲良くなったりして、

080407N : ふざけてないかな。

080408G : ふざけている感じが

080409S : 面白く話す感じじゃないと、

080410G : ポーズ使うかな、でも、

080411N : 使うんね。

080412G : 演劇とかだったら、ちょっと変わった表現とか。普段のおしゃべりの中では、お
かしいと思う。

080413Q : 12 は？「感動詞みたいなねずみ」は、そういうパターンが「みたいな」、

080414G : 「みたいな」はとても「ねずみ」に繋げるんだったら、使わないかもしれない。

080415Q : 「ぎゃあみたいなねずみ」とか、

080416G : 「ぎゃあみたいなねずみ」が、

080417N : あ、でも、そんなにねずみが出てきたら、使うかもしれない。「ぎゃあみたいなね
ずみ」が。

080418G : ねずみの状態に言ってしまいますね。

080419N : うん、すごくでかいとかね。

080420G : 「きゃあ」はあまり、「きゃあっていうのねずみ」、使わない、

080421Q : 「きゃあ」は使わない？こういう例文に、このコンテキストに使わないんですか。

080422G : ですね。「きゃあ」を使うだったら、最後に「きゃあってなった」って先言った。
たぶん、単独で持ってきちゃうと思います。

080423Q : じゃ、「きゃあ」じゃなくて、他の感動詞を入れたら、例えば「みたいなごきぶり」
とか、できるか、「えーっ」、

080424G : えーっとか。

080425Q : 「うわっ」って、

080426G : 「うわっみたいなねずみ」。「みたいな」は使わない。「えーっみたいなねずみ」。

080427N : ねずみ、「ねずみ」から離れてもいいのかな。

080428G : 引き出しを開けたら、

080429S : うわっみたいな、

080430G : 写真が、飛び出しちゃったのじゃないけど、

080431Q : はい、どちらでも、ねずみという名詞を使わなくてもいいですよ。他のも、だい

- たい他のコンテキストでもいい。
- 080432G : あー、「飛び出しちゃった」のほうがいい？
- 080433Q : いや、別に、どっちでも。感動詞と「みたいな」、
- 080434N : うわっみたいなものが飛び出しちゃったとか。
- 080435S : うん、なんか、生き物は使わない気がする。
- 080436G : あー、生き物は確か使わないん。
- 080437S : うん。
- 080438G : 昔の写真とか出てきた場合は「うわーみたいな写真がでてきた」とは言いますね。
「きのうね、掃除のとき、引き出しを開けたら、うわーみたいな写真が出てきたんだよ」、昔の、すごい、肥ってた事件をみたいな。「ねずみ」は使わないん。
- 080439S : 使わない気がするんです。
- 080440Q : はい、ありがとうございます。すみません、今 14, 15, 16, 17 をお願いします。
(G は 37 : 54~38 : 33 例文を読み上げた)
- 080441G : 16, 17 は言いますね。14 はどうだろう。
- 080442S : 14 よりは 15 んじゃない。
- 080443N : うん。
- 080444G : あー、どっちかという、
- 080445N : でも、そっちなら「おーって感じだった」となったね。
- 080446S : あー。
- 080447G : 「感じ」好きですね。なんでも感じを付けますね。「えーって感じだった」「おーって感じだった」「はあって感じだった」
- 080448N : あー。
- 080449G : 16, 17 は普段使います。
- 080450S : うん
- 080451Q : 15 は？
- 080452G : 「おー (01 秒) だった」、「だった」繋げるか。14 はたぶん使わないですよ、たぶん。そうだね、「おーだった」、たぶん何のことかよくわからなく。ポーズ、あ、でも、たぶん彼女の言ったことはそのまま言うんだったら、そうだね、「おー (0.1 秒) だった」。「ふーん」とかだったら、使う？
- 080453N : あー、彼女は「ふーんって感じだった」。そうなる、やっぱり。
- 080454G : 使っちゃうね。
- 080455N : って感じだった。
- 080456G : 「彼女はどういう反応だった。そうだね、ふーん (0.1 秒) だった。」、使えないこともない。
- 080457S : 使われたら、そのまま言っているけど、使いはしないかな。
- 080458G : 彼女の反応ていうことがまだね。
- 080459N : 反応らしい。
- 080460G : 反応、たぶん積極的に「感じ」は使っちゃうんですけど、反応だったら、「彼女の反応はどうだった。そうだね、うーん (01 秒) だったよ」とは言ったら、通じる。

080461N : 通じる。
080462G : 通じると思います。
080463S : うん。
080464G : 彼女がそのまま。でも、かぎ括弧みたいなものが付いて、
080465N : うんうん。
080466G : 「彼女の反応はどうだった。そうだね、おー (0.1 秒) だった」
080467S : 「おー」だと、使わないかな。
080468Q : じゃ、「おー」の代わりに、
080469G : 「ふーん」とかだったら、使える？
080470Q : 「ふーん (0.1 秒) だった」、使えますか。
080471G : 「彼女の反応ね、ふーん (0.1 秒) だったよ」。「おー」は使いにくいかな。
080472S : 「おー」はね。
080473G : 「えーっ」、「彼女の反応はどうだった。そうだね、えーっ (0.1 秒) だった」、
080474S : 「えーっ (0.1 秒) だった」は、
080475G : 通じないことはないですけど、「えーって感じだったよ」って、「感じ」を付けち
やう。えーっだったって言いつつ、お互いに「感じ」っていうのをたぶん頭の中
では入れて考えているのかな。
080476S : うん。
080477Q : じゃ、そうしたら、使えるかもしれないんですか。
080478G : 通じますけ、
080479S : 使えるよね。
080480N : 使わないけど、使われても、平気。
080481G : 平気です。
080482Q : はい、ありがとうございます。はい、あの、次、18, 19 をお願いします。
(S は 42 : 49 ~ 43 : 06 例文を読み上げた)
080483S : 「と」、
080484N : 「と」、
080485S : 「と」は入れないかな。
080486N : 18、
080487G : 18 は使わないです。
080488N : うん。
080489G : 「と」って何だろうね。「と」って入れると、聞き返す、えっ、えっ、とって何？。
18 は自然です。「いやー面白い所だったよ」。
080490N : うん。
080491S : うん。
080492Q : 「いやー」の後ろにポーズがあるかどうか、
080493S : 「いやー面白い所だったよ」とも言いますね。
080494Q : ポーズはなくてもいいですか。
080495G : なくてもいいです。でも、「いやー (発音を伸ばす) 面白いところだったよ」、す

ごく面白かった、溜めているかな。なくてもかまわない。「いやー（発音を伸ばさない）面白い所だったよ」、

080496Q : じゃ、「いやー」以外には、他の感動詞が入れ替えられますか。

080497G : 「うーん」が、

080498N : めっちゃ面白かったよ。

080499G : 「めっちゃ」は感動詞じゃない。

080500N : あー、だめか。「とつても」だもんね。

080501G : とても感動詞じゃない、ですね。「うーん面白い所だったよ」、「うーん」は入るかな。

080502N : 「うーん面白い所だったよ」、

080503G : 「うーん面白い所だったよ」、

080504N : 「うーん」なり？

080505G : なりか、でも「いやー」と同じと思うんだけどね、「うーん」。

080506N : 「うーん面白い所だよ」。

080507Q : 「えーっ」は？

080508G : 「えーっ」はここに入れると、「へー、どんなところ？…えーっ面白い所だよ」、なんかたぶん、

080509N : 聞き返しなるね。

080510G : 聞き返されちゃうかも、ここで「えーっ」を入れると、そうだね。

080511N : 「えーっ」は聞きたいのをみたいな。

080512Q : 「ほお」とかは？

080513N : 「ほお」はいわんない。

080514G : 「ほお」、納得はしないと、

080515S : うん。

080516G : 「えーっ」だったら、違う意味なんですね。「いやー」とは。「いやー」「うーん」ぐらいかな。「まあ」、

080517N : 「まあ面白い所だよ」、

080518G : 「まあ面白い所」、え、「まあ」言う？

080519S : 「まあ」っていう感じだったら、使うかも、「まあ面白い所だよ」。

080520G : 実にみたいな、みんな言っちゃうかもしれない。

080521N : 「そりゃ」は、「まあ」のまあだよね。

080522G : あー、そりゃと言えるたぶん。

080523N : 「そりゃ面白い所だよ」。

080524G : 「へー、どんなところ？…そりゃ面白い所だよ」、「そりゃ」は何に。「それは」の略か。

080525S : 「そりゃ面白い所だよ」

080526G : 「いやー」の意味で使うのは「うーん」ぐらいかなじゃ。

080527S : うん。

080528G : 「まあ」とか入れても、

080529S : うん、そうですね。

080530G : 「まあ面白い所だよ」、「まあ」言えるね、まあ。ちっちゃいアだね。「まあ面白い所だよ」、「とっても」の意味も入っているね。

080531Q : はい、ありがとうございます。はい、次は 20, 21 をお願いします。
(N は 46 : 47~47 : 24 例文を読み上げた)

080532S : え、興味なさそう。

080533G : え、「うわー」使う？ここ。

080534N : 使わない。

080535S : いえ、使わない。

080536N : そっちで笑ったんだもん。

080537S : えって興味なさそうで、面白い。

080538G : 「うわー」は使わないかもしれない。

080539Q : 「うわー」は使わないね。じゃ、「うわー」の代わりに、他の感動詞が使えますか。

080540G : 感動詞か、感動詞は入ったら、「めっちゃ」とか使うけど。

080541N : 「超安い」とか、

080542G : 「超」は感動詞じゃないね。「うーんと安い」も違うね。

080543N : うん。

080544G : 「まあ」入れる？

080545N : 「まあ」。

080546S : 「まあ安い」

080547G : 「まあ安い値段で買ったよ」、

080548N : 「へー」。

080549G : 「いやー」入れるかも

080550S : 「いやー安い値段で買ったよ」。

080551N : あー、それなら行けるかもしれない。

080552G : ここは「うわー」は入らんね。

080553N : うん。

080554G : 何に対する「うわー」はわからん。

080555Q : 後ろにポーズや「と」が付いていますか。

080556G : 「と」、「うわーと」？

080557N : ないね。

080558S : うん、ないよね。

080559G : 「うーんと」とか入るね

080560N : あー、「うーんと」、

080561G : 「うーんと安い値段で買ったよ」、たぶん感動詞、

080562N : 「うーんと」になると、たぶん「うんと」で一セットでしょう？

080563G : 「うーんと」でも「めっちゃ安い」という意味ですよ。

080564N : うん、めっちゃ安い。

080565Q : 「と」は入りますか。

080566N : 「と」はないかな。

080567G : 入らないんです。「いやー安い値段で買ったよ」、とても、「と」を入れると、「と」って何にっていう。

080568Q : 先のようにね。「うーんと」には、「うーん」は「と」が要るんですか。

080569G : 「うーんと」はたぶん感動詞の「うーん」じゃなくて、「とって」という意味で日本語に「うんと」っていうのがあるんですよ。それで、たぶん。「と」は使うけど、感動詞のとき、

080570N : 「うーんと」は使わないよね。

080571S : でも、ここは入るかな、

080572N : 「うーんと安い値段で買ったよ」、「うーんと」は言わない。言われても平気だけど使わない。

080573S : うん、使わないね。

080574G : 感動詞は、ここにはないよね、たぶん。

080575S : うん、「めっちゃ」とか使う。

080576G : 「と」は入らないと思います。「いやーと」、

080577S : 「いやー安い値段で買ったよ」、

080578G : ちょちゃっと。「と」は、

080579S : 「と」はない。

080580G : 感動詞の後ろには付かない。

080581S : うん。

080582G : ですね、安い値段。ちょちゃっとってなんだろう、「ちょいちょいと」、

080583N : 「ちょいちょいと」。

080584G : 感動詞と「と」はたぶん使わないね。ここで言う場合ね。

080585Q : このコンテキストには入らないんですね。

080586G : はい、要らないです。

080587Q : Sさんはどう思いますか。

080588S : 感動詞って「と」は使わない、なんですね。

080589G : 「って」で使っちゃう。

080590S : うん。

080591Q : 感動詞のことはもちろん考えてもらいたいんですけど、でも、他の場合も、なんか自然に、あこいうコンテキストに、なんか例えば「と」も付いても、自然に、なんか平気だと思っていたらいいんです。

080592G : 感動詞も断らなくてもいいだったん。「ちょちゃっと」ってとか。「ちょちゃっと」の意味「いいえ、そんな。セール時期だから」。

080593Q : じゃ、やすいという形容詞じゃなくて、あの、他の形容詞だったら、「安い」とか「高い」とか。たぶん、「値段」が「安い」「高い」だけだね。「高い値段」だったら、

080594G : 高い値段、え、どうなんだろう。「いいえ、そんな。セール時期だから」。「と」付けるんかな。

080595N : 「と」は どういう やつたら いい のか。 付け 切れ ない。

080596G : だから、「うーんと」は たぶん 「うんと」 っ て いう こと は わかる。

080597N : うん。

080598S : 話 じや ない ン です ね、 それ は。

080599G : 「めっちゃ」、

080600S : 「めっちゃ」、

080601N : 「めっちゃ」、

080602G : 「めっちゃ」 は 違 う よね。「うーんと 安い 値段」 で、「と」 は 無理 やり 付け る こと で
す。「と」、「一段と」、

080603N : あー、「一段と」。

080604S : 「割と」。

080605G : 「割と」 ?

080606N : 「割と」 ?

080607S : うん、「割と」 なら、

080608G : 「割と 値段 で 買 っ た よ」

080609N : 自然 だ。

080610G : 自然 だ ね。 うん、 だ も、「うわー」「いやー」 と か 「と」 付け る と、

080611N : 「割と」 だ け だ よ ね。

080612S : 「割と」 じや ない と、

080613G : 「割と」 と か じや ない と、 使 わ ない ン です ね、「と」 は。

080614Q : はい、 あり が とう ご ざ い ま す。 はい、 次 22, 23 を お 願 い し ま す。
(G は 53 : 00 ~ 53 : 12 例 文 を 読 み 上 げ た)

080615G : これ は ど っ ち も 使 う。

080616N : うん、 ど っ ち も 使 う。

080617S : うん。

080618G : な ん で これ は ど っ ち も 使 う ン だ ろ う、「怖い」 け ど。

080619N : 「うーんと」 は、

080620G : あ、「うーんと」 は 先 の 「うんと」 だ ね。「うーんと 安い 値段」 の 伸 ば し た バ ー ジ
ョ ン。

080621N : うん、「うんと 怖い 話 だ ね」。

080622S : 「うーん」 は 「と 怖い 話 だ ね」

080623G : そ っ ち だ っ た ら、 使 わ ない。

080624S : 使 わ ない。

080625N : 「うーんと」 は 「うーんと」 ま で 繋 が る なら、

080626G : 「うーんと」 なら 違 う 意 味。「うーん (0.1 秒) と」 は 別 の も の なら、 使 わ ない。

080627N : うん うん。

080628G : け ど、 と っ て も 怖い 話 と いう 意 味 で 「うーんと 怖い 話 だ ね」 と は 使 う ン。

080629N : 使 う。

080630S : うん。

080631G : たぶん、この、ここに書かれてある意味で使わないと思います。

080632N : うん。

080633Q : じゃ、「うーんと」は一つの固まりですね。

080634G : 「うーんと」は「とつても」とか「めっちゃ」のように使う。「めっちゃ怖い話」という意味で、「うーんと怖い話」というのは使います。

080635S : 使います。

080636Q : そうですね。なんかこの例文に使う「うーん」の以外には、他の感動詞は組み合わせられますか。例えば、「へー怖い」とか。

080637S : 「いやー」。

080638G : 「へーっ怖い話だね」。

080639N : 「ふーん」。

080640S : 「いやー」とか。

080641G : あ、「耳なし芳一はいやー怖い話だね」とか、

080642S : うん。

080643N : うん。

080644G : 「いやー」は使うか。「いやー」と「うーん」は同じ意味。

080645S : 「まあ怖い話だね」

080646G : 「まあ怖い話だね。…ねえ。」

080647S : うん。

080648G : 「まあ」は簡単じゃ。「まあ」「いやー」、使いますね。

080649S : うん。

080650Q : じゃ、あの、「怖い」という形容詞以外には、ほかの形容詞も組み合わせられますか。例えば、「面白い」とか。

080651G : 形容詞はいくらでもたぶん、

080652N : 「うーん面白い話だね」、

080653G : 「いやー面白い話だね」、

080654N : うん、何でもいいかな。

080655G : 「耳なし芳一はいやー悲しい話だね」「耳なし芳一はいやー美しい話だね」、何でも入れます。Q : はい、ありがとうございます。次は 24, 25 をお願いします。

(S は 56 : 31~56 : 47 例文を読み上げた)

080656T : 「あっ」、

080657S : 「あっ」って、なんか文章中出てくる。

080658N : こないよね。

080659G : こない。「あれ」とか出てくる。

080660S : うん、「あれ」、「あれ難しい」。

080661G : どういう状況か、この文章はあまりわからんけど、

080662S : あっ難しいということ？

080663N : うん。

080664S : だったら、続けて出てこない気がする、最初に。

080665G : 「子供の宿題はね、小学生のためだから、簡単だと思ってやった。あっ難しい」。
この文章に出てこないか。

080666S : うん、この文章はちょっと使わない。

080667G : でも、「あつてなった」っていうね。

080668N : 「あつてなった、難しかったみたいな」とか。

080669G : 「子供の宿題は小学生のためだから、簡単だと思ってたけど、やったら、あつてな
ったのよね」。

080670N : あー。

080671S : そうだね。

080672Q : あー、それはいいですね。

080673G : それはでてくるかも。「あつてなったのよね」と言ったら、たぶんみんなが難しか
ったんだろうなというのを勝手に察知し、するのと、言っている方もたぶんこれ
をやったら難しいということがわかるだろうな。「あっ難しい」とは使わんかもし
れない。

080674S : うん。

080675N : 「結構」とかいうね、なんか。

080676G : 「あっ難しいってなった」とかなら、使うかも。「あっ難しい」で終わらん。

080677S : そうだね。

080678Q : じゃ、この「あつ」は「難しい」と一緒にくることはあまりないんですか。

080679G : 「難しい」、たぶんこの終わり方に違和感がある。

080680N : うん。

080681G : 「あっ難しいってなった」とか、

080682Q : 「あつてなった」とか、

080683G : 付いてないと、なんか途中で終わってる感じが、

080684Q : あー、そうですね。

080685G : 「やったら、難しかった」とかだったら、自然だけど。「やったら、あっ難しい」
だったら、

080686N : 瞬間に自分の中で思うんなら「あっ難しい」ってなるけど、この感じは、うん、

080687G : 人に言っているときは、「あっ難しい」と言ったら、んんん？で？

080688Q : そうですね。うん。

080689G : 自分のことを言って、「あっ難しいってなった」と言ったら、自分のことを話して
いる。

080690Q : うん、そうですね。そういうコンテキストになったら、なんか「あつ」という感
動詞以外には、他の感動詞が入れるんですか。

080691N : 「やったら、「えーっ」「うわー」とか、

080692G : 「えーっ」「うわー」？でも、使い？

080693N : 言わない？

080694S : 使う？

080695G : 難しいって、「なった」に付いたら、なんでも使えるかもしれないけどね。「おっ

難しいってなった」、「えーっ難しいってなった」

080696N : あー、うん。

080697G : 「いや」は使わないね。「あー」とか「えーっ」とか。

080698S : 「えーっ難しい」、うん。

080699G : ただ、ここで「はあっ」とかだよね。「はあっ難しいってなった」

080700N : 「へーっ難しいってなった」

080701G : あー、言う、「へー」。

080702S : 「あー難しい」。

080703G : 「あれ難しい」。

080704N : 「うーん難しい」とか。

080705Q : はい、ありがとうございます。次は、26, 27 をお願いします。

(N は 01 : 00 : 48 ~ 01 : 01 : 07 例文を読み上げた)

080706G : 「えっと」って、方言か、方言のかな。

080707S : 「えっと」っては何？

080708G : たぶん今の読み方は「えっと」「えっと恥ずかしい」、

080709N : 「えっと」、あ、言い方があるかもね、詰まんね。

080710G : 方言ありそうだなと思っていたんだけど、「と」は付けないと思う。

080711N : うん。

080712S : 「と」は付かないかな。

080713N : 「えっ恥ずかしい」、うん。

080714G : 「えっ」、自然につけちゃう。「えっごめん」「えっやめて」みたいな。

080715N : あー。

080716G : なんで付けてるだろうね。「えっ、どうしよう」みたいな、だよね。

080717N : あーね。

080718G : すごく早いですね、「えっ」が。「えっ恥ずかしい」を言う？

080719N : 「恥ずかしい…」、

080720G : 「初めてあったのに、そんなことを言ってしまうって、えっ恥ずかしい」。

080721N : あー。

080722Q : 「えっ恥ずかしい」、「えっ恥ずかしかった」は？

080723G : でも、「かった」は使わない。

080724N : うん、使わない。

080725G : えってなんで使ってたんだろう？ どうしてこういう自然なところで、「えっえっ」。

080726N : 「えっえっ」、あっ詰まったみたいな感じかな。

080727G : 「えっ恥ずかしい」と言うん。

080728S : 言う。

080729N : あー、言うかもしれない。

080730G : いつも中に言っている？

080731N : 言ってるかも。

080732G : 気にしてないけど。

080733Q : 言いますか。
080734S : うん、言います。
080735G : 言います。「えっ恥ずかしい」。
080736Q : あのー、「えっ」以外には、他の感動詞が入れますか。
080737N : 「うわー」
080738G : 「うわー」、「うわー恥ずかしい」とか言うか。
080739Q : 文字化は、こういう形ですか。
(調査人は被験者に「うわー」「うわっ」と書いた紙を見せた)
080740G : 小さい「ッ」かも。あ、どっちも使います。その時によって、「うわっ」とか「うわー恥ずかしい」、はい、どっちも言います。
080741Q : ありがとうございます。
080742G : 「と」は付けないね。
080743Q : 「と」は付けないですね。
080744N : うん、「と」は付かない。
080745Q : ポーズがありますか。
080746G : おる？
080747N : うん、はっとしまっていたら、言う。
080748S : なんかね、
080749G : 「えっ (0.1 秒) 恥ずかしい」。
080750S : なるよね。
080751Q : ポーズかてんでんか、
080752G : てんでんかな。てんでんがたぶんポーズだと思い始めましたけど。
080753N : うんうん。
080754G : 状況によって、ポーズが使ってもおかしくないんです。「うわー (0.1 秒) 恥ずかしい」。言いますね。
080755N : うん、そうね。「と」は言わないけど、ポーズはありますね。
080756G : 状況によってたぶんあると思います。
080757Q : じゃ、ポーズなくても、
080758G : ポーズなくても使います。すごい褪せてるときは、「えっえっえっ」、何回も言ったんじゃ、「えっ恥ずかしい」、どうしようみたいな。
080759Q : 恥ずかしいの、恥ずかしさが、
080760G : 恥ずかしさによる。
080761Q : ですか。
080762Q : はい、ありがとうございます。あの、他のをお願いします。
(G は 01 : 04 : 36 ~ 01 : 04 : 47 例文を読み上げた)
080763G : 「うんうん」、
080764N : 「うんうん」、
080765S : なんか、納得に帰ったんかな。
080766N : あー。

080767G : だったら、「と」が要る？

080768N : あー、要る、納得、

080769G : 「うん歩いていた」なんかおかしいよね。

080770N : 「うんうん」、

080771G : 歩き方だったら、大丈夫けど、ツカツカ歩いている。

080772N : テクテク歩いている。

080773S : うん、そうだね。

080774G : テクテク歩いている。「と」とは悪い歩き方、叱られたんかなあって感じ。

080775Q : 擬態語ですね。

080776G : 擬態語ですね。

080777Q : 感動詞じゃないですね。

080778N : 「うんうん」、

080779G : 感動詞、たぶん「と」がないと、変。変というか、

080780S : うん。

080781N : 悩んでいるんよね、「うんうん歩いていた」。

080782G : 通じくない？

080783N : よくわかんない。

080784G : わかんないんです。「彼は社長の部屋を出て、うんうん歩い…」、「歩いていた」の前は擬態語が出てしまう。擬態語じゃないとわからないかもしれない。

080785Q : じゃ、28 は大丈夫ですか。

080786G : 「彼は社長の部屋を出て、うんうんと歩いていた」、うなずいていながらだったら、まだわかりやすいかな。

080787Q : 29 は言わないんですか。

080788G : 29 は意味が分からないん。

080789Q : はい。あの一、29 の場合は、「うんうん」の後ろに 28 のように、「と」が付いたら、他の「って」とか、あの、だいたい「歩いていた」という言葉と組み合わせるために、ちょっとなんか結び、

080790G : 「うんうんと言いながら」とか、言っているのかわかんないけど、「うんうんと考え込みながら」みたいな。

080791N : あーうん。

080792G : 「うんうんとうなずきながら」とか。

080793Q : うん、そうですね。はい。じゃ、このコンテキストに、「うんうん」という感動詞以外には、他の感動詞が入れ替えられますか。このコンテキストに。

080794S : 「ふんふん」とか。

080795G : 「ふむふむ」。あー、「ふむふむと歩いていた」、ちょっと不思議だけど、「ふむふむ」も、

080796Q : 「ふむふむ」ですか。

080797G : うん、「うんうん」の、たぶん、と同じ感じで、「ふむふむ」はちょっと特殊な人みたいな。

080798Q : ちょっと文字化して、こういう形ですか。(文字化の「ふんふん」を見せた)

080799G : あー、「ふんふん」「ふむふむ」?

080800S : あー、でも、「ん」が「む」でも。

080801G : 「む」でも。

080802Q : これですか。(文字化の「ふむふむ」を見せた)

080803S : それです。

080804G : 「ふんふん」は「うんうん」と似ていると思います。

080805S : でも「ふんふん」でも、どっちでも。

080806Q : あー、だいたい、これですか。
(Qは「ふんふん」と「ふむふむ」を文字化して、被験者に確認してもらった)

080807G : 「ふむふむ」(01:08:14)。

080808S : そうですね。

080809Q : はい、どっちでも?

080810S : どっちでも使えばいい。

080811G : 似ているんね。「ん」と「む」がたぶん。

080812Q : そうですね。

080813G : 「ふむふむ」。

080814Q : ほかはありますか。

080815G : 「歩く」ね、「ぼかん」、「ぼかん」はおかしいか。「ぼけーと歩いて」、ひど過ぎるの、ぼけ。

080816S : でも、これ、感動詞が入るかね。

080817N : 入らない気がする。

080818Q : 例えば、「うーんと歩いていた」というとか。

080819G : このたぶん、感動詞と「と歩いていた」というと繋げるのはちょっと考えないと分からないかも。「ぼけーと歩いていた」、

080820S : ぼけーって、

080821G : あ、違う、何だろう。

080822S : 擬音、擬態?

080823N : 様子だよな。

080824S : 擬態か。

080825N : 感動詞ではないじゃない。

080826S : うん。

080827G : 「歩いていた」の(…)「ぼけー」は。「うんうん」、「彼はうんうん」。

080828Q : 「うーんと歩いていた」はどうですか。

080829G : 考えながらとかが、付いたら、あれですけど、「歩いていた」に付くと、ちょっと、なんか、

080830S : うーんってなる。

080831N : うん。

080832G : そういうことかなあみたいな。

080833S : うん。
080834G : 予想は立てられますけど、対応はしてないというか。一瞬 (…) なく。
080835Q : はい。あの一、「はあっと歩いていた」というのは、使えるんですか。
080836G : 疲れているんじゃない。
080837N : 「はあっ」は使わない。
080838S : 使わないかな。
080839G : がっくり。
080840S : やっぱ、入っちゃう、「と」の後に。
080841G : 「はあって感じで歩いていた」、
080842N : 「がっくりして歩いていた」とか。
080843Q : 「えーっ歩いていた」とは、
080844N : 「えーっ」は言わないね。
080845S : 「えーっ」は言わないかな。
080846G : やっぱ、なんか社長の様子を見た後とか、彼はえーっという顔をして歩いて。
080847N : あー。
080848S : うん。
080849G : 「えーっと歩いていた」はないですね。
080850N : うん、ない。
080851Q : はい。じゃ、28 の「うんうんと歩いていた」とは使えますか。
080852S : 使えるかな。
080853N : 使えるけど、
080854G : 使えるけど、考えなくちゃいけないというか。
080855S : ちょっとわかりにくいかな。
080856Q : 通じるかどうかは、言ったら、
080857S : あんな感じかなぐらいであれば、使えるかもしれない。
080858G : あ、でも、使わないんです。たぶん、ここの変では、使わないけど、その人がそ
う言ってしまったら、たぶんこういうことなんだろうな思いつつ、
080859N : 合ってるかは、わからない。
080860G : ちょっと変ねって思っちゃうかもしれない。
080861Q : はい、ありがとうございます。次は 30, 31 をお願いします。
(S は 01 : 11 : 53 ~ 01 : 12 : 00 例文を読み上げた)
080862S : 「はあっと座った」、違うか。(01 : 12 : 17)
080863G : はあって何だろう。
080864S : ため息を、なに？
080865G : 「はあっ」(01 : 12 : 18)、ため息。31 は使わないね、たぶん。
080866N : うん。
080867G : 意味がわからない、「はあっ座った」とは。
080868N : 「はあっと座った」、何にかあつたんだろうね。
080869S : 息子の話、ちょっと嫌な感じ。

080870Q : 30 は使えますか。

080871N : 使います。

080872G : どうなんだろう。「はあっと」、たぶんそれを言いながらとかため息を付いてとか、わかって、みんなでたぶん頭の中でそういう意味だと、言いながら使ったら、使います。

080873N : うん。

080874S : やっぱ、こう書くんだったら、「座る」に繋がっちゃうよね。なんか、しーと座ったとか。お母さんの気持ち的な問題じゃなくってくるね。

080875N : あーうん。

080876G : はあってなに？お母さんのため息付いている気がする。

080877S : うん、ため息付いてるんだったら、「はあっ」じゃないよね。「ふーって座った」

080878N : 「ふー」はね。

080879G : 「ふーって座った」だったら、よくなんか昔の文句的そうなん。

080880S : ねえ。

080881N : あ、そうなの？

080882S : なんか割と、

080883G : お祖父さんは働いた後にふーと石に腰を下ろしたみたいに、「はあっ」は使えるかもしれないんですけど。この文章だったら、「はあっ」はが出てこないかもしれない。

080884S : うん。

080885Q : 他の感動詞の場合は、

080886G : 「ふー」だったら、使えます。

080887S : ふーふー。

080888G : 意味が違ってよかったら、「うーん」とか大丈夫。お母さんがこんな状況で言って、おかしくない言葉だったら、大丈夫。なんか、かってにお母さんの言葉っていうの、

080889S : 「うーんと言って座った」といいかな。

080890G : うん、「はあっと言って座った」とか。

080891S : うん。

080892Q : じゃ、後ろに付くのは「と」じゃなくて、他の言葉だったら、

080893G : 「と言って」、

080894N : うん。

080895G : 「はあっ」だったら、「はあっとため息を付いて、座った」とかだったら、結びつくかもしれないんですけど、「はあっ」の自体はあまり普段の生活で使わないね。

080896N : うん。

080897G : 「ふーとため息を付いて座った」、「ふーと座った」でも、通じる。

080898S : なんとなくわかるけど、使わない。

080899G : あー、小説とかで書いてあったら、自然に読めますけど、普段のおしゃべりの中では使わないかな。

080900N : うん。

080901Q : はい、ありがとうございます。次は 32, 33 をお願いします。
(N は 01 : 16 : 01 ~ 01 : 16 : 17 例文を読み上げた)

080902G : 通じなく無い、あれ、

080903S : もしかしてというのは、

080904Q : じゃ、すみません、「もしかして」はなくしたら、

080905G : なくしたら、

080906N : 「バレンタインの日にチョコレートをうわーと」、「うんと」だよ、これは。

080907G : 「いっぱい」の意味？

080908N : うわーってなるぐらいでもらいたいな

080909S : うわーともらいたいという分かる気がする。

080910N : 「うわーもらいたいね」みたいな。

080911G : ただ、33 になると、違うね。

080912S : うん。

080913G : うわーもらいたいなあみたいな。(01 : 16 : 58)

080914N : あー、そうになったら、うん。

080915S : 「チョコレートはうわーもらいたいな」、言わない。

080916G : 妄想入ってるんじゃ、「へー、バレンタインの日にチョコレートをもらいたいな。
へー」は自然。

080917N : うん。

080918S : 自然。

080919N : 「うわー」とかは入らない。

080920G : 「うんと」とかの意味よね。

080921N : うん。

080922G : 先みたいに「めっちゃ」とかという意味で、

080923N : 「たくさん」とか入るなら、

080924G : たくさんもらいたいかな、あーあー。感動？

080925N : 感動詞は、

080926S : 入るか。

080927G : 無理やりなら、「バレンタインの日にチョコレートをいやーもらいたいなあ」とか
だったら、変じゃないですけど、

080928Q : じゃ、32 と 33 はどっちが使うか。どっちが通じますか。

080929G : どっちも通じますけど、意味が違ってくるのかな。[わあーと]と言ったら、いっ
ぱいという意味でかなと聞きちゃう。「めっちゃもらいたいな」の意味で使う、受
け取る。

080930N : うん。

080931Q : 33 は。

080932G : 33 は、

080933N : 「いやーもらいたいな」ならわかるけど、「うわーもらいたいな」はえーっていう
なるかな。

080934G : うん、いっぱいもらいたいというイメージがなくなるん。「と」がないと。
080935N : うん。
080936G : 「バレンタインの日にチョコレートをうわーもらいたいなあ」ていうこと、すごい楽しみなんだね。
080937N : あー、うん。
080938Q : 話し手の気持ちですね。
080939G : そう、気持ちがすごいでてくるね。「クリスマスにサンタさんからプレゼントをいやーもらいたいな」みたいな。
080940Q : じゃ、「うわー」「いやー」の以外に、こんなコンテキストに入れ替えられる他の感動詞がありますか。
080941G : ちょっとバレンタインにももらえない人だったら、「バレンタインの日、チョコレートをふーんもらいたいなあ」みたいな。
080942Q : あー、面白いですね。
080943G : イメージが変わってしまうんだけど、「うーん」も入るかな。なんかコンテキストのところで言う時は、切って読んでもる気がする。
080944Q : 他のコンテキストでも大丈夫ですよ。
080945G : しゃべる時、切ったり付けたたりすることが多いけど、
080946Q : 他の例文でも、
080947G : やっぱり「いやー」とか「まあ」とか「うーん」入るか、「まあもらいたいね」みたいな。
080948S : 「チョコレート」の前に付けたら、さあ、
080949G : あー。
080950S : 「いやーチョコレートをもらいたいな」みたいな。
080951G : あー、「チョコレート」の前にでも付けられるんですね。「チョコレート」の前に付けやすい。
080952N : うん。
080953G : 「バレンタインの日」の前にも付けられるよ。
080954S : いちばん最初？
080955G : 「いやーバレンタインの日にチョコレートをもらいたいね」みたいな感じで。
080956N : あー、自然か。
080957G : ここに入る可能性が低いかな。
080958Q : はい、ありがとうございます。次は 34, 35 をお願いします。
(G は 01 : 21 : 00 ~ 01 : 21 : 17 例文を読み上げた)
080959G : 35 は、言わない。
080960S : 言わない。
080961G : 35 は、意味はわからないん。
080962S : 34 は言いそうだね。
080963N : うん。
080964G : 「うーん」っていうのは分からんないけど。「うんうん」とかだったら、

080965S : うん。

080966G : この文章におるかもしれない。「上司は部下の話をうーんと聞いている」だったら、あるか。

080967S : うん。

080968G : あ、でも有りえる。学生たちは先生の話をうーんと聞いている」。

080969Q : はい、ありがとうございます。次は 36, 37 をお願いします。
(S は 01 : 22 : 14~01 : 22 : 29 例文を読み上げた)

080970G : 36 かね。

080971N : うん、「おー拍手していた」。

080972S : うん、嬉しい感じですね。

080973G : 36 は自然に、

080974N : 37 は、うん、言わない。

080975S : これはなんか言ってる人は感動している感じしないね、おー拍手しているみたいな。

080976G : みんな拍手しているよ。36 のほうが自然。

080977N : うん。

080978Q : じゃ、「おー」以外には、入れ替えられる感動詞がありますか。

080979N : 「わー」、

080980G : 「わっと」とか、まあ、いっぱいあるね。「わー」、ちっちゃい「ツ」だよ。ね。「どっと」や、「どっと」、(01 : 23 : 16)

080981Q : 文字化はこれですね。

080982S : あー、はい。

080983G : 「わっと」、「どっと」も言います、たぶん。

080984G : 「どっと」、「どっと拍手していた」。え、

080985S : 「どっと」? 「どっと」は感動詞じゃなくなっちゃうね。

080986G : あー、感動じゃないのね。

080987N : 音になるね。

080988S : うん。

080989G : え、「どっと」は音なのか。

080990S : うん、じゃない?

080991G : うん、あ、音じゃないかしら。「彼のスピーチが終わるなり、会場にいる人はみんな」、

080992S : 「きゃあ」、

080993G : 「きゃあ」、

080994Q : 「きゃあ」、面白い。

080995G : あーすごいね。強烈的になったら、「うおー」みたいな。

080996S : あ、「うおー」も言うか。

080997Q : 「うおー」ね。

080998G : 「うおわー (01 : 24 : 07 伸ばした発音) すごいみたいな。

080999S : でも、それはどうなる。違ってくるじゃない。
081000Q : 「うおー」だったら、これですか。
081001N : 伸ばしたら、
081002G : かなり興奮して、
081003S : ね。
081004N : うん。
081005Q : こんなコンテキストに、「拍手した」という言葉の以外には、他の言葉が、あの「お
ーとみんな」、なんか、
081006G : 「拍手」はなくても、通じるかもしれないけど、「おーとなった」でも、通じます。
081007S : うんうん。
081008G : 「拍手している」かもしれないな。
081009N : 「うわーとなった」、「会場にいる人、みんなうわーとなった」、拍手していたら、
ついていたら、あ、でもやさしいよね。たぶん、みんな喜んでいたんだ。
081010N : 「おーと」なら、みんな興奮した状態に。
081011G : 会場にゆったら、みんなうおーとなったっていう、起こっているのか、感動して
いるかもしれない。「納得する」も入るかな。
081012S : 「感動」も入るかな。
081013G : あー、「感動していた」。
081014S : うん。
081015G : 「熱狂していた」とか。
081016S : 「熱狂」、あー。
081017Q : 「熱狂」ですか。
081018G : 熱ぐるい。
081019Q : これですか。「ねっきょう」。
081020G : 漢字で。
081021Q : 漢字は「熱心」の。ちょっと漢字を、お願いします。
081022G : ああ。
(被験者に「熱狂」を書いてもらった)
081023G : え、こんないざ書いていたら、え、こんな字だったけ。
081024S : うん。
081025G : あの、あれは間違っているかもしれないんです。書き順は。感じ合ってる？
081026S : あー、合ってる。
081027Q : あー、はい、ありがとうございます。そうですね。はい、ありがとうございます。
はい、38, 39 をお願いします。
(N は 01 : 26 : 29 ~ 01 : 26 : 36 例文を読み上げた)
081028G : 「おっと」は言わないかも。
081029S : うん。
081030G : 38 は言わない。
081031S : ここに入っちゃった、雨の何か、擬音擬態になっちゃうんじゃない。「ざっと」と

か

- 081032G : 「ざっと」、どっ、「どっと」やっば、
- 081033N : 「ざっと」、
- 081034G : ドアーッと、すごいね。気づきなよ、みたいな感じ。
- 081035S : 自分の感情だったら、最初に付けないかな。
- 081036N : おっ雨が降ってきたということ？
- 081037S : うん。
- 081038G : あーあー。
- 081039S : 「あっ」とかね。
- 081040G : 「あっ雨だ」
- 081041Q : 「あっと」？
- 081042N : 「あっ雨」とか、「あっ雨が降っている」とか。
- 081043Q : あー、そういう感じですね。
- 081044G : 「彼女の家へ行く途中で」、また不思議なあれだけど、あの、繋がりが。雨が降ってきただけだったら、「あっ」「おっ」とかでもいい。
- 081045S : うん。
- 081046G : 入れるね。「えっ雨が降ってきた」、音はするんかな。
- 081047N : 「あー雨」とか。
- 081048G : 「あー雨」、伸ばした。
- 081049S : 「うわー雨」。
- 081050N : 「うわー雨」。
- 081051G : あー。
- 081052Q : あー、そういうね、コンテキストになったら、使えるんですね。
- 081053G : よっぽど雨がいやだったら「げー雨」になるかもしれない。
- 081054S : あー、この使い方はしないよね。
- 081055G : 「彼女の家へ行く途中で、おっ雨が降ってきた」っていう、
- 081056N : セリフ？
- 081057G : セリフとか本とかだったら、あってもおかしくないけれども、普段は、「きのうね、田中さんの家へ行く途中でおっ雨が降ってきたよね」みたいな感じは使わない。
- 081058N : うん、使わない。
- 081059Q : 普通の会話に使わないんですね。小説とかセリフとか使えるんですか。
- 081060G : 普通の会話に使わない。セリフだったら、違和感はない。
- 081061N : セリフなら、降ってきた時に口で出てくる。「あっ雨が降ってきた」とは言うけど、これでは言わない。
- 081062G : うん、言わない。
- 081063Q : じゃ、38 と 39 は両方とも使わないんですか。
- 081064N : こんな使い方はしない。
- 081065S : うん、こんな使い方はしない。
- 081066G : 文章字体は、なんか本、文章みたいです。たぶん。

081067N : 「彼女の家へ行く途中で、雨が降ってきた」でもね。
081068G : そうだね。彼女の家へ行く途中で、雨が降ってきたという言葉は、
081069N : ありそうだよね。
081070G : ある？
081071N : 本とかね。
081072G : 「おっ」が入れるか。
081073S : 入れない気がする。
081074N : うん。
081075G : 「おっ」とか「あっ」は、たぶんここで使うと、その瞬間なんか、今も雨が降ってきた時に、使うんだよね。
081076N : うん、その時しか使えない。
081077G : 「あっ雨が降ってきた」とかは頻繁に使います。
081078Q : 感動詞は「雨」という言葉の前に出てきたら、使えるんですか。こういう順序が、「雨が」と「降ってきた」の間に出てくるのは使えるんですか。
081079G : 間は、
081080N : 間は要るんかな。
081081S : これがなかったら、「彼女の家へ行く途中で」が。
081082G : なかったら？
081083S : なかったら、「雨がおっ降ってきた」とかなら、使えます。あ、でも、「雨がおっ
と降ってきた」はないかな。
081084G : ないかな。
081085S : 実は使わないん。
081086G : 「おっ雨が降ってきた」、「あっ雨が降ってきた」。うん。
081087N : 前かな。
081088G : うん、「げー雨降ってきた」。(01 : 30 : 50)
081089Q : こういうコンテキストに出てくるのは小説で使えるんですか、通じるんですか。
081090S : あー、なんか、あれじゃない？「ざっと」という感じじゃないかな。としたら、
081091G : 擬態語じゃないか。
081092N : うん、ざっと。この場所には入らないね。前じゃない？
081093G : 小説だったら、「彼女の家へ行く途中で、おっ雨が降ってきた」と書いてあっても、
(01 : 31 : 31)
081094N : 雨が、うーん、「おっ雨が降ってきた」。
081095S : 使う？
081096N : 使うかな。
081097S : 使わない気がする。
081098N : 使わないね。口で言うときしか使わないかも。
081099G : 使わないね。セリフのように見えてしまいね。
081100N : あー、雨、うん。
081101G : この文章にはたしか使わない。「おっと降ってきた」となったら、どう降ったの？

みたいな感じ。

081102S : そうよね。

081103G : 「と降ってくる」には、擬音しか入らない。雨が、なんとか「と降ってきた」になったら、「ざっと」とか「うわっと」とか、「雨がばらっと」

081104N : 雨の降り方。

081105S : そうよね。

081106G : 「雪がハラハラと」みたいな。「おっと」は使わない。

081107N : 「おっと」は使わない。

081108G : 使うとすれば、「雨が」の前に。

081109N : 「おっ雨がふってきたよ。」

081110Q : そういう感じですね。

081111G : はい。

081112Q : はい、ありがとうございます。次、お願いします。最後ですけど、40 と 41 です。

(G は 01 : 32 : 58 ~ 01 : 33 : 07 例文を読み上げた)

081113G : これは、えっしたって、通じないね。

081114S : 「えっした」って、うん、これは通じない。

081115Q : あの、41 ですね。

081116G : 41 は通じないんです。えっどうしたって。

081117N : 「えっとした」、「えっとなった」じゃない。

081118S : 「なった」かな。

081119G : でも、「ギョーッとした」とか言う。

081120N : あー、「ギョーッとした」と言うか。

081121S : 「ギョー」は擬態？擬態かも。

081122N : 擬音じゃ「ギョーとなる」じゃん。

081123G : そうだね。「なった」だね。

081124N : 「えっとなった」かな。

081125S : 「なった」かな。

081126G : うん、擬態だったら、「した」使うんだね。「ドキッとした」とか「ギョーとした」とか「ガッカリした」とか使うけれど、「えっ」とかだったら、「えっとなった」。

081127S : うん。

081128Q : 「えっとなった」。

081129G : 「なる」だね。しないね。

081130S : うん。

081131G : しないでねって。

081132Q : 「えっ」以外には「はあっとした」は？

081133N : 「はあっとした」は違うよね。

081134G : 「はあっとした」はドッキのほうよね。

081135N : 「はあっと言った」、

081136S : 「はあっとなった」。言ったよね。

081137G : 「言った」。「なった」。「えっと思った」。違う？これは？「おいおいと思った」みたいな。

081138N : 「なった」とか「言った」とか「思った」とかね、「した」より「なった」。

081139S : うん。

081140G : 気持ちの問題だね。

081141S : うん。

081142G : 「あれとなった」「あれと思った」。「なった」、「思った」。

081143S : 「なった」、「思った」

081144N : 「あれとなった」、「なった」だな。

081145Q : 「する」という動詞と組み合わせられないんですか。

081146S : 「する」は、ちょっと、自分がしようと思ってしていることじゃないから、

081147G : 無理やり繋げるなら、いけるか、「えっ」「彼女は」、

081148N : 「ぎょっとした」とかなら「した」でいいけど、そうしたら言うようになるね。

081149G : 「ぎょっとした」は、たぶん、あれという思いがしたというみたいな。何かしてないと、使えない。えっという感じがしたとは使う？

081150N : あー、えっと思っているような感じがしたとかになるなら？

081151S : あー、ちょっと、

081152G : 「えっ」と「する」は繋がらないな。

081153N : うん。「なった」じゃん。

081154G : 「えっという気がした」じゃん。

081155N : うん。

081156G : 「あれという気がした。」

081157S : あー、うんうん。

081158G : なんで、私は使うんだろう。

081159Q : うん、本当にいいんですね。じゃ、「する」以外に、「気がする」とか「なる」とかは使えるんですね。

081160G : 使いますね。「あれという気がした」は。何でだろうね。

081161Q : 「あれって気がする」ですか。

081162G : 「あれという気がする」。「気がする」ね、どうして (…。「あれと思った」とか。

081163S : 「思った」だよな、「あれ」は。

081164N : 「はあって思った」。

081165G : 怖い、よく使うけど、怖いですよ、はあっていうのは。

081166Q : はい、ありがとうございます。本当に助かります。ここで終わります。

(終わりの挨拶の省略)

[付録 3]

第 3 回調査の文字化 (3 組目)

※実施時間：2011 年 12 月 19 日 午後 2：30～4：00

被験者：山口大学の学生

場所：東アジア研究科 207 号室

調査人：VUONG THI BICH LIEN

(挨拶・最初提示の省略)

090001Q：どれが使えますか。

090002T：まあ、1～4 として、僕はあまり使わないことはないけれども、くだけでいいという感じがしますね。そして、しいていうなら 4 番目が使いやすいかな、こう身振りとかと一緒に使うのであれば、意味が伝えやすい。「うわー」と言う時に驚きを表すというそのジェスチャーによって始めてわかるのではないかな、そうとか、ちょっと使いにくい感じがします。

090003M：そうですね。僕はやっぱり 4 番ですね。1 番だったら、そうですね、慨嘆がなにも入らなかったら、うわーという時計、名前をつけるね、名前になってしまいますし、2 番、3 番も、そうですねくだけていますよね、うわーってこちらがリアクションをとるような時計だったと言いたいのは、なんとなくわかるんですけども、正しいか、やっぱり言えないと思います。なので、やっぱり、そうですね、4 番、この中では正しいと思います。

090004Q：1 番と 4 番は正しいですか。あ、4 番ですね。

090005M：はい。4 番です。

090006Q：2 番と 3 番は？

090007M：2 と 3 番は、そうですね、やっぱり、さっきも、本人がそう思いような時計だったのかなと分かるんですけど、正しいかと言えないですね。

090008Q：文法てきですよ。

090009M：はい。

090010K：僕も、4 番ですね。うん、1 番まあまあ、ちょっと「うわー時計だった」はおかしいですし、2 番の「うわーって時計」とか、3 番の「うわーみたいな時計」だったら、なんか、うわーっていうものみたいな時計にして、何にそれっていう。で、4 番はまあ、無難かなという。この「うわー」にかぎ括弧ついたら、「お祖母ちゃんからのプレゼントを開けたら、(かぎ括弧) うわー時計だったか、絵本っぽい感じがします。だから、まあまあ大丈夫かなという感じは 4 番のほうがします。

090011T：2 番と 3 番だったら、2 番のほうが使いやすいかなと、「うわーって時計」のほうが「うわーっみたいな時計」より。

090012M：「みたいな」はちょっと違う。

090013T：うん。まるで物とか事柄とかに対して、「みたいな」という言葉、使うかもんで、「うわー」っていうのは感情で、嬉しいみたいな(時計) なっちゃう。1 番は、なんとなく関西弁っぽい感じがします。「うわー時計だった」って、なんか言う、関西の人が言う。

090014K : あー。

090015M : 関西弁でも、間に点点が入るな。

090016K : まあ、そうかな。

090017M : てんてんがないのがちょっと気になる、なりますね。

090018Q : うーん、はい。じゃ、「うわー」の後ろに、「って」「みたいな」「ポーズ」が付いて、これは書いてありますけど、それ以外にはありませんか。

090019T : 僕が強いて言う、僕だったら、「うわーってなるような／うわーってびっくりするような時計」だったら、良い言い方になると思いますけど。「うわーって」、その後説明が入るかな、「うわーって」自分になってるよってという説明がないと、ちょっと意味が伝わりにくい感じがしますけど。

090020M : そうですね。僕もやっぱり、ちょっとそういうふうに、2 番を補うような感じがします。これは1 番しっくりくるかなと思います。

090021T : 「うわーってびっくりする時計だった」とか、違う。

090022Q : 「うわー」以外にはこの例文に使えるものがありますか。「うわー」以外の感動詞、

090023T : 感動詞ですね。

090024Q : うん。例えば、「えーつ時計」とか「えーつみたいな時計」とか、「えーって時計」とか

090025T : あー。そうだな。

090026Q : 入れ替えられるかどうかは、

090027T : 「すげ」と言いますね。あ、でも、「すげ」は感動詞じゃないもんですね。「すごい」は感動詞になりますね。あ、でもそんな説明できるかもしれない。

090028K : 「おー」とかじゃ。

090029T : 「おー時計だった」。

090030M : 思いやらすん (…) みたいな。

090031T : やっぱり関西弁っぽくない。そうでもない。

090032K : なにが、「うわー」、

090033T : 「おー時計だった」。

090034K : あー、のり、いい言い方か。

090035T : のりがそうだよ。なんか、のりで伝えるニュアンス。

090036K : 「おー時計だった」。

090037T : ちょっと強引な感じする。

090038Q : そうですね。はい、あの、次 5, 6, 7 をお願いします。
(M さんは 06 : 31 ~ 06 : 59 例文を読み上げた)

090039T : これは、先に言ったらいいですか。

090040Q : はい、どうぞ。だれでも先に言ってもいいです。

090041T : じゃ、僕。こううーんって、1 番、あ、じゃないわ。5 番ですかね。5 番なら、一番使いやすい感じがしますね。(「うーんって意見」を読み繰り返した)。逆に、さっきは言ったように、ポーズがあれば、わかりやすい。7 番は、なんかね

090042M : 7 番からは「田中さんが言った」のところだけれども、つぶやきなのか意見なのか、

090043T : あー、そうだね。

090044M : そういう意見が一応していないいいかなという感じの。

090045T : 独り言みたいだね。

090046K : まあ、意見だね、うーん、意見か。

090047M : とか、すごい難しいことと言っても、本当になんとも形容詞があったのかっていう。

090048Q : というのは、「うーん」の後ろに形容詞などとか入れたら、例えば「うーんいい意見だね」という。自然ですか。

090049T : 形容詞ですか。

090050M : なんか、「うーん」自体を繋げようとする場合はもう、やっぱり感動詞で単発で使うのが一番正しいと思うので、「うーん」で一応切ってから、こういう、まあ、「意見」の前に、何にか「意見」を修飾するような

090051T : 形容詞じゃない？

090051K : これが、「うーん」が、この、困ってる「うーん」なのか、「うーん（発音が伸ばし、強く 09:10)」、どっちかなのか、わかんないが。もし、7番で後続けるとしたら、「うーん素晴らしい意見だね」だったら、この「うーん」は、感心とかというか、そういうあれいれて。「うーんわかりづらい意見だね。」だったら、ちょっと困っちゃうというか。

090052Q : じゃ、どれが一番いいですかね。

090053T : あー、やっぱ5番。

090054M : ほんとうにしてあげるのは5番かな。

090055K : うん。

090056Q : 5番ですね。6番は？

090057T : 6番は使わないんじゃない。「うーんみたいな意見だね」、「みたいな」、「うーんみたいな」。

090058Q : 7番は？

090059T : 7番は、使わないよね。7番は一番使わないんですね。

090060K : まあ、ちょっとおかしいな。使い方は。

090061Q : はい、みなさんは、なんか、あのう、例えば、熟したりんごを見たときに「うーんりんごだね」というのを聞いたことがありますか。例えば、絵を描いてあるりんごを見ていたときか、なんか熟したりんごを見たら、「うーんりんごだね」という、聞いたことがありますか。

090062T : あー、ないですね、僕はないですね。

090063K : やっぱ、感動詞の後には形容詞がくるのかな。だから、名詞はなかなか、その次にくるのが、まあ、日常会話にでて、

090064T : ないんよね。

090065K : 気がしますね。「きれい」とか「かっこい」とか、

090066T : あー、確かに。

090067K : そういう形容詞がくるけど、名詞って出てこないね。

090068Q : はい、分かりました。そうですね。じゃ、次に8,9,10をお願いします。どれが使えますか。

(Kさんは11:42~11:53 例文を読み上げた)

090069K: 10番はないですね。

090070T: ないね。(12:05)、名詞と繋がるというのは考えにくいのかな。8番は普通使うよね。

090071K: 使うね、8番は使うね。

090072T: 9番も使うのがいいかな。

090073K: 割りとね、割と使う。なんなんってとかみたいなが似ていたり、ちょっと違っていたりするかな

090074T: うん。

090075Q: 8と9は、あの一、どう考えれば通じるか。どんな意味で考えられるか。例えば、「えーって顔」「えーつみたいな顔」はどんな顔ですか。

090076T: 僕は、いやな顔、ちょっと顔を顰めて、えーって。

090077M: ちょっと否定的な顔。

090078T: そう。まあ、場合によっては、なんか聞きたいみたいな顔でこう「えーっ」ってすごいおどろき、

090079M: たしかに驚きであるかもしれない。

090080T: そういう顔であったりするのかな、という感じがします。Kさんは?

090081K: うん、そうだね。嫌なことだったり、やっぱり驚きだったりだよ。あまりいい感じの印象を受けない。

090082Q: はい、「えーっ」という感動詞以外には、あの、この例文に使える、入れ替えられるものがありますか。

090083T: これはだいたい使えるんじゃないですか。「うわー」も使いますし、「うーんって顔」も使います。ああ、「きゃあって顔」はあまりないかもしれないな。

090084M: 「おー」も入るかな。

090085T: うん、「おー」入るね。

090086M: でも意味がちょっと違うているかね。

090087T: うん。

090088M: 細かい。

090089Q: はい、分かりました。次に11, 12, 13をお願いします。

(Tさんは14:16~14:35 例文を読み上げた)

090090M: 13番かな。

090091T: 13使うか。

090092M: この中だったら、

090093T: こう、13番だと、僕は、「引き出しを開けたら、」の所まで来て、ここにきて「ねずみが」本当に飛び出して、きゃあつというんやったら、わかりますけど、話の途中で、もうすでにあつたことに対して、思い出して言う時に、そこで改めて、きゃあとは言わないか、突然ねずみが飛び出してとかに置き換えるかなつと。

090094M: (….) かな。11と12も

090095T: 使わない。僕だったら。

090096M: きゃあつて、そんな「ねずみ」に掛かってしまっているというかな。

090097K : うん。

090098Q : じゃ、「きゃあ」じゃなくて、ほかの感動詞を入れたら、使えるかどうか。例えば、「うわっ」とか。

090099T : ああ。ないな、考えつかないんです。

090100K : 感動詞か。

090101M : いろいろ入れても、うん。

090102T : これが、効果というなら、考えつきますけど、なんか「バツバツ飛び出し」とか、「サツサツ飛び出し」とかだったら、まだ分かりますけど、うーん、感動詞は思いつかない。

090103Q : この例文ですけど、ここにかいてありますけど、でも、ちょっと、あの、この場合は、たとえば、大きなねずみを見場合、どんな例文で言えるか。

090104T : 「きゃあ」を使うん、「きゃあ」を使って、

090105Q : 他の感動詞でもいいです。大丈夫です。「きゃあ」じゃなくて、他の感動詞でも、

090106T : あー、感動詞を使って、そのねずみが出てきたのを話すことですか。

090107Q : はい、そうですね。

090108K : 「きのうね、掃除のとき、引き出しを開けたら、ねずみが飛び出しちゃって、きゃあって言っちゃった。」みたいな。

090109T : ああー。

090110M : (17 : 37) 「きゃー」の後に来るかな

090111T : そのとき、「きゃあって言っちゃった」という話し方でいいんじゃないかな。あー、それなら、僕もわかる。なら使う。

090112M : だな。きのうきゃあって悲鳴を上げちゃった、掃除のとき、引き出しを開けたら、ねずみが飛び出しちゃって、

090113T : ちょっと唐突じゃない？

090114M : ですよ。

090115K : 13 もね。わからんでもないよ、なにか言つとる途中で、ねずみを思い出して「はあっ」という。

090116T : あー、言っている途中で、思い出す。

090117K : そう。こう言うやん、あの、伝えようとしたら、もう想像した。

090118T : あー

090119K : みたいな。そのとき。

090120T : あー

090121K : 思わずに言っていちゃった。

090122M : 引き出しを開けたら、たぶんブルブル震えてみたいな

090123K : 会話の途中で出ちゃったとかなら分かるけど、まあ、わかるけど、まあおかしい

090124T : あまりないね。でも、そうだな。ねずみがすごい怖かったさ、あるのかな。

090125K : うん、なんか、こう、なんか漫画チックな。

090126T : なんとというか大げさだよ。

090127K : そうそうそう。

090128Q：じゃ、「きゃあ」という感動詞以外は、他の感動詞がありますか。この場面に。「はあっ」とか。先Kさんは言ったみたいに、はあっという、

090129K：あー、

090130Q：使えそうでしょうね。この場面に。

090131K：「はあっ」、僕の感動詞はあまりあてにしないほうがいい。僕変な言葉ばかり。「はあっ」、「はあっ」も、まあ、「うわっ」とか言うんじゃないかなあ。

090132M：一番近いのは「うわっ」かな。

090133Q：例えば、「あっつねずみが飛び出しちゃって」とかは、使えるかどうか、通じるかどうか。

090134T：僕は使わないんです。

090135M：通じるは通じるかな

090136T：通じる、それはどういうことって、僕だったら聞いちゃうなあ。どういう意味、それ。

090137M：ちょっと曖昧かな。

090138K：おっねずみとか。ちょっと、(…)。こんなところにおったねずみっていうようになるよね。

090139Q：はい、わかりました。じゃ、14, 15, 16, 17をお願いします。
(Mさんは21:06~21:50例文を読み上げた)

090140K：16、17。

090141T：16、17だね。うん、僕は、一番16がね、使いやすいかな。

090142K：うん、よく聞いたね。

090143T：16、17、で、14、15が圏外っていう感じ

090144Q：14と15は？

090145T：「おーだったよ」、あまり言わないですよ。「おーって感じだったよ」、「って」言いますね。僕は、こういう使い方がよく知っていますけど。

090146K：うん、そうだね。

090147M：うん

090148T：「おーみたいな感じ」と言ったとき、僕は、聞いたら分かりますけど、自分で使うことはないですね。使う？

090149M：使わない。

090150M：「感じ」の自体も、本当に 彼女の様子をちょっと、なんというかな。そこはやっぱり表してるから、「みたいな」とつなげると、ちょっと、おかしすぎかな。

090151K：「みたいな」だったら、「おーみたいな」という。

090152T：ああ、「みたいな」で終わっちゃうんだ。

090153K：これは、結構それもゆっちゃうみたいな。

090154T：「おーみたいな」ならわかる。

090155K：「感じだったよ」がちょっとあれ変な感じがします。

090156T：「おーみたいな」、後で濁すんだね。「おーみたいな、感じ」、「おーみたいな」、「みたいな」。

090157Q：14、15は聞いたら、通じるかどうか、

090158K : 分からんでもない、けど、自分は使わない。

090159T : 僕は、聞いたら、違和感がありますね。なんか、あ、そんな喋りをするんだと思いま
すね「おーだった」。自然ではないですね。不自然な印象を受けますね。

090160Q : Mさんはどう思いますか。

090161M : そうですね。やっぱり。14, 15は「おーだったよ」は、不自然ですね、やっぱり。な
んというか、ちょっと直接的過ぎるといって、間に「みたいな」「感じだ」とか、そ
れを挟まないと、

090162T : ちょっと分からないですね。「おー」だと。

090163M : あ、「驚いていた」とかだったら、様子をちょっと端的に表すような、やっぱり、言葉
じゃないと、まあ「おー」はちょっと難しいと思います。

090164T : 使う？「おー」は。

090165K : あ、おれ？あー、14, 15の使い方はしないですね。うん、聞けば、わかるんだけど、
やっぱりなんか、もやもや、違和感がある感じますね。「おー」、うん、なんだなあ。

090166T : なんかちがうんだね。

090167K : うん、なんかちがうんだよね。うん。

090168T : 理解ができるけど、違和感がある。

090169K : なんか足りない感じがしますよ。

090170Q : じゃ、「おー」じゃなくて、他の、例えば「うーんだったよ」とか「ふーんだったよ」
という場合は、使えますか。

090171K : たぶん、僕は同じ感じがしますね。どの感動詞が来ても、「おー」「うーん」とかでも
やっぱりちょっと違和感がありますね。

090172T : うん、僕もそうだな。感動詞何が来ても違和感がありますね。「うわーだったよ」、そ
れも、やっぱり「うわーって感じだったよ」とか、「うーんって感じだったよ」なら、
すんなり理解できますけど、14, 15みたいになると、違和感があります。

090173Q : Mさんはどう思いますか。その場合、「うーんだった」という。

090174M : まあ、先Kさんが言ったことと同じになっちゃうけど、まあ「おーだったよ」は不自
然ですね。

090175T : 「うーんだった」は？

090176M : 「うーんだった」も、うーん、感動詞ってその次に「だったよ」、それが難しいのかな。
どれも入れても、

090177T : 違和感があります。

090178M : ありますね。「って感じだったよ」とか、やっぱり彼女の様子がわかりやすく表す必要
が、まあ、この一文にはあるんで、

090179T : うん

090180Q : ここに、「おー」は、なんか、えーと「彼女」の言葉をそのままに使った場合は、考え
られるかどうか、

090181M : 彼女のそのままに、まあ、「おーって言っていた」でやっぱり正しいかな。

090182T : うん、ちょっと質問の意味がもう一回もらってもいいですか。

090183Q : あの、なんか、この「おーだった」に、「おー」は、もしこの談話の彼女、彼女のその

ままの言葉を、

- 090184T：彼女がおーと言ったのを後から「おーだったよ」、言ったとき、
- 090185Q：はい。それは使えるか、通じるか。
- 090186T：あー。その場合は通じないんじゃないですね。さっきM言ったように、「おーと言っていた」って。「おーだったよ」は、ないですね。僕は使わないんです。使う？Kくん。
- 090187K：うーん、使わんね。
- 090188M：先ず、「おーって感じだったよ」「おーと言っていたよ」と言ったまま、会話続けられない、絶対に具体的にはいってん。
- 090189K：あ、そうかな。
- 090190M：やっぱり、驚いてたよね、でもいいし、まあ
- 090191T：続かなくても、伝わるんじゃないですか。「おーと言っていたよ」と言った場合は？
- 090192M：その話はこの話どういう話しなのかによるかな、
- 090193T：ゆったら、どんな場合に伝わると思うけどなあ。「おーだったよ」とゆったら、
- 090194M：え、「喜んでた」の、それ。
- 090195T：「喜んでたよ」のニュアンスはここの一文では伝わらない
- 090196M：「おー」で伝わる？
- 090197T：あ、「おー」だけでも、「おー」が取りようがあるということ？
- 090198M：じゃないかなあ 「うーんと」ね、まあ、「おー」だったら正の方向で、プラスのほうに考えていいのかなあ
- 090199T：じゃ、「おー」じゃなくて、「うーん」のとき、「うーんだったよ」と言ったときは、後から何か足さなくてはいけないことはなくなる。「うーんだったよ」と言ったら、「困っていたよ」みたいなニュアンスが。
- 090200M：うんうん。
- 090201K：文じゃわからんけど、実際ゆったら、たぶん、そこはね、言い方によって「おーって感じだったよ」か「おーだったよ」だったら、あー喜んでたなーだったし、「おー」だったら、あまり聞こえない
- 090202M：トーンかなあ
- 090203K：うん、そうそう、感動詞だからね。字に起こすとやっぱり、わかりづらいけど、小さいゆったら、そういう問題は余ってないじゃないかなあと思う。
- 090204T：わかるんね。それは。
- 090205K：うん。ニュアンスみたいな。
- 090206Q：14と15はここにちょっと違うんですね。14は「おー」が直接に「だった」の前に、15は後ろにポーズがついて、どっちが聞いたら、通じますか。
- 090207T：あー、僕はどっちも通じないと思いますけど、しいていうんだったら、自分のほうが伝えやすいかなと思いますね。でも、それでも使わないんですね、僕は。
- 090208Q：はい、分かりました。次に18,19お願いします。
(Kさんは32:25~32:43例文を読み上げた)
- 090209K：18ね。
- 090210T：18は使いやすいですね。よく使うんですね。

090211K : よく使うんだね。これ言うね。
090212T : 「いやー面白い所だよ」。
090213K : 「いやー面白いよ」。
090214T : うまかった。
090215K : 19 はやっぱり、
090216T : は、使わないんですね。
090217Q : 18 の、「いやー」の後ろにポーズがあるかどうか、
090218T : あー、さっきの腕組んで「いやー」ってこう、ちょっと首かしげたりするから
090219K : これぐらい、大きい動きはない。
090220T : ないね。
090221K : まあ、これぐらいの小さなのしかない。
090222T : ちょっとこう、首をかしげたりするかもしれないですね。
090223M : ちょっと、しみじみとみたいな、感じますね。
090224Q : 「いやー面白い所だよ」は、なんかあの、「とても・すごく面白い」とも考えられるか、
「おもしろいだよ」と「いやーおもしろいだよ」と、どっちが感情が強い感じますか、
「とっても面白い」とか、「すごく面白い」という意味が考えられるかどうか。
090225T : あー、そうですね。ありますね。考えられますね。
090226K : 「いやー」が入ったほうが「本当に面白いだな」という感じがしますね。
090227T : 強調しているというかに、「いやー面白い所だよ」。
090228M : マイナスには取れん？
090229T : 取れん。プラス、そうな、褒めてる。「いやー面白い所だよ」。
090230M : この「いやー」は、やっぱりそういうマイナスにもとれるかなと思うんですけど、「いやー面白い所だよ」(34 : 49) みたいな。
090231K : あ、たぶんあれでしょ？「ベトナムへ行った。…ベトナムは面白くないでしょ？…いや面白い所だよ (35 : 00)」っていう感じする。
090232M : ちょっと擁護っというかベトナムの擁護というかあまり悪く言うのが憚れるというか
090233T : あー、はいはいはいはい。だから、先 K さんがそういうことじゃなくて、「いや」という言葉で示すんでなくて、なんというだろうな、あ、難しいね。これ。
090234M : 「いや」と「いやー」でも、
090235T : 「いやー」、(35 : 32)
090236M : 「いや面白いところだよ」って本音を隠して
090237K : あのう、「いやー」みたい。だから、
090238T : 言い方だよな。
090239K : うん。
090240M : 「いや (否定的)」と違うね。(35 : 42)
090241T : でも、これ、M さんのが「いや」じゃなくて、「いやー (強調的発音)」って、
090242M : 間とかさ、まあ、表情とか。
090243T : 「いやー」という時に、こうなんというかなあ、何といたらいいか難しいけども、言えないニュアンスが現れるん。その「いやー」、

090244M：「うまくいけないけど、面白い所だよ」と言いたいのと、正直になんというか、微妙だけれども、悪くも言いたくないかな、「面白い」って送って言うの。

090245T：あー、そういうことなんか。

090246K：「うーん」と似てる。それだったら、「うーん」と似ているね。

090247T：そうそうだね。

090248M：「うーん」もプラスに使われるよね。

090249K：だから、次に形容詞が来ると、やっぱり違和感が、「うーん」もそういう。

090250T：たしかに。

090251Q：じゃ、「うーん」「いやー」以外には他の感動詞が入れるかどうか。

090252T：あまりないと思う。「うわー面白い所だったよ」と、

090253K：「うわー」ないか。

090254T：「あー」はちょっと、言葉を継いでる

090255M：「どんなところ？…あー面白かったよ」、「面白い所だったよ」。

090256T：あー、詠嘆の「あー」。「あー面白いよ」

090257Q：「あー面白い所だったよ」は「とても面白い」という意味で使えますか。

090258T：使えますね、「あー面白い」。でも、あまり使わないかも、「いやー」「うーん」ほどは。

090259M：ちょっと考えるのと間を空けるのと、使えるね。「あーおもしろいところだよ」って。

090260T：だから、それは感動詞に入るのかなあ、微妙だね。

090261Q：うーん。そうですね。考えながらねも「あー面白い」、それもありますね。

090262T：うん。

090263Q：はい。あの、「いやー」の後ろにポーズがいるんですか。必要ですか。

090264T：必要は、

090265K：ない。

090266T：ないけど、

090267M：声のトーンで表現できるかな

090268K：まあ、せいぜいそうだよな、まあ、首が傾げる程度だね。

090269Q：はい、ありがとうございます。次に 20, 21 をお願いします。

(Tさんは 38：53～39：25 例文を読み上げた)

090270T：使わないね。

090271K：使わない。

090272T：使わないよね。

090273K：使わないな。

090274T：大阪人なら言うんじゃない。「うわっ安いんじゃ、買ったで」。

090275K：こんな感じは「うわっ買ったで」(39：54 発音しながらジェスチャした)。「うわっ」だったら、なんかこんな感じがものすごい安い、

090276T：セール時期だから、

090277K：「うわっ安い」、「うわっ買ったで」。でも、感動詞じゃないかなと思う。

090278Q：じゃ、「とても安い値段で買った」というような場合は「うわっ」という感動詞じゃなく、他の感動詞入れたら、どうですかね。

090279T : 「いやー」とかならなんとなく伝わなくてもならない、「セール時期だから、いやー安い値段で買ったよ」っていったら。

090280K : あー、まあ、そうだね。それはまあ使えるね。

090281T : 使えなくてもないね。あまり使わないけど。

090282K : 「いやー安い値段で買ったよ」。

090283T : ほかは、「うーん安い値段で買ったよ」。ぎりぎり、あまり使うことはない、

090284M : でも入りうるよね。まあ、ちょっとさつきも言ったけどしみじみと読んでなあ。今思い返してもねという感じ。

090285T : 「うーん安い値段で買ったよ」。一般的じゃないんじゃない。でも、やっぱり違和感がある。

090286Q : じゃ、「いやー安い値段」では「いや」の後ろに、この場合も、ポーズが要るかどうか、

090287T : あー、ポーズがいらんないじゃないかな。要らんないかな。

090288K : うん。

090289M : これも首を傾げる程度だよな。

090290T : そうだね。やって、で、こうやって、(42 : 02)

090291K : まあ、顔がにやけるぐらいじゃないか。

090292T : あー、表情とか変わるね。

090293K : ポーズじゃないと思う。

090294T : うん。

090295Q : Mさんはどう思いますか。

090296M : そうですね。この、やっぱり、「うーん安い値段で買ったよ」っていうんだったら、ポーズをつけるなら、本当に、ちょっと首を傾げるなり、それぐらいしかないポーズは。

090297Q : はい、わかりました。次は22,23をお願いします。

(Mは42 : 53~43 : 10 例文を読み上げた)

090298T : 22は使えるね。

090299K : そう。まあまあ、そう。

090300T : 23になると、使わない。

090301K : 使わない。違うね。

090302T : 「うーんと」っていう、「ベトナム」のことに使うね。そっちなら使うね。

090303M : 「うーんと」は感動詞じゃないと思う。

090304K : 違うもんね。「うーんと怖い話だね」。

090305T : なら、聞いて分かりますね。

090306Q : じゃ、22は使えるんですか。

090307T : そうですね。

090308K : そうですね。

090309Q : 23は、

090310K : 23は、使わない。

090311T : 使わない

090312Q : 例えば、「うーんと」はね。「うーんと怖い話だね」。これは、なんか、日本語の副詞「う

んと」の長音化したものだと考えたら、使えますか。

090313M：そうそう。

090314T：感動詞になるんですかね。「うんと」の「うん」は。そういうニュアンスは使うことはない。「うんと」という意味があっただよね。

090315M：「うんと」はセットで。

090316Q：はい。じゃ、この例文の、なんか、「うーん」に以外は、他の感動詞が入れるかどうか、

090317T：「いやー」なら、やっぱり使うんだね。「いやー怖い話だね」、言うね。

090318M：うん、言うね。

090319K：ですね。まあ、「いやー」は、先にも言い出した。「いやー」と「うーん」は、やっぱりちょっと似たような部類（45：13）だと思うんで。

090320M：うん。

090321Q：これもポーズが、

090322K：ポーズは、「いやー」と一緒、そんな要らないと思うんですけどね。

090323Q：「うーん怖い」の場合もポーズがないんですか。

090324T：ないんですよ。

090325K：ですね。特に使わないような気がする。

090326M：うん。

090327Q：これは「とても怖い」という意味で考えられるかどうか、

090328T：意味が入ります。で、入りうるんですよ。

090329K：うん、入りうる。

090330M：それしか、他はないじゃないかな。

090331K：うん。「うわー怖い話だね」。ない。

090332M：ない。

090333T：ないか。

090334K：うん。

090335Q：はい、ありがとうございます。次に24,25をお願いします。

(Kさんは46：12～46：32例文を読み上げた)

090336T：僕は使わないんですね。使う？

090337K：使わない。

090338M：えー、使わないんですね。

090339Q：どっちも使わないんですか。

090340T：どっちも使わないんです。

090341K：「あっと驚く」だったら、

090342T：あー、そう付いたら、分かりますね。

090343K：うん、分かりますけど、「あっ」だけだったら、ちょっと使わないですね。

090344T：うん。

090345K：そのあとに続くのはちょっと違和感。

090346M：置き換えられるとしたら、24番に「うーん」「いやー」が入るかな。

090347K：「あー難しかった」、

090348T : あー、まあね。
090349Q : これはポーズかあるかどうか、後ろに。
090350T : いやー、ポーズが付くかどうかわからないけど。
090351K : 「いやー」ぐらい (47 : 40)。
090352T : してもあまりないね。
090353M : うん。
090354Q : ちょっと後ろに伸ばすんですか。
090355K : そうです。ぐらい。
090356T : 「あー難しかった」なら、「簡単だと思ったが、やったら、あー難しかった」。うん。
090357K : 「あー難しかった」。(48 : 01)
090358Q : とても難しかったという意味で通じるんですか。
090359T : そうですね。そうなりますね。上手だね。
090360Q : Mさんはそう思いますか。
090361M : そうですね。やっぱり。
090362Q : はい、わかりました。次に 26, 27 をお願いします。
(Kさんは 48 : 31~48 : 42 例文を読み上げた)
090363T : これ、両方も使わない。
090364K : 使わない。
090365T : そうですね。Mさんは使わない？
090366M : そうですね。使わな
090367Q : じゃ、「えっ」感動詞じゃなくて、他の感動詞を入れたら、使えるものがあるかどうか、
090368M : 26 はいいかな。
090369T : うん。そうだね。「わー」とか「いや」とか先に言ったけど、「あー恥ずかしい」なら、
090370M : うん。
090371T : 「あー恥ずかしい」が一番恥ずかしいじゃない？
090372K : うん。そうだな。
090373Q : これも「とても恥ずかしい」という意味で考えられますか。
090374T : なりますね。
090375K : はい、使います。
090376T : 「きゃあ恥ずかしい」というも。私は言うんです。
090377K : まあ、使いますね。
090378M : 私は言いませんよ。これはちょっと分らん。
090379Q : はい、ありがとうございます。次に 28, 29 をお願いします。
(Mさんは 49 : 54~50 : 04 例文を読み上げた)
090380T : 「うんうん」は歩かないね。歩きは、
090381K : 歩くときに使う、感動詞ではない。
090382T : 感動詞は、「歩いていた」に対してはそもそも使わない。
090383M : 「うんうん」は感動詞なのかな。
090384T : あー、どうなんだろう「うんうん」唸るとかはいうけれども、それ「うんうん」感動

詞じゃないよ。「うんうん」、あ、でも、感…どうなんだろう

090385K：いや、わからない。

090386M：ちょっと得心がいったというふうな感じでうなずきながら歩いていたのか。

090387T：あー、そういうと考えるなら、なんとなくね。

090388M：でも、「うんうん」は、うーん、難しいね。

090389T：「うんうん」とは歩かないですね。やっぱり、

090390M：なんか物を引きずりながら歩いてんじゃない？

090391T：あー、すごい苦しいんじゃない、歩くのが。

090392M：「うんうんと言いながら」と違う？

090393T：あー、やっぱりそうだね。「うんうんと言いながら歩いていた」なら、まだ。でも、社長の部屋を出るときに、そんなに苦しそうに歩くとはするかない。

090394M：わかんない、これ。なんか、どっかの会社の誘うとかで、

090395K：会社と社長とか。

090396M：なんか届いたもの、

090397T：あー、戻されて？

090398M：そうそうそうそうそう。

090399T：すごい重い荷物を、

090400M：うん。発注間違いで、部屋に届いてしまってとか。

090401T：いいんですか。すごいね。

090402Q：じゃ、そういういったら、28 が使えるか、

090403T：うーん、「うんうんと」、あまり使わないですね。僕は使わないんです。

090404M：うん、「うんうんとうなずきながら」か「うんうんとうめきながら」とか。

090405T：とかになっちゃうかもね。

090406Q：例えば、「うんうんって歩いていた」、できるかどうか、

090407T：あー、「うんうんって歩いていた」は、

090408Q：「うんうんって」、

090409T：あー、「うんうん」がそもそも「歩いていた」にくっつかないというか、すっきりこないですね。違和感があって、うんうんという言葉で、

090410M：「うんうん」は、まあ、どっちなのかっていうのもあるし、

090411T：あー、「うんうん」は (52:16) ね。

090412M：やっぱり、その、どういうふう歩いていたのを表すような表現じゃないと思います。

090413T：難しいことね、気に

090414M：なんか「スタスタと歩いていた」だったら、もう歩く好調がわかります。

090415T：「スタスタと歩いていた」ならすごい分かりやすいんだけど、スタスタって感動詞な、

090416K：じゃないですね。

090417Q：それはオノマトペか、擬音擬態語じゃないですか。

090418T：ですね。

090419M：はい。

090420Q：もし、「うんうん」じゃなくて、「うーんと歩いていた」とか「へーと歩いていた」と

か、感動詞を入れたら、

090421T：「うわっと歩いていた」、先の、すごい勢いのニュアンスが出るん。

090422K：「むっちゃ歩いていた」とか

090423T：「うわっ歩いていた」(53：08)。

090424M：「うわっ」はここで一緒「うわっ」という様子や感じとか、「って」とか入らんと、

090425K：うん。

090426M：入っていますね。

090427T：「いやーって歩いていた」

090428M：いやーというふうな様子で

090429Q：「うーんと歩いていた」は？

090430T：「うーんと歩いていた」も使わないんですね。

090431Q：あの、29は使わないんですよね。

090432T：使わないんですね。

090433K：うん、そうですね。

090434Q：28は？

090435T：28も使わないんですね。うんうんとして

090436Q：「うわっと歩いていた」は？

090437T：使う？

090438M：使わない。

090439T：使わないんですね。やっぱり、

090440Q：どんな感動詞が入っても使わないんですか。

090441T：なかなかないよね。

090442K：感動詞じゃないんですね。オノマトペとか、まあ

090443T：そういう使い方なら、

090444K：分かりますね。

090445Q：はい、ありがとうございます。次は30,32をお願いします。

(Kさんは54：25～54：40例文を読み上げた)

090446T：31は先ず使わないんですね。

090447K：うん。

090448T：30はまあ、音で聞いたら、自然じゃない。

090449K：うん。

090450M：ちょっと、動作に連動するというか、力抜けるニュアンスというか、入っているかな？

090451T：うーん、お母さんがはあって言うかと思えますけど、

090452M：うーん、お母さんだよな。

090453T：「はあっと」ってゆったら、感動詞の使い方じゃないよね。気がするな。

090454K：「はあっと座った」、

090455T：わかんないんですね。

090456M：「はあっと言った」ふうな。

090457T：うん。

090458Q：ため息という意味で考えられるかどうか、

090459M：これは自然か、そうじゃないというかな。「はあっとため息付いて座った」にないね。何だろう。だから、

090460T：だから、この使い方になるという、先言った「スタスタと歩いた」みたいな感じになっちゃって、感動詞じゃないですね。

090461M：うん。

090462K：うん。

090463T：感動詞の使い方にならないじゃないかと思いますね。

090464Q：怒りたいという気持ちで座ったという場合はどうですか。

090465T：あー、その場合、「はあっと座った」とは言わないですね。言わないよね。

090466M：どっちが使ったら、負担かな。

090467K：まあ、驚きじゃないか。

090468T：驚き、怒っているときに？

090469K：うん、怒っているとき

090470Q：この例文は、たとえば、「はあっと言って座った」で、通じるんですか。

090471T：なら使えます。

090472Q：この「はあっと座った」は「はあっと言って座った」と考えられるか。

090473T：あー、「はあっと座った」ってゆったときに、そう「はあっと言って座ったんだな」って思わない。とは思わなくて、どう思えるかなよくわかんないなあという感じですね。

090474M：やっぱり座って、落ち着いて話をしようというような、落ちつこうというやっぱりそうですね、なんで、「座った」という動作が続くんだったら、「はあっ」はやっぱりちょっと一息着こうとか、そういう表現ですよ。ね。「はあっ」だったら、逆に「立ち上がる」か、ですね。

090475T：あ、まあ、たしかに、たしかに、そうだけど。でも、こう怒りながら、座ること、まあ、あれじゃない。

090476K：うん。

090477M：あ、仕組みだからね。

090478Q：例えば、この例文は「はあっと座った」、あの、なんか、「はあっと言って」、でも「言って」は省略して「はあっと座った」という文になるかどうか、

090479T：うん、始めて、K君が読んで聞いたときに、あそうなのかな。K君が先言った「はあっと」って、ちょっと落ち着いてという感じで、「お母さんがはあっと言いながら座った」かな、ちょっと思いますけど、それでも分かりにくいな。どうなるかなという感じですね、やっぱり違和感があって、通じにくい、わかりにくいと思います。

090480M：どういう「はあっ」のかね。

090481Q：Kさんはどう思いますか。

090482K：そうですね。伝わりづらい。難しいですね。なんか、うーん、どっちが使うにしても違和感だなあ。「はあっと座った」とか、そういう何にか意味が合わない、伝わらないと思います。

090483T：うん。

090484Q：はい、ありがとうございます。次に 32, 33 をお願いします。

(K さんは 01 : 00 : 12~01 : 00 : 19 例文を読み上げた)

090485T：あまりいわないですね。

090486K：あー、これは、たぶん、どっちも使わないな。

090487T：使わんね。使うことはないね。言われて、まあ、なんとなくニュアンスが伝えられますけど、違和感があるよね。

090488K：うん。

090489M：違和感がなんか入れるという、言われても入らんか

090490T：「いやーもらいたいな」、「プレゼントをいやーもらいたいな」、

090491M：あー、「いやー」だったら、一番最初につくほうが自然かな。

090492T：あー、まあ。

090493K：うーん、途中で、「うわー」「いやー」がくるのはなんか (…)

090494T：たしかに。頭につくと、不自然じゃないかな。「うわーバレンタインの日にチョコレートをももらいたいな」とか、「いやーバレンタインの日チョコレートをももらいたいな」とかなら、伝わるね。

090495Q：それはポーズがあるかどうか、

090496T：あまりないよね。

090497M：首が首が傾げるぐらいだね。

090498K：うん、ちょっとこうぐらい (01 : 01 : 31)

090499Q：じゃ、32 と 33 は、どっちが、

090500T：あー、32 は使わないよね、先ず。

090501K：うん。

090502T：33 なら、使うかな。あまり使わないけど、使う人がいるなら、(01 : 01 : 53)

090503Q：あの、「いやーもらいたいな」というのは「たくさんもらいたいな」と考えられるかどうか。

090504T：あーそう、「たくさん」かどうかわかんないけど、すごくもらいたいなという気持ちが、

090505M：「と」が付くって、そっちのほうが伝わるというかな。

090506K：「と」？

090507M：「うわーと」というか、なんというかな。

090508T：「うわーと」は、でも、伝わらなくない。

090509K：うん。

090510M：「と」がつくと、やっぱりもらい方みたいな。

090511T：あー、なるほどね。

090512M：言わないけれども、うんうん。

090513Q：その場合はなんかオノマトペみたいな。

090514T：そうですね。そんな感じになりますね。

090515M：うん。

090516K：感動詞じゃないですね。

090517Q：はい、ありがとうございます。次は 34, 35 をお願いします。

(Mさんは01:03:00~01:03:07例文を読み上げた)

090518Q:通じるものは?

090519M:「うーん」というのはやっぱり「たくさん」みたいな。

090520T:あれ、「たくさん聞いている」ってならかな、僕がちょっと否定的に聞いているかな。
うーんってこう考えながら。

090521M:そういうふうにとれるなあ

090522T:あー、

090523M:まあ、そんな感動詞じゃなくね、先もゆったけど。

090524T:あー、そういうこと。

090525M:「うーんと聞いている」、使えるかな。

090526T:やっぱり、先もオノマトペ的になる。

090527M:何ってなるって?

090528Q:オノマトペとして使えるか、

090529T:そんな感じになりますね。

090530K:うん。「うーんと」。

090531T:あ、でも、「うーん聞いている」はない。たしかにない。

090532K:ない。

090533T:ないね、35番は。

090534Q:じゃ、「うーん」じゃなくて、他の、例えば「えーと聞いている」とか「へーと聞いている」とかは?

090535M:「えー」とか「へー」とか入っても、35に入らんかな。入らんというか。入っても当てはまらないよね

090536T:「えー」とか「へー」と聞いている」。でも、「へーと聞いている」は、僕よくわかんないな。それは使わないだろうと思うか。

090537M:へーという感じで使ったら、

090538T:いや、でも「うーんという感じで聞いている」としても、

090539M:という様子でとか。

090540T:いや、僕は、これは違和感があるな。

090541M:うん。

090542Q:Kさんはどう思いますか。

090543K:そうですね。判断は、感動詞じゃなければ、この文は成り立つ気がするんですよ。例えば、35だったら、「学生は先生の話ちゃんと聞いている」とか、なにかだったら、分かるんだけど。これに感動詞を入れると、何か何だろうな、分けわかんない。

090544T:伝わらない。

090545K:伝わらない。無理。

090546T:例えば、先の例文で「うーんって意見だね」という例文、一番最初にあったの、「先生の話聞いてうーんって意見だね」だったら、分かるけど、「うーんと聞いている」となると、聞いているという動詞があるんで、「うーんと聞いている」、ちょっと違和感があるか。

090547K：動詞にかかわらなくちゃうというか。

090548T：あー、そうか。先、「もりたい」とか「歩く」「座る」は違和感があるもんな。

090549Q：じゃ、あの一、よく悩んでいる、よく考えながら聞いていると言う場合は、「うーんと聞いている」(01:07:05)、どうですか。

090550T：あー、それでも、やっぱり使わないんですね。感動詞では使わなくて、やっぱりちゃんところ、しっかりとか、先 K 君が言ったように、「ちゃんと聞いている」とか言うような、別の言葉で言いますね。そういうニュアンスで伝えたいのであれば、感動詞じゃなく。

090551M：うん。

090552Q：オノマトペとして、考えられるか。

090553T：オノマトペとしてなら、「うーんと聞いている」。それでも、僕は使わないんですね。やっぱり、こう、

090554M：動詞に付かんかな。

090555T：「うーんと聞いている」。そうですね。やっぱり違和感がありますね。

090556Q：例えば、「うーんという顔をして聞いている」という例文は、使えるかどうか、

090557K：あまり使わない。

090558T：あー、あまり使わないのは確かけど、

090559K：でも、

090560T：意味がわからないかというのと、そうでもない。

090561K：うん。

090562T：伝わらないことはない。

090563K：まあまあ、わかる、わかる。

090564T：わかるよね。伝えやすいけど。

090565M：自分らで言うとしたなら、まだ納得していない様子をしてた、そんなことかな？

090566T：そういうことになっちゃうよね。やっぱり、感動詞を使わない。

090567Q：じゃ、34 と 35 はどっちも使わないんですか。

090568T：そうですね。使わないんですね。

090569Q：はい、ありがとうございます。36, 37 をお願いします。
(K さんは 01:09:16~01:09:29 例文を読み上げた)

090570T：これもやっぱり使わないんですね。

090571M：うん。

090572K：ですね。

090573T：「おーと拍手した」。意味は伝わるけど、

090574K：よく分かんないな。

090575T：ちょっと幼稚な感じがするなあ。

090576M：うん。

090577T：なんかしっかりおしゃべるんじゃない。

090578K：うん、あー。

090579T：感じ。

090580M：なんか児童文学で出てきそうな感じ
090581T：確か。子供を受けているなら。
090582M：子供に話しやすいかな。
090583Q：じゃ、あの、なんか、この例文は「おーと言って拍手していた」という場合は通じるかどうか、
090584T：分かりますけど、使わないんですね。わかるけど、使わない。
090585M：うん、それこそ、児童文学っぽいというか、「おーって拍手した」
090586Q：じゃ、36 と 37 はどちらが使えるかどうか、
090587T：どっちが使えるかという、36 かな。
090588K：かな。
090589T：36 ですね。
090590K：ただ、それが、なんか感動詞なのかオノマトペなのかよくわかんない。
090591T：あー、確かに置かない。
090592K：「おーと拍手していた」と言ったら、この「おー」はこの「拍手」、この、「ブアッと」という音のような気もするし、感動詞のような気もするし。
090593Q：じゃ、「おー」じゃなくて、他の感動詞を入れたら、
090594T：「うわっと拍手していた」とか。
090595M：かな。
090596K：いやー。それも「おー」と
090597T：一緒だね。
090598K：うん。
090599M：入れても、まあ無難かな。
090600K：うん。オノマトペっぽいだよ。
090601T：確かね、オノマトペなら。わからんないけど。
090602Q：はい、ありがとうございます。次 38, 39 をお願いします。
(T さんは 01 : 12 : 13 ~ 01 : 12 : 24 例文を読み上げた)
090603M：両方ともないね。
090604T：使わんね。
090605K：使わんね。
090606M：「降る」と、「雨が降る」の間に入れるんだったら、やっぱり降り方とか、先言って、擬音的な「ザット」とかなってしまうから。
090607T：あー、なら、わかるけどね。
090608M：「雨」の前に「おっと」が入るなら、まだ分かるな。
090609T：「おっと雨が降ってきた」。
090610M：うん。
090611T：でも、やっぱりなんというかな
090612M：不自然かな。
090613K：途中で。
090614T：そうそう。先 M さんが雨が降ってきたみたいなきなら、「おっと雨が降ってきた」と

は言えるかもしれないけど、昔のことに対してね、思い出して「おっと雨が降ってきた」とは言わないもん。

090615Q：じゃ、38と39は、どっちも使わないんですか。

090616T：そうですね。

090617K：使わないんです。

090618M：うん。

090619Q：はい、ありがとうございます。次、40,41をお願いします。

(Mさんは01:13:30~01:13:34例文を読み上げた)

090620T：言わんね。

090621K：言わないね。

090622M：どっちも動作じゃないもんね。

090623M：「えっという顔をした」とかなら、言うね。

090624K：あー、まあ、なら、分かるね。

090625T：どっちも使わんな。「はっとした」ならね。

090626K：うん

090627T：でも、違うもんね。それは。

090628K：うん、じゃないもんね。

090629T：「ゾッとした」。

090630K：あー。

090631T：文脈で。

090632Q：例えば、「彼女はその話を聞いて、えっと思った」とか

090633T：あー、「えっと思った」というも、あまりこう、なんというですかね。

090634M：まあ、そこまでわかるじゃん。「えっと思ってる」と分かってね。

090635T：うーん、そういう、違和感もあるかもしれないけど、幼稚な感じは、なんというかね。
わかるけど、使わない。ですね、やっぱり「えっと思った」とか、

090636Q：もし、使ったら、これは「えっという気がした」とか「えっと思った」とか、考えられるか、言えるか、

090637K：言えるか、

090638Q：通じるか、

090639T：あー、通じるけどね。言うとはしない。

090640Q：じゃ、「えっ」の代わりに、他の感動詞を入れたら、例えば「うーんとした」とか、「おーんとした」とか、

090641T：そうですね。あまり使わないんですね、やっぱり。うん。言わないですね。

090642Q：Mさんはどう思いますか。

090643M：うーん、言わないんですね。

090644Q：Kさんはどう思いますか。

090645K：うーん、なんか、前に出てこないですね。うーん、ないよう、ないかな。うーん。この文じゃ、感動詞がここにはめるのは無理だな気がしますね。

090646Q：オノマトペとして入れるか、

090647T：あー、それ、「はっとした」なら、オノマトペなのか「はっと」、わかんないけど、
090648K：どうなんだね。オノマトペとして「はっとした」なら、感動詞か、「はっとした」。「ギョっとした」「ゾっとした」。
090649M：ゾっとしたって端から見ても分かるものかな。
090650T：まあまあ、わからんにしても、文章ならね。
090651K：うん、文章なら、小説的な文章だったら、まあ
090652T：うん、あるのかな。
090653M：人によるじゃなくて、あまり、文章的に。
090654Q：じゃ、もし、この場合に、この例文にね、感動詞を使いたい場合はどのような文に、あの、
090655T：使わないなあ。思い浮かばないんですね。
090656M：「うーんとした」。
090657Q：「する」という動詞じゃなくて、他の動詞でも、
090658T：あーあー、なんでも繋げてもいいんですね。
090659Q：はい、
090660T：「という顔をした」とか、なら違和感だと思わないんですね。「えっという顔をした」とか。
090661K：うん。この文だったら、こう言い方を変えれば、どんな感動詞でも「えっ」が入れるし、先の「きゃあ」も入れるんですね。
090662T：うん。
090663Q：じゃ、「えっ」の後ろに何も動詞が出てこない場合は、
090664K：「それを聞いたら、えっ」（言い出した）
090665Q：例えば、「うーん」とか「へー」とか、それだけで切れて、
090666K：あー、それはちょっとおかしい。
090667T：うーん、難しいな。「えっみたいな」、「えっみたいな」とか。
090668T：「彼女は」だと、やっぱり違和感がありますね。「私はそれを聞いたら、えって感じだった」とはいいいかな。なら、わからなくもならないけど、すごい。
090669K：馬鹿っぽいだね。
090670T：若者言葉だね。
090671M：うん、そうそう。
090672Q：Mさんはどう思いますか。
090673M：そうですね。やっぱり先Tさんが言ったように若者言葉、幼稚的な、一緒かな。うーん、使わないかなあ、自分たちも。はい。
090674Q：これですね。40と41はどっちも使わないんですね。
090675T：そうですね。使わないんですね。
090676Q：はい、わかりました。はい、ここまで終わります。ありがとうございます。

(終わりの挨拶の省略)

〔付録4 第4回目の調査項目（調査人用）〕

実施時間：2012年02月10日 午前10:30～11:15

被験者：山口大学の学生

場所：東アジア研究科棟207号室

調査人：VUONG THI BICH LIEN

【始めの挨拶】

「こんにちは。東アジア研究科博士課程のリエンと申します。お忙しいところに、研究の調査にご協力をくれて、どうもありがとうございます。私は、感動詞について研究しています。みなさんは、日本語母語話者でながらも、国語学部の学生ですので、みなさんのご意見は私の研究に役に立つと思いますので、ぜひ聞かせてもらいたいです。よろしくお願いします。」

【指示】

「今日の調査はインタビューでいきます。この紙に例文が書いてあります。まず、皆さんに読んでもらいます。それから、私は質問をします。質問に教えてください。」

【質問項目】¹

Q1: どれが言えますか。

Q2: 「ふーん」の後ろにポーズが入りますか。

* 「ふーん」の後ろにポーズを付けて言えますか。

Q3: 「ふーん」と「聞いている」の間に何か入ると思いますか。

Q4: 「ふん」と「聞いている」の間に「と」「って」「に」「みたいに」というものが入れますか。

例えば、「お父さんは息子の話をふーんと聞いている。

お父さんは息子の話をふーんって聞いている。

お父さんは息子の話をふーんに聞いている。

お父さんは息子の話をふーんみたいに聞いている。

Q5: 「ふーん」は「聞いている」の前に、反復で言えますか。

* 「言える」と言う答え: 例えば、「ふーんふーん聞いている」、「ふーんふーんと聞いている」、「ふーんとふーんと聞いている」で、どれが言えますか。

Q6: 15の「えーっ思っていた」は「えーっだと思っていた」と言えますか。

【例文項目】

1. お父さんは息子の話をふーん聞いている。
2. 彼女は部屋の奥に座っている男の人をへー見て、部屋を出て行った。
3. 彼はええああ話していて、なかなか一文になっていない。
4. 友達は鈴木さんの意見にうんうん答えた。
5. 会長は鈴木さんの説明を聞いているとき、そうそう賛成していた。
6. 兄は弟の質問を聞いていると、うーん考えていた。
7. 彼は、本をもち、うーん歩いていた。
8. お母さんは息子の答えを聞いたら、はあっ立ち上がった。
9. 「今日は、AKB グループにも出演していただきますよ」と聞いたら、会場にいる人がみんなお一拍手した。
10. A：昨夜ね、すごい夢をみたよ。
B：何を見たの？
A：宝くじを当たって、うわっお金をもらったのよ。
B：へー。
11. A：先週一緒に買ったシャツを着てないね。
B：実は、今朝、着ようとしたが、棚から取り出したら、いやー汚れちゃったのよ。
12. TOIEC 試験の 900 点を見たら、わー喜び、飛び上がった。
13. 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっ降ってきて、びしょ濡れになっちゃった。
14. 社長は部下が会議に遅れた理由を聞いたら、はあっした。
15. A：その話、もう聞いた？
B：聞いた聞いた。
A：どう思う？
B：そうだね。最初はちょっとえーっ思っていたが、今は彼女みたいな人ならあり得るね。

【終わりの言葉】

「今日の調査はここまで終わります。みなさんのご意見は私の研究に役に立ちます。ご協力は本当に助かりました。どうもありがとうございました。」

ⁱ 質問項目 Q①～Q⑤は、それぞれの調査項目のために取り扱われるパターンである。ちなみに、「ふーん」とその文が例として挙げられる。実際の調査では、上記のような質問・指示は基本的に取り扱われるが、状況によって変わることもある。

第 4 回調査の文字化

(挨拶・指示の省略)

- 100001Q : はい。先ず、どれが言えるか、あの 1 から 15 までどれが言えますか。
- 100002M : はい。
- 100003Q : お願いします。
- 100004K : 言えるというのは、これでも意味が通じるということですか。
- 100005Q : そうですね。あの、自由に言ってください。どう考えれば使えるかということも、それも考えてもらいます。通じるか、それでも、
- 100006K : あー、はい。私は、全部、最後に「と」とか、えーと、そうですね、感動詞は「と」がないと通じないかなと思います。
- 100007Q : うん、ありがとうございます。M さんは？
- 100008M : あ、はい。私もそうですね。はい、「と」が。
- 100009Y : 私もえーと「と」が入ったほうが通じると思うんですけど、この 4 番の「うんうん答えた」っていうのは、言えると思います。後、10 番の「うわっお金をもらった」っていうのはここの「うわって途切れている気がして、会話の中だったら、ちゃんと通じるような気がしますね。
- 100010Q : あー、そうですね。はい、だいたい、なんか、あの感動詞の「ふーん」の後ろにポーズが入ると思いますか。ポーズ、例えば、なんかえー、「お父さんは話をうーん (0.1 秒) 聞いている」という形で、
- 100011Y : 1 番は、ちょっと、
- 100012Q : 他にも、はい、1 から 15 まで、感動詞の後ろになんか「ふーん」「へー」等の後ろにポーズが入れるかどうか、
- 100013K : 3 番は入ると思います。
- 100014Q : 3 番ですね。
- 100015K : 「彼はえーあー・・・」、
- 100016Q : 「ええああ」の後ろにポーズが、
- 100017M : あ、なんかこう回想じゃないですけど、過去を思い出していたりするとき、場つなぎ言葉的な保権としての性質とはそれに気がしますね。
- 100018Q : はい、そうですね。
- 100019K : 1 番、2 番の「へー」を見ても、「へー」の後にポーズがあっても違和感があります。「へーと/へーって見て」とか、何か入ると思います。
- 100020Q : 4 番の「うんうん」は？
- 100021K : 「鈴木さんの意見にうんうん答えた」、
- 100022Q : ポーズが入れるか、
- 100023K : ポーズは、入らないと思いますね。
- 100024Q : うんうん、5 番の「そうそう」は？
- 100025K : 「そうそう」は、

100026M：これはポーズが入っているじゃないんですかね。
100027Y：あー、うん。
100028Q：6番は？
100029K：「うーん考えていた」、
100030Y：いや、
100031K：入らない。
100032Q：はい、7番は？
100033Y：いや、6も7も何か違和感がありますね、ポーズが入っても。
100034Q：8番は？
100035K：入らないと思います。
100036Y：通じるような気もしますが、「はあっ（0.1秒）立ちあげった」、
100037M：効果的な（…）ですね。
100038Q：あー、そうですね。9番は？
100039K：え、どうなるか、まあ入らなくてもいいなあ、通じる。
100040Y：「おー（0.1秒）拍手した」、
100041M：入っても入らなくてもいいです。
100042Y：うん。
100043Q：10番はね。「うわっ」、
100044K：「うわっ」、「うわっ」というのが、あ、でも、感動詞だから、驚きみたいな表現ですよ
ね。
100045M：うん。
100046Y：私は、10番は通じると思います。
100047K：「うわっ（0.1秒）お金をもらった」。あー、そうですね。
100048Q：11番は？
100049Y：これ、言えますよね。
100050K：うん、言いますね。
100051Y：普段から、「いやー汚れちゃったんだよ」というのは普段に使うと思います。
100052K：うん。
100053Q：Mさんはどう思いますか。
100054M：あ、はい、そうですね、これは。
100055Q：12番は？
100056Y：これは言わないと思います。
100057K：うん
100058M：ポーズが入ってもおかしい。
100059Q：うん、はいはい。もし、「と」が付いたら、
100060M：「わーと」、あー、
100061Y：「わーと」なら、
100062M：はい。
100063Q：13番は？

100064K : 「うわっ」、「うわっ降ってきて」、
100065Y : うーん。
100066Q : ポーズが入れるか、
100067K : 入らない。
100068Y : うん、入らないんですね。
100069K : 「と」が言う。要ると思います。
100070Q : 14 番は？
100071K : 入らない。
100072Y : 入らない。
100073Q : 入らないんですか。
100074M : はい。
100075Q : そのままに言えますか
100076M : いや、そのままに言っていないく、「と」とか、
100077Y : うん。
100078Q : 15 番は？
100079K : 入らないと思います。
100080Y : 入らない
100081K : 14 と同じ、
100082Y : 「と」がほしいって。
100083Q : はい。「ふーん」「へー」の後ろに「と」が付いたら、通じるというんですね。はい、
なんか、「と」の以外に、他は例えばあの「って」とか、例えば「ふーんって」とか「へ
ーって」とか、「に」とか、他は、「に」という助詞、例えば「へーに」「ふーんに」と
か「聞いている」、例えばね「ふーんに」とか出てくるか。(…「と」以外にはね「っ
て」「に」とか、どれが入ってくるか、それもお願いします。
100084K : はい。
100085M : 「って」は入るじゃないんです。
100086K : 「と」「って」以外には入らないと思いますね。
100087M : うん。
100088K : 「に」は、入らない、ですね。
100089Y : 「に」はどれにも入らない気がします。
100090K : うん。
100091Y : 「と」「って」は、全部に入ると思います。
100092Q : あー、はい、ありがとうございます。KさんとMさんもそう思いますか。
100093M : はい。
100094K : はい、そうと思います。
100095Q : はい、ありがとうございます。「みたいに」、例えばあの「と・って」意外に、「み
たいに」とか、入れるかどうか、
100096K : 「みたいに」は、
100097Q : 「お父さんは息子の話をふーんみたいに聞いている。」という形で、

100098K：まあ、入れることはできますけど、意味は分かりにくい、
100099Q：分かりにくいんですか。
100100K：ちょっと、入れることはできます。
100101Q：じゃ、一文ずつに行ってみたら。はい、「彼女は部屋の奥に座っている男の人をへー
みたいに見て、部屋を出て行った」。
100102Q：2番は？
100103K：これはどんなことか、
100104M：これは想像しにくいというか、あまり言わない。
100105Y：ふーん。
100106K：でも、会話で「へーみたいな」とか言うね。ニュアンス的には同じ感じ。
100107Q：うーん、「みたいな」は、それは文末にありますね。
100108K：あー、そうですね。うん、「みたいな」は文末ですけど。
100109Q：これは文中に現れるんですけどね。
100110K：うーん、「みたいに」、
100111Q：例えば、3番は「彼はえーあーみたいに話していて、なかなか一文になってない」て
いう、
100112K：あー、これは言う。
100113Y：言うと思いますね。
100114Q：「みたいに」入れるか。
100115K：はい。
100116Q：はい、そうですね。じゃ、4は、あの、「友達は鈴木さんの意見にうんうんみたいに答
えた」という。
100117K：「みたいに」、入らないと思います。
100118Y：入らないと思います。
100119Q：うーん、たぶん、5番も「そうそうみたいに答えた」というも、
100120K：入らない。
100121Y：入らない。
100122Q：入らないんですか。6番は？
100123K：6番は、入ると思います。「うーんみたいに聞いている」
100124Y：うーん。
100125K：言えそうだけど、
100126Q：6も入らないんですか。
100127Y：入らない
100128M：うん、はいらない。
100129K：うん、入らない。
100130Q：7番は「彼はうーんみたいに歩いていた」、
100131Y：うーん。
100132M：これは言わない。
100133K：言わないんですね。

100134Q : 8 番は、「はあっみたいに立ち上がった」、
100135M : あー、なんか言ったことがあります。こう言う。
100136K : 入る？
100137Y : 入る？
100138M : 「はあっ立ち上がった」というのはなんか不自然、あー、わからないかな。
100139K : この「はあっ」って、どういう意味ですか。
100140M : 感動詞、
100141Q : 例えば、怒りたいという気持ちとか、
100142K : あー、怒る、ため息とか？どっちとも取れると思います。
100143M : 「ふーん」だけじゃ、わからない。
100144Y : いや、言わない、言わない。
100145K : 言わないかも。
100146Y : 私はなんか、たぶん全部言わないって言いましょう。はい、私は。
100147Q : K さんは？9 番は、「おーみたいに拍手した」は、
100148K : 9 番は、「おーみたいに」、いや、9 番は言わないですね。
100149Q : 「うわっみたいに」は？
100150K : 10 番？言わない。
100151Q : 11 番は、「いやーみたいに」？
100152K : 「いやーみたいに」は、言わない、ですね。
100153Q : 12 番は？ごめんね、みんなさん、遠慮しないで、自分の考えを言ってください。
100154K : 「はあっみたいに」、入らないです。
100155Q : 13 番は？13, 14, 15 はね。
100156Y : あ、でも、15 番は言えるかも。
100157K : うん、15 は言うと思います。
100158Q : 15 番は、
100159K : 「最初ちょっとえーっみたいに思っています」
100160Y : あっ、言いますね、15 は。
100161Q : 言えますか、15 番は？
100162M : 言えます。
100163Q : はい、あのうね。例えば、あの 11 から 15 まで感動詞は反復で、例えば「ふーんふーん」、例えば 1 番、例 1 ね、なんか「お父さんは息子の話をふーんふーん聞いている」という、行けますか。
100164K : 「ふーんふーん」は、(M も K と一緒に言った)
100165M : 「ふんふん」ならわかるんだけど、「ふーんふーん」にというのがなかなかない。
100166Q : 「ふーんふーん」という形で、
100167K : 「ふんふん」なら、言うと思います
100168Y : あ、「ふーんふーん」ということですか、あー。
100169K : 「ふーんふーん」は、
100170Y : は、言わないんですね。「ふんふん」なら言いますけど。

100171Q : あー、長音、
100172Y : を、ないんですね。
100173Q : ないんですね、「ふんふん」
100174Y : はい。
100175Q : Mさんはそう思いますか。
100176M : はい。
100177Q : じゃ、2番は、「へーへー」とか、
100178M : 言わない。
100179K : ないんです。
100180Y : 言わない。
100181Q : はい、3番は、「ええああええああ」、
100182M : え、言わない。
100183K : うん、言わない。
100184Q : 4番もね。あの一、「うんうんうんうん」は？
100185M : 好調している感じは一応聞こえるというとか、
100186K : でも、言わないね。
100187M : うん、通常は言わない。
100188K : 2回はね。
100189M : うん。
100190Q : 2回でね。3回は？
100191Y : 3回はなかなか言わない。
100192Q : たぶん4番と5番はそうですね。6は？「うーんうーん」、
100193M : 言わない。
100194Q : 言わないんですか。
100195K : 「うーんうーん考えていた」。あ、でも、
100196Y : 通じる。
100197K : 「兄は弟の質問をうーんうーん聞いていた」、2回反復したら言うと思います。
100198Y : うん、私もそう思います。
100199M : 私は言わないと思います。
100200Q : 7番は？
100201K : 7番は言わないんですね。
100202Y : うん。
100203Q : 8番は？「はあっはあっ」、
100204M : 「立ち上がった」、息があらうかな。
100205Q : Kさんはどう思いますか。
100206K : 言わないと思います。
100207Y : 言わないと思います。
100208M : うん。
100209Q : 9番は、「おーおー」、

100210K : 「おーおー拍手した」。あー、どうかな、言わないかも
100211M : 言わない。
100212Y : うん、言わないと思います。
100213Q : 10 は? 「うわっうわっ」、
100214K : 言わないです。
100215Y : 言わない。
100216Q : 11 は?
100217K : 「いやーいやー」、
100218Q : 「いやーいや」、
100219K : あ、でも、言うかも、
100220M : 場合によって言いそうな気がする。
100221K : うん、言う人もいると思います。
100222M : 特殊というか、その、なんなんだろう。通常は言わないかなという気がしますが、
 なんかこう勝手的な想像したら、おじいさんとか出現する人が言いそうな感じは、
100223K : うん。
100224M : 漫画とかありそうな気が(…)
100225Y : あー、私は言わない。
100226Q : はい、12 は? 「わーわー」、「わーわー喜び」、
100227M : あ、言いそうと気がした。
100228Y : うん、言いそうですね。発音、発音が関係すると思います。「わ^ーわー」(19 : 24 喜
 びじゃなくて、「わ^ーわー」喜び。
100229Q : あー、そうですね。はいはい。
100230Q : 13 は?
100231M : 「うわっ降ってきて」、言わない。
100232Y : 言わない。
100233K : うん。
100234Q : 14 は?
100235K : 言わない。
100236Y : うん、言わないんです。
100237M : うん。
100238Q : 15 番、「えーっえーっ」は?
100239Y : 「えーっえーっ」、
100240K : 「えーっえーっと思っていたが」、
100241M : 「と」が入れば、言いそうと気がするんだけど、
100242K : あー。
100243M : このままだと言わない感じがしますね。
100244K : うん、そうですね。
100245Q : はい。例えば、1 はね。「お父さんは息子の話をふんふん聞いている」で、言えますね。
 言えるんですか。どう思いますか。

100246M : あー、はい。「ふんふん」だったら、
100247Q : はい。あの一、「ふんふんと聞いている」という、行けますか。
100248M : あー、はい。「ふんふんと」なら、はい。
100249K : はい。
100250Y : あー。
100250Q : 他は、他の例文も、「へーへーと」とかは。
100252Y : はい、言えると思います。
100253Q : あー、「と」が付いたら、反復しても、行けるんか。ちょっと、一文ずつね、入れてみたら、どうなんかね。「へーへーと見て」とか、
100254Y : はい。
100255Q : 「うんうんと答え」ですね。でも、6番の「うーんうーんと」、反復して、「と」も後ろに付いて言えるんか。
100256M : あー、6番は言えます。
100257Y : 言えると思います。
100258K : うん。
100259Q : 7は？
100260Y : 「うーんうーんと歩いてた」、言えると思います
100261M : うん。
100262Q : 8は、「はあっはあつと」、
100263M : 「はあつと」は行けますが、「はあっはあつと立ち上がった」は言わない。
100264Y : 意味がよく分からなくなる気がします。
100265Q : 9は？
100266Y : 「おーおーと拍手した」、あー、これは、
100267M : 言えると思います。
100268Y : 言えると思います。
100269Q : 10は？
100270M : 「うわっうわつと」、
100271K : 「うわっうわつと」、あ、言うかな、言う？
100272Y : うん。
100273M : 「うわっうわつと」、言えると思います。
100274Y : 言えると思います。
100275Q : 11は？「いやーいやーと」、
100267K : 「いやーいやー」は、「と」は使わないんですね。
100277Y : と」は要らない気がします。
100278K : 要らない。
100279Q : 12は？
100280Y : 「わーわーと」、言います。
100281M : うん、言います。
100282Q : 13は。

100283M : 「うわっうわっと降ってきて」、まあ、
100284K : うーん、言えると思いますね。
100285Y : うん。
100286M : うん。
100287Q : 14 は？
100288K : 「はあっはあっ」、
100289M : いや、言わない。
100290Y : 言わない、ですね。
100291K : これは、8 番と同じね。
100292Q : 「はあつとした」は言えますか。
100293Y : 言えます。
100294Q : 「はあっはあつとした」言わないんですか。
100295K : はい。
100296Q : 言えないんですか。「はあっはあつと」、
100297M : いや、言わないんです。
100298Y : うん。
100299Q : うーん、はい。じゃ、15 は？「えーっえーつと」、
100300K : 言うかも。
100301M : はい。
100302Q : あー、そうですね。はい、まあ、例えばね、1 ね、例えば、もしね、反復だけど、「と」
が付いて、全体反復して、例えばね、あの「お父さんは息子さんのお話をふーんとふ
ーんと聞いている」という形では行けるかね。
100303Y : 「ふーんとふーんと」、
100304K : 「ふーんとふーんと」、いや、言わない。
100305M : 言わない。
100306Q : 2 も、「へーとへーと」は？
100307M : 言わない。
100308K : 言わないんです。
100309Y : 言わない。
100310Q : 全部、あの一、なんか、「うんとうんと」とか、
100311K : あー、
100312Q : 「ええああとええああと」、「うんとうんと」、「そうとそうと」とか「そうそうとそうそ
うと」とかは、
100313K : いや、言わない。
100314M : 言わない。
100315K : 日本語は言わない。
100316M : 6 は言いそう。
100317K : 6 は言いそう。
100318Q : 6 はね。

100319Y : 「うーんとうーんと」、
100320K : 6番と7番。
100321Y : うん、言えそうですね。
100322Q : 6、7は同じですか。「うーんとうーんと」、
100323K : 「歩いてた」、
100324M : あ、これは、
100325Y : 言えます。
100326Q : あー、はい。8は？
100327M : 「はあつとはあつと」は、
100328K : いや、言わないんです。
100329 : うん、言わない。
100330Q : はい。じゃ、9は？「おーとおーと」、
100331K : 「おーとおーと」、言わないと思います。
100332 : あー、言わないんですね。
100333M : うん。
100334Q : あ、でも、「おーと拍手した」は言えますね。
100335Y : はい。
100336K : はい。
100337Q : 2回反復する「おーとおーと」は、
100338K : はい、言わないんです。
100339Y : うん。
100340Q : 10は？
100341Y : 「うわっとうわっ」と、
100342M : 「うわっとうわっ」と、
100343Q : 「うわっとうわっ」と、
100344K : これは言うと思う。
100345Y : うん。
100346Q : うん、感動詞によってね、言えるかどうかね、感動詞によってみたいですね。
100347M : あー、はい。
100348Q : 11は「いやーといやーと」、
100349K : 言わない。
100350M : 言わない。
100351Y : うん。
100352Q : 12は？
100353M : 言えるんじゃないんですか。
100354K : 「わーとわーと」じゃろう？あ、言うと思います。
100355Y : あー、言います。
100356Q : 13は？
100357K : 「うわっとうわっ」と、まあ言えるけど、

100358Q : 言えるんか。
100359M : あまり使わない。
100360K : あまり遣わない。言っても、
100361Q : 言っても、意味が、
100362K : 通じると思います。「うわっとうわっ」と、まあ、すごかったんだけど、
100363M : 言う人はおっちゃいますけど。
100364Y : うん。
100365Q : うーん、はい、使えそうですね。
100366K : うん。
100367Q : 14 は？「はあっとはあつとした」、
100368M : 言わないんです。
100369K : 言わない。
100370Y : 言わない。
100371Q : 15 は？「えーつとえーつと」、
100372K : 言わない。
100373M : 「最初ちょっとえーつとえーつと思っていた」、
100374Q : 「えーつとえーつと」、
100375Y : いやー、言わないと思います。私は。
100376K : うん。
100377Q : K さんは？
100378K : 言わないん。
100379Q : M さんは？
100380K : まあ言わいんですよね。
100381Q : はい、うん。ありがとうございます。あの、次、あの一ね。15 を、はい、見てもらいますが。15 はね、これは「えーつと思っていたが」、でも「えーつと思っていた」というのは、今「えーつだと思っていた」に、あの、言えるんか。
100382Y : 「だと」、
100383Q : 「えーつだと思っていた」、
100384K : 「えーつだと思っていた」、
100385Y : いや、
100386K : 言わないんです。
100387Y : 言わない。
100388Q : 「だ」が、あの、「えーつ」の後ろ、「えーつ」と「思っている」の間に入らないん、
100389M : 入らないん、ですね。
100390K : 入らないんです。
100391Q : はい、分かりました。はい、これで終わりますが、すみません。はい、ありがとうございます。
100392Y : ありがとうございます。
(終わりの挨拶の省略)

〔付録5 第5回調査項目（調査人用）〕

実施日：2012年04月24日 午後2:30～4:00
場所：東アジア研究科棟207号室

被験者：山口大学の学生
調査人：VUONG THI BICH LIEN

【始めの挨拶】

「こんにちは。東アジア研究科博士課程のリエンと申します。お忙しいところに、研究の調査にご協力をくれて、どうもありがとうございます。私は、感動詞について研究しています。みなさんは、日本語母語話者でながらも、国語学部の学生ですので、みなさんのご意見は私の研究に役に立つと思いますので、ぜひ聞かせてもらいたいです。よろしくお願いします。」

【指示】

「今日の調査はインタビューでいきます。この紙に例文が書いてあります。まず、皆さんに読んでもらいます。それから、私は質問をします。質問に答えてください。」

【質問項目】ⁱ

Q1：どれが言えますか。

Q2：「いやー」の後ろにポーズが入りますか。

* 「いやー」の後ろにポーズを付けて言えますか。

Q3：「いやー」と「聞いている」の間に何か入ると思えますか。

Q4：「いやー」と「聞いている」の間に「と」が入れますか。

例えば、「お父さんは息子の話をいやーと聞いている。

Q5：「いやー」は「聞いている」の前で、反復で言えますか。

* 「言える」と言う答えに対して下の例のような質問で続ける。

例) 「いやーいやー聞いている」、「いやーいやーと聞いている」、「いやーといやーと聞いている」で、どれが言えますか。

Q6：15の「いやー思っていた」は「いやーだと思っていた」と言えますか。

【例文項目】

(1) a. お父さんは息子の話をいやー聞いている。

b. 彼女は部屋の奥に座っている男の人をいやー見て、部屋を出て行った。

c. A：先週一緒に買ったシャツを着てないね。

B：実は、今朝、着ようとして、棚から取り出したら、いやー汚れちゃったのよ。

- d. A: ねえねえ、聞いた？
 B: 何があったの？
 A: 鈴木さんは彼氏に 40 万の時計をもらったこと。
 B: へー、そんな。いやーなったよね、彼女は。
- e. 彼女が 1 人で 20 年ずっと子供の 4 人も育てていたことを聞いたとき、いやー思っていて、自分をもっと努力したいという感じがした。
- f. お母さんは息子の答えを聞いたら、いやー座った。
- g. 「今度のクリスマスにプレゼントをいやーもらいたいな。」
- (2) a. 彼はええ話していて、なかなか会話になっていない。
 b. 彼はああ話していて、なかなか会話になっていない。
 c. 彼はええああ話していて、なかなか会話になっていない。
 d. 彼がええああ読んでいて、いらいらしている。
 e. 急にスピーチを頼まれて、考えながら言ったので、ええああした。
 f. 急にスピーチを頼まれたので、考えながら言って、ええああなった。
- (3) a. 兄は弟の質問を聞いていたら、うーん考えていた。
 b. 兄は弟の話をうーん聞いている。
 e. 兄は弟の質問を聞いていたら、うーんした。
 c. 私は弟の話を聞いて、うーん思っていた。
 d. 私は弟の話を聞いて、うーんなった。
 e. 彼女に大学院進学のことを尋ねたら、うーん躊躇していた。
 f. 彼は、本をもち、うーん歩いていた。
 g. 彼女は部屋の奥に座っている男の人をうーん見て、部屋を出て行った。
 h. 誰にも何も与えない彼みたいな人にプレゼントがうーんもらえるかな。
- (4) a. A: 昨夜ね、すごい夢をみたよ。
 B: 何を見たの？
 A: 宝くじが当たって、うわっお金をもらったのよ。
 B: へー。
- b. A: 昨夜ね、すごい夢をみたよ。
 B: 何を見たの？
 A: 宝くじが当たって、うわっなった。

B: へー。

c. A: 昨夜ね、すごい夢をみたよ。

B: 何を見たの？

A: 宝くじが当たって、うわっ驚いた。

B: へー。

d. 彼女の家へ行く途中で、雨がうわっ降ってきて、びしょ濡れになっちゃった。

e. A: 昨日ね、掃除のとき、引き出しを開けたら、古い写真をうわっ見たんよ。

B: へー、そうなん。

(5) a. TOEIC 試験の 900 点を見て、わー喜び、飛び上がった。

b. TOEIC 試験の 900 点を見たとき、わー飛び上がった。

c. TOEIC 試験の 900 点を見たとき、わー興奮して、飛び上がった。

d. TOEIC 試験の 900 点を見て、わー驚いた。

e. TOEIC 試験の 900 点を見て、わーなった。

【終わりの言葉】

「今日の調査はここまで終わります。みなさんのご意見は私の研究に役に立ちます。ご協力は本当に助かりました。どうもありがとうございました。」

ⁱ 質問項目 Q①～Q⑤は、それぞれの調査項目のために取り扱われるパターンである。ちなみに、「ふーん」とその文が例として挙げられる。実際の調査では、上記のような質問・指示は基本的に取り扱われるが、状況によって変わることもある。

第 5 回調査の文字化

(挨拶の省略)

110001Q : はい、あの、始めさせていただきます。はい、今日の調査はインタビューで行きますが、はい、だいたいこれは、あの、このプリントに感動詞の例文が書いてあります。まず、みなさんにちょっと読んでもらいます。それから、わたしは質問します。皆さんに答えてもらいます。お願いします。

(協力者は沈黙に読んでいる)

110002Q : まず、あの、皆さんはちょっと考えてもらうのは、どれが言えますか、だいたい 1 から 5 までですが、どれが通じるから言えそうになるものか、だいたいどれがいいか、ということを考えてもらいます。お願いします。

110003T : まず、(1)の中で、どれが言えるか、考えてもいいですか。

110004Q : はい。あ、でも、全部でも、

110005T : 全部でいいですね。

110006Q : はい。

(協力者は沈黙に読んでいる)

110007K : 括弧 1 の d、

110008Q : はい、1d は、

110009K : はい。「いやーなった」があるんだけど、その意味がわからないん。

110010M : 「いやーなったよね」？

110011K : うん。

110012Q : 「いやーなった」、

110013M : 「ねえねえ、聞いた？何があったの？鈴木さんは彼氏に 40 万の時計をもらったこと。へー、そんな。いやーなったよね、彼女は。」。鈴木さんからもらった 40 万の時計だって、そんな感じで「いやーなったよね」。

110014T : そうだね。他のが、なんか、色々場面、違うレベルで、言わないかも、何だろう？

110015K : 意味がわかる。

110016T : なんか、他のはなんとなく、他の言葉を「いやー」の位置に書いたりすれば、なんとなく通じるのもあるんだけど、d は、

110017Q : はい、d ですね。

110018T : d はさっぱりわからない。

110019M : なんのためにいやーって言い方？

110020K : 「なったよね」、え、どういう意味？

110021Q : たとえば、「いやー」はとっても嬉しい、とっても感動するとか、そういう意味で行けるか、

110022K : あー。

110023Q : 「いやー」、ちょっとはっきりしていないが、彼女の感情を表すとか、

110024K : あー。

110025T : なんか、よくおばさんとかがお世話をもらって、「いやーそんな悪いわ」っていうの「いやー」？…違う？

110026Q : うーん、例えば、良い物をもらった、値段が高いものをもらって、

110027K : ああー。「いやー」っていうのは、「いやーすごいね」という意味じゃない？その彼女は。

110028T : ああああ。

110029K : もらったんだって聞いて、「へー、そんな高いものをもらったの、いやーすごいね」みたいな、感じ。

110030Q : 感動して、なんか言葉に、なんか、

110031T : 「いやー」っていうのは彼女？

110032Q : うん、彼女。あの、鈴木さんかな、あ、違うんですね。あの一、そうですね、鈴木さんのですね。

110033T : 鈴木さん (…) 彼女？

110034Q : うん、そうですね。彼女ですね。

110035K : 「いやーなったよね彼女は」という言い方はしないよね。

110036T : しないね。

110037M : しないことは、始めて聞いた。

110038Q : 他の感動詞だったら、どれが入れますね。

110039K : え、これの「いやー」の部分が感動詞？

110040Q : そうですね。「いやー」は感動詞ですね。

110041K : あ、別に「いやー」っていう感動詞は使われるよね。そういう場面では、よく、

110042T : うん、でも、「いやーなっ」、

110043K : 「なったよね彼女は」、違和感がある感じ。

110044T : なんか、鈴木さん本人がいやーということだけど、それを鈴木さんの想像して他の人が彼女はたぶんそうなったとねというとはあまり、

110045K : あー、そういう意味か。

110046T : 長くない、

110047M : あー、本人じゃない人がそういうふうに言っていることがあまりないん。ああ、なるほど。確かに。

110048K : あ、いやってなったということ？

110049T : うんうん、たぶん。

110050K : あー。

110051Q : 他のは、あの、2,3,4,5 も行けますか。

110052M : 「ええああ話して」

110053T : 「ええああ話して」は言わないね。

110054M : うん。

110055T : 「ああ話して」は言う。

110056M : うん。

110057K : 「彼はええ話して」、え、言う、言っている人がない。
110058M : どんな、どんな場面？
110059K : それは「えー」って、感動詞？
110060T : 感動詞に気につかないな。
110061K : 相づちみたいなの。こう、なんか、会話がちょいちょい挟んでくると思う。それだったら、感動詞ではない。
110062T : いや、感動詞的には、でも、なんか
110063Q : フィラーでもね。
110064K : フィラー、うん、フィラーっぽい感じで。
110065T : 「彼はええ話していて、なかなか会話になっていない」って、言うか。
110066K : うーん。
110067T : そうしたら、それは彼の「話して」の「ああ」は、
110068K : 「ああ」って、
110069T : 「ああ」は言わなくなるかな。
110070M : 「ああ」って何？
110071K : これは「ああ話して」の、感動詞的にでしょ？
110072T : うん、感動詞的に言わなく、いいよね。
110073M : 私は別の詞になっちゃう、あの、どういう、「ああ話す」、
110074T : どう話すみたいな。
110075M : ああいう、
110076T : ああいうことを言っているみたいな。
110077M : うん。
110078K : 「ええ」も「ああ」も同じような感じで、結構、
110079Q : じゃ、aは「彼はええ話していて、なかなか会話になっていない」、あの、言えますか。行けますか。
110080M : 「ええ」ってなんか止まるとき、「えー」というんですか。
110081Q : はい。ちょっと長音があって、「ええ」とか、
110082M : ちょっと言葉と言葉の間に「えー」って挟んでいるということ？
110083Q : はい、そうそう。
110084M : あ、それだったら、
110085Q : まだ言葉が発していない、考え中に発するもの、
110086M : ちょっと止まって、ポーズみたいな。あ、それだったら、ええ話すってね。
110087Q : じゃ、「ええ話していて」は行けますか。
110088M : だったら、はい、言えると思います。
110089Q : この「え」ですね。
110090T : 表記がちょっと違う。
110092M : ちょっと長音がぼう（一）のほう？
110093Q : うん、「ええ」とか、なんか、会話のとき、なんかまだ考え中なので、まだ発言できない間にちょっと、

110094M : うん、間に入れる、
110095Q : うん、行けますか「彼はええ話していて」、a は行けますか。
110096T : うん、言えます。
110097M : うん、行けると思います。
110098Q : b もそうですか、
110099M : これは「ああ離していて」、
110100Q : b は「ああ」、
110101T : うん、そういう意味では、
110102Q : 行けますね。
110103M : うん。
110104Q : c は、これは「ええ」と「ああ」を合わせて、
110105M : 「ええああ話していて」、「ええ」と「ああ」一緒に言うかっていうことですか。
110106Q : 「ええああ」、はい。
110107T : 有元先生とか言いそう。
110108M : ああ、
110109T : ええああ、ううんうん。
110110K : あ、言いそうだね。
110111M : うんうん。
110112Q : 行けますか、c も行けますね。じゃ、d は？
110113K : 「さっきから彼はええああ読んでいる」、言わないかな。…「読んでいる」って言う文が、動詞がなんか。
110114Q : 「ええああ読んでいる」っていうのは、例えばうまく読んでいるのじゃない場面で、
110115T : あーあー、そういうこと。「読んでいる」に「ええああ」がかかるっていうこと？
110116Q : はい、ゆっくりゆっくり読んでいるっていうこと。
110117K : えー、言わないんですね。
110118M : うん、ちょっと言わない。
110119Q : じゃ、e は？
110120K : え、ちょっと、使わないけど、意味がわかる。
110121M : 使うかというか、使わないよね。
110122T : そうなんですね。
110123Q : じゃ、f は？
110124K : 「ええああなった」、使わないけど、
110125T : e も f もこういうきちとした文には言わない気がするんですけど、話し言葉の中で、なんか、例えば、e で、「急にスピーチを頼まれてさ、考えながら話したから、ええああしちゃったよ」とかなら言いそうなんですけど。こう頼まれてとか話し頼んでという、きちとした文章に載っているときは、私は言わないし、聞いていたら、え？ どういうこと？
110126M : ちょっと、崩した言葉の中で言う。
110127T : 言うことは気がする。

110128Q : あーはい。あのすみません。ちょっと1に戻りますけど、「いやー」の場合は、あの、なんか1 d 以外は、d はちょっと違和感がありますね。でも、a, b, c, d, e, f, j は、どうですか。…すべてd 以外には、あの言えますか。

110129T : c は、私は確実言います。

110130M : c が、うん、一番いそうだな。まったく感じするね。a の「いやー聞いている」は、聞いたら、ちょっと、うーんっていう感じ、

110131T : 「いやいや聞いている」ではない、

110132M : 意味がね、違う。

110133Q : b の「いやー見て」は？

110134T : 言わないかな。

110135M : うん。

110136Q : d も、あ、d は先に言いましたね。e は「いやー思っで」、

110137T : 「いやーすごいと思っで」とかは言いますかね。

110138K : あー、うーん。

110139T : 「いやー思っで」は何を思っでいるかっていうのは、よく分からない。

110140K : 「いやーと思っでいた」という意味ですか。

110141Q : 「いやーと思っでいて」。すみません、ちょっと、「いやー思っでいて」。

110142K : あー、自分が思っでいるという…。それだったら、行けると思います。

110143Q : 「いやー思っでいて」ですね。

110144T : あ、「いい」とか「いや」の「いや」じゃないよね。

110145M : 「いや」は間に挟む「いやー」だよ。

110146Q : じゃ、e は言えますか。

110147K : 言わないかな。

110148T : 言わない。

110149M : うん、言わない。

110150Q : はい。f は？

110151M : 言わない気がしますね。

110152K : うん、言わない。

110153T : うん。

110154Q : はい、g は？

110155K : g は言う。

110156M : これは言いますね。

110157T : うん。

110158Q : はい。じゃ、3 をお願いします。
(協力者は沈黙に読んでいる)

110159Q : 「兄は弟の質問を聞きながら、うーん考えていた」、

110160K : 「うーん」っていうのは兄の？

110161Q : はい、そうですね、兄のですね。

110162K : 「うーんと」、「と」がないと、全部変になる感じがします。

110163Q : はい、a から h までですか。

110164K : うん。あ、h は、

110165M : h は言えるんじゃないんですか。「彼みたいな人にプレゼントがうーん (0.01) も
らえるかな」、

110166K : うん、それは言えるん。

110167Q : はい。a は？

110168K : a から g は「と」 あったら、まあ言うと思うんだけど。

110169T : e とか言わない？

110170K : 「うーんためらっていた」。これ「うーん」っていうのは、彼女の動作ですか。

110171T : いや、たぶん、

110172K : 発話者の人？あー、

110173Q : 彼女のですね。「彼女に大学院の進学のことを尋ねたら、」では、私は尋ねる、彼
女はどうなるかという意味ですね。彼女の態度とか、どんな態度を表すかとか。
ですね。彼女はうーんためらっていたという。

110174K : それだったら、a と同じのように、「うーんとためらっていた」だったら、言う。

110175Q : T さんはどう思いますか。

110176T : 感動詞的に捉えるのか、形容詞っぽくなるのか、わからない。あれどっちなのか。

110177M : なんか、品詞的に考え方によって、これは使えそうだなとか思うか、ちょっと違
うかもしれない、ですね。

110178T : なんか a とかで、「うーん考えていた」とだったら、

110179Q : 通じるか、通じて言えそうになるかとか、それでもいいんです。

110180T : なんか、2 つの使い方があるんですが、違う。

110181K : そうそう。どっちがいいか。

110182Q : どっちでもいいです。

110183K : 直感的にパッと見たら、言わないよ。

110184T : うん、パッと見たら、言わない。

110185M : 先の h 以外は言わないんですね。

110186Q : じゃ、a は？
(協力者は沈黙に読んでいる)

110187Q : b はどうですか。

110188K : b も言うかもしれない。

110189M : え、言う？

110190T : なんか、a は言わないなら、b も言わない感じ、

110191M : a は言うなら、b、みんな言うね。

110192K : でも、b の発話の、発話、兄が、「うーん」が兄の動作なんだったら、言わないけ
ど、発話者が「うーん」をただ入れるだけで捉えると、言えると思います。

110193T : a も言えるよね。

110194M : うん、そうしたら、

110195K : うん、そうそうそう。そうしたら、

- 110196T: なんか、兄は弟の質問を聞いているという情景を、発話者がその中で考えていて、それを客観的に視して、「うーん考えていたよ」っていうふうなときは、「うーん」は使えるんですけど、その、兄の動作として、うーんていうのが、兄がうーんというふうに考えるというのと、言わないかなと思います。
- 110197Q: Mさんはどう思いますか。
- 110198M: あ、ちょっと今。「うーん考えていた」は一続きで考えて、たとえば、その、やっぱり兄の、兄が「うーんって考えていた」のかなあって捉えると、「うーん考えていた」というと、なんか不自然だなと思いますね。
- 110199Q: はい。じゃ、あの、e(c)は?¹
- 110200T: 言わない。
- 110201Q: あ、cね。すみません。「兄は」、これはちょっと間違いました。
- 110202T: あ、本当だ。
- 110203Q: はい。cは「兄は弟の質問を聞きながらうーんした」
- 110204M: 言わない。
- 110205K: うん。
- 110206Q: cは、あの、すみません。これは「うーん思っていた」ですね。
- 110207K: 言わないかも。
- 110208M: 言わない。
- 110209T: うん。
- 110210Q: じゃ、dは?
- 110211T: 言わないんですね。
- 110212M: うん、e, c, dは言わないね。
- 110213K: うん。
- 110214Q: はい。次はeですね。あ、e、これは先、言いましたね。「彼女に大学進学のことを尋ねたら、うーんためらっていた」。
- 110215T: これはaみたいな感じ。うん、言うときと言わないときがありますね。
- 110216Q: はい、そうですね。fは?
- 110217K: fもaと同じ感じですね。
- 110218T: うん、そうですね。
- 110219Q: Mさんはどう思いますか。
- 110220M: はい、そのaのパターンが、ですね。それを認めるとなると、e, fも同じですね。
- 110221Q: はい。あの、gは? 「うーん見て」、
- 110222M: うーん、言わない気がしますね。
- 110223T: うん、私も言わない。「うーん」が、
- 110224Q: Kさんは?
- 110225K: うーん、言わないんですね。

¹ 調査票の項目3では、a~hの順序にeというのが2度も書き間違っていて、論文に載せてある回答表の順番に外れることがある。それで、e(c)と書いてあるというのは、eは実際の調査票の順序であり、論文の回答表の順序のcに当たる。すなわち、すべての項目3にある()の中は、改めたものであり、論文の回答表の順序に当たる。

110226Q : h は先言いましたね。はい、次にお願いします。4 番です。
(協力者は沈黙に読んでいる)

110227T : 「うわっ、うわっ」、

110228Q : 「うわっお金をもらったのよ」。

110229K : 感動詞では使わないね。「うわっ」とだったら、意味が変わってきますよね。

110230T : うん、そうですね。感動詞的には、使いません。

110231K : うん。b は使えると思うんですけど。

110232M : 「うわっなった」 ?

110233K : 「うわっなった」

110234T : これは、なんか、発音にちっちゃい「ツ」じゃなくて、こう、「うわーなった」(25 : 30) とかならいい。言わなくもない。

110235M : うわっというと、ちょっと違う ?

110236T : うん。

110237M : 「うわっなった」というだったら、言わない ?

110238T : うん。

110239K : うん。

110240Q : c はどうですか。

110241M : 「驚いた」

110242K : 「うわー驚いた」とか。「うわっ」はないか。

110243Q : あー、長音ですね。

110244T : うんうんうん。

110245Q : じゃ、「うわー驚いた」と言えますか。

110246K : うん。

110247M : うん。

110248Q : じゃ、d は ?

110249K : これも「うわー」だったら、言うね。

110250M : 「うわっ」というのがその、この文の中、途中でこう、突然入ってくるっていうのが、まあちょっと考えられないかなという感じがします。

110251K : あー、そうだよ。あ、文の最初だったら、

110252M : うん。うわって、本当の、驚きの「うわー」、

110253K : 最初だったら、オケ (ok) です。

110254M : うん、途中でうわって入ると、ちょっとよく分からない。

110255Q : うわっ

110256K : うわー驚いた。(26 : 56)

110257T : うん、そうですね。

110258Q : はい。じゃ、e ですね。

110259T : いや、これは言わない。

110260K : うん。

110261M : うん、ない。

110262Q : はい。じゃ、5は?…「わー喜び、飛び上がった」、aですね。
110263M : 言わない。
110264T : 言わない。
110265K : うん。
110266Q : じゃ、bは?
110267K : 「わー」と言わない。なんで「わー」
110268Q : cは?
110269K : 言わない。
110270T : うん、言わない。
110271Q : Mさんはどう思いますか、cは?
110272M : 「わー興奮して」、ないです。dは、「わーと驚いた」って、「と」が入っているんですか。
110273Q : あ、先ず、あの「わーと驚いた」、次はあの、後も「わー」、「と」がない場合も考えてもらいます。「わー驚いた」、
110274M : 「わー驚いた」は言わないけど、「と」が入ったら、あ、でも、せめて意味が変わるんですかね。
110275T : 「わーと」になると、えー、難しいね。
110276M : 「わーと」というなんか、その様子を「わー」とって表している、自分自身が「わー」って、それは違う気がするんです。「わーっと驚いた」
110277K : うん。
110278T : なんか、前半が「TOE I C試験の100点を見て」というのになると、なんか、ここが違う文章とかだったら、たとえば、なんか「急には孝則さんが出てきて、わー驚いた」とか、そのときは言うんですけど。
110279Q : はい、いい例文を、ありがとうございます。
110280M : あの、文脈で違うということ?
110281T : うん、気がします。
110282K : aもさあ、わー喜びって、これ、括弧4の「うわっ」の場合だったら、言えるね。なんか、先言っていた。「うわっ降ってきて」、あ、「わー驚いた」だったら、オケ、言ったじゃん。言ったら、オケはずだけど、
110283M : うん、そうだね。
110284K : 文脈からして言わないし、
110285M : なんか、驚くて、うわーというなんかすごく、
110286K : あーあー、
110287M : 合っていて、喜ぶっていうと、わーって、あれ、なんか
110288K : わーって
110289T : 違う?
110290Q : じゃ、「うわー」のほうが相応しいんですか。
110291K : 「うわー」
110292M : 「わー」(30:26)、

110293K : でも、「うわーと喜び、飛び上がった」というも、通じないよね。
110294M : うん。
110295K : 変かな。前半はなんか文脈かな
110296M : TOEIC 試験
110297Q : じゃ、e は？
110298K : 「わーなった」
110299M : 「わーなった」って、私は言わん、と思います。
110300K : 言わないけど、通じる。
110301T : あー、難しい。
110302Q : T さんはどう思いますか。
110303M : わーなるって、なんか
110304T : なんかジェスチャありそう。「わーなった」。(ジェスチャした 31 : 15)。
110305M : うん。
110306K : それなら、なんか言いそう。
110307T : 「TOEIC 試験の 900 点見てさあ、わーなったよね」とか、言われても、ううんうう
 んどうなった顔を、
110308K : あー。
110309T : 「今、TOEIC 試験の 900 点見てきてさあ、わーなったよね」とか、なんか、そういう
 う時は言いそう。なんか、表情とか
110310K : うん、感情感動？
110311M : うんうん。
110312T : うん。
110313Q : はい。じゃ、例えば、e のね、「わーなった」、「わー」の後ろにはポーズが入るか
 ね。入りますか、「わー(0.1 秒)なった」とか。それはポーズが入るか、あの、だ
 いたいね、あの 1 から 5 まで、どれでも後ろにポーズが入って、言えますか。
110314T : ポーズですか。
110315Q : はい、ポーズです。たとえば、1a の「お父さんは息子の話をいやー (0.1 秒) 聞
 いている」という形で、言えますか。
110316T : うん、ポーズが入ったほうが自然な感じですね。
110317K : うん。
110318T : 感動詞。
110319Q : 全部ですか。すべての a から f まで。b もね、「彼女は部屋の奥に座っている男の
 人をいやー (0.1 秒) 見て、部屋を出て行った」。はい、じゃ、一文ずつ考えて行
 った方がいいですね。b はどうですか。
110320K : 「いやー (0.1 秒) 見て」、
110321T : これ、先言うたっけ、言わんたっけ。
110322M : 言うか言わないか
110323K : 言うか言わないか、言わん。
110324Q : 先、あの言わないと言いましたが、今度はポーズが入って、言えるか。

110325M : あ、もし、言うだったら、入るかどうかっていう？
110326Q : うん、そうですね。まあ、ポーズが入って、通じるか、通じますか、言えますか。
110327K : 通じると思います。
110328M : うーん。
110329T : うーん難しいな。「いや」の前にポーズが入りませんか。
110330Q : あ、「いやー」の後ろにですね。
110331T : 「いやー」の後ろだけ？
110332Q : うん。あ、でも、ポーズが入る場合もありますね。もし、ポーズが前に入ったら言えますか。
110333M : それだったら、後ろに入ったほうが自然かなと思います。
110334Q : はい。じゃ、cは？「いやー(0.1秒)汚れちゃったのよ」。
110335M : 入れる。
110336K : 入る。
110337T : うん、入っています。大丈夫。
110338Q : じゃ、dは？「いやー(0.1秒)なったよね」
110339M : 入る。
110340Q : 入るんですか。
110341M : いや、なんか、続くというよりやっぱ入るほうが自然かなと思います。
110342Q : eは？「いやー(0.1秒)思っている」。
110343T : 言わないかな。
110344Q : ポーズ入っても言わないんですか。
110345T : えー、言わないかもしれない。
110346Q : Mさんはどう思いますか。
110347M : はい。
(協力者は沈黙に読んでいる)
110348Q : Kさんは？
110349K : 私は入ると思います。
110350M : 言わないんですかね。
110351Q : はい、わかりました。fは？
110352M : 言わないと思います。
110353K : うーん、入ると思うんですけど、
110354Q : ポーズが入って言えますね。ポーズが入ったら、
110355K : 入ったら、
110356Q : 行けますか。
110357K : うーん、行けると思います。
110358Q : はい、Tさんは？
110359T : なんか、先ポーズが入れるか入れないか、入るかどうかっていう話ですね。最初は通じるかどうかと言うときに、通じるやつは、私はだいたいかってにポーズを入れて、言って通じるっていう考えていたので、たぶんポーズを入れるって、あ

あなたの考えていたときに、先言えなかったやつが言えるようにはならない気がして、ポーズ入れても先入れない方法でも言葉が通じる通じないっていうのに変化、私は中でしてないんです。

110360Q : じゃ、ポーズ入らなくても、入っても言わないんですね。

110361T : そうです。先たぶん言わないって。

110362M : 「いや一座った」ね。

110363T : 先言わないって言いましたね。

110364Q : はい、そうです。先言わないと言いました。

110365M : うん。

110366Q : じゃ、gはどうですか。

110367T : gは言いました。

110368M : ポーズ入ってもなくても言えるっていう。

110369Q : はい、「いやーもらった」、「いやー (0.1 秒) もらって」、どっちでも言えますね。

110370M : うん。

110371Q : はい。じゃ、2に行きますね。2aの「ええ (0.1 秒) 話していて」は行けますか。

110372M : うーん、はい、行ける。

110373Q : bは？

110374T : bも行ける。

110375M : うん。

110376K : うん。

110377Q : cは？「ええああ (0.1 秒) 話していて」、行けますか、ポーズが入って。先の、なんか言うと言いましたね。これはa,b,cも、

110378T : うん、ポーズ入ったほうが言うかな。私は。

110379Q : 先言うと言いましたが、でも、ポーズが入ったほうがいいんですか。

110380M : 入らない。え、でも、「ええ話していて」、なんかそんなに続くっていう感じはな
いかなと思います。

110381Q : じゃ、ポーズが入らなくてもいいんですか、行けますか。

110382M : うん、そんなに思います。

110383Q : Kさんはどう思いますか。

110384K : なくても行けると思います。

110385Q : Tさんはポーズが入った方が自然に言えると思いますか。

110386T : なんかポーズが、読点のほうが、ポーズじゃなくて、なんか音読からしたらわかるけど、人間は判読できない程度すごいわずかなポーズとか溜まってるよね。そのぐらいはたぶん入ってないと、逆に分からないんじゃないかなと思って。

110387Q : だから、入った方が、

110388T : その、なんかすごくわくわくじゃないけど、ほんのわずかのポーズは入った方がわかるんじゃないかなと思います。

110389K : うん、そう、そうと思います。

110390Q : はい、ありがとうございます。じゃ、3ですね。3は？「うーん (0.1 秒) 考えて

いた」、
110391T : 入ります。
110392Q : Mさんは？
110393M : うん、入ると思います。
110394Q : bは？
110395M : うん。
110396T : うん。
110397K : 全部入る気がします。
110398Q : a, b ですね。入りますね、ポーズは。e (c)は？
110399T : cは、
110400Q : eは、入ったら、
110401T : 入ります。
110402M : うん、「うーん」の後入ります。
110403Q : c (d)はどうですか。
110404M : 入ります。
110405T : うん。
110406Q : d (e)は？
110407K : 入るね。
110408T : うん。
110409M : 入ります。
110410Q : 「うーんなった」は、入りますか。
110411T : 入ったところでやっぱり意味が分からない。
110412K : 意味は考えなくても、
110413M : 考えなくても、でも
110414K : 入るとしたら、入る。
110415T : うん。
110416M : 「うーん」の後、なんか続けてゆきなんかおかしいと思います。
110417T : そうだね。
110418M : やっぱ自然と入る。
110419Q : はい。じゃ、e (f)は？
110420M : 入ります。
110421T : うん。
110422Q : じゃ、f (g)はどうですか。
110423M : 入ります。
110424T : 入ります。
110425Q : はい。g (h)は？
110426T : 入ります。
110427M : 入ります。
110428Q : h (j)は？

110429T : 入ります。
110430K : うん、入ります。
110431M : うん。
110432Q : はい。じゃ、4は？
110433M : 「うわっ」の後ですね。
110434K : 「うわっ」の全部入る、はい、という気がする。
110435M : 「うわっ」、ポーズ、
110436T : ちっちゃい「ツ」がさあ、ポーズになっちゃう。
110437M : うんうん、ちっちゃい「ツ」が入っていて、そこに切れ目ができるから。
110438Q : あー、「ツ」がポーズになっ、
110439M : なるんじやいないかと思えますけど。
110440Q : はい、わかりました。はい、全部ですか。あの、a から e まで、ポーズが後ろに入ったほうがいいんですか。入ったら、通じるん、
110441T : いや、入ったら、通じないものもある。
110442M : あ、「うわっ」は文の中で突然に出てくると、ちょっとおかしい。通じないということはないけど、使わない。
110443Q : はい、全部ですね。a から e までですか。
110444T : はい。
110445Q : じゃ、一番使わないものはどれですか。パツとして、あ、これは使わない感じで。
110446T : e？
110447M : うん、e。
110448Q : はい、e ですか。e ですね。はい、5は？。…ポーズが入って「わー (0.1 秒) 喜び」、言えますか。
110449T : 言わないかな。
110450M : 言わないといったんだけど、全部、
110451Q : 先、a は言わないと言いましたね。
110452M : はい。
110453Q : ポーズが入ったら、いいんですか。これは「わー喜び」でポーズがないんですが、今ポーズが入ったら、「わー (0.1 秒) 喜び」って言いますか。
110454M : 言わないんですね。
110455K : 言わない。入っても。
110456Q : b も？
110457M : b も、
110458K : 入っても言わない。
110459M : うん。
110460Q : はい、c は？
110461M : 言わない。
110462T : 言わない。
110463K : うん。

110464Q : d は？すみません、d は「と」がない。先ず「わー (0.1 秒) 驚いた」。
110465M : 言わないと思います。
110466Q : e は？
110467T : 言わない。
110468M : うん、言わない。
110469Q : はい、ありがとうございます。すみません、あの一、今なんかあの、全部 1 から 5 まで、感動詞の後ろにポーズじゃなくて、「と」が付いたら、行けますか、はい、ていう考えてもらいたいんです。はい、先ず、「いやーと聞いている」、「と」を入れて、行けるか。
110470M : 「と」
110471K : 「いやーと聞いている」、言わない。
110472T : 言わない。
110473M : うん。
110474K : 「いやーと見て」、言わない。
110475T : 言わない。
110476T : 「いやーと汚れちゃった」、言わない。
110477K : 「いやーとなったよね」、あ、d は言うのかな。
110478M : 言う。
110479T : うん、言う。
110480M : e は「いやーと思って」、言う。
110481T : 言う。
110482K : うん、言う。f は、
110483T : f は「いやーと座った」、言わない。
110484M : 「いやーともらった」も言わない。
110485T : うん。
110486K : うん、言わないね。
110487Q : g は？
110488K : 言わない。
110489T : 言わない。
110490Q : 言わないですね。
110491M : はい。
110492Q : はい、2 ですよ。「ええと話していて」、a は？
110493K : 「ええと話して」、「と」、
110494M : ええと、
110495T : 「えーとね」の「えーと」だったら、言う。
110496M : 言葉に詰まったときに、「えーと」って、
110497K : うん。
110498M : 言う。感動詞、これは「ええと話していて」
110499T : 「話していて」にはかからない「と」としてだったら、使うかも「えーと話してい

て、なかなか会話になってない」

110500M : 「えーと」は結構独立しているんだったら、言うんかな。

110501Q : じゃ、「ええと話していて」は行けるんですか。

110502T : 「ええと」と「話していて」の間にポーズや点とかがあったら、言う。

110503Q : じゃ、「ええと」の後ろにポーズが入るといことですか。

110504T : うん。

110505Q : はい、わかりました。bは？

110506K : bも一緒かな。

110507M : 「ああと」ですか。

110508T : 「ああと」って言わないかな。

110509M : 「ええと」は言いますけど、「ああと」は言わないんですね。

110510Q : はい、ありがとうございます。じゃ、cは？

110511M : え、「ええああと」、

110512K : 「えーあーと話していて」、言うと思う。

110513T : 言う？

110514M : 言わないかも。

110515K : 言わないのかな。

110516Q : はい。じゃ、dは？「ええああと読んでいるので」。

110517M : うん、言わない。

110518T : 言わないね。

110519K : 言わない。

110520Q : はい。あの、eは？

110521T : 「えーあーとした」、言わない。

110522M : うん。言わない。

110523K : うん。

110524Q : じゃ、fは？

110525M : 「ええああとになった」

110526T : ああ、むずかしいな。

110527K : 「えーあーと」、「と」、

110528Q : 「なった」、

110529K : ううん、言わないか。

110530T : 「ええああってなった」とか、言うかな。「と」とは言わないかな。

110531Q : 「ええああってなった」は言えますか。

110532M : 私は言わないと思います。

110533T : 自分は使わないけど、言われたら、うんなんかそうなったのか。

110534Q : 「ええああとになった」ですか、「ええああってなった」ですか。「って」「と」どっちが出やすいですか。

110535T : あー、どっちも言います。あ、でも、「えーと」独立させるときは、「と」ですね。全部。

110536Q : はい、ありがとうございます。3に行きましようか、3はどうですか。「と」が入
ったら。aですね。

110537T : 言うかね。

110538K : うん、aは言いますね。

110539M : はい。

110540Q : bは？

110541T : うん、bも言います。

110542M : うん。

110543Q : e (c) は？

110544T : 「兄は弟の質問を聞きながら」

110545Q : 「うーんとした」、

110546K : 「うーんとする」は言わない。

110547M : ない。

110548T : うん。

110549Q : はい、c (d) は？

110550K : 「うーんと思った」、これは言いますね。

110551Q : 「思っていた」ね。

110552T : あー。

110553Q : 「うーんと思っていた」。

110554T : うん、言います。

110555M : うん。

110556Q : はい。じゃ、d (e) は？

110557K : 「うーんとなった」、言う。

110558M : うん。

110559T : うん。

110560Q : e (f) は？

110561T : 言います。

110562K : 言います。

110563M : うん。

110564Q : はい。じゃ、f (g) は？

110565T : 「うーんと歩いていた」、

110566M : 「うーん」と「歩く」と一緒、言わん。

110567K : うん、言わない。

110568M : うん。

110569Q : はい。あの、g (h) は？

110570K : gも言わない。

110571M : うん、言わない。

110572T : うん、言いません。

110573Q : はい。じゃ、h (j) は？

110574K : 言わない。
110575T : 「うーんともらえる」、言わない。言うと、たくさんの意味になっちゃうね。
110576M : 「と」 付けない方が自然。
110577Q : 自然ですか。
110578T : ですね。
110579Q : はい。じゃ、4は？
110580M : 「うわっとお金をもらった」
110581K : 意味が変わるよね、先、
110582T : 感動詞的には言わない。
110583Q : 「と」 がないと、意味がわからないというんですか。もし、「うわっとお金をもらった」 だったら、意味がありますか。
110584T : あの、なんか、違う意味でなら、たくさんもらった、「うわっともらったよ」、言いますけど。
110585M : 感情ではないんですね。
110586T : うん。量を表している。
110587M : うん。
110588Q : あー、はい。じゃ、bは？
110589M : 「うわっとなった」
110590K : bは言う。
110591M : うん。
110592T : うん、「となった」。
110593Q : はい。cは？
110594K : cも言う。
110595M : うん、言います。
110596T : 言います。
110597Q : はい、dは？
110598T : 言います。えっえっ、
110599M : 言わない。
110600K : 「うわっ而降ってきた」
110601M : あまり「うわっ」、
110602T : あー、そういうか。擬態語じゃないか、そうそうそう、
110603M : 言わない。
110604Q : はい。じゃ、eは？
110605M : 言わない。
110606Q : 言わないんですね、はい。あの、5は？
110607K : aは言うかな。
110608T : うん。
110609M : 「わーと飛び上がった」、「わーと興奮して」も、言うね。
110610K : 言うね。

110611M : 「わーと驚いた」、言う。
110612K : 言うね。
110613T : 「わーとなった」、全部言う。
110614M : あ、全部言う。
110615Q : はい、そうなん。「と」入ったら、行けるんですね。はい、ありがとうございます。
110616Q : はい、あの、今、なんか、あの、感動詞のところは反復で言えますか。例えば、1a の「お父さんは息子の話をいやーいやー聞いている」、行けますか。反復ですね。
110617M : 「いやーいやー聞いている」、
110618T : それはポーズ入らない？
110619Q : はい。ポーズが、そうですね、「いやーいやー」、ポーズが、あの、反復だけで、そうですね、行けますか。「いやーいやー」、あの、でも、T さんの意見でもいいんです。たぶん「いやーいやー」反復で行けますが、ポーズが入るかどうか、それも、はい、はい、考えてもらいます。また、反復が「と」付いたほうが自然に言えますかという、それも考えてもらいます。お願いします。
(協力者は沈黙に読んでいる)
110620Q : じゃ、先ず、ちょっとなんか、実は、反復で、反復のパターンも、「と」が付くパターンもね、考えてもらいますが、でも先ず、あの、反復だけで行けるかどうか、これは、この例文はちょっと難しいですよ。だから、あの、先ず一文ずつ、一パターンずつ言ったほうがいいと思いますが、はい、先ず反復で、「いやーいやー」、
110621M : 私は言わないと思います。
110622K : うん。
110623Q : はい。bは？
110642T : 言わない。
110625M : うん、言わない。
110626Q : K さんもそう思いますか。
110627K : はい。
110628Q : あの、cは？
110629T : 「いやーいやー汚れちゃったのよ」、言わないかな。反復と言わない。
110630M : うん、言わない。しないほうが、したら、ちょっとおかしい。
110631T : うん。
110632Q : はい。次にdは？
110633T : 言わない。
110634M : 言わない。
110635Q : 「いやーいやーなった」、言わないんですか。
110636M : はい。
110637K : うん。
110638Q : 次は「いやーいやー思っていた」、
110639M : 言わない。

110640T : 言わない。
110641Q : f は？
110642T : 言わない。
110643M : 言わない。
110644K : うん。
110645Q : g は？
110646T : 言わない
110647M : 言わない。
110648Q : はい。あの、言わないというのは、なんか不自然に聞こえるなんですか。意味がわからないんですか。
110649K : 不自然か。
110650M : 不自然な表現。使っている人がいたら、ちょっと何で、
110651T : まったく日本語で使わないと思います。
110652M : うん。
110653Q : 反復で不自然ということですか。
110654M : はい。
110655Q : 意味がわからないという気がしますか。
110656M : 反復でなんか「いやーいやーってなった」のところ、その、前後の文ちゃんとしているから、なんかそこ気にしなければ、普通意味が受け取れるというか、なんか、
110657K : 意味は通じますけど。
110658Q : 反復で意味が通じますか。
110659K : 反復で、反復しても文の意味はちょっとわかるよね。
110660M : うんうん。
110661T : 言いたいことは分かる。
110662Q : 分かるけど、でも不自然、
110663M : 不自然。
110664K : うん、不自然。何で2回か。
110665T : うん。
110666M : 自分も使わない。
110667Q : あー。はい、わかりました。じゃ、2は？
110668K : 「えーえー話していて」、
110669T : 言わない。
110670K : 「あーあー話していて」、
110671T : 言わない。
110672M : 言わない。
110673T : 「えーあーえーあー話していて」、言わない。
110674M : 言わない。
110675K : うん、言わない。d も言わない。
110676M : 言わない。

110677T : 言わない。e も言わない。
110678M : 言わない。
110679K : 言わない。
110680T : 後全部言わない。
110681M : f も言わない。
110682Q : 「ええああええああ」、
110683M : おかしい。
110684K : おかしい。
110685Q : おかしいか、発音が難しいんですか、意味か、
110686T : いや、意味がおかしい。
110687M : 意味がわからない、何を言いたいか。
110688Q : 意味がわからないんですね。でも、発音としては「ええああええああ」という、2
回で反復して、
110689T : 言わない、意味がわかんない。
110690Q : 意味がわからないんですか。あー、発音じゃなくて、なんか発音は問題ないです
が、意味はわからないというんですね。発音しにくい、例えば「ええああええあ
あ」と、
110691T : 続きにくくないけど、聞きなれないし、言わないから、わからないん。
110692M : うん、今まで聴いたことがない。
110693T : なんか、新しいことなるって、
110694M : そんな感じ。
110695Q : はい、ありがとうございます。次に3でお願いします。
110696M : うーんうーんっていうことですね。
110697K : え、aは言うかな、「考えていた」、うん、言うと思います。ですけど、「聞いてい
る」bは言わないかな。
110698T : うん。
110699K : 反復しない。
110700T : でも、えー、言うかな。なんか、言われたらわかるけど、言わないかな、違うか
ら、
110701M : うん、「うーん」っていう、なんか2回続くと、おかしい？なんか、
110702T : 言いにくいもんね。
110703M : うん、一回でだったら、自然。
110704K : 聞こえるのね。
110705M : うん、十分。
110706K : うん、そうだよね。
110707M : うん。
110708T : 「うーん」言いすぎじゃ。
110709Q : はい。じゃ、abは同じですね。
110710K : ab, ec,

110711M : え、c 言う？
110712T : どれ？
110713M : 「うーんうーん思った」、
110714T : 「うーんうーん思った」、
110715M : え、言わないんですよ。
110716K : 言わない。下も言わないね。
110717M : a, b, e, c, も、
110718K : a, b, e, c, 言わない。
110719Q : a, b, e, c は、言わないんですか。
110720K : 言わない。
110721Q : 反復でね、言わないんですね。はい。
110722T : 「うーんうーんなった」、
110723M : 言わない。
110724K : 言わない。f も言わない。
110725M : 言わない。
110726K : g も言わない。
110727Q : e (f) も言わないんですか。
110728K : 「うーんうーんためらっていた」、言わない。
110729T : 言わない。
110730Q : はい、f (g) は？
110731M : 言わない。
110732T : 言わない。
110733Q : g (h) は？
110734K : 「うーんうーん見て」
110735M : 言わない。
110736Q : h (j) は？
110737T : 言わない。
110738M : 言わない。でも、1回で十分。
110739K : 何で2回ね。考え方か。
110740Q : 言いにくいんですか。
110741K : でも、外で考えているときは2回言うこともあるね。
110742M : 「うーんうーん」、そうそうそう。外で悩んでいる。うん。
110743K : これは違和感があるから、言わないね。
110744Q : あの、すみませんね、3はaからhまで、なんか、ちょっと発音がしにくいですよ。でも反復したら通じるんですか。
110745K : 通じることは通じるが、通じないか、
110746M : え、通じるってこの文の全体の内容がわかるってということですか。
110747Q : はい、そうですね。分かるんですか。
110748M : なんか、分かると言えば、でも、「うーんうーん」は、なんか無視したら、わかる

けど、「うーんうーん」って普通に入ると、

110749K : 文章の意味が分かります。

110750Q : はい、文章の意味がわかりますね。でも、なんか、言うのはちょっと、

110751M : 普通言わない。

110752Q : 言いにくいし、

110753M : うん、聞かない。

110754T : 言いにくくはないけど、言ったら、変だから、言わないかな。

110755Q : はい、分かりました。ありがとうございます。じゃ、4ですね。

110756T : 「うわっうわっ」、言わない。

110757K : b も言わないね。

110758M : うん、「うわっ」は反復で言わない。

110759T : 「うわっ」は、反復しないから、括弧4は全部言わないと思います。

110760Q : 全部ですか。はい、あの、これはね、もしなんか「うわっ」じゃなくて、「うわー」、
ちょっと長音が、小さい「ツ」じゃなくて、「うわー」伸ばしたものは、言うんですか。

110761M : え、「うわーうわー」ですか。

110762Q : うん、「うわーうわーお金をもらったの」。

110763M : 言わない。

110764Q : b は「うわーうわーなった」、言わないんですか。

110765M : 言わない。

110766T : 言わない。

110767K : うん、言わない。

110768Q : c は「うわーうわー驚いた」

110769M : 言わない。

110770T : 言わないです。

110771 : 言わないんですか。意味がわからないんですか。なんか「うわーうわー」

110772M : うーん、意味がわからないより、

110773Q : 先言ったように、先なんか、

110774M : なんか、おかしい。

110775Q : はい。じゃ、4はaからeまで、すべて言わないんですか、反復で言わないんですね。はい、じゃ、5は？

110776T : 「わーわー喜び」、言わない。

110777M : うん、言わない。

110778T : 言いませんね。

110779K : 言わない。

110780Q : a は言わないんですね。b は？

110781M : 言わない。

110782T : 言わない。

110783Q : c は？

110784M : 言わない。
110785K : うん。
110786Q : d は？
110787M : 言わないんです。
110788T : 言わない。
110789Q : e は？
110790K : 言わない。
110791M : 言わない。
110792Q : はい。すみません。今、なんか感動詞は反復して、反復の後ろに「と」が入ったら、言えるか。
110793T : 「いやーいやーと」、「と」が入っても、言わない。
110794M : あまり、かわ。
110795K : 反復できないもの。しないものは「と」が入っても、変らないよね。
110796M : うん、そうだよね。
110797Q : b もそうですか。
110798K : うん、言わない。
110799T : 言わない。
110800Q : a と同じですか。「と」が入っても言わないんですか。
110801M : はい。
110802T : 反復したときは言わないんです。
110803Q : c は？
110804M : いや、言わない。相変わらずという。
110805T : 言わない。
110806Q : K さんは？
110807K : 言わないです。
110808Q : はい。あの、d は？
110809M : 言わない。
110810K : 言わないと思います。
110811Q : 言わないんですか。
110812M : うん。
110813Q : はい。あの、はい、e は？「いやーいやーとっていて」
110814M : 言わない。
110815K : f も言わない。
110816T : うん、f も言わない。g も言わない。
110817Q : はい、f は？
110818K : 言わない。
110819T : 言わない。
110820Q : g は？「今度のクリスマスにプレゼントをいやーいやーと」、言わないんですか。
110821K : 言わない。

110822T : 言わないんです。
110823Q : はい。じゃ、次は2ですね。
110824T : 言わない。
110825Q : うん、言わないんですか。
110826M : ない。
110827Q : bは？
110828K : 言わない。
110829Q : cは？
110830M : うん、ないね。
110831T : dも言わない。
110832M : dも言わない。
110833Q : うーん、dも言わないんですね。じゃ、e, fは？
110834K : e, fは
110835M : e, fはない。
110836T : ないんです。
110837Q : Tさんはどう思いますか。
110838T : ないです。
110839Q : はい。3は？
110840M : 「うーんうーんと考えていた」
110841T : 言うかな。
110842K : 言う気がしてきた。
110843M : うん、「うーんうーんと考えていた」。
110844T : bも言うかな。
110845K : うん。
110846M : え、aは言うだったら、bも言う。
110847K : bも言う。
110848Q : はい、e、あ、cは？「兄は、」
110849K : 「うーんうーんとした」ね。
110850T : ん、3番ね。
110851Q : うん、3番ですね。eの、cの「兄は弟の質問を聞きながら、うーんうーん」
110852T : 「とした」、言わない。
110853M : 言わない。
110854Q : c (d) は？
110855T : 「私は弟の話を聞いて、うーんうーん」、
110856K : 「と思った」、言わないかな。
110857M : うん。2回繰り返すと、2回繰り返して、一続き、また「と」を付けると、なんかくどい。
110858Q : はい、そうですか。
110859M : はい、1回でいいじゃろうと思って。

110860Q : はい、1回でいいんですか。
110861M : はい、「うーんと考えていた」というなら、普通に言うんだけど。
110862Q : Tさんはどう思いますか。
110863T : そうですね。あまり言わないんですね。
110864Q : 長すぎてですか。
110865T : 幼稚詞かな。
110866Q : bはね、「うーんうーんと聞いている」は言えますね。でも、あの、なんかcの「思う」、あの「私は弟の話を聞いて、うーんうーんと思っていた」は言わないね。先「と」が付いたら言えますね。反復しないね。「うーんと思っていた」、言えますね。
110867T : でも、反復なしだったら、言いますね。
110868Q : はい。じゃ、反復は、cは、まあ、「と」も付けるのも、あの、なんか言えないんですね。はい、はい。はい、d (e)をお願いします。dはどうですか。「うーんうーんとなった」
110869K : 言わない。
110870T : 言わない。
110871Q : 「となった」も言わないんですか。
110872K : うん。
110873Q : はい。あのe (f) は? 「うーんうーんとためらっていた」。
110874K : 言うかな。「うーんうーんとためらっていた」。
110875Q : これは、Mさんはどう思いますか。言えますか。これは、
110876M : うーん、これは言えます、うーんうーんと思います。
110877T : 言えると思います。
110878Q : じゃ、f (g) は? 「うーんうーんと歩いていた」
110879T : 言わない。
110880K : 言わない。
110881M : 「うーんうーんと歩いていた」って、言わないと思います。
110882Q : うん、はい。
110883K : g (h) も言わない。…h (j) も言わない。
110884M : hも言わない。
110885Q : はい。
110886T : 4番、「うわっうわっ」とはね。
110887Q : はい、4は?
110888T : 言わないかな。
110889Q : 「うわっうわっ」と、
110890K : 言わない。
110891T : 言わない。
110892M : うん、4番は言わないと思います。
110893Q : はい。じゃ、「うわっ」じゃなくて、「うわーうわーと」、

110894T : いや、言わない。
110895M : 言わない。
110896Q : それでも、言わないんですか。両方でもね。「うわっ」と「うわー」、言わないんですか。
110897T : うん。
110898Q : はい、a, b, c, d, e も全部、すべて、
110899M : 「うわっうわっ」
110900Q : b は？
110901T : 「うわっとなった」、言うか。
110902M : うん、「うわっとなった」、…「うわっと驚いた」
110903Q : b は、言えますか、言えそうですか。「うわっうわっとなった」
110904M : 反復ですか。
110905Q : うん、反復ですね。反復、
110906K : 言わない。
110907Q : なんか「と」も、
110908M : 反復は言わない。
110909K : 言わない。
110910Q : 反復で言わないんですね。「と」も付いても、
110911M : うん、「と」が付いても、反復は言わない。
110912Q : 言わないんですか。はい。c は？
110913M : 「うわっうわっ」と、
110914T : 言わない。
110915M : 言わない。
110916K : うん。
110917Q : はい。じゃ、d と e は？
110918T : 言わない。
110919K : 言わない。
110920M : 言わない。
110921Q : はい。じゃ、5 は？
110922K : 言う？
110923M : 「わーわーと喜び」、言う？
110924T : あ、待って。この「わー」というのは？
110925Q : 嬉しいという、「わーわーと」
110926T : あ、そうか。
110927K : 感動、感動、
110928M : 言わない。
110929T : 言わないかな。
110930K : 言わない。
110931M : うん、言わない。

110932Q : 言わないんですか。…bは? 「わーわー」
110933T : 言わない。
110934Q : cは?
110935M : 言わない。
110936K : 言わない。
110937Q : dは?
110938K : dも言わない。
110939M : 言わない。
110940T : 言わない。
110941Q : dも言わないんですか。「わーわーと」、
110942M : はい。
110934Q : じゃ、eは?
110944K : ない。言わないんですね。
110945M : うん。
110946T : うん、言わない。
110947Q : すみませんね、5は、もし「わー」じゃなくて、「うわー」とか、「うわー」って
いう、「わー」じゃなくて、これは「わー」ですね、長音が「わー」ですね。これ
は、発音は「うわーうわー」、
110948M : 「うわー」の反復ですか。
110949Q : はい、そうですね。この例文に入ったら、
110950M : 「うわーうわーと喜び」?
110951Q : はい。
110952M : 言わない。
110953T : 言わない。
110954Q : 「うわーうわーと喜び」
110955K : 言わない。
110956M : うん、言わない。
110957Q : 言わないんですか。bも
110958M : うん。
110959Q : じゃ、cは? 「うわーうわーと興奮して」
110960T : 反復しないほうがいい。
110961M : うん、言わない。
110962Q : じゃ、dは?
110963T : dも言わないかね。
110964M : うん、言わない。
110965Q : 「うわーうわーと驚いた」も言わないんですか。
110966M : うん。
110967Q : はい。eは?
110968T : 言わない。

110969M : 言わない。
110970Q : はい。じゃ、「うわっ」も「うわー」も言わないんですね。反復で「と」が付くパターン、両方とも、言わないんですね。
110971M : うん。
110972K : うん。
110973Q : はい、ありがとうございます。次ぎは、もう一つありますけど、あの、なんか今度は、あの、感動詞ですね。後ろに「と」が付いて、その全体が反復する形で行けますか。例えば、「いやーといやーと聞いている」、「いやー」ね、「と」が付いて、その全体は「いやーと」がもう一回、それは反復ね、「いやーといやーと」、
110974T : ああ。
110975M : 言わない。
110976Q : 言わないんですか。
110977M : うん、言わないという。
110978K : 言わない。
110979T : 言わない。
110980Q : 次に、bは？
110981M : あ、言わない。
110982K : 「ええとええと」「ああとああと」、言わない。
110983M : 言わない。
110984T : え、今、括弧1、括弧2？
110985M : 括弧1は、全部言わない。
110986Q : 1は全部言わないんですね。じゃ、2は？
110987K : 2も言わない。
110988M : 「えーと」？
110989Q : 「ええとええと」、「ああとああと」、
110990M : 言わない、言わない。
110991T : 2も全部言わない。
110992M : うん、言わないね。
110993Q : はい。dは？あ、括弧2は全部ですか。
110994M : はい。
110995Q : はい。3はどうですか。
110996K : 言わないと思います。
110997M : 言わない。
110998Q : aは言わないんですか。bは？
110999K : 括弧3全部。
111001M : うん、言わない。
111002Q : 3番ですか。
111003T : はい。
111004K : はい。

111005Q : はい。4 は？「うわっとうわっ」と。
111006M : いや、言わない。これは4 番も全部言わない。
111007K : うん。
111008Q : 全部言わないんですか。5 は？
111009M : 言わない。「わーとわーと」
111010K : 言わない。
111011Q : 言わないですか。あの、これは、言わないというのは、なんか意味がわからない
ですか、なんか発音的に、ちょっと不自然に、おかしいとか、
111012T : 「と」は付けて、二独立繰り返すことはない。
111013M : うん。
111014Q : あー、ないんですか。
111015M : 1 回、
111016Q : 1 回だけでいいですか。
111017M : うん。
111018Q : はい、1 回でいいんですか。1 回で意味もわかるんですね。あの、なんか、言う時
は、自然感じしますか。例えば、3a ですね、「兄は弟の質問を聞きながら、うー
んと考えていた」とか、意味が通じるんですか。
111019K : 「うーんと考える」は、通じます。
111020Q : 自然に言えますか。
111021K : うん、自然に言います。
111022Q : はい、ありがとうございます。はい、難しいですね、例文は。すみません、もう
一つ最後ですけど。あの、感動詞と「思う」「思っていた」、例えば「いやー思っ
ていた」ですね、全部括弧1 から5 までですね、はい、だいたい感動詞と「思う」
のところは、なんか、例えばね、あの、「いやー思っていて」は、なんか「いやー
だと思っていた」と言えますか。
111023T : 例えば、
111024Q : 例えば、1e ですね。1e の例文、「いやー思っていて」、「いやーだと思っていて」、
111025T : a の例文ですか。
111026Q : e ですね。1e です。だいたい「いやー思っ」というところですね。2 は、あ、
2 にはないんですね。3 はc ですね、c は「うーん思っていた」。はい、次は、あの、
次は、あ、2 所だけで。これは、「いやー思っていて」か3 の「うーん思っていた」
のところはね、それは、「うーんだと思っていた」とか「いやーだと思っていて」
と言えますか。
111027K : 「だ」とが付くかどうか？
111028Q : うん、「いやー」と「思う」の、
111029K : 間に
111030Q : 「だ」が入っていて「いやーだと思っていて」、3 の「うーんだと思っていた」は
言えますか。
111031K : 言えません。

111032M : 言わない。

111033T : 言わない。

111034Q : あー、はい、言わないんですね。このコンテキストに、

111035K : ないと思います。

111036T : ない。

111037M : ない。

111038Q : はい、分かりました。これで終わります。皆様のご意見は私の研究に役に立つ
と思います。どうもありがとうございます。

(終わりの挨拶の省略)